

2018.4 > 2018.9

研修サービスガイド



Topics 1 働き方改革を支援する
人財育成

Topics 2 IoTシステム技術検定
対策講座を強化

Topics 3 PMコンピテンシー向上に
対応した実践的
プロジェクトマネジメント講座の
拡充

Topics 4 デジタルトランス
フォーメーションを推進する
人財の育成

C O U R S E

日立製品 講座

JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム

IoT 講座

ビッグデータ 講座
クラウド/サーバ仮想化 講座
ITサービスマネジメント 講座

システム基盤 講座

UNIX/Linux Microsoft ネットワーク
セキュリティ データベース

IT戦略・IS企画/システム設計 講座

IT戦略・IS企画 システム設計

アプリケーション開発 講座

Webアプリケーション スマートデバイス
オブジェクト指向/UML 言語

IT基本 講座

IT基本 ハードウェア
情報処理資格

情報リテラシ 講座

プロジェクトマネジメント 講座
コンプライアンス 講座
ビジネス/ヒューマン 講座
グローバル 講座

はじめに

平素は、株式会社 日立製作所(以下、「日立」といいます。)および人財育成サービス会社である株式会社 日立インフォメーションアカデミー(以下、「日立IA」といいます。)の各種研修サービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

日立および日立IAは、経済産業省が策定するIT人財育成のための各種スキル標準に対応する研修体系に基づき、本ガイドでご案内する研修サービス(以下、「日立講習会」といいます。)にてお客様の人財育成をご支援いたします。

日立講習会のうち、日立製品研修*1は日立が提供する研修サービスです。またIT/ビジネス研修*2は日立IAが提供する研修サービスです。なお、日立は日立製品研修サービスの実施および運営を日立IAに委託しておりますので、ご了承ください。

本ガイドは、日立および日立IAが提供する2018年4月から2018年9月までの研修サービスを紹介します。

お客様の人財育成に日立および日立IAをご活用いただければ幸いです。

*1: 日立製品研修は、本ガイドのP.18の日立製品研修に指定されているコース群
*2: IT/ビジネス研修は、本ガイドのP.18のIT/ビジネス研修に指定されているコース群

2018年1月
株式会社 日立製作所
株式会社 日立インフォメーションアカデミー

研修サービスに関するお問い合わせ先:
株式会社 日立インフォメーションアカデミー

東京地区	TEL 03-5471-8962	FAX 03-5471-2564
大阪地区	TEL 06-4797-7360	FAX 06-4797-7361
名古屋地区	TEL 052-269-8940	FAX 052-261-8276
広島地区	TEL 082-546-6172	FAX 082-546-6173
福岡地区	TEL 092-844-7522	FAX 092-844-7580

日立講習会標準開催時間のお知らせ **開始時間 9:30** **終了時間 16:30**

※標準時間と異なる講習会は、日立インフォメーションアカデミーのホームページに掲載しております各コース詳細の備考欄に開催時間をご案内しています。
正式には、ご受講前に送付いたします「日立講習会受講ご案内」(受講券)をご確認ください。



(株)日立インフォメーションアカデミーの学習サービス全般について、学習サービス事業者向け国際規格ISO29990の認証をJAMOTE(一般社団法人人財育成と教育サービス協議会)より取得しています。

本ガイドに記載している内容および金額は、2018年1月時点のものであり、将来変更する場合があります。

CONTENTS

Topics

- Topics 1 働き方改革を支援する人財育成
- Topics 2 IoTシステム技術検定対策講座を強化
- Topics 3 PMコンピテンシー向上に対応した実践的プロジェクトマネジメント講座の拡充
- Topics 4 デジタルトランスフォーメーションを推進する人財の育成

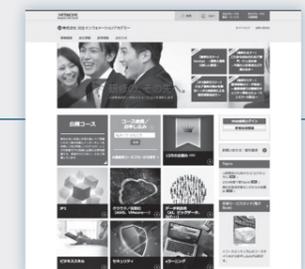
1	体系的にIT技術修得を進めるための日立講習会コース活用例	12
2	開催コース/スケジュール一覧	18
3	講座別コースフロー/コースカリキュラム	54
4	研修会場	246
5	お申込方法	248
6	受講規約	250

本ガイドで紹介する研修サービスは、お客様のご要望に合わせてカスタマイズできるオーダー研修サービスもございます。研修の実施だけでなく、研修企画、開発実施、アフターフォローまでワンストップでご提供も可能です。詳しくはお問い合わせください。

最新のコース開催情報・お薦めコースのご案内

<https://www.hitachi-ia.co.jp/>

日立インフォメーションアカデミーのホームページでは、最新のコース開催情報・お薦めコースを掲載しております。また、コースのお申し込みはホームページから行うことができますので、ぜひご利用ください。



コース最新情報	お薦めコース	臨時開催コース	話題のコース	人気コースランキング
講座別コース紹介 (PDFファイル)	ITSS対応研修コースマップ	UISS対応研修コースマップ	iCD対応研修コースマップ	

働き方改革を支援する人財育成

「長時間労働の是正」や「時短」に関心が集まりがちな“働き方改革”。

労働集約型から知識集約型への移行の遅れ、採用難や定着率の低止まり、管理職やプロジェクトマネージャーなどの責任ある役割を避ける若手社員の増加、社会問題化している過労死・過労自殺、身近に起きているメンタル不全など、職場が過度なストレスを抱えたままでは変革は進みません。

企業が社員に働きやすさを提供し、能力発揮や価値創出を促していくことが本質的な取り組みです。当社は、御社の“働き方改革”推進を人財育成でご支援します。

働き方改革を効果的に支援する人財育成とは

WHO[※]では、働く人の心の健康の定義を「個人の持つ能力を発揮し、生活のストレスに対処でき、生産的で充実して働くことができ、地域にも貢献できる状態」としています。つまり、“ワーク”も“ライフ”も充実した、“働きやすく、働きがいがあり、仕事にポジティブ”な状態であるワーク・エンゲージメントが重視されています。

企業には、経営方針を見直し、雇用の制度や慣行を変えていくと同時に、従業員の生産性とワーク・エンゲージメントの両方を向上させていく方策が求められています。

この両面に効果的にアプローチしていく最適な方法が人財育成なのです。

※WHO：世界保健機関



生産性とワーク・エンゲージメントの関係

生産性とワーク・エンゲージメントは、ちょうど建物と土台の関係にあたります。

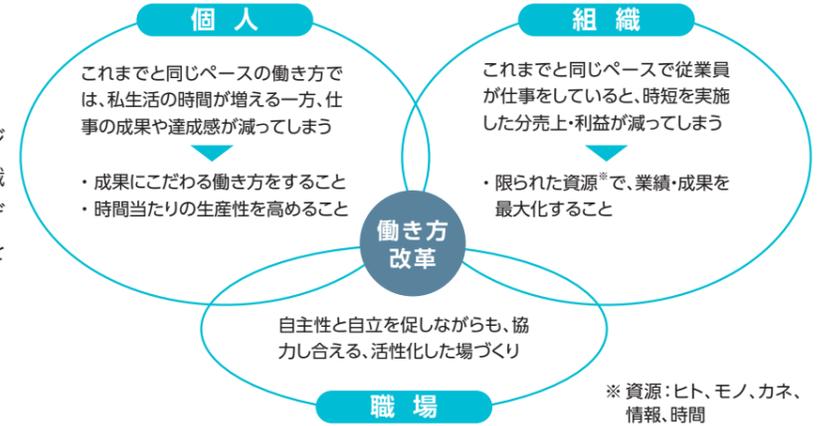
働く人にとって、不安定な心理を招くさまざまな要因が、現代社会には渦巻いています。ワーク・エンゲージメントは、従業員の仕事に対するポジティブで充実した心理状態を指す概念であり、心身が健康な職場の基礎や土台として機能します。

また、ネガティブな心理状態の人に、イノベティブな思考や積極的な行動を喚起することは非常に困難です。環境変化や新しい取り組みを受容できるのは、自立的で前向きなワーク・エンゲージメントが高い従業員です。



取り組み施策の検討例

生産性の向上とワーク・エンゲージメントの向上を実現するために、組織（会社）・職場（部門）・個人のそれぞれのレベルで取り組む施策（項目）を検討した例が以下の表です。



	生産性向上			ワーク・エンゲージメントの向上
	能率向上 / 時間の有効活用	業務プロセスの改善・改革 / 効率化	生産性尺度の転換 / 価値創造	
個人	仕事の能率向上 (1) 担当業務のスキルアップ (2) タイムマネジメント (3) MS-Office ツールの使いこなし	仕事の効率化 (1) WBSの洗い出し・見直し (2) 業務の見える化（質改善） (3) 業務プロセスを把握する能力の向上 (4) 若手の報連相の改善	担当業務→価値の向上へ (1) 目標・ゴール設定の改善 (2) 契約に対する概念、就業観のレベルアップ（若手向け） (3) 面談のスキル向上（管理者・上長向け）	(1) キャリアプランの見直し（仕事観、価値の置き方、主体性を含む） (2) EQ / マインドフルネス向上 (3) テレワークの心得・スキルの習得
職場（部門）	共同作業の改善 (1) 会議の効率化 (2) タイムマネジメント (3) 適材適所	業務プロセス改善 (1) WBSの洗い出し・見直し (2) 作業・業務分担の見直し (3) 業務の見える化（質改善）	業務→価値の提供へ (1) 目的管理の質的向上 (2) 目標・ゴール設定の改善（管理者・上長向け） (3) 業務のデジタル・トランスフォーメーション推進	(1) 風土・規範の改善 (2) チームワーク向上 (3) 職場内のコミュニケーション改善 (4) ダイバーシティの推進
組織（会社）	総労働時間の適正化 (1) 正しい労働時間管理 (2) 労働時間制度の見直し (3) 人員配置の適正化	業務改革 (1) ビジネスアナリシスの活用 (2) 業務の組み替え (3) 戦略的業務削減、業務の切り離し（アウトソース） (4) 情報共有・情報連携の改善	売上・利益→価値の創造へ (1) 戦略の見直し (2) ビジネスモデルの革新 (3) ビジネスのデジタル・トランスフォーメーション推進	(1) 組織文化の変革 (2) ダイバーシティ推進 (3) 柔軟な働き方の制度

：人財育成で支援できる対象範囲

人財育成で働き方改革の推進を支援するには、従業員のワーク・エンゲージメントと生産性との両面の向上に対して、効果的にアプローチすることがポイントです。

日立講習会では、これらの施策に対応するコースをご用意しています。

分野	コースコード	コース名	受講者対象者像
時間の有効活用	HSJ148	(PDU) 会議 / プロジェクトを円滑に進めるためのファシリテーション・スキル向上	若手管理者 / メンバーリーダー層
	OAJ048	Excelによるデータ可視化 - Excelでビジュアルに強くなる -	全階層 / 全職種
	OAJ047	Excelによる売上データ分析 - Excelではじめるデータ活用の第一歩 -	全階層 / 全職種
	OAJ046	Excelで業務データを使いこなす - 関数とピボットテーブルを利用して -	全階層 / 全職種
	オーダー専用	タイムマネジメント	全階層 / 全職種
	オーダー専用	効率を上げるOfficeツールの各種活用法	全階層 / 全職種
業務プロセスの改善・効率化	CTJ059	(PDU) ビジネスアナリシスの基礎	企画業務 / 超上流SE
	CTJ060	(PDU) 要求の引き出しとマネジメント	企画業務 / 超上流SE
	CTJ054	IT活用による業務改善を実現するための問題分析と新業務プロセス設計技法	企画業務 / 情報システム部門
	CTJ053	現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法	全職種 / 情報システム部門
	PMJ065	プロジェクトマネジメント基礎	メンバーリーダー層 / 若手SE
	HSJ126	報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎	新入社員～入社3年程度
生産性尺度の転換 / 価値創造	CTJ056	新時代に向けたビジネスモデル創造の進め方	企画業務 / 超上流SE
	HSJ159	顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン	企画業務 / 超上流SE
	CTJ055	IT主導で攻めのビジネスを実現するための構想立案とIT化企画の作り方	企画業務 / 情報システム部門
	HSJ147	(PDU) 目標達成のためのコーチング実践	若手管理者 / リーダー層
	オーダー専用	管理職活性化道場（面談を通して自己とチームを活性化させる）	若手管理者
	オーダー専用	企業人としての基礎	新入社員～入社3年程度
ワーク・エンゲージメントの向上	HSJ125	(PDU) アサーティブ・コミュニケーション - 職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上 -	管理者 / リーダー層
	HSJ166	マインドフルリーダーシップ基礎	若手管理者 / リーダー層
	HSJ056	(PDU) リーダー向け チームを活性化させるコミュニケーション - 対人関係における思い込みの視点を取り除く -	リーダー層
	SPJ045	(PDU) [リーダー向け] アジャイル開発における自律型チーム運営	リーダー層
	HSJ052	メンバーシップとチームワーク - チーム力向上のために大切なこと -	メンバー層
	オーダー専用	キャリアプラン / ジョブ・クラフティング / スキル	全階層 / 全職種
オーダー専用	自己理解 / 他者理解 / EQ	全階層 / 全職種	

網掛けの「オーダー専用」コースは、お客様個別のご注文に対応して実施させていただく研修です。斜体で記載した研修は、職場ぐるみ研修 または 階層別研修として実施することをお薦めします。より高い効果を見込むことができます。

IoT技術者育成を目的として「IoTシステム技術検定（MCPC：モバイルコンピューティング推進コンソーシアム主催）」が幅広く活用されています。従来開催されている「中級検定」に続いて、2017年12月より、IoT初級者の育成を目的とした「基礎検定」が新たに開催されることになりました。

当社はMCPC認定校として、中級検定の対策講座と同様に、基礎検定の対策講座を開催します。

IoTシステム技術検定の特徴

IoTシステム技術検定は、IoTシステム構築・活用に関する技術知識レベルを基礎・中級・上級の3段階で認定します。（上級検定は今後開催予定）。

資格の種類	必要とするレベル	適用可能な実務レベル
上級 (IoTプロフェッショナル)	IoTのシステム構築・活用に関する、より実践的な専門技術	IoTシステムについて顧客の要求を理解し、課題の整理のうえ、システムの企画、計画し戦略的提案をおこないます。また、IoTシステム構築のリーダーとして活動できます。
中級 (IoTエキスパート)	IoTシステムを構成する基本技術習得 ①IoTシステム構成と構築技術 ②センサ/アクチュエータ技術と通信方式 ③IoTデータ活用技術 ④IoT情報セキュリティ対策技術 ⑤IoTシステムのプロトタイピング技術	IoTシステム全体を俯瞰することができ顧客の要求または提案の要点を的確に把握でき、システム構成の概要が描けます。
基礎 (IoTアドバイザー)	IoTに関する基礎知識の理解	IoT、BD(ビッグデータ)、AI(人工知能)

● 基礎検定の出題カテゴリ

- IoTシステム構成と構築技術：IoTシステムアーキテクチャ、IoTサービスプラットフォーム
- センサ/アクチュエータ技術と通信方式：IoTデバイス、ネットワーク、LPWA、プロトコル
- IoT活用技術(AI)：ビッグデータ分析技術、活用事例
- IoT技術とセキュリティ対策技術：脅威と脆弱性、セキュリティ対策技術、情報セキュリティの標準と法制度
- IoTシステムのプロトタイピング：プロトタイピング活用

※ MCPC ホームページより抜粋 <http://www.mcpc-jp.org/iotkentei/gaiyou.html>

日立インフォメーションアカデミーIoTシステム技術検定対策の特徴

IoTシステム技術検定（基礎検定・中級検定）の合格はもとより、受検後の業務活用を円滑に進めるために、講義内ではIoTシステムのデモンストレーションや、業務に役立つ関連情報を掲載した補助資料を活用して講義を行います。

- IoTシステムを体感するデモンストレーション
- ノウハウが沢山つまったオリジナル模擬試験や補助資料
- テキストはMCPC監修の公式ガイド（IoT技術テキスト 基礎検定・中級検定）

● IoTシステム技術検定対策講座一覧

IoTシステム技術検定の基礎検定と中級検定に対応した以下のような対策講座を用意しています。

コースコード	コース名	日数	コース概要
IOJ008	 IoTシステム技術検定(基礎検定)対策講座	1日	IoTシステム技術検定(基礎検定)に合格できる技術を修得するとともに、IoTシステムに関する顧客の要望を理解し、関連者に説明することができるようになります。
IOJ004	IoTシステム技術検定(中級検定)対策講座	2日	IoTシステム技術検定(中級検定)に合格できる技術を修得するとともに、IoTシステムに関する顧客の要望を理解し、概要図を描くことができるようになります。

プロジェクトマネジャーの能力向上には、基礎となる知識修得が必要です。日立講習会では、プロジェクトマネジメントのトレンドを踏まえた最新の知識修得講座を用意しています。

知識修得に加えて、能力向上には実践力を養う必要があります。実践力は実プロジェクトで知識を活用することで養われます。しかし、近年は各種プロジェクトの難易度が全体的に上がっており、そのような経験値を十分積む時間がない状態でプロジェクトに臨むことが多くなっています。

経験値を補うためには、疑似体験が有効だと言われています。そこで、疑似体験を短時間で効果的に積むための講座を拡充しました。

ケースメソッドを用いた実践力強化コース

ケースメソッドは、ケースを用いて受講者が討議を繰り返すことで、実践力を身につける育成方法です。実際に使用するケースは、過去の教訓、実体験、またさまざまな組織の事例等から構成される事実（または仮想）に基づいた教材となります。

ケースメソッドでは、知識や理論を学習する前に、受講者がその状況に応じて、自ら考えて構造化していきます。将来のさまざまな場面において、「最適な判断をし、行動に移すことができる」ために、ケースによる気づきを得た後に、受講者のこれまでの活動と知識や理論とを紐づけていきます。そして、複数のケースを使って上記の取り組みを繰り返し行うことを通して、より多くの疑似体験を積むことをめざしています。

日立講習会では、ケースメソッドを活用した反復型の研修を拡充しました。さまざまなケースを短時間で学び、経験値を補いたい方にお勧めします。

● 実践力強化コース一覧

コースコード	コース名	日数	コース概要
PMJ059	(PDU)ケースメソッドによるPM判断・行動力強化 —複数ケースを短時間で学びPM力向上—	1日	プロジェクトマネジャーがよく遭遇する事例を対象に、トラブル原因を分析し、ある時点・ある状況に対してどのような対策が必要かを学びます。数多くの事例に取り組むことで、短期間で実践力を身につけます。
PMJ062	(PDU)ケースメソッドによるPM判断・行動力強化 (上流工程編)—PJの成功・失敗分岐点を学ぶ—	1日	プロジェクトマネジャーがよく遭遇する事例を対象に、トラブル原因を分析し、ある時点・ある状況に対してどのような対策が必要かを学びます。上流工程(企画-基本設計)を主なテーマとして、数多くの事例に取り組むことで、短期間で実践力を身につけます。

プロジェクトマネジメントのトレンドを踏まえた知識修得コース

実践力のベースとなるのは知識です。プロジェクトマネジメント方法論を体系的に学んでおかないと、実践力を効果的に強化することはできません。代表的なプロジェクトマネジメント方法論として、PMBOK®ガイドがあります。

PMBOK®ガイドは2017年第3四半期に第6版に改訂されました。変化の激しいシステム開発等のプロジェクトに適用するために、主にアジャイルへの対応が追加されています。最新の知識修得にご活用ください。

● 実践力強化コース一覧

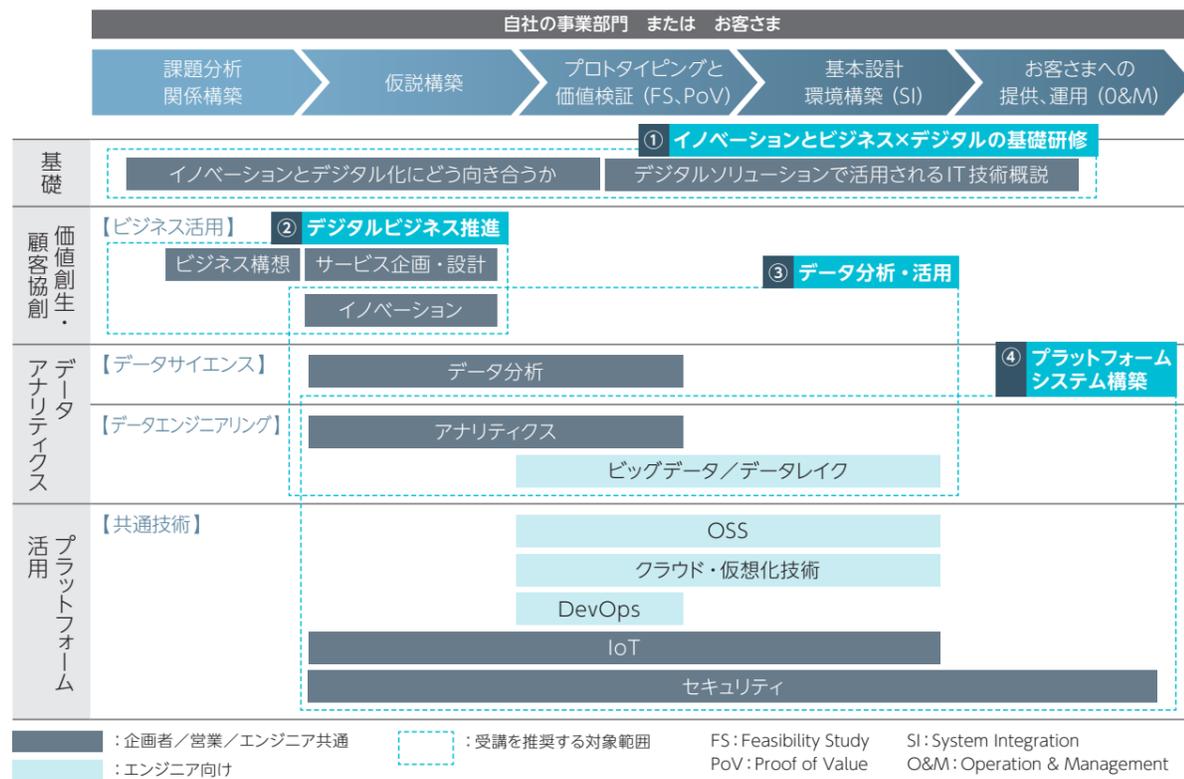
コースコード	コース名	日数	コース概要
PMJ064	 (PDU)PMBOK®ガイド第5版と第6版の差分講座 —半日でわかる第6版—	0.5日	PMBOK®第6版では、アジャイルマネジメントなど新たな考え方が入ってきます。PMBOK®第5版と比較してどの程度改訂され、どのような新しい内容が組み入れられたかを、両版の知識エリアを中心に比較し、わかりやすく解説します。
PMJ063	 (PDU)PMBOK®ガイド第6版セミナー	2日	プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「PMBOK®ガイド」の内容を学習します。本コースは、PMP対策講座受講の前提講座となります。

デジタルトランスフォーメーションを推進する人財の育成

ビジネス×デジタルによるイノベーションを推進する人財

デジタルトランスフォーメーション（DX）の構想から提供までのフェーズごとにキーとなる人財・スキルがあります。

- ① **共通** : イノベーションとビジネスのデジタル化の意義と技術の概要を理解する
- ② **デジタルビジネス推進** : 自社ビジネスやお客さまの課題の解決策を協創する
- ③ **データ分析・活用** : データ分析により価値を創出し、ソリューションを企画する
- ④ **プラットフォームシステム構築** : IoTプラットフォームを活用してソリューションを構築する



DX関連研修メニュー体系の概要

人財の役割ごとに必要となるスキルに対応した、研修メニューを体系化しました。

体系	主な対象者	コース体系概要
① イノベーションとビジネス×デジタルの基礎研修	DXの推進に関わる全ての方	イノベーションを理解し、ビジネスのデジタル化やITの利活用に関する基礎知識を学びます。
② デジタルビジネス推進関連研修	事業部門や顧客との協創によりソリューションを推進する方	事業部門や顧客との協創により、新たな価値を創出するための思考法、及びソリューションを提供するために必要となるサービスやデジタル技術のポイントを学びます。
③ データ分析・活用関連研修	PoC/PoV推進者及び関連する営業、エンジニア	ビッグデータを活用して、新たなアイデア創出を行うために利用可能なデータアナリティクスの手法や効果などを、データ分析スキルを中心に学びます。
④ プラットフォームシステム構築関連研修	デジタル化のソリューションを構築するエンジニア	効率的な開発を行うために必要な技術やツール、及びデジタル化のソリューションに必要な共通技術を含めて体系化しています。

ビジネス×デジタルの進行が産業・社会インフラの再編を加速する現在、デジタル技術活用の巧拙がイノベーションの鍵を握っています。

デジタル技術を活用して新しい価値を生み出す「デジタルトランスフォーメーション*」。社内外で推進するためには、さまざまな人財が、事業部門やお客さまと協創しながら新たな価値を創出し続けることが必要です。

当社では、「デジタルビジネス推進者」や「デジタルエンジニア」などの人財に着目した研修メニューや、デジタル化のソリューションに必要なスキルに着目した研修メニューなど、目的別に整備を進めています。

*以下、デジタルトランスフォーメーションを、所々「DX」と表記します。英語表現では、しばしば接頭語の「trans-」や「ex-」を「X」に置き換える慣例があり、一般的に「DT」ではなく「DX」という省略形が使われています。

① イノベーションとビジネス×デジタルの基礎研修

DXに関わる人財が、推進のために共通的に理解しておかなければならない知識を修得し、認識を拡大したり、認識を共有する際にお役に立てるコースです。

コースコード	コース名	日数	コース概要
オーダー専用	New イノベーションとデジタル化にどう向き合うか	1日	ITの利活用は技術分野/事業分野を超え、デジタルトランスフォーメーションとして社会のあらゆるシーンで検討される時代になりました。本コースは、イノベーションを理解し、IT利活用の本質を感じ取り、ITとの向き合い方について気づきを促します。職場の推進メンバーの共通認識づくりの場としてご利用ください。
IOE001	New <eラーニング> デジタルソリューションで活用するIT技術概説	90日	ITを活用したビジネスを企画・提案される方に必要となるIT技術の概要を、網羅的に学習します。

② デジタルトランスフォーメーションを企画・推進・提案する人財の強化

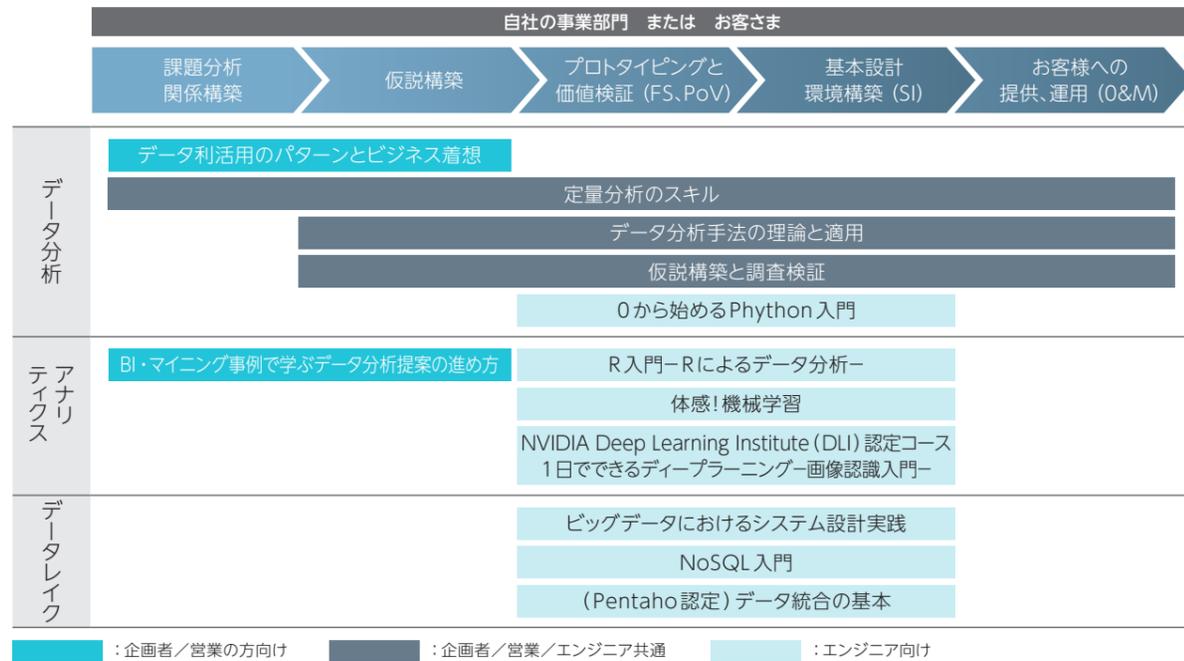
事業部門やお客さまとの協創による新たな価値を創出するには、いろいろな人を巻き込んでイノベティブに考え、価値あるビジネスモデルを構想し、サービスとして倍化することを実践する、などのスキルが必要です。今までにない提案や価値創出を実現したい方にお薦めです。

● ビジネスの革新や価値創造を企画・提案するためのコース概要

コースコード	コース名	日数	コース概要
HSJ 163	クリエイティブシンキング	1日	イノベーションを切り開くために必須となるクリエイティブなアイデアをひらめくためのプロセスを体験・学習します。
HSJ 170	Renewal イノベティブ思考 -単なるアイデアで終わらないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかた-	2日	イノベティブ思考が従来の思考と違う点(確からしさよりも可能性を重視、分析よりも共感を重視、要素よりも関係性を重視など)を対比させながら、イノベティブな発想に必要な進め方、手法を演習主体で学習します。
HSJ 158	イノベーションプロセスを強化するシナリオプランニング	1日	顧客ビジネスや要素技術の将来動向と捉え、顧客の真のニーズを引き出すために、シナリオプランニングの具体的な考え方・手法について学習します。
HSJ 159	顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン	2日	ビジネスモデルキャンバスを活用し、ビジネスモデルを可視化することで新たな価値の発見につなげます。お客様の潜在的価値発見の部分に重点を置き、ビジネスモデルを検討します。
HSJ 165	ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向 -イノベーション実現のために-	1日	ポジショニングやリソースベストビュー等の事業・企業戦略論を、自らの事業に適用できるようにするまで理解します。またIT分野の企業が、旧来の実業分野に対して参入して行くケース等、ITビジネスとして戦略上踏まえておくべき最新動向を紹介します。
CTJ055	Renewal IT主導で攻めのビジネスを実現するための構想立案とIT化企画の作り方	1日	DX・AI・IoT...など、ITを全面的に活用することでこれまでになかった新しいビジネスモデルを実現する企業がどんどん生まれています。自社にてこのような取り組みを進めるうえでの実践的な最重要ポイントを、ビジネス系システムを中心にお伝えします。
CTJ056	Renewal 新時代に向けたビジネスモデル創造の進め方	2日	AIやIoTなどデジタル化の効果享受するためには「顧客に価値を提供し普及させ、組織に利益をもたらす斬新なビジネスモデル」を実現することが大前提となります。本コースでは、斬新なCX(カスタマーエクスペリエンス)を生み出すビジネスモデルをデザインする方法(プロセス・メソッド/ツール)を、ワークショップを通して学びます。
CTJ057	Renewal これからのIT技術者のための超上流要求開発入門 -いま、必要とされるサービスデザインメソッドロジー-	2日	お客様やパートナーに、サービスとして新しいCX(カスタマーエクスペリエンス)を提供するための、サービスデザインとしての要求開発プラクティスが求められています。本コースでは、顧客に対する提供価値をアイデア発想し、斬新なCXを生み出すサービスをデザインする方法(プロセス・メソッド/ツール)を、ワークショップを通して学びます。
CTJ058	Renewal ビジネスモデリングから始める要求分析モデリング	2日	本コースでは、ビジネスモデリングからはじめて、業務プロセス分析からの業務設計の成果にもとづく要求分析モデリングの方法をワークショップで実践します。加えて、複数の要求分析モデルを相互すりあわせることで、「もれがなくだぶりがない」要求分析モデルの実現もめざします。
IOJ006	New IoTソリューションにおける顧客価値とROI-ビジネスモデルキャンバスを使ってIoTビジネスをデザインする-	1日	本コースでは、さまざまな産業インフラに対するIoTシステムの適用に焦点を当てながら、想定する領域における課題を発見し、ヒト、モノ、データを結び付けていくためのIoTサービスのラフデザインをしていきます。また、成果を定量的に把握するための、IoTソリューション導入によるROI算定に必要な要素を学習します。

③ デジタルの価値を開花させるデータ分析・活用

データ活用するためには、分析手法を理解して分析モデルを設計する能力と、AIやBIなどの分析ツールを活用して、実際に価値を検証する能力、及び分析モデルに従って、有効なデータを用意する能力など、さまざまな能力が必要です。新たな価値を発見するための基本を学ぶコースをメニュー化しました。



● データ分析・活用の基礎コース概要

コースコード	コース名	日数	コース概要
CLJ003	クラウドコンピューティング技術解説	1日	クラウドコンピューティングの概要と要素技術、クラウドソリューションの全体像について学習します。
CLJ012	Renewal クラウドアプリケーション開発	2日	クラウド環境によるアプリケーションを効果的に設計するうえで、必須となる「スケール」について学習します。従来の3層アーキテクチャでのアプリケーション構造との比較、留意点などの知識を学習します。
UXJ068	オープンソースソフトウェア(OSS)概説	0.5日	OSSのビジネスモデルや活用領域の紹介を通して、さまざまな分野におけるOSSの利活用手法の基礎を半日で学習します。
SPJ050	体験!最新OSSを活用したDevOps入門	1日	Lumadaでは、お客様とPoCを行いながらサービスを提供していきます。その際に必要となってくるスキルがDevOpsでのアプリケーション開発になります。本コースでは、Lumada Competency CenterのDevOps環境を使い、最新OSS (GitHub, REDMINE, RocketChat, Drone, Hubot, Heaven, Docker)を体験しながら学びます。
SPJ057	Renewal (PDU)実践! DevOpsによるアジャイル開発 -お客様に素早く価値を届けるために-	1日	Redmineを用いてバックログを管理し、GitLabを使ってBDD(振る舞い駆動開発)などのアジャイル開発手法を実践的に学びます。実際の開発のシナリオに合わせて実習を行います。
IOJ001	IoT概説	0.5日	IoTの全体像(IoTを支えるハードウェア関連技術、IoTシステム構成、IoT技術動向)を学習します。
IOJ007	New IoT技術解説 センサ編	0.5日	IoTシステム全体中での詳細動作を解説し、センサをブラックボックスとして扱う考え方を学習します。また、センサの適用事例を複数紹介します。
IOJ002	IoT技術解説 セキュリティ編	0.5日	IoTシステムでのセキュリティの重要性とセキュリティの適用事例を学習します。
SCJ038	情報セキュリティマネジメント運用	1日	部門レベルの情報セキュリティマネジメントの運用に必要な項目とインシデントへの具体的な対応方法について、情報セキュリティマネジメントの観点から、ケーススタディを通して修得します。

④ デジタルトランスフォーメーションを支えるプラットフォームシステム構築

お客様と仮説構築したものを短期間で価値検証するプロトタイプ開発では、従来のウォーターフォール型ではなくDevOpsを使用したアジャイル型の開発手法が適します。また、OT/ITのビッグデータ処理では、イベント駆動型で分散処理するシステム開発のスキルが必要です。

IoT、アナリティクス、共通技術の側面から、それぞれの基本を学ぶコースをメニュー化しました。



● プラットフォームシステム構築関連のコース概要

コースコード	コース名	日数	コース概要
CLJ003	クラウドコンピューティング技術解説	1日	クラウドコンピューティングの概要と要素技術、クラウドソリューションの全体像について学習します。
CLJ012	Renewal クラウドアプリケーション開発	2日	クラウド環境によるアプリケーションを効果的に設計するうえで、必須となる「スケール」について学習します。従来の3層アーキテクチャでのアプリケーション構造との比較、留意点などの知識を学習します。
UXJ068	オープンソースソフトウェア(OSS)概説	0.5日	OSSのビジネスモデルや活用領域の紹介を通して、さまざまな分野におけるOSSの利活用手法の基礎を半日で学習します。
SPJ050	体験!最新OSSを活用したDevOps入門	1日	Lumadaでは、お客様とPoCを行いながらサービスを提供していきます。その際に必要となってくるスキルがDevOpsでのアプリケーション開発になります。本コースでは、Lumada Competency CenterのDevOps環境を使い、最新OSS (GitHub, REDMINE, RocketChat, Drone, Hubot, Heaven, Docker)を体験しながら学びます。
SPJ057	Renewal (PDU)実践! DevOpsによるアジャイル開発 -お客様に素早く価値を届けるために-	1日	Redmineを用いてバックログを管理し、GitLabを使ってBDD(振る舞い駆動開発)などのアジャイル開発手法を実践的に学びます。実際の開発のシナリオに合わせて実習を行います。
IOJ001	IoT概説	0.5日	IoTの全体像(IoTを支えるハードウェア関連技術、IoTシステム構成、IoT技術動向)を学習します。
IOJ007	New IoT技術解説 センサ編	0.5日	IoTシステム全体中での詳細動作を解説し、センサをブラックボックスとして扱う考え方を学習します。また、センサの適用事例を複数紹介します。
IOJ002	IoT技術解説 セキュリティ編	0.5日	IoTシステムでのセキュリティの重要性とセキュリティの適用事例を学習します。
SCJ038	情報セキュリティマネジメント運用	1日	部門レベルの情報セキュリティマネジメントの運用に必要な項目とインシデントへの具体的な対応方法について、情報セキュリティマネジメントの観点から、ケーススタディを通して修得します。

今後も最新の情報をメールマガジンまたはホームページでお知らせいたします。それぞれの技術分野を深く学習したい方は、分野別研修メニューを参照してください。

1 体系的にIT技術修得を進めるための日立講習会コース活用例

日立講習会では、企業や組織で必要となるITの修得に適したコースを各種ご用意しています。階層別研修とともに、IT研修の企画立案の際に日立講習会のコースをぜひご活用ください。

IT修得に必要な一連のコースをご用意しています!!

● 情報システム部門の方向け推奨 IT 研修体系

企業における情報システムの役割は、合理化・効率化を進めるツールから、他社との差別化・競争力強化を図るツールへと変遷しました。ITは、経営戦略や事業戦略を成功に導く重要な要素になりました。

これらの背景から、情報システム部門は、システムの実装技術だけでなく、戦略に結び付くITサービスを企画立案/開発し、継続して提供し続けるスキルが求められます。

日立講習会では、システム化戦略策定から運用管理や実装技術まで一連のIT修得に対応したコースをご用意しています。下記は、日立講習会を活用した情報システム部門の研修体系の一例です。

日立講習会を活用したIT修得コースマップの例

項目	初 級	中 級	上 級
IS 戦略 IS 戦略評価	HSJ156 / 1日間 ソリューション提案のための経営と情報戦略 -経営・事業・情報戦略のあるべき関係性-	CTJ016 / 1日間 (PDU) IT投資対効果の考え方 -IT投資マネジメントの基礎-	IOJ006 / 1日間 IoTソリューションにおける顧客価値とROI -ビジネスモデルキャンバスを使ってビジネスをデザインする-
IS 企画 IS 企画評価		CTJ055 / 1日間 IT主導で攻めのビジネスを実現するための構想立案とIT化企画の作り方 CTJ050 / 1日間 情報システム導入の社内企画・準備、外部委託先選定の業務	CTJ056 / 2日間 新時代に向けたビジネスモデル創造の進め方 CTJ054 / 1日間 IT活用による業務改善を実現するための問題分析と新業務プロセス設計技法 CTJ059 / 2日間 (PDU) ビジネスアナリシスの基礎
システム開発	SJE707 / 4時間 eL【ナビ機能付き】システム開発の基礎 SPJ058 / 2日間 演習で学ぶ!情報システムの役割と開発の進め方	SPJ037 / 2日間 システムのニーズ分析	CTJ046 / 1日間 情報システム導入を成功させる要件定義とベンダー折衝の実践ポイント CTJ026 / 1日間 情報システムのユーザテストと移行・切替・本番稼働の準備業務
要件定義	SPJ024 / 2日間 システムの要件定義技法 CTJ053 / 1日間 現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法	CTJ052 / 2日間 現行システムのリプレイス/改修における現状洗い出しを確実にするための業務フロー作成技法	SPJ054 / 1日間 後工程で怪でないユーザー/業務要件の漏れを未然に防ぐ業務設計と要件定義のコツ CTJ018 / 1日間 非機能要求の考え方
設計技法	OJE007 / 16時間 eL OCUPファンダメンタル資格対策から学ぶUML NWJ139 / 2日間 Webアプリケーション設計の基礎	SPE017 / 5時間 eL 構造化モデリングによるシステムの機能抽出	SPJ056 / 1日間 開発での手戻りを最小限にする要件品質チェックのポイントと基本設計の肝
アプリケーション開発	CBE006 / 16時間 eL アルゴリズムの基礎 -フローチャート編- SPJ028 / 1日間 品質確保のためのソフトウェアテスト SPE012 / 5時間 eL Webシステムテストの考え方と技法 プログラミング言語ごとのコース群	SPE016 / 8時間 eL 実践! テストケース設計 (テスト技法演習編)	SPJ051 / 1日間 実践! テストケース設計 (テスト設計実践編) SPJ038 / 2日間 アプリケーション・アーキテクチャ策定演習
システム基盤	UXE003 / 4時間 eL クラウドコンピューティング入門	サーバ製品ごとのコース群 CLJ005 / 1日間 実機で学ぶ! サーバ仮想化入門 -VMware vSphere, Microsoft Hyper-V, KVM-	CLJ008 / 1日間 実機で学ぶ!クラウドコンピューティング入門 -VMware vSphere, OpenStack, Microsoft Azure, AWS- CLD001 / 2日間 事業と技術の観点から検討するクラウドへの移行と管理-Cloud Essentials-
セキュリティ	SCE701 / 4時間 eL【ナビ機能付き】情報セキュリティ入門 -セキュリティの必要性と対策- SCE706 / 8時間 eL【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説 -セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度-	SCE705 / 6時間 eL【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編-	SCJ038 / 1日間 情報セキュリティマネジメント運用 SCJ039 / 1日間 情報セキュリティマネジメントの評価と改善 SCJ032 / 1日間 ケーススタディから学ぶ情報セキュリティリスクマネジメント
ネットワーク	NWJ103 / 2日間 ネットワーク基礎 NWE715 / 8時間 eL【ナビ機能付き】LANの技術-高可用ネットワーク- NWE716 / 8時間 eL【ナビ機能付き】WANの技術-VPNサービスへの変遷-	NWJ099 / 2日間 TCP/IPプロトコル解析	NWE704 / 6時間 eL【ナビ機能付き】ネットワーク管理解説 NWE028 / 4時間 eL ネットワーク設計基礎 NWJ084 / 2日間 ネットワークトラブル解決
データベース	DBJ045 / 1日間 データベース入門 -解説と操作体験- DBJ055 / 1日間 速習! 1日でわかるデータベース設計の基礎	データベース製品ごとのコース群	DBJ054 / 2日間 データベース設計技法と演習
プロジェクトマネジメント	PMJ065 / 2日間 プロジェクトマネジメント基礎	PMJ066 / 2日間 (PDU) ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践	CTJ022 / 2日間 情報システム部門のための開発工程におけるベンダー・マネジメント プロジェクトマネージャ向けのコース群 CTJ037 / 2日間 (PDU) SEのためのベンダーマネジメント PMJ057 / 1日間 (PDU) PMO視点からのプロジェクト運営改善(アセスメント) PMD009 / 2日間 (PDU)プログラムマネジメント-より価値の高いプロジェクトを提供するために-
IT サービスマネジメント 運用管理・保守	ITJ008 / 1日間 情報システム運用入門 -運用からITサービスへ- ITJ007 / 1日間 IT運用におけるヒューマンエラー予防	ITJ012 / 3日間 (PDU) ITIL® ファンデーション (認定試験付)	ITJ004 / 2日間 システム運用の現状分析・設計力養成ワークショップ SPJ033 / 1日間 保守開発におけるトラブル対策の考え方 HSJ062 / 1日間 事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方 -高信頼性システム実現のために-
システム監査		HSJ018 / 2日間 システムトラブルの予防と是正 -ISMS・システム監査の視点から-	HSJ105 / 2日間 システム監査で学ぶ開発・保守とリスク評価

● SI 企業 / IT 開発ベンダ向け推奨 IT 研修体系

現在のIT産業は、ハードウェアやソフトウェアといったプロダクトの提供だけではなく、顧客企業がめざす経営戦略や事業戦略を実現する IT サービスの提供が重要です。これを実現するために、高い専門性を持つ人材の必要性が高まっています。そのため、企業の競争力強化に向けた体系的な人材育成が重要です。

高い専門性を身につける「基礎体力」として、IT の基本をしっかりと身につけることが重要です。日立講習会では、JP1 や Cosminexus といった製品技術修得のコースに留まらず、IT 基本、情報セキュリティ、ネットワークやデータベースといった汎用的な IT の修得に対応したコースをご用意しています。下記は、日立講習会を活用した研修体系の一例です。

日立講習会を活用した情報システム/ソフトウェア開発技術者のITスキル(ITの基礎体力)修得コースマップの例

項目	初級	中級	上級
IT 基本	<ul style="list-style-type: none"> SJJ009 / 5日間: コンピュータ基礎 SJE701 / 8時間: 【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-ハードウェア編- SJE702 / 8時間: 【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-ソフトウェア編- SJE703 / 4時間: 【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-情報の基礎理論編- SJE704 / 4時間: 【ナビ機能付き】コンピュータ基礎-情報システム編- SCE701 / 4時間: 【ナビ機能付き】情報セキュリティ入門-セキュリティの必要性と対策- NWJ103 / 2日間: ネットワーク基礎 DBJ045 / 1日間: データベース入門-解説と操作体験- 		
クラウド / サーバ仮想化	<ul style="list-style-type: none"> CLJ005 / 1日間: 仮想化技術 実機で学ぶ! サーバ仮想化入門 -VMware vSphere, Microsoft Hyper-V, KVM- CLJ007 / 1日間: 実機で学ぶ! デスクトップ仮想化入門 -Citrix XenDesktopとVMware vSphere- 	<ul style="list-style-type: none"> 仮想化製品提供ベンダーごとのコース群 	
クラウド	<ul style="list-style-type: none"> UXE003 / 4時間: 【eL】クラウドコンピューティング入門 CLJ003 / 1日間: クラウドコンピューティング技術解説 CLJ008 / 1日間: 実機で学ぶ! クラウドコンピューティング入門 -VMware vSphere, OpenStack, Microsoft Azure, AWS- 	<ul style="list-style-type: none"> CLD001 / 2日間: 事業と技術の観点から検討するクラウドへの移行と管理-Cloud Essentials- SPJ040 / 0.5日間: クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向 クラウドサービス提供ベンダーごとのコース群 	
システム基盤			
サーバOS	<ul style="list-style-type: none"> UNIX/Linux: <ul style="list-style-type: none"> UXJ061 / 2日間: UNIX/Linux 基礎 -コマンド編- UXJ049 / 2日間: UNIX/Linux 基礎 -シェルスクリプト編- UXJ029 / 2日間: Linuxシステム管理 前編 -Linuxインストールとシステム ネットワーク管理の基礎- UXJ030 / 2日間: Linuxシステム管理 後編 -システム起動の仕組みとディスク管理技術- UXJ048 / 0.5日間: オープンソースソフトウェア (OSS) 概説 Windows: <ul style="list-style-type: none"> MSJ042 / 2日間: Windows Server 2016 管理概説 MSE305 / 13時間: 【eL】【ナビ機能付き】【マシンプレイ付き】Windows Server 2012 管理概説 Windows Serverの運用目的に応じたコース群 	<ul style="list-style-type: none"> UXJ062 / 2日間: Linuxトラブルシューティング MSJ044 / 2日間: 実践! WindowsとLinux混在環境におけるプラットフォーム構築実習 -Active Directory, DNS, Samba, Apache, ファイアウォール- Windows Serverの運用目的に応じたコース群 	
データベース	<ul style="list-style-type: none"> DBJ055 / 1日間: データベース設計、実装技術 速習1日でわかるデータベース設計の基礎 DBJ043 / 2日間: 基礎から学ぶSQL -現場で使える力をつける- DBE706 / 4時間: 【eL】【ナビ機能付き】データベース実務概説 データベース製品ごとのコース群 	<ul style="list-style-type: none"> DBJ047 / 1日間: 脱初心者のためのSQL -SQLでここまでできる- DBJ054 / 2日間: データベース設計技法と演習 データベース製品ごとのコース群 	
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークシステムの要素技術: <ul style="list-style-type: none"> NWE715 / 8時間: 【eL】【ナビ機能付き】LANの技術-高可用ネットワーク NWE716 / 8時間: 【eL】【ナビ機能付き】WANの技術 -VPNサービスへの変遷- NWJ117 / 1日間: ネットワークインフラ構築 -基礎編- NWE705 / 4時間: 【eL】【ナビ機能付き】ワイヤレスネットワーク概説 -携帯電話・無線LANの基礎- ネットワーク設計: <ul style="list-style-type: none"> NWE028 / 4時間: 【eL】ネットワーク設計基礎 NWE703 / 12時間: 【eL】【ナビ機能付き】IPv6の基礎と移行技術 	<ul style="list-style-type: none"> NWJ133 / 2日間: ネットワークインフラ構築 -スイッチ編- NWJ138 / 2日間: ネットワークインフラ構築 -ルータ編- NWJ120 / 2日間: ネットワークインフラ構築 -冗長化・負荷分散編- NWE708 / 4時間: 【eL】【ナビ機能付き】Software Defined Networking (SDN) 概説-ネットワーク仮想化- 	<ul style="list-style-type: none"> NWE026 / 4時間: 【eL】ネットワーク最新動向 -モバイル技術とデータセンタネットワーク-
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> SCJ706 / 8時間: 【eL】【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説 -セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度- SCE703 / 6時間: 【eL】【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-企業技術(暗号、認証)編- SCE705 / 1日間: 【eL】【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編- SCE704 / 4時間: 【eL】【ナビ機能付き】データベースセキュリティ概説 	<ul style="list-style-type: none"> SCJ038 / 1日間: 情報セキュリティマネジメント運用 SCJ039 / 1日間: 情報セキュリティマネジメントの評価と改善 SCD001 / 5日間: CEH (Certified Ethical Hacker) SCJ032 / 1日間: ケーススタディから学ぶ情報セキュリティリスクマネジメント 	
システム設計 / システム開発	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェアエンジニアリング: <ul style="list-style-type: none"> SJE707 / 4時間: 【eL】システム開発の基礎 SPJ088 / 2日間: 演習で学ぶ! 情報システムの役割と開発の進め方 ニーズ分析、要件定義: <ul style="list-style-type: none"> SPJ024 / 2日間: システムの要件定義技法 CTJ082 / 1日間: 現行システムのリプレイス / 改修における現状洗い出しを確実にするための業務フロー作成技法 SPJ037 / 2日間: システムのユースケース分析 システム設計、業務アプリケーション設計: <ul style="list-style-type: none"> NWJ139 / 2日間: Webアプリケーション設計の基礎 NWJ113 / 1日間: スマートフォンの特性を踏まえたWebアプリケーション設計の考え方 SPE017 / 5時間: 【eL】構造化モデリングによるシステムの機能抽出 モデリング / オブジェクト指向: <ul style="list-style-type: none"> OJE007 / 6時間: 【eL】OCUPファンダメンタル資格対策から学ぶUML OJJ024 / 2日間: UMLによるオブジェクト指向モデリング アプリケーション開発: <ul style="list-style-type: none"> Javaテクノロジー 	<ul style="list-style-type: none"> PMJ006 / 1日間: ソフトウェア開発の品質管理と信頼性 -日立の取り組み紹介- CTJ018 / 1日間: 非機能要求の考え方 SPJ054 / 1日間: 後工程で使えないユーザ / 業務要件の漏れを未然に防ぐ業務設計と要件定義のコツ CTJ059 / 2日間: (PDU)ビジネスアナリシスの基礎 CTJ051 / 1日間: ビジネス要求引き出しのための業務課題抽出のテクニック SPJ038 / 2日間: アプリケーション・アーキテクチャ策定演習 SPJ036 / 2日間: システム化要求を実現するための業務設計 SPJ056 / 1日間: 開発での手戻りを最小限にする要件品質チェックのポイントと基本設計の肝 SPJ039 / 0.5日間: 事例から学ぶ SaaS活用提案のポイント CLJ012 / 2日間: クラウドアプリケーション開発 SPJ050 / 1日間: 体験! 最新OSSを活用したDevOps入門 SPJ057 / 1日間: (PDU)実践! DevOpsによるアジャイル開発 -お客様に早く価値を届けるために- 	<ul style="list-style-type: none"> CTJ060 / 2日間: (PDU)要求の引き出しとマネジメント CTJ021 / 2日間: 戦略的エンタープライズアナリシス
プログラミング	<ul style="list-style-type: none"> アルゴリズム / プログラミング: <ul style="list-style-type: none"> CBJ001 / 2日間: アルゴリズムの基礎 -フローチャート編- CBE006 / 13時間: 【eL】アルゴリズムの基礎 -フローチャート編- プログラミング言語ごとのコース群 テスト技法: <ul style="list-style-type: none"> SPE701 / 4時間: 【eL】【ナビ機能付き】プログラムのテスト技法 SPJ028 / 4日間: 品質確保のためのソフトウェアテスト SPE016 / 4時間: 【eL】実践! テストケース設計 (テスト技法演習編) SPJ051 / 4日間: 実践! テストケース設計 (テスト設計実践編) 	<ul style="list-style-type: none"> SPE012 / 5時間: 【eL】Webシステムテストの考え方と技法 SPJ024 / 1日間: Javaによるテスト駆動開発演習 SPJ025 / 1日間: SeleniumによるWebアプリケーションテスト自動化演習 	
評価、改善、信頼性向上 / リスクマネジメント		<ul style="list-style-type: none"> SPJ033 / 1日間: 保守開発におけるトラブル対策の考え方 HSJ062 / 1日間: 事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方 -高信頼性システム実現のために- 	<ul style="list-style-type: none"> HSJ018 / 2日間: システムトラブルの予防と是正 -ISMS・システム監査の視点から-
プロジェクトマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> PMJ045 / 2日間: プロジェクトマネジメント基礎 	<ul style="list-style-type: none"> PMJ066 / 2日間: (PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践 CTJ037 / 2日間: (PDU) SEのためのベンダーマネジメント 知識エリアごとのコース群 	<ul style="list-style-type: none"> PMJ057 / 1日間: (PDU) PMO視点からのプロジェクト運営改善(アセスメント) PMO009 / 2日間: (PDU)プログラママネジメントより価値の高いプログラマーを育てるために-

日立講習会を活用したITサービス企画/開発/運用管理技術者のITスキル(ITの基礎体力)修得コースマップの例

分野	ITサービス企画/開発/運用管理技術者のITスキル(ITの基礎体力)修得コースマップの例							項目	初級	中級	上級			
	ITサービス戦略	システム構想	システム化計画	業務設計	業務詳細設計	テスト・移行	投資対効果							
新事業・サービスの創成								戦略/マーケティング		HSJ156 / 1日間 ソリューション提案のための経営と情報戦略 -経営・事業・情報戦略のあるべき関係性-	HSJ165 / 1日間 ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向 -イノベーション実現のために-	HSJ017 / 1日間 (PDU) IT戦略の立案 -IT-BSCの活用による-	CTD006 / 2日間 IT経営ストラテジ	
								イノベーション	HSJ163 / 1日間 クリエイティブシンキング	HSJ157 / 2日間 システムシンキング基礎 -問題を構成する互いに影響しあふ要素の「つながり」を可視化する-	HSJ170 / 2日間 イノベティブ思考-単なるアイデアで終わらせないための ロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかた-	HSJ159 / 2日間 顧客価値発見と ビジネスモデルのデザイン	CTJ056 / 2日間 新時代に向けた ビジネスモデル創造の進め方	HSJ158 / 1日間 イノベーションプロセスを強化する シナリオプランニング
								超上流工程		CTJ059 / 2日間 (PDU) ビジネスアナリシスの 基礎	SPJ037 / 2日間 システムのニーズ分析	CTJ051 / 1日間 ビジネス要求引き出しのための 業務課題抽出のテクニック	CTJ040 / 2日間 (PDU) 要求の引き出しと マネジメント	CTJ021 / 2日間 (PDU) 戦略的エンタープライズ アナリシス
サービス企画/開発								サービスプロデュース		IOJ006 / 1日間 IoTソリューションにおける顧客価値とROI -ビジネスモデルキャンバスを使ってIoTビジネスをデザインする-	CTJ055 / 1日間 IT主導で攻めのビジネスを実現する ための構想立案とIT化企画的な作り方	CTJ058 / 2日間 ビジネスモデリングから始める 要求分析モデリング		
								サービスレベル設計	ITE006 / 4時間 eL SLAにおける サービスレベル設計の基礎		CTJ018 / 1日間 非機能要求の考え方			
システム化企画/導入								システム企画	SPJ058 / 2日間 演習で学ぶ!情報システムの 役割と開発の進め方	CTJ054 / 1日間 IT活用による業務改善を実現するための 問題分析と新業務プロセス設計技法	SPJ036 / 2日間 システム化要求を 実現するための業務設計	CTJ054 / 1日間 IT活用による業務改善を実現するための 問題分析と新業務プロセス設計技法		
								要件定義	CTJ053 / 1日間 現場主導で現状業務の見える化を 推進するための業務フロー作成技法	CTJ052 / 1日間 現行システムのリリース/改修における現状洗い 出しを確実にするための業務フロー作成技法	SPJ024 / 2日間 システムの要件定義技法	CTJ018 / 1日間 非機能要求の考え方		
								運用テスト・移行	SPJ028 / 1日間 品質確保のための ソフトウェアテスト		CTJ026 / 1日間 情報システムのユーザーテストと 移行・切替・本番稼働の準備業務			
ITサービス運用								ITシステム運用	ITJ008 / 1日間 情報システム運用入門 -運用からITサービスへ-	ITJ009 / 1日間 IT運用における ヒューマンエラー予防	ITE006 / 4時間 eL SLAにおける サービスレベル設計の基礎			
								クラウド	UXE003 / 4時間 eL クラウドコンピューティング 入門	CLJ008 / 1日間 実機で学ぶ!クラウドコンピューティング入門 -VMware vSphere, OpenStack, Microsoft Azure, AWS-	CLD001 / 2日間 事業と技術の観点から検討するクラウド への移行と管理-Cloud Essentials-	SPJ040 / 0.5日間 クラウドコンピューティングで読み解く ITサービスの最新動向	SPJ039 / 0.5日間 事例から学ぶ SaaS活用提案のポイント	
								セキュリティ	SCE701 / 4時間 eL [ナビ機能付き]情報セキュリティ入門 -セキュリティの必要性と対策-	SCE706 / 8時間 eL [ナビ機能付き]情報セキュリティマネジメント概説 -セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度-	SCJ038 / 1日間 情報セキュリティマネジメント運用	SCJ032 / 1日間 ケーススタディから学ぶ 情報セキュリティリスクマネジメント		
								ネットワーク	NWJ103 / 2日間 ネットワーク基礎	NWE715 / 8時間 eL [ナビ機能付き] LANの技術-高可用ネットワーク-	NWJ099 / 2日間 TCP/IPプロトコル解析	NWE704 / 6時間 eL [ナビ機能付き] ネットワーク管理概説	NWJ084 / 2日間 ネットワークトラブル解決	
								UNIX/Linuxサーバ	UXJ041 / 2日間 UNIX/Linux 基礎 -コマンド編-	UXJ049 / 2日間 UNIX/Linux 基礎 -シェルスクリプト編-	UXJ029 / 2日間 Linuxシステム管理 前編 -Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-	UXJ030 / 2日間 Linuxシステム管理 後編 -システム起動の仕組みとディスク管理技術-	UXJ042 / 2日間 Linuxトラブルシューティング	
								Windowsサーバ	MSJ042 / 2日間 Windows Server 2016 管理概説	MSE001 / 8時間 eL Windowsサーバー管理 入門	MSJ045 / 2日間 実践! Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編-	MSJ047 / 1日間 実践! Windows PowerShellを用いたシステム 管理の効率化-Windows Server 2016編-	MSJ048 / 2日間 実践! Windows Server 2016によるインフラ 構築演習-Windows Server 2016編-	
								DB	DBJ045 / 1日間 データベース入門 -解説と操作体験-	DBJ063 / 2日間 基礎から学ぶSQL -現場で使える力をつける-	SCE704 / 4時間 eL [ナビ機能付き] データベースセキュリティ概説			
								IT投資評価			CTJ016 / 1日間 (PDU) IT投資対効果の考え方 -IT投資マネジメントの基礎-	SPJ008 / 2日間 (PDU) IT投資の評価手法 -IT投資の種類・パターンから効果を考える-		
							ITサービスの品質向上			HSJ062 / 1日間 事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方 -高信頼性システム実現のために-	HSJ018 / 2日間 システムトラブルの予防と是正 -ISMS・システム監査の視点から-			
ITサービスのライフサイクル全体							ITサービスのグローバルスタンダード	ITJ012 / 3日間 (PDU) ITIL®ファンデーション (認定試験付)	ITJ004 / 2日間 システム運用の現状分析・ 設計力養成ワークショップ					

eL eラーニング : コース内で主に扱う工程 : コース内で概要もしくは副次的に扱う工程

All Rights Reserved, Copyright© 2018 Hitachi Information Academy Co., Ltd.

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

TOPICS

1 日立講習会
コース活用例

2 開催コース/
スケジュール一覧

3 講座別コースフロー/
コースカリキュラム

4 研修会場

5 お申込方法

6 受講規約

1 日立講習会
コース活用例

2 開催コース／スケジュール一覧

日立講習会は下記の通り「日立製品研修」と「IT／ビジネス研修」からなり、ITの利活用に必要なコースを多数取り揃えております。

「日立製品研修」、「IT／ビジネス研修」の概要および提供するコースをご紹介します。

※日立製品研修は(株)日立製作所が提供する研修サービスです。IT／ビジネス研修は(株)日立インフォメーションアカデミーが提供する研修サービスです。また、(株)日立インフォメーションアカデミーは(株)日立製作所からの委託を受けて日立製品研修の実施運営を行い、また、日立製品研修の申し込み受付、請求書発行および受講料の受領については(株)日立製作所の代理人として対応します。

日立製品研修

日立製品

日立製作所のオープンミドルウェア、プラットフォームソフトウェアなどを扱うために必要な技術が修得できます。

● JP1

統合システム運用管理ソフトウェアJP1を扱うために必要となる機能や操作、設定方法等の技術が修得できます。

● VOS3 / VOS1 / VOSK

日立メインフレームOSであるVOS3、VOS1、VOSKの使用法や機能、システム運用管理技術が修得できます。

● uCosminexus Application Server

uCosminexus Application Serverを使用したアプリケーション開発やシステム構築を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

● XDM / PDM II

日立メインフレームDB/DCであるXDM、PDM IIの機能や設定、システム運用管理技術が修得できます。

● HiRDB

データベースマネジメントシステムであるHiRDBのシステム運用やアプリケーション開発を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

● Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム

情報系システム向け超高速データベースエンジン、Hitachi Advanced Data Binderのアーキテクチャや導入までのWBS、設計や構築・運用管理に必要なスキルが修得できます。

● OpenTP1

TPモニタであるOpenTP1システムの構築や運用、およびアプリケーションを開発するうえで必要となる知識と技術が修得できます。

IT／ビジネス研修

IoT

IoT(Internet of Things)/M2M(Machine to Machine)の全体像とシステム構築についての詳細技術を理解できます。

ビッグデータ

ビッグデータの有益性及び既存技術との違いを理解し、ITプラットフォーム技術や分析技術が修得できます。

クラウド／サーバ仮想化

サーバ仮想化やクラウドという最新システムについての基礎知識と技術が修得できます。

ITサービスマネジメント

情報システムを活用し、ビジネスを支援するITサービスの業務プロセスを管理・改善するITサービスマネジメントの基礎知識・手法が修得できます。

システム基盤

ネットワーク、データベースやOSなどのシステム基盤構築、管理するために必要な技術が修得できます。

● UNIX/Linux

UNIX/Linuxの機能や操作法を理解し、システム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

● ネットワーク

ネットワークの構成を理解し、LANおよびWANに接続したシステム設計・構築・運用管理に関する技術が修得できます。

● データベース

データベースの概念を理解し、データベースシステムを構築するための技術が修得できます。

● Microsoft

Windows ServerなどのMicrosoft製品を使用した、システム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

● セキュリティ

個人情報保護や情報セキュリティに関する基礎知識、セキュリティを考慮したシステム構築・管理に必要な技術が修得できます。

IT戦略・IS企画／システム設計

システム計画／システム設計を行うために必要な知識・技術が修得できます。

● IT戦略・IS企画

IT戦略・企画立案やプロセス評価、BA(Business Analysis)に関する知識や手法が修得できます。

● システム設計

情報システムの開発に必要な基礎知識や、開発手順、分析、設計技法が修得できます。

アプリケーション開発

システム開発／アプリケーション開発を行うために必要な技術が修得できます。

● Webアプリケーション

各種プログラミング言語を使用したWebアプリケーションの開発技術が修得できます。

● スマートデバイス

スマートデバイスをビジネスに活用するための基礎知識や、アプリケーションを設計開発する技術が修得できます。

● オブジェクト指向／UML

オブジェクト指向の基本概念やUMLによるシステム分析、設計、プログラミングが修得できます。

● 言語

各種プログラミング言語を使用したプログラム開発を行うために必要な基本文法や、プログラミング技術が修得できます。

IT基本

社会人としての基本動作、IT基礎力および情報処理資格取得のために必要な知識や技術が修得できます。

● IT基本

IT技術者の前提として求められる知識が修得できます。

● ハードウェア

サーバ・ストレージシステムの構築・活用に有効なハードウェア技術が修得できます。

● 情報処理資格

資格取得に向け、知識や解答技法が修得できます。

情報リテラシ

情報の扱い方、特にコンピュータを利用して業務を行うための基礎的な知識や技術が修得できます。

ビジネス／ヒューマン

仕事を進めるうえで必要となるスキル(ロジカルシンキング、コミュニケーション、ライティング、リーダーシップ、業務知識など)が修得できます。

プロジェクトマネジメント

情報システム開発プロジェクトの計画・実行を行うために必要な知識や手順、技法が修得できます。

グローバル

グローバルでビジネスを進めるうえで必要となるスキル(グローバルマインドセット、各国の動機付け要因、反発要因など)が修得できます。

コンプライアンス

個人情報保護や情報セキュリティ、内部統制といった、コンプライアンス意識向上に不可欠な知識が修得できます。

 新設コース

分野	コースコード	コース名	日数*	
● 日立製品				
JP1	JPE015	<eラーニング>JP1エンジニア-機能概説-(Version 11)	90日	
	JPE321	<eラーニング>【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理(Version 11)	21日	
● IoT				
IoT	IOJ007	IoT技術解説 センサ編	0.5日	
	IOJ008	「IoTシステム技術検定(基礎検定)」対策講座	1日	
	IOJ010	IoTにおけるイベント駆動型システム開発入門-Hitachi Application Framework/Event Driven Computing (HAF/EDC)による故障予知診断を例にして-	0.5日	
	IOJ009	IoTにおけるイベント駆動型システム開発実践-Hitachi Application Framework/Event Driven Computing (HAF/EDC)によるアプリケーション、システム開発演習を通して-	2日	
	IOE001	<eラーニング>デジタルソリューションで活用するIT技術概説	90日	
	IOJ006	IoTソリューションにおける顧客価値とROI-ビジネスモデルキャンパスを使ってIoTビジネスをデザインする-	1日	
● ビッグデータ				
ビッグデータ	DBJ110	NVIDIA Deep Learning Institute (DLI) 認定コース 1日のできるディープラーニング-画像認識入門-	1日	
	PTD006	(Pentaho認定) PentahoとHadoopフレームワークの基本	2日	
● クラウド / サーバ仮想化				
クラウド / サーバ仮想化	VMJ006	VMware vSphere システム構築実習 [V6.5] -実装編-	2日	
● システム基盤				
UNIX/Linux	Linux	UXJ073	<研修室自習型>Linuxで実現! DNS、Webサーバの構築-BIND、Apache編-	1日
		UXJ074	<研修室自習型>Linuxで構築するKVM仮想化環境	1日
	OSS	UXJ072	OSS-DB PostgreSQL 導入と運用	2日
Microsoft	Windows Server 2016	MSE307	<演習環境>Active Directoryの基礎-Windows Server 2016編-	21日
		SCE707	<eラーニング>【ナビ機能付き】グループポリシーを使用したセキュリティ強化-Windows Server 2016編-	90日
		MSE308	<演習環境>グループポリシーを使用したセキュリティ強化-Windows Server 2016編-	21日
	SharePoint	OAE026	<eラーニング>SharePointによる社内ポータル作成入門	90日
セキュリティ	情報セキュリティ	SCJ041	セキュリティ最新動向	0.5日
データベース	共通	DBE339	<演習環境>SQL操作入門	21日
	Oracle	DBE340	<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Unlimited Product Learning Subscription	365日
● IT戦略・IS企画/システム設計				
システム設計	SJE707	<eラーニング>【ナビ機能付き】システム開発の基礎	90日	
	UXJ070	gitによるソフトウェア構成管理	1日	

*eラーニングの日数欄には、サービス有効期間を表記しています。

【スマートデバイス対応】パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。

【PDU】: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

分野	コースコード	コース名	日数*
● アプリケーション開発			
言語	Java	OJE020 <eラーニング>【スキル定着】Javaプログラミング1(前編) スマートデバイス対応	90日
		OJE021 <eラーニング>【スキル定着】Javaプログラミング1(後編) スマートデバイス対応	90日
		OJJ021 ハンズオン Java8/9新機能	2日
● IT基本			
情報処理資格	春秋期実施試験対策	SJE275 <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 ITパスポート試験【IP】	90日
		SJE277 <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 基本情報技術者試験【FE】	90日
		SJE278 <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 応用情報技術者試験【AP】	90日
		SJE276 <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 情報セキュリティマネジメント試験【SG】	90日
		SJE279 <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 情報処理安全確保支援士試験【SC】	90日
	秋期実施試験対策	SJE280 <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 ネットワークスペシャリスト試験【NW】	90日
		SJE281 <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 ITストラテジスト試験【ST】	90日
		SJE282 <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 システムアーキテクト試験【SA】	90日
		SJE283 <eラーニング>集中演習 2018年 秋期 ITサービスマネージャ試験【SM】	90日
● プロジェクトマネジメント			
プロジェクトマネジメント	PME007 <eラーニング>【ナビ機能付き】プロジェクトマネジメント基礎	90日	
	PMJ063 (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー PDU	2日	
	PMJ064 (PDU) PMBOK®ガイド第5版と第6版の差分講座-半日でわかる第6版- PDU	0.5日	
● ビジネス/ヒューマン			
ビジネス/ヒューマン	思考法	HSJ175 データ活用のパターンとビジネス着想	0.5日
		HSE302 <eラーニング>【スキル定着】相手を納得させる論理構成力を磨く スマートデバイス対応	90日
	プレゼンテーション	HSE301 <eラーニング>【スキル定着】ビジュアルデザイン スマートデバイス対応	90日
		定量的分析	OAJ048 Excelによるデータ可視化-Excelでビジュアルに強くなる-
	OAJ047 Excelによる売上データ分析-Excelではじめるデータ活用の第一歩-		1日
	DBJ107 0から始めるPython入門-データ分析での活用をテーマとして-		2日
	2Wayコミュニケーション	HSJ174 (PDU)ストラクチャード・コミュニケーション-会議を空中戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考える- PDU	1日

*eラーニングの日数欄には、サービス有効期間を表記しています。
スマートデバイス対応:パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。
PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

改訂コース

コース内容の大幅な変更(改訂)と、コース名称を変更したものは下記の通りです。改訂したコースについては、表右側の「改訂のポイント」をご覧ください。

分野	コースコード	コース名	日数*	改訂のポイント
● クラウド / サーバ仮想化				
クラウド / サーバ仮想化	UXE003	<eラーニング>クラウドコンピューティング入門 旧コースコードおよび名称>> UXE002 <eラーニング>クラウドコンピューティング入門	90日	コースコードの変更
		クラウドアプリケーション開発 旧コースコードおよび名称>> CLJ006 クラウドアプリケーション開発	2日	内容の改訂
● ITサービスマネジメント				
ITサービスマネジメント	ITIL® ITJ012	(PDU) ITIL® ファンデーション(認定試験付) PDU 旧コースコードおよび名称>> ITJ010 (PDU) ITIL® ファンデーション(認定試験付) PDU	3日	受講料の改定
● システム基盤				
UNIX/Linux	Linux UXJ071	Linuxで構築するクラウド基盤-OpenStack編- 旧コースコードおよび名称>> UXJ066 Linuxで構築するクラウド基盤-OpenStack編-	2日	ソフトウェアのバージョンアップにより改訂
ネットワーク	NWE715	<eラーニング>【ナビ機能付き】LANの技術-高可用ネットワーク- 旧コースコードおよび名称>> NWE701 <eラーニング>【ナビ機能付き】LANの技術-高可用ネットワーク-	90日	操作性向上のため改訂
		<eラーニング>【ナビ機能付き】WANの技術-VPNサービスへの変遷- 旧コースコードおよび名称>> NWE702 <eラーニング>【ナビ機能付き】WANの技術-VPNサービスへの変遷-	90日	操作性向上のため改訂
● IT戦略・IS企画/システム設計				
IT戦略・IS企画	CTJ059	(PDU)ビジネスアナリシスの基礎 PDU 旧コースコードおよび名称>> CTJ019 (PDU)ビジネスアナリシスのイントロダクション PDU	2日	BABOK V3に対応し、コース名称の変更、および内容を改訂
		(PDU)要求の引き出しとマネジメント PDU 旧コースコードおよび名称>> CTJ020 (PDU)要求の引き出しと文書化 PDU	2日	BABOK V3に対応し、コース名称の変更、および内容を改訂
	CTJ054	IT活用による業務改善を実現するための問題分析と新業務プロセス設計技法 旧コースコードおよび名称>> CTJ049 ビジネス視点からのIT活用と業務プロセス改善の立案技法-IT化企画の基礎から実践まで-	1日	コース名称の変更、および内容の改訂
	CTJ055	IT主導で攻めのビジネスを実現するための構想立案とIT化企画の作り方 旧コースコードおよび名称>> CTJ030 ビジネス視点からのITサービスデザインの進め方、および CTJ049 ビジネス視点からのIT活用と業務プロセス改善の立案技法-IT化企画の基礎から実践まで-	1日	コース名称の変更、および内容の改訂
	CTJ053	現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法 旧コースコードおよび名称>> CTJ048 現状業務の洗い出しを確実に実現するための業務フロー作成-書き方・書かせ方-	1日	コース名称の変更、および内容の改訂
	CTJ052	現行システムのリプレイス/改修における現状洗い出しを確実にするための業務フロー作成技法 旧コースコードおよび名称>> CTJ048 現状業務の洗い出しを確実に実現するための業務フロー作成-書き方・書かせ方-	1日	コース名称の変更、および内容の改訂
	CTJ056	新時代に向けたビジネスモデル創造の進め方 旧コースコードおよび名称>> CTJ040 ビッグデータ×人工知能で創造するデジタルビジネス構想企画の進め方、および CTJ041 新しい収益を生み出すICTサービス事業構想企画の進め方入門	2日	コース名称の変更、および内容の改訂

分野	コースコード	コース名	日数*	改訂のポイント
IT戦略・IS企画	CTJ057	これからのIT技術者のための超上流要求開発入門 -いま、必要とされるサービスデザインメソッドロジック-	2日	コース名称の変更、および内容の改訂
	CTJ058	ビジネスモデリングからはじめる要求分析モデリング	2日	コース名称の変更、および内容の改訂
システム設計	SPJ058	演習で学ぶ! 情報システムの役割と開発の進め方	2日	開発技術変化に対応し、内容の改訂
	SPE017	<eラーニング>構造化モデリングによるシステムの機能抽出	90日	操作性向上のため改訂
	SPJ057	(PDU)実践! DevOpsによるアジャイル開発 -お客様に素早く価値を届けるために-	1日	PDU対象コースに改訂
	SPJ054	後工程で慌てない! ユーザ/業務要件の漏れを未然に防ぐ業務設計と要件定義のコツ	1日	コース名称の変更、および内容の改訂
	SPJ055	業務要件とユーザビリティを確保するための要件定義のポイント	1日	コース名称の変更、および内容の改訂
	SPJ056	開発での手戻りを最小限にする要件品質チェックのポイントと基本設計の肝	1日	コース名称の変更、および内容の改訂

● アプリケーション開発

オブジェクト指向/UML	OJJ024	UMLによるオブジェクト指向モデリング	2日	開催時間を変更	
	OJJ025	UMLによるオブジェクト指向設計とプログラミング	2日	開催時間を変更	
言語	共通	CBE006	<eラーニング>アルゴリズムの基礎-フローチャート編-	90日	コースコードの変更
		OJJ026	Javaによるデータベース・プログラミング	2日	開催時間を変更

● プロジェクトマネジメント

プロジェクトマネジメント	PMJ065	プロジェクトマネジメント基礎	2日	PMBOK®ガイド第6版に対応した版に改訂
	PMJ066	(PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践	2日	PMBOK®ガイド第6版に対応した版に改訂
	PMD014	(PDU) PRINCE 2®ファンデーション(認定試験付き)	3日	受講料の改定

*eラーニングの日数欄には、サービス有効期間を表記しています。
 (スマートデバイス対応): パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。
 PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

プロジェクトマネジメント	PMD015	(PDU) PRINCE 2®プラクティショナ(認定試験付き)	2日	受講料の改定
		旧コースコードおよび名称>> PMD011 (PDU) PRINCE 2®プラクティショナ(認定試験付き)		

● ビジネス/ヒューマン

ビジネス/ヒューマン	思考法	HSJ170	イノベティブ思考 -単なるアイデアで終わらせないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかた-	2日	コース名称の変更、および受講料の改定
	ネゴシエーション	HSE711	<eラーニング>【ナビ機能付き】協創を生みだす交渉(基礎知識編)	90日	操作性向上のため改訂

📌 廃止コース

新設コースの実施や大幅な内容改訂を図り、ニーズの高いコース・お役に立てるコースの充実に努めております。そのため、大変ご迷惑をお掛けしますが、次のコースを廃止とさせていただきます。なお、下記廃止コースのうち、内容が同等または類似のコースがある場合は、廃止コース名の下段に対象のコース名をご紹介します。コースの詳細は日立インフォメーションアカデミーのホームページをご覧ください。

分野	コースコード	コース名	日数*
● 日立製品			
JP1	JPE007	<eラーニング>JP1プロフェッショナル 認定資格試験 統合管理 問題集 (Version 11)	90日
	JPE008	<eラーニング>JP1プロフェッショナル 認定資格試験 ジョブ管理 問題集 (Version 11)	90日
	JPE009	<eラーニング>JP1プロフェッショナル認定資格試験 ネットワーク管理 問題集 (Version 11)	90日
	JPE010	<eラーニング>JP1プロフェッショナル 認定試験 パフォーマンス管理問題集 (Version 11)	90日
uCosminexus Application Server	CSJ017	uCosminexus Application Server 入門-構築基礎-	1日
	CSJ018	uCosminexus Application Server 実践1-設計・構築-	2日

● システム基礎

UNIX/Linux	Linux	UXJ065	Linuxで実現! DNS、メール、Webサーバの構築-BIND、Postfix、Apache、Squid編-	3日
		UXJ058	Linuxで構築するKVM仮想化環境	2日

分野	コースコード	コース名	日数*
Microsoft	Windows Server 2012	MSJ031 Windows Server 2012管理概説 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> MSE305 <eラーニング>【ナビ機能付き】【マシン演習付き】Windows Server 2012管理概説	2日
		MSJ037 Active Directoryの基礎 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> MSE304 <eラーニング>【マシン演習付き】Active Directoryの基礎	2日
		MSD037 Active Directoryの管理	2日
	SharePoint	MSD038 グループポリシーによるユーザーデスクトップ環境の管理 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> SCE707 <eラーニング>【ナビ機能付き】グループポリシーを使用したセキュリティ強化～Windows Server 2016編～	1日
		OAJ045 SharePointによる社内ポータル作成入門 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> OAE026 <eラーニング>SharePointによる社内ポータル作成入門	1日
		MSE303 <eラーニング>【マシン演習付き】IISによるWebサーバー構築	21日
セキュリティ	セキュリティ技術	SCD002 CHF1(Computer Hacking Forensic Investigator)	5日
		SCD003 ECSP(EC-Council Certified Secure Programmer)	3日

● IT戦略・IS企画/システム設計

IT戦略・IS企画	CTD005 CCBA®/CBAP® 試験対策コース PDU	3日
	CTJ047 情報システム部門におけるビジネス視点からのITプロフェッショナル養成-育て方・育ち方-	1日
システム設計	SJE011 <eラーニング>システム開発の基礎 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> SJE707 <eラーニング>【ナビ機能付き】システム開発の基礎	90日
	SPJ049 顧客に新しいユーザーエクスペリエンスをもたらすサービスデザインのためのプロトタイプとテストの進め方	2日

● アプリケーション開発

言語	VB/VC#	コース名	日数*
		VBE002 <eラーニング>初心者のためのVisual Basic .NET操作と文法 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> VBJ038 Visual Basic プログラミング	90日
		VBE003 <eラーニング>初心者のためのVisual Basic 2005操作と文法 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> VBJ038 Visual Basic プログラミング	90日

● IT基本

情報処理資格	春秋期実施試験対策	SJE267 <eラーニング>集中演習 2018年春期 ITパスポート試験【IP】 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> SJE275 <eラーニング>集中演習 2018年秋期 ITパスポート試験【IP】	90日
		SJE269 <eラーニング>集中演習 2018年春期 基本情報技術者試験【FE】 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> SJE277 <eラーニング>集中演習 2018年秋期 基本情報技術者試験【FE】	90日
		SJE270 <eラーニング>集中演習 2018年春期 応用情報技術者試験【AP】 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> SJE278 <eラーニング>集中演習 2018年秋期 応用情報技術者試験【AP】	90日

分野	コースコード	コース名	日数*
情報処理資格	春秋期実施試験対策	SJE268 <eラーニング>集中演習 2018年春期 情報セキュリティマネジメント試験【SG】 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> SJE276 <eラーニング>集中演習 2018年秋期 情報セキュリティマネジメント試験【SG】	90日
		SJE274 <eラーニング>集中演習 2018年春期 情報処理安全確保支援士試験【SC】 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> SJE279 <eラーニング>集中演習 2018年秋期 情報処理安全確保支援士試験【SC】	90日
	春期実施試験対策	SJE272 <eラーニング>集中演習 2018年春期 データベーススペシャリスト試験【DB】	90日
		SJE271 <eラーニング>集中演習 2018年春期 プロジェクトマネージャ試験【PM】	90日
		SJE273 <eラーニング>集中演習 2018年春期 システム監査技術者試験【AU】	90日

● プロジェクトマネジメント

プロジェクトマネジメント	PME003 <eラーニング>プロジェクトマネジメント基礎	90日
	PMJ052 (PDU) PMBOK®ガイド 第5版セミナー PDU	2日
	PME006 <eラーニング>(PDU) PMBOK®ガイド 第4版と第5版の差分講座-半日でわかる第5版- PDU	90日

● ビジネス/ヒューマン

ビジネス/ヒューマン	業務知識	HSJ167 アカウントティングと経営分析の基礎	2日
		HSJ168 (PDU)実践で身に付ける原価計算 PDU	1日

● セールス

セールス	SLJ004 セールス活動基礎	2日
------	--------------------	----

*eラーニングの日数欄には、サービス有効期間を表記しています。

【スマートデバイス対応】:パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

開催コース/スケジュール一覧

日立製品 (コースコード末尾に「T」を表示しているコースは「試験付」です。「試験」は研修終了後に実施します。)

分野	コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込) [*]	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月
JP 1													
	JPJ085 (JPJ085T)		JP1エンジニア機能概説-(Version 11)	¥43,200 (¥49,680)	1日	レクチャ	東京(大森) 大阪 名古屋	19 28	28 18		3 7	7 6	6
	JPE015	New	<eラーニング> JP1エンジニア機能概説-(Version 11)	¥30,240	5時間	eラーニング							5, 12, 19
	JPJ084		JP1操作入門(Version 11)	¥43,200	1日	マシン実習	東京(大森) 大阪 名古屋	20 17	18		30 3		3
	JPJ086		JP1プロフェッショナル 統合管理1 -システム監視-(Version 11)	¥108,000	2日	マシン実習	東京(大森) 大阪 名古屋		21~22	19~20	31~	1	4~5 25~26
	JPE315		<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル 統合管理1 -システム監視-(Version 11)	¥108,000	16時間	eラーニング マシン実習		3	8	5	3	7	4
	JPJ087 (JPJ087T)		JP1プロフェッショナル 統合管理2 -システム設定-(Version 11)	¥108,000 (¥116,640)	2日	マシン実習	東京(大森) 大阪 名古屋		23~24	21~22		2~3	6~7 27~28
	JPE316		<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル 統合管理2 -システム設定-(Version 11)	¥108,000	16時間	eラーニング マシン実習		3	8	5	3	7	4
	JPJ088 (JPJ088T)		JP1プロフェッショナル 統合管理セットコース (Version 11)	¥194,400 (¥203,040)	4日	マシン実習	東京(大森) 大阪 名古屋		21~24	19~22	31~	3	4~7 25~28
	JPJ090		JP1プロフェッショナル ジョブ管理1 -ジョブ定義・監視-(Version 11)	¥108,000	2日	マシン実習	東京(大森) 大阪 名古屋	23~24	14~15, 28~29	12~13, 26~27	9~10, 24~25	6~7, 27~28	11~12, 25~26 11~12
	JPE313		<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル ジョブ管理1 -ジョブ定義・監視-(Version 11)	¥108,000	12時間	eラーニング マシン実習		3	8	5	3	7	4
	JPJ091 (JPJ091T)		JP1プロフェッショナル ジョブ管理2 -システム設定・運用管理-(Version 11)	¥108,000 (¥116,640)	2日	マシン実習	東京(大森) 大阪 名古屋	25~26	16~17, 30~31	14~15, 28~29	11~12, 26~27	8~9, 29~30	13~14, 27~28 13~14
	JPE314		<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル ジョブ管理2 -システム設定・運用管理-(Version 11)	¥108,000	12時間	eラーニング マシン実習		3	8	5	3	7	4
	JPJ092 (JPJ092T)		JP1プロフェッショナル ジョブ管理セットコース (Version 11)	¥194,400 (¥203,040)	4日	マシン実習	東京(大森) 大阪 名古屋	23~26	14~17, 28~31	12~15, 26~29	9~12, 24~27	6~9, 27~30	11~14, 25~28 11~14
	JPJ102		JP1/AJS3 エキスパート育成講座-開発編-	¥54,000	1日	マシン実習	東京(大森)				9		
	JPJ103		JP1/AJS3 エキスパート育成講座-運用編-	¥54,000	1日	マシン実習	東京(大森)				10		
	JPJ093		JP1プロフェッショナル IT運用自動化 (Version 11)	¥108,000	2日	マシン実習	東京(大森)				5~6		
	JPJ096		JP1プロフェッショナル ネットワーク管理1 -ネットワーク管理基礎-(Version 11)	¥108,000	2日	マシン実習	東京(大森) 大阪		21~22	20~21	23~24	27~28 29~30	
	JPJ097 (JPJ097T)		JP1プロフェッショナル ネットワーク管理2 -システムリソース管理-(Version 11)	¥54,000 (¥62,640)	1日	マシン実習	東京(大森) 大阪		23	22	25	29 31	
	JPJ098 (JPJ098T)		JP1プロフェッショナル ネットワーク管理セットコース (Version 11)	¥140,400 (¥149,040)	3日	マシン実習	東京(大森) 大阪		21~23	20~22	23~25	27~29 29~31	

*受講料(税込)は、2018年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の最新税率を適用した金額となります。
 *日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。
 *学習テキストは(株)日立インフォメーションアカデミーの商品であり、受講料には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
 *eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。
 *eラーニングコースの受講料欄には、標準サービス費を表記しています。ヘルプデスクサービスをご利用の際は、受講料のほか別途ヘルプデスクサービスが必要となります(一部コースは対象外)。ヘルプデスクサービスの有無、費用については、ホームページをご覧ください。

分野	コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込) [*]	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	JPJ094 (JPJ094T)		JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 (Version 11)	¥108,000 (¥116,640)	2日	マシン実習	東京(大森)				5~6	23~24	
	JPJ101 (JPJ101T)		JP1プロフェッショナル セキュリティ管理 (Version 11)	¥54,000 (¥62,640)	1日	マシン実習	東京(大森)					21	
	JPJ089 (JPJ089T)		JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 (Version 11)	¥108,000 (¥116,640)	2日	マシン実習	東京(大森) 大阪		24~25		2~3		10~11 23~24
	JPE321	New	<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 (Version 11)	¥108,000	12時間	eラーニング マシン実習							4
	JPE308		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/IM 管理1 -システム監視-(Version 10)	¥86,400	12時間	eラーニング マシン実習		3	8	5	3	7	4
	JPE309		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/IM 管理2 -システム設定-(Version 10)	¥86,400	12時間	eラーニング マシン実習		3	8	5	3	7	4
	JPE310		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/PFM (Version 10)	¥86,400	12時間	eラーニング マシン実習		3	8	5	3	7	4
	JPJ100 (JPJ100T)	休講	JP1プロフェッショナル バックアップ管理 (Version 11)	¥54,000 (¥62,640)	1日	マシン実習							
	JPJ211 (JPJ211T)		JP1コンサルタント ジョブ管理 -チューニング編-(Version 11)	¥54,000 (¥64,800)	1日	レクチャ	東京(大森)			22			7
	JPJ210		JP1コンサルタント ジョブ管理 -システム設計編-(Version 11)	¥54,000	1日	レクチャ	東京(大森)			21			6
	JPJ212 (JPJ212T)		JP1コンサルタント 資産・配布管理 (Version 11)	¥54,000 (¥64,800)	1日	レクチャ	東京(大森)						12
	JPJ208 (JPJ208T)		JP1コンサルタント 統合管理 (Version 11)	¥54,000 (¥64,800)	1日	レクチャ	東京(大森)						4
	JPJ209 (JPJ209T)		JP1コンサルタント パフォーマンス管理 (Version 11)	¥54,000 (¥64,800)	1日	レクチャ	東京(大森)						3
	JPJ213 (JPJ213T)		JP1コンサルタント ネットワーク管理 (Version 11)	¥54,000 (¥64,800)	1日	レクチャ	東京(大森)					24	
	JPJ065	休講	JP1操作入門(Version 10)	¥32,400	1日	マシン実習							
	JPE006		<eラーニング> JP1機能概説 (Version 10)	¥27,540	6時間	eラーニング		4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19
	JPJ067	休講	JP1プロフェッショナル 統合管理1 -システム監視-(Version 10)	¥86,400	2日	マシン実習							
	JPJ068	休講	JP1プロフェッショナル 統合管理2 -システム設定-(Version 10)	¥86,400	2日	マシン実習							
	JPJ069	休講	JP1プロフェッショナル 統合管理セットコース (Version 10)	¥151,200	4日	マシン実習							
	JPJ070	休講	JP1プロフェッショナル アベイラビリティ管理 (Version 10)	¥86,400	2日	マシン実習							
	JPJ071	休講	JP1プロフェッショナル ジョブ管理1 -ジョブ定義・監視-(Version 10)	¥86,400	2日	マシン実習							
	JPJ072	休講	JP1プロフェッショナル ジョブ管理2 -システム設定・運用管理-(Version 10)	¥86,400	2日	マシン実習							
	JPJ073	休講	JP1プロフェッショナル ジョブ管理セットコース (Version 10)	¥151,200	4日	マシン実習							
	JPE311		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 管理1 -ジョブ定義・監視-(Version 10)	¥86,400	12時間	eラーニング マシン実習		3	8	5	3	7	4
	JPE312		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 管理2 -システム設定・運用管理-(Version 10)	¥86,400	12時間	eラーニング マシン実習		3	8	5	3	7	4

New : 新設コース 改訂コース 休講 : 今期の定期開催はありません
 *スマートデバイス対応 : ハンズオン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。 PDU : PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
 学習形態: 3. 「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.55)を参照ください。

分野	コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	JPE302		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 -ジョブ定義・監視-(Version 9)	¥86,400	12時間		学習開始日	3	8	5	3	7	4
	JPJ080	休講	JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1 -ソフトウェア配布・資産管理-(Version 10)	¥86,400	2日								
	JPJ075	休講	JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1 -ネットワーク管理基礎-(Version 10)	¥86,400	2日								
	JPJ076	休講	JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2 -システムリソース管理-(Version 10)	¥43,200	1日								
	JPJ077	休講	JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース(Version 10)	¥108,000	3日								
	JPJ079	休講	JP1プロフェッショナル セキュリティ管理 -情報漏えい防止-(Version 10)	¥43,200	1日								
	11653		【日立パートナー様 限定コース】 JP1セールスコーディネーター (Version 11)	¥24,840	1日		東京(大森)		18		23		
uCosminexus Application Server													
	CSE302		<eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 入門 -構築基礎-	¥32,400	6時間		学習開始日	3	8	5	3	7	4
	CSE303		<eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 実践1 -設計・構築-	¥86,400	12時間		学習開始日	3	8	5	3	7	4
	CSE304		<eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 実践2 -トラブルシューター-	¥43,200	6時間		学習開始日	3	8	5	3	7	4
	CSE001		<eラーニング> uCosminexus Application Server 実践3 -性能設計・性能対策-	¥32,940	6時間		学習開始日	4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19

※下記集合研修のコースについてお問い合わせがある場合は、日立オープンミドルウェア技術者認定センターまでご連絡願います。
 [CSJ017 uCosminexus Application Server入門-構築基礎-]
 [CSJ018 uCosminexus Application Server実践1-設計・構築-]
【日立オープンミドルウェア技術者認定センター問い合わせ窓口】
https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/soft/cert_contact/form.jsp

HiRDB													
分野	コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	DBJ064		HiRDB入門 -データベース構築編-	¥32,400	1日		東京(大森)	23		29			
	DBE338		<eラーニング>【ナビ機能付き】【マシン演習付き】 HiRDB入門-データベース構築編-	¥32,400	7時間		学習開始日	3	8	5	3	7	4
	DBE307		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDB入門 -GUIによる構築・運用・チューニング操作体験編-	¥32,400	7時間		学習開始日	3	8	5	3	7	4
	DBE015		<eラーニング> HiRDB 機能解説	¥26,460	7時間		学習開始日	4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19
	DBJ092		HiRDB データベース管理	¥64,800	2日		東京(大森)	7~8		23~24			
	DBE305		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDB データベース管理	¥64,800	12時間		学習開始日	3	8	5	3	7	4
	DBJ093		HiRDB アプリケーションプログラミング	¥32,400	1日		東京(大森)				6		
	DBE306		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDB アプリケーションプログラミング	¥32,400	6時間		学習開始日	3	8	5	3	7	4
	DBE026		<eラーニング> HiRDB データベースチューニング	¥30,240	6時間		学習開始日	4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19
	DBJ095		HiRDB アプリケーションチューニング	¥86,400	2日		東京(大森)					2~3	
	DBE318		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDB アプリケーションチューニング	¥86,400	13時間		学習開始日	3	8	5	3	7	4

※受講料(税込)は、2018年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の新税率を適用した金額となります。
 ※日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。
 ※学習テキストは(株)日立インフォメーションアカデミーの商品であり、受講料には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
 ※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。
 ※eラーニングコースの受講料には、標準サービス費を表記しています。ヘルプデスクサービスをご利用の際は、受講料のほか別途ヘルプデスクサービスが必要となります(一部コースは対象外)。
 ヘルプデスクサービスの有無、費用については、ホームページをご覧ください。

分野	コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	DBE330		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDBバックアップリカバリとクラスタリング	¥86,400	12時間		学習開始日	3	8	5	3	7	4
	DBE329		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDBパラレルサーバ構築	¥86,400	13時間		学習開始日	3	8	5	3	7	4
OpenTP1													
	DBJ009		OpenTP1基礎	¥32,400	1日		東京(大森)		18				
	DBE709		<eラーニング>【ナビ機能付き】 OpenTP1基礎	¥20,520	6時間		学習開始日	4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19
	DBJ041		OpenTP1の設計と運用-Server Base編-	¥86,400	2日		東京(大森)				19~20		
	DBE023		<eラーニング> OpenTP1の設計と運用-MCF編-	¥19,440	6時間		学習開始日	4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19
	DBE014		<eラーニング> OpenTP1性能チューニング解説	¥10,800	4時間		学習開始日	4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19
VOS3/VOS1/VOSK													
	-		オペレーティングシステム入門(自習テキスト)	¥2,160	15時間								
	VSJ016		VOS3基礎1-はじめてのメインフレーム-	¥32,400	1日		東京(大森) 大阪				9	6	3
	VSE003		<eラーニング> VOS3基礎1-はじめてのメインフレーム-	¥18,360	8時間		学習開始日	4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19
	VSJ015		VOS3基礎2-JCL-	¥60,480	2日		東京(大森) 大阪				10~11	7~8	4~5
	VSE002		<eラーニング> VOS3基礎2-JCL- スマートデバイス対応	¥35,640	16時間		学習開始日	4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19
	VSJ011		VOS3システム解説	¥32,400	1日		東京(大森)				12		6
	VSJ017		VOS3応用-VSAMデータセットの活用-	¥32,400	1日		東京(大森)						7
	VSJ018	休講	VOS3ジョブ管理解説	¥60,480	2日								
	-		VOS1使用法(自習テキスト)	¥8,640	12時間								
	-		VOS1機能解説(自習テキスト)	¥8,640	12時間								
	-		VOSK使用法(自習テキスト)	¥8,640	12時間								
	-		VOSKシステム運用と管理(自習テキスト)	¥8,640	12時間								
XDM/PDMII													
	DBE016		<eラーニング> XDMリレーショナル DB機能と設定-環境構築編-	¥15,336	4時間		学習開始日	4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19
	DBE017		<eラーニング> XDMリレーショナル DB機能と設定 -データベース作成編-	¥15,336	4時間		学習開始日	4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19
	DBE018		<eラーニング> XDMリレーショナル DB機能と設定-運用編-	¥15,336	4時間		学習開始日	4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19
	DBJ104	休講	XDMリレーショナル DB機能と設定	¥54,000	2日								
	DBE024		<eラーニング> XDM構造型DB機能と設定	¥54,000	18時間		学習開始日	4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19

New : 新設コース : 改訂コース 休講 : 今期の定期開催はありません
スマートデバイス対応 : パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。 **PDU** : PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
 学習形態: 3. 「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.55)を参照ください。

分野	コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	DBJ105	休講	XDM構造型DB機能と設定	¥81,000	3日	レクチャ							
	DBE025		<eラーニング> XDM/DCCM3機能解説とシステム運用	¥36,720	12時間	eラーニング	学習開始日	4. 11, 18, 25	9. 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	1. 8, 22, 29	5. 12, 19
	DBJ103	休講	XDM/DCCM3機能解説とシステム運用	¥54,000	2日	レクチャ							
	DBE028		<eラーニング>XDMシステムの設計と運用	¥77,220	18時間	eラーニング	学習開始日	4. 11, 18, 25	9. 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	1. 8, 22, 29	5. 12, 19
	-		XDM RDBプログラミング(自習テキスト)	¥2,700	15時間	自習テキスト							
	-		XDM構造型DBプログラミング(自習テキスト)	¥5,184	24時間	自習テキスト							
	-		DCCM3入門(自習テキスト)	¥3,456	15時間	自習テキスト							
	-		DCCM3プログラミング(自習テキスト)	¥4,104	25時間	自習テキスト							
	-		PDMII入門(自習テキスト)	¥2,160	10時間	自習テキスト							
	-		PDMIIデータベース機能と設定(自習テキスト)	¥8,640	15時間	自習テキスト							
	-		PDMIIプログラミング(自習テキスト)	¥4,536	20時間	自習テキスト							
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム													
	DBJ101		Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム 概説	¥21,600	0.5日	レクチャ	東京(大森)					30	

IoT

分野	コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月
IoT													
	IOJ001		IoT概説	¥20,520	0.5日	レクチャ	東京(大森) 大阪 名古屋	24	24		4	22	
	IOJ002		IoT技術解説 セキュリティ編	¥28,080	0.5日	レクチャ	東京(大森) 大阪 名古屋		16		6	22	
	IOJ003		IoT技術解説 無線ネットワーク編	¥28,080	0.5日	レクチャ	東京(大森) 大阪		21	26	19		
	IOJ007	New	IoT技術解説 センサ編	¥28,080	0.5日	レクチャ	東京(大森) 大阪		16		9		
	IOJ008	New	「IoTシステム技術検定(基礎検定)」対策講座	¥32,400	1日	レクチャ	東京(大森)			6			
	IOJ004		「IoTシステム技術検定」対策講座	¥90,720	2日	レクチャ	東京(大森) 大阪		30~31 28~29	7~8			
	IOJ005		実践! Node-REDによるIoTシステムの実装 - Raspberry Piを使用した風車のリアルタイム監視から予兆診断、保守まで-	¥41,040	1日	マシン実習	東京(大森)		11		27		
	IOJ010	New	IoTにおけるイベント駆動型システム開発入門 - Hitachi Application Framework/ Event Driven Computing (HAF/EDC)による 故障予知診断を例にして-	¥21,600	0.5日	レクチャ	東京(大森)		24			22	
	IOJ009	New	IoTにおけるイベント駆動型システム開発実践 - Hitachi Application Framework/ Event Driven Computing (HAF/EDC)による アプリケーション、システム開発演習を通して-	¥82,080	2日	マシン実習	東京(大森)				12~13		12~13

*受講料(税込)は、2018年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表示しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の新税率を適用した金額となります。
 *日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」の受講料はカッコ内に表示しています。)
 *自習テキストは(株)日立インフォメーションアカデミーの商品であり、受講料には教材費(テキスト販売費)を表示しています。
 *eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表示しています(一部コースは除く)。
 *eラーニングコースの受講料欄には、標準サービス費を表示しています。ヘルプデスクサービスをご利用の際は、受講料のほか別途ヘルプデスクサービスが必要となります(一部コースは対象外)。
 ヘルプデスクサービスの有無、費用については、ホームページをご覧ください。

分野	コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	IOE001	New	<eラーニング> デジタルソリューションで活用するIT技術概説	¥19,440	8時間	eラーニング	学習開始日	4. 11, 18, 25	9. 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	1. 8, 22, 29	5. 12, 19
	IOJ006	New	IoTソリューションにおける顧客価値とROI - ビジネスモデルキャンバスを使って IoTビジネスをデザインする-	¥37,800	1日	グループ演習	東京(大森)	20					

ビッグデータ

分野	コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ビッグデータ													
	DBJ081		ビッグデータ概説	¥21,600	0.5日	レクチャ	東京(大森) 大阪 名古屋	24	15		20	23	18
	DBE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】 ビッグデータ概説	¥19,440	5時間	eラーニング	学習開始日	4. 11, 18, 25	9. 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	1. 8, 22, 29	5. 12, 19
	DBJ089		NoSQL入門 - ビッグデータ時代のデータベース-	¥32,400	1日	マシン実習	東京(大森) 大阪				17	20	
	DBJ088		体感! 機械学習 - ビッグデータ時代のシステムを支える技術-	¥43,200	1日	マシン実習	東京(大森) 大阪 名古屋				30	21	12
	DBJ110	New	NVIDIA Deep Learning Institute (DLI) 認定コース 1日できるディープラーニング-画像認識入門-	¥86,400	1日	マシン実習	東京(大森)				4, 23		
	DBE317		<eラーニング>【マシン演習付き】 Hadoop プログラミング	¥32,400	6時間	eラーニング	学習開始日	3	8	5	3	7	4
	DBJ106		ビッグデータにおけるシステム設計実践 - 多様なデータを統合しビッグデータとして活用する-	¥47,250	1日	グループ演習	東京(大森) 大阪				18	7	10
	DBJ099		R入門 - Rによるデータ分析-	¥37,800	1日	マシン実習	東京(大森)					9	
	DBD046		データサイエンティスト入門研修 Rによる統計解析 - 分析結果を統計的に正しく理解し、 次の意思決定に向けた提案へ-	¥216,000	2.5日	マシン実習	白台 (BrainPad)			6~8			10~12
	DBD047		データサイエンティスト入門研修 SQLによる集計・ 分析-分析の基本的なプロセスを修得し、 自社DBデータの活用へ-	¥129,600	1.5日	マシン実習	白台 (BrainPad)			4~5			6~7
	DBD053		データサイエンティスト入門研修 機械学習による問題解決実践 - 機械学習で大量データを分析し、データからビジネス価値を創出-	¥216,000	2日	マシン実習	白台 (BrainPad)			11~12			13~14
	DBD056		ソリューション別研修 統計・分析のためのデータ加工入門	¥75,600	1日	マシン実習	白台 (BrainPad)				11		5
	PTD001		(Pentaho認定) ビジネスアナリティクス ユーザーコンソール	¥108,000	1日	マシン実習	薬地(KSK)		14		2		3
	PTD002		(Pentaho認定) ビジネスアナリティクス レポートデザイナー	¥205,200	2日	マシン実習	薬地(KSK)		15~16		3~4		4~5
	PTD003		(Pentaho認定) ビジネスアナリティクス データモデリング	¥205,200	2日	マシン実習	薬地(KSK)		17~18		5~6		6~7
	PTD004		(Pentaho認定) CToolsの基本	¥205,200	2日	マシン実習	薬地(KSK)		24~25		26~27		13~14
	PTD005		(Pentaho認定) データ統合の基本	¥302,400	3日	マシン実習	薬地(KSK)		21~23		23~25		10~12
	PTD006	New	(Pentaho認定) PentahoとHadoopフレームワークの基本	¥205,200	2日	マシン実習	薬地(KSK)		28~29		30~31		18~19

New: 新設コース | 改訂コース | 休講: 今期の定期開催はありません
 スマートデバイス対応: パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。 | PDU: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
 学習形態: 3. 「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.55)を参照ください。

クラウド/サーバ仮想化

分野	コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込) [*]	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月
クラウド/サーバ仮想化													
	CLE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】 ストレージ関連者向けサーバ仮想化技術概説	¥11,880	3時間		学 習 開 始 日	4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19
	CLJ005		実機で学ぶ! サーバ仮想化入門 -VMware vSphere, Microsoft Hyper-V, KVM-	¥37,800	1日		東京(大森)		11		12	28	
	CLJ007		実機で学ぶ! デスクトップ仮想化入門 -Citrix XenDesktopとVMware vSphere-	¥37,800	1日		東京(大森)		14	18	19	3	7
	CLJ008		実機で学ぶ! クラウドコンピューティング入門 -VMware vSphere, OpenStack, Microsoft Azure, AWS-	¥37,800	1日		東京(大森)	23			27		
	CLE702		<eラーニング>【ナビ機能付き】 デスクトップ仮想化概説	¥11,880	4時間		学 習 開 始 日	4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19
	UXE003		<eラーニング> クラウドコンピューティング入門	¥7,560	4時間		学 習 開 始 日	4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19
	CLJ003		クラウドコンピューティング技術解説	¥37,800	1日		東京(大森) 大阪 名古屋				25		14 19
	CLJ012		クラウドアプリケーション開発	¥81,000	2日		東京(大森)				24~25		3~4
	CLD001		事業と技術の観点から検討する クラウドへの移行と管理-Cloud Essentials-	¥118,800	2日		東京(大森)	19~20				2~3	
	CLJ011		Microsoft Azure概説	¥37,800	1日		東京(大森) 大阪 名古屋			8		7 31 9	4
	CLJ009		Microsoft Azureを用いたWebアプリ開発入門	¥37,800	1日		東京(大森)				26		
	CLJ002		Hadoop入門-インストールと操作体験-	¥37,800	1日		東京(大森)		25				
	VMJ006		VMware vSphere システム構築実習 [V6.5] -実装編-	¥108,000	2日		東京(大森)		24~25		2~3		3~4
	VMD007		VMware vSphere : Install, Configure, Manage [V6.5]	¥534,600	5日		東京(大森)	16~20		4~8		27~31	
	VMD008		VMware vSphere : What's New [V5.5 to V6.5]	¥320,760	3日								別途ご案内いたします
	VMD009		VMware NSX : Install, Configure, Manage [V6.2]	¥534,600	5日								別途ご案内いたします
	VMJ005		VMware vSphere システム構築実習 [V6.0] -実装編-	¥108,000	2日		東京(大森)		10~11		5~6		

ITサービスマネジメント

分野	コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込) [*]	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ITサービスマネジメント													
共通	ITE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】 運用管理概説	¥20,520	6時間		学 習 開 始 日	4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19
	ITJ008		情報システム運用入門 -運用からITサービスへ-	¥32,400	1日		東京(大森)					2	
	ITJ009		IT運用におけるヒューマンエラー予防	¥43,200	1日		東京(大森) 大阪			1	13		13 31
	ITE006		<eラーニング> SLAにおけるサービスレベル設計の基礎	¥10,800	4時間		学 習 開 始 日	4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19

分野	コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込) [*]	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ITIL [®]	ITJ004		システム運用の現状分析・設計力 養成ワークショップ	¥82,080	2日		東京(大森) 大阪			13~14		25~26	4~5
	ITJ012		(PDU) ITIL [®] ファンデーション(認定試験付)	¥168,480	3日		東京(大森) 大阪			11~13		27~29 7~9	

システム基盤

分野	コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込) [*]	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月
UNIX/Linux													
共通	UXJ061		UNIX/Linux 基礎-コマンド編-	¥64,800	2日		東京(大森) 大阪		16~17 9~10		5~6		
	UXJ049		UNIX/Linux 基礎-シェルスクリプト編-	¥64,800	2日		東京(大森)		21~22	4~5	9~10	1~2	3~4
	UXE303		<eラーニング>【ナビ機能付き】 UNIX/Linux基本使用法	¥37,800	8時間		学 習 開 始 日	3	8	5	3	7	4
	UXJ069		UNIX/Linux実践シェルスクリプト -sed awk編-	¥75,600	2日		東京(大森)					20~21	
Linux	UXJ029		Linuxシステム管理 前編 -Linuxインストールと システム/ネットワーク管理の基礎-	¥75,600	2日		東京(大森) 大阪 名古屋		28~29	11~12 19~20 5~6	23~24	6~7	
	UXJ030		Linuxシステム管理 後編 -システム起動の仕組みとディスク管理技術-	¥75,600	2日		東京(大森) 大阪 名古屋		30~31	13~14	25~26	8~9 7~8	
	UXJ062		Linuxトラブルシューティング	¥86,400	2日		東京(大森) 大阪 名古屋				30~31		12~13 11~12
	UXJ073		<研修室自習型>Linuxで実現! DNS、Webサーバの構築- BIND、Apache編-	¥37,800	1日		東京(大森)					3	14
	UXJ063		Linuxで実現! セキュリティ対策手法の解説と要基実習	¥81,000	2日		東京(大森)						3~4
	UXJ031		Linuxで実現! 社内ネットワークサーバの構築 -LDAP/Sambaによる Windowsネットワークとの統合-	¥81,000	2日		東京(大森)				9~10		
	UXJ064		Linuxで実現! Zabbixによるシステム監視	¥81,000	2日		東京(大森)			21~22			
	UXJ074		<研修室自習型> Linuxで構築するKVM仮想化環境	¥37,800	1日		東京(大森)					3	14
	UXJ071		Linuxで構築するクラウド基盤 -OpenStack編-	¥90,720	2日		東京(大森) 大阪 名古屋				12~13		10~11 20~21 4~5
OSS	UXJ068		オープンソースソフトウェア(OSS)概説	¥21,600	0.5日		東京(大森)		18				7
	UXJ028		OSSによるWebシステム構築 -Linux, Apache, PostgreSQL, PHP-	¥75,600	2日		東京(大森)					27~28	
	UXE302		<eラーニング>【マシン演習付き】 OSSによるWebシステム構築 -Linux, Apache, PostgreSQL, PHP-	¥75,600	13時間		学 習 開 始 日	3	8	5	3	7	4
	UXJ072		OSS-DB PostgreSQL 導入と運用	¥86,400	2日		東京(大森)						18~19
AIX	UXD037		AIX 7 システム管理-基礎編	-	3日								別途ご案内いたします
	UXD038		AIX 7 システム管理-実践編	-	3日								別途ご案内いたします

※受講料(税込)は、2018年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の最新税率を適用した金額となります。
 ※日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「IT」)の受講料はカッコ内に表示しています。
 ※自習テキストは(株)日立インフォメーションアカデミーの商品であり、受講料には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
 ※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。
 ※eラーニングコースの受講料欄には、標準サービス費を表記しています。ヘルプデスクサービスをご利用の際は、受講料のほかに別途ヘルプデスクサービスが必要となります(一部コースは対象外)。ヘルプデスクサービスの有無、費用については、ホームページをご覧ください。

: 新設コース : 改訂コース : 今期の定期開催はありません
 : スマートデバイス対応 : パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。 : PMP[®] 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
 学習形態: 3. 「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例 (P.55) を参照ください。

分野	コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込) [*]	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月
Microsoft													
Windows Server 2016	MSJ043		ここが新しい! Windows Server 2016新機能	¥37,800	1日		東京(大森)				13		
	MSJ042		Windows Server 2016管理概説	¥81,000	2日		東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡	19~20		25~26	24~25		10~11
	MSE306		<eラーニング>【ナビ機能付き】マシナリ演習付き】Windows Server 2016管理概説	¥81,000	13時間		学習開始日	3	8	5	3	7	4
	MSJ045		実践! Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編-	¥75,600	2日		東京(大森) 大阪 名古屋 福岡			11~12 14~15		2~3 21~22 2~3	
	MSE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編-	¥21,600	6時間		学習開始日	4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19
	MSE307		<演習環境>Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編-	¥21,600	4時間		学習開始日	3	8	5	3	7	4
	SCE707		<eラーニング>【ナビ機能付き】グループポリシーを使用したセキュリティ強化 -Windows Server 2016編-	¥9,720	4時間		学習開始日				4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19
	MSE308		<演習環境>グループポリシーを使用したセキュリティ強化 -Windows Server 2016編-	¥21,600	4時間		学習開始日				3	7	4
	MSJ047		実践! Windows PowerShellを用いたシステム管理の効率化 -Windows Server 2016編-	¥37,800	1日		東京(大森) 大阪				30 31		12
	CLJ010		実践! Hyper-Vのインストールから可用性向上まで -Windows Server 2016編-	¥37,800	1日		東京(大森) 大阪 名古屋		18		20		27
	MSJ048		実践! Windows Server 2016によるインフラ構築演習 -Windows Server 2016編-	¥91,800	2日		東京(大森) 大阪 名古屋					23~24	20~21 13~14
	Windows Server 2012	MSE305		<eラーニング>【ナビ機能付き】マシナリ演習付き】Windows Server 2012管理概説	¥81,000	13時間		学習開始日	3	8	5	3	7
MSE304			<eラーニング>【マシナリ演習付き】Active Directoryの基礎	¥81,000	13時間		学習開始日	3	8	5	3	7	4
MSJ039			Microsoft フェールオーバークラスター構築	¥81,000	2日		東京(大森)				29~30		
MSE302			<eラーニング>【マシナリ演習付き】Windows PowerShellの基礎 -Windowsシステム管理の効率化-	¥37,800	6時間		学習開始日	3	8	5	3	7	4
Windows 10	MSJ046		Windows 10機能概説	¥37,800	1日		東京(大森) 大阪			18			4
Windows	MSE001		<eラーニング>Windowsサーバー管理入門	¥18,360	8時間		学習開始日	4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19
	MSJ044		実践! WindowsとLinux混在環境におけるプラットフォーム構築実習 -Active Directory, DNS, Samba, Apache, ワイヤレスネットワーク-	¥108,000	2日		東京(大森) 大阪				22~23		27~28
SharePoint	OAE026		<eラーニング> SharePointによる社内ポータル作成入門	¥10,800	3時間		学習開始日	4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19

※受講料(税込)は、2018年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の最新税率を適用した金額となります。
 ※日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。
 ※自習テキストは(株)日立インフォメーションアカデミーの商品であり、受講料には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
 ※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。
 ※eラーニングコースの受講料欄には、標準サービス費を表記しています。ヘルプデスクサービスをご利用の際は、受講料のほかに別途ヘルプデスクサービスが必要となります(一部コースは対象外)。
 ヘルプデスクサービスの有無、費用については、ホームページをご覧ください。

分野	コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込) [*]	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ネットワーク													
ネットワーク	NWJ103		ネットワーク基礎	¥54,000	2日		東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡	18~19 24~25		25~26		8~9	
	NWE706		<eラーニング>【ナビ機能付き】ネットワーク基礎 I -イーサネットの仕組み-	¥41,040	12時間		学習開始日	4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19
	NWE707		<eラーニング>【ナビ機能付き】ネットワーク基礎 II -TCP/IPの仕組み-	¥41,040	12時間		学習開始日	4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19
	NWE715		<eラーニング>【ナビ機能付き】LANの技術 -高可用ネットワーク-	¥21,600	8時間		学習開始日	4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19
	NWE714		<eラーニング>【ナビ機能付き】TCP/IP機能概説 -ルーティング編-	¥21,600	8時間		学習開始日	4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19
	NWJ099		TCP/IPプロトコル解析	¥75,600	2日		東京(大森) 大阪 広島 福岡			21~22 6~7	5~6	28~29	20~21
	NWE716		<eラーニング>【ナビ機能付き】WANの技術 -VPNサービスへの変遷-	¥21,600	8時間		学習開始日	4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19
	NWE001		<eラーニング>インターネット技術入門	¥16,200	8時間		学習開始日	4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19
	NWJ085		インターネットプロトコル(DNS、メール、HTTP)解説とサーバ構築	¥75,600	2日		東京(大森)			28~29		2~3	
	NWE028		<eラーニング>ネットワーク設計基礎	¥10,800	4時間		学習開始日	4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19
	NWJ117		ネットワークインフラ構築-基礎編-	¥37,800	1日		東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡	20	18	20	13, 27	3	5
	NWJ138		ネットワークインフラ構築-ルータ編-	¥75,600	2日		東京(大森) 大阪 名古屋				10~11 11~12		3~4
	NWJ133		ネットワークインフラ構築-スイッチ編-	¥79,920	2日		東京(大森) 大阪 名古屋				30~31		18~19 26~27
	NWJ120		ネットワークインフラ構築-冗長化・負分散編-	¥79,920	2日		東京(大森)			28~29			6~7
	NWJ134		ネットワークインフラ構築-VPN編-	¥75,600	2日		東京(大森) 大阪 名古屋				19~20	7~8	4~5 27~28
	NWE703		<eラーニング>【ナビ機能付き】IPv6の基礎と移行技術	¥41,040	12時間		学習開始日	4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19
	NWJ084		ネットワークトラブル解決	¥79,920	2日		東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡			25~26	26~27	23~24 2~3 8~9	13~14 6~7
	NWE704		<eラーニング>【ナビ機能付き】ネットワーク管理概説	¥21,600	6時間		学習開始日	4, 11, 18, 25	9, 16, 23, 30	6, 13, 20, 27	4, 11, 18, 25	1, 8, 22, 29	5, 12, 19

: 新設コース : 改訂コース : 今期の定期開催はありません
: ハンコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。 : PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
 学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.55)を参照ください。

分野	コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	NWE705		<eラーニング>【ナビ機能付き】ワイヤレスネットワーク概説 -携帯電話・無線LANの基礎-	¥21,600	6時間	eラーニング	学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	NWJ109		無線LAN環境構築	¥75,600	2日	マシン実習	東京(大森) 大阪 名古屋		15~16 31~			30~31	
	NWE708		<eラーニング>【ナビ機能付き】Software Defined Networking (SDN) 概説 -ネットワーク仮想化-	¥11,880	4時間	eラーニング	学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	NWE026		<eラーニング>ネットワーク最新動向 -モバイル技術とデータセンタネットワーク-	¥10,800	4時間	eラーニング	学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	NWE713		<eラーニング>【ナビ機能付き】ワイヤレスネットワーク最新動向	¥39,960	10時間	eラーニング	学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	NWE712		<eラーニング>【ナビ機能付き】基礎から学ぶネットワーク運用管理	¥39,960	12時間	eラーニング	学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
セキュリティ													
情報セキュリティ	SCE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】情報セキュリティ入門 -セキュリティの必要性と対策-	¥10,800	4時間	eラーニング	学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	SCJ041	New	セキュリティ最新動向	¥30,240	0.5日	レクチャ	東京(大森)		11		13		
	SCE706		<eラーニング>【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説 -セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度-	¥21,600	8時間	eラーニング	学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	SCJ032		ケーススタディから学ぶ情報セキュリティリスクマネジメント	¥43,200	1日	グループ実習	東京(大森)	13		1			14
	SCJ038		情報セキュリティマネジメント運用	¥43,200	1日	グループ実習	東京(大森)			8			
	SCJ039		情報セキュリティマネジメントの評価と改善	¥43,200	1日	グループ実習	東京(大森)			20			
セキュリティ技術	SCE703		<eラーニング>【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎 -要素技術(暗号、認証)編-	¥20,520	6時間	eラーニング	学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	SCE705		<eラーニング>【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎 -ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編-	¥20,520	6時間	eラーニング	学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	SCJ040		ネットワークセキュリティ対策実習	¥75,600	2日	マシン実習	東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡	12~13 24~25	21~22 7~8	21~22	2~3, 26~27	30~31	10~11 13~14 20~21
	SCE704		<eラーニング>【ナビ機能付き】データベースセキュリティ概説	¥11,880	4時間	eラーニング	学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	SCE010		<eラーニング>IPsecによるVPN構築	¥10,800	3時間	eラーニング	学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	SCJ037		インターネットにおける電子認証技術-PKI-	¥37,800	1日	マシン実習	東京(大森)				31		
	SCD001		CEH(Certified Ethical Hacker)	¥537,840	5日	マシン実習		別途ご案内いたします					
データベース													
共通	DBJ045		データベース入門-解説と操作体験-	¥32,400	1日	マシン実習	東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡		26	18	6	1, 22	

*受講料(税込)は、2018年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の新税率を適用した金額となります。
 *日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。
 *自習テキストは(株)日立インフォメーションアカデミーの商品であり、受講料には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
 *eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。
 *eラーニングコースの受講料欄には、標準サービス費を表記しています。ヘルプデスクサービスをご利用の際は、受講料のほかに別途ヘルプデスクサービスが必要となります(一部コースは対象外)。
 ヘルプデスクサービスの有無、費用については、ホームページをご覧ください。

分野	コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月
共通	DBE711		<eラーニング>【ナビ機能付き】データベース基礎	¥20,520	8時間	eラーニング	学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	DBJ063		基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-	¥64,800	2日	マシン実習	東京(大森) 大阪 名古屋 福岡		15~16 5~6	27~28 5~6		23~24	5~6
	DBE703		<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門	¥19,440	6時間	eラーニング	学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	DBE339	New	<演習環境>SQL操作入門	¥21,600	3時間	演習環境	学習開始日	3	8	5	3	7	4
	DBJ055		速習! 1日でわかるデータベース設計の基礎	¥32,400	1日	レクチャ	東京(大森) 大阪 名古屋		31		31		11
	DBE710		<eラーニング>【ナビ機能付き】データベース概説-入門・設計・SQL編-	¥38,880	12時間	eラーニング	学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	DBE708		<eラーニング>【ナビ機能付き】速習! 1日でわかるデータベース設計の基礎	¥29,700	6時間	eラーニング	学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	DBJ054		データベース設計技法と演習	¥71,280	2日	レクチャ	東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡			4~5 28~29	25~26		3~4
	DBE707		<eラーニング>【ナビ機能付き】データベース設計基礎	¥21,600	6時間	eラーニング	学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	DBE304		<eラーニング>【マシン演習付き】SQLによる標準データベースプログラミング -体感! 埋め込みSQL-	¥32,400	6時間	マシン演習	学習開始日	3	8	5	3	7	4
	DBJ067		脱初心者のためのSQL -SQLでここまでできる-	¥43,200	1日	マシン実習	東京(大森) 大阪 名古屋			12	13	29	28
	DBJ090		データ分析に使えるSQL -SQLでビッグデータに立ち向かう-	¥43,200	1日	マシン実習	東京(大森) 大阪			6	5	7	11
	DBE704		<eラーニング>【ナビ機能付き】OLTP概説	¥21,600	7時間	eラーニング	学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	DBE706		<eラーニング>【ナビ機能付き】データウェアハウス概説	¥21,600	6時間	eラーニング	学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	DBE705		<eラーニング>【ナビ機能付き】データウェアハウスにおけるデータモデリング解説	¥21,600	6時間	eラーニング	学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
SQL Server	DBE337		<eラーニング>【マシン演習付き】SQL Server 2016 データベース管理	¥81,000	14時間	マシン演習	学習開始日	3	8	5	3	7	4
Oracle	DBE316		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c 新機能	¥385,560	35時間	Oracle	学習開始日	5	10	7	5	9	6
	DBD048		Oracle Database 12c 入門 SQL基礎 I	¥231,336	3日	マシン実習	東京(大森) 大阪 名古屋				25~27 18~20		29~31
	DBE333		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c SQL基礎 II	¥154,224	14時間	Oracle	学習開始日	5	10	7	5	9	6
	DBD049		Oracle Database 12c 管理 クイック・スタート	¥154,224	2日	マシン実習	東京(大森) 大阪 名古屋					30~31 6~7	25~26 11~12
	DBD050		Oracle Database 12c 管理 ネクスト・ステップ	¥231,336	3日	マシン実習	東京(大森) 大阪				9~11		25~27
	DBE332		<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c PL/SQL基礎	¥154,224	14時間	Oracle	学習開始日	5	10	7	5	9	6

New: 新設コース | 改訂コース | 休講: 今期の定期開催はありません
 *スマートデバイス対応: ハンコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。 | PDU: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
 学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.55)を参照ください。

Table with columns: 分野, コースコード, 開催区分, コース名, 受講料(税込), 日数/平均学習時間, 学習形態, 開催地区, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月. Contains Oracle DBE series courses.

IT戦略・IS企画/システム設計

Table with columns: 分野, コースコード, 開催区分, コース名, 受講料(税込), 日数/平均学習時間, 学習形態, 開催地区, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月. Contains IT strategy and system design courses.

※受講料(税込)は、2018年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の最新税率を適用した金額となります。

Table with columns: 分野, コースコード, 開催区分, コース名, 受講料(税込), 日数/平均学習時間, 学習形態, 開催地区, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月. Contains various IT courses including PDU and Renewal courses.

Table with columns: 分野, コースコード, 開催区分, コース名, 受講料(税込), 日数/平均学習時間, 学習形態, 開催地区, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月. Contains system design courses.

New: 新設コース, 改訂コース, 休講: 今期の定期開催はありません。スマートデバイス対応: パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。

分野	コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込) [*]	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	SPE017	Renewal	<eラーニング> 構造化モデリングによるシステムの機能抽出	¥19,440	5時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	CTE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】 アプリケーション・アーキテクチャ基礎	¥20,520	6時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	SPJ038		アプリケーション・アーキテクチャ策定演習	¥75,600	2日		東京(大森)					2~3	
	SPJ039		事例から学ぶSaaS活用提案のポイント	¥29,160	0.5日		別途ご案内いたします						
	SPJ040		クラウドコンピューティングで読み解く ITサービスの最新動向	¥29,160	0.5日		東京(大森)		18				
	SPJ050		体験! 最新OSSを活用したDevOps入門	¥41,040	1日		東京(大森)	20	25			8	6
	UXJ070	New	gitによるソフトウェア構成管理	¥37,800	1日		東京(大森)						5
	SPJ057	Renewal	(PDU)実践! DevOpsによるアジャイル開発 -お客様に素早く価値を届けるために- ^{PDU}	¥41,040	1日		東京(大森)				23		7
	SPJ054	Renewal	後工程で慌てないユーザー/業務要件の漏れを未然に防ぐ業務設計と要件定義のコツ	¥43,200	1日		東京(大森)				23		
	SPJ055	Renewal	業務要件とユーザビリティを確保するための要件定義のポイント	¥43,200	1日		東京(大森)					3	
	SPJ056	Renewal	開発での手戻りを最小限にする要件品質チェックのポイントと基本設計の肝	¥43,200	1日		東京(大森)						10
	SPJ028		品質確保のためのソフトウェアテスト	¥32,400	1日		東京(大森)			18		24	
							大阪					6	
							名古屋					27	
							広島						11
	SPE016		<eラーニング> 実践! テストケース設計(テスト技法演習編)	¥18,360	8時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	SPJ051		実践! テストケース設計(テスト設計実践編)	¥32,400	1日		東京(大森)				30		
							大阪				18		
							名古屋						10
	SPE012		<eラーニング> Webシステムテストの考え方と技法	¥18,360	5時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	SPJ032		Javaモジュールテスト演習	¥32,400	1日		東京(大森)					29	
	SPJ034		Javaによるテスト駆動開発演習	¥32,400	1日		東京(大森)					25	
	SPJ035		SeleniumによるWebアプリケーションテスト自動化演習	¥32,400	1日		東京(大森)						9
	SPE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】 プログラムのテスト技法	¥20,520	7時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19

アプリケーション開発

分野	コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込) [*]	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月
Webアプリケーション													
共通	NWE711		<eラーニング>【ナビ機能付き】 Webシステム入門	¥20,520	6時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	NWJ139		Webアプリケーション設計の基礎	¥64,800	2日		東京(大森)	16~17				6~7	
							大阪					7~8	
							名古屋				25~26		
コンテンツ	NWE709		<eラーニング>【ナビ機能付き】 CSSによるWebコンテンツ制作	¥20,520	8時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19

^{*}受講料(税込)は、2018年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の新税率を適用した金額となります。
^{*}日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。
^{*}自習テキストは(株)日立インフォメーションアカデミーの商品であり、受講料には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
^{*}eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。
^{*}eラーニングコースの受講料欄には、標準サービス費を表記しています。ヘルプデスクサービスをご利用の際は、受講料のほかに別途ヘルプデスクサービスが必要となります(一部コースは対象外)。
ヘルプデスクサービスの有無、費用については、ホームページをご覧ください。

分野	コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込) [*]	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月
コンテンツ	NWE710		<eラーニング>【ナビ機能付き】 HTMLによるWebコンテンツ制作	¥20,520	8時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	NWJ115		JavaScriptプログラミング -基礎からAjaxまで-	¥75,600	2日		東京(大森)		9-10			23-24	
							大阪					23-24	
							名古屋						20~21
	NWJ114		HTML5プログラミング	¥37,800	1日		東京(大森)					22	
	NWJ140		HTML5/JavaScriptによるWebアプリケーション開発実践	¥108,000	2日		東京(大森)						18~19
Java	OJJ014	休講	Struts2フレームワークによるWebアプリケーションプログラミング	¥81,000	2日								
スマートデバイス													
	NWE029		<eラーニング> スマートデバイス活用システムの提案概説	¥10,800	3時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	NWJ113		スマートフォンの特性を踏まえたWebアプリケーション設計の考え方	¥32,400	1日		東京(大森)			11		31	
	NWJ135		体験! Androidアプリケーションの開発	¥32,400	1日		東京(大森)						7
							大阪				9		
	NWJ129		体験! iPhone・iPadアプリケーションの開発	¥37,800	1日		東京(大森)					28	
							大阪						11
	NWJ131		体験! SwiftではじめるiPhoneアプリケーションの開発	¥37,800	1日		東京(大森)				25		
							大阪						12
オブジェクト指向/UML													
	OJE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】 オブジェクト指向概説	¥20,520	6時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	OJE005		<eラーニング> UML 2.0入門	¥7,560	8時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	OJE007		<eラーニング> OCUPファンダメンタル資格対策から学ぶUML	¥24,840	16時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	OJJ024	Renewal	UMLによるオブジェクト指向モデリング	¥64,800	2日		東京(大森)					2~3	
	OJJ025	Renewal	UMLによるオブジェクト指向設計とプログラミング	¥64,800	2日		東京(大森)					21~22	
言語													
共通	CBJ001	休講	アルゴリズムの基礎-フローチャート編-	¥54,000	2日								
	CBE006	Renewal	<eラーニング> アルゴリズムの基礎-フローチャート編-	¥11,016	16時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
Java	OJJ016		Javaプログラミング1(基本文法編)	¥97,200	3日		東京(大森)					4~6	
							大阪					11~13	
							名古屋					11~13	
							福岡					10~12	
	OJE702		<eラーニング>【ナビ機能付き】 Javaプログラミング1(基本文法編)	¥59,400	24時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	OJE020	New	<eラーニング>【スキル定着】 Javaプログラミング1(前編) 【スマートデバイス対応】	¥10,800	4時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	OJE021	New	<eラーニング>【スキル定着】 Javaプログラミング1(後編) 【スマートデバイス対応】	¥10,800	4時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	OJJ017		Javaプログラミング2(基本クラス編)	¥64,800	2日		東京(大森)		31~	1	9~10		10~11
							大阪				24~25		
							名古屋					2~3	
							広島				19~20		

: 新設コース : 改訂コース : 今期の定期開催はありません
【スマートデバイス対応】: パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。 **【PDU】**: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.55)を参照ください。

分野	コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込) [※]	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月
Java	OJE703		<eラーニング>【ナビ機能付き】 Javaプログラミング2-基本クラス編-	¥39,960	16時間		学習開始日	4. 11, 18, 25	9. 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	1. 8, 22, 29	5. 12, 19
	OJJ021	New	ハンズオン Java8/9新機能	¥75,600	2日		東京(大森)						12~13
	OJJ026	Renewal	Javaによるデータベース・プログラミング	¥64,800	2日		東京(大森) 大阪			28~29			25~26
	OJJ018		サーバサイド Javaプログラミング (Servlet/JSP編)	¥97,200	3日		東京(大森) 大阪 名古屋 福岡			13~15			18~20 12~14
	OJJ020		実践! Javaプログラミング	¥64,800	2日		東京(大森) 大阪 名古屋 広島					20~21 21~22	27~28 2~3
	OJE018		<eラーニング> OCJP Gold SE 8 資格取得準備セミナー	¥28,728	7時間		学習開始日	5	10	7	5	9	6
	OJE017		<eラーニング> OCJP Gold SE 8 資格取得準備セミナー(移行試験)	¥28,728	7時間		学習開始日	5	10	7	5	9	6
	OJE016		<eラーニング> OCJP Silver SE 8 資格取得準備セミナー	¥28,728	7時間		学習開始日	5	10	7	5	9	6
	OJE019		<eラーニング> Java EE 6 Web Component Developer 資格取得準備セミナー	¥28,728	7時間		学習開始日	5	10	7	5	9	6
	XML	XME001		<eラーニング>XML基礎	¥16,200	8時間		学習開始日	4. 11, 18, 25	9. 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	1. 8, 22, 29
XME002			<eラーニング>XMLデータの設計	¥16,200	8時間		学習開始日	4. 11, 18, 25	9. 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	1. 8, 22, 29	5. 12, 19
XME003			<eラーニング>XMLデータの利用	¥16,200	8時間		学習開始日	4. 11, 18, 25	9. 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	1. 8, 22, 29	5. 12, 19
COBOL	-		PAD入門(自習テキスト)	¥1,620	6時間								
	CBJ002		COBOLプログラミング基礎編(PAD)	¥81,000	3日		東京(大森)					17~19	
	CBJ004	休講	COBOLプログラミング応用編(PAD)	¥105,840	4日								
	CBJ007		COBOLプログラミング基礎編(フローチャート)	¥81,000	3日		東京(大森)					17~19	
	CBJ008	休講	COBOLプログラミング応用編(フローチャート)	¥105,840	4日								
	CBE301		<eラーニング>【マシン演習付き】 COBOLプログラミング基礎編(PAD)	¥97,200	24時間		学習開始日	3	8	5	3	7	4
	CBE302		<eラーニング>【マシン演習付き】 COBOLプログラミング応用編(PAD)	¥122,040	32時間		学習開始日	3	8	5	3	7	4
	CBE303		<eラーニング>【マシン演習付き】 COBOLプログラミング基礎編(フローチャート)	¥97,200	24時間		学習開始日	3	8	5	3	7	4
	CBE304		<eラーニング>【マシン演習付き】 COBOLプログラミング応用編(フローチャート)	¥122,040	32時間		学習開始日	3	8	5	3	7	4
	CBE002		<eラーニング> COBOLプログラミング基礎編(PAD)	¥24,840	16時間		学習開始日	4. 11, 18, 25	9. 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	1. 8, 22, 29	5. 12, 19
	CBE003		<eラーニング> COBOLプログラミング応用編(PAD)	¥24,840	16時間		学習開始日	4. 11, 18, 25	9. 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	1. 8, 22, 29	5. 12, 19
	CBE004		<eラーニング> COBOLプログラミング基礎編(フローチャート)	¥24,840	16時間		学習開始日	4. 11, 18, 25	9. 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	1. 8, 22, 29	5. 12, 19

※受講料(税込)は、2018年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の最新税率を適用した金額となります。
 ※日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」)の受講料はカッコ内に表示しています。
 ※自習テキストは(株)日立インフォメーションアカデミーの商品であり、受講料には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
 ※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。
 ※eラーニングコースの受講料欄には、標準サービス費を表記しています。ヘルプデスクサービスをご利用の際は、受講料のほか別途ヘルプデスクサービスが必要となります(一部コースは対象外)。
 ヘルプデスクサービスの有無、費用については、ホームページをご覧ください。

分野	コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込) [※]	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月
COBOL	CBE005		<eラーニング> COBOLプログラミング応用編(フローチャート)	¥24,840	16時間		学習開始日	4. 11, 18, 25	9. 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	1. 8, 22, 29	5. 12, 19
	-		COBOLプログラミング基礎編(PAD) (自習テキスト)	¥4,104	18時間								
	-		COBOLプログラミング応用編(PAD) (自習テキスト)	¥4,104	18時間								
	-		COBOLプログラミング基礎編(フローチャート) (自習テキスト)	¥4,104	18時間								
	-		COBOLプログラミング応用編(フローチャート) (自習テキスト)	¥4,104	18時間								
C/C++	CCJ009		C言語プログラミング1-基本マスタ編-	¥97,200	3日		東京(大森)				4~6		
	CCJ014		C言語プログラミング2-ポインタ実践編-	¥97,200	3日		東京(大森)				11~13		
	CCE005		<eラーニング> C言語プログラミング2-ポインタ実践編-	¥77,220	24時間		学習開始日	4. 11, 18, 25	9. 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	1. 8, 22, 29	5. 12, 19
	CCE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】 C言語プログラミング1(前編) -制御文と関数を学ぶ-	¥20,520	8時間		学習開始日	4. 11, 18, 25	9. 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	1. 8, 22, 29	5. 12, 19
	CCE702		<eラーニング>【ナビ機能付き】 C言語プログラミング1(後編) -データ構造とポインタを学ぶ-	¥39,960	16時間		学習開始日	4. 11, 18, 25	9. 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	1. 8, 22, 29	5. 12, 19
VB/VC#	ESJ001		リアルタイム OS を利用した ソフトウェアプログラミング	¥64,800	2日		東京(大森)					6~7	
	VB038		Visual Basicプログラミング	¥75,600	2日		東京(大森) 大阪 名古屋		14~15			1~2 21~22	
	VB037		ASP.NETプログラミング	¥75,600	2日		東京(大森) 大阪 名古屋				30~31		10~11
	VCJ010		Visual C#プログラミング	¥75,600	2日		東京(大森)					8~9	

IT基本

分野	コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込) [※]	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月
IT基本													
	SJJ009		コンピュータ基礎	¥129,600	5日		東京(大森)	9~13					
	SJE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】 コンピュータ基礎-ハードウェア編-	¥19,440	8時間		学習開始日	4. 11, 18, 25	9. 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	1. 8, 22, 29	5. 12, 19
	SJE702		<eラーニング>【ナビ機能付き】 コンピュータ基礎-ソフトウェア編-	¥19,440	8時間		学習開始日	4. 11, 18, 25	9. 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	1. 8, 22, 29	5. 12, 19
	SJE703		<eラーニング>【ナビ機能付き】 コンピュータ基礎-情報の基礎理論編-	¥9,720	4時間		学習開始日	4. 11, 18, 25	9. 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	1. 8, 22, 29	5. 12, 19
	SJE704		<eラーニング>【ナビ機能付き】 コンピュータ基礎-情報システム編-	¥9,720	4時間		学習開始日	4. 11, 18, 25	9. 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	1. 8, 22, 29	5. 12, 19
	SJJ030		アプリケーション開発者のための文字コード入門 -アプリケーションの文字化けを防ぐ-	¥32,400	1日		東京(大森)						14
	ESE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】 組込みシステムとは	¥20,520	7時間		学習開始日	4. 11, 18, 25	9. 16, 23, 30	6. 13, 20, 27	4. 11, 18, 25	1. 8, 22, 29	5. 12, 19

New: 新設コース Renewal: 改訂コース 休講: 今期の定期開催はありません
 スマートデバイス対応: ハンコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。 PDU: PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
 学習形態: 3. 「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.55)を参照ください。

TOPICS

1 日立講習会
コース活用例

2 開催コース/
スケジュール一覧

3 講座別コースフロー/
コースカリキュラム

4 研修会場

5 お申込方法

6 受講規約

2 開催コース/
スケジュール一覧

Table with 14 columns: 分野, コースコード, 開催区分, コース名, 受講料(税込), 日数/平均学習時間, 学習形態, 開催地区, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月. Includes sections for Hardware and Information Processing Qualification.

情報リテラシ

Table with 14 columns: 分野, コースコード, 開催区分, コース名, 受講料(税込), 日数/平均学習時間, 学習形態, 開催地区, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月. Focuses on Information Literacy courses.

プロジェクトマネジメント

Table with 14 columns: 分野, コースコード, 開催区分, コース名, 受講料(税込), 日数/平均学習時間, 学習形態, 開催地区, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月. Focuses on Project Management courses.

※受講料(税込)は、2018年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の新税率を適用した金額となります。

New: 新設コース, 改訂コース, 休講: 今期の定期開催はありません。スマートデバイス対応: パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。

TOPICS 1 日立講習会 コース活用例 2 開催コース/スケジュール一覧 3 講座別コースフロー/コースカリキュラム 4 研修会場 5 お申込方法 6 受講規約

2 開催コース/スケジュール一覧

分野	コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	PMJ053	休講	(PDU) Microsoft Office Projectによるタイムマネジメント PDU	¥75,600	2日	マシン実習							
	PMJ063	New	(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー PDU	¥90,720	2日	レクチャ	東京(大森) 大阪 名古屋			14~15 7~8		29~30	
	PMJ064	New	(PDU) PMBOK®ガイド第5版と第6版の差分講座-半日でわかる第6版- PDU	¥32,400	0.5日	レクチャ	東京(大森)	19					
	PMJ056		PMP®対策講座(2日間)	¥86,400	2日	レクチャ	東京(大森) 大阪 名古屋 広島			18~19		1~2 5~6 30~31 17~18	
	PMJ028		PMP®直前講座(模試)(1日間)	¥48,600	1日	レクチャ	東京(大森) 大阪 名古屋 広島				20		3 7 25 10
	SPJ044		アジャイル開発プロセスの基礎知識	¥45,360	1日	グループ実習	東京(大森)		25		17		
	SPJ043		(PDU)スクラムの基礎と実践 PDU	¥54,000	1日	グループ実習	東京(大森)		19				
	SPJ045		(PDU) [リーダー向け]アジャイル開発における自律型チーム運営 PDU	¥45,360	1日	グループ実習	東京(大森)					28	
	PMJ061		(PDU) マネージャのための1日でわかるアジャイルプロジェクトマネジメントの効用 PDU	¥37,800	1日	グループ実習	東京(大森)					24	
	PMD012		[EXIN アジャイル スクラム ファンデーション] 資格対策	¥154,440	2日	レクチャ	麹町 (ITフレース)		28~29		12~13		
	PMD013		(PDU)1日でわかるPRINCE2® PDU	¥43,200	1日	グループ実習	東京(大森)			29			
	PMD014	Renewal	(PDU) PRINCE2® ファンデーション(認定試験付き) PDU	¥287,280	3日	グループ実習	麹町 (ITフレース)				17~19	1~3	25~27
	PMD015	Renewal	(PDU) PRINCE2® プラクティシオン(認定試験付き) PDU	¥251,640	2日	グループ実習	麹町 (ITフレース)				14~15	28~29	

コンプライアンス

分野	コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月
コンプライアンス													
	HSD011		(半日研修)コンプライアンス研修~組織における不祥事防止	¥13,000	0.5日	レクチャ	神保町 (インゾース)	27			30		
	HSD012		(半日研修)コンプライアンス研修~個人情報保護、情報セキュリティ、SNSのリスクを知る編	¥13,000	0.5日	レクチャ	神保町 (インゾース)			15	24		
システム運用管理													
	HSJ062		事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方-高信頼性システム実現のために-	¥37,800	1日	グループ実習	東京(大森) 大阪			4		26	11
業務処理統制													
モニタリング	HSJ018		システムトラブルの予防と是正-ISMS・システム監査の視点から-	¥75,600	2日	グループ実習	東京(大森)						3~4
	HSJ105		システム監査で学ぶ開発・保守とリスク評価	¥81,000	2日	グループ実習	東京(大森)				18~19		

*受講料(税込)は、2018年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の最新税率を適用した金額となります。
 *日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「IT」)の受講料はカッコ内に表示しています。
 *自習テキストは(株)日立インフォメーションアカデミーの商品であり、受講料には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
 *eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。
 *eラーニングコースの受講料には、標準サービス費を表記しています。ヘルプデスクサービスをご利用の際は、受講料のほか別途ヘルプデスクサービスが必要となります(一部コースは対象外)。
 ヘルプデスクサービスの有無、費用については、ホームページをご覧ください。

ビジネス/ヒューマン

分野	コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ビジネス/ヒューマン													
思考法	HSJ116		ロジカルシンキング基礎-論理の可視化と論理チェックのポイント-	¥81,000	2日	グループ実習	東京(大森) 大阪 名古屋 広島 福岡	25~26 30~31 17~18	13~14, 25~26	25~26	29~30	12~13	
	HSJ157		システムシンキング基礎-問題を構成する互いに影響しあう要素の「つながり」を可視化する-	¥95,040	2日	グループ実習	東京(大森)			11~12	30~31		13~14
	HSE066		<eラーニング>思考技法の概要	¥9,720	4時間	eラーニング	学習開始日	4.11, 18, 25	9.16, 23, 30	6.13, 20, 27	4.11, 18, 25	1.8, 22, 29	5.12, 19
	HSE036		<eラーニング>QFD(品質機能展開)で学ぶマトリクス表の上手な使い方-マトリクス表を使って「決める」を考える-	¥9,720	4時間	eラーニング	学習開始日	4.11, 18, 25	9.16, 23, 30	6.13, 20, 27	4.11, 18, 25	1.8, 22, 29	5.12, 19
	HSE037		<eラーニング>TRIZで学ぶ発想のパターン-科学的な強制発想法-	¥9,720	4時間	eラーニング	学習開始日	4.11, 18, 25	9.16, 23, 30	6.13, 20, 27	4.11, 18, 25	1.8, 22, 29	5.12, 19
	HSJ158		イノベーションプロセスを強化するシナリオプランニング	¥48,600	1日	グループ実習	東京(大森)	23		1			
	HSJ159		顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン	¥64,800	2日	グループ実習	東京(大森)		14~15	18~19			6~7
	HSJ163		クリエイティブシンキング	¥43,200	1日	グループ実習	東京(大森)	24	9	6	17	9	
	HSJ175	New	データ活用のパターンとビジネス着想	¥28,080	0.5日	レクチャ	東京(大森)			29	20		
	HSJ170	Renewal	イノベティブ思考-単なるアイデアで終わらせないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかた-	¥95,040	2日	グループ実習	東京(大森)				23~24	21~22	18~19
	HSE302	New	<eラーニング>【スキル定着】相手を納得させる論理構成力を磨く【スマートデバイス対応】	¥10,800	4時間	eラーニング スキル定着	学習開始日	4.11, 18, 25	9.16, 23, 30	6.13, 20, 27	4.11, 18, 25	1.8, 22, 29	5.12, 19
ライティング	HSE070		<eラーニング>文書作成力向上トレーニング	¥18,360	8時間	eラーニング	学習開始日	4.11, 18, 25	9.16, 23, 30	6.13, 20, 27	4.11, 18, 25	1.8, 22, 29	5.12, 19
	HSJ161		文書作成力向上トレーニング(演習編)	¥32,400	1日	グループ実習	東京(大森) 広島 福岡		7		4	2	7 4
	HSE064		<eラーニング>ロジカルライティング(基礎知識編)	¥18,360	6時間	eラーニング	学習開始日	4.11, 18, 25	9.16, 23, 30	6.13, 20, 27	4.11, 18, 25	1.8, 22, 29	5.12, 19
	HSJ160		ロジカルライティング(演習編)	¥43,200	1日	グループ実習	東京(大森) 大阪 広島			25			3 18 21
	HSJ153		リーダ向け「文書添削と指導法」	¥43,200	1日	グループ実習	東京(大森) 大阪		23	20	23	21	
	HSJ154		ロジカルプレゼンテーション基礎	¥73,440	2日	グループ実習	東京(大森) 大阪			25~26	12~13	6~7	10~11
	HSE708		<eラーニング>【ナビ機能付き】グラフィカルトレーニング-思考を図解で強化する-	¥10,800	2時間	eラーニング ナビ付き	学習開始日	4.11, 18, 25	9.16, 23, 30	6.13, 20, 27	4.11, 18, 25	1.8, 22, 29	5.12, 19
	HSE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】ビジュアル化技法の基本-魅力的なビジュアル資料を作る-	¥11,880	4時間	eラーニング ナビ付き	学習開始日	4.11, 18, 25	9.16, 23, 30	6.13, 20, 27	4.11, 18, 25	1.8, 22, 29	5.12, 19
	HSJ155		プレゼンを生き生きさせるビジュアル化技法-相手を惹きつけるための資料作成-	¥24,300	0.5日	マシン実習	東京(大森)	20		21	17	22	
	HSE301	New	<eラーニング>【スキル定着】ビジュアルデザイン【スマートデバイス対応】	¥10,800	4時間	eラーニング スキル定着	学習開始日	4.11, 18, 25	9.16, 23, 30	6.13, 20, 27	4.11, 18, 25	1.8, 22, 29	5.12, 19
定量的分析	HSJ162		BI・マイニング事例で学ぶデータ分析提案の進め方	¥81,000	2日	グループ実習	東京(大森)			7~8	2~3		

New: 新設コース 改訂コース 休講: 今期の定期開催はありません
 【スマートデバイス対応】: パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。 PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
 学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン(凡例(P.55))を参照ください。

Table with columns: 分野, コースコード, 開催区分, コース名, 受講料(税込), 日数/平均学習時間, 学習形態, 開催地区, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月. Contains detailed course listings for various categories like 定量的分析, 意思決定, etc.

※受講料(税込)は、2018年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時時点の最新税率を適用した金額となります。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」の受講料はカッコ内に表示しています)
※自習テキストは(株)日立インフォメーションアカデミーの商品であり、受講料には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。
※eラーニングコースの受講料には、標準サービス費を表記しています。ヘルプデスクサービスをご利用の際は、受講料のほか別途ヘルプデスクサービス費が必要となります(一部コースは対象外)。
ヘルプデスクサービスの有無、費用については、ホームページをご覧ください。

Table with columns: 分野, コースコード, 開催区分, コース名, 受講料(税込), 日数/平均学習時間, 学習形態, 開催地区, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月. Contains detailed course listings for categories like リーダシップ, 戦略・マーケティング, 業務知識, etc.

New : 新設コース | 改訂コース | 休講 : 今期の定期開催はありません
スマートデバイス対応 : ハンコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。
PDU : PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
学習形態: 3. 「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン(凡例(P.55)を参照ください。

分野	コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ビジネス/アップ	HSE033		<eラーニング>(PDU)「真観政要」に学ぶリーダーの心得 PDU	¥42,120	10時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	HSE034		<eラーニング>(PDU)「書経」に学ぶリーダーの心得 PDU	¥42,120	10時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	HSE032		<eラーニング>(PDU)「韓非子」のリーダー学 PDU	¥42,120	10時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	HSE030		<eラーニング>経世済民の哲学としての朱子学	¥42,120	10時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	HSE029		<eラーニング>(PDU)孫子の兵法を現代に役立てる方法 PDU	¥42,120	10時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	HSE073		<eラーニング>(PDU)リーダーに必要な人間力 三国志から学ぶリーダー学 PDU	¥42,120	10時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
英語	HSE006		<eラーニング>TOEIC® TEST 完全達成 470	¥12,960	-		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	HSE007		<eラーニング>TOEIC® TEST 完全達成 650	¥12,960	-		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	HSE008		<eラーニング>TOEIC® TEST 完全達成 730	¥12,960	-		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19

グローバル

分野	コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月
グローバル													
	GBE010		<eラーニング>(PDU)グローバルビジネスの基礎 -ビジネスルールと多様性-(基本セット) PDU	¥21,600	4時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	GBE006		<eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) A.アジア編	¥5,400	3時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	GBE007		<eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) B.ロシア、インド、イスラム編	¥5,400	2時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	GBE008		<eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) C.ヨーロッパ編	¥5,400	3時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	GBE009		<eラーニング>多様性の理解(グローバルナビゲーター) D.アメリカ、オセアニア編	¥5,400	3時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	GBD001		情理と論理のグローバルコミュニケーション -日本文化に根ざし、人間力で考える戦略思考-	¥54,000	1日		東京(大森)	17					
	GBE013		<eラーニング>(PDU)中国ビジネスの鉄則 1 -社会や産業の特徴- PDU	¥21,600	5時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	GBE014		<eラーニング>(PDU)中国ビジネスの鉄則 2 -国有企業、民間企業、外資系企業- PDU	¥21,600	5時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	GBE011		<eラーニング>(PDU)インドビジネスの鉄則 1 -歴史と文化- PDU	¥25,704	6時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	GBE012		<eラーニング>(PDU)インドビジネスの鉄則 2 -人材、交渉- PDU	¥21,600	5時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19

*受講料(税込)は、2018年1月時点の消費税(8%)に基づいた金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時点の新税率を適用した金額となります。
 *日立製品講座のJP1の認定試験付コース(コースコード末尾「T」の受講料はカッコ内に表示しています。)
 *自習テキストは(株)日立インフォメーションアカデミーの商品であり、受講料には教材費(テキスト販売費)を表記しています。
 *eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています(一部コースは除く)。
 *eラーニングコースの受講料欄には、標準サービス費を表記しています。ヘルプデスクサービスをご利用の際は、受講料のほか別途ヘルプデスクサービスが必要となります(一部コースは対象外)。ヘルプデスクサービスの有無、費用については、ホームページをご覧ください。

学び直しシリーズ eラーニング

分野	コースコード	開催区分	コース名	受講料(税込)*	日数/平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ビッグデータ													
	DBE027		<eラーニング>【学び直し】R入門-Rによるデータ分析-	¥19,440	8時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
クラウド / サーバ仮想化													
	VME001		<eラーニング>【学び直し】VMware vSphere システム構築技術[v5.5]-基礎編-	¥24,300	4時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	VME002		<eラーニング>【学び直し】VMware vSphere システム構築技術[v5.5]-高信頼編-	¥24,300	4時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
ビジネス/ヒューマン													
思考法	HSE035		<eラーニング>【学び直し】ロジカルシンキング基礎 -論理の可視化と論理チェックのポイント-	¥18,360	8時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
プレゼンテーション	HSE039		<eラーニング>【学び直し】ロジカルプレゼンテーション基礎	¥18,360	8時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
2Way コミュニケーション	HSE041		<eラーニング>【学び直し】報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎	¥9,720	4時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	HSE042		<eラーニング>【学び直し】リスニング力を高めてコミュニケーションスキルアップ	¥10,800	4時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	HSE043		<eラーニング>【学び直し】アサーティブ・コミュニケーション	¥10,800	4時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
リーダーシップ	HSE045		<eラーニング>【学び直し】メンバーシップとチームワーク	¥8,640	4時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	HSE046		<eラーニング>【学び直し】リーダーシップの原理・原則	¥10,800	4時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19
	HSE047		<eラーニング>【学び直し】コーチング基礎	¥10,800	4時間		学習開始日	4.11, 18.25	9.16, 23.30	6.13, 20.27	4.11, 18.25	1.8.22, 29	5.12, 19

New : 新設コース | 改訂コース | 休講 : 今期の定期開催はありません
 【スマートデバイス対応】: パソコン・スマートデバイスどちらでも学習できるタイプのeラーニングです。 PDU : PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
 学習形態: 3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.55)を参照ください。

↓ eラーニングコースのご紹介

ナビ機能付きeラーニングコース

1つのコースを細かく複数の学習コンテンツ(チャンク)に分離し、プレテストで学習の必要度を判断しながら学習を進められるeラーニングです(既に理解しているチャンクは、スキップが可能)。また、学習コンテンツへのメモ書き込みやブックマーク保存、キーワードのWeb検索機能により、受講者の学習を支援します。

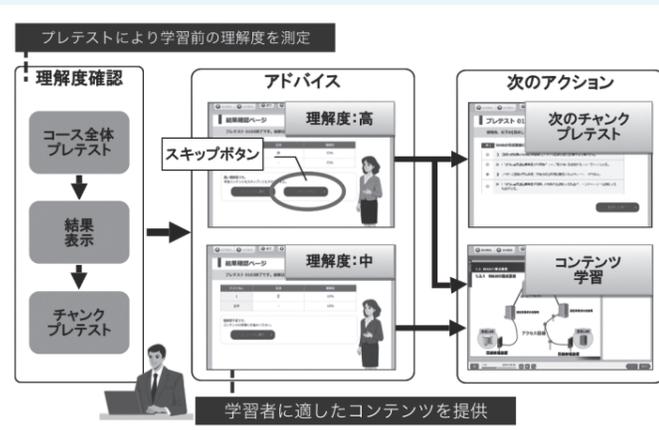
○ナビ機能付きeラーニングの特長

学習者毎に学習内容を最適化し、提供するeラーニングです。学習をチャンク*と呼ばれる短い単位で区切ることで、細かく理解度を測りながら段階的に学習を進めることができます。

また、修了試験の結果から、理解度が不十分な箇所のみ、再学習できるようになっています。

*チャンク:5~15分程度の短い学習コンテンツ

- Point 1** 学習前の知識レベルに応じて必要な学習内容を、判断しながら進めるため、学習時間を短縮できます。
- Point 2** 学習前に自分の理解度を知ることで、学習への動機が明確になります。



学習利用環境 学習教材の閲覧環境については、右記のサイトをご確認ください。 <https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/el/naviel/index.html>

マシン演習付きeラーニングコース

従来のコンテンツによる学習やテストに加え、クラウド上のマシン環境で操作演習できるeラーニングです。

○マシン演習付きeラーニングの特長

学習者主体の学びが実現できるeラーニングに、クラウド上のマシン演習環境を合わせてご提供いたします。eラーニングで理解した内容をクラウド上のマシンで操作演習し、知識とスキルを定着できます。

- Point 1** Webブラウザとインターネット環境があれば、実機演習を用いた学習をすぐに開始できます。
*学習教材はPDFファイルにて提供いたします。
- Point 2** ご自身のペースで実機演習に取り組みます。
- Point 3** 受講期間中は、何度でもマシン演習環境を利用できます。



学習利用環境 学習教材の閲覧環境については、右記のサイトをご確認ください。 <https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/el/enshuel/index.html>

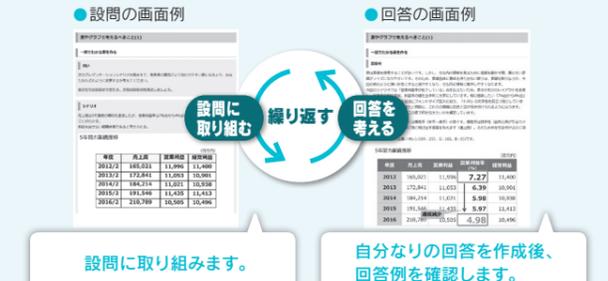
スキル定着を支援するeラーニングコース

「知識(わかる)」を「スキル(できる)」に! スキル定着を支援するeラーニングです。

○スキル定着を支援するeラーニングの特長

学習者の「知識(わかる)」を「スキル(できる)」にレベルアップさせる学習経験の機会を拡大し、さらなる主体的、継続的な学習や「実践力(使える)」の養成に向けたスキル定着のプロセスを支援します。

- Point 1** 繰り返し設問に取り組むことにより、知識をスキルとして定着することを支援します。
- Point 2** 実務ベースで起こりうるシーンを設問に取り入れているため、すぐに業務に活用できます。



さらなるレベルアップをめざした継続的な学習や実践力養成をめざしたスキル定着を支援するeラーニング!

学習利用環境 学習教材の閲覧環境については、右記のサイトをご確認ください。 <https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/el/skillel/index.html>

従来型eラーニングコース

従来から提供しているeラーニングです。説明画面、音声テキスト、ナレーション音声で構成されています(ナレーション音声がないコースもあります)。

学習利用環境 学習教材の閲覧環境については、右記のサイトをご確認ください。 <https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/el/usualel/index.html>

動画型eラーニングコース

講義のプレゼンテーション画面や業務用アプリケーションなどのソフトウェア操作画面を、講師の説明音声とともに、動画にてお届けするeラーニングです。

学習利用環境 学習教材の閲覧環境については、右記のサイトをご確認ください。 <https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/el/movingel/index.html>

学び直しシリーズeラーニングコース

すでに業務で実践経験があり、知識・スキルを体系的に学ぶことにより、さらに意識を高めたり、業務の効果・効率を向上したい方のためのeラーニングです。

学習利用環境 学習教材の閲覧環境については、右記のサイトをご確認ください。 <https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/el/relel/index.html>

Oracle トレーニング・オンデマンド

Oracle トレーニング・オンデマンドは、日本オラクル社より提供いたします。
 お申込責任者およびご受講者は、日本オラクル社の以下サイトと、下記の学習利用環境をご確認いただいたうえでお申し込みください。

- Oracle University お申し込み規約 (ORACLE UNIVERSITY LEGAL TERMS & POLICIES) の「Oracle トレーニング・オンデマンド」
<http://www.oracle.com/jp/education/terms-policies/110112-1868787-ja.html>
- Oracle University Knowledge Center - ホスティング・アクセス・ポリシー
<http://www.oracle.com/jp/education/oukc/hosting-policies-172662-ja.html>

学習利用環境 学習教材の閲覧環境については、右記のサイトをご確認ください。 <https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/el/orael/index.html>

アイテック社 情報処理技術者試験対策eラーニングコース

情報処理技術者試験対策eラーニングは、アイテック社より提供いたします。

学習利用環境 学習教材の閲覧環境については、右記のサイトをご確認ください。 <https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/el/itecel/index.html>

↓ ヘルプデスクサービスのご紹介

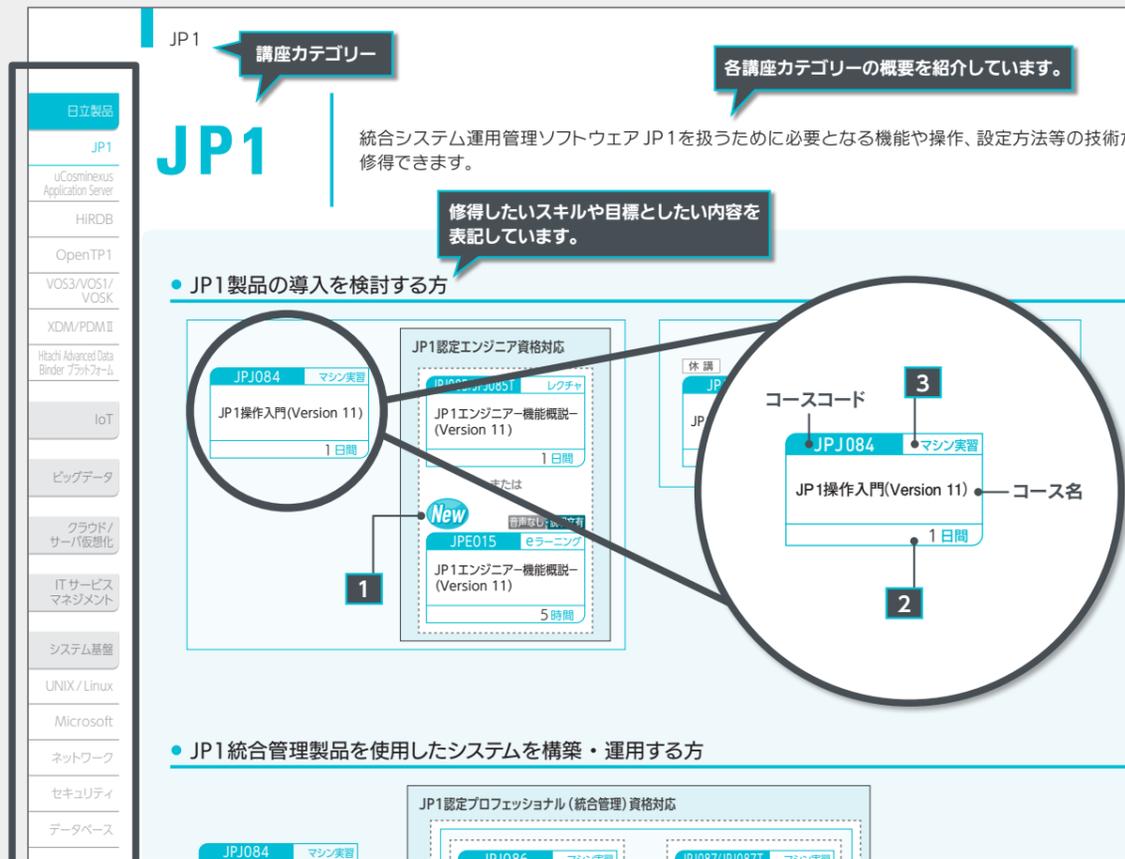
- ヘルプデスクサービスはeラーニングの学習期間中、当該コースのご受講者に対し、学習内容についてのご質問にチュータがお答えする付加サービスです。
(eラーニングの操作方法に関するお問い合わせは基本サービスとなっております、随時お受けしています)
*なお、本サービスを提供していないコースもありますので、ご注意ください。
- ご質問/回答はeラーニングシステムの質問機能、またはeメールで行います。
- ご質問に対するチュータからの回答は、原則1営業日以内とさせていただきますが、ご質問内容によっては数日かかる場合がありますことをご了承ください。
- お客様の作成されたプログラムの動作確認、業務に特化した内容など、学習範囲外のご質問は本サービスの対象外です。

↓ 受講レベル確認サービスのご紹介

いつでもどなたでもご利用できるサービスです。特に日立講習会を利用される方が事前にコースの前提知識を確認することにより、効果的にご受講することができます。また、実力の把握などに活用することもできます。詳細は、(株)日立インフォメーションアカデミーのホームページからご利用ください。

お客様の人財育成に役立てていただけるよう適切な体系を考え、また各種スキル標準に沿ったかたちで、さまざまなカリキュラムをご用意しています。30の講座カテゴリーに分類し、体系的に学習し、効率的なスキルアップを図れるよう、コースフローを紹介しています。

コースフロー参照の POINT!



講座カテゴリー

日立製品研修

- 日立製品
 - ・ JP1
 - ・ uCosminexus Application Server
 - ・ HiRDB
 - ・ OpenTP1
 - ・ VOS3/VOS1/VOSK
 - ・ XDM/PDM II
 - ・ Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム

IT/ビジネス研修

- IoT
- ビッグデータ
- クラウド / サーバ仮想化
- IT サービスマネジメント
- システム基盤
 - ・ UNIX/Linux
 - ・ Microsoft
 - ・ ネットワーク
 - ・ セキュリティ
 - ・ データベース
- IT 戦略・IS 企画 / システム設計
 - ・ IT 戦略・IS 企画
 - ・ システム設計
- アプリケーション開発
 - ・ Web アプリケーション
 - ・ スマートデバイス
 - ・ オブジェクト指向 / UML
 - ・ 言語
- IT 基本
 - ・ IT 基本
 - ・ ハードウェア
 - ・ 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス / ヒューマン
- グローバル

コースカリキュラム参照の POINT!

コースコード	コース名	分野名
JPJ085/JPJ085T JP1	JP1エンジニア機能概説- (Version 11)	<eラーニング> [マシン演習付き] JP1プロフェッショナル 統合管理 1 - システム監視- (Version 11)
1日	1日	平均16時間
3	2	1
すべての運用管理分野におけるJP1製品の機能を学習します。	自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通してJP1 Integrated Management (JP1/IM)を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、マシン実習を通して学習します。	
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ JP1 製品の特徴が説明できる。 ・ 各管理製品にどのような製品があるか説明できる。 ・ 各管理の主要製品の主な機能を説明できる。 対象者 <ul style="list-style-type: none"> ・ JP1製品の導入を検討する方、JP1のシステム構築・販売をする方、JP1認定エンジニア資格の取得をめざす方。 前提知識 <ul style="list-style-type: none"> ・ オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語について知識があること。 内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. JP1の基礎知識 2. オートメーション 3. モニタリング 4. コンプライアンス 備考 <ul style="list-style-type: none"> ・ このコースは、「JP1認定エンジニア」資格に準拠したコースです。 ・ このコースは、JP1 Version 11対応です。 ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・ このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。 ・ コースコード: JPJ085 (研修のみ) ・ コースコード: JPJ085T (試験付) ・ 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。 ・ 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 ・ JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。ます。 	到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ セントラルコンソールとセントラルコープの概要を説明できる。 ・ セントラルコンソール、セントラルコープを使って事後監視ができる。 ・ イベント監視ページのカスタマイズができる。 ・ セントラルコンソールに表示するイベントの設定(フィルター設定)ができる。 ・ 自動アクションの設定ができる。 ・ 重要イベントページのカスタマイズができる。 ・ 必要なイベントを検索できる。 ・ 他のJP1製品と連携したモニター起動と統合機能メニューを操作できる。 ・ コマンド実行の操作ができる。 対象者 <ul style="list-style-type: none"> ・ JP1/IMを使用してシステムを監視する方。 ・ JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。 前提知識 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「JP1エンジニア機能概説- (Version 11)」コース/eラーニングコース、または「JP1操作入門 (Version 11)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。 内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. 統合管理の全体像 2. システム監視 <ol style="list-style-type: none"> (1)システム監視の基本操作 (2)繰り返しイベントの表示抑制 (3)フィルターによるJP1イベントの絞り込み 3. システム障害の検知 <ol style="list-style-type: none"> (1)自動アクション (2)ローカルアクション (3)重要イベントページ (4)ビジュアル監視 (5)監視ツリー 4. システム障害の調査・対応 <ol style="list-style-type: none"> (1)ガイド情報の表示 (2)メモ情報の設定 (3)コマンド実行 5. 修了試験 (JP1認定資格試験ではありません) 備考 <ul style="list-style-type: none"> ・ 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・ 収録した講義音源と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・ お申し込みの前に必ず学習環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・ このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・ このコースは、JP1 Version 11対応です。 ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 	

アイコン凡例

1 開催区分

- New** 新設コース
- Renewal** 改訂コース
- 休講 今期の定期開催はありません

2 開催日数/平均学習時間

コースの開催日数となります。eラーニング、自習テキスト・演習環境の場合は平均学習時間を表記しています。

3 学習形態

学習形態により学習利用環境が異なりますので、ホームページをご参照のうえ、事前に環境をご確認ください。

【集合研修】

- 原則として1人1台のマシンを使用しながらの研修
- グループ演習を中心とした研修
- 座学による研修

【演習環境】

- 職場・ご自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習

【研修室自習型】

- 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習

【自習テキスト】

- 職場・ご自宅など自習テキストによる自己学習

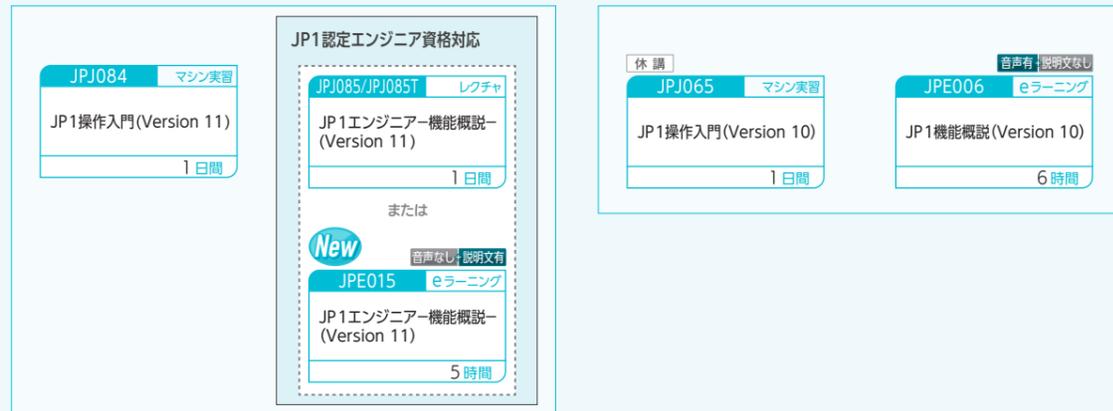
【eラーニング】

種別	サービス有効期間
従来型eラーニング	90日間
マシン演習付きeラーニング	21日間
動画型eラーニング	90日間
ナビ機能付きeラーニング	90日間
スキル定着eラーニング	90日間
Oracle トレーニング・オンデマンド	コースにより90日・180日・365日間となります。詳細は、各コースカリキュラムの備考欄をご覧ください。
アイテック社 情報処理技術者試験対策eラーニング	開始日によって異なります。詳細は、各コースカリキュラムの備考欄をご覧ください。

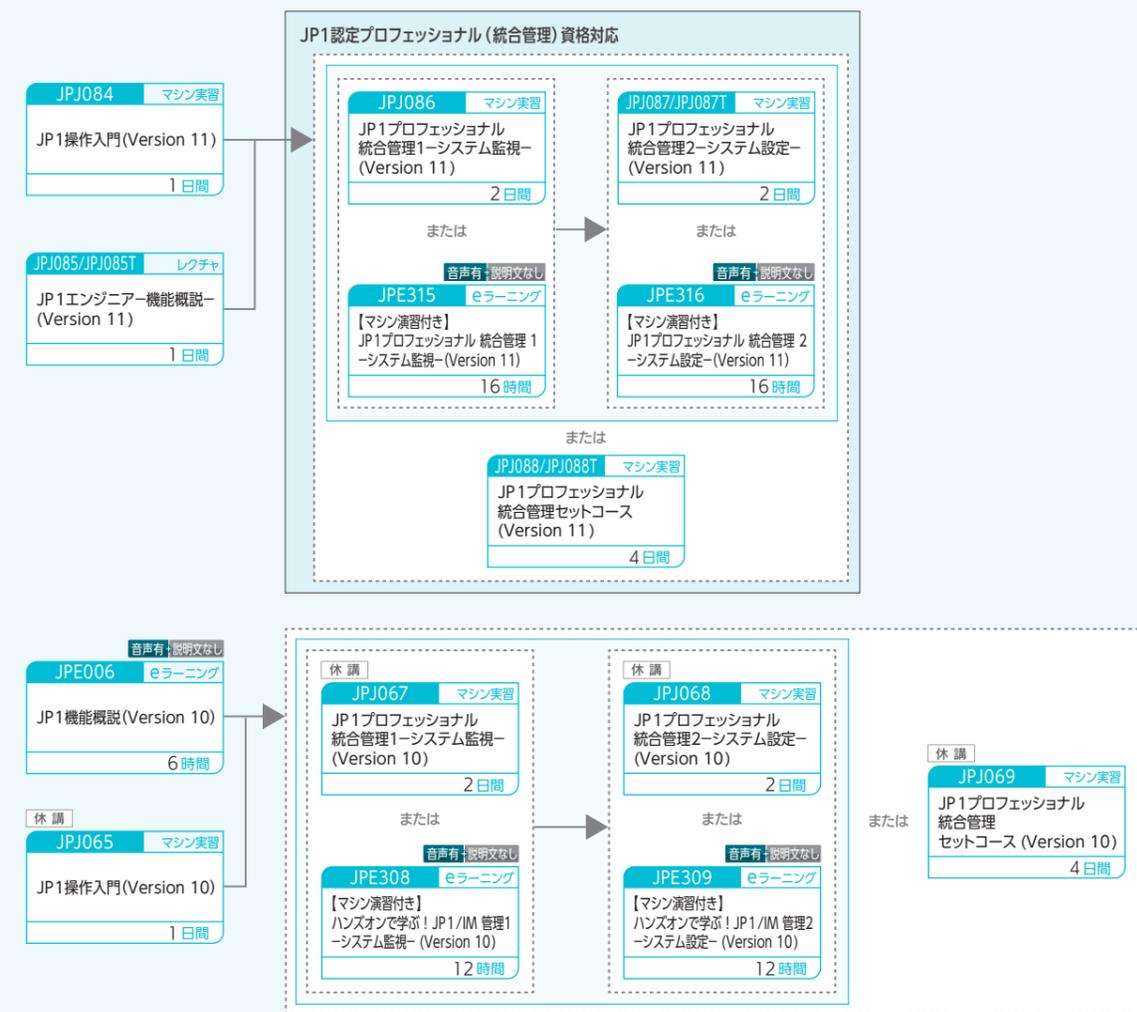
JP1

統合システム運用管理ソフトウェア JP1 を扱うために必要となる機能や操作、設定方法等の技術が修得できます。
 JP1 Version 11 対応の研修は、JP1 Version 10 までの製品をご利用の方も受講できます。

● JP1 製品の導入を検討する方



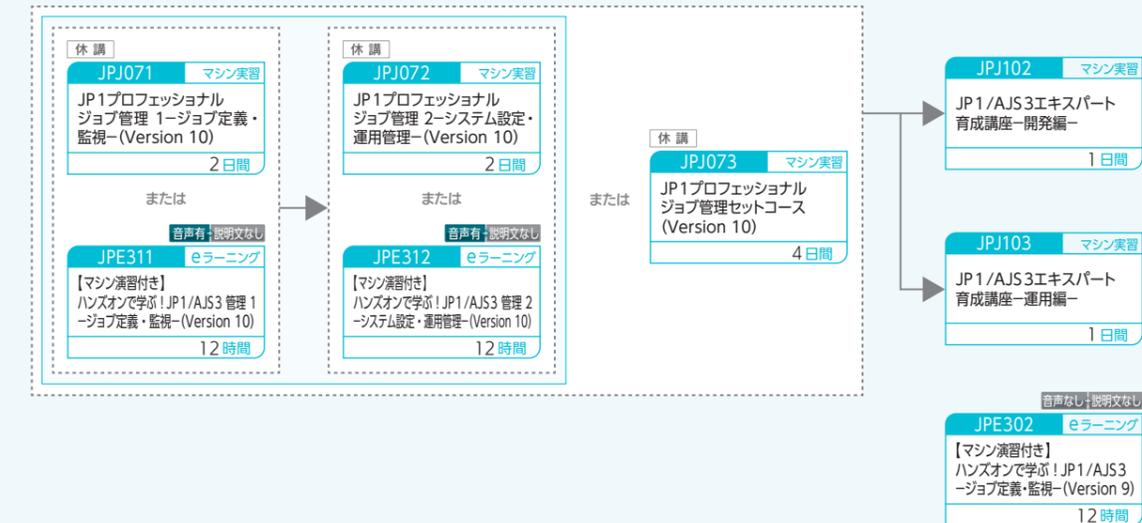
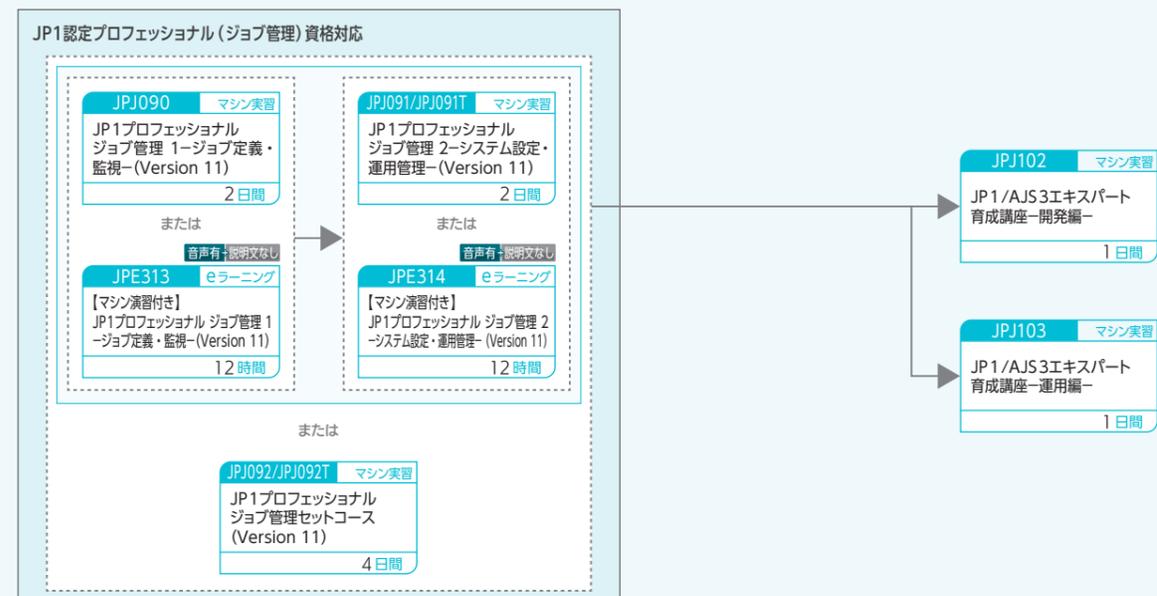
● JP1 統合管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



● JP1 IT運用自動化製品を使用したシステムを構築・運用する方

JPJ093 マシン実習
 JP1 プロフェッショナル IT 運用自動化 (Version 11)
 2 日間

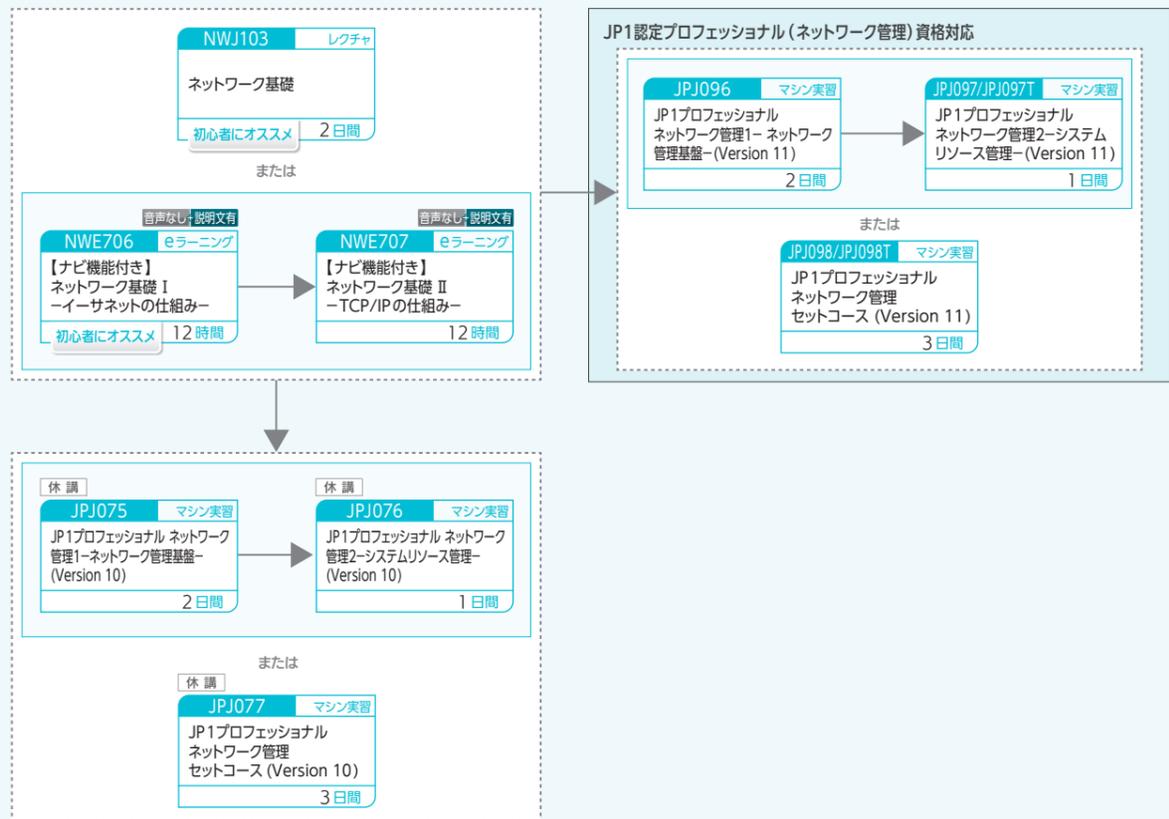
● JP1 ジョブ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



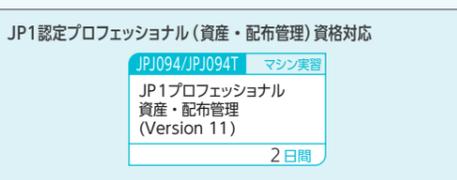
音声有+説明文有: 学習の説明画面とナレーション (説明テキスト) で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
 音声有+説明文なし: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
 音声なし+説明文有: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
 音声なし+説明文なし: 学習の説明画面で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

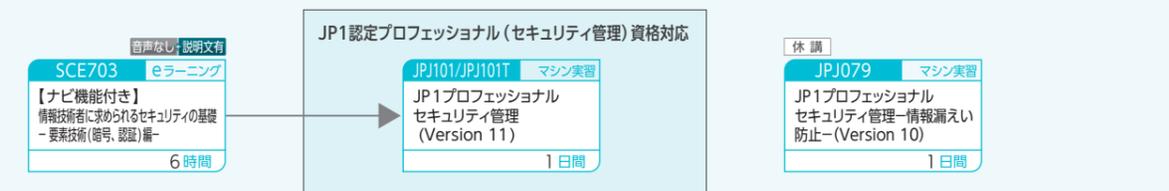
● JP1 ネットワーク管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



● JP1 資産・配布管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



● JP1 セキュリティ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



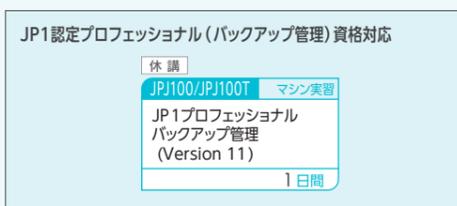
音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

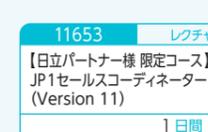
● JP1 パフォーマンス管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



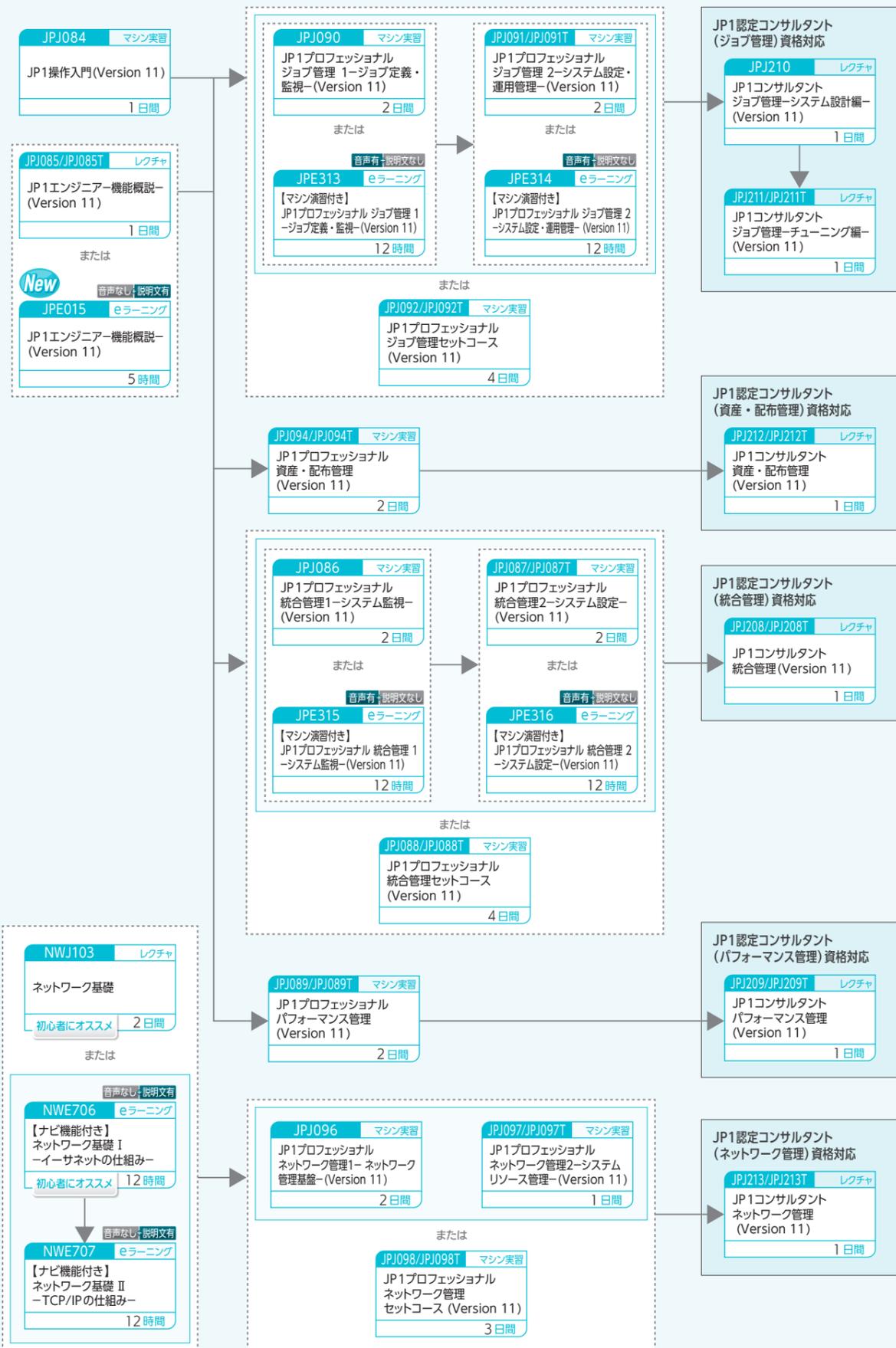
● JP1 バックアップ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



● JP1 の販売に携わる方



● JP1の各カテゴリ製品のシステム設計をする方



日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度 — オープンミドルウェア編

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度(オープンミドルウェア編)は、JP1製品を対象に、一定以上のスキルを有する技術者を日立が認定する制度です。セールスからシステム構築・運用、アプリケーション開発まで目的ごと、さらにレベルごとに資格を設け、「試験」により、厳格・公正な評価基準でそのスキルレベルを認定します。

資格取得をサポート

試験合格をサポートする学習コース「講座」もご用意しております。講座は、試験に準拠した内容となっており、かつ高度な知識やノウハウを体系的・効率的に学べる、と大変好評をいただいております。

信頼と安心の技術者資格認定

資格取得者は、そのスキルレベルを客観的に示すことができ、日立オープンミドルウェア各製品をご利用いただくお客様、ソリューションやサービスを提供する方々から高い信頼と評価を得ることができます。また、人材育成や技術者のテクニカルスキルをはかる尺度としても活用できます。

資格取得者の特典

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度では、資格取得者に対して専用のWebサイトをご用意し、資格のバージョンアップや継続してスキルアップを図るための技術情報をご提供しております。(ご希望の方にはメールでもご案内しております。) また、認定証や名刺に貼ってご利用いただける認定ロゴシールや印刷して使用できるロゴも資格者専用の会員サイトにてご提供しております。

<受験にあたってのお願い>

- 受験当日は、ご本人を確認できる顔写真付き証明書(免許証、従業員証、パスポートなど)を忘れずにご持参ください。ご持参いただかない場合は、受験が無効になることがありますので、ご注意ください。
- 認定試験はマークシート方式のため、鉛筆またはシャープペンシル、プラスチック製消しゴムをご持参ください。
- 試験付コースをお申し込みの場合は、お申し込みの情報を日立オープンミドルウェア技術者認定センターに提供いたします。

JP1 技術者資格認定試験一覧

試験名	試験内容	認定基準	試験時間
JP1認定エンジニア	試験問題20問	70%以上正解	40分
JP1認定プロフェッショナル (各カテゴリ別認定)	試験問題30問	70%以上正解	60分
JP1認定コンサルタント (各カテゴリ別認定)	試験問題30問	70%以上正解	60分
JP1認定セールスコーディネーター*	試験問題20問	70%以上正解	30分

CBT CBT試験サービス会社で受験できる試験 日立 当社で研修とともに受験できる試験

*日立パートナー様のみ受験可能です。

資格認定試験は、(株)日立製作所が提供するものです。運営は、(株)日立インフォメーションアカデミーおよびCBT試験サービス会社に委託しています。

※受験可能なCBT試験サービス会社は下記のホームページでお確かめください。

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度サイト ▶▶ JP1 <http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/jp1/event/cert/index.html>

● JP1 技術者資格認定制度の詳細・最新情報について

<http://www.hitachi.co.jp/products/it/cert/middleware/index.html>

● (株)日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部 日立オープンミドルウェア技術者認定センター お問い合わせ窓口

https://www.8.hitachi.co.jp/inquiry/it/soft/cert_contact/form.jsp

自習テキスト 自習書による自己学習
休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

JP1技術者資格認定制度（Version 11対応）

※Version 10については日立オープンモデルウェア技術者認定センターまでお問い合わせください。

JP1

JP1技術者資格認定制度は、JP1の一定以上のスキルを有する技術者を日立が認定する制度です。

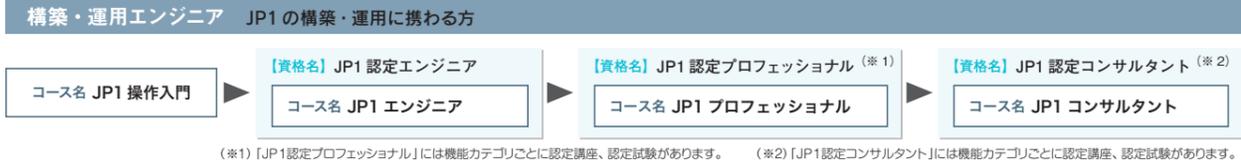
セールスからシステム構築・運用まで目的ごと、さらにレベルごとに資格を設け、「JP1試験」により、厳格・公正な評価基準でそのスキルレベルを認定します。

JP1 技術者資格認定一覧

資格名	認定スキル
JP1認定エンジニア <Certified JP1 Engineer>	JP1全般の理解、および運用に必要なテクニカルスキルを修得したエンジニアを認定します。
JP1認定プロフェッショナル <Certified JP1 Professional>	JP1各カテゴリ製品の導入とシステム構築ができるテクニカルスキルを修得したエンジニアをカテゴリごとに認定します。
JP1認定コンサルタント <Certified JP1 Consultant>	JP1各カテゴリ製品について、最適なコンサルテーションができるテクニカルスキルを修得したエンジニアを、カテゴリごとに認定します。
JP1認定セールスコーディネーター <Certified JP1 Sales Coordinator>*	お客様に対し最適なJP1の提案・見積もりができるセールススキルを修得したエンジニアを認定します。

※日立パートナー様のみ受験可能です。

JP1 技術者資格認定制度の体系



セールスエンジニア JP1の販売に携わる方



JP1 技術者資格認定制度における出題範囲

試験名	試験の出題範囲
JP1認定エンジニア	「JP1エンジニア機能概説－(Version 11)」のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル 統合管理	「JP1プロフェッショナル 統合管理 1－システム監視－(Version 11)」、 「JP1プロフェッショナル 統合管理 2－システム設定－(Version 11)」のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル パフォーマンス管理	「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理(Version 11)」のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル ジョブ管理	「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1－ジョブ定義・監視－(Version 11)」、 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2－システム設定・運用管理－(Version 11)」のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル 資産・配布管理	「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理(Version 11)」のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル ネットワーク管理	「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1－ネットワーク管理基盤－(Version 11)」、 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2－システムリソース管理－(Version 11)」のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル バックアップ管理	「JP1プロフェッショナル バックアップ管理(Version 11)」のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル セキュリティ管理	「JP1プロフェッショナル セキュリティ管理(Version 11)」のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント 統合管理	「JP1コンサルタント 統合管理(Version 11)」、 「JP1プロフェッショナル 統合管理 1－システム監視－(Version 11)」、 「JP1プロフェッショナル 統合管理 2－システム設定－(Version 11)」のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント パフォーマンス管理	「JP1コンサルタント パフォーマンス管理(Version 11)」、 「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理(Version 11)」のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント ジョブ管理	「JP1コンサルタント ジョブ管理－システム設計編－(Version 11)」、 「JP1コンサルタント ジョブ管理－チューニング編－(Version 11)」、 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1－ジョブ定義・監視－(Version 11)」、 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2－システム設定・運用管理－(Version 11)」のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント 資産・配布管理	「JP1コンサルタント 資産・配布管理(Version 11)」、 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理(Version 11)」のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント ネットワーク管理	「JP1コンサルタント ネットワーク管理(Version 11)」、 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1－ネットワーク管理基盤－(Version 11)」、 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2－システムリソース管理－(Version 11)」のテキスト内容から出題
JP1認定セールスコーディネーター*	「JP1セールスコーディネーター (Version 11)」のテキスト内容から出題 ※日立パートナー様のみ受験可能です。

JP1085/J1085T JP1
JP1エンジニア機能概説－
(Version 11)

すべての運用管理分野におけるJP1製品の機能を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none">JP1製品の特徴が説明できる。各管理製品にどのような製品があるか説明できる。各管理の主要製品の主な機能を説明できる。
対象者	JP1製品の導入を検討する方、JP1のシステム構築・販売をする方、JP1認定エンジニア資格の取得をめざす方。
前提知識	オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語について知識があること。
内 容	<ol style="list-style-type: none">JP1の基礎知識オートメーションモニタリングコンプライアンス
備 考	<ul style="list-style-type: none">このコースは、「JP1認定エンジニア」資格に準拠したコースです。このコースは、JP1 Version 11対応です。このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。コースコード：JP1085（研修のみ） コースコード：JP1085T（試験付）試験付コースは、研修終了後（16：30以降）にJP1試験を行います。試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPE015 JP1
<eラーニング>JP1エンジニア
機能概説－(Version 11)

すべての運用管理分野におけるJP1製品の機能を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none">JP1製品の特長が説明できる。各管理製品にどのような製品があるか説明できる。各管理の主要製品の主な機能を説明できる。
対象者	JP1製品の導入を検討する方、JP1のシステム構築・販売をする方、またはJP1認定エンジニア資格の取得をめざす方。
前提知識	オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語について知識があること。
内 容	<ol style="list-style-type: none">JP1の基礎知識オートメーションモニタリングコンプライアンス修了試験（JP1認定資格試験ではありません）
備 考	<ul style="list-style-type: none">このコースは、「JP1認定エンジニア」資格に準拠したコースです。このコースは、JP1 Version 11対応です。このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

JPJ084 JP1
JP1操作入門 (Version 11)

JP1の代表的な5製品の基本操作を、マシン実習を通して学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none">JP1の主要5製品の特徴を説明できる。JP1/Automatic Job Management System3（ジョブ管理）で業務を自動実行するための基本操作ができる。JP1/IT Desktop Management2（資産・配布管理）で資産管理をするための基本操作ができる。JP1/Network Node Manager（ネットワーク管理）でネットワークの監視をするための基本操作ができる。JP1/Performance Management（パフォーマンス管理）で稼働情報を監視するための基本操作ができる。JP1/Integrated Management（統合管理）でシステム監視するための基本操作ができる。
対象者	JP1を使用してシステム運用管理をする方。JP1の導入を検討する方。
前提知識	オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語について知識があり、かつWindowsの操作経験があること。
内 容	<ol style="list-style-type: none">システム運用管理とJP1ジョブ管理の操作入門資産・配布管理の操作入門統合管理の操作入門パフォーマンス管理の操作入門ネットワーク管理の操作入門
備 考	<ul style="list-style-type: none">このコースは、JP1 Version 11対応です。マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。

JPJ086 JP1
JP1プロフェッショナル 統合管理 1
－システム監視－(Version 11)

JP1/Integrated Management (JP1/IM)を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、マシン実習を通して学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none">セントラルコンソールとセントラルスコープの概要を説明できる。セントラルコンソール、セントラルスコープを使って事象監視ができる。セントラルコンソール、セントラルスコープを使って事象監視ができる。イベント監視ページのカスタマイズができる。セントラルコンソールに表示するイベントの設定（フィルター設定）ができる。自動アクションの設定ができる。重要イベントページのカスタマイズができる。必要なイベントを検索できる。他のJP1製品と連携したモニター起動と統合機能メニューを操作できる。コマンド実行の操作ができる。
対象者	JP1/IMを使用してシステムを監視する方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。
前提知識	「JP1エンジニア機能概説－(Version 11)」コース、または「JP1操作入門 (Version 11)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	<ol style="list-style-type: none">統合管理の全体像システム監視<ul style="list-style-type: none">(1)システム監視の基本操作(2)繰り返しイベントの表示抑止(3)フィルターによるJP1イベントの絞り込みシステム障害の検知<ul style="list-style-type: none">(1)自動アクション(2)ローカルアクション(3)重要イベントページ(4)ビジュアル監視(5)監視ツリーシステム障害の調査・対応<ul style="list-style-type: none">(1)ガイド情報の表示(2)メモ情報の設定(3)コマンド実行修了試験（JP1認定資格試験ではありません）
備 考	<ul style="list-style-type: none">お申し込み前にお必ずご確認ください収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。）このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdfこのコースは、JP1 Version 11対応です。このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。このコースには、資格認定試験はありません。学習教材は、セキュリティ認定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参覧ください。学習開始日10営業日前を過ぎるキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。このコースは、「JP1プロフェッショナル 統合管理 1－システム監視－(Version 11)」コース（集合研修）と同等内容です。集合研修をご受講の方は、申し込まれないようご注意ください。このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

JPE315 JP1
<eラーニング>[マシン演習付き]
JP1プロフェッショナル 統合管理 1
－システム監視－(Version 11)

自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通してJP1/Integrated Management (JP1/IM)を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、マシン実習を通して学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none">セントラルコンソールとセントラルスコープの概要を説明できる。IMデータベースを構築できる。認証サーバー構築し、JP1ユーザーを管理できる。マネージャー・エージェント構成を構築できる。ログファイル監視の設定ができる。イベントメッセージの変換ができる。監視ツリーの作成やカスタマイズができる。ビジュアル監視の設定ができる。
対象者	JP1/IMのシステム構築をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。
前提知識	「JP1エンジニア機能概説－(Version 11)」コース/eラーニングコース、または「JP1操作入門 (Version 11)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	<ol style="list-style-type: none">統合管理の概要統合管理の導入<ul style="list-style-type: none">(1)インストール(2)IMデータベースの構築JP1イベントの集中管理設定<ul style="list-style-type: none">(1)構成管理設定(2)JP1イベントの転送設定(3)リモート監視構成管理の設定(4)JP1イベントに固有の拡張属性を付加する設定ユーザー管理機能<ul style="list-style-type: none">(1)ユーザー認証の設定(2)認証サーバの構築(3)ユーザーマッピングの設定監視対象の設定<ul style="list-style-type: none">(1)アプリケーションが出力するログの監視(2)Windowsイベントログの監視(3)リモート監視ホストのログ監視(4)メッセージ変換(5)イベントストーム発生時のイベント転送抑止設定監視画面の設定<ul style="list-style-type: none">(1)セントラルスコープのセットアップ(2)監視ツリー画面の設定(3)ビジュアル監視画面の設定
備 考	<ul style="list-style-type: none">このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（統合管理）」資格に準拠したコースです。このコースは、JP1 Version 11対応です。マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。コースコード：JP1087（研修のみ） コースコード：JP1087T（試験付）試験付コースは、研修終了後（16：30以降）にJP1試験を行います。試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。

JPJ087/J1087T JP1
JP1プロフェッショナル 統合管理 2
－システム設定－(Version 11)

JP1/Integrated Management (JP1/IM)のインストール、設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none">インストールする上で必要な製品構成を説明できる。IMデータベースを構築できる。認証サーバー構築し、JP1ユーザーを管理できる。マネージャー・エージェント構成を構築できる。ログファイル監視の設定ができる。イベントメッセージの変換ができる。監視ツリーの作成やカスタマイズができる。ビジュアル監視の設定ができる。
対象者	JP1/IMのシステム構築をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。
前提知識	「JP1プロフェッショナル 統合管理 1－システム監視－(Version 11)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	<ol style="list-style-type: none">統合管理の概要統合管理の導入<ul style="list-style-type: none">(1)インストール(2)IMデータベースの構築JP1イベントの集中管理設定<ul style="list-style-type: none">(1)構成管理設定(2)JP1イベントの転送設定(3)リモート監視構成管理の設定(4)JP1イベントに固有の拡張属性を付加する設定ユーザー管理機能<ul style="list-style-type: none">(1)ユーザー認証の設定(2)認証サーバの構築(3)ユーザーマッピングの設定監視対象の設定<ul style="list-style-type: none">(1)アプリケーションが出力するログの監視(2)Windowsイベントログの監視(3)リモート監視ホストのログ監視(4)メッセージ変換(5)イベントストーム発生時のイベント転送抑止設定監視画面の設定<ul style="list-style-type: none">(1)セントラルスコープのセットアップ(2)監視ツリー画面の設定(3)ビジュアル監視画面の設定
備 考	<ul style="list-style-type: none">このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（統合管理）」資格に準拠したコースです。このコースは、JP1 Version 11対応です。マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。コースコード：JP1087（研修のみ） コースコード：JP1087T（試験付）試験付コースは、研修終了後（16：30以降）にJP1試験を行います。試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。

日立製品
JP1
iCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション 開発
Web アプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

日立製品
ucCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX /Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画/システム設計
IT 戦略・IS 企画
システム設計
アプリケーション 開発
Web アプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT 基本
IT 基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

JPJ098/JPJ098T JP1

JP1 プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース (Version 11)

ネットワーク接続機器の監視、管理を行うJP1/Network Node Manager i (JP1/NNMI) 製品の機能について、マシン実習を通して学習します。または、JP1/SNMP System Observer (JP1/SSO)を使用したサーバのリソース管理、プロセス監視の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

●このコースは、セットコースのご案内となります。各コースの詳細情報を参照ください。

<JPJ096>
JP1 プロフェッショナル ネットワーク管理 1 -ネットワーク管理基礎- (Version 11)

<JPJ097/JPJ097T>
JP1 プロフェッショナル ネットワーク管理 2 -システムリソース管理- (Version 11)

- 備考**
- このコースは、「JP1 認定プロフェッショナル (ネットワーク管理)」資格に準拠したコースです。
 - このコースは、JP1 Version 11 対応です。
 - マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 - このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
 - コースコード：JPJ098 (研修のみ)
コースコード：JPJ098T (試験付)
 - 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
 - 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1 技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
 - JP1 技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。
 - JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。

JPJ089/JPJ089T JP1

JP1 プロフェッショナル パフォーマンス管理 (Version 11)

ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management (JP1/PFM) 製品の機能について、マシン実習を通して学習します。

- 対象者** JP1/PFMシステム構築、稼働情報監視を行う方、JP1 認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。
- 前提知識** オペレーティングシステムや各種サーバの基礎的な知識があること。
- 内容**
- パフォーマンス管理の概要
 - JP1/PFMによる稼働情報の監視
 - 監視コンソールサーバのログイン
 - サーバの稼働監視
 - アラームによる稼働監視
 - レポートによるパフォーマンスデータの参照
 - JP1/PFMのシステム構築
 - JP1/PFMシステム構築
 - JP1/PFMのインストールとセットアップ
 - JP1/PFM-RMのセットアップ (エージェントレス構成)
 - JP1/PFMの起動と停止
 - ユーザーアカウントの管理
 - 監視エージェントの設定
 - エージェント稼働の確認
 - パフォーマンスデータの収集設定
 - レポート定義
 - レポートの定義の概要
 - クワイックガイドを使用したレポート作成
 - レポート定義のカスタマイズ
 - 新規レポートの定義
 - アラーム定義
 - アラーム概要
 - クワイックガイドでのアラームの作成
 - アラーム稼働でのアラーム作成
 - アラーム・サービス間の稼働状況監視
 - 複数アラームテーブルの監視
 - 稼働状況のサマリ表示

- 備考**
- このコースは、「JP1 認定プロフェッショナル (パフォーマンス管理)」資格に準拠したコースです。
 - このコースは、JP1 Version 11 対応です。
 - マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 - このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
 - コースコード：JPJ089 (研修のみ)
コースコード：JPJ089T (試験付)
 - 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
 - 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1 技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
 - JP1 技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。
 - JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。

JPJ094/JPJ094T JP1

JP1 プロフェッショナル 資産・配布管理 (Version 11)

JP1/IT Desktop Management 2 (JP1/ITDM2) を使用した資産管理、配布管理、セキュリティ管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通じて学習します。

- 到達目標**
- コンピュータなどの機器の状態を把握してメンテナンスができる。
 - ハードウェア資産やソフトウェアライセンス不適応の状況を把握できる。
 - セキュリティ状況の把握と対策を検討できる。
 - パッチやファイルをコンピュータに配布し、インストールできる。

対象者 JP1/IT Desktop Management 2 (JP1/ITDM2) を使用してコンピュータの資産管理、配布管理、セキュリティ管理を実施する方、JP1 認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 Windowsの基本的な操作経験があること。

- 内容**
- 資産・配布管理の概要
 - JP1 の概要
 - JP1 による資産・配布管理の概要
 - JP1/IT Desktop Management 2 で管理できる情報
 - JP1/ITDM2 の基本操作
 - ログイン操作
 - 操作画面の利用
 - 機器管理
 - 機器管理の概要
 - 管理対象機器の設定
 - 最新機器情報の取得
 - 機器情報の手動登録
 - 資産管理
 - 資産管理の概要
 - ハードウェア資産の管理
 - ソフトウェアライセンスの管理
 - 契約情報の管理
 - 配布管理
 - 配布管理の概要
 - リモートインストール
 - いろいろなハードウェア配布
 - インストーラを使用したソフトウェア配布
 - セキュリティ管理
 - セキュリティ管理の概要
 - セキュリティポリシーの作成
 - リモートコントロール機能
 - リモートコントロール機能の概要
 - コンピュータのリモートコントロールをするための準備
 - リモートコントロールの基本操作
 - スマートデバイス管理
 - スマートデバイス管理の概要
 - スマートデバイス管理機能

備考 このコースは、「JP1 認定プロフェッショナル (資産・配布管理)」資格に準拠したコースです。

JPE321 JP1

<eラーニング> [マシン演習付き] JP1 プロフェッショナル パフォーマンス管理 (Version 11)

ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management (JP1/PFM) 製品の機能について、自席PCから演習マシンに接続し、マシン実習を通して学習します。

- 到達目標**
- JP1/PFMのインストールとセットアップができる。
 - パフォーマンスデータの収集ができる。
 - レポート、アラームの作成、操作ができる。
 - 統合コンソールとの連携設定ができる。

対象者 JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方、JP1 認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 オペレーティングシステムや各種サーバの基礎的な知識があること。

- 内容**
- パフォーマンス管理の概要
 - JP1/PFMによる稼働情報の監視
 - JP1/PFMのシステム構築
 - 監視エージェントの設定
 - レポート定義
 - アラーム定義
 - 統合コンソールとの連携

- 備考** 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
 - このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
 - このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
 - コースコード：JPJ089 (研修のみ)
コースコード：JPJ089T (試験付)
 - 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
 - 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1 技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
 - JP1 技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。
 - JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。

JPJ101/JPJ101T JP1

JP1 プロフェッショナル セキュリティ管理 (Version 11)

JP1/秘文を使用したセキュリティ管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

- 到達目標**
- JP1/秘文のシステムのシステム構成と基本機能を説明できる。
 - JP1/秘文のインストールとセットアップができる。
 - 秘文DCによる持ち出し/読み込み制御の操作ができる。
 - 秘文DEIによるHD、リムーバブルディスク、ファイルの暗号化の操作ができる。
 - 秘文 Serverの設定と操作ができる。

対象者 JP1/秘文を使用してセキュリティ管理を行う方。JP1 認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 セキュリティの基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。

- 内容**
- JP1/秘文の概要
 - 秘文 DC、秘文 Server の主要機能
 - 秘文 DE の主要機能
 - 秘文 DE (FS)、秘文 Server (ファイルサーバ) の主要機能
 - 秘文 Server (秘文LM)
 - 秘文 DP の主要機能

- 備考**
- このコースは、「JP1 認定プロフェッショナル (セキュリティ管理)」資格に準拠したコースです。
 - このコースは、「JP1 Version 11 対応です。
 - マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 - このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
 - コースコード：JPJ101 (研修のみ)
コースコード：JPJ101T (試験付)
 - 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
 - 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1 技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
 - JP1 技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。
 - JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。

JPE308 JP1

<eラーニング> [マシン演習付き] ハンズオンで学ぶ! JP1/IM 管理 1 -システム監視- (Version 10)

JP1/Integrated Management (JP1/IM) を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

- 到達目標**
- セントラルコンソールとセントラルスコープの概要を説明できる。
 - セントラルコンソール、セントラルスコープを使って事象監視ができる。
 - イベント監視ページのカスタマイズができる。
 - セントラルコンソールに表示するイベントの設定 (フィルター設定) ができる。
 - 自動アクションの設定ができる。
 - 重要イベントページのカスタマイズができる。
 - 必要なイベントを検索できる。
 - 他のJP1 製品と連携したモニタ起動と統合機能メニューを操作できる。
 - コマンド実行の操作ができる。

対象者 JP1/IMを使用してシステムを監視する方。

前提知識 JP1 機能監視 (Version 10) eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

- 内容**
- 統合管理の概要
 - システム監視
 - イベントコンソール、監視ツリーによる監視
 - フィルター機能
 - システム障害の検知
 - 自動アクション
 - 重要イベント監視
 - システム障害の調査・対応
 - ガイド機能
 - イベント検索
 - モニター起動
 - 統合機能メニュー
 - コマンド実行

- 備考**
- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
 - 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
 - このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
 - このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf
 - このコースは、JP1 Version 11 対応です。
 - このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 - 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
 - 学習開始日10営業日前を過ぎてキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
 - このコースは、「JP1 プロフェッショナル パフォーマンス管理 (Version 11)」コース (集合研修) と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
 - このコースは、旧「JP1 プロフェッショナル 統合管理 1-システム監視 - (Version 10)」コース (集合研修) と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
 - このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 - お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 - このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

JPE309 JP1

<eラーニング> [マシン演習付き] ハンズオンで学ぶ! JP1/IM 管理 2 -システム設定- (Version 10)

JP1/Integrated Management (JP1/IM) のインストール、設定に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

- 到達目標**
- インストールする上で必要な製品情報を説明できる。
 - 認証サーバを構築し、JP1 ユーザーを管理できる。
 - マネージャ・エージェントを構築できる。
 - ログファイル監視の設定ができる。
 - 監視ツリーの作成やカスタマイズができる。
 - ビジュアル監視の設定ができる。

対象者 JP1/IMのシステム構築をする方。

前提知識 [[マシン演習付き] ハンズオンで学ぶ! JP1/IM 管理 1-システム監視 - (Version 10)] eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

- 内容**
- 統合管理の導入
 - インストール
 - IMデータベースの構築
 - イベントの集中管理
 - ユーザー管理機能
 - 監視対象の設定
 - ユーザー認証設定
 - ユーザーマッピング設定
 - 監視画面の設定
 - 監視ツリー設定
 - ビジュアル監視画面設定

- 備考** 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
 - このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
 - このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf
 - このコースは、JP1 Version 10 対応です。
 - このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 - このコースには、資格認定試験はありません。
 - 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
 - 学習開始日10営業日前を過ぎてキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
 - このコースは、旧「JP1 プロフェッショナル 統合管理 2-システム設定 -」コース (集合研修) と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
 - このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 - お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 - このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

JPE310 JP1

<eラーニング> [マシン演習付き] ハンズオンで学ぶ! JP1/PFM (Version 10)

ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management (JP1/PFM) 製品の機能について、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

- 到達目標**
- JP1/PFMのインストールとセットアップができる。
 - パフォーマンスデータの収集ができる。
 - レポート、アラームの作成、操作ができる。
 - 統合コンソールとの連携設定ができる。

対象者 JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方。

前提知識 オペレーティングシステムや各種サーバの基礎的な知識があること。

- 内容**
- オペレイビリティ管理の概要
 - JP1/PFMによる稼働情報の監視
 - JP1/PFMのシステム構築
 - 監視エージェントの設定
 - レポート定義
 - アラーム定義
 - 統合コンソールとの連携

- 備考** 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
 - このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
 - このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf
 - このコースは、JP1 Version 10 対応です。
 - このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 - このコースには、資格認定試験はありません。
 - 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
 - 学習開始日10営業日前を過ぎてキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
 - このコースは、旧「JP1 プロフェッショナル オペレイビリティ管理 (Version 10)」コース (集合研修) と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
 - このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 - お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 - このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

JPJ100/JPJ100T JP1

JP1 プロフェッショナル バックアップ管理 (Version 11)

JP1/VERITAS NetBackupによるバックアップ管理機能を理解し、その使い方を、マシン実習を通して学習します。

- 到達目標**
- JP1/VERITAS NetBackupの主な機能を説明できる。
 - JP1/VERITAS NetBackupのアーキテクチャを説明できる。
 - JP1/VERITAS NetBackupのシステム構築を説明できる。
 - JP1/VERITAS NetBackupのインストールとセットアップができる。

対象者 JP1/VERITAS NetBackupを使用してバックアップ管理を行う方、JP1 認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 Windowsの基本的な操作経験があること。また、一般的なバックアップの基礎知識があること。

- 内容**
- JP1/VERITAS NetBackupの概要
 - バックアップとリストアの基礎知識
 - JP1/VERITAS NetBackupの製品概要
 - JP1/VERITAS NetBackupのシステム構築
 - インストールと環境設定
 - JP1/VERITAS NetBackupのインストール
 - JP1/VERITAS NetBackupの環境設定
 - バックアップとリストア
 - JP1/VERITAS NetBackupによるデータバックアップ
 - JP1/VERITAS NetBackupによるデータのリストア
 - 高度なバックアップ

- 備考**
- このコースは、「JP1 認定プロフェッショナル (バックアップ管理)」資格に準拠したコースです。
 - このコースは、JP1 Version 11 対応です。
 - マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 - このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
 - コースコード：JPJ100 (研修のみ)
コースコード：JPJ100T (試験付)
 - 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
 - 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1 技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
 - JP1 技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。
 - ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

日立製品
JP1
ucCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX /Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画/システム設計
IT 戦略・IS 企画
システム設計
アプリケーション 開発
Web アプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT 基本
IT 基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

マシン実習 マシンを使用したなら研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ レクチャ 座学による研修

演習環境 職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習
研修室自習型 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習

eラーニング インターネットに接続による自己学習
eラーニング マシン演習 演習
eラーニング 座学による自己学習
eラーニング 大規模な演習
eラーニング Onsite
eラーニング パッケージ

自習テキスト 自習者による自己学習
休講 休講 今期の定期開催はありません

uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX / Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

JP1
ICosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX / Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

JPE311 JP1
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div> <p><eラーニング>【マシン演習付き】</p> <p>ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 管理 1</p> <p>ージョブ定義・監視ー (Version 10)</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p>平均12時間</p> </div> </div> <p>自席PCから演習マシンに接続し、実機演習をおとしてJP1 / Automatic Job Management System 3(JP1/AJS3)の業務自動化定義や監視操作を学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動化する業務の定義、実行、監視操作ができる。 ・運用スケジュールの定義、実行、監視操作ができる。 ・実行条件の定義、実行、監視操作ができる。 <p>対象者 JP1/AJS3を使用した自動化業務の設定および、運用操作を行われる方。</p> <p>前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作ができること。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. JP1/AJS3の概要 2. 業務の自動化 <ol style="list-style-type: none"> (1) ジョブ定義 (2) 即時実行登録 3. ジョブ実行状況の監視 3. スケジュールに基づいた業務の自動運用 <ol style="list-style-type: none"> (1) カレンダー情報の設定 (2) スケジュール設定 (3) 計画/確定実行登録 (4) 実行スケジュールの確認 4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用 <ol style="list-style-type: none"> (1) ファイル更新契機のジョブの実行 (2) 起動条件の設定 <p>5. 修了試験 (JP1認定資格試験ではありません)</p> <p>備考 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・このコースは、JP1 Version 10対応です。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースには、資格認定試験はありません。 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前までのごキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。</p>

JPE312 JP1
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div> <p><eラーニング>【マシン演習付き】</p> <p>ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 管理 2</p> <p>ーシステム設定・運用管理ー (Version 10)</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p>平均12時間</p> </div> </div> <p>JP1/Automatic Job Management System 3(JP1/AJS3)のインストール、設定、運用に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JP1/AJS3製品のインストールができる。 ・エージェントの追加・変更ができる。 ・JP1/AJS3を操作するためのユーザー情報 (JP1ユーザー、資源グループ別権限レベル、ユーザーマッピング)の設定ができる。 ・JP1/AJS3のバックアップとリカバリができる。 ・ジョブネットの定義の避避・回復、運用状況監視の操作ができる。 ・運用中のジョブネットの変更(ジョブネット変更・リリース管理)ができる。 <p>対象者 JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方。</p> <p>前提知識 【ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 管理1-ジョブ定義・監視-(Version 10)】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. JP1/AJS3のインストール <ol style="list-style-type: none"> (1) JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View 2. ジョブ実行環境の設定 <ol style="list-style-type: none"> (1) エージェント管理機能の設定 3. ユーザー管理機能の設定 (1) JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング 4. ジョブネットの運用 <ol style="list-style-type: none"> (1) ジョブネット定義の避避・回復 (2) 運用状況の監視 (3) 運用中のジョブネット変更 5. システムのバックアップとリカバリ <ol style="list-style-type: none"> (1) JP1/Base、JP1/AJS3のバックアップ、リカバリ (2) JP1/AJS3データスペースのバックアップ、リカバリ 6. 修了試験 (JP1認定資格試験ではありません) <p>備考 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・このコースは、JP1 Version 10対応です。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースには、資格認定試験はありません。 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前までのごキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。</p>

JPE302 JP1
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div> <p><eラーニング>【マシン演習付き】</p> <p>ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3</p> <p>ージョブ定義・監視ー (Version 9)</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p>平均12時間</p> </div> </div> <p>自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通してJP1 / Automatic Job Management System 3(JP1/AJS3)の業務自動化定義や監視操作を学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動化する業務 (ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ)の定義ができる。 ・エージェントの追加・変更ができる。 ・運用スケジュール (運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど)の設定ができる。 ・業務を実行する条件 (イベント監視、起動条件)の定義ができる。 <p>対象者 JP1/AJS3を使用した自動化業務の設定および、運用操作を行う方。</p> <p>前提知識 Windowsの基本的な操作経験があること。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. JP1/AJS3の概要 2. 業務の自動化 <ol style="list-style-type: none"> (1) ジョブ定義 (2) 即時実行登録 3. スケジュールに基づいた業務の自動運用 <ol style="list-style-type: none"> (1) カレンダー情報の設定 (2) スケジュール設定 (3) 計画/確定実行登録 (4) 実行スケジュールの確認 4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用 <ol style="list-style-type: none"> (1) ファイル更新契機のジョブの実行 (2) 起動条件の設定 <p>5. 修了試験</p> <p>備考 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・説明画面で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・このコースは、JP1 Version 9対応です。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースには、資格認定試験はありません。 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前までのごキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。</p>

JPJ077 JP1
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div> <p>JP1プロフェッショナル</p> <p>ネットワーク管理 セットコース</p> <p>(Version 10)</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p>休 講</p> </div> </div> <p>3日間</p> <p>ネットワーク接続機器の監視、管理を行うJP1/ Cm2/ Network Node Manager i (JP1/ Cm2/ NNMI) 製品の機能について、マシン実習を通して学習します。また、JP1 / Cm2/ SNMP System Observer (JP1/ Cm2/ SSO) を使用したサーバのリソース管理、プロセス監視の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。</p> <p>●このコースは、セットコースのご案内となります。各コースの詳細情報をご参照ください。</p> <p><JPJ075> JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1 ーネットワーク管理基盤ー (Version 10)</p> <p><JPJ076> JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2 ーシステムリソース管理ー (Version 10)</p> <p>備考 ・このコースは、「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1ーネットワーク管理基盤ー (Version 10)」および「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2ーシステムリソース管理ー (Version 10)」と合同クラスで開催場合があります。 ・このコースは、JP1 Version 10対応です。 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・3日目は、9：30～17：00の開催とさせていただきます。</p> <p>※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。</p>

JPJ079 JP1
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div> <p>JP1プロフェッショナル</p> <p>セキュリティ管理</p> <p>ー情報漏えい防止ー (Version 10)</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p>休 講</p> </div> </div> <p>1日間</p> <p>JP1/秘文を使用したセキュリティ管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JP1/秘文のシステム構成と基本機能を説明できる。 ・JP1/秘文のインストールとセットアップができる。 ・秘文ICによるHD、リムーバブルディスク、ファイルの暗号化の操作ができる。 ・秘文IFによる持出制御の操作ができる。 ・JP1/秘文サーバの設定と操作ができる。 <p>対象者 JP1/秘文を使用したセキュリティ管理を行う方。</p> <p>前提知識 セキュリティの基礎知識があり、かつWindowsの基本的な操作経験があること。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. JP1/秘文の概要 2. 秘文IC、秘文ODEの主要機能 3. 秘文IF、秘文サーバの主要機能 4. 秘文IS、秘文ファイルサーバの主要機能 5. 秘文LM <p>備考 ・このコースは、JP1 Version 10対応です。 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。</p>

T1653 JP1
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div> <p>【日立パートナー様 限定コース】</p> <p>JP1セールスコーディネーター</p> <p>(Version 11)</p> </div> </div> <p>1日間</p> <p>お客様に対し最適なJP1システムの提案、および価格の見積りができるセールススキルを学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JP1製品概要が説明できる。 ・お客様のご要望に対し製品を提案できる。 ・JP1製品の価格見積りができる。 ・お客様に対し最適なシステムの提案スキルを修得したい営業・SEの方。 ・JP1認定セールスコーディネーター資格の取得をめざす方。 <p>前提知識 コンピュータの基礎知識があること。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. JP1の基礎知識 (JP1の特徴、製品体系など) 2. JP1の製品概要 (JP1各製品の紹介など) 3. サービス商品 (運用管理のサービス商品の紹介など) 4. 拡張ツールの紹介 (拡張ツールとその活用場面など) 5. 見積りりの基礎知識 (JP1製品の提供形態とライセンス体系など) 6. 提案する製品の特定と見積り方法 7. JP1認定セールスコーディネーター資格試験 <p>備考 ・このコースは、日立パートナー様限定で提供するものです。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、9：30～17：20の開催とさせていただきます。 ・試験については、「日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。 ・認定試験の受験料は、受講料に含まれます。</p>

JPJ080 JP1
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div> <p>JP1プロフェッショナル</p> <p>資産・配布管理 1</p> <p>ーソフトウェア配布・資産管理ー (Version 10)</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p>休 講</p> </div> </div> <p>2日間</p> <p>JP1/NETM/DMを使用した資産管理、ソフトウェア配布、クライアント管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JP1/NETM/DMのシステム構成と機能を説明できる。 ・JP1/NETM/DMのインストールができる。 ・監視対象のシステム構成を設定できる。 ・資産情報 (ハードウェア、ソフトウェア、ユーザーイベント)の取得操作ができる。 ・資産情報の集計、CSV出力の操作ができる。 ・ソフトウェアの稼働監視の設定、監視操作ができる。 ・リモートインストールのパッケージ作成、実行内容の設定、実行操作ができる。 ・リモートコントロールの操作、環境設定ができる。 <p>対象者 JP1/NETM/DMを使用して資産管理、クライアント管理を行う方。</p> <p>前提知識 Windowsの基本的な操作経験があること。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 資産・配布管理の概要 2. JP1/NETM/DMのインストールとセットアップ 3. 資産管理 <ol style="list-style-type: none"> (1) 資産情報の取得 (2) 資産情報の管理 4. クライアント管理 <ol style="list-style-type: none"> (1) 稼働監視機能 (2) 操作ログ参照機能 (3) メッセージ通知 5. ソフトウェア配布管理 6. リモートコントロール機能 <p>備考 ・このコースは、JP1 Version 10対応です。 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。</p> <p>※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。</p>

JPJ075 JP1
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div> <p>JP1プロフェッショナル</p> <p>ネットワーク管理 1</p> <p>ーネットワーク管理基盤ー (Version 10)</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p>休 講</p> </div> </div> <p>2日間</p> <p>ネットワーク接続機器の監視、管理を行うJP1/ Cm2/ Network Node Manager i (JP1/ Cm2/ NNMI) 製品の機能について、マシン実習を通して学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JP1/ Cm2/ NNMI のシステム構成と基本機能を説明できる。 ・JP1/ Cm2/ NNMI のインストールとセットアップができる。 ・監視環境の構築 (検出、ポーリング設定) ができる。 ・インシデントの管理ができる。 <p>対象者 JP1/ Cm2/ NNMIを使用したネットワーク管理、システム構築を行う方。</p> <p>前提知識 【ネットワーク基礎】コース、または【ナビ機能付】ネットワーク基礎ⅡーTCP/IPの仕組みーeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. JP1によるネットワーク管理の概要 2. インストールとセットアップ 3. 監視対象の登録 4. 障害監視・性能監視 5. インシデント管理 <p>備考 ・このコースは、JP1 Version 10対応です。 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。</p> <p>※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。</p>

JPJ076 JP1
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div> <p>JP1プロフェッショナル</p> <p>ネットワーク管理 2</p> <p>ーシステムリソース管理ー (Version 10)</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p>休 講</p> </div> </div> <p>1日間</p> <p>JP1/ Cm2/ SNMP System Observer (JP1/ Cm2/ SSO) を使用したサーバのリソース管理、プロセス監視の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JP1/ Cm2/ SSOのシステム構成と基本機能を説明できる。 ・JP1/ Cm2/ SSOのインストールができる。 ・システムリソースの参照、収集設定ができる。 ・プロセスリソースの状態監視、監視設定、自動アクション設定ができる。 <p>対象者 JP1/ Cm2/ SSOを使用してサーバのリソース管理、プロセス管理を行う方。</p> <p>前提知識 【JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1ーネットワーク管理基盤ー (Version 10)】コースを修了しているか、または同等の知識があること。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. JP1/ Cm2/ SSOの概要 2. JP1/ Cm2/ SSOのインストール 3. システムリソース管理 4. プロセスおよびサービス監視 <p>備考 ・このコースは、JP1 Version 10対応です。 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。</p> <p>※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。</p>

マシン実習 マシンを使用した自席からの研修
 グループ演習 グループ演習を中心とした研修
 レクチャ 座学による研修
 演習環境 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習
 研究室自習型 研究室でのマシン演習環境を使用した自己学習
 eラーニング ネットワーク接続による自己学習

セルフテスト 自習書による自己学習
 休講 休講 休講 今期の定期開催はありません

マシン演習 マシンを使用した自席からの研修
 グループ演習 グループ演習を中心とした研修
 レクチャ 座学による研修
 演習環境 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習
 研究室自習型 研究室でのマシン演習環境を使用した自己学習
 eラーニング ネットワーク接続による自己学習

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX / Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

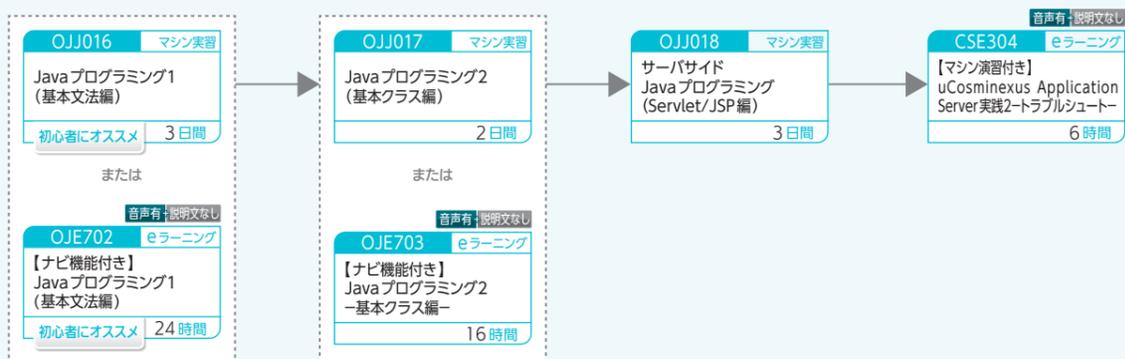
uCosminexus Application Server

uCosminexus Application Serverを使用したアプリケーション開発やシステム構築を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

uCosminexus Application Serverの設計・構築・運用をする方



uCosminexus Application Serverを使用してWebアプリケーションの開発をする方



uCosminexus Application Serverを使用したWebシステムの性能設計・性能対策をする方



※下記集合研修のコースについてお問い合わせがある場合は、日立オープンモデルウェア技術者認定センターまでご連絡願います。
 「CSJ017 uCosminexus Application Server入門-構築基礎-」
 「CSJ018 uCosminexus Application Server実践1-設計・構築-」
 【日立オープンモデルウェア技術者認定センター問い合わせ窓口】
https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/soft/cert_contact/form.jsp

- 音声有・説明文なし：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文あり：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

CSE302 uCosminexus Application Server

<eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 入門-構築基礎-

平均6時間

uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの構築手法を学習します。uCosminexus Application ServerのインストールからWebシステムの構築までを扱います。

到達目標

- uCosminexus Application Serverの機能概要を説明できる。
- uCosminexus Application Serverを用いて基本的な構成のWebシステムを構築できる。

対象者

uCosminexus Application Serverを用いてWebシステムを構築する方、uCosminexus Application Serverの導入を検討している方。

前提知識

Webアプリケーションに関する基礎知識があり、かつWindowsの基本的な操作経験があること。

内容

- アプリケーションサーバ概要
- uCosminexus Application Serverシステム構築の流れ
- uCosminexus Application Serverのインストール
- セットアップウィザードを用いたシステム構築
- 運用管理ツールを用いた操作・設定
- 修了試験

備考

- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。）
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースは、集合研修「uCosminexus Application Server 入門-構築基礎-」コース(CSJ017)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、「【マシン演習付き】<eラーニング> uCosminexus Application Server実践2-トラブルシューター-」コース(集合研修)と同等の内容です。
- このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

CSE303 uCosminexus Application Server

<eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 実践1-設計・構築-

平均12時間

uCosminexus Application Serverを用いたシステムの設計・構築・運用に必要なノウハウを学習します。

到達目標

- 要件にあった運用方法や信頼性確保手順を説明できる。
- システム構築に使用するパラメータを設計できる。
- システムの構築・運用ができる。

対象者

uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの設計・構築をする方。

前提知識

「uCosminexus Application Server 入門-構築基礎-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。さらにWebシステムの構築または運用に携わった経験があること。

内容

- 作業概要とシステム基本構成
- システム基本設計
- システム詳細設計
- システム構築
- 修了試験

備考

- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。）
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースは、旧「uCosminexus Application Server 実践 2-トラブルシューター-」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

CSE304 uCosminexus Application Server

<eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 実践2-トラブルシューター-

平均6時間

uCosminexus Application Serverを用いたシステムのトラブルシューターについて学習します。トラブルが発生したときの対処方法を理解できます。

到達目標

- トラブルシューターの流れを説明できる。
- 代表的なトラブルについて、原因を切り分けることができる。

対象者

uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの障害対応をする方、JavaEEアプリケーションの開発をする方。

前提知識

「uCosminexus Application Server 実践 1-設計・構築-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。さらにJavaEEアプリケーション開発に携わった経験があること。

内容

- トラブルシューターの概要
- トラブルシューター手順
- 代表的なトラブルの原因切り分け方法
- 修了試験

備考

- 【お申し込み前に必ずご確認ください】
- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。）
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースは、旧「uCosminexus Application Server 実践 2-トラブルシューター-」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

CSE001 uCosminexus Application Server

<eラーニング> uCosminexus Application Server 実践3-性能設計・性能対策-

平均6時間

uCosminexus Application Server を用いたWebシステムにおいて、要件を満たす性能設計、性能対策について学習します。

到達目標

- 性能設計と性能検証の関係について説明できる。
- 要件を満たす性能設計ができる。
- ボトルネックの要因を分析し、性能対策ができる

対象者

uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの性能設計および性能対策をする方。

前提知識

「uCosminexus Application Server 実践 1-設計・構築-」および「uCosminexus Application Server 実践 2-トラブルシューター-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- 性能設計と性能検証
- 性能設計
- 性能検証とチューニング
- 修了試験

備考

- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。）
- このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
- このコースは、旧「uCosminexus Application Server 実践3-性能設計・性能対策-」コース(集合研修)をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

日立製品

JP1

uCosminexus Application Server

HIRDB

OpenTP1

VOS3/VOS1/VOSK

XDM/PDM II

Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム

IoT

ビッグデータ

クラウド/サーバ仮想化

IT サービス マネジメント

システム基盤

UNIX/Linux

Microsoft

ネットワーク

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画/システム設計

IT戦略・IS企画

システム設計

アプリケーション開発

Webアプリケーション

スマートデバイス

オブジェクト指向/UML

言語

IT基本

IT基本

ハードウェア

情報処理資格

情報リテラシ

プロジェクト マネジメント

コンプライアンス

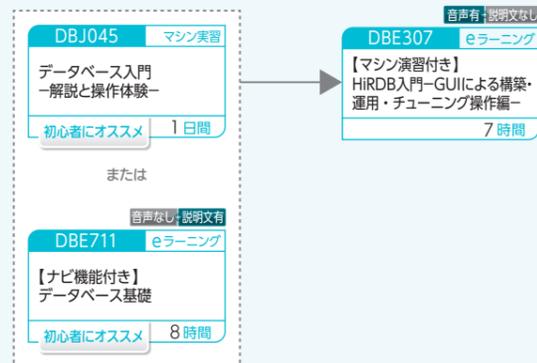
ビジネス/ヒューマン

グローバル

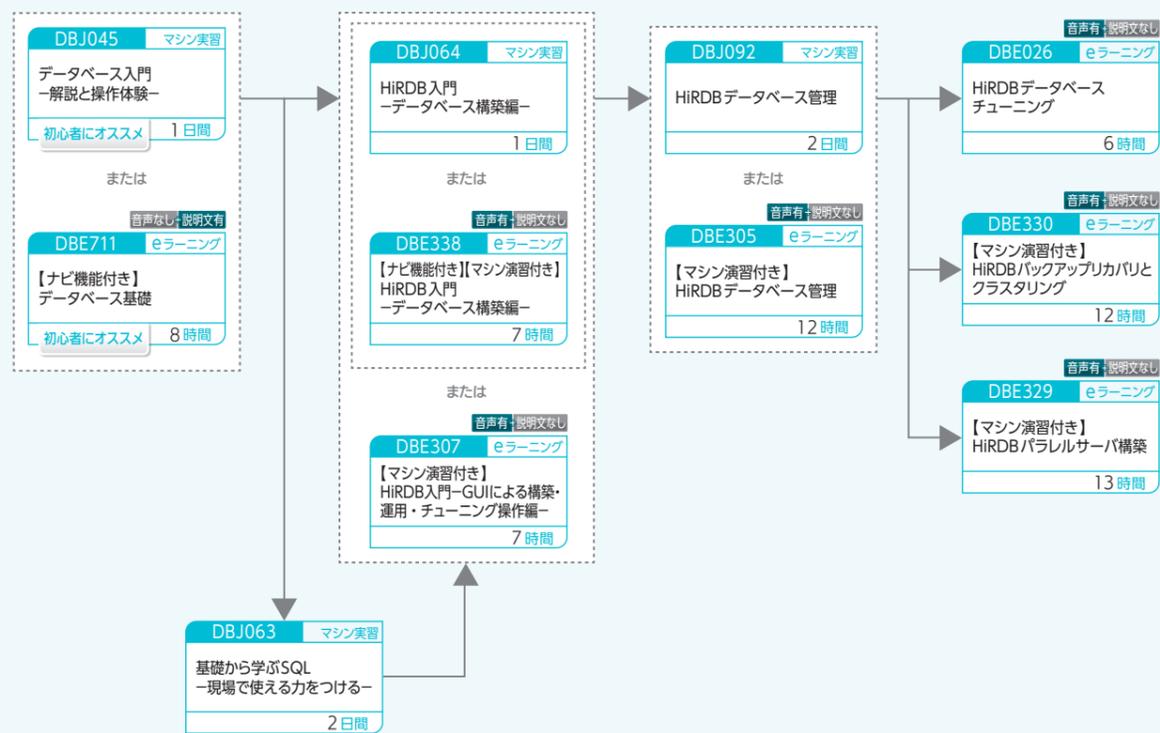
HiRDB

データベースマネジメントシステムであるHiRDBのシステム運用やアプリケーション開発を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

● HiRDBが提供するGUIツールの操作概要を修得したい方



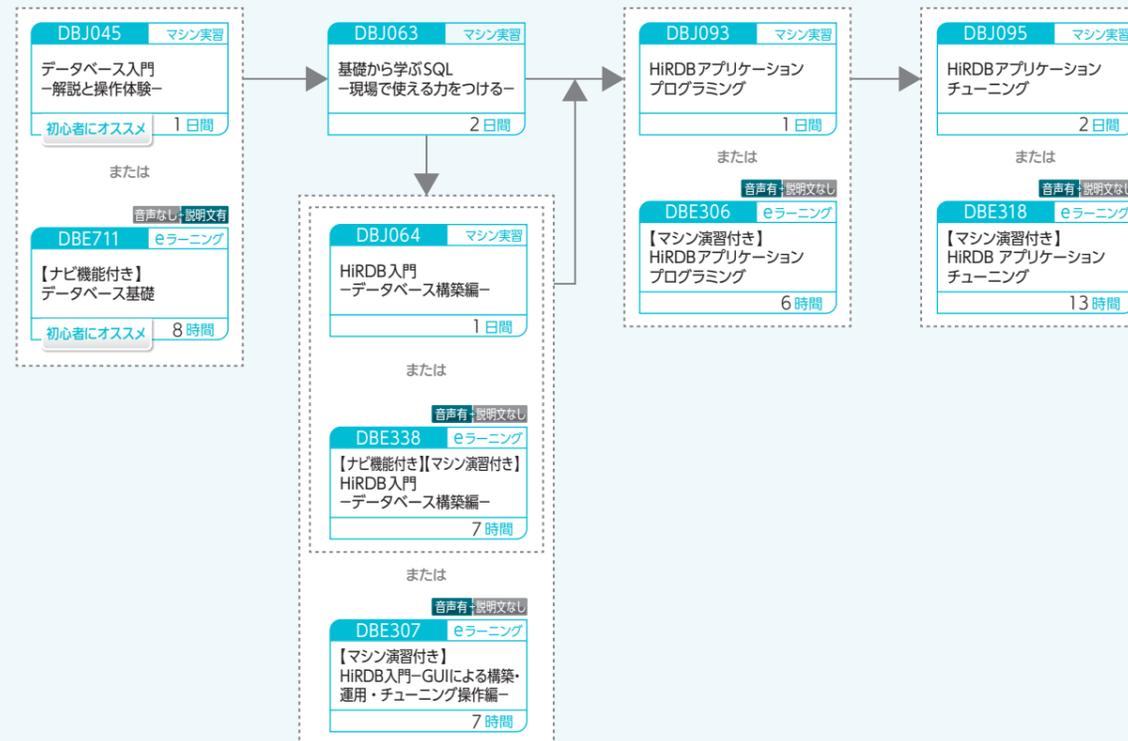
● HiRDBを使用してデータベースを構築・運用する方



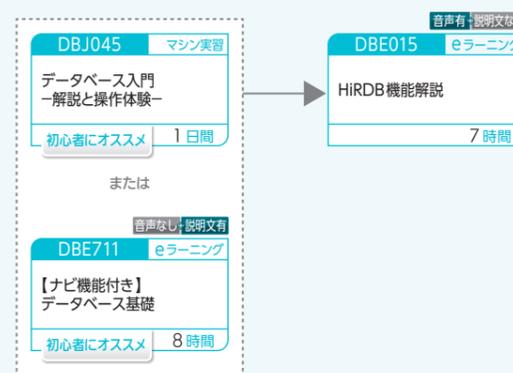
- 音声有・説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● HiRDBにアクセスするアプリケーションプログラムを開発する方



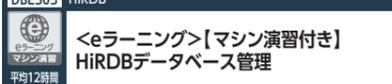
● HiRDBの機能概要を修得したい方



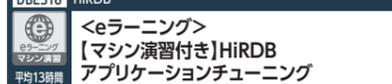
日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX / Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

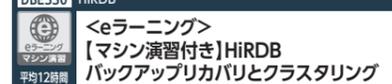
DBE015 HiRDB
 <eラーニング>HiRDB機能解説 平均7時間
HiRDBの特長、システム構成およびデータベース活用のための各種機能について学習します。
到達目標 ・HiRDBシステムのアーキテクチャの概要を理解し説明できる。 ・HiRDBシステムの各種機能の概要を理解し説明できる。
対象者 HiRDBシステムの設計・運用を行う方、HiRDBシステムの導入を検討している方。
前提知識 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 1. 並列データベースの技術 2. HiRDBの概要 3. データベースの構造 4. HiRDBの各種機能 5. 修了試験
備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

DBJ092 HiRDB
 HiRDBデータベース管理 2日間
HiRDBのデータベース物理設計から環境構築、定期的な運用(バックアップ/リカバリ、再編成、セキュリティ等)など、データベース管理者として必要な基礎知識を学習します。
到達目標 ・HiRDBシステムの設計を行える。 ・HiRDBのコマンドを用いHiRDBシステムを構築できる。 ・HiRDBシステムの基本的な管理作業の概要を理解し説明できる。
対象者 HiRDBのデータベース管理者としての基本的な知識を必要とする方。
前提知識 「基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 1. HiRDBのアーキテクチャ 2. 構築と運用要件の確認 3. データベース設計 4. データベース構築 5. データベースセキュリティ 6. データベースの運用と保守 7. トラブルシューティング
備考 ・このコースは、HiRDB Version 9対応です。 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、「HiRDBプラットフォームエンジニア-データベース管理-」コースの名称を変更したものです。

DBE305 HiRDB
 <eラーニング>【マシン演習付き】HiRDBデータベース管理 平均12時間
HiRDBのデータベース物理設計から環境構築、定期的な運用(バックアップ/リカバリ、再編成、セキュリティ等)など、データベース管理者として必要な基礎知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。
到達目標 ・HiRDBシステムの設計を行える。 ・HiRDBのコマンドを用い、HiRDBシステムを構築できる。 ・HiRDBシステムの基本的な管理作業の概要を理解し、説明できる。
対象者 HiRDBのデータベース管理者としての基本的な知識を必要とする方。
前提知識 「基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 1. HiRDBのアーキテクチャ 2. 構築と運用要件の確認 3. データベース設計 4. データベース構築 5. データベースセキュリティ 6. データベースの運用と保守 7. トラブルシューティング 8. 修了試験
備考 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・このコースは、HiRDB Version 9対応です。 ・操作演習用テキストは、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、集合研修「HiRDBデータベース管理」コース(DBJ092)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、「【マシン演習付き】<eラーニング>HiRDB プラットフォームエンジニア-データベース管理-」コースの名称を変更したものです。 ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

DBJ095 HiRDB
 HiRDBアプリケーションチューニング 2日間
HiRDBに適した処理効率の良い業務アプリケーションの開発技術や、アプリケーションのパフォーマンス診断およびチューニング方法を学習します。
到達目標 ・応用的なSQLを用いHiRDBを効率的に使用するための技術を実装できる。 ・HiRDBに接続するアプリケーションのパフォーマンス診断、チューニング作業を行える。
対象者 HiRDBにアクセスする処理効率の良いアプリケーションの開発技術が必要とする方。
前提知識 「HiRDBアプリケーションプログラミング」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 1. SQLコーディングテクニック (1) 応用的なSQL (2) APの保守性/性能を高めるためのSQLの書き方 2. 排他制御 3. アクセス効率の良いアプリケーションプログラムの作成 (1) アクセシバス (2) SQLとインデックス (3) SQL最適化 4. SQLチューニング (1) 統計情報の収集 (2) SQLチューニング (3) HiRDB SQL Tuning Advisorを使用したSQLチューニング
備考 ・このコースは、HiRDB Version 9対応です。 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、「HiRDBアプリケーションプロフェッショナル-SQLチューニング-」コースの名称を変更したものです。

DBE318 HiRDB
 <eラーニング>【マシン演習付き】HiRDBアプリケーションチューニング 平均12時間
HiRDBに適した処理効率の良い業務アプリケーションの開発技術や、アプリケーションのパフォーマンス診断およびチューニング方法を学習します。
到達目標 ・応用的なSQLを用い、HiRDBを効率的に使用するための技術を実装できる。 ・HiRDBに接続するアプリケーションの、パフォーマンス診断、チューニング作業を行える。
対象者 HiRDBにアクセスする処理効率の良いアプリケーションの開発技術が必要とする方。
前提知識 「HiRDBアプリケーションプログラミング」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 1. SQLコーディングテクニック (1) 応用的なSQL (2) APの保守性/性能を高めるためのSQLの書き方 2. 排他制御 (1) 排他制御の概要 (2) Isolationレベルの制御 (3) デッドロック対策 3. アクセス効率の良いアプリケーションプログラムの作成 (1) アクセシバス (2) SQLとインデックス (3) SQL最適化 4. SQLチューニング (1) 統計情報の収集 (2) SQLチューニング (3) HiRDB SQL Tuning Advisorを使用したSQLチューニング 5. 修了試験
備考 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・このコースは、HiRDB Version 9対応です。 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、「HiRDBアプリケーションプロフェッショナル-SQLチューニング-」コースの名称を変更したものです。 ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

DBE330 HiRDB
 <eラーニング>【マシン演習付き】HiRDBバックアップリカバリとクラスタリング 平均12時間
HiRDBを安定して運用するための技術や、各種障害に応じたりカバリ方法およびクラスタリング(系切り替え)技術を学習します。
到達目標 ・HiRDBシステムに対する各種バックアップ・リカバリ作業を行える。 ・HiRDBシステムに対するクラスタリング技術の概要を理解し、説明できる。
対象者 HiRDB管理者として障害対策に関する知識を必要とする方。
前提知識 「HiRDBデータベース管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 1. バックアップリカバリとクラスタリングの概要 2. バックアップリカバリにあたっての基礎知識 3. データベースのバックアップ 4. データベースのリカバリ 5. システムファイルの障害対処 6. クラスタリングの概要 7. クラスタリング環境の構築と運用 8. 修了試験
備考 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・このコースは、HiRDB Version 9対応です。 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・クラスタリングに関するマシン演習はありません。 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

 マシン演習 マシンを使用し ながらの研修	 グループ演習 グループ演習を 中心とした研修	 レクチャ 座学による 研修	 演習環境 職場・自宅などでのマシン演習 環境を使用した自己学習	 研修室自習型 研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習	 eラーニング インターネット接続 による自己学習
--	--	---	---	---	--

 自習テキスト 自習書による 自己学習	休講 休講 今期の定期開催は ありません	コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ https://www.hitachi-ia.co.jp/	77
--	--------------------------------------	--	-----------

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX / Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画/ システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション 開発
Web アプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/ UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ ヒューマン
グローバル

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX / Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

DBE329 HIRDB

<eラーニング>【マシン演習付き】HiRDBパラレルサーバ構築
平均13時間

HiRDBパラレルサーバを使ったHiRDBシステムの構築や運用に必要な基礎知識を学習します。

到達目標

- ・ HiRDBパラレルサーバシステムの物理設計ができる。
- ・ HiRDBパラレルサーバシステムの構築ができる。
- ・ HiRDBパラレルサーバシステムが持つ機能について理解し、説明できる。

対象者

HiRDBのデータベース管理者としてHiRDBパラレルサーバシステムの構築に関する知識を必要とする方。

前提知識

「HiRDBデータベース管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容

1. HiRDBパラレルサーバのアーキテクチャ
 - (1) HiRDBパラレルサーバの構成 (2) HiRDBパラレルサーバの特長 (3) HiRDBパラレルサーバの採用基準
2. 要件確認
 - (1) 要件確認の目的 (2) 要件確認項目一覧 (3) 項目の確認および調査 (4) BES数見積りに必要な項目の確認および調査
3. BESとFESの配置方針と必要台数の見積り
 - (1) 基本的なサーバの配置方 (2) BESの配置および必要台数の決定 (3) FESの配置および必要台数の決定
4. リソースの配置方針と容量見積り
 - (1) リソースの配置方針 (2) 容量見積り
5. データベース構築
 - (1) データベース構築手順 (2) サーバマシン環境・データベース環境の決定 (3) システム定義ファイルの作成 (4) HiRDBファイルシステム領域の作成 (5) システムファイルの作成 (6) RDIエリアの作成とHiRDBシステムの開始 (7) 表の定義
6. HiRDBパラレルサーバのその他の機能
 - (1) 高性能を実現するHiRDBパラレルサーバの機能 (2) HiRDBパラレルサーバシステムにおけるHAクラスタ
7. 修了試験

備 考

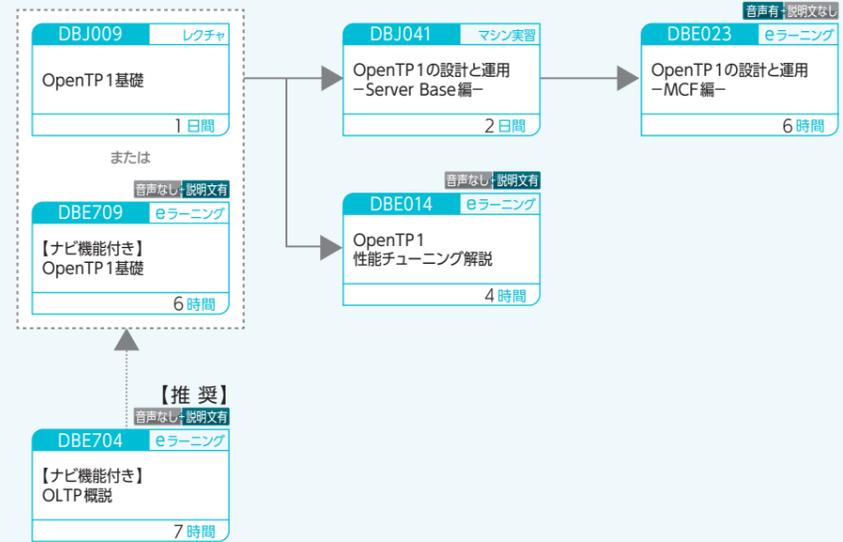
【お申し込み前に必ずご確認ください】

- ・ 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・ このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・ このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 <https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- ・ このコースは、HiRDB Version 9対応です。
- ・ マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・ 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・ 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。
- ・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・ このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

OpenTP1

TPモニタであるOpenTP1システムの構築や運用、およびアプリケーションを開発するうえで必要となる知識と技術が修得できます。

● OpenTP1を使用してOLTPシステムを構築・運用・設計する方



- 音声有 + 説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有 + 説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし + 説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX / Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

DBJ009 OpenTP1

OpenTP1基礎

1日間

OLTPシステムの構築に必要なOLTPの基礎知識、およびTPモニタとしてのOpenTP1の役割、構成、機能を学習します。

到達目標

- トランザクションの定義を説明できる。
- OLTPを説明できる。
- OpenTP1の機能を説明できる。

対象者 OpenTP1システムを構築・管理する方、OpenTP1システムにアクセスするアプリケーションを開発する方。

前提知識 OS、データベースおよびネットワークの基礎知識があること。

内容

- OLTPの基礎知識
 - クライアントサーバシステム
 - OLTPの基礎知識
 - インターネット連携
- OpenTP1の機能
 - アプリケーション間の通信形態
 - リモートプロシジャコール (RPC)
 - メッセージ送受信形態
 - メッセージキューイング形態
 - OpenTP1のプロセス制御
 - トランザクション制御
- OpenTP1の日常的な運用
 - システムファイル
 - OpenTP1の開始および終了

DBE709 OpenTP1

<eラーニング> [ナビ機能付き] OpenTP1基礎

平均6時間

OLTPシステムを構築するにあたり必要となるOLTPの基礎知識、およびTPモニタとしてのOpenTP1の役割、構成、機能について学習します。

到達目標

- トランザクションの特徴とOLTPについて理解し説明できる。
- OpenTP1の役割、構成、機能について理解し説明できる。

対象者 OpenTP1システムを構築及び管理する方、OpenTP1システムにアクセスするアプリケーションを開発する方。

前提知識 【ナビ機能付き】OLTP概説/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- OLTPの基礎知識
 - クライアントサーバシステム
 - OLTPの基礎知識
 - インターネット連携
 - OpenTP1の特徴
 - インターネット連携
- OpenTP1の機能
 - アプリケーション間の通信形態
 - リモートプロシジャコール
 - メッセージ送受信形態
 - メッセージキューイング形態
 - OpenTP1のプロセス制御
 - トランザクション制御
 - OpenTP1のソフトウェア製品
- OpenTP1の日常的な運用
 - システムファイル
 - OpenTP1の運用

備考

- 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

DBJ041 OpenTP1

OpenTP1の設計と運用 -Server Base編-

2日間

OpenTP1によるOLTPシステムの構築に必要なOpenTP1のシステムの作成、運用方法を学習します。

到達目標

- OpenTP1のコマンドを用いOpenTP1システムを構築できる。
- OpenTP1システムの基本的な管理ができる。

対象者 OpenTP1システムを構築する方、OpenTP1システムを管理する方。

前提知識 「OpenTP1基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- OpenTP1の概要
- OpenTP1システム構築
- システムファイルの作成
- システム定義の作成
- リソースマネージャの登録
- OpenTP1の運用
- ユーザーバの設定と運用
- システムファイルの障害対策
- OpenTP1クライアントの設定

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

DBE023 OpenTP1

<eラーニング> OpenTP1の設計と運用 -MCF編-

平均6時間

MCFを使用するOpenTP1のシステムの作成、運用方法について学習します。

到達目標

- OpenTP1のコマンドを用い、MCFの機能を実装したOpenTP1システムを構築できる。
- MCFの機能を実装したOpenTP1システムの基本的な管理作業ができる。

対象者 OpenTP1システムを構築する方、OpenTP1システムを管理する方。

前提知識 「OpenTP1設計と運用-Server Base編-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- メッセージ送受信形態
- OpenTP1システムの構築
- ネットワークコミュニケーション定義の作成
- OpenTP1の運用
- 修了試験

備考

- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

DBE014 OpenTP1

<eラーニング> OpenTP1性能チューニング解説

平均4時間

OpenTP1における性能見積の考え方と、さまざまな性能チューニング方法について学習します。

到達目標

- OpenTP1における性能見積の考え方を理解し説明できる。
- さまざまな性能チューニング方法を理解し説明できる。

対象者 OpenTP1システムを管理する方。

前提知識 「OpenTP1基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- OpenTP1の通信性能
- OpenTP1のトランザクション性能
- OpenTP1のプロセス・メモリ性能
- OpenTP1の性能全般
- 修了試験

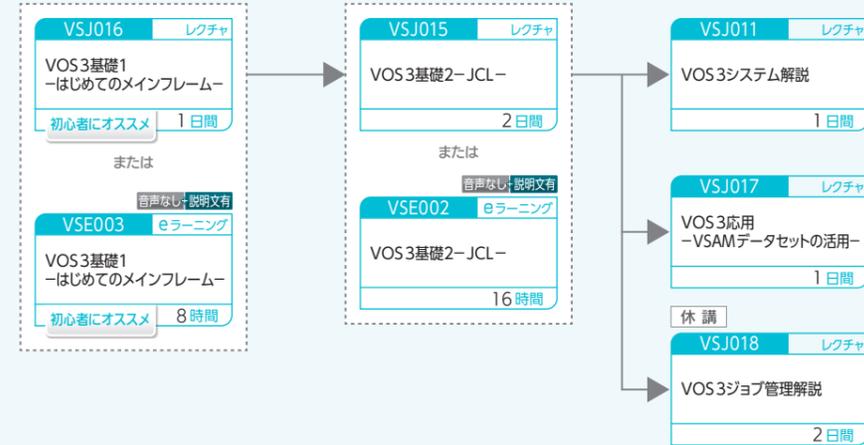
備考

- 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

VOS3/VOS1/VOSK

日立メインフレーム OSであるVOS3、VOS1、VOSKの使用方法や機能、システム運用管理技術が修得できます。

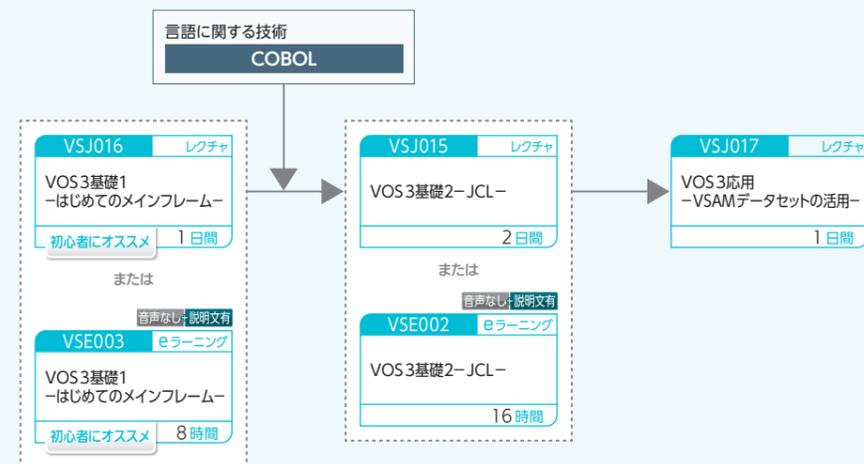
● VOS3システムの運用設計および実装・運用する方



● VOS1システムの運用設計および実装・運用する方



● VOS3システムでアプリケーションを開発する方



- 音声有+説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有+説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし+説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

自習テキスト 自習書による自己学習

休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.com.jp/>

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

マシン実習 マシン実習しながらの研修

グループ演習 グループ演習を中心とした研修

レクチャ 座学による研修

演習環境 職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習

研修室自習型 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習

eラーニング eラーニング

マシンの実習

演習

電子付録

大規模実習

Oracle

マイクチェック

eラーニング インターネット接続による自己学習

● VOS1システムでアプリケーションを開発する方



● VOSKシステムの運用設計および実装・運用する方



- 音声有・説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

VOS3/VOS1/VOSK オペレーティングシステム入門 平均15時間	
オペレーティングシステムの基本概念、構成要素とその機能、およびハードウェアの関連知識を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> オペレーティングシステムの目的や構成を説明できる。 プログラムの翻訳、結合・編集を説明できる。 入力リダー、ジョブスケジューラ、出力ライタの役割が説明できる。 入出力装置、ボリューム、データセットを説明できる。 ファイル編成とアクセス方法を説明できる。 マルチプログラミングのしくみを説明できる。
対象者	VOS3およびVOS1システムのシステム設計、またはプログラミングを行う方。
前提知識	特に必要としません。
内容	<ol style="list-style-type: none"> オペレーティングシステムとはなにか プログラムの翻訳、結合・編集 ジョブの実行過程 データ入出力のしくみ マルチプログラミングのしくみ
備考	お申し込みについては、日立インフォメーションアカデミーにお問い合わせください。

VOS3/VOS1/VOSK VOS3基礎2 -JCL- 2日間	
VOS3システムでジョブの実行に必要な基本的なJCL(ジョブ制御文)や、システムメッセージリストの見方を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> JCL(ジョブ制御文)の役割を説明できる。 JOB文、EXEC文、DD文を使用してジョブ制御文を作成できる。 システムメッセージリストからジョブ実行に関する情報を読み取ることができる。
対象者	VOS3システムでJCL(ジョブ制御文)を使用したアプリケーション開発や運用を行う方、ジョブ制御文を基礎から学習したい方。
前提知識	「VOS3基礎 1-はじめてのメインフレーム-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> JCL(ジョブ制御文)の役割 ジョブの実行過程 ジョブ制御文 <ol style="list-style-type: none"> JOB文 EXEC文 DD文 システムメッセージリストの見方
備考	このコースは、旧「VOS3使用法」コース(集合研修)と同等の内容です。すでにご受講済みの方は、申し込み不要ご注意ください。

VOS3/VOS1/VOSK VOS3基礎1 -はじめてのメインフレーム- 1日間	
メインフレームシステムの構成要素(ハードウェア/ソフトウェア)、および日立メインフレームのオペレーティングシステムであるVOS3の基本的な機能を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> メインフレームシステムの概要を説明できる。 メインフレームシステムのデータ管理方法を説明できる。 メインフレームシステムでのプログラム開発手順を説明できる。 メインフレームシステムでのジョブの実行手順を説明できる。 メインフレームシステムの運用管理機能を説明できる。
対象者	はじめてVOS3を学習する方で、今後アプリケーション開発や運用・管理をする方。
前提知識	特に必要としません。
内容	<ol style="list-style-type: none"> メインフレームシステムの概要 メインフレームシステムのデータ管理方式 メインフレームシステムでのプログラム開発手順 メインフレームシステムでのジョブの実行手順 メインフレームシステムの運用管理機能

VOS3/VOS1/VOSK <eラーニング> VOS3基礎2 -JCL- (スマートデバイス対応) 平均16時間	
VOS3システムでジョブの実行に必要な基本的なJCL(ジョブ制御文)や、システムメッセージリストの見方を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> JCL(ジョブ制御文)の役割を説明できる。 JOB文、EXEC文、DD文を使用してジョブ制御文を作成できる。 システムメッセージリストからジョブ実行に関する情報を読み取ることができる。
対象者	VOS3システムでJCL(ジョブ制御文)を使用したアプリケーション開発や運用を行う方、ジョブ制御文を基礎から学習したい方。
前提知識	「VOS3基礎 1-はじめてのメインフレーム-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> JCL(ジョブ制御文)の役割 ジョブの実行過程 ジョブ制御文 <ol style="list-style-type: none"> JOB文 EXEC文 DD文 システムメッセージリストの見方 修了試験
備考	・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、旧「VOS3使用法」コース(集合研修)、または「VOS3基礎2-JCL-」コース(VSJ015)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込み不要ご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースはスマートデバイス(iPad推奨)に対応しています。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

VOS3/VOS1/VOSK <eラーニング> VOS3基礎1 -はじめてのメインフレーム- 平均8時間	
メインフレームシステムの構成要素(ハードウェア/ソフトウェア)、および日立メインフレームのオペレーティングシステムであるVOS3の基本的な機能を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> メインフレームシステムの概要を説明できる。 メインフレームシステムのデータ管理方法を説明できる。 メインフレームシステムでのプログラム開発手順を説明できる。 メインフレームシステムでのジョブの実行手順を説明できる。 メインフレームシステムの運用管理機能を説明できる。
対象者	はじめてVOS3を学習する方で、今後アプリケーション開発や運用・管理をする方。
前提知識	特に必要としません。
内容	<ol style="list-style-type: none"> メインフレームシステムの概要 メインフレームシステムのデータ管理方式 メインフレームシステムでのプログラム開発手順 メインフレームシステムでのジョブの実行手順 メインフレームシステムの運用管理機能 修了試験
備考	・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます) ・このコースは、集合研修「VOS3基礎1-はじめてのメインフレーム-」コース(VSJ016)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込み不要ご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

VOS3/VOS1/VOSK VOS3システム解説 1日間	
VOS3システムを管理するために必要となるVOS3の基礎知識や機能を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> VOS3システムの処理形態を説明できる。 仮想空間の構成について説明できる。 仮想空間と記憶装置(主記憶・補助記憶)の関係を説明できる。 TRUSTの機能について説明できる。 システム運用の自動化機能について説明できる。
対象者	VOS3システムを管理する方。
前提知識	「VOS3基礎 2-JCL-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。VOS3の利用経験が2年以上あると、より理解が深まります。
内容	<ol style="list-style-type: none"> VOS3の概要 各種処理形態 <ol style="list-style-type: none"> バッチ TSS DB/DC 仮想記憶装置のしくみ データ処理の高速化機能 <ol style="list-style-type: none"> LPAの利用 XPL VSAM HAF VIO SAM ESF セキュリティ管理機能(TRUST) システム運用の自動化機能 <ol style="list-style-type: none"> AOMPLUS HOPSS3 JP1との連携

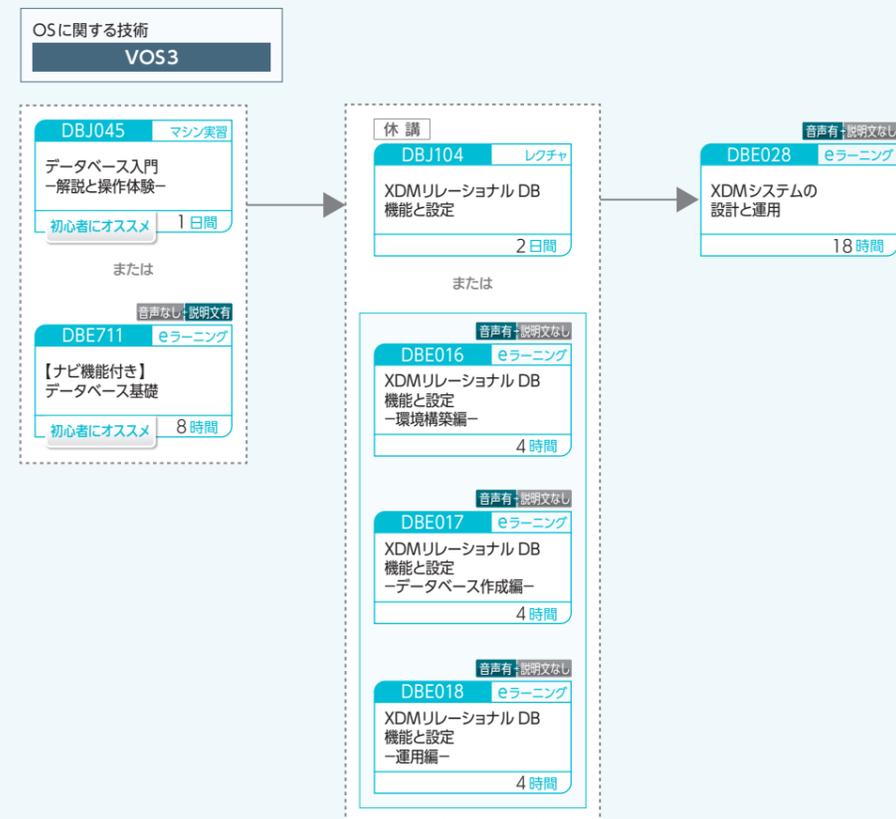
自習テキスト 自己学習
休講 休講 今期の定期開催はありません

日立製品 JP1 uCosminexus Application Server HIRDB OpenTP1 VOS3/VOS1/VOSK XDM/PDM II Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム IoT ビッグデータ クラウド/サーバ仮想化 ITサービス マネジメント システム基盤 UNIX/Linux Microsoft ネットワーク セキュリティ データベース	VOS3/VOS1/VOSK VOS3応用 -VSAMデータセットの活用- 1日間 VOS3システムを管理、およびVOS3システムでアプリケーションプログラムを開発するうえで必要となるVSAMの基礎知識や機能を学習します。 到達目標 <ul style="list-style-type: none"> VSAMデータセットの特長を説明できる。 VSAMユーティリティの機能を説明できる。 ライブラリ管理システム LIME E2の機能を説明できる。 カタログの役割、機能を説明できる。 対象者 VOS3システムの運用を行う方、VOS3システムでアプリケーションの開発を行う方。 前提知識 「VOS3基礎 2-JCL-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 内容 <ol style="list-style-type: none"> データセットとディスクボリューム VSAMデータセットの特長 ライブラリ管理システム LIME E2の機能 データセットのカタログ機能 VSAMユーティリティの機能
	VOS3/VOS1/VOSK VOS3ジョブ管理解説 2日間 VOS3のシステム管理をするために必要となるJSS3の機能と設定方法を学習します。 到達目標 <ul style="list-style-type: none"> JSS3の機能を説明できる。 JSS3の起動の流れや仕組みを説明できる。 ジョブ入出力に関するパラメータを説明できる。 ジョブの実行スケジュールに関するパラメータを説明できる。 対象者 VOS3システムの運用管理に携わる方。 前提知識 「VOS3基礎 2-JCL-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。 内容 <ol style="list-style-type: none"> JSS3の概要 JSS3の起動と初期設定 <ol style="list-style-type: none"> JSS3起動用カタログプロシジャ JSS3初期設定パラメタ ジョブの実行管理 <ol style="list-style-type: none"> ジョブの流れ ジョブの入力 ジョブの実行スケジュール ジョブの実行制御 ジョブ結果の出力 スプールとジョブキューの管理 備考 ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

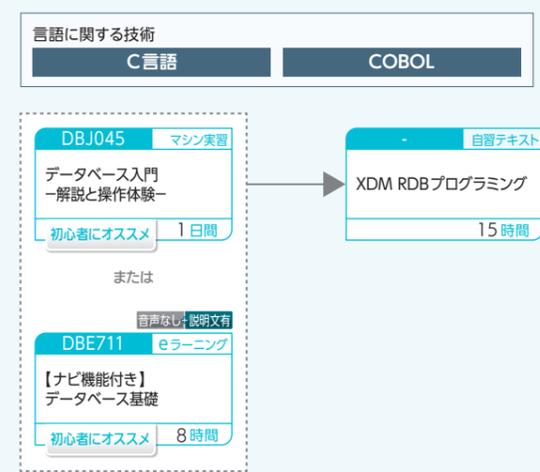
XDM / PDM II

日立メインフレーム DB/DCであるXDM、PDM IIの機能や設定、システム運用管理技術が修得できます。

● XDMを使用してリレーショナルデータベースを構築・運用・設計する方



● XDMリレーショナルデータベースを使用してアプリケーションプログラムを開発する方



- 音声有+説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有+説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし+説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

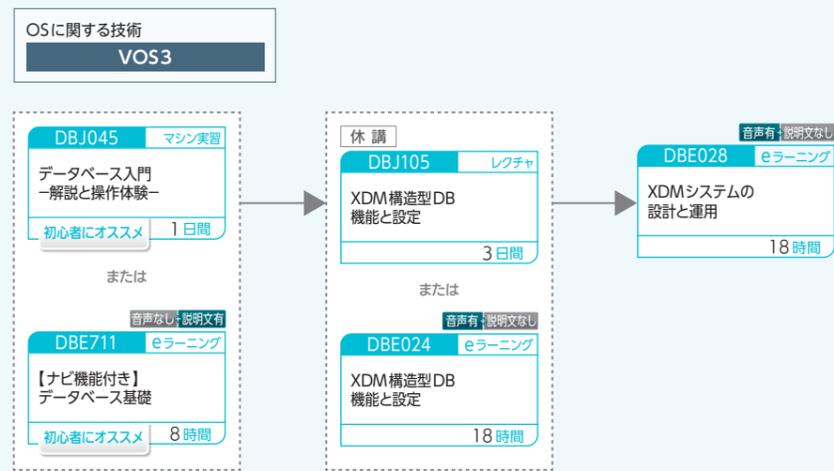
IT戦略・IS企画/システム設計 IT戦略・IS企画 システム設計 アプリケーション開発 Webアプリケーション スマートデバイス オブジェクト指向/UML 言語 IT基本 IT基本 ハードウェア 情報処理資格 情報リテラシ プロジェクトマネジメント コンプライアンス ビジネス/ヒューマン グローバル	VOS3/VOS1/VOSK VOS1機能解説 平均12時間 VOS1システムを運用するために必要となるOSの諸機能と、その設定方法、ボリュームやファイルの運用方法、およびシステムの操作方法を学習します。 到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ジョブの実行環境の設定ができる。 対話処理環境の設定ができる。 ボリュームとファイルの運用ができる。 システムの操作ができる。 対象者 VOS1システムを運用・管理する方。 前提知識 「VOS1使用方法」自習テキストコースを修了し、かつOJTを経験しているか、または同等の知識があること。 内容 <ol style="list-style-type: none"> ジョブの実行環境の設定 対話処理環境の設定 ボリュームとファイルの運用 システムの操作 備考 お申し込みについては、日立インフォメーションアカデミーにお問い合わせください。
	VOS3/VOS1/VOSK VOSK使用方法 平均12時間 VOSKの基本的な操作方法、ワークステーションを使ったジョブ作成、ジョブの実行、ファイル操作等を学習します。 到達目標 <ul style="list-style-type: none"> VOSKシステムの概要を説明できる。 VOSKの基礎知識を説明できる。 ワークステーションの基本操作ができる。 ファイルの取扱いができる。 ジョブの作成と実行ができる。 ジョブの実行結果の出力ができる。 対象者 VOSKを使用してワークステーションからジョブを実行する方。 前提知識 コンピュータに関する基礎知識があること。 内容 <ol style="list-style-type: none"> VOSKシステムの概要 VOSKの基礎知識 VOSKでの業務の開始と終了(ワークステーションの基本操作) ファイルの取扱い ジョブの作成と実行 ジョブの実行結果の出力 備考 お申し込みについては、日立インフォメーションアカデミーにお問い合わせください。

VOS3/VOS1/VOSK VOS1使用法 平均12時間 VOS1のワークステーションを使ったプログラム作成、ジョブ作成、ジョブの実行、ライブラリ操作、ファイル操作およびパネル作成について、その方法を学習します。 到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ワークステーションの操作ができる。 プログラムの作成ができる。 JCLプロシジャの作成ができる。 ジョブの実行ができる。 メンバの操作ができる。 ファイルの操作ができる。 パッチジョブの実行ができる。 パネルの作成ができる。 対象者 VOS1を使用してワークステーションからジョブを実行する方。 前提知識 「オペレーティングシステム入門」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。 内容 <ol style="list-style-type: none"> ワークステーションの操作 プログラムの作成 JCLプロシジャの作成 ジョブの実行 メンバの操作 ファイルの操作 パッチジョブの実行 パネルの作成 備考 お申し込みについては、日立インフォメーションアカデミーにお問い合わせください。
--

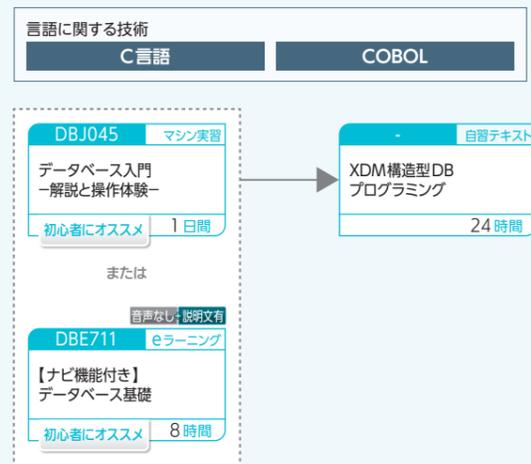
VOS3/VOS1/VOSK VOSKシステム運用と管理 平均12時間 VOSKシステムの機能を理解し、利用者管理、DB管理、ジョブ実行環境の管理、およびシステム全体の管理ができるために必要な知識を学習します。 到達目標 <ul style="list-style-type: none"> システムの運用と管理の概要を説明できる。 使用者管理ができる。 ファイルシステムの運用と管理ができる。 ジョブ実行環境の設定ができる。 システムの操作ができる。 システムの管理ができる。 対象者 VOSKシステム全体を運用管理する方。 前提知識 「VOSK使用法」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。 内容 <ol style="list-style-type: none"> システムの運用と管理の概要 使用者管理 ファイルシステムの運用と管理 ジョブ実行環境の設定 システムの操作 システムの管理 備考 お申し込みについては、日立インフォメーションアカデミーにお問い合わせください。
--

日立製品 JP1 uCosminexus Application Server HIRDB OpenTP1 VOS3/VOS1/VOSK XDM/PDM II Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム IoT ビッグデータ クラウド/サーバ仮想化 ITサービス マネジメント システム基盤 UNIX/Linux Microsoft ネットワーク セキュリティ データベース IT戦略・IS企画/システム設計 IT戦略・IS企画 システム設計 アプリケーション開発 Webアプリケーション スマートデバイス オブジェクト指向/UML 言語 IT基本 IT基本 ハードウェア 情報処理資格 情報リテラシ プロジェクトマネジメント コンプライアンス ビジネス/ヒューマン グローバル
--

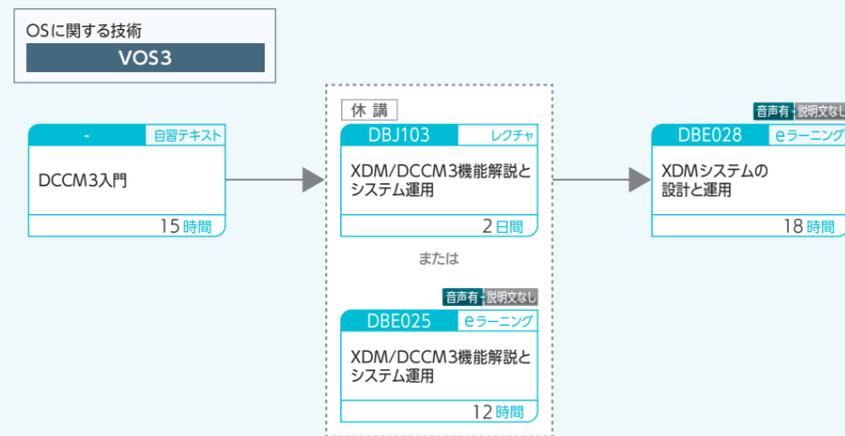
● XDMを使用して構造型データベースを構築・運用・設計する方



● XDM構造型データベースを使用してアプリケーションプログラムを開発する方



● XDM/DCCM3オンラインシステムを構築・運用・設計する方



音声有+説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

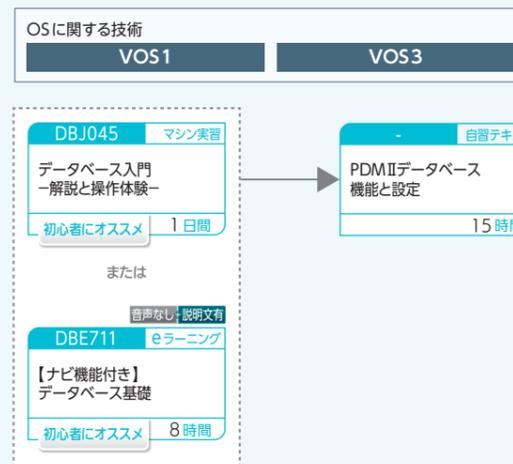
音声なし+説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

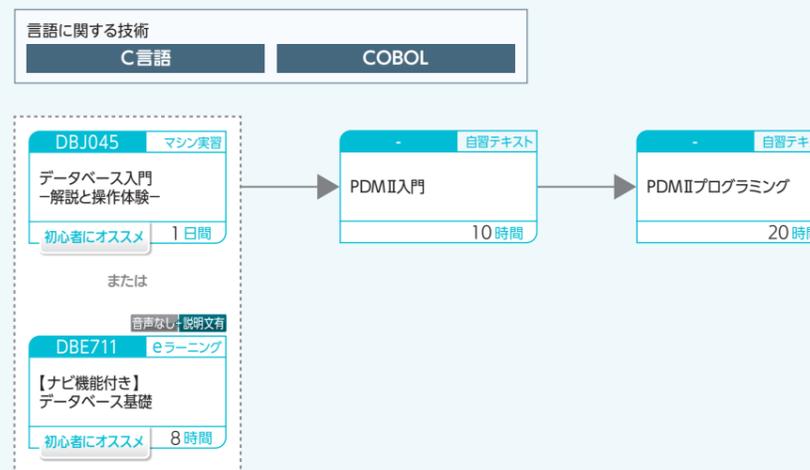
● XDM/DCCM3オンラインシステムを使用してアプリケーションプログラムを開発する方



● PDMIIデータベースを構築・運用する方



● PDMIIを使用してアプリケーションプログラムを開発する方



日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

DBE016	XDM/PDM II
	<eラーニング> XDMリレーショナルDB機能と設定 —環境構築編— 平均4時間
XDMリレーショナルデータベース (XDM/RD) システムを構築する際に必要なデータベースの構造と、XDM/RD空間を起動するために必要な定義方法を学習します。	
到達目標	・論理構造と物理構造を理解し説明できる。 ・RD初期設定ユーティリティで設定するオペランドを理解し説明できる。
対象者	XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。
前提知識	「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. XDMシステムの概要 2. データベースの論理構造と物理構造 (1) データベースの論理構造 (2) データベースの物理構造 3. XDM/RDシステムの作成 (1) XDM/RDシステムの作成手順 (2) XDM/RDシステムの作成の準備 (3) XDM/RDシステムの環境設定 4. 修了試験
備考	・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、「XDMリレーショナルDB機能と設定」コース(集合研修)の一部分をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が附加されます。

DBE017	XDM/PDM II
	<eラーニング> XDMリレーショナルDB機能と設定 —データベース作成編— 平均4時間
XDMリレーショナルデータベースシステム (XDM/RD) を構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法を学習します。	
到達目標	・論理構造と物理構造を理解し説明できる。 ・表およびインデクスを定義に必要なオペランドを理解し説明できる。
対象者	XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。
前提知識	「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. XDMシステムの概要 2. データベースの論理構造と物理構造 (1) データベースの論理構造 (2) データベースの物理構造 3. データベースの作成 (1) 表の定義 (2) インデクスの定義 (3) データの初期ロードとインデクスの作成 (4) ビュー表の定義 4. 修了試験
備考	・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、「XDMリレーショナルDB機能と設定」コース(集合研修)の一部分をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が附加されます。

DBE018	XDM/PDM II
	<eラーニング> XDMリレーショナルDB機能と設定 —運用編— 平均4時間
XDMリレーショナルデータベース (XDM/RD) システムを構築する際に必要なデータベースの構造と、XDM/RD空間を起動するために必要な定義方法を学習します。	
到達目標	・機密保護、排他制御を理解し説明できる。 ・パッチUAP用ユーザ空間の起動制御文に必要なオペランドを理解し説明できる。
対象者	XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。
前提知識	「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. XDMシステムの概要 2. データベースの定義と作成 (1) データベースの論理構造 (2) データベースの物理構造 3. データベースの管理と保守 (1) データデイクジョナリ (2) 機密保護 (3) 排他制御 4. データベースの運用 (1) XDM/RDシステムの起動と停止 (2) データベースの再編成 5. 修了試験
備考	・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、「XDMリレーショナルDB機能と設定」コース(集合研修)の一部分をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が附加されます。

DBE025	XDM/PDM II
	<eラーニング> XDM/DCCM3機能解説と システム運用 平均12時間
XDMによるオンラインシステムを構築、運用するにあたり必要なXDM/DCCM3のメッセージ制御機能とオンラインシステム運用のための機能を説明します。	
到達目標	・メッセージ制御についてさまざまなオプションを選択し、機能設定できる。 ・トランザクション定義ができる。
対象者	XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムを構築・運用する方。
前提知識	「DCCM3入門」、「DCCM3プログラミング」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. XDMシステムの概要 2. メッセージ制御 (1) メッセージ受信/送信処理 (2) UAPのローディング方式 (3) メッセージ編集など 3. オンラインの運用 (1) XDMシステムの開始と終了 (2) センタ運用 (3) 端末運用 4. XDM/DCCM3システム定義例
備考	・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

DBJ103	XDM/PDM II
	XDM/DCCM3機能解説と システム運用 2日間
XDMによるオンラインシステムを構築、運用するにあたり必要なXDM/DCCM3のメッセージ制御機能とオンラインシステム運用のための機能を説明します。	
到達目標	・メッセージ制御についてさまざまなオプションを選択し機能設定できる。 ・トランザクション定義ができる。
対象者	XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムを構築・運用する方。
前提知識	「DCCM3入門」、「DCCM3プログラミング」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. XDMシステムの概要 2. メッセージ制御 (1) メッセージ受信/送信処理 (2) UAPのローディング方式 (3) メッセージ編集など 3. オンラインの運用 (1) XDMシステムの開始と終了 (2) センタ運用 (3) 端末運用 4. XDM/DCCM3システム定義例
備考	※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。

DBE028	XDM/PDM II
	<eラーニング> XDMシステムの設計と運用 平均18時間
XDMによるオンラインシステムを構築、運用する際に必要な効果的なシステムの定義方法や運用の手順、およびそれらの作業方法を学習します。	
到達目標	・XDM空間を起動できる。 ・オンラインのさまざまなオプションを選択し性能改善できる。 ・センタ運用のさまざまなオプションを選択し省力化が図れる。
対象者	XDMシステムの管理者としてシステムの定義作成や運用をする方。
前提知識	「XDM構造型DB機能と設定」コースまたは「XDMリレーショナルDB機能と設定」eラーニングコース(3コースすべてのいづれかと、「XDM/DCCM3機能解説とシステム運用」コースを修了し、かつVOS3の各種用語や機能についての知識があること。
内容	1. 概要 2. XDMシステムの構築と運用 (1) XDM運用のポイント 3. XDMシステムの管理を支援するツール (1) XDM/AOF E2 (2) XDM/PAF 4. XDMの設計指針 (1) 性能設計 (2) 信頼性設計 (3) DB設計 (4) DC設計
備考	・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

DBJ104	XDM/PDM II
	XDMリレーショナルDB機能と設定 2日間
XDMリレーショナルデータベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。	
到達目標	・論理構造と物理構造を理解し、説明できる。 ・表およびインデクスを定義できる。 ・機密保護、排他制御を理解し、説明できる。 ・パッチUAP用ユーザ空間を起動できる。
対象者	XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。
前提知識	「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. XDMシステムの概要 2. データベースの定義と作成 (1) データベースの論理構造 (2) データベースの物理構造 (3) XDM/RDシステムの作成 3. データベースの管理と保守 (1) データデイクジョナリ (2) 機密保護 (3) 排他制御 4. データベースの運用 (1) XDM/RDシステムの起動と停止 (2) データベースの再編成
備考	※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。

DBE024	XDM/PDM II
	<eラーニング> XDM構造型DB機能と設定 平均18時間
XDM構造型データベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。	
到達目標	・スキーマ、格納スキーマの適切な構造を定義できる。 ・データベース実行環境の適切なオプションを選択できる。 ・データベースの構造変更等の保守ができる。
対象者	XDM構造型データベースシステムを構築・運用する方。
前提知識	「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. XDMシステムの概要 2. データベースの論理構造とデータ操作 3. データベースの格納構造と定義 4. データベースの物理構造と定義 5. プログラムからのデータベース利用 (1) 仮想構造 (2) データベースの操作機能 6. データベースの作成と保守 7. データベースの管理 (1) 排他制御 (2) コミット(同期点)処理 (3) データベースの障害回復
備考	・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

DBJ105	XDM/PDM II
	XDM構造型DB機能と設定 3日間
XDM構造型データベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。	
到達目標	・スキーマ、格納スキーマの適切な構造を定義できる。 ・データベース実行環境の適切なオプションを選択できる。 ・データベースの構造変更等の保守ができる。
対象者	XDM構造型データベースシステムを構築・運用する方。
前提知識	「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「データベース入門」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. XDMシステムの概要 2. データベースの論理構造とデータ操作 3. データベースの格納構造と定義 4. データベースの物理構造と定義 5. プログラムからのデータベース利用 (1) 仮想構造 (2) データベースの操作機能 6. データベースの作成と保守 7. データベースの管理 (1) 排他制御 (2) コミット(同期点)処理 (3) データベースの障害回復
備考	※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。

-	XDM/PDM II
	XDM RDBプログラミング 平均15時間
XDMリレーショナルDBを使用した業務プログラムを作成する際に必要なデータベースの検索、更新等の操作方法およびプログラムのコーディング方法を学習します。	
到達目標	・リレーショナルデータベースの特長とデータ操作上の留意点を説明できる。 ・検索処理プログラムを作成できる。 ・更新処理プログラムを作成できる。 ・追加/削除処理プログラムを作成できる。
対象者	XDMリレーショナルDBを使用する業務プログラムを開発する方。
前提知識	COBOL言語を修了し、かつXDMリレーショナルDBの基礎知識があること。
内容	1. リレーショナルデータベースの特長とデータ操作上の留意点 2. 検索処理プログラムの作成方法 3. 更新処理プログラムの作成方法 4. 追加、削除処理プログラムの作成方法
備考	お申し込みについては、日立インフォメーションアカデミーにお問い合わせください。

-	XDM/PDM II
	XDM構造型DBプログラミング 平均24時間
XDM構造型DBを使用した業務プログラムを作成する際に必要なデータベースの検索、更新等の操作方法およびプログラムのコーディング方法を学習します。	
到達目標	・構造型データベースの特長とデータ操作上の留意点を説明できる。 ・検索処理プログラムを作成できる。 ・更新処理プログラムを作成できる。 ・切り離し、組み入れおよび再組み入れ処理プログラムを作成できる。
対象者	XDM構造型DBを使用する業務プログラムを開発する方。
前提知識	COBOL言語を修了し、かつXDM構造型DBの基礎知識があること。
内容	1. 構造型データベースの特長とデータ操作上の留意点 2. 検索処理プログラムの作成方法 3. 更新処理プログラムの作成方法 4. 切り離し、組み入れ処理プログラムの作成方法
備考	お申し込みについては、日立インフォメーションアカデミーにお問い合わせください。

-	XDM/PDM II
	DCCM3入門 平均15時間
DCCM3またはXDM/DCCM3のオンラインシステムの構築に必要なメッセージ制御機能およびその流れを基礎的用語を中心に学習します。	
到達目標	・DCCM3の目的および特長を説明できる。 ・メッセージの処理方法を説明できる。 ・DCCM3オンラインシステムの障害対策と運用を説明できる。
対象者	DCCM3、XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムを構築・運用する方。
前提知識	特に必要としません。
内容	1. DCCM3、XDM/DCCM3の特徴 2. メッセージの処理方法 3. オンラインの運用
備考	お申し込みについては、日立インフォメーションアカデミーにお問い合わせください。

IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

XDM/PDM II

DCCM3プログラミング

平均25時間

DCCM3、XDM/DCCM3によるオンラインシステムの業務プログラムを作成するにあたり必要なユーザアプリケーションプログラムの作成方法、パネル定義について例を中心に学習します。

到達目標

- DCCM3とXDM/DCCM3を使用する場合のユーザアプリケーションプログラムでのメッセージ処理の概要を理解し説明できる。
- COBOL言語によるユーザアプリケーションプログラムを作成できる。
- XMAPを使用したメッセージの基本的な編集ができる。

対象者 DCCM3、XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムの業務プログラムを作成する方。

前提知識 COBOL言語を修了し、かつ「DCCM3入門」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- DCCM3、XDM/DCCM3の特徴
- ユーザアプリケーションプログラムの作成方法
- パネル定義

備考 お申し込みについては、日立インフォメーションアカデミーにお問い合わせください。

XDM/PDM II

PDM II 入門

平均10時間

PDM II データベースシステムの構築や運用、あるいはデータベースを利用する際に必要な基礎知識を学習します。

到達目標

- PDM II システムのねらいを理解し説明できる。
- PDM II システムによるデータベースシステムの実現方法を理解し説明できる。
- データベース構造を理解し説明できる。
- PDM II システムが提供する機能を理解し説明できる。

対象者 PDM II データベースシステムの設計・運用を行う方、または業務プログラムを開発する方。

前提知識 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「データベース入門」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- PDM II の基本機能
- PDM II データベースの構造
- データベースの操作機能

備考 お申し込みについては、日立インフォメーションアカデミーにお問い合わせください。

XDM/PDM II

PDM II データベース機能と設定

平均15時間

PDM II データベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、またデータベースの管理や維持の方法を紹介します。

到達目標

- 論理/物理構造についてさまざまなオプションを選択し機能設定できる。
- PDM II システムによるデータベースシステムの実現方法を理解し説明できる。
- データベース定義/アクセス定義を定義できる。
- 運用・管理・生成と保守についてさまざまなオプションを選択し機能設定できる。

対象者 PDM II データベースシステムの設計・運用を行う方、または業務プログラムを開発する方。

前提知識 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「データベース入門」eラーニングコース、および「PDM II 入門」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- PDM II データベースシステムの概要
- データベースの論理構造
- データベースの物理構造
- データベースの定義
- アクセス仕様定義
- PDM II システムの運用
- PDM II システムの管理
- PDM II システムの生成と保守

備考 お申し込みについては、日立インフォメーションアカデミーにお問い合わせください。

XDM/PDM II

PDM II プログラミング

平均20時間

PDM II データベースを作成、検索、更新する業務プログラムの作成方法を学習します。

到達目標

- PDM II とプログラムのインターフェースを理解し説明できる。
- 検索・更新・追加/削除処理プログラムを作成できる。

対象者 PDM II データベースを使用した業務プログラムを開発する方。

前提知識 COBOL、PL/IまたはNHELPのいずれかの言語を理解し、かつ「PDM II 入門」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- PDM II の機能概要
- プログラムとPDM II のインターフェース
- データベースの作成方法
- データベースの検索方法
- データベースの更新方法

備考 お申し込みについては、日立インフォメーションアカデミーにお問い合わせください。

XDM/PDM II

PDM II データベース機能と設定

平均15時間

PDM II データベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、またデータベースの管理や維持の方法を紹介します。

到達目標

- 論理/物理構造についてさまざまなオプションを選択し機能設定できる。
- PDM II システムによるデータベースシステムの実現方法を理解し説明できる。
- データベース定義/アクセス定義を定義できる。
- 運用・管理・生成と保守についてさまざまなオプションを選択し機能設定できる。

対象者 PDM II データベースシステムの設計・運用を行う方、または業務プログラムを開発する方。

前提知識 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「データベース入門」eラーニングコース、および「PDM II 入門」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

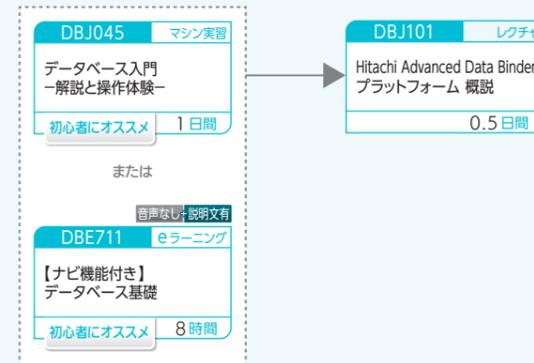
- PDM II データベースシステムの概要
- データベースの論理構造
- データベースの物理構造
- データベースの定義
- アクセス仕様定義
- PDM II システムの運用
- PDM II システムの管理
- PDM II システムの生成と保守

備考 お申し込みについては、日立インフォメーションアカデミーにお問い合わせください。

Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム

情報系システム向け超高速データベースエンジン、Hitachi Advanced Data Binderのアーキテクチャや導入までのWBS、設計や構築・運用管理に必要なとなるスキルが修得できます。

● Hitachi Advanced Data Binderを使用したシステムを設計・開発する方



- 音声有+説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有+説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし+説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声なし+説明文なし** : 学習の説明画面で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDM II
- Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
- IoT
- ビッグデータ
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- UNIX/Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画/システム設計
- IT戦略・IS企画
- システム設計
- アプリケーション開発
- Webアプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/UML
- 言語
- IT基本
- IT基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

DBJ101 Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム



Hitachi Advanced Data Binder
プラットフォーム 概説

0.5日間

Hitachi Advanced Data Binderプラットフォームの概要、導入から保守までの作業概要(WBS)および設計・構築・運用の基礎知識を学習します。

- 到達目標**
- ・Hitachi Advanced Data Binderプラットフォームの概要を理解し、説明できる。
 - ・Hitachi Advanced Data Binderプラットフォームの導入から保守までの作業概要(WBS)を理解し、説明できる。
 - ・Hitachi Advanced Data Binderプラットフォームの設計・構築・運用の基礎知識を理解し、説明できる。

対象者 Hitachi Advanced Data Binder プラットフォームの導入をご検討中の方。

前提知識 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

- 内容**
1. HADB PFの概要
 2. HADB PFの設計
 3. HADB PFの構築の概要
 4. HADB PFのテストおよびチューニングの概要

備考 このコースは、13:00~17:20の開催とさせていただきます。

IoT

IoT(Internet of Things)/M2M(Machine to Machine)の全体像とシステム構築についての詳細技術を理解できます。また、MCPC主催「IoTシステム技術検定」合格の支援を行います。

IoT/M2Mシステムの基礎知識を修得したい方

IOJ001	レクチャ
IoT概説	
0.5日間	

IoT/M2Mシステム構築のポイントとなる技術を修得したい方

IOJ002	レクチャ
IoT技術解説 セキュリティ編	
0.5日間	

IOJ003	レクチャ
IoT技術解説 無線ネットワーク編	
0.5日間	

New	IOJ007	レクチャ
IoT技術解説 センサ編		
0.5日間		

MCPC主催IoTシステム技術検定の合格をめざす方

<基礎検定受検者向け>

<中級検定受検者向け>

New	IOJ008	レクチャ
IoTシステム技術検定 (基礎検定)対策講座		
1日間		

IOJ004	レクチャ
IoTシステム技術検定 対策講座	
2日間	

OSSを活用したIoTシステムを開発したい方

IOJ005	マシン実習
実践! Node-REDによるIoTシステムの 実装-Raspberry Piを使用した風車の リアルタイム監視から予兆診断、保守まで-	
1日間	

音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

資格 IoTシステム技術検定

IoTシステム技術検定は、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム(MCPC)が主催し、新ビジネス推進やIoTで活躍が期待されている方々を対象とした資格制度です。IoTシステム構築・活用に関する知識を中心に、その習熟度を検定することで、IoTシステムに関係する技術者の対応力向上を目的としています。IT/ICT業界はもとより、環境エネルギー、運輸交通、製造業、農業、医療ヘルスケアなどIoTシステムに関連するあらゆる分野の技術者にお薦めの検定です。

詳しくは、日立インフォメーションアカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/license/iot/index.html>



コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

日立製品

JP1

uCosminexus
Application Server

HiRDB

OpenTP1

VOS3/VOS1/
VOSK

XDM/PDMII

Hitachi Advanced Data
Binder プラットフォーム

IoT

ビッグデータ

クラウド/
サーバ仮想化ITサービス
マネジメント

システム基盤

UNIX/Linux

Microsoft

ネットワーク

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画/
システム設計

IT戦略・IS企画

システム設計

アプリケーション
開発Web
アプリケーション

スマートデバイス

オブジェクト指向/
UML

言語

IT基本

IT基本

ハードウェア

情報処理資格

情報リテラシ

プロジェクト
マネジメント

コンプライアンス

ビジネス/
ヒューマン

グローバル

● イベント駆動型システム開発を行いたい方

New

IOJ010 レクチャ

IoTにおけるイベント駆動型システム開発入門
-Hitachi Application Framework/Event Driven Computing (HAF/EDC)による開発事例を解説-

0.5日間

New

IOJ009 マシン実習

IoTにおけるイベント駆動型システム開発実践
-Hitachi Application Framework/Event Driven Computing (HAF/EDC)によるアプリケーション/システム開発を体験-

2日間

● デジタルビジネスで活用する技術を知りたい方

New

IOE001 eラーニング

デジタルソリューションで活用するIT技術概説

8時間

● IoTビジネスの企画にあたり、まず着想したい方

New

IOJ006 グループ演習

IoTソリューションにおける顧客価値とROI-ビジネスモデルキャンパスを使ってIoTビジネスをデザインする-

1日間

音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

IOJ001 IoT

IoT概説

0.5日間

IoTの全体像を理解します。

到達目標

- IoTとは何かを理解することができる。
- IoTのシステム構成を理解することができる。
- 各社のIoTの動向を理解することができる。
- IoTの技術的なポイントを理解することができる。

対象者 IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。

前提知識 特に必要としません。

内容

- IoTとは
- IoTシステムと関連技術
- IoT技術動向
- 各社の動向

備考 このコースは、9:00~12:00の開催とさせていただきます。

IOJ002 IoT

IoT技術解説 セキュリティ編

0.5日間

IoTシステムでのセキュリティの重要性とセキュリティの適用事例を学習します。

到達目標

- IoTでのセキュリティの重要性を説明できる。
- IoTでのセキュリティの考え方を説明できる。
- IoTシステムに即したセキュリティを提案できる。

対象者 IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。

前提知識 「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- IoTシステムでのセキュリティの重要性
- IoTシステムでのセキュリティの考え方や適用事例
- IoTシステムでのセキュリティ技術解説

備考 ・このコースの開催時間は以下の通りです。
【東京(大森)地区】
5/16 13:00~15:30
7/ 6 9:30~12:00
8/22 13:00~15:30
【大阪地区】
8/24 13:00~15:30
【名古屋地区】
7/ 3 13:00~15:30
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

IOJ003 IoT

IoT技術解説 無線ネットワーク編

0.5日間

IoTシステムでのネットワークについて、種類、特徴、システム構成を学習します。

到達目標

- IoTネットワークの基礎知識(無線LAN、キャリア系)を理解できる。
- IoTシステムで使用されるネットワークの種類、構成を理解できる。

対象者 IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。

前提知識 「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- 無線ネットワーク基礎知識
- IoTで使用されるネットワークの種類と構成
 - キャリア系、無線LAN、LPWA(Low Power Wide Area)
 - ZigBee、Bluetooth、Wi-SUNなど
 - MQTT、CoAP
- IoTネットワークのセキュリティ
- その他
 - 関連法令、ISMバンドなど

備考 ・このコースは、9:30~12:00の開催とさせていただきます
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

IOJ007 IoT

IoT技術解説 センサ編

0.5日間

IoTシステム全体の中での詳細動作を解説し、センサをブラックボックスとして扱えるようにする。また、センサの適用事例を学習することで、OTの適用能力を向上させる。

到達目標 センサを使用したIoTシステムを設計できる。

対象者 IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者

前提知識 「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- センサの基本知識
 - センサの種類
 - センサの実装(システム構成例)
 - センサの動作概要
- IoTシステムでの適用事例
 - 適用事例(農業・交通など)
 - 今後のセンサ

備考 このコースの開催時間は以下の通りです。
【東京(大森)地区】
5/16 9:00~12:00
7/ 9 9:00~12:00
【大阪地区】
6/14 13:00~16:00

IOJ008 IoT

「IoTシステム技術検定(基礎検定)」対策講座

1日間

IoTの提案・企画を今後行う営業・SEに対して、「IoTシステムのデモンストレーション」「座学」「模擬試験」を使用し、IoTに関する基礎知識(考え方・用語)を紹介します。なお、このコースは「MCPC主催 IoTシステム技術検定 基礎検定」についての対策講座です。

到達目標

- 「IoTシステム技術検定(基礎検定)」に合格する。
- IoTシステムの概要、技術的なキーワードが理解できる。

対象者 IoT基礎知識の保有を認定する「IoTシステム技術検定(基礎検定)」の合格をめざす方。

前提知識 特に必要としません。

内容

- デモンストレーション(IoTデバイスなど)
- 技術ポイント解説
 - IoTシステム構築
 - センサ・アクチュエータ
 - IoTデータ活用(ビッグデータ・AI)
 - IoTセキュリティ
 - IoTシステムプロトタイプング
- 模擬試験

備考 ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
・テキストとして、IoT技術テキスト 基礎編「MCPC IoTシステム技術検定基礎対応」公式ガイドを配布します。(受講料に含まれます)

IOJ004 IoT

「IoTシステム技術検定」対策講座

2日間

検定出題分野における技術力の向上と試験対策を学習します。

到達目標 MCPC主催「IoTシステム技術検定(中級)」に合格できる技術力を修得する。

対象者 「IoTシステム技術検定(中級)」の合格をめざす方。

前提知識 「IoT概説」コースを修了しているか、または同等以上の知識があること。

内容

- 試験の概要
- IoTシステム構築と構築技術
 - IoTシステムアーキテクチャ
 - IoTサービスプラットフォーム
- センサ/アクチュエータと通信方式
 - IoTデバイス
 - ネットワーク
 - プロトコル
- AI分析とデータ活用
 - ビッグデータ分析技術
 - IoTデータ活用事例
- セキュリティ対策とプライバシー保護
 - セキュリティ対策
 - 情報セキュリティと法制度
- IoTのプロトタイプング
 - プロトタイプング

備考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder プラトフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

IOJ005 IoT

実践！Node-REDによるIoTシステムの実装 -Raspberry Piを使用した風車のリアルタイム監視から予兆診断、保守まで-

1日間

ハードウェアデバイス/APIやオンラインサービスを接続するツールであるNode-REDを活用し、機器の監視から予兆診断、保守までを実行するIoTシステムの実装方法を学びます。IoTシステムのエンジニアとして使用されることが多いRaspberry Piを使用し、機器からセンサでデータ収集・処理を行います。風車のメンテナンスを事例に、顧客にとって有益なIoTシステムの設計、実装する演習を行い、実践力の強化を図ります。

到達目標

- IoTシステムにおけるデータ収集、加工、分析、可視化、予兆診断、保守などの処理の流れを説明できる。
- Node-RED上で簡単なフローを作成できる。
- Node-REDとRaspberry Piを連携させた、簡単なIoTシステムを設計、実装できる。

対象者

Node-REDを使用して、データ収集、加工、分析などの処理を行うIoTシステムを提案、設計、開発、実装する方。

前提知識

Windowsの操作ができること。

内容

- 全体概要
 - Lumadaにおける位置づけ
 - Node-REDの概要
- Node-REDとRaspberry PiによるIoTシステムのデモ
- Node-REDによるIoTシステムの実装
 - はじめてのNode-RED
 - ノードの紹介
 - フローの作成
 - 独自ノードの作成
- Node-REDとRaspberry Piの連携
 - Raspberry Piとは
 - センサを用いたRaspberry Piによるデータ収集
- 演習
 - 異常の診断、通知機能の実装
 - 稼働時間の可視化
 - 週次レポートの作成
 - その他の機能追加(オプション)

備考

- このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

IOJ010 IoT

IoTにおけるイベント駆動型システム開発入門 -Hitachi Application Framework/Event Driven Computing (HAF/EDC)による故障予知診断を例にして-

0.5日間

分散処理に対応したイベント駆動型システムで何が出来るのかを理解し、IoTの大量データを高速で柔軟に分析するための開発や運用の概要を学習します。HAF/EDC(※)の活用により、如何に効率よくイベント駆動型システムが開発できるかを学習します。※HAF/EDCは、Hitachi Application Framework/Event Driven Computingの略称です。

到達目標

- 分散処理に対応したイベント駆動型システムの概要や効果を説明できる。
- HAF/EDCを用いたシステム開発の概要を説明できる。

対象者

イベント駆動型システムの開発に携わる方。

前提知識

システム開発に関する基礎知識をお持ちのこと。

内容

- イベント駆動型システムとは
 - イベント駆動型システムが求められる背景
 - イベント駆動型システムの特徴
- HAF/EDCを用いたシステムの一例(産業機器の故障予知診断のデモ)
- 核となるHAF/EDCエンジン
 - HAF/EDCの全体像
 - 分散処理基盤の概要
 - イベント処理制御機能の概要
 - HAF/EDCのまとめ
- HAF/EDCの開発・運用支援環境
 - 高い生産性を実現する開発フレームワーク
 - 設計・実装支援ツールの紹介とデモ
 - 開発支援OSS群の活用

備考

- このコースは、13:00~16:30の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

IOJ009 IoT

IoTにおけるイベント駆動型システム開発実践 -Hitachi Application Framework/Event Driven Computing (HAF/EDC)によるアプリケーション、システム開発演習を通して-

2日間

LumadaのコアテクノロジーであるHAF/EDC(※)を用いた、イベント駆動型アプリケーション開発およびIoTシステム開発の概要を紹介いたします。さらにHAF/EDCの導入方法や、HAF/EDCが提供する開発フレームワークを活用した設計・実装のポイントをマシン演習を通して学習します。※HAF/EDCは、Hitachi Application Framework/Event Driven Computingの略称です。

到達目標

- イベント駆動型のアプリケーションの設計や実装ができる。
- HAF/EDCを活用したIoTシステム開発の設計や実装ができる。

対象者

HAF/EDCの利用を検討されている方。HAF/EDCを用いたアプリケーションやIoTシステムを開発される方。

前提知識

IoTにおけるイベント駆動型システム開発入門]コースを修了しているか、同等の知識をお持ちのこと。

内容

- HAF/EDCの概要
 - HAF/EDCとは
 - 分散処理
 - イベント処理
 - 開発フレームワーク
- HAF/EDCの導入
 - 前提環境の準備
 - HAF/EDCのインストール
 - HAF/EDCのセットアップと環境構築の勘所
- HAF/EDCによるアプリケーション開発演習
 - イベント駆動型アプリケーションの開発概要
 - アダプタの設計・実装
 - メッセージプロセッサの設計・実装
 - ディスプレイの設定
 - サンプルアプリケーションの設計・実装
- IoT共通フレームワークによるIoTシステム開発
 - IoT共通フレームワークを使ったデータ処理
 - 格納機能
 - 分析連携機能
 - 参照機能
- IoT共通フレームワークによるシステム開発演習
 - 演習題材
 - データレイクへのデータ格納
 - データレイクからのデータ抽出
 - 分析エンジンとの連携
 - 分析結果の登録
 - OSSを活用した分析結果の可視化
 - 演習題材のエンハンス

備考

- このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

IOE001 IoT

<eラーニング> デジタルソリューションで活用する IT技術概説

平均8時間

社会イノベーション事業などITを活用したビジネスを企画・提案される方に必要となるIT技術の概要を学習します。

到達目標

- 各ビジネス領域でIT化を実現するためにどのようなIT技術が活用されているかを説明できる。
- ビジネスに活用される主なIT技術を説明できる。
- IT化を実現するための体制、プロセス、提供モデルが説明できる。

対象者

- 業務にITを活用する方。
- ITを活用したビジネスを企画・提案する方。

前提知識

特に必要としません。

内容

- IT活用の変遷とビジネスへのかかわり
 - ITとは何か
 - ソリューションの変遷
- 各種ビジネス領域で活用されるIT
 - ITシステムのアーキテクチャ
 - IoT
 - クラウドコンピューティング
 - ビッグデータ
 - AI, BI
 - セキュリティ
- 提供形態
 - ソリューション
 - 提供形態
 - サービス
- 提供プロセス
 - 開発プロセス
 - デジタルソリューション開発プロセス
 - PoC
 - アジャイル開発
- まとめ
 - 技術の整理

備考

- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

※このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

IOJ006 IoT

IoTソリューションにおける顧客価値とROI-ビジネスモデルキャンパスを使ってIoTビジネスをデザインする-

1日間

さまざまなモノやモノがインターネットを介してつながる「IoT(Internet of Things)」。IoTは、私たちの生活やビジネスを大きく変えるポテンシャルを秘めています。このコースでは、産業、商業、公共、社会インフラに対するIoTシステムの適用に焦点を当てながら、想定する領域における課題(望ましい成果とその成果を阻む障害や制約)をプロセスから発見し、その課題を解決するために、ヒト、モノ、データを適切に結び付けていくためのIoTサービスデザインのラフデザインを行います。また、成果を定量的に把握するための、IoTソリューション導入によるROI算定に必要な要素までを明確にしていきます。学習の進め方として、一方的なレクチャーではなく、さまざまな可視化ツールを活用することによって、グループワークにおける参加者の議論を活性化するとともに、プレゼンテーションによる参加者間の情報共有を図ります。

到達目標

- IoTビジネスの素案となる一枚絵とそのレビューのポイントを持ち帰り、自部署での検討が進めやすくなる。具体的には、
 - 対象とした領域(産業、商業、公共、社会インフラ)のプロセスから、課題・仮説を整理できる
 - 上記プロセスに関連するヒト、モノ、データを洗い出せる
 - 重要な課題を解決するサービスデザインのスケッチ方法を体験できる
 - ROI推定に必要な要素を整理できる

対象者

IoTビジネスに携わるすべての方(事業企画者、エンジニア、サービス担当者、マーケティング担当者、オペレーション担当者など)、ビジネスモデルの一枚絵をどう描き、投資対効果をどう見積り、内外のリソースを使った実現計画をどう立てるか、その進め方・考え方に悩みの方。

前提知識

- IoT・ビジネスモデルキャンパスに関する基礎的な知識(インターネット上の情報収集レベル)を持っていることが望ましい。
- 自分がターゲットとする領域(産業、商業、公共、社会インフラのいずれか)に関する基礎知識があることが望ましい。

内容

- ビジネスモデルを考えるうえで必要な要素(ビジネスモデルキャンパス)
- IoTの4つの潜在能力を理解する
- IoTの4つの柱を理解する
- 対象とするプロセス内の課題を整理する(IoTジョブマップ)
- 課題解決のためにヒト、モノ、データを結び付ける(IoTトライアングル)
- データを知性に変換する(IoTピラミッド)
- ROI算定の基礎を生成する

備考

- このコースは、9:00~17:20の開催とさせていただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

ビッグデータ

ビッグデータの有益性や既存技術との違いを理解し、ITプラットフォーム技術や分析技術が修得できます。

● ビッグデータとは何か?や既存技術との違いを理解し、関連するIT技術/分析技術の概要を修得したい方

DBJ081 レクチャ

ビッグデータ概説

初心者にオススメ 0.5 日間

または

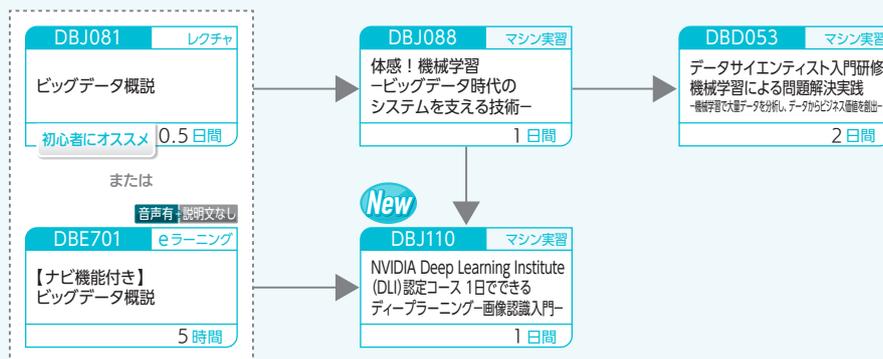
音声有 説明文なし

DBE701 eラーニング

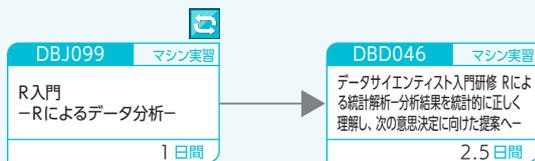
【ナビ機能付き】
ビッグデータ概説

5 時間

● 機械学習・ディープラーニング技術を利用し、データを活用したシステムの提案をする方



● データ分析向けプログラミング言語「R」を修得したい方



学び直しシリーズ eラーニング としてもご提供しています。

過去に受講した研修内容を再確認したい方や、既に業務を遂行するために独学で学び実践しているが、知識の抜け漏れがないかを体系的に学ぶことで整理したい方にお薦めのeラーニングです。集合研修のレクチャ部分を収録、抜粋シグイジェストコースとして、eラーニングで提供します。

音声有 + 説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有 + 説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

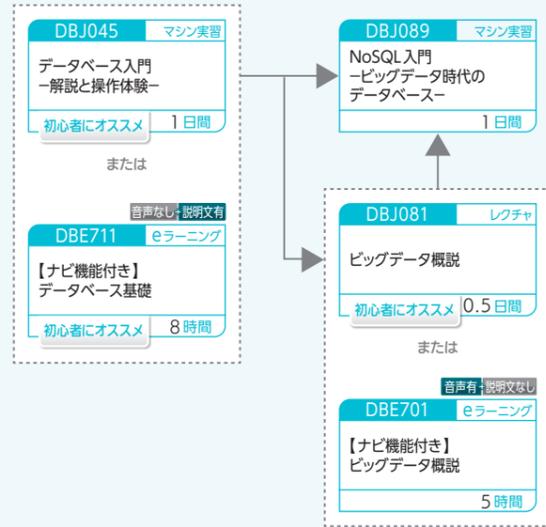
音声なし + 説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声なし + 説明文なし : 学習の説明画面で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

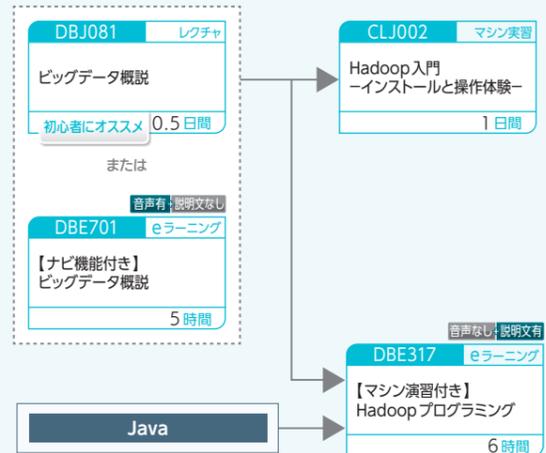
初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus
Application Server
- HiRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/
VOSK
- XDM/PDM II
- Hitachi Advanced Data
Binder プラットフォーム
- IoT
- ビッグデータ
- クラウド/
サーバ仮想化
- IT サービス
マネジメント
- システム基盤
- UNIX / Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画/
システム設計
- IT戦略・IS企画
- システム設計
- アプリケーション
開発
- Web
アプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/
UML
- 言語
- IT 基本
- IT 基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクト
マネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/
ヒューマン
- グローバル

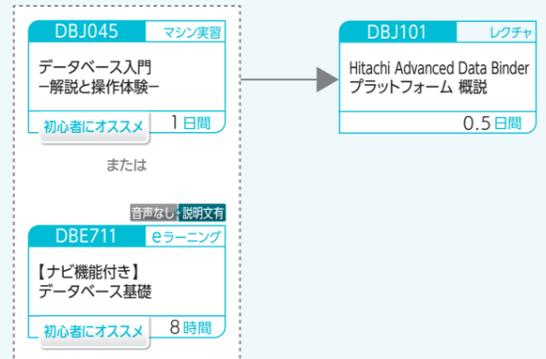
● NoSQLを使用したシステムを設計・開発する方



● Hadoopを使用したシステムを設計・開発する方



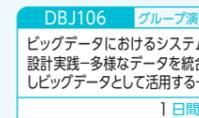
● Hitachi Advanced Data Binderを使用したシステムを設計・開発する方



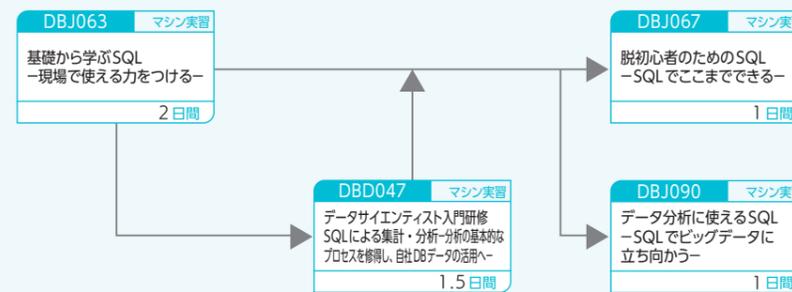
● データウェアハウスの概要や設計技術を修得したい方



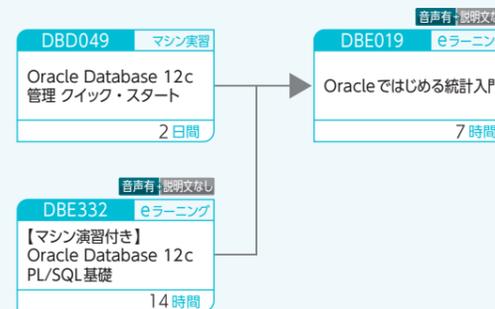
● 様々な技術を組み合わせ、データを活用するシステムの構成を設計する方



● ビッグデータの分析に役立つSQLを修得したい方



● Oracleを使用してデータ分析をしたい方



音声有 + 説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有 + 説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

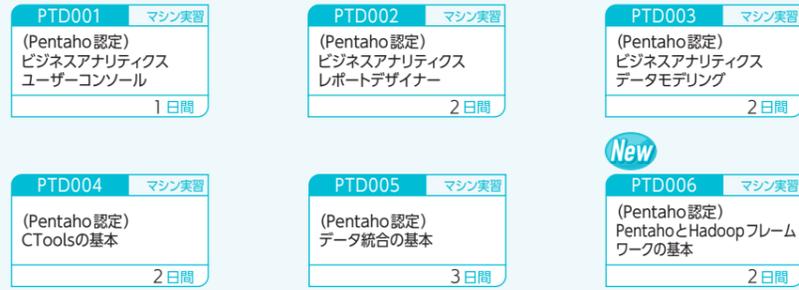
音声なし + 説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

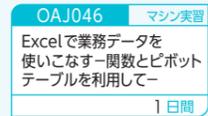
● Oracle Exadataを使用したシステムを管理・運用する方



● Pentahoソフトウェアを使用してデータ分析をしたい方



● Excelを使用してデータ活用したい方



● Hitachi Application Framework/Event Driven Computingを使用したシステムを設計・開発する方



DBJ081 ビッグデータ

ビッグデータ概説

0.5日間

ビッグデータでできることや活用事例を通して、さまざまな関連技術や活用手法の基礎を半日で学習します。

到達目標

- ビッグデータの概要を説明できる。
- ビッグデータの関連技術とその必要性を説明できる。
- ビッグデータの活用方法を説明できる。

対象者

ビッグデータの概要を修得したい方、ビッグデータ関連事業に従事する方。

前提知識

特に必要としません。

内容

- ビッグデータ概要
 - ビッグデータで何ができるのか
 - ビッグデータとは
 - なぜ、ビッグデータが注目されているのか
- ビッグデータ関連技術
 - 並列・分散処理
 - NoSQL
 - ストリームデータ処理
 - 超高速データベースエンジン
- データの活用〜データ分析〜
 - データマイニング
 - 機械学習
- ビッグデータに求められる人材
 - ビッグデータに求められるスキル
 - 企業における取り組み

備考

- このコースは、13:00~17:20の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

DBE701 ビッグデータ

<eラーニング>【ナビ機能付き】

ビッグデータ概説

平均55分間

ビッグデータでできることや活用事例を通して、さまざまな関連技術や活用手法の基礎を半日で学習します。

到達目標

- ビッグデータの概要を説明できる。
- ビッグデータの関連技術とその必要性を説明できる。
- ビッグデータの活用方法を説明できる。

対象者

ビッグデータの概要を修得したい方、ビッグデータ関連事業に従事する方。

前提知識

特に必要としません。

内容

- ビッグデータ概要
 - ビッグデータで何ができるのか
 - ビッグデータとは
 - なぜ、ビッグデータが注目されているのか
- ビッグデータ関連技術
 - 並列・分散処理
 - NoSQL
 - ストリームデータ処理
 - 超高速データベースエンジン
- データの活用〜データ分析〜
 - データマイニング
 - 機械学習
- ビッグデータに求められる人材
 - ビッグデータに求められるスキル
 - 企業における取り組み
- 修了試験

備考

- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

DBJ089 ビッグデータ

NoSQL入門

〜ビッグデータ時代のデータベース〜

1日間

NoSQLの基礎知識を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- NoSQLのデータモデルを説明できる。
- さまざまなNoSQL製品の特長を説明できる。

対象者

これからNoSQLを使用したシステム構築を行う開発者や管理者の方。

前提知識

「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- NoSQLの概要
- データモデル
- データ分散
- NoSQL製品の紹介

備考

- このコースは、9:30~17:30の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

DBJ088 ビッグデータ

体感! 機械学習

〜ビッグデータ時代のシステムを支える技術〜

1日間

ビッグデータでは収集したデータを活用する技術が必要です。このコースでは、データ活用技術の一つとして機械学習の導入を学びます。データを活用したシステムに向けた技術を修得できます。

到達目標

- 機械学習の概要が説明できる。
- ツールを用いて簡単な機械学習を用いた分析ができる。

対象者

ビッグデータ関連事業に携わる方。

前提知識

基本的なプログラムの文法(言語は問いません)を理解しており、かつ「ビッグデータ概説」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- 機械学習の概要
 - 機械学習とは
 - 機械学習の種類
 - 機械学習のプロセス
 - ビッグデータにおける機械学習の位置づけ
 - 機械学習とデータマイニング
- 分析ツールを利用した機械学習
 - Rの概要
 - 事例1 最適化
 - 事例2 異常検知
 - 事例3 数値予測
 - 精度の確認
- 機械学習の実装

備考

このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

DBJ110 ビッグデータ

NVIDIA Deep Learning Institute (DLI) 認定コース 1日でできる

ディープラーニング-画像認識入門-

1日間

ディープラーニングの概要、ニューラルネットワークの基礎、画像認識によく使われる畳み込みニューラルネットワークを学習します。さらに、ハンズオンでは、NVIDIA DLI のGPUディープラーニング学習システム「DIGITS」を使った実環境での画像認識を体験します。ディープラーニングの基礎から精度向上のテクニックまでを紹介いたします。

到達目標

- ディープラーニングによるモデル構築の一連の流れを具体的に説明できる。
- CaffeとNVIDIA DIGITSを利用した画像認識の学習プロセスの概略を説明できる。

対象者

人工知能のブーム到来を受けて興味はあるが、ディープラーニングの適用イメージ、構築イメージが分からないITエンジニア(若手・中堅)の方。これからデータ活用案件において、ディープラーニング利用を要望されており、初歩・中級レベルで理解したい、使えるようにしたい方。

前提知識

特に必要としません。

内容

- ディープラーニング概論
 - ディープラーニングとは
 - ディープラーニングによる恩恵
 - ディープラーニングの適用領域
- ニューラルネットワーク
 - ニューラルネットワークとは
 - ディープラーニングにおける学習プロセス
 - 学習プロセスでの様々なテクニック
- 畳み込みニューラルネットワーク
 - 畳み込みニューラルネットワークとは
 - 畳み込み層
 - プーリング層
- ディープラーニング学習システム
 - DIGITS
 - Caffe
- ハンズオン
 - DIGITSによる画像分類

備考

このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

DBE317 ビッグデータ

<eラーニング>【マシン演習付き】

Hadoopプログラミング

平均65分間

Hadoopの基本機能とHadoop MapReduceのプログラミング手順を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- 大量データ処理の誕生背景や特徴を説明できる。
- JavaによるHadoop MapReduceプログラムを作成できる。
- Pig、Hiveなど簡易開発ツールを利用することができる。

対象者

これからHadoop MapReduceプログラムを開発する方。「Javaプログラミング 2 (基本クラス編)」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

前提知識

特に必要としません。

内容

- Hadoop概要
- MapReduce概要
- MapReduceプログラミング
- Hadoop関連情報
- 修了試験

備考

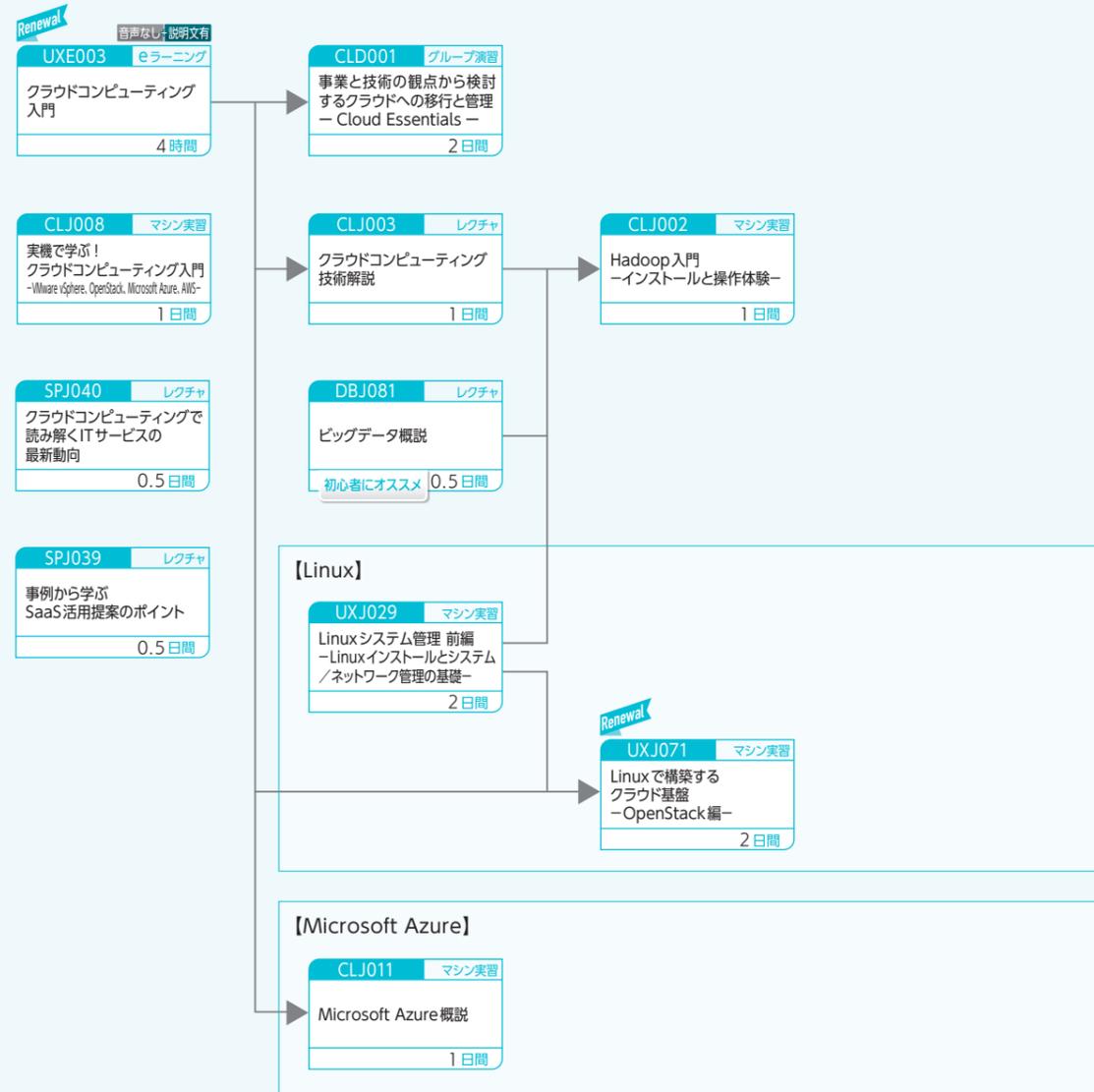
【お申し込み前に必ずご確認ください】

- 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご確認ください。
- 学習開始日10営業日前を過ぎたキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースは、旧「Hadoopプログラミング」コース(集合研修)をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

クラウド / サーバ仮想化

サーバ仮想化やクラウドという最新システムについての基礎知識と技術が修得できます。

● クラウド基盤の基礎知識や技術を修得したい方



音声有 + 説明文有 : 学習の説明画面とナレーション (説明テキスト) で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声有 + 説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
音声なし + 説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● サーバ仮想化の基礎知識や技術を修得したい方

CLJ005 マシン実習 実機で学ぶ! サーバ仮想化入門 -VMware vSphere, Microsoft Hyper-V, KVM- 1 日間	CLE701 eラーニング 【ナビ機能付き】 ストレージ関連者向け サーバ仮想化技術概説 3 時間
--	--

【Microsoft】

CLJ010 マシン実習 実践! Hyper-Vのインストールから可用性向上まで -Windows Server 2016編- 1 日間
--

【VMware】

VMJ006 マシン実習 VMware vSphere システム構築実習 [V6.5] -実装編- 2 日間	VMJ005 マシン実習 VMware vSphere システム構築実習 [V6.0] -実装編- 2 日間	VMD007 マシン実習 VMware vSphere : Install, Configure, Manage [V6.5] 5 日間	VMD008 マシン実習 VMware vSphere : What's New [V5.5 to V6.5] 3 日間	VMD009 マシン実習 VMware NSX : Install, Configure, Manage [V6.2] 5 日間
--	--	---	---	---

【Linux】

UXJ074 研修室自習型 Linuxで構築するKVM仮想化環境 1 日間
--

● VMware認定資格の取得をめざす方

<VMware Certified Professional (VCP : VMware 認定プロフェッショナル)>

VMD007 マシン実習 VMware vSphere : Install, Configure, Manage [V6.5] 5 日間	VMD008 マシン実習 VMware vSphere : What's New [V5.5 to V6.5] 3 日間
---	---

資格 VMware 認定資格

VMware認定資格とは、VMwareソリューションの導入・展開を担う技術者を育成するために、VMware社が提供している認定プログラムです。主なVMware認定資格には、VMware Certified Professional (VCP) - VMware 認定プロフェッショナルがあります。

詳しくは、日立インフォメーションアカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/license/vmware/index.html>



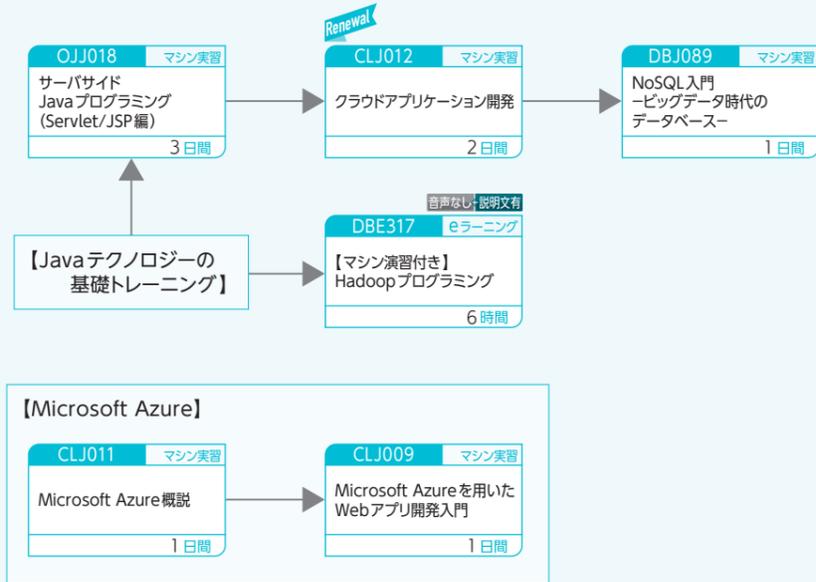
自習テキスト 自習書による自己学習
 休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

● デスクトップ仮想化の基礎知識や技術を修得したい方

<p>音声なし・説明文有</p> <p>CLE702 eラーニング</p> <p>【ナビ機能付き】 デスクトップ仮想化概説</p> <p>4 時間</p>	<p>マシの実習</p> <p>CLJ007</p> <p>実機で学ぶ! デスクトップ仮想化入門 -Citrix XenDesktopとVMware vSphere-</p> <p>1 日間</p>
--	--

● クラウド環境で動作するアプリケーションを開発する方



- 音声有 + 説明文有** : 学習の説明画面とナレーション (説明テキスト) で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必要となります。
- 音声なし・説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシの実習 マシン実習	グループ演習 グループ演習を中心とした研修	レクチャ 座学による研修	演習環境 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習	研修室自習型 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習	eラーニング インターネット接続による自己学習
----------------	--------------------------	-----------------	-----------------------------------	---------------------------------	----------------------------

CLE701 クラウド/サーバ仮想化
<p>eラーニング ナビ付き</p> <p>平均3時間</p> <p><eラーニング>【ナビ機能付き】 ストレージ関連者向け サーバ仮想化技術概説</p>
<p>VMware・Hyper-Vなどのサーバ仮想化環境で日立ストレージを動作させる場合のシステム構成・ポイントサーバ仮想化の基本技術を交えて学習します。</p>
<p>到達目標 VMware・Hyper-Vなどのサーバ仮想化環境で日立ストレージを動作させる場合のシステム構成・ポイントをサーバ仮想化の基本技術を交えて修得する。</p>
<p>対象者 営業・SEの方。</p>
<p>前提知識 特に必要としません。</p>
<p>内容 1. サーバ仮想化概要 2. 代表的なサーバ仮想化製品 3. サーバ仮想化環境でのストレージ関連設定 4. 修了試験</p>
<p>備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。</p>

CLJ005 クラウド/サーバ仮想化
<p>マシの実習</p> <p>1日間</p> <p>実機で学ぶ! サーバ仮想化入門 -VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVM-</p>
<p>サーバ仮想化の基礎を解説し、市場で大きなシェアを持っているVMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVMを利用したサーバ仮想化方法を実機で学習します。</p>
<p>到達目標 ・サーバ仮想化の概要を説明できる。 ・各種製品 (VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVM) をインストールしそれらの製品を使用して仮想サーバを作成できる。</p>
<p>対象者 サーバ仮想化の提案、構築を行う営業、SEの方。</p>
<p>前提知識 特に必要としません。</p>
<p>内容 1. サーバ仮想化の概要 2. VMware vSphereの概要と特徴 (1) 演習1: VMware vSphereのインストールと仮想サーバの作成 3. Hyper-Vの概要と特徴 (1) 演習2: Microsoft Hyper-Vのインストールと仮想サーバの作成 4. KVMの概要と特徴 (1) 演習3: KVMのインストールと仮想サーバの作成</p>
<p>備考 ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。</p>

CLJ007 クラウド/サーバ仮想化
<p>マシの実習</p> <p>1日間</p> <p>実機で学ぶ! デスクトップ仮想化入門 -Citrix XenDesktopとVMware vSphere-</p>
<p>・仮想デスクトップ用仮想マシンの作成から、管理、クライアントでの接続までの一連の作業を実機ベースで行い、デスクトップ仮想化環境を構成する各種サーバ類の役割を理解します。 ・複数の仮想デスクトップ構成パターンを構築し、各方式の特徴(長所/短所)を理解します。</p>
<p>到達目標 デスクトップ仮想化の実現に必要なシステムインフラの構成と役割を説明できる。</p>
<p>対象者 デスクトップ仮想化ソリューションを提案・構築する営業、SEの方。</p>
<p>前提知識 サーバ仮想化の基礎知識があること。</p>
<p>内容 1. デスクトップ仮想化の仕組み (1) デスクトップ仮想化とは (2) デスクトップ仮想化のシステム構成 2. 仮想デスクトップの作り方 (1) 仮想デスクトップへの接続の流れ (2) 仮想デスクトップ用仮想マシンの作成 (3) 仮想デスクトップ接続用クライアント 3. デスクトップ仮想化 導入の注意点 (1) ライセンス (2) デスクトップ仮想化システムのポトルネックについて</p>
<p>備考 ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。</p>

CLJ008 クラウド/サーバ仮想化
<p>マシの実習</p> <p>1日間</p> <p>実機で学ぶ! クラウドコンピューティング 入門-VMware vSphere、OpenStack、Microsoft Azure、AWS-</p>
<p>クラウドコンピューティングの基礎を、各種製品 (VMware vSphere、OpenStack、Microsoft Azure、AWS) のマシン演習を通して一日で学習します。</p>
<p>到達目標 ・クラウドコンピューティングの概要を説明できる。 ・プライベートクラウドを構築できる製品 (VMware vSphere、OpenStack) を使用して、クラウドを利用できる。 ・パブリッククラウドを構築できる製品 (Microsoft Azure、AWS) を使用して、クラウドを利用できる。</p>
<p>対象者 クラウドコンピューティングの提案、構築を行う営業、SEの方。</p>
<p>前提知識 特に必要としません。</p>
<p>内容 1. クラウドコンピューティングの概要 (1) クラウドコンピューティングの概要と利点 (2) クラウドコンピューティングの利点 2. VMware vSphereによるクラウドコンピューティング (1) VMware vSphereの概要 (2) VMware vSphereによるクラウドコンピューティングの利用 3. OpenStackによるクラウドコンピューティング (1) OpenStackの概要 (2) OpenStackによるクラウドコンピューティングの利用 4. Microsoft Azureによるクラウドコンピューティング (1) Microsoft Azureの概要 (2) Microsoft Azureによるクラウドコンピューティングの利用 5. AWSによるクラウドコンピューティング (1) AWSの概要 (2) AWSによるクラウドコンピューティングの利用</p>
<p>備考 ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。</p>

CLE702 クラウド/サーバ仮想化
<p>eラーニング ナビ付き</p> <p>平均4時間</p> <p><eラーニング>【ナビ機能付き】 デスクトップ仮想化概説</p>
<p>デスクトップを仮想化することで得られるメリット/デメリットと、その実現の仕組みを学習します。また、デスクトップ仮想化の2大製品であるVMware ViewとCitrix XenDesktopの特徴を紹介します。</p>
<p>到達目標 ・デスクトップを仮想化することでのメリット/デメリットが説明できる。 ・デスクトップ仮想化の実現に必要な機能・役割を説明できる。 ・デスクトップ仮想化の2大製品であるVMware ViewとCitrix XenDesktopの特徴を理解できる。</p>
<p>対象者 デスクトップ仮想化製品をこれから扱うSEおよび営業の方。</p>
<p>前提知識 特に必要としません。</p>
<p>内容 1. デスクトップ仮想化の概念 (1) この章で学ぶこと (2) デスクトップの仮想化とは (3) デスクトップ仮想化のメリット・デメリット 2. デスクトップ仮想化のシステム構成 (1) この章で学ぶこと (2) デスクトップ仮想化のシステム構成 3. 代表的なデスクトップ仮想化製品について (1) この章で学ぶこと (2) VMware Horizon(with View) (3) Citrix XenDesktop (4) 日立SPC (5) VDIライセンスについて 4. 修了試験</p>
<p>備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。</p>

UXE003 クラウド/サーバ仮想化
<p>eラーニング ナビ付き</p> <p>平均4時間</p> <p><eラーニング> クラウドコンピューティング入門</p>
<p>クラウドコンピューティングの基本的な内容、適用技術を学習します。</p>
<p>到達目標 クラウドコンピューティングの概要を説明できる。</p>
<p>対象者 クラウドコンピューティングに関する基礎的な知識を必要とする方。</p>
<p>前提知識 特に必要としません。</p>
<p>内容 1. クラウドコンピューティングとは (1) クラウドコンピューティングの定義 (2) クラウドコンピューティングの背景と出現 (3) クラウドコンピューティングの提供形態 (4) クラウドコンピューティングのサービスモデル (5) クラウドコンピューティングの歴史 (6) クラウドコンピューティングのメリット、デメリット (7) クラウドコンピューティングの動向 2. クラウドコンピューティングの適用 (1) パブリッククラウドの適用 (2) プライベートクラウドの構築と運用 (3) クラウドを支える基礎技術 3. 修了試験</p>
<p>備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。</p>

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド / サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX / Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド / サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX / Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

CLJ003	クラウド / サーバ仮想化
	クラウドコンピューティング技術解説
1日間	
	Microsoft Azure概説
1日間	
	Microsoft Azureを用いたWebアプリ開発入門
1日間	

CLJ011	クラウド / サーバ仮想化
	Microsoft Azure概説
1日間	
	Microsoft Azureを用いたWebアプリ開発入門
1日間	
	Hadoop入門 - インストールと操作体験 -
1日間	

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド / サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX / Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

CLJ009	クラウド / サーバ仮想化
	Microsoft Azureを用いたWebアプリ開発入門
1日間	
	Microsoft Azureを用いたWebアプリ開発入門
1日間	
	Hadoop入門 - インストールと操作体験 -
1日間	

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド / サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX / Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

CLJ012	クラウド / サーバ仮想化
	クラウドアプリケーション開発
2日間	
	Microsoft Azureを用いたWebアプリ開発入門
1日間	
	Hadoop入門 - インストールと操作体験 -
1日間	

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド / サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX / Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

CLD001	クラウド / サーバ仮想化
	事業と技術の観点から検討するクラウドへの移行と管理 -Cloud Essentials-
2日間	
	VMware vSphere システム構築実習 [V6.5] -実装編-
2日間	
	VMware NSX : Install, Configure, Manage [V6.2]
5日間	

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド / サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX / Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

VMJ006	クラウド / サーバ仮想化
	VMware vSphere システム構築実習 [V6.5] -実装編-
2日間	
	VMware NSX : Install, Configure, Manage [V6.2]
5日間	
	VMware vSphere システム構築実習 [V6.0]
2日間	
	VMware vSphere システム構築実習 [V6.5]
3日間	

マシナ学習	マシナを使用し ながらの研修
グループ演習	グループ演習を 中心とした研修
レクチャ	座学による 研修
演習環境	職場・自宅などのマシナ演習 環境を使用した自己学習
研修室自習型	研修室でのマシナ演習環境 を使用した自己学習
オンライン	オンライン
マシナ学習	マシナ学習
動画	動画
電子教材	電子教材
大規模実習	大規模実習
Oracle	Oracle
アプリチェック	アプリチェック
eラーニング	eラーニング インターネット接続 による自己学習

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド / サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX / Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

VMJ006	クラウド / サーバ仮想化
	VMware vSphere システム構築実習 [V6.5] -実装編-
2日間	
	VMware NSX : Install, Configure, Manage [V6.2]
5日間	
	VMware vSphere システム構築実習 [V6.0]
2日間	
	VMware vSphere システム構築実習 [V6.5]
3日間	

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド / サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX / Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

VMD007	クラウド / サーバ仮想化
	VMware vSphere : Install, Configure, Manage [V6.5]
5日間	
	VMware vSphere : What's New [V5.5 to V6.5]
3日間	
	VMware vSphere システム構築実習 [V6.0]
2日間	
	VMware vSphere システム構築実習 [V6.5]
3日間	

マシナ学習	マシナを使用し ながらの研修
グループ演習	グループ演習を 中心とした研修
レクチャ	座学による 研修
演習環境	職場・自宅などのマシナ演習 環境を使用した自己学習
研修室自習型	研修室でのマシナ演習環境 を使用した自己学習
オンライン	オンライン
マシナ学習	マシナ学習
動画	動画
電子教材	電子教材
大規模実習	大規模実習
Oracle	Oracle
アプリチェック	アプリチェック
eラーニング	eラーニング インターネット接続 による自己学習

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド / サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX / Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

VMD009	クラウド / サーバ仮想化
	VMware NSX : Install, Configure, Manage [V6.2]
5日間	
	VMware vSphere システム構築実習 [V6.0]
2日間	
	VMware vSphere システム構築実習 [V6.5]
3日間	

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド / サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX / Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

VMD007	クラウド / サーバ仮想化
	VMware vSphere : Install, Configure, Manage [V6.5]
5日間	
	VMware vSphere : What's New [V5.5 to V6.5]
3日間	
	VMware vSphere システム構築実習 [V6.0]
2日間	
	VMware vSphere システム構築実習 [V6.5]
3日間	

マシナ学習	マシナを使用し ながらの研修
グループ演習	グループ演習を 中心とした研修
レクチャ	座学による 研修
演習環境	職場・自宅などのマシナ演習 環境を使用した自己学習
研修室自習型	研修室でのマシナ演習環境 を使用した自己学習
オンライン	オンライン
マシナ学習	マシナ学習
動画	動画
電子教材	電子教材
大規模実習	大規模実習
Oracle	Oracle
アプリチェック	アプリチェック
eラーニング	eラーニング インターネット接続 による自己学習

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド / サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX / Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

VMD009	クラウド / サーバ仮想化
	VMware NSX : Install, Configure, Manage [V6.2]
5日間	
	VMware vSphere システム構築実習 [V6.0]
2日間	
	VMware vSphere システム構築実習 [V6.5]
3日間	

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド / サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX / Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

VMD009	クラウド / サーバ仮想化
	VMware NSX : Install, Configure, Manage [V6.2]
5日間	
	VMware vSphere システム構築実習 [V6.0]
2日間	
	VMware vSphere システム構築実習 [V6.5]
3日間	

マシナ学習	マシナを使用し ながらの研修
グループ演習	グループ演習を 中心とした研修
レクチャ	座学による 研修
演習環境	職場・自宅などのマシナ演習 環境を使用した自己学習
研修室自習型	研修室でのマシナ演習環境 を使用した自己学習
オンライン	オンライン
マシナ学習	マシナ学習
動画	動画
電子教材	電子教材
大規模実習	大規模実習
Oracle	Oracle
アプリチェック	アプリチェック
eラーニング	eラーニング インターネット接続 による自己学習

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド / サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX / Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

VMD009	クラウド / サーバ仮想化
	VMware NSX : Install, Configure, Manage [V6.2]
5日間	
	VMware vSphere システム構築実習 [V6.0]
2日間	
	VMware vSphere システム構築実習 [V6.5]
3日間	

マシナ学習	マシナを使用し ながらの研修
グループ演習	グループ演習を 中心とした研修
レクチャ	座学による 研修
演習環境	職場・自宅などのマシナ演習 環境を使用した自己学習
研修室自習型	研修室でのマシナ演習環境 を使用した自己学習
オンライン	オンライン
マシナ学習	マシナ学習
動画	動画
電子教材	電子教材
大規模実習	大規模実習
Oracle	Oracle
アプリチェック	アプリチェック
eラーニング	eラーニング インターネット接続 による自己学習

ITサービスマネジメント

情報システムを活用し、ビジネスを支援するITサービスの業務プロセスを管理・改善するITサービスマネジメントの基礎知識・手法が修得できます。

● システム運用管理に関する基礎知識を身につけたい方

<p>ITE701 eラーニング</p> <p>【ナビ機能付き】 運用管理概説</p> <p>初心者におすすめ 6時間</p>	<p>ITJ008 グループ演習</p> <p>情報システム運用入門 —運用からITサービスへ—</p> <p>1日間</p>
--	--

● ITIL®に関する知識を修得したい方

Renewal

<p>ITJ012 レクチャ</p> <p>(PDU) ITIL® ファンデーション (認定試験付)</p> <p>3日間</p>
--

● システム開発・運用を担当する方

<p>ITE006 eラーニング</p> <p>SLAにおける サービスレベル設計の基礎</p> <p>4時間</p>	<p>ITJ009 グループ演習</p> <p>IT運用における ヒューマンエラー予防</p> <p>1日間</p>
--	---

<p>HSJ062 グループ演習</p> <p>事例から学ぶ システムトラブル対策の考え方 —高信頼性システム実現のために—</p> <p>1日間</p>	<p>HSJ018 グループ演習</p> <p>システムトラブルの予防と是正 —ISMS・システム監査の 視点から—</p> <p>2日間</p>
--	--

<p>ITJ004 グループ演習</p> <p>システム運用の現状分析・ 設計力養成ワークショップ</p> <p>2日間</p>	<p>CLD001 グループ演習</p> <p>事業と技術の観点から検討 するクラウドへの移行と管理 — Cloud Essentials —</p> <p>2日間</p>
---	---

音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。



● JP1を使用してシステムを運用管理する方

<p>JPJ084 マシン実習</p> <p>JP1操作入門 (Version 11)</p> <p>1日間</p>	<p>JPJ085/JPJ085T レクチャ</p> <p>JP1エンジニア機能概説— (Version 11)</p> <p>1日間</p>	<p>New JPE015 eラーニング</p> <p>JP1エンジニア機能概説— (Version 11)</p> <p>5時間</p>	<p>JPJ086 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 統合管理1—システム監視— (Version 11)</p> <p>2日間</p>	<p>JPE315 eラーニング</p> <p>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル 統合管理1 —システム監視—(Version 11)</p> <p>16時間</p>
<p>JPJ087/JPJ087T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 統合管理2—システム設定— (Version 11)</p> <p>2日間</p>	<p>JPE316 eラーニング</p> <p>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル 統合管理2 —システム設定—(Version 11)</p> <p>16時間</p>	<p>JPJ088/JPJ088T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 統合管理セットコース (Version 11)</p> <p>4日間</p>	<p>JPJ089/JPJ089T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 (Version 11)</p> <p>2日間</p>	<p>JPJ090 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ジョブ管理1—ジョブ定義・ 監視—(Version 11)</p> <p>2日間</p>
<p>JPE313 eラーニング</p> <p>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル ジョブ管理1 —ジョブ定義・監視—(Version 11)</p> <p>12時間</p>	<p>JPJ091/JPJ091T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ジョブ管理2—システム設定・ 運用管理—(Version 11)</p> <p>2日間</p>	<p>JPE314 eラーニング</p> <p>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル ジョブ管理2 —システム設定・運用管理—(Version 11)</p> <p>12時間</p>	<p>JPJ092/JPJ092T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ジョブ管理セットコース (Version 11)</p> <p>4日間</p>	<p>JPJ102 マシン実習</p> <p>JP1/AJS3エキスパート 育成講座—開発編—</p> <p>1日間</p>
<p>JPJ103 マシン実習</p> <p>JP1/AJS3エキスパート 育成講座—運用編—</p> <p>1日間</p>	<p>JPJ093 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル IT運用自動化 (Version 11)</p> <p>2日間</p>	<p>JPJ094/JPJ094T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 (Version 11)</p> <p>2日間</p>	<p>JPJ101/JPJ101T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル セキュリティ管理 (Version 11)</p> <p>1日間</p>	<p>JPJ096 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ネットワーク管理1— ネットワーク 管理基礎—(Version 11)</p> <p>2日間</p>
<p>JPJ097/JPJ097T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ネットワーク管理2—システム リソース管理—(Version 11)</p> <p>1日間</p>	<p>JPJ098/JPJ098T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース (Version 11)</p> <p>3日間</p>	<p>休講</p> <p>JPJ100/JPJ100T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル バックアップ管理 (Version 11)</p> <p>1日間</p>	<p>JPJ208/JPJ208T レクチャ</p> <p>JP1コンサルタント 統合管理 (Version 11)</p> <p>1日間</p>	<p>JPJ209/JPJ209T レクチャ</p> <p>JP1コンサルタント パフォーマンス管理 (Version 11)</p> <p>1日間</p>
<p>JPJ210 レクチャ</p> <p>JP1コンサルタント ジョブ管理—システム設計編— (Version 11)</p> <p>1日間</p>	<p>JPJ211/JPJ211T レクチャ</p> <p>JP1コンサルタント ジョブ管理—チューニング編— (Version 11)</p> <p>1日間</p>	<p>JPJ212/JPJ212T レクチャ</p> <p>JP1コンサルタント 資産・配布管理 (Version 11)</p> <p>1日間</p>	<p>JPJ213/JPJ213T レクチャ</p> <p>JP1コンサルタント ネットワーク管理 (Version 11)</p> <p>1日間</p>	

資格 ITIL®認定資格

ITIL® [Information Technology Infrastructure Library] は、英国政府が作成したITサービスマネジメントのベストプラクティスがまとめられた書籍です。ITIL®は、システム運用管理を中心とした幅広い分野で広く利用され、現在、ITサービスマネジメントの世界的な業界標準として普及しています。ITIL®認定資格は、ITIL®をベースとしたITサービスマネジメントに関するスキルを証明する資格です。

詳しくは、日立インフォメーションアカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/license/itil/index.html>



コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/ VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/ サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
UNIX / Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画/ システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション 開発
Web アプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/ UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ ヒューマン
グローバル

ITE701 共通
 <eラーニング> 【ナビ機能付き】運用管理概説
平均45分間
システム運用管理の必要性や、管理項目を学習します。また、各担当の役割や各運用管理の作業内容を、演習を通して理解を深めます。
到達目標 ・ ITサービスとITシステムの運用管理の必要性の関係を理解し、説明できる。 ・ 運用管理の体制と各担当の作業概要を説明できる。 ・ システム運用の管理項目の種類や作業概要を説明できる。
対象者 ・ これから運用業務に携わる方。 ・ システムサービスの企画・設計に携わる方で、運用管理の知識が必要な方。
前提知識 ITの基本用語を知っていること。
内容 1. ITサービスマネジメント概要 (1) サービスとは (2) ITサービスとITシステム 2. 運用管理概要 (1) 運用管理の目的 (2) 有用性、保証 3. 運用管理の活動 (1) 安定したサービスを提供するための活動 (2) サービスを安全に変更するための活動 (3) より良いサービスを提供するための活動 4. 修了試験
備考 ・ 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

ITJ008 共通
 情報システム運用入門 ー運用からITサービスへー
1日間
システム運用の必要性、作業項目、体制について、基本的な考え方を講義と演習を通して学習します。演習を通して、システム運用を行ううえで必要な活動への理解を深めます。
到達目標 ・ システム運用の管理項目の種類や役割を説明できる。 ・ ITサービスとITシステムの運用管理の必要性の関係を理解し、説明できる。
対象者 ・ これから情報システムの運用業務に携わる方。 ・ システムサービスの企画・設計に携わる方で運用管理の知識が必要な方。
前提知識 ITの基本的な用語についての知識があること。
内容 1. ITサービスマネジメント概説 (1) サービスとITサービス ・ サービスとは ・ ITサービスとは ・ サービスの有用性と保証 (2) ITサービスの管理 ・ ITサービスのライフサイクル 2. 運用管理概要 (1) 運用管理の目的 (2) 運用管理の対象 (3) 運用管理の体制 3. 運用管理の活動 (1) 安定したITサービスを提供するための活動 ・ 日常の活動 ・ 障害発生時の対応 ・ 障害対策 ・ 災害対策 (2) ITサービスを安全に変更するための活動 ・ 変更管理、リリース・展開管理 ・ 資産・構成管理 (3) より良いITサービスを提供するための活動 ・ 運用改善サイクル、ナレッジ管理
備考 ・ このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・ このコースは、【【ナビ機能付き】運用管理概説】eラーニングコース(ITE701)と同等の内容です。eラーニングをご受講済の方は、申し込まないようご注意ください。

ITJ009 共通
 IT運用における ヒューマンエラー予防
1日間
IT運用現場で起こり得るヒューマンエラーについて、講義と演習を通して学習します。トラブル・事故事例から、ヒューマンエラーの影響と発生メカニズムを理解します。演習では、自職場での効果的なヒューマンエラー防止策を立案します。
到達目標 ・ IT運用の現場で起こるヒューマンエラーについて理解できる。 ・ ヒューマンエラーが起こるメカニズムを理解し、未然に防ぐ方法を理解できる。 ・ 効果的なヒューマンエラー防止策を実施できる。 ・ チームのヒューマンエラーを無くすための指導やプロセス改善を考えることができる。
対象者 IT運用に携わっている方、IT運用の部署のチームリーダまたはリーダになる方。
前提知識 IT運用の基礎知識があること。IT運用の実務経験があることが望ましい。
内容 1. IT運用の事故・トラブル 2. ヒューマンエラーとは 3. ヒューマンエラーの防止策
備考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

ITE006 共通
 <eラーニング>SLAにおける サービスレベル設計の基礎
平均45分間
ITサービスの設計要素として、キャパシティ、可用性、継続性の項目を学習します。サービスレベルに基づくサービス設計の基礎を身につけます。
到達目標 ・ ITサービスのキャパシティ、可用性、継続性を説明できる。 ・ キャパシティ、可用性、継続性の基本的な設計ができる。
対象者 ITサービスの設計を行う方。
前提知識 ITIL®の概要、用語の知識があること。
内容 1. ITサービスの設計の概要 2. 可用性管理の設計 3. キャパシティ管理の設計 4. 継続性管理の設計 5. 情報セキュリティの設計 6. 修了試験
備考 ・ 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

ITJ004 ITIL®
 システム運用の 現状分析・設計力養成ワークショップ
2日間
システム運用管理において、現状の課題分析を行い、運用管理ツール(JP1)の導入による運用改善の策定を通して、システム運用設計のスキルを修得します。
到達目標 ・ システム運用の課題を認識し、解決策を考えることができる。 ・ ITサービスの改善プロセスを理解し実行できる。
対象者 運用業務に携わる方、運用を考慮したシステム企画・設計を行う方。
前提知識 【【ナビ機能付き】運用管理概説】eラーニングコースを修了しているか、または運用管理の項目をご存知のこと。
内容 1. オリエンテーション (1) サービス改善のアプローチ 2. 現状の運用理解と運用課題の洗い出し (1) システムにより提供されるサービスの目的を確認 (2) 現状の運用を確認 3. 運用管理の改善 (1) サービスで提供すべきゴール(KPI)を設定 (2) ゴール達成度の評価方法の設計(測定項目と測定基準) 4. 改善後の運用設計 (1) ゴールを達成するための運用の設計 (2) ゴール達成度の評価方法の設計(測定項目と測定基準)
備考 ・ このコースは、運用ツールとしてJP1製品を活用し、運用業務の設計を行います。 ・ このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。 ・ このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

ITJ012 ITIL®
 (PDU) ITIL® ファンデーション (認定試験付) PDU Renewal
3日間
ITIL®は、ITサービスマネジメントのベストプラクティスです。このコースでは、ITIL®にて紹介されたライフサイクルモデルを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:18ポイント)の修得が可能です。
到達目標 ・ ITサービスマネジメントの中核となる分野と概念を説明できる。 ・ 組織におけるITIL®実装の有益性を説明できる。 ・ ITIL®ファンデーション資格の取得をめざす方。
対象者 ITIL®ファンデーション資格の取得をめざす方。
前提知識 特に必要としません。
内容 1. プラクティスとしてのサービスマネジメント 2. サービスライフサイクル 3. サービスストラテジ 4. サービスデザイン 5. サービスランジョン 6. サービスオペレーション 7. 継続的サービス改善 8. 技術とアーキテクチャ 9. 試験対策 10. 認定試験
備考 ・ このコースは、認定試験[ITIL® Foundation]が含まれています。受験当日、本人を確認できる顔写真付き証明書(免許証、従業員証、パスポートなど)を忘れずにご持参ください。ご持参いただかない場合は、受験が無効になることがありますので、ご注意ください。 ・ このコースをご受講の場合、受講者の個人情報を受験機関に提供いたします。 ・ このコースは、9:00~17:30の開催とさせていただきます。 ・ PMI®, PMP®, PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

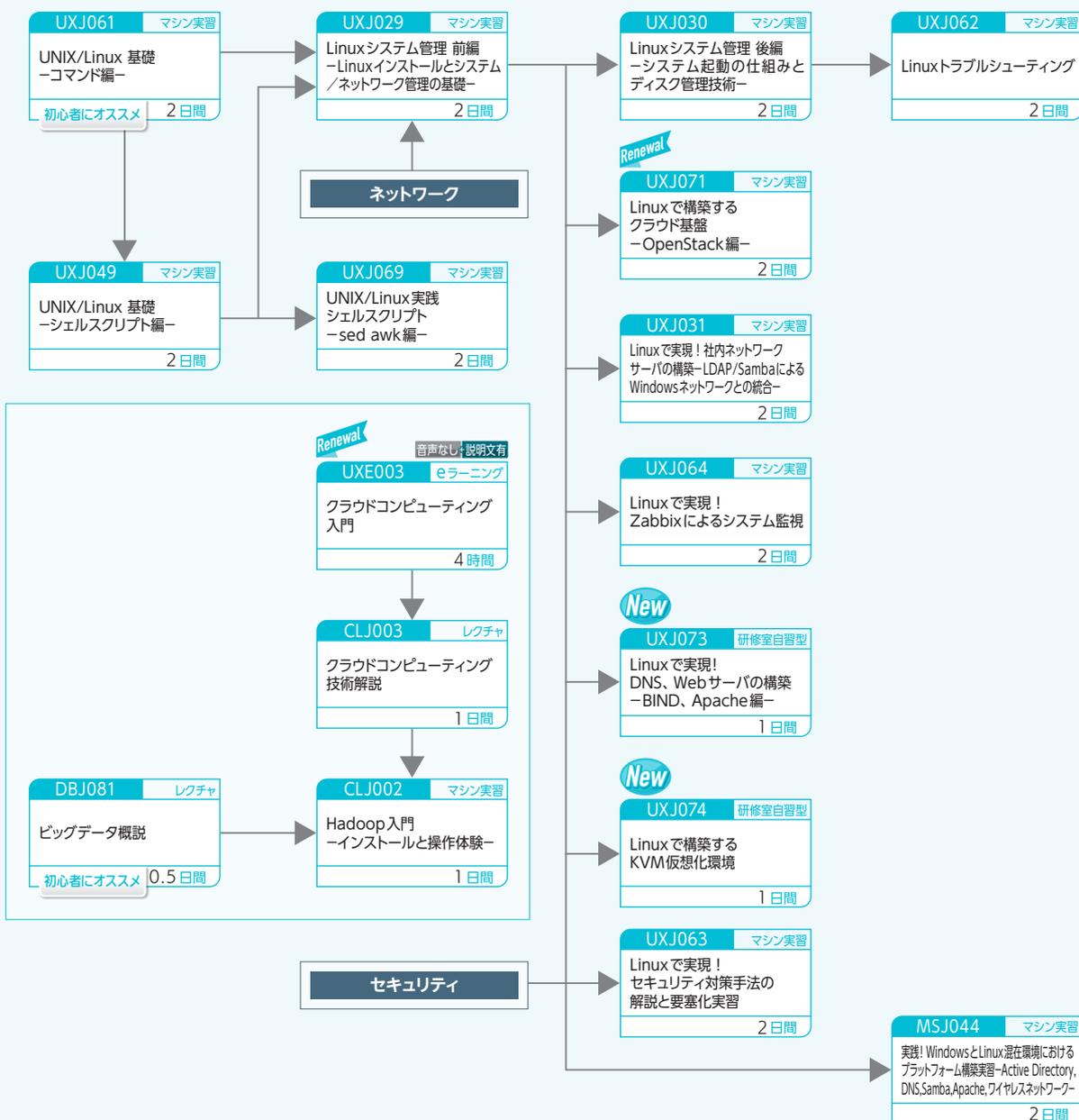
UNIX / Linux

UNIX/Linuxの機能や操作方法を理解し、システム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

● UNIX/Linuxを利用する方

UXJ061 マシン実習 UNIX/Linux 基礎 -コマンド編- 初心者におすすめ 2日間	音声有・説明文有 UXE303 eラーニング 【ナビ機能付き】 【マシン演習付き】 UNIX/Linux基本使用法 初心者におすすめ 8時間
---	--

● Linuxを使用してシステムを構築・運用・管理する方



音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。



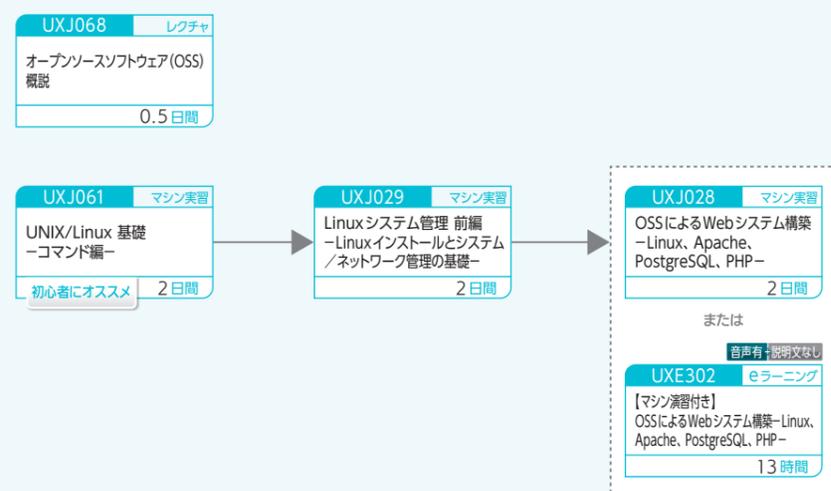
学習テキスト
 自音書による
 自己学習

休講

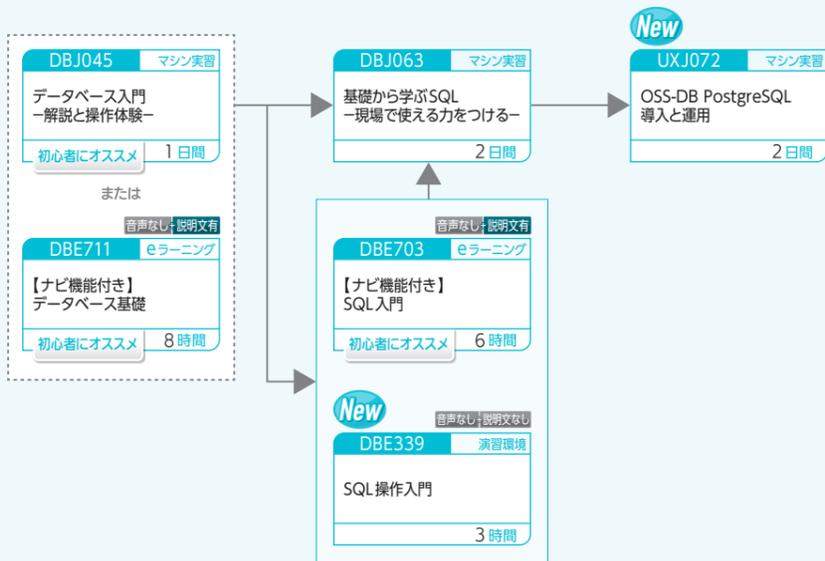
休講
 今期の定期開催は
 ありません

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus
Application Server
- HiRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/
VOSK
- XDM/PDMI
- Hitachi Advanced Data
Binder プラットフォーム
- IoT
- ビッグデータ
- クラウド/
サーバ仮想化
- IT サービス
マネジメント
- システム基盤
- UNIX / Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画/
システム設計
- IT戦略・IS企画
- システム設計
- アプリケーション
開発
- Web
アプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/
UML
- 言語
- IT 基本
- IT 基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクト
マネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/
ヒューマン
- グローバル

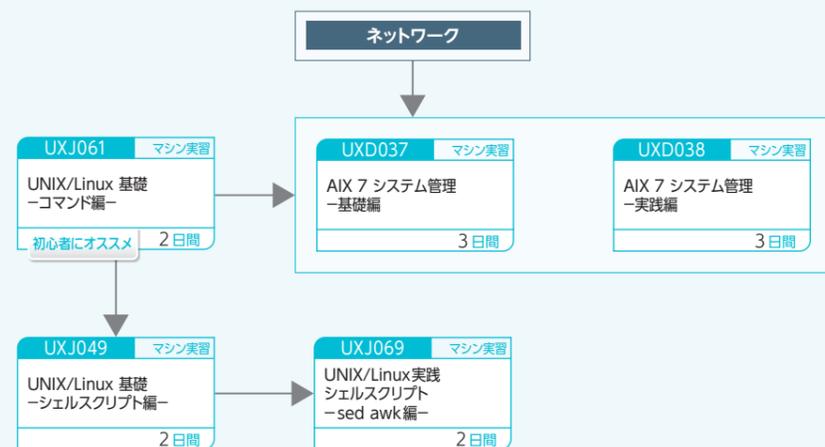
● OSS (オープンソースソフトウェア) を利用する方



● PostgreSQL を使用してデータベースを管理・運用する方



● UNIX (AIX) を使用してシステムを運用・管理する方



● LPI資格の取得をめざす方

<LPIレベル1>

【知識修得のための関連コース】

- UXJ061: UNIX/Linux 基礎 - コマンド編 (2日間)
- UXJ049: UNIX/Linux 基礎 - シェルスクリプト編 (2日間)
- UXJ029: Linuxシステム管理 前編 (2日間)
- UXJ030: Linuxシステム管理 後編 (2日間)
- UXJ063: Linuxで実現! セキュリティ対策手法の解説と要案化実習 (2日間)
- UXJ073: Linuxで実現! DNS、Webサーバの構築 - BIND、Apache編 (1日間)

<LPIレベル2>

【知識修得のための関連コース】

- UXJ029: Linuxシステム管理 前編 (2日間)
- UXJ030: Linuxシステム管理 後編 (2日間)
- UXJ062: Linuxトラブルシューティング (2日間)
- UXJ073: Linuxで実現! DNS、Webサーバの構築 (1日間)
- UXJ063: Linuxで実現! セキュリティ対策手法の解説と要案化実習 (2日間)
- UXJ031: Linuxで実現! 社内ネットワークサーバの構築 (2日間)

<LPIレベル3>

【知識修得のための関連コース】

- UXJ031: Linuxで実現! 社内ネットワークサーバの構築 (2日間)
- UXJ063: Linuxで実現! セキュリティ対策手法の解説と要案化実習 (2日間)
- UXJ074: Linuxで構築するKVM仮想化環境 (1日間)

音声有 + 説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
 音声有、説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
 音声なし、説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド / サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX / Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画 / システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション 開発
Web アプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向 / UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド / サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX / Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画 / システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション 開発
Web アプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向 / UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル

UXJ061 共通

UNIX/Linux 基礎—コマンド編—

2日間

UNIXおよびLinuxOSの基本機能とコマンドの基本操作を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- UNIX/Linuxの基本的な操作ができる。
- ネットワークの基本コマンドを実行できる。

対象者

UNIXまたはLinux OSの初心者の方で基礎から学習したい方。

前置知識

コンピュータの基礎知識があること。

内 容

- 概要
- コマンドの基本操作
- ファイルシステム
- viエディタ
- シェル
- 知っておくと便利なシェルの機能
- ネットワークの利用

備 考

- このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ049 共通

UNIX/Linux 基礎—シェルスクリプト編—

2日間

シェルスクリプトの作成に必要なプログラミング技術を修得するとともに、シェルの機能をより深く理解することができます。

到達目標

- シェルスクリプトの概要を説明できる。
- 変数、配列、算術、文字列操作の基本操作ができる。
- 制御文の基本を説明できる。
- 関数を利用した簡単な応用スクリプトを作成できる。

対象者

UNIX/Linuxでシェルスクリプトの作成をする方、システム管理者の方。

前置知識

「UNIX/Linux基礎—コマンド編—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容

- シェルとシェルスクリプトの概要
- パラメータの取り扱い
- 算術評価と文字列操作
- 制御文(分岐/繰り返しなど)
- 関数の利用
- 実践的なシェルスクリプト

備 考

- このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXE303 共通

<eラーニング>
【ナビ機能付き】【マシン演習付き】
UNIX/Linux基本使用法

平均8時間

UNIX/Linuxの基本的なコマンドの機能、使用方法を学習します。

到達目標

- UNIX/Linuxの基本的な操作ができる。
- ネットワークの基本コマンドを実行できる。

対象者

UNIX/Linux初心者の方で、基礎から学習したい方。

前置知識

オペレーティングシステム及びネットワークに関する基本的な知識があること。

内 容

- UNIX/Linux概要
- ファイルシステムとコマンド
- ファイルとディレクトリのパーミッション
- viエディタ
- シェルの機能
- UNIX/Linuxのネットワーク操作
- 修了試験

備 考

- 説明の画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのコースです。一部コンテンツに動画が含まれます。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

UXJ062 Linux

Linuxトラブルシューティング

2日間

Linuxで発生するトラブルの原因分析方法と解決策を学習します。マシン実習では、運用中に実際に発生する可能性のあるトラブルを再現し、原因の分析と復旧作業を行います。

到達目標

- トラブル発生時の対応手順を説明できる。
- Linuxシステムのトラブル発生時に、緊急ブート手段でブートできる。
- Linuxシステムのトラブル発生状況から原因を究明し復旧できる。

対象者

Linuxシステムを運用・管理する方。

前置知識

「Linuxシステム管理 後編—システム起動の仕組みとディスク管理技術—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容

- トラブルシューティング概要
 - トラブルの種類
 - トラブルシューティングの流れ
 - 情報の収集手段
 - バックアップとリストア
 - トラブル発生時のLinux起動
- ブート時のトラブルシューティング
 - ブートの仕組み
 - ブートデバイス関連のトラブルシューティング
 - ブートルード関連のトラブルシューティング
 - init/systemd関連のトラブルシューティング
- システム稼働中のトラブルシューティング
 - ログインの仕組み
 - ログイン関連のトラブルシューティング
 - ファイルシステムの仕組み
 - ファイルシステム関連のトラブルシューティング
- ネットワークのトラブルシューティング
 - ネットワークコマンドと設定ファイル
 - ネットワークトラブルの原因と調査方法
 - ネットワーク設定関連のトラブルシューティング

備 考

- このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ073 Linux

**<研修室自習型>Linuxで実現!
DNS、Webサーバの構築—BIND、Apache編—**

1日間

このコースは、マシン環境と教材を提供して受講者の方が自習で進める形式とし、ご自身のペースで学習いただけます。講師によるレクチャーはありませんので、ご注意ください。ただし、質問があれば適宜対応いたします。マシン実習内容：BIND(DNSサーバ)、Apache(Webサーバ)の構築や各サービスを起動、連携させるためのコマンド操作

到達目標

- DNSサーバ、Webサーバ、プロキシサーバの概要を説明できる。
- BINDを使用してDNSサーバを設定できる。
- Apacheを使用してWebサーバを設定できる。
- Squidを使用してプロキシサーバを設定できる。

対象者

- 実際の職場環境で試すことができない方。
- 演習で頂いた場合など、講師へ質問ができる環境が欲しい方。

前置知識

「Linuxシステム管理 前編—Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容

- Linuxネットワークの基礎
- DNSサーバの構築
- Webサーバの構築
- プロキシサーバの構築

備 考

- このコースは、マシン演習を使用した自習型のコースです。
- このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ063 Linux

**Linuxで実現!
セキュリティ対策手法の解説と
要憲化実習**

2日間

Linuxシステムを用いたセキュリティ対策手法を学習します。また、マシン実習を通して、SSH、Netfilter、Snort、Tripwireの設定および操作を体験します。

到達目標

- SSHを利用して、安全な通信ができる。
- Netfilterを利用して、パケットフィルタリングを実装できる。
- Snortを利用して、IDSを実装できる。
- Tripwireを利用して、ファイルの改ざん検知ができる。

対象者

Linuxシステムを運用・管理する方。

前置知識

「Linuxシステム管理 前編—Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容

- セキュリティの概要とLinuxにおけるセキュリティ対策
- SSHによるセキュアリモートアクセス
- NetfilterによるパケットフィルタリングとNAT
- Snortによる侵入検知
- Tripwireによるファイルの改ざんチェック

備 考

- このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ069 共通

UNIX/Linux実践シェルスクリプト—sed awk編—

2日間

システム運用を効率化する実践的なシェルスクリプトを理解し、システム運用に必要なシェルスクリプトの作成方法を学習します。

到達目標

- 正規表現が理解できる。
- sed、awkのシェルスクリプトを業務で活用できる。
- 実践的なシェルスクリプトを作成できる。

対象者

- 既存コースと同様UNIX/Linuxでシェルスクリプトの作成をする方。
- UNIX/Linuxシステムを管理する方。

前置知識

「UNIX/Linux基礎—シェルスクリプト編—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容

- パターンマッチングと正規表現
 - シェルの種類とシェルスクリプト
 - 変数による文字列の取り扱い
 - 正規表現
- sed
 - sedとは
 - sedを用いたテキスト編集
 - sedの応用的な機能
- awk
 - awkとは
 - 基本的なawkプログラミング
 - awkの編集処理の流れと制御文
 - awkの関数
- 実践的なシェルスクリプトの作成

備 考

- このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ029 Linux

Linuxシステム管理 前編—Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎—

2日間

Linuxシステムの管理や運用に必要な基礎知識を学習します。また、マシン実習を通して、インストール、ユーザ管理、およびネットワーク設定方法などのシステム管理作業を体験します。

到達目標

- Linuxをインストールできる。
- Linuxシステムの運用・管理が必要となる、ユーザ管理、パッケージ管理およびログ管理などができる。
- LVMやiSCSIによる高度なディスク管理ができる。
- Linuxにてネットワークを利用するための設定ができる。

対象者

Linuxシステムをはじめて運用・管理する方。

前置知識

「UNIX/Linux基礎—コマンド編—」および「ネットワーク基礎—Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容

- Linuxシステム管理の基礎
- Linuxのインストール
- ネットワークの基本設定とサービス制御
- ユーザ・グループ管理
- パッケージ管理
- ログの取得と管理
- バックアップとリストア

備 考

- Linuxシステムの管理を行う方には、あわせて「Linuxシステム管理 後編—システム起動の仕組みとディスク管理技術—」コースのご受講を推奨します。
- このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ030 Linux

Linuxシステム管理 後編—システム起動の仕組みとディスク管理技術—

2日間

Linuxシステムの起動の方法、およびディスク管理に必要な知識を学習します。また、マシン実習を通して、ファイルシステムの構築方法やLVMのディスク管理方法を体験します。

到達目標

- Linuxシステムの起動の仕組みを説明できる。
- 新規にパーティションやファイルシステムの作成ができる。
- LVMやiSCSIによる高度なディスク管理ができる。

対象者

Linuxシステムを運用・管理する方。

前置知識

「Linuxシステム管理 前編—Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容

- システムの起動
- ファイルシステムの作成と管理
 - ファイルシステムの作成手順
 - ファイルシステムの修復
 - ファイルシステムの管理
 - ファイルシステムの使用量の制限
- LVM概要と環境構築
- LVMの管理
 - LVMの特性変更
 - LVMの拡張
 - LVMの縮小
 - LVMの削除
- iSCSI
 - ストレージの共有
 - iSCSIとは
 - iSCSIの設定
 - iSCSIの冗長化

備 考

- このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ031 Linux

Linuxで実現! 社内ネットワークサーバの構築—LDAP/SambaによるWindowsネットワークとの統合—

2日間

Linuxシステムを社内ネットワークサーバとして利用するためのサーバ構築方法を学習します。マシン実習では、Samba、LDAP、DHCPのサーバ構築や、Windowsネットワークとの統合環境の構築を体験します。

到達目標

- Windowsネットワーク上でLinuxのファイルサーバを構築できる。
- LDAPを利用して、ユーザ情報を一元管理できる。
- DHCPを利用して、ネットワーククライアントへIPアドレスを配布できる。

対象者

Linuxシステムを運用・管理する方。

前置知識

「Linuxシステム管理 前編—Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容

- Linuxネットワークの基礎
- ネットワークアドレス構成の自動化 (DHCP)
- ディレクトリサーバの構築 (LDAP)
- ユーザ認証の一元管理
- Windowsとのファイル共有 (Samba)
- Windowsネットワークとの統合

備 考

- このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ064 Linux

**Linuxで実現!
Zabbixによるシステム監視**

2日間

LinuxシステムにZabbixを用いたシステム監視を学習します。また、マシン実習を通して、Zabbixの設定および操作を体験します。

到達目標

- システム監視でよく使う監視項目について説明できる。
- Zabbixによる監視システムを実装できる。

対象者

Linuxシステムを運用・管理する方。

前置知識

「Linuxシステム管理 前編—Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容

- システム監視の概要
- Zabbixの概要
- Zabbixのインストールおよび設定
- 運用監視

備 考

- このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ074 Linux

**<研修室自習型>
Linuxで構築するKVM仮想化環境**

1日間

このコースは、マシン環境と教材を提供して受講者の方が自習で進める形式とし、ご自身のペースで学習いただけます。講師によるレクチャーはありませんので、ご注意ください。ただし、質問があれば適宜対応いたします。マシン実習内容：KVMを使用した仮想化環境の構築や運用管理のためのコマンド操作

到達目標

- 仮想化の仕組みを説明できる。
- KVMを使用した仮想化環境の構築・運用ができる。

対象者

- 実際の職場環境で試すことができない方。
- 複数のサービスが連携している環境について、自力での構築は困難な方。
- 演習で頂いた場合など、講師へ質問ができる環境が欲しい方。

前置知識

「Linuxシステム管理 前編—Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容

- 仮想化とは
- KVMの概要
- KVMのインストール
- KVMのネットワーク環境
- 仮想マシンの作成と編集
- 仮想NICの追加とVLAN設定
- 仮想ディスク
- マイグレーション

備 考

- このコースは、マシン演習を使用した自習型のコースです。
- このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

マシン実習 マシンを使用した ながらの研修	グループ演習 グループ演習を 中心とした研修	レクチャ 座学による 研修	演習環境 職場・自宅などのマシン演習 環境を使用した自己学習	研修室自習型 研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習	eラーニング インターネット接続 による自己学習
-----------------------------	------------------------------	---------------------	--------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------

UXJ071 Linux
マシン実習 2日間
Linuxで構築するクラウド基盤 —OpenStack編—
LinuxシステムでOpenStackを使用したクラウド環境を構築・運用・管理するための必要な知識を、マシン実習を通して学習します。
到達目標
<ul style="list-style-type: none"> 仮想化およびクラウドの仕組みを説明できる。 OpenStackを使用したクラウド環境の構築・運用・管理ができる。
対象者
LinuxシステムでOpenStackを使用したクラウド環境を構築・運用・管理する方。
前提知識
「Linuxシステム管理 前編—Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。「Linuxで構築するKVM仮想化環境」コースを修了していることが望ましい。
内容
<ol style="list-style-type: none"> クラウドとは OpenStackの概要 OpenStack環境の構成 Keystone (認証) Glance (イメージ管理) Neutron (ネットワーク) Nova (仮想マシン) Cinder (仮想ディスク) Horizon (ユーザーインターフェイス) 環境構築 OpenStackの運用管理
備考
<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXE302 OSS
eラーニング マシン実習 平均13時間
<eラーニング>[マシン演習付き] OSSによるWebシステム構築 —Linux, Apache, PostgreSQL, PHP—
OSからアプリケーションソフトウェアまで、OSSのみを使用したWebシステムの構築方法を学習します。また、OSSを利用する時の注意事項やDBサーバの構築方法なども学習します。
到達目標
Linux上で、Apache、PostgreSQL、PHPを使ったWeb・DB連携システムを構築できる。
対象者
OSSでWebシステムを構築する方。
前提知識
「Linuxシステム管理 前編—Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎—」を修了しているか、または同等の知識があること。
内容
<ol style="list-style-type: none"> オープンソースソフトウェア(OSS)概要 Linux Apache PostgreSQL PHP 修了試験
備考
<ul style="list-style-type: none"> 【お申し込み前に必ずご確認ください】 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

マシン実習 マシンを使用した ながらの研修	グループ演習 グループ演習を 中心とした研修	レクチャ 座学による 研修	演習環境 職場・自宅などのマシン演習 環境を使用した自己学習	研修室自習型 研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習	eラーニング インターネット接続 による自己学習
-----------------------------	------------------------------	---------------------	--------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------

UXJ028 OSS
マシン実習 2日間
OSSによるWebシステム構築 —Linux, Apache, PostgreSQL, PHP—
OSからアプリケーションソフトウェアまでOSSだけを使用したWeb・DB連携サーバの構築方法を紹介します。各OSSの利用時の注意事項、WebサーバやDBサーバの設定方法などを紹介します。
到達目標
Linux上で、Apache、PostgreSQL、PHPを使ったWeb・DB連携システムを構築できる。
対象者
OSSでWebシステムの導入を検討している方。
前提知識
「Linuxシステム管理 前編—Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
<ol style="list-style-type: none"> オープンソースソフトウェア(OSS)概要 Linuxとは Apache <ol style="list-style-type: none"> Apacheのインストール Apacheの起動 Apacheの設定 PostgreSQL <ol style="list-style-type: none"> PostgreSQLのアーキテクチャ PostgreSQLの環境構築 psqlによる基本操作 PostgreSQLの管理 PHP <ol style="list-style-type: none"> PHPのアーキテクチャ PHPの処理の流れ PHPの設定 PHPプログラミングの基礎 PostgreSQLとの連携
備考
<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXD037 AIX
マシン実習 3日間
AIX 7 システム管理—基礎編
AIXシステムの運用管理に必要な知識(システム管理ツール(SMIT)の操作、システムの始動と停止、LVM(論理ボリューム・マネージャ)の概念と操作、インストール、バックアップとリストアなど)を、マシン実習を通して学習します。
到達目標
<ul style="list-style-type: none"> AIXシステムを利用するうえでの基本機能と特徴を説明できる。 AIXシステムの始動と停止ができる。 LVM(論理ボリューム・マネージャ)およびファイルシステムを管理できる。 バックアップとリストア作業を実践できる。
対象者
ITエンジニア職、若手・中堅・AIXシステムの運用・管理を行う方。
前提知識
「UNIX/Linux基礎—コマンド編—」コースならびに「ネットワーク基礎」コース、または【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ—TCP/IPの仕組み—eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
<ol style="list-style-type: none"> システムの管理 システム管理ツール(SMIT) ソフトウェアのインストールと保守 システムの始動とシャットダウン デバイス システム記憶域の概要 論理ボリューム・マネージャ ファイルシステム ファイルシステムの管理 ページング・スペース バックアップとリストア セキュリティーとユーザー管理 スケジューリング AIX 7 のインストール ネットワークの概要
備考
<ul style="list-style-type: none"> このコースは、アイ・ラーニング社(IBMパートナー)の主催コースで、アイ・ラーニング社の研修会場にて開催いたします。 ※アイ・ラーニング社テキスト使用 「AIX 7 システム管理—基礎編」 このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 このコースの内容、受講料は予告なく変更になる場合があります。

マシン実習 マシンを使用した ながらの研修	グループ演習 グループ演習を 中心とした研修	レクチャ 座学による 研修	演習環境 職場・自宅などのマシン演習 環境を使用した自己学習	研修室自習型 研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習	eラーニング インターネット接続 による自己学習
-----------------------------	------------------------------	---------------------	--------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------

UXD038 AIX
マシン実習 3日間
AIX 7 システム管理—実践編
AIXシステム運用管理と障害発生時のトラブルシューティングに必要な知識(ODM操作、起動しないシステムの復旧、ミラーリング、ディスク交換、エラーログ、システム診断など)を、マシン実習を通して学習します。
到達目標
<ul style="list-style-type: none"> AIXシステムの起動の基本を理解し起動しないAIXシステムの復旧ができる。 AIXシステムのディスク交換の手順を実践できる。 エラーログの解析、システムダンプ、ハードウェア診断の手順を実践できる。
対象者
ITエンジニア職、若手・中堅・AIXシステムの運用・管理を行う方。
前提知識
「AIX 7 システム管理—基礎編」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
<ol style="list-style-type: none"> ODM システム・ブート・プロセス：ブート・イメージのロード システム・ブート・プロセス：rc.boot と inittab LVM情報の管理および障害対応 ディスク管理プロセスジャー rootvg のクローニング オンライン・バックアップ エラー・モニタリング 診断 システム・ダンプ機能
備考
<ul style="list-style-type: none"> このコースは、アイ・ラーニング社(IBMパートナー)の主催コースで、アイ・ラーニング社の研修会場にて開催いたします。 ※アイ・ラーニング社テキスト使用 「AIX 7 システム管理—実践編」 このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 このコースの内容、受講料は予告なく変更になる場合があります。

UXD037 AIX
マシン実習 3日間
AIX 7 システム管理—基礎編
AIXシステムの運用管理に必要な知識(システム管理ツール(SMIT)の操作、システムの始動と停止、LVM(論理ボリューム・マネージャ)の概念と操作、インストール、バックアップとリストアなど)を、マシン実習を通して学習します。
到達目標
<ul style="list-style-type: none"> AIXシステムを利用するうえでの基本機能と特徴を説明できる。 AIXシステムの始動と停止ができる。 LVM(論理ボリューム・マネージャ)およびファイルシステムを管理できる。 バックアップとリストア作業を実践できる。
対象者
ITエンジニア職、若手・中堅・AIXシステムの運用・管理を行う方。
前提知識
「UNIX/Linux基礎—コマンド編—」コースならびに「ネットワーク基礎」コース、または【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ—TCP/IPの仕組み—eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
<ol style="list-style-type: none"> システムの管理 システム管理ツール(SMIT) ソフトウェアのインストールと保守 システムの始動とシャットダウン デバイス システム記憶域の概要 論理ボリューム・マネージャ ファイルシステム ファイルシステムの管理 ページング・スペース バックアップとリストア セキュリティーとユーザー管理 スケジューリング AIX 7 のインストール ネットワークの概要
備考
<ul style="list-style-type: none"> このコースは、アイ・ラーニング社(IBMパートナー)の主催コースで、アイ・ラーニング社の研修会場にて開催いたします。 ※アイ・ラーニング社テキスト使用 「AIX 7 システム管理—基礎編」 このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 このコースの内容、受講料は予告なく変更になる場合があります。

マシン実習 マシンを使用した ながらの研修	グループ演習 グループ演習を 中心とした研修	レクチャ 座学による 研修	演習環境 職場・自宅などのマシン演習 環境を使用した自己学習	研修室自習型 研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習	eラーニング インターネット接続 による自己学習
-----------------------------	------------------------------	---------------------	--------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

Microsoft

Windows ServerなどのMicrosoft製品を使用した、システム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

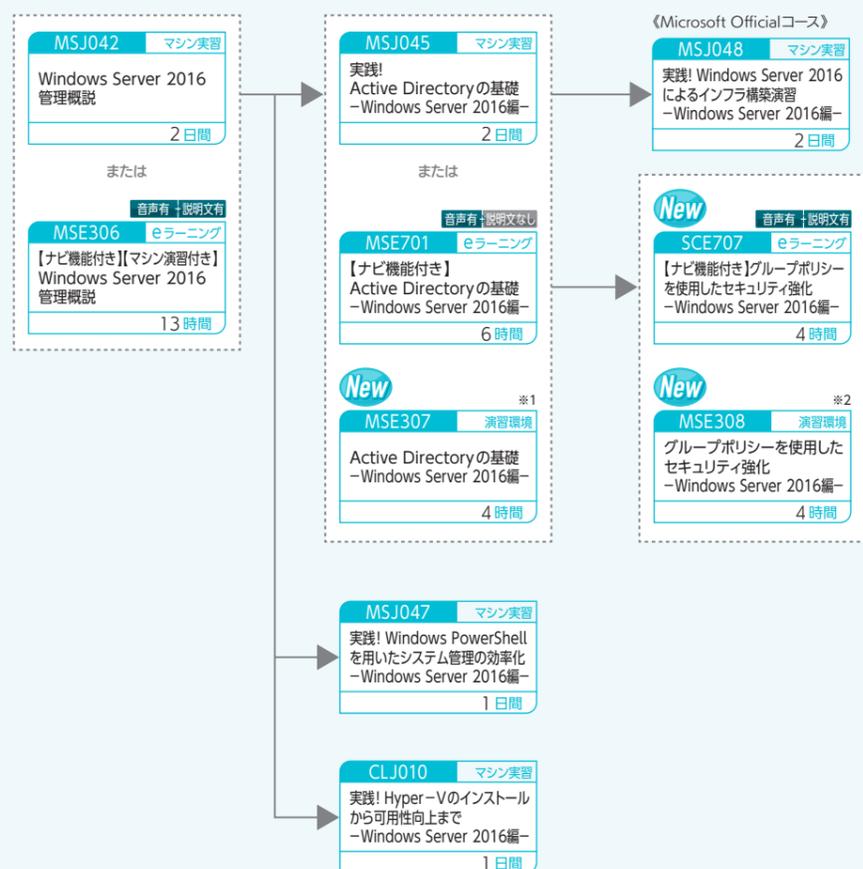
Windows Server 2016の新機能を知りたい方

MSJ043 マシン実習

ここが新しい!
Windows Server 2016新機能

1 日間

Windows Server 2016を使用してシステムを構築・運用・管理する方



※1: [MSE307<演習環境>Active Directoryの基礎-Windows Server 2016編-J]は [MSE701<eラーニング>【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎-Windows Server 2016編-J]の修了後のご受講をお薦めします。

※2: [MSE308<演習環境>グループポリシーを使用したセキュリティ強化-Windows Server 2016編-J]は [SCE707<eラーニング>【ナビ機能付き】グループポリシーを使用したセキュリティ強化-Windows Server 2016編-J]の修了後のご受講をお薦めします。

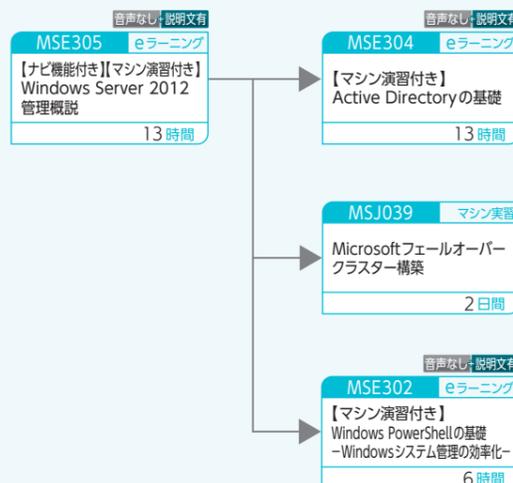
音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

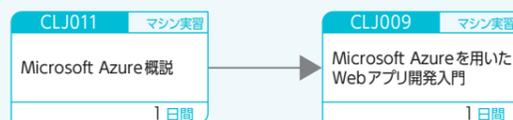
音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

Windows Server 2012を使用してシステムを構築・運用・管理する方



Microsoft Azureを使用してシステムを構築する方



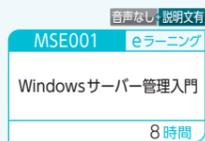
Windows (クライアント) OSを管理する方

MSJ046 マシン実習

Windows 10 機能概説

1 日間

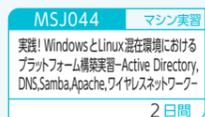
● Windows Serverの管理の概要を知りたい方



● SharePointを使用してポータルサイトを作成する方



● WindowsとLinuxの混在環境を設計、構築する方



音声有 + 説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有 + 説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし + 説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

資格 マイクロソフト認定資格

マイクロソフト認定資格は、Microsoft テクノロジにおける専門知識を証明するものです。マイクロソフト認定プロフェッショナルは、コミュニティ リソースやツールにアクセスして、仲間とアイデアを交換して自身の知識やスキルを高めたり、キャリアの可能性を広げたりできます。

詳しくは、日立インフォメーションアカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/license/mcp/index.html>

Microsoft
CERTIFIED
Professional

MSJ043 Windows Server 2016

ここが新しい! Windows Server 2016新機能

Windows Server 2016の新機能の概要について、マシン実習を通して学習します。

到達目標 Windows Server 2016の新機能の概要が説明できる。
対象者 最新サーバーOSであるWindows Server 2016の新機能を学びたいITプロフェッショナルの方。

前提知識 Windows Server OS(Windows Server 2012(R2)、2008(R2))についての基礎知識、およびWindowsインターフェイスの基本的な操作経験があり、かつネットワークに関する基礎知識があること。

内 容

1. Windows Server 2016の概要
2. Nano Server
3. Hyper-Vの新機能
4. Windowsコンテナ
5. ストレージの新機能
6. その他の新機能

備 考 このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。

MSJ042 Windows Server 2016

Windows Server 2016管理概説

Windows Server 2016を使用してWindowsシステムを構築・運用・管理するために必要な技術の概要を、マシン実習を通して学習します。

到達目標 ・Windows Server 2016の概要が説明できる。
・ローカルユーザー、ドメインユーザーを管理できる。
・ファイルサーバーを構成し、資源を管理できる。
・Windows Server 2016のトラブルシューティングを実施できる。

対象者 ・Windows Server 2016を使用してシステムを管理される方。
・Windows Server 2016の導入を検討している方。

前提知識 Windowsインターフェイスの十分な使用経験があり、「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ -TCP/IPの仕組み-】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容

1. Windows Server 2016の概要
2. Windows Server 2016のインストール
3. サーバー管理ツール
4. ワークグループ環境のアカウント管理
5. ドメイン環境のアカウント管理
6. ポリシーの概要
7. ディスクの管理
8. アクセス許可の設定
9. ファイルサーバーの構築
10. サーバーの監視
11. サーバーのバックアップ

備 考 このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。

MSE306 Windows Server 2016

<eラーニング> 【ナビ機能付き】【マシン演習付き】 Windows Server 2016管理概説

Windows Server 2016を使用してWindowsシステムを構築・運用・管理するために必要な技術の概要を、マシン実習を通して学習します。なお、このコースの学習項目は、「Windows Server 2016管理概説」コースと同一です。

到達目標 ・Windows Server 2016の概要が説明できる。
・ローカルユーザー、ドメインユーザーを管理できる。
・ファイルサーバーを構成し、資源を管理できる。
・Windows Server 2016のトラブルシューティングを実施できる。

対象者 ・Windows Server 2016を使用してシステムを管理される方。
・Windows Server 2016の導入を検討している方。

前提知識 Windowsインターフェイスの十分な使用経験があり、「ネットワーク基礎Ⅱ -TCP/IPの仕組み-】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容

1. Windows Server 2016の概要
2. Windows Server 2016のインストール
3. サーバー管理ツール
4. ワークグループ環境のアカウント管理
5. ドメイン環境のアカウント管理
6. ポリシーの概要
7. ディスクの管理
8. アクセス許可の設定
9. ファイルサーバーの構築
10. サーバーの監視
11. サーバーのバックアップ
12. 修了試験

備 考 ・説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。一部コンテンツに動画が含まれます。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

MSJ045 Windows Server 2016

実践! Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編-

Windows Server 2016にActive Directoryをインストールし、ドメインの構築・運用・管理するために必要な技術を、マシン実習を通して学習します。また、総合演習として与えられた要件をもとに、設計から実装まで行う演習を行います。なお、このコースの学習項目は、【【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編-】eラーニングコースと同一です。

到達目標 ・Active Directoryの概要と実装方法が説明できる。
・Active Directoryを使用してドメイン環境を管理できる。
・グループポリシーの実装ができる。
・Active Directoryのバックアップと復元ができる。

対象者 Active Directoryを設計・構築・管理する方、またはActive Directoryの導入を検討している方で、Active Directoryの基礎知識をご存じない方。

前提知識 「Windows Server 2012管理概説」コース/eラーニングコース、または「Windows Server 2016管理概説」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容

1. Active Directoryドメインサービスの概要
2. Active Directoryドメインサービスの実装
3. Active Directoryドメインのオブジェクト管理
4. グループポリシーの実装と管理
5. Active DirectoryドメインサービスとDNS
6. サイトの構成
7. 信頼関係の構成
8. Active Directoryドメインサービスのバックアップと復元

備 考 このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。

MSE701 Windows Server 2016

<eラーニング>【ナビ機能付き】 Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編-

Windows Server 2016にActive Directoryをインストールし、ドメインの構築・運用・管理するために必要な基礎知識を体系的に学習します。なお、このコースの学習項目は、「実践! Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編-】コースと同一です。

到達目標 ・Active Directoryの概要と実装方法について説明できる。
・Active Directoryを使用してドメイン環境を管理できる。
・グループポリシーの管理について説明できる。
・Active Directoryのバックアップと復元について説明できる。

対象者 ・Active Directoryを設計・構築・管理する方。
・Active Directoryの導入を検討している方。

前提知識 「Windows Server 2016 管理概説」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容

1. Active Directoryドメインサービスの概要
2. Active Directoryドメインサービスの実装
3. Active Directoryドメインのオブジェクト管理
4. グループポリシーの実装と管理
5. Active DirectoryドメインサービスとDNS
6. サイトとグローバルカタログサーバーの構成
7. 複数ドメイン環境の構成
8. Active Directoryドメインサービスのバックアップと復元
9. 修了試験

備 考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

MSE307 Windows Server 2016

<演習環境> Active Directoryの基礎 -Windows Server 2016編-

Active Directoryの構築・運用・管理方法を、当社の提供するクラウド上のマシンを使用して学習します。このコースは、クラウド上に演習環境をセットアップしたマシンと、演習題材を利用できるマシン演習環境サービスです。

到達目標 Active Directoryの構築・運用・管理を実装できる。
・Active Directoryの管理に関する操作スキルを身に付けたいが自身で構築することは困難な方。
・Active Directoryの管理に関する検証を行いたいが実際の運用環境では試せない方。

前提知識 「Windows Server 2016 管理概説」コース、または【【ナビ機能付き】【マシン演習付き】Windows Server 2016 管理概説】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容

1. Active Directoryドメインサービスの実装
2. Active Directoryドメインのオブジェクト管理
3. グループポリシーの実装と管理
4. Active DirectoryドメインサービスとDNS
5. サイトとグローバルカタログサーバーの構成
6. 複数ドメイン環境の構成
7. Active Directoryドメインサービスのバックアップと復元

備 考 ・このコースは、演習問題と、それに必要なデータ、マシン環境が利用できるマシン演習環境サービスです。
このコースの学習要領・学習利用環境をご確認のうえ、お申し込みください。
https://www.hitachi-ia.co.jp/h_comp/exlearn/el_list.htm
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

目録テキスト
目習書による
自己学習

休講
休講
今期の定期開催は
ありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画

システム設計

アプリケーション開発
Webアプリケーション

スマートデバイス

オブジェクト指向/UML

言語

IT基本

IT基本

ハードウェア

情報処理資格

情報リテラシ

プロジェクトマネジメント

コンプライアンス

ビジネス/ヒューマン

グローバル

SCE707 Windows Server 2016
マシンプラクティス <eラーニング>【ナビ機能付き】グループポリシーを使用したセキュリティ強化-Windows Server 2016編- New
平均4時間
Windows環境のセキュリティを向上するために用意されているグループポリシーを、シナリオベースで紹介します。
到達目標 グループポリシーを使用したWindows環境のセキュリティ向上を実現できる。
対象者 Windows環境のセキュリティ強化における、グループポリシーの活用方法を具体的に知りたい方。
前提知識 【【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎-Windows Server 2016編-eラーニングコース、または「実践! Active Directoryの基礎-Windows Server 2016編-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none">グループポリシーの実装 グループポリシーによるWindows環境のセキュリティ保護 修了試験
備考 <ul style="list-style-type: none">説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 学習開始日10営業日前を過ぎてもキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

CLJ010 Windows Server 2016
マシンプラクティス 実践！Hyper-Vのインストールから可用性向上まで-Windows Server 2016編-
1日間
Microsoft社の仮想化技術であるHyper-Vを使った仮想サーバの管理の基礎を、Windows Server 2016を使用して学習します。また、与えられた要件を基に、適切な機能を選択し、実装を行う演習により、実践力の強化を図ります。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">Hyper-Vによるサーバ仮想化の概要を説明できる。 与えられた要件を基に、Hyper-Vを適切にインストールできる。 与えられた要件を基に、Hyper-V上に仮想マシンを作成し、ゲストOSをインストールできる。 Hyper-Vに作成できる仮想スイッチの違いを理解し、要件に応じて適切な仮想スイッチを使用できる。 Hyper-Vに作成できる仮想ハードディスクの違いを理解し、要件に応じて適切な仮想ハードディスクを使用できる。 仮想マシンの運用時、チェックポイントや仮想マシンのバックアップ、仮想マシンのインポート/エクスポートを適切に実行できる。 仮想マシンの可用性向上のため、マイグレーションやHyper-Vレプリカの特徴を踏まえ、適切な方法で仮想マシンの可用性向上を実現できる。
対象者 Hyper-V上で動作する仮想サーバーを構築、運用、管理する方。
前提知識 「Windows Server 2016 管理概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none">Hyper-Vの概要 Hyper-Vのインストール 仮想マシンの作成 仮想スイッチの管理 仮想ハードディスクの管理 仮想マシンの運用 仮想マシンの可用性向上
備考 このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。

MSE308 Windows Server 2016
マシンプラクティス <演習環境>グループポリシーを使用したセキュリティ強化-Windows Server 2016編- New
平均4時間
グループポリシーを実装してWindows環境のセキュリティを強化する方法を、クラウド上のマシンを使用して学習します。このコースは、クラウド上に演習環境をセットアップしたマシンと、演習題材を利用できるマシン演習環境サービスです。
到達目標 グループポリシーを実装し、Windows環境のセキュリティを強化できる。
対象者 <ul style="list-style-type: none">グループポリシーによるセキュリティ強化を実装する操作スキルを身につけたいが自身で構築することは困難な方。 グループポリシーによるセキュリティ強化に関する検証を行いたいが実際の運用環境では試せない方。
前提知識 【【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎-Windows Server 2016編-eラーニングコース、または「実践! Active Directoryの基礎-Windows Server 2016編-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none">グループポリシーの実装 グループポリシーによるWindows環境のセキュリティ保護
備考 <ul style="list-style-type: none">このコースは、演習問題と、それに必要なデータ、マシン環境が利用できるマシン演習環境サービスです。 このコースの学習要領・学習利用環境をご確認のうえ、お申し込みください。https://www.hitachi-ia.co.jp/h_comp/exlearn/el_list.htm このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

MSJ047 Windows Server 2016
マシンプラクティス 実践！Windows PowerShellを用いたシステム管理の効率化-Windows Server 2016編-
1日間
PowerShellを用いたWindowsシステムの管理方法や、マシン実習を通して学習します。また、与えられた要件をもとにPowerShellスクリプトを作成する演習を用意し、実践的な力の強化に繋がります。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">Windowsシステム上でPowerShellを使用するメリットを説明できる。 PowerShellを使用して、Windowsシステムを設定・管理できる。
対象者 <ul style="list-style-type: none">ITエンジニア職、若手・中堅・PowerShellを用いて環境構築をしなければならぬが、PowerShellの基礎的な内容をご存知ない方。 PowerShellを用いて、業務を自動化し、効率化したい方。 Windows Server 2016/Windows 10に対応したPowerShell 5.0を知りたい方。
前提知識 プログラミングの基本を理解し、「Windows Server 2012管理概説」コース/eラーニングコース、または「Windows Server 2016 管理概説」コース/eラーニングコーを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none">PowerShellの概要 基本的なコマンドレット PowerShellにおけるオブジェクト操作 PowerShellによるリモート管理 PowerShellによるシステム管理
備考 <ul style="list-style-type: none">このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

MSE304 Windows Server 2012
マシンプラクティス <eラーニング>【マシン演習付き】Active Directoryの基礎
平均13時間
Windows Server 2012(R2)にActive Directoryをインストールし、ドメインの構築・運用・管理をするために必要な技術を、マシン実習を通して学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">Active Directoryの概要と実装方法が説明できる。 Active Directoryを使用してドメイン環境を管理できる。 グループポリシーを実装できる。 Active Directoryのバックアップと復元ができる。
対象者 Active Directoryを設計・構築・管理する方。
前提知識 「Windows Server 2012 管理概説」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none">Active Directoryドメインサービスの概要 Active Directoryドメインサービスの実装 Active Directoryドメインのオブジェクト管理 グループポリシーの実装と管理 Active DirectoryドメインサービスとDNS サイトとグローバルカタログサーバーの構成 複数ドメイン環境の構成 Active Directoryドメインサービスのバックアップと復元 修了試験
備考 <ul style="list-style-type: none">【お申し込み前に必ずご確認ください】説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 学習開始日10営業日前を過ぎてもキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

MSJ039 Windows Server 2012
マシンプラクティス Microsoft フェールオーバークラスター構築
2日間
Windows Server OSのフェールオーバークラスターの実装、管理および保守を行うための知識を、マシン実習を通して学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">フェールオーバークラスターの概要を説明できる。 フェールオーバークラスターの実装、管理、保守するための方法を説明できる。
対象者 Windows Server 2012 (R2)のフェールオーバークラスター環境の構築、運用を行う方、導入を検討している方。
前提知識 「Windows Server 2012管理概説」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none">フェールオーバークラスターの概要 フェールオーバークラスターの構築 フェールオーバークラスター上の役割の構成 フェールオーバークラスターの運用、保守 マルチサイトクラスターの構築 フェールオーバークラスターによるHyper-Vの可用性向上 このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。
備考 <ul style="list-style-type: none">【お申し込み前に必ずご確認ください】説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 学習開始日10営業日前を過ぎてもキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

MSE302 Windows Server 2012
マシンプラクティス <eラーニング>【マシン演習付き】Windows PowerShellの基礎-Windowsシステム管理の効率化-
平均6時間
PowerShellを用いたWindowsシステムの管理方法や、マシン実習を通して学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">Windowsシステム上でPowerShellを使用するメリットを説明できる。 PowerShellを使用して、Windowsシステムを設定・管理できる。
対象者 PowerShellを用いたWindowsシステムの管理に携わる方。
前提知識 プログラミングの基本を理解し、「Windows Server 2012管理概説」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none">PowerShellの概要 基本的なコマンドレット PowerShellにおけるオブジェクトの扱い PowerShellによるリモート管理 PowerShellによるWindowsシステム管理 修了試験
備考 <ul style="list-style-type: none">【お申し込み前に必ずご確認ください】説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf このコースは、集合研修「Windows PowerShellの基礎-Windowsシステム管理の効率化-」コース（MSJ026）と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

MSJ048 Windows Server 2016
マシンプラクティス 実践！Windows Server 2016によるインフラ構築演習-Windows Server 2016編-
2日間
Microsoft社の認定テキストを事前配布し、反転学習による知識の修得後に、Windows Server 2016を使用して、要件に基づいたインフラの設計・実装を行う総合演習を実施します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">Windows Server 2016のインストールと構成ができる。 DNSサーバーを構築できる。 Active Directoryを構築できる。 DHCPサーバーを構築できる。 フェールオーバークラスターを構成できる。
対象者 Windows Server 2016について基本的な知識を持っているが、より実践的な実装スキルを身につけたい方。
前提知識 「実践! Active Directoryの基礎-Windows Server 2016編-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none">Windows Server 2016のインストールと構成 DNSの実装 ドメインコントローラのインストールと構成 AD DSでのオブジェクトの管理 DHCPの実装 フェールオーバークラスタリングの実装
備考 <ul style="list-style-type: none">このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 このコースは、マイクロソフト認定コースより、テーマごとに内容の一部を抽出し、再構成したコースです。 このコースは、arvato社の電子テキストを使用します。事前に氏名とメールアドレスによるskillpipeのアカウント登録をお願いします。 【事前学習のお願い】このコースでは、事前にダウンロードした電子テキストを学習しうえて、演習中心のコースをご受講いただけます。事前学習には概ね6時間を必要とします。 このコースは、開始日の20営業日前を過ぎてもキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。

MSE305 Windows Server 2012
マシンプラクティス <eラーニング>【ナビ機能付き】【マシン演習付き】Windows Server 2012管理概説
平均13時間
Windows Server 2012(R2)を使用してWindowsシステムを構築・運用・管理するために必要な技術の概要を、マシン実習を通して学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">Windows Server 2012(R2)の概要が説明できる。 ローカルユーザー、ドメインユーザーを管理できる。 ファイルサーバーを構成し、資源を管理できる。 Windows Server 2012(R2)のトラブルシューティングを実施できる。
対象者 Windows Server 2012(R2)を使用してシステムを管理される方、またはWindows Server 2012(R2)の導入を検討している方。
前提知識 Windowsインターフェイスの十分な使用経験があり、「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ-TCP/IPの仕組み-eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none">Windows Server 2012 (R2) 概要 Windows Server 2012 (R2)のインストール サーバー管理ツール ワークグループ環境のアカウント管理 ドメイン環境のアカウント管理 ポリシーの概要 ディスクの管理 アクセス許可の設定 ファイルサーバーの構築 サーバーの監視 サーバーのバックアップ 修了試験
備考 <ul style="list-style-type: none">説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。一部コンテンツに動画が含まれます。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 学習開始日10営業日前を過ぎてもキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。 このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

MSJ046 Windows 10
マシンプラクティス Windows 10機能概説
1日間
Windowsの概要、機能およびWindows 10を使用したシステム管理方法についてマシン実習を通して学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">Windows 10の機能の概要が説明できる。 Windows 10の管理方法の概要が説明できる。
対象者 Windows 10の導入を検討されている方。
前提知識 Windows インターフェースの基本的な操作経験があり、「ネットワーク基礎Ⅱ-TCP/IPの仕組み」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none">Windows 10の特徴とインストール Windows 10のUIと基本操作 デバイスの管理 ネットワークの管理 ユーザーアカウントの管理 セキュリティの管理 トラブルシューティングツール
備考 このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。

MSE001 Windows
マシンプラクティス <eラーニング>Windowsサーバー管理入門 New
平均3時間
Windows Serverの管理の基礎を学習します。
到達目標 Windowsサーバーの基礎的な設定方法を理解し、説明できる。
対象者 Windows Serverの管理の基礎を学びたい方。
前提知識 特に必要としません。
内容 <ol style="list-style-type: none">サーバーとは Windows Serverとは Windows Serverの導入 ユーザーアカウント管理 ディスクとファイル管理 Windows Serverの監視・保守 Hyper-Vの概要 修了試験
備考 <ul style="list-style-type: none">説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます） このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

OAEO26 SharePoint
マシンプラクティス <eラーニング>SharePointによる社内ポータル作成入門 New
平均3時間
SharePointを利用したポータルサイトの構築を学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">SharePointを利用して、ポータルサイトを構築することができる。
対象者 <ul style="list-style-type: none">職種、年齢にかかわらずSharePointでサイトを構築される方。 SharePointでサイトを構築する必要があるが、サイトを構築する方法がわからない方。
前提知識 特に必要としません。
内容 <ol style="list-style-type: none">SharePointの概要 SharePointの代表的なアプリ SharePointのサイト構築 SharePointのサイト管理 Outlookとの連携 SharePoint 2010ベースのワークフローの実装 修了試験
備考 <ul style="list-style-type: none">説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。一部コンテンツに動画が含まれます。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画

システム設計

アプリケーション開発
Webアプリケーション

スマートデバイス

オブジェクト指向/UML

言語

IT基本

IT基本

ハードウェア

情報処理資格

情報リテラシ

プロジェクトマネジメント

コンプライアンス

ビジネス/ヒューマン

グローバル

マシンプラクティス マシン実習を使用したからの研修

グループ演習 グループ演習を中心とした研修

レクチャ 座学による研修

演習環境 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習
--

研修室自習型 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習
--

eラーニング マシン演習

eラーニング インターネット接続による自己学習

eラーニング 自習テキストによる自己学習
--

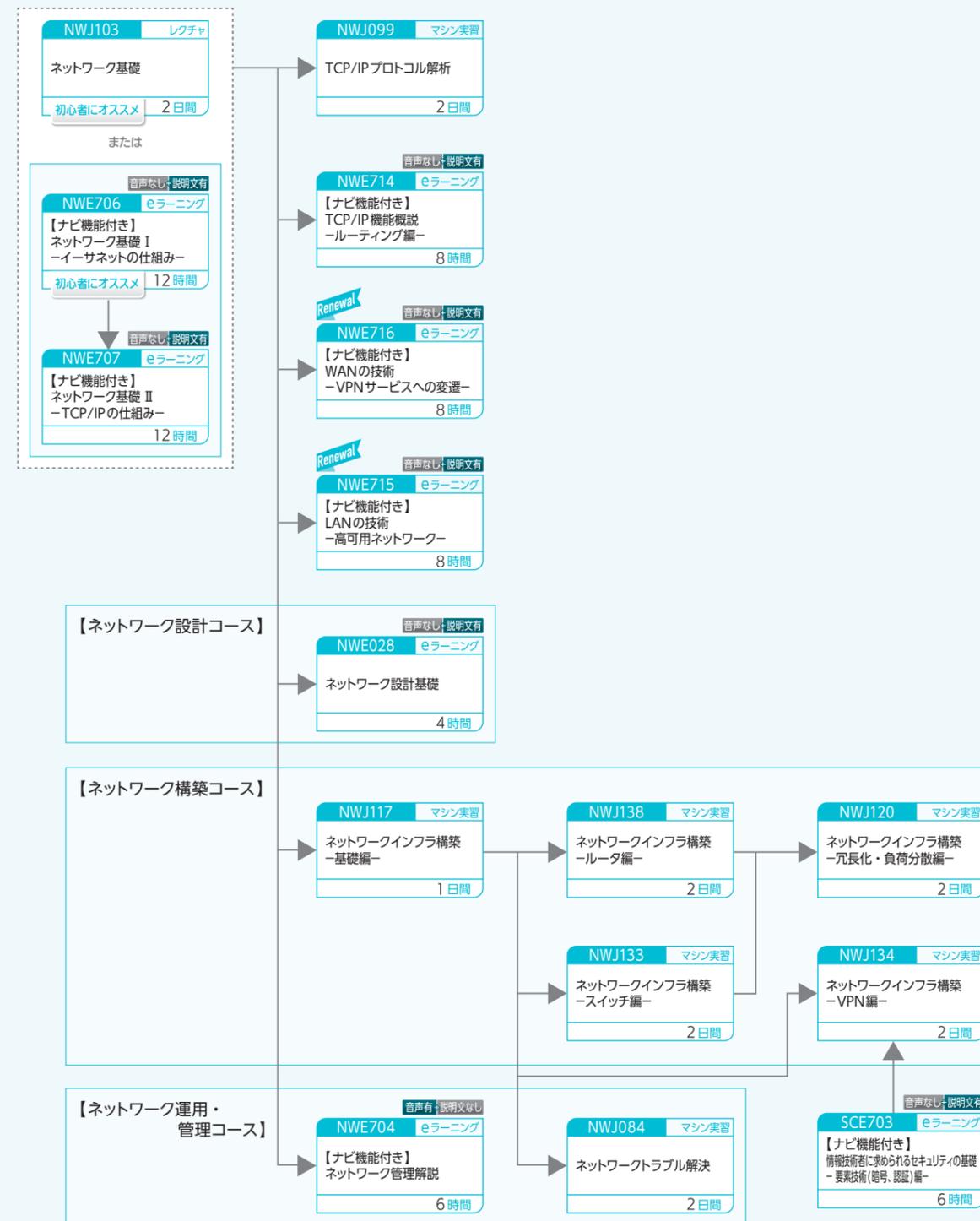
休講

休講

ネットワーク

ネットワークの構成を理解し、LANおよびWANに接続したシステム設計・構築・運用管理に関する技術が修得できます。

● ネットワークを設計・構築・運用する方、技術を詳しく学びたい方



音声有+説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし+説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

MSJ044 Windows

実践! WindowsとLinux混在環境におけるプラットフォーム構築実習-Active Directory, DNS, Samba, Apache, ワイヤレスネットワーク-

このコースでは、実際の企業システム構成を模したサーバ・ネットワーク環境を設計・構築し、成果物の長所や問題点をグループ討議します。具体的な学習要素として、Active Directory、DNS、Samba、Apache、ワイヤレスネットワークを扱います。

到達目標 Active Directory、DNS、Samba、Apache、無線LANの小規模システム環境を設計、構築できる。

対象者 インフラ全体を俯瞰してシステム設計・構築・運用に携わる方。

前提知識 「Windows Server 2016管理概説」コース/eラーニングコースおよび「Linuxシステム管理 前編-Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎-」を修了しているか、または同等の知識をお持ちの方。

内容

1. 本研修の狙い
2. 基礎知識の修得と、実機での確認
 - (1) ActiveDirectory、DNS
 - (2) Samba、Apache
 - (3) 無線LAN
3. 業務シチュエーションにおける課題解決演習

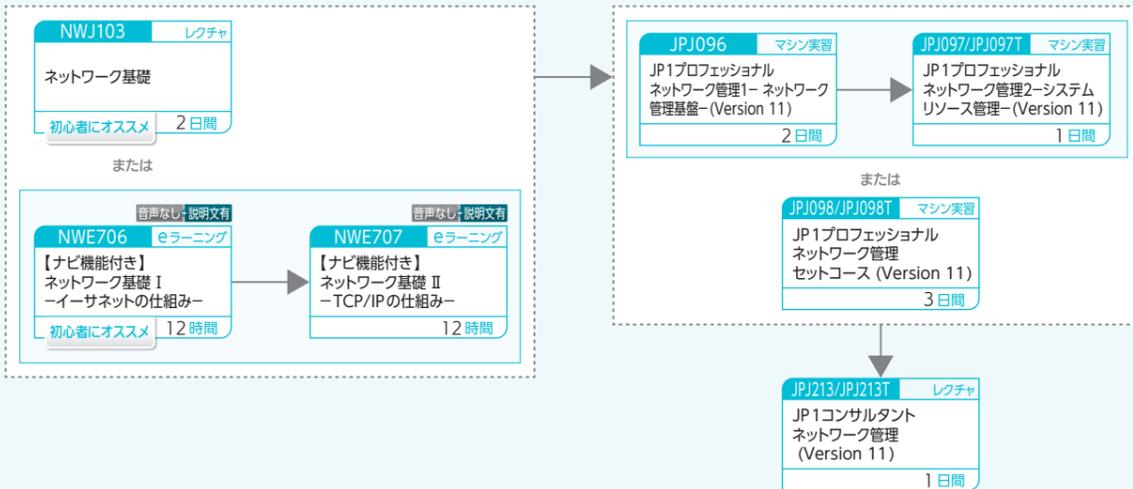
備考

- ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

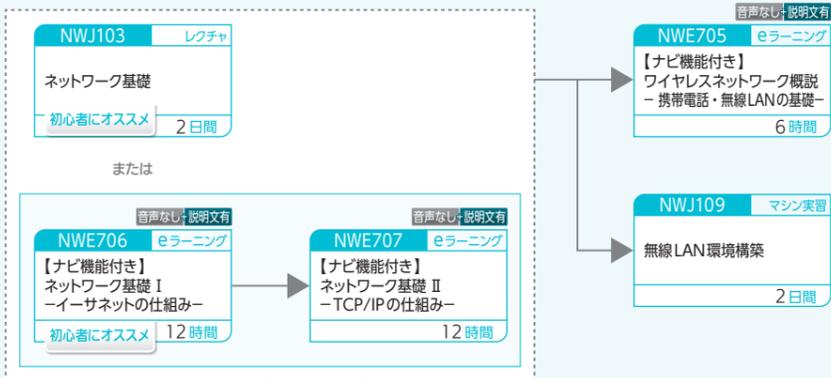
● インターネットサーバを構築・運用・管理する方



● JP1 ネットワーク管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



● ワイヤレスネットワークを設計・構築・運用する方、技術を幅広く学びたい方



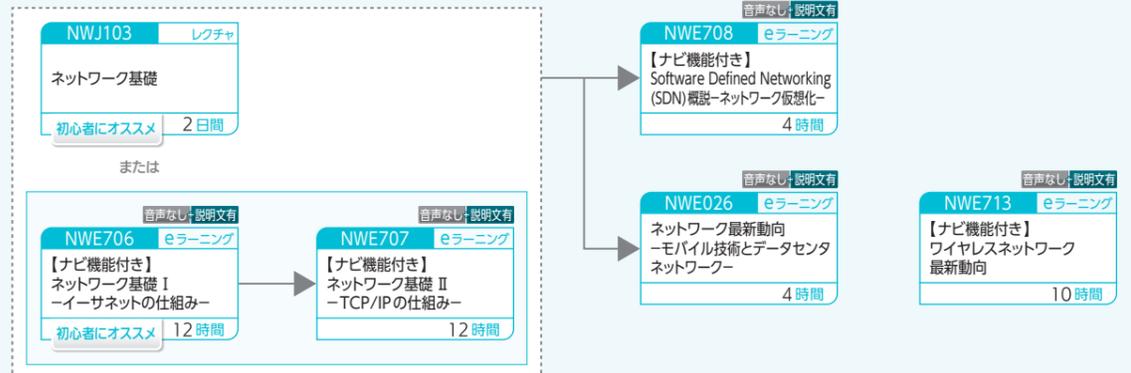
音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

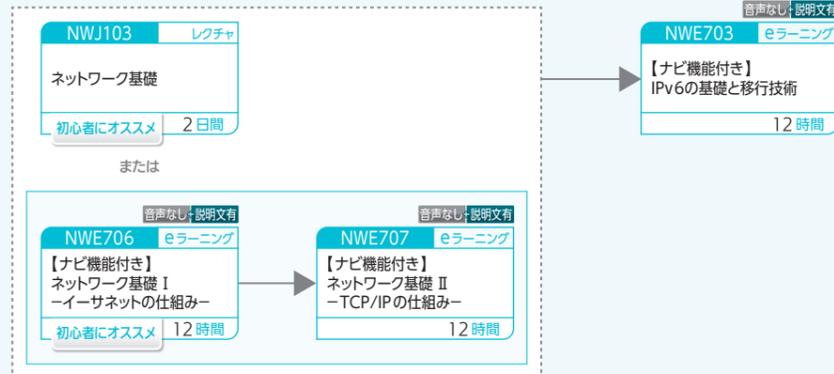
音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

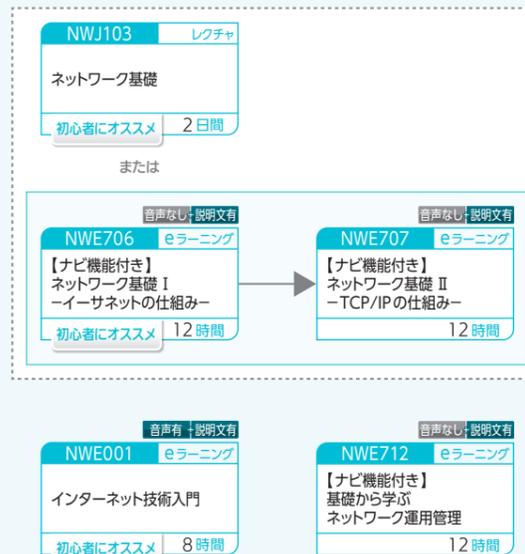
● ネットワークの最新動向を学びたい方



● IPv6ネットワークを構築・運用・管理する方、技術を詳しく学びたい方



● ネットワークシステム、インターネットを利用する方



日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

NWJ103 ネットワーク
 ネットワーク基礎 2日間
コンピュータネットワークで利用される技術や、コンピュータネットワークの構築に必要な基礎知識を総合的に学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">LANの構成要素(ハード/ソフト)について説明できる。OSI基本参照モデルに対応したネットワークの基本動作を説明できる。イーサネット、IPv4、TCP/UDPの基本について説明できる。
対象者 ネットワーク技術者をめざす方、業務の中でネットワークの基礎知識を必要とする方、小規模なネットワークを構築・運用する方。
前置知識 特に必要としません。
内容 <ol style="list-style-type: none">ネットワークの基礎知識プロトコルネットワークインタフェース層インターネット層トランスポート層アプリケーション層ネットワーク機器インターネット

NWE706 ネットワーク
 <eラーニング>【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅰーイーサネットの仕組みー 平均12時間
ネットワークの階層構造、および各階層におけるプロトコルの概要、LANで使われる基礎技術について、イーサネットを中心に学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">ネットワークの階層構造、プロトコルの役割について説明できる。イーサネットの基礎技術、機器について説明できる。
対象者 ネットワークに関する基礎的な知識を必要とする方。
前置知識 特に必要としません。
内容 <ol style="list-style-type: none">ネットワークの基礎知識プロトコルネットワークの通信例アプリケーションプロトコルTCP/UDPIP伝送媒体イーサネットLANデバイス修了試験
備考 <ul style="list-style-type: none">説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

NWE707 ネットワーク
 <eラーニング>【ナビ機能付き】ネットワーク基礎ⅡーTCP/IPの仕組みー 平均12時間
TCP/IPの概要をインターネット層、トランスポート層、アプリケーション層を中心に解説します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">TCP/IPの基礎的な説明ができる。IP関連プロトコルの基礎的な説明ができる。TCP/IP上のアプリケーションの基礎的な説明ができる。
対象者 TCP/IPの基礎的な知識を必要とする方。
前置知識 【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅰーイーサネットの仕組みー】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none">TCP/IPの概要IPアドレス解決 (ARP)ICMPTCP/UDPIP関連技術リモート・ログイン(Telnet)ファイル転送 (FTP)名前解決 (DNS)WWW (HTTP)電子メールIPv6修了試験
備考 <ul style="list-style-type: none">説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

NWE716 ネットワーク
 <eラーニング>【ナビ機能付き】WANの技術ーVPNサービスへの変遷ー 平均8時間 
VPNをはじめとするWANサービスの概要と、サービスを構成する基礎技術を学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">代表的なWANサービスの基礎技術を説明できる。VPN(広域イーサネット、IP-VPN、インターネットVPN)について技術とサービスの特性を説明できる。
対象者 WANサービスの基礎的な知識を必要とする方。WANサービスの基礎的な知識を必要とする方。
前置知識 「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎ⅡーTCP/IPの仕組みー】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none">WANの利用伝送技術とデータリンク層プロトコル専用線PSTN・ISDNxDSL・FTTH無線アクセス回線広域イーサネットIP-VPNインターネットVPNNGN修了試験
備考 <ul style="list-style-type: none">説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

NWE001 ネットワーク
 <eラーニング>インターネット技術入門 平均8時間
WWWや電子メールの仕組み、WebアプリケーションやFTPの概要を学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">Webアプリケーションの概要を説明できる。Webページ記述言語の概要について説明できる。インターネットでの通信の仕組みについて説明できる。FTPの概要について説明できる。
対象者 インターネットの基礎的な知識を必要とする方。
前置知識 特に必要としません。
内容 <ol style="list-style-type: none">インターネットの基礎知識インターネットでの通信の仕組み<ol style="list-style-type: none">ドメイン名インターネットでの通信の仕組み電子メールの仕組み<ol style="list-style-type: none">電子メールとはWWWの仕組み<ol style="list-style-type: none">Webページの記述言語Webアプリケーションの技術概要Webのセキュリティに関わる基礎知識修了試験
備考 <ul style="list-style-type: none">説明の画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

NWJ085 ネットワーク
 インターネットプロトコル(DNS、メール、HTTP)解説とサーバ構築 2日間
インターネットプロトコルの動作とインターネットサーバの構築方法について理解を深めます。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">DNSプロトコルの動作と基本的なメッセージが説明できる。SMTP/POP3の動作と基本的なメッセージが説明できる。HTTPの動作と基本的なメッセージが説明できる。
対象者 情報システムにおいてネットワークやサーバを管理する方。
前置知識 「インターネット技術入門」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none">インターネットの概要DNSの仕組みとサーバ構築<ol style="list-style-type: none">名前解決の概要DNSの動作DNSプロトコルメッセージメールの仕組みとサーバ構築<ol style="list-style-type: none">メールシステム概要メールデータフォーマットSMTPプロトコルメッセージPOP3プロトコルメッセージWebの仕組みとサーバ構築<ol style="list-style-type: none">Webの仕組みとHTMLファイルHTTPプロトコルメッセージ
備考 このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。

IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

NWE715 ネットワーク
 <eラーニング>【ナビ機能付き】LANの技術ー高可用ネットワークー 平均8時間 
VLAN、無線LAN、負荷分散装置など、LANを構築するうえで必要な知識を学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">VLAN、無線LANの基礎を説明できる。負荷分散装置、冗長化技術の基礎について説明できる。
対象者 LAN技術の基礎的な知識を必要とする方。LAN技術の基礎的な知識を必要とする方。
前置知識 「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎ⅡーTCP/IPの仕組みー】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none">LANの構築リングアプリケーションSTPVRRP負荷分散VLANネットワーク・ストレージ無線LANLANデバイス修了試験
備考 <ul style="list-style-type: none">説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

NWE714 ネットワーク
 <eラーニング>【ナビ機能付き】TCP/IP機能概説ールーティング編ー 平均8時間
TCP/IPでのルーティングの仕組みやルーティングプロトコル(RIP、OSPF、BGP)を学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">小規模ネットワークにおけるルーティングに必要な各種設定および項目を説明できる。ルーティングプロトコル各種の特性を説明できる。
対象者 ネットワーク技術者をめざす方。
前置知識 「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎ⅡーTCP/IPの仕組みー】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none">ルーティングスタティックルーティングルーティングアルゴリズムRIPOSPFBGP修了試験
備考 <ul style="list-style-type: none">説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

NWJ099 ネットワーク
 TCP/IPプロトコル解析 2日間
LANアナライザを用いてTCP/IPのシーケンスを視覚的にとらえることにより、TCP/IPの内部的な動作を学習します。
到達目標 TCP/IPの内部的な動作を説明できる。
対象者 TCP/IPについてネットワーク内部での動作を把握し、知識を深めたい方。
前置知識 「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎ⅡーTCP/IPの仕組みー】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none">TCP/IPの構造TCP/IPのデータの流れ各プロトコルヘッダの構造ICMPメッセージの種類<ol style="list-style-type: none">Echo Request、Echo ReplyRedirectTime Exceeded各アプリケーションの動作<ol style="list-style-type: none">ftptelnetシーケンス確認(演習)<ol style="list-style-type: none">TCP/IPレベルのシーケンスアプリケーションのシーケンス

NWE028 ネットワーク
 <eラーニング>ネットワーク設計基礎 平均4時間
ネットワークシステムの計画、設計において必要な基礎知識を学習します。
到達目標 ネットワークシステムの計画、設計工程に必要な基礎知識を説明できる。
対象者 ネットワークシステムの計画、設計をする方、ネットワークシステムの設計を依頼する方。
前置知識 「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎ⅡーTCP/IPの仕組みー】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none">ネットワーク設計・構築の全体像LANの設計拠点間接続の設計インターネット接続の設計修了試験
備考 <ul style="list-style-type: none">説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

NWJ117 ネットワーク
 ネットワークインフラ構築ー基礎編ー 1日間
PC、LANスイッチ、ルータの基本的な操作を通して、ネットワークの基礎知識、またネットワーク構築の基礎技術の理解を深めます。
到達目標 PC、LANスイッチ、ルータの基礎的な設定ができる。
対象者 ネットワークを構築・管理する方、ネットワーク機器の操作を通じてネットワーク技術の知識を深めたい方。
前置知識 「ネットワーク基礎」コース、または【【ナビ機能付き】ネットワーク基礎ⅡーTCP/IPの仕組みー】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none">LANとは<ol style="list-style-type: none">OSI基本参照モデルイーサネットTCP/IPネットワーク機器の基本操作<ol style="list-style-type: none">モード基本コマンドインタフェースの設定スイッチを用いたLANの構築<ol style="list-style-type: none">スイッチの機能VLANルータを用いたLANの構築<ol style="list-style-type: none">ルータの機能スタティックルーティングダイナミックルーティング

NWJ138 ネットワーク
 ネットワークインフラ構築ールータ編ー 2日間
LANでのルーティング技術について、ルータを使ったマシン実習を通して学習します。
到達目標 小規模ネットワークにおけるルーティング設定ができる。
対象者 ルータを使用したネットワークを構築、管理する方。
前置知識 「ネットワークインフラ構築ー基礎編ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none">ルーティングの基礎スタティックルーティングOSPFBGP経路再配布

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

日立製品	NWJ133 ネットワーク	NWJ120 ネットワーク	NWJ134 ネットワーク
JP1	ネットワークインフラ構築 -スイッチ編-	ネットワークインフラ構築 -冗長化・負荷分散編-	ネットワークインフラ構築 -VPN編-
uCosminexus Application Server	2日間	2日間	2日間
HIRDB	L3スイッチを使ったマシン演習を通し、VLAN、リンクアグリゲーション、STP、ルーティング、フィルタリング、運用管理について学習します。	高可用ネットワークを実現するための冗長化技術および負荷分散技術について、マシン実習を通して学習します。	基本的なVPNの概要、およびインターネットVPNの要素技術について、マシン実習を通して学習します。
OpenTP1	到達目標 L3スイッチによるネットワークを構築できる。 対象者 LANスイッチを使用したネットワークを構築、管理する方。 前提知識 「ネットワークインフラ構築-基礎編-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。	到達目標 ・冗長化技術を用いたネットワークを設計・構築できる。 ・負荷分散技術を用いたネットワークを設計・構築できる。 対象者 ネットワークインフラを設計、構築、管理する方。 前提知識 「ネットワークインフラ構築-スイッチ編-」および「ネットワークインフラ構築-ルータ編-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。	到達目標 ・IPsecやSSL/TLSなど、インターネットVPNに必要な要素技術について説明できる。 ・IPsec-VPNを利用してネットワークが構築できる。 ・SSL-VPNを利用してネットワークが構築できる。 対象者 ネットワークを設計、構築、管理、運用する方。 前提知識 「ネットワークインフラ構築-基礎編-」コース、および「【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎-要素技術(暗号、認証)編-eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
VOS3/VOS1/VOSK	内 容 1. LANスイッチの概要 2. 基本設定 3. インタフェース、VLANの設定 4. リンクアグリゲーションの設定 5. STPの設定 6. リンクアグリゲーション、STPを組み合わせた設定 7. ルーティングの設定 8. フィルタリングの設定 9. 運用管理（ポートミラーリング、Syslog）の設定	内 容 1. NIC冗長化（チームング） 2. L2冗長化・負荷分散（STP、RSTP、MSTP） 3. ゲートウェイ冗長化（VRRP） 4. L3冗長化・負荷分散（OSPF、RIP） 5. ロードバランサによる負荷分散 6. 総合演習	内 容 1. VPNの概要 2. IPsec-VPN 3. SSL-VPN 4. その他のインターネットVPN関連技術 5. VPN導入例
XDM/PDM II			
Hitachi Advanced Data Binder プラトフォーム			
IoT			
ビッグデータ			
クラウド/サーバ仮想化			
ITサービスマネジメント			
システム基盤			
UNIX/Linux			
Microsoft			
ネットワーク			
セキュリティ			
データベース			

日立製品	NWE705 ネットワーク	NWJ109 ネットワーク	NWE708 ネットワーク
JP1	<eラーニング>【ナビ機能付き】 ワイヤレスネットワーク概説 -携帯電話・無線LANの基礎-	無線LAN環境構築	<eラーニング>【ナビ機能付き】 Software Defined Networking (SDN) 概説-ネットワーク仮想化-
uCosminexus Application Server	平均6時間	2日間	平均4時間
HIRDB	携帯電話や無線LANに代表されるワイヤレス通信の基礎知識について学習します。	無線LAN技術の基礎知識および発展的な知識について、マシン実習を通して学習します。	Software Defined Networking (SDN)の概要を学習します。
OpenTP1	到達目標 ・モバイルシステム技術の概要が説明できる。 ・代表的な電波の伝送技術や特徴について説明できる。 ・近距離無線通信、携帯電話、無線LANでの通信の仕組みが説明できる。 対象者 モバイルシステムの構築・運用に携わる方、通信事業者向け業務に携わる方、モバイルシステム技術に関する基礎的な知識が必要なる方。 前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ-TCP/IPの仕組み-eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。	到達目標 ・無線LANで利用される代表的な技術について説明できる。 ・セキュリティを確保した、小規模・中規模な無線LAN環境が構築できる。 ・無線LANシステムの要件定義から、設計・構築・運用までの全体的な流れを説明できる。 対象者 無線LANを利用したネットワークを設計、構築・運用する方、業務で無線LANについての知識を必要とする方。 前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ-TCP/IPの仕組み-eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。	到達目標 Software Defined Networking (SDN)の概要を説明できる。 対象者 ・Software Defined Networking (SDN) 技術に興味のある方。 ・ネットワーク仮想化技術に興味のある方。 前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ-TCP/IPの仕組み-eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
VOS3/VOS1/VOSK	内 容 1. 無線通信の基礎 (1) 変調技術 (2) チャネル (3) 多重化技術 (4) 多元接続 (5) デュプレックス (6) MIMO (7) 周波数帯域 2. WPAN (1) Bluetooth (2) ZigBee (3) IrDA (4) RFID 3. WLAN (1) 無線LANの規格 (2) Wi-Fiアライアンス (3) IEEE802.11a/b/g/n/ac (4) ESS-ID (5) フレーム 4. WWAN (1) 移動体通信事業者 (2) MVNO (3) 携帯電話ネットワークの構成要素 5. 修了試験 備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が付加されます。	内 容 1. 無線LANの概要 2. 物理層に関わる技術 3. データリンク層に関わる技術 4. 無線LAN規格の動向 5. 無線LANのセキュリティ技術 6. 大規模な無線LAN環境構築技術 7. 無線LANの設計・導入	内 容 1. Software Defined Networking (SDN)の概要 2. Software Defined Networking (SDN)の構成要素 3. Software Defined Networking (SDN)の基本動作 4. 修了試験 備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が付加されます。
XDM/PDM II			
Hitachi Advanced Data Binder プラトフォーム			
IoT			
ビッグデータ			
クラウド/サーバ仮想化			
ITサービスマネジメント			
システム基盤			
UNIX/Linux			
Microsoft			
ネットワーク			
セキュリティ			
データベース			

日立製品	NWE703 ネットワーク	NWJ084 ネットワーク	NWE704 ネットワーク
JP1	<eラーニング>【ナビ機能付き】 IPv6の基礎と移行技術	ネットワークトラブル解決	<eラーニング>【ナビ機能付き】 ネットワーク管理解説
uCosminexus Application Server	平均12時間	2日間	平均6時間
HIRDB	IPv6プロトコルに関連する基礎技術（アドレス、ヘッダ、ICMP等）と移行技術を学習します。	ネットワークにおけるトラブルシューティングについて、マシン実習を通して学習します。	ネットワークの運用管理の対象となる項目（構成管理・性能管理・障害管理等）と、ネットワーク運用管理において利用するプロトコル、各種管理ツールの特徴について学習します。
OpenTP1	到達目標 ・IPv6の概要を説明できる。 ・IPv6移行技術の概要を説明できる。 対象者 IPv6の基礎的な知識を必要とする方、ネットワークの設計、構築、運用管理を行う方。 前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ-TCP/IPの仕組み-eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。	到達目標 ・トラブルシューティングの基礎的な考え方について説明できる。 ・トラフィック解析ツールを利用したトラブルシューティングができる。 対象者 ネットワークを構築・管理する方、トラブルの切り分けを行う方。 前提知識 「ネットワークインフラ構築-基礎編-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。	到達目標 ・ネットワークの管理項目（構成管理・性能管理・障害管理等）について説明できる。 ・各種管理ツールの利用方法・特徴について説明できる。 ・SNMPによるネットワーク管理の構成要素と、要素の概要を説明できる。 対象者 情報システムにおけるネットワークの運用管理を行う方。 前提知識 「ネットワークインフラ構築-基礎編-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
VOS3/VOS1/VOSK	内 容 1. IPv4の問題点とIPv6の特徴 2. IPv6の仕様（プロトコルスタックやアドレスなど） 3. ICMPv6の仕様（アドレス解決やステートレスアドレス自動設定など） 4. IPv6への移行（移行形態やアドレス設計例など） 5. 修了試験 備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が付加されます。	内 容 1. ネットワーク概要 2. トラブル解析手順 (1) ネットワークトラブルに対する考え方 (2) トラブルシューティングに必要なこと (3) トラブルの絞り込み 3. ルータの基本操作 4. スイッチの基本操作 5. LANアナライザの使用法 6. トラブルシューティング演習	内 容 1. ネットワーク管理の概要 2. 資産・構成管理 3. 性能管理 4. 障害管理 5. ネットワーク管理ツール 6. SNMPを用いたネットワーク管理 7. 修了試験 備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が付加されます。
XDM/PDM II			
Hitachi Advanced Data Binder プラトフォーム			
IoT			
ビッグデータ			
クラウド/サーバ仮想化			
ITサービスマネジメント			
システム基盤			
UNIX/Linux			
Microsoft			
ネットワーク			
セキュリティ			
データベース			

日立製品	NWE026 ネットワーク	NWE713 ネットワーク	NWE712 ネットワーク
JP1	<eラーニング> ネットワーク最新動向 -モバイル技術とデータセンタネットワーク-	<eラーニング>【ナビ機能付き】 ワイヤレスネットワーク最新動向	<eラーニング>【ナビ機能付き】 基礎から学ぶネットワーク運用管理
uCosminexus Application Server	平均4時間	平均10時間	平均12時間
HIRDB	モバイルネットワークやサービスの最新動向、およびデータセンタネットワークに関する最新動向について学習します。	ワイヤレスネットワークの基礎技術と最新動向を学習します。	ネットワークの管理項目として、構成管理、性能監視、障害運用を学習します。また、ITシステムの運用管理におけるネットワーク管理の位置づけと運用管理の体制について学習します。
OpenTP1	到達目標 代表的なモバイルネットワークやサービスの最新動向、およびデータセンタネットワークの技術を挙げ、概要を説明できる。 対象者 データセンタ・無線ネットワークの最新動向を修得したい方、データセンタ・無線ネットワークのソリューション提案を行う方。 前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ-TCP/IPの仕組み-eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。	到達目標 ・ワイヤレスネットワークの基礎技術を理解したうえで、代表的なワイヤレスネットワーク規格とそれらの特徴について説明できる。 ・代表的なワイヤレスネットワーク技術を用いたソリューションサービスについて、説明できる。 ・ワイヤレスネットワーク技術の最新動向について、基礎技術の復習をしながら学習を進めたい方。 ・ワイヤレス基礎技術を活用し、IoTソリューションの提案を行いたいITエンジニアや営業の方。 前提知識 特に必要としません。	到達目標 ・ネットワークの基礎技術を理解したうえで、運用管理の手法や、活用されている技術について説明できる。 ・ITシステムの運用管理におけるネットワークの管理の位置づけと運用管理の体制について説明できる。 対象者 ・ネットワークの運用管理技術について、ネットワークの基礎技術の復習をしながら学習を進めたい方。 ・運用管理を切り口にネットワークの基礎技術を修得したいITエンジニアや営業の方。 前提知識 特に必要としません。
VOS3/VOS1/VOSK	内 容 1. ワイヤレス通信技術の動向 2. 端末のオープン化と移動体通信事業者の今後 3. モバイルソリューション・サービス動向 4. データセンタネットワークの最新動向 5. 修了試験 備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が付加されます。	内 容 1. ワイヤレス通信技術の動向 (1) ワイヤレス通信規格の変遷 (2) 3.5G以降の無線通信を支える基礎技術 (3) 3.9G規格 (LTE、WiMAX) (4) 今後の展開 (IMT-Advanced、5G) (5) 無線LANの動向 2. 端末のオープン化と移動体通信事業者の今後 (1) 携帯電話プラットフォームの動向 (2) 移動体通信事業者の今後 3. モバイルソリューション・サービス動向 (1) MDM (Mobile Device Management) (2) BYOD (Bring Your Own Device) (3) スマートデバイスにおける仮想化技術 (4) M2Mの動向 4. 修了試験 備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。	内 容 1. ネットワーク管理の概要 (1) ネットワーク管理の必要性 (2) ネットワーク管理の概要 2. 構成管理 (1) 構成管理とは (2) 物理構成 (3) 論理構成 3. 性能監視 (1) 性能監視とは (2) 監視のための方法 4. 障害運用 (1) 障害運用とは (2) 障害対応作業 5. ITシステムからみたネットワーク管理と運用管理の体制 (1) 運用管理の対象 (2) 運用管理の体制 6. 修了試験 備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。
XDM/PDM II			
Hitachi Advanced Data Binder プラトフォーム			
IoT			
ビッグデータ			
クラウド/サーバ仮想化			
ITサービスマネジメント			
システム基盤			
UNIX/Linux			
Microsoft			
ネットワーク			
セキュリティ			
データベース			

日立製品	日立製品
JP1	JP1
uCosminexus Application Server	uCosminexus Application Server
HIRDB	HIRDB
OpenTP1	OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK	VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II	XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラトフォーム	Hitachi Advanced Data Binder プラトフォーム
IoT	IoT
ビッグデータ	ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化	クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント	ITサービスマネジメント
システム基盤	システム基盤
UNIX/Linux	UNIX/Linux
Microsoft	Microsoft
ネットワーク	ネットワーク
セキュリティ	セキュリティ
データベース	データベース
IT戦略・IS企画/システム設計	IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画	IT戦略・IS企画
システム設計	システム設計
アプリケーション開発	アプリケーション開発
Webアプリケーション	Webアプリケーション
スマートデバイス	スマートデバイス
オブジェクト指向/UML	オブジェクト指向/UML
言語	言語
IT基本	IT基本
IT基本	IT基本
ハードウェア	ハードウェア
情報処理資格	情報処理資格
情報リテラシ	情報リテラシ
プロジェクトマネジメント	プロジェクトマネジメント
コンプライアンス	コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン	ビジネス/ヒューマン
グローバル	グローバル

セキュリティ

個人情報保護や情報セキュリティに関する基礎知識、セキュリティを考慮したシステム構築・管理に必要な技術が修得できます。

● 社会人としてのセキュリティ意識を身につけたい方

SCE701 eラーニング
【ナビ機能付き】
情報セキュリティ入門
～セキュリティの必要性と対策～
初心者におすすめ 4時間

● 情報システムを運用・管理する方

SCE703 eラーニング
【ナビ機能付き】
情報技術者に求められるセキュリティの基礎
～要素技術(暗号、認証)編～
6時間

SCE706 eラーニング
【ナビ機能付き】
情報セキュリティマネジメント概説
～セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度～
8時間

● 企業内の情報セキュリティを管理する方

SCE701 eラーニング
【ナビ機能付き】
情報セキュリティ入門
～セキュリティの必要性と対策～
初心者におすすめ 4時間

SCJ041 レクチャ
セキュリティ最新動向
0.5日間

SCE706 eラーニング
【ナビ機能付き】
情報セキュリティマネジメント概説
～セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度～
8時間

SCJ032 グループ演習
ケーススタディから学ぶ
情報セキュリティ
リスクマネジメント
1日間

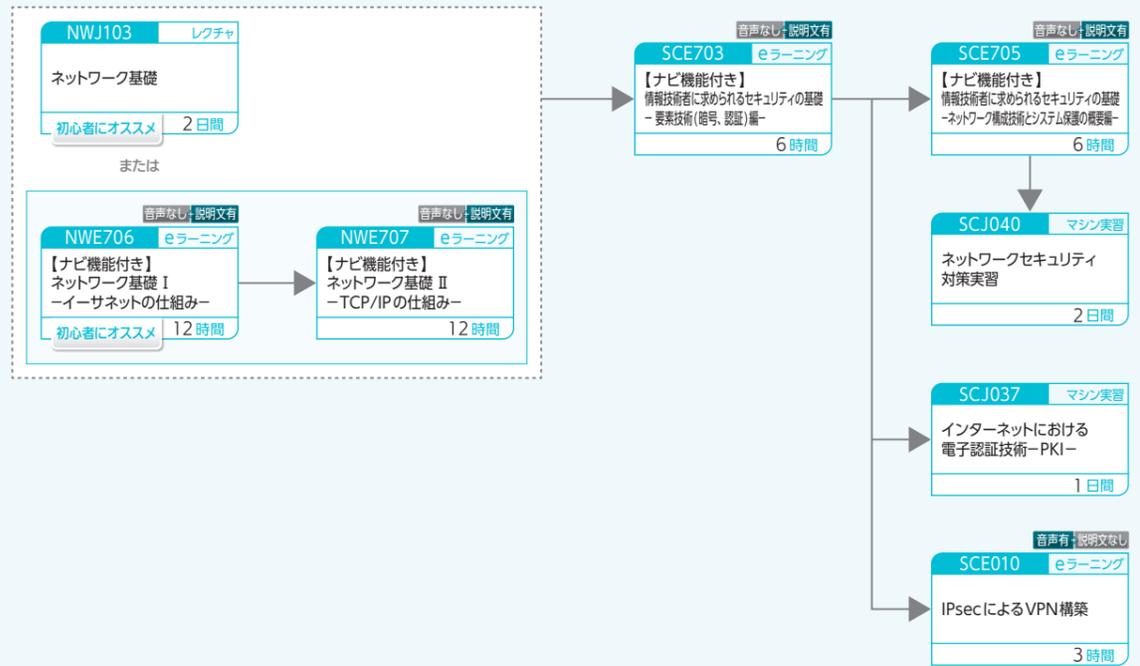
SCJ038 グループ演習
情報セキュリティ
マネジメント運用
1日間

SCJ039 グループ演習
情報セキュリティ
マネジメントの評価と改善
1日間

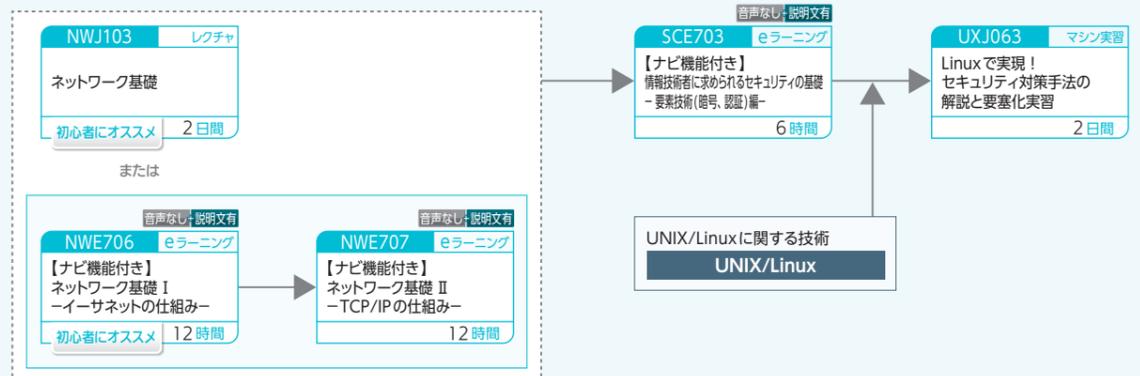
- 音声有・説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● ネットワークシステムを構築・運用・管理する方



● UNIX/Linuxで情報システムを構築・運用・管理する方



● JP1セキュリティ管理製品を使用してシステムを構築・運用する方

SCE703 eラーニング
【ナビ機能付き】
情報技術者に求められるセキュリティの基礎
～要素技術(暗号、認証)編～
6時間

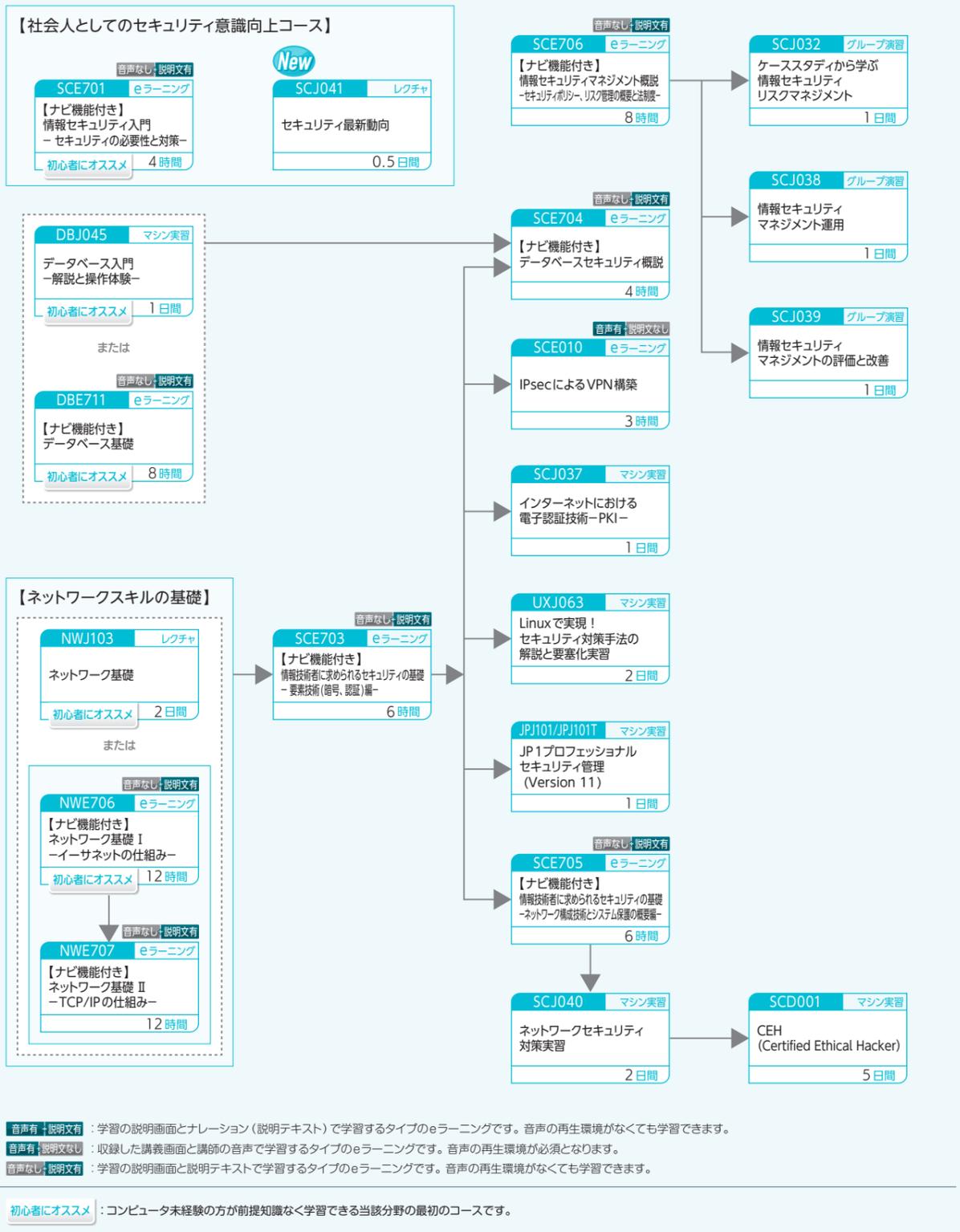
JP101/JP101T マシン実習
JP1プロフェッショナル
セキュリティ管理
(Version 11)
1日間

● JP1資産・配布管理製品を使用してシステムを構築・運用する方

JPJ094/JPJ094T マシン実習
JP1プロフェッショナル
資産・配布管理
(Version 11)
2日間

JPJ212/JPJ212T レクチャ
JP1コンサルタント
資産・配布管理
(Version 11)
1日間

● セキュリティを実現する技術的手法/管理的手法について幅広く知りたい方



資格 EC-Council 認定資格

EC-Council 認定資格は、EC-Council International が「情報セキュリティ技術者として、一定水準以上の技術力を持つこと」を認定する資格です。

詳しくは、日立インフォメーションアカデミーのwebサイトにてご確認ください。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/license/eccc/index.html>

SCE701 情報セキュリティ

<eラーニング>【ナビ機能付き】
情報セキュリティ入門
—セキュリティの必要性和対策—

平均4時間

情報システムの利用者が理解しておくべき、セキュリティ上の対策の必要性、および基礎的なセキュリティ用語について学習します。

到達目標

- 情報システムにおけるセキュリティの必要性について説明できる。
- 情報システムの利用者が理解しておくべき、セキュリティ上のリスクとその対策方法を説明できる。
- 基礎的な情報セキュリティ用語を説明できる。

対象者 情報セキュリティに関する基礎知識を必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内容

- 情報セキュリティ概要
- 通常業務におけるリスクと対策
- Web利用におけるリスクと対策
- メール利用におけるリスクと対策
- コンプライアンス
- 修了試験

備考

- 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

SCJ032 情報セキュリティ

ケーススタディから学ぶ
情報セキュリティリスクマネジメント

1日間

「ISMSの国内および国際動向」、JIS Q 27001の「規格の要求事項」、「ISMS 構築上のポイント」等を中心に解説し、演習を用いたリスクマネジメントの概要について学習します。

到達目標

- JIS Q 27001の概要を説明できる。
- ISMS管理の概要を説明できる。
- ケーススタディ演習において、リスクの洗い出し/リスク分析を実現できる。

対象者 情報セキュリティを計画・立案する方。

前提知識 【【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説—セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度—】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- JIS Q 27001 概要 (情報セキュリティとは)
- JIS Q 27001 規格解説
 - ISMSの確立
 - ISMSの導入、運用、監視、維持改善
 - 経営陣の責任、ISMS内部監査
 - マネジメントレビュー、ISMS改善
- 演習：資産と脅威と脆弱性の特定
- 管理策の解説
 - 管理策概要
 - 管理策の事例説明
- 演習：リスクアセスメントのケーススタディ

備考

- このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
- このコースの申込締切日は、コース開始日の12営業日前とさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

SCJ041 情報セキュリティ

セキュリティ最新動向

0.5日間

セキュリティの基本概念からセキュリティ対策の最新動向を学習します。

到達目標

- セキュリティの必要性が説明できる。
- 最新のセキュリティ脅威を説明できる。
- セキュリティ対策における最新動向を説明できる。

対象者 セキュリティの最新動向を知りたい方。

前提知識 オペレーティングシステム、およびネットワークに関する基本的な知識があること。

内容

- 情報セキュリティの基礎
- 最新の攻撃手法と対策
- セキュリティ対策の実際
- 今後増加すると考えられる攻撃
- 新しい対策技術
- さらに知りたい人のために

備考

- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- このコースは、13:00~16:30の開催とさせていただきます。

SCJ038 情報セキュリティ

情報セキュリティマネジメント運用

1日間

このコースでは、部門の情報セキュリティマネジメントの運用に必要な項目とインシデントへの具体的な対応方法について、部門の情報セキュリティマネジメントの観点から、ケーススタディを通じて修得します。

到達目標

- 部門の情報セキュリティを維持するために欠かせない作業ができる。
- 部門担当者として重要となるインシデントへの対応について、部門状況やインシデントの種類に合った適切な行動ができる。
- 運用において重要である、インシデントの種類に応じた状況の把握と判断および初動、緊急対応、緊急対応後の措置、報告ができる。

対象者

- 現在部門内の情報セキュリティ管理を担当している方。
- IPAの「情報セキュリティマネジメント試験」を受験したい方。

前提知識 【【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説—セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度—】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- 情報セキュリティの評価
 - 情報セキュリティ評価の基準
 - 各種情報セキュリティ基準の活用場面
- 情報セキュリティ監査への対応と改善
 - 情報セキュリティの評価活動の分類
 - 情報セキュリティ監査で問われること
 - 情報セキュリティ監査への対応
 - 不適合への対応
- ケーススタディ
 - 不適合への対応
 - 情報セキュリティ監査の不適合の理解
 - 不適合への対応
 - 緊急対応
 - 緊急対応後の措置
 - インシデント報告
 - 不適合対策の報告

備考

- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 開催にあたっては、最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

SCE706 情報セキュリティ

<eラーニング>【ナビ機能付き】
情報セキュリティマネジメント概説
—セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度—

平均8時間

情報セキュリティ維持、個人情報保護のための管理システムと情報セキュリティに関連する規格、法律制度など管理的対策に関する概要を学びます。

到達目標

- 情報セキュリティ、コンプライアンスの概念を説明できる。
- 情報セキュリティ維持、個人情報保護のマネジメントシステムの概要を説明できる。
- 情報セキュリティに関連する規格、法律制度を説明できる。
- 情報セキュリティを計画・立案する方。

対象者 情報セキュリティを計画・立案する方。

前提知識 コンピュータシステムの基礎知識があること。

内容

- 情報セキュリティの概要
- 情報セキュリティマネジメントの基本概念
 - 情報セキュリティマネジメントの概要
 - 情報セキュリティポリシーの概要
- リスクマネジメント
 - リスクアセスメント
 - リスク対応
- 情報セキュリティの維持
 - ISMS認証基準
 - インシデントレスポンス
- 情報セキュリティ関連の法規と規格
 - 個人情報保護
 - サイバー犯罪関連法規
- 修了試験

備考

- 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

SCJ039 情報セキュリティ

情報セキュリティマネジメントの評価と改善

1日間

このコースでは、情報セキュリティの評価の基準や部門の情報セキュリティ監査への対応、特に不適合への対応方法について、部門の情報セキュリティマネジメントの観点から、ケーススタディを通じて修得します。

到達目標

- 評価基準、情報セキュリティ監査、セキュリティ対策の有効性評価ができる。
- 是正処置、再発防止策、情報セキュリティ監査への対応や不適合への対応ができる。
- 情報セキュリティ事故や情報セキュリティ監査からの改善指示などに適切に対応するための不適合への処置や再発防止の施策を策定することができる。

対象者

- 現在部門内の情報セキュリティ管理を担当している方。
- IPAの「情報セキュリティマネジメント試験」を受験したい方。

前提知識 【【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説—セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度—】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- 情報セキュリティの評価
 - 情報セキュリティ評価の基準
 - 各種情報セキュリティ基準の活用場面
- 情報セキュリティ監査への対応と改善
 - 情報セキュリティの評価活動の分類
 - 情報セキュリティ監査で問われること
 - 情報セキュリティ監査への対応
 - 不適合への対応
- ケーススタディ
 - 不適合への対応
 - 情報セキュリティ監査の不適合の理解
 - 不適合への対応
 - 緊急対応
 - 緊急対応後の措置
 - インシデント報告
 - 不適合対策の報告

備考

- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 開催にあたっては、最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

SCE704 セキュリティ技術
 <eラーニング>【ナビ機能付き】データベースセキュリティ概説
平均4時間
データベース管理システムの構築、運用において発生するセキュリティ脅威、対策および具体的なデータベースセキュリティ機能を学習します。

到達目標

- ユーザ認証やユーザ管理、アクセス制御方法が説明できる。
- ネットワーク経由でデータベースアクセスする際に必要となるセキュリティ技術が説明できる。
- データベースへのアクセス監視が必要となる考え方が説明できる。

対象者 情報システムを運営・管理する方。
前提知識 【【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎－要素技術（暗号、認証）編－】eラーニングコースおよび「データベース入門－解説と操作体験－」コース、または【【ナビ機能付き】データベース基礎】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- データベースセキュリティ概要
- ユーザ認証とユーザ管理
- アクセス制御
- セキュリティ監査
- データ暗号化
- SQLインジェクション対策
- 修了試験

備考

- 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

SCE705 セキュリティ技術
 <eラーニング>【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎－ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編－
平均6時間
ネットワークセキュリティの実現に使用される技術や、コンピュータを保護するためのOSのセキュリティ機能、コンピュータウイルス対策の概要について学習します。

SCE010 セキュリティ技術
 <eラーニング>IPsecによるVPN構築
平均3時間
IPsecを利用したVPN構築方法について学習します。

到達目標

- VPNの概要やメリットが説明できる。
- IPsecの仕組みが説明できる。

対象者 情報システムにおいてネットワークやサーバを管理/構築する方。

前提知識 【【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎－要素技術（暗号、認証）編－】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- VPN概要
 - VPNを実現する技術
 - VPNの接続形
 - VPNプロトコル
- IPsec解説
 - IPsecの概要
 - セキュリティアソシエーション(SA)とパラメータ
 - SA管理と鍵管理
- 修了試験

備考

- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

SCJ040 セキュリティ技術
 ネットワークセキュリティ対策実習
2日間
実機を用いて、ネットワークセキュリティにおける攻撃手法および防御手法を学びます。

SCJ037 セキュリティ技術
 インターネットにおける電子認証技術－PKI－
1日間
このコースでは、マイナンバー制度などの公共情報システムやインターネット上の電子商取引において、取引相手やデータの信頼性・安全性を確保するために不可欠な電子認証技術であるPKI(Public Key Infrastructure)の概要を学習します。

到達目標

- PKIとは何か、機能や役割の概要を説明できる。
- PKIの構成要素である、電子署名、電子証明書、暗号化の仕組みや技術の概念を説明できる。
- 情報システムにおいてPKIがどのように利用されているかについて説明できる。

対象者 情報システムを運営・管理する方、電子商取引システムを構築する方。

前提知識 【【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎－要素技術（暗号、認証）編－】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- PKIの概要
- 暗号技術と電子署名
- 認証局と電子証明書
- PKIによる電子認証のしくみ
- PKIの活用
- 電子認証関連法規と公共機関におけるPKIの利用

備考 このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。

SCD001 セキュリティ技術
 CEH(Certified Ethical Hacker)
5日間
<ul style="list-style-type: none"> 最新のセキュリティ脅威、高度の攻撃ベクトルと、最新のハッキングの技術、手法、ツール、巧みな技、情報セキュリティ対策のリアルタイムでの実演/実用に重点を置いた、エシカル・ハッキング/情報システム・セキュリティ監査の統合型プログラムを学習します。 18のモジュールから、最新のセキュリティ脅威、ハッキング技術を構造的に学習します。
<p>到達目標 最新のセキュリティ脅威、ハッキング技術を構造的に理解できる。</p> <p>対象者 情報セキュリティの責任者/監査人/専門家、サイト管理者の方。</p> <p>前提知識 OS、コンピュータ・アーキテクチャ、ネットワークの基本概念を理解していること。</p> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> エシカル・ハッキング概論 フットプリンティングおよび偵察 ネットワークのスキャン 列挙 システムのハッキング マルウェアの脅威 スニフティング ソーシャル・エンジニアリング サービス妨害攻撃(DoS攻撃) セッション・ハイジャック Webサーバのハッキング Webアプリケーションのハッキング SQLインジェクション 無線ネットワークのハッキング モバイル・プラットフォームのハッキング IDS、ファイアウォール、ハニーポットの回避 クラウド・コンピューティング 暗号化 <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> このコースは、EC-Councilの認定コースです。 このコースは、グローバルセキュリティエキスパート(株)(GSX社)との提携コースのため、GSX社の研修会場にて開催いたします。 開始日10営業日前を過ぎているキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 受講料の中に受験料(1回分)が含まれています。受験は後日となります。申込み方法等は研修中に説明があります。 コースの受講登録には、会社名、氏名(漢字およびローマ字)、E-mailアドレスが必要です。これらの登録情報は、GSX社に提供いたします。 このコースは、10：00～18：00の開催とさせていただきます。 <p>※別途ご案内いたします。</p>

 **マシン実習** マシンを使用しながらの研修

 **グループ演習** グループ演習を中心とした研修

 **レクチャ** 座学による研修

 **演習環境** 職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習

 **研修室自習型** 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習

 **eラーニング**

 **マシン実習**

 **動画**

 **ナビ付書**

 **大画面実習**

 **Oracle**

 **チェック**

 **eラーニング** インターネット接続による自己学習

 **自習テキスト** 自習書による自己学習

 **休講**

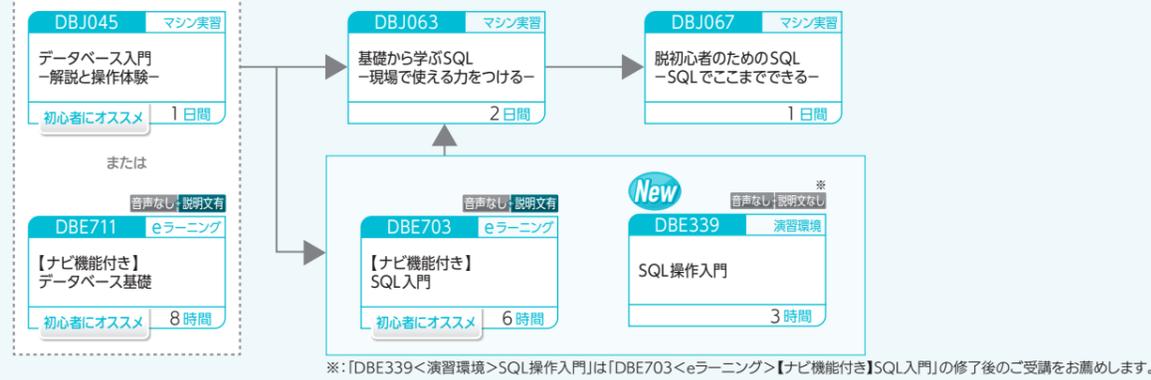
 **休講** 今期の定期開催はありません

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

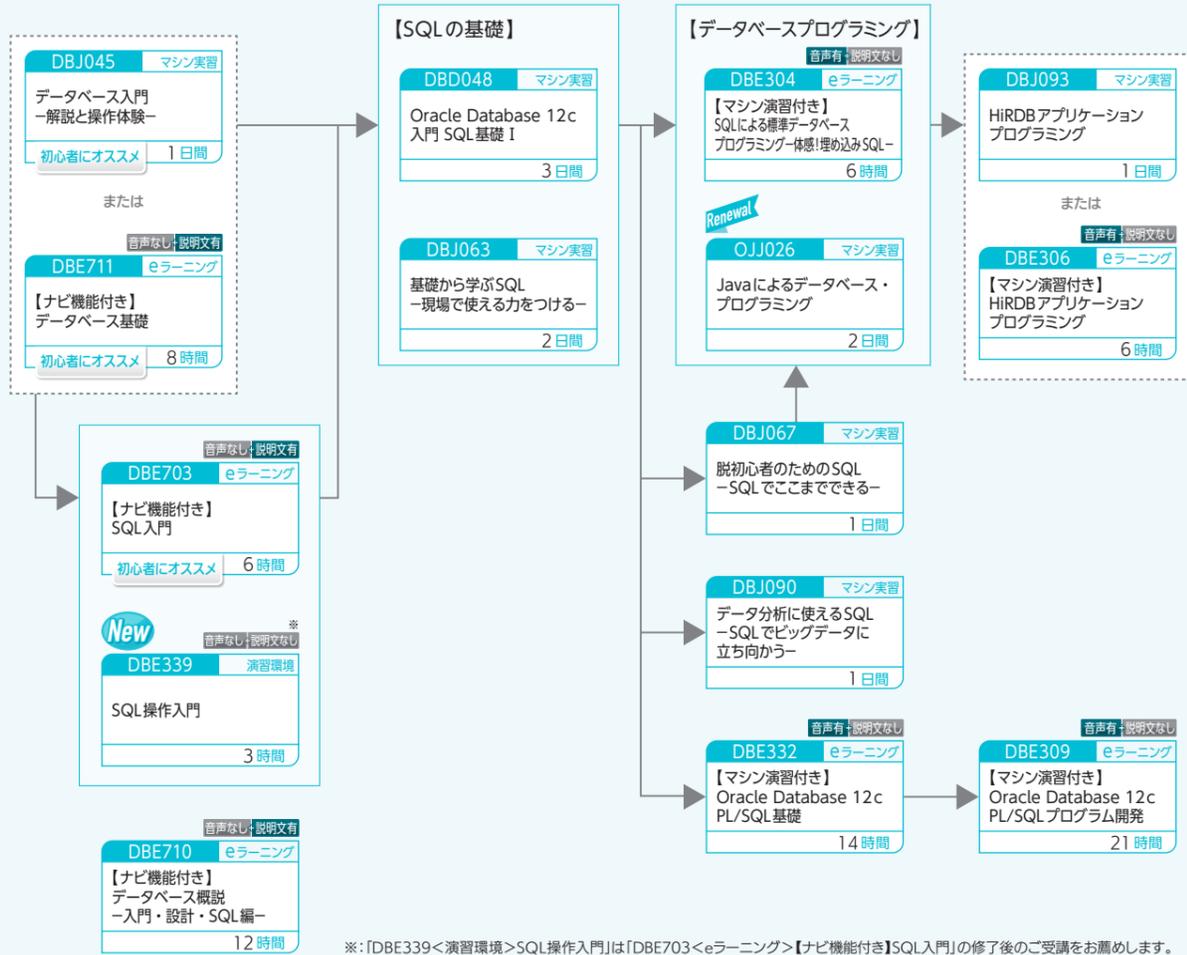
データベース

データベースの概念を理解し、データベースシステムを構築するための技術が修得できます。

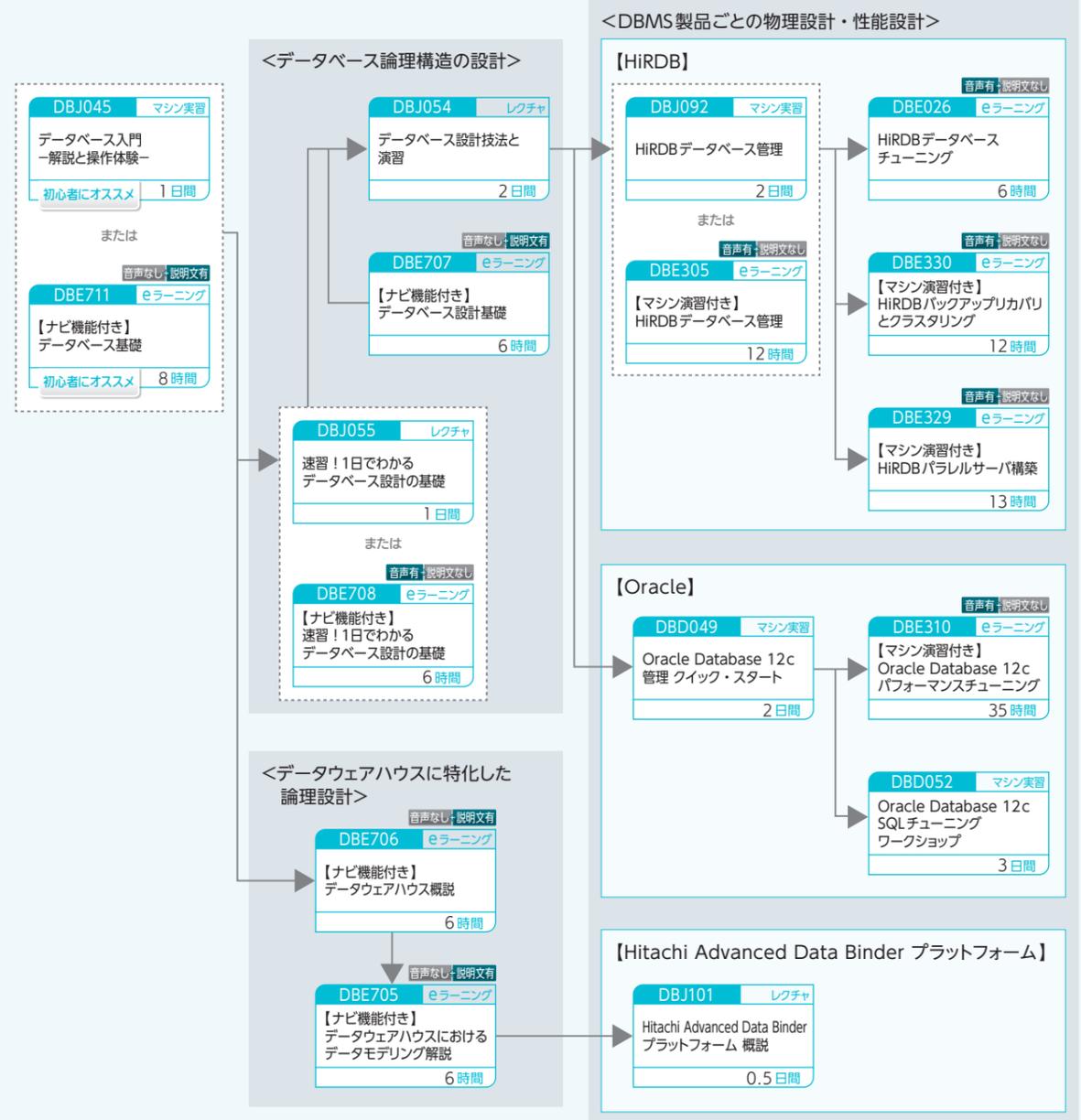
データベースを利用する方



データベースを利用したアプリケーションを開発する方



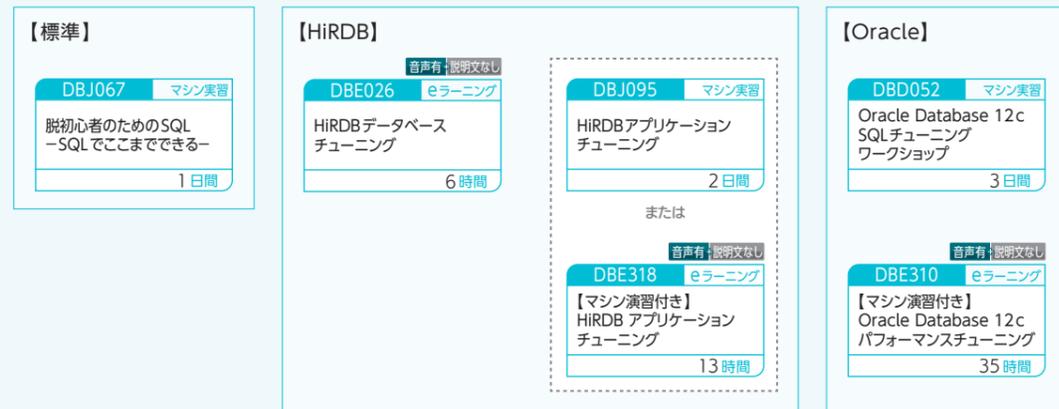
データベースを設計する方



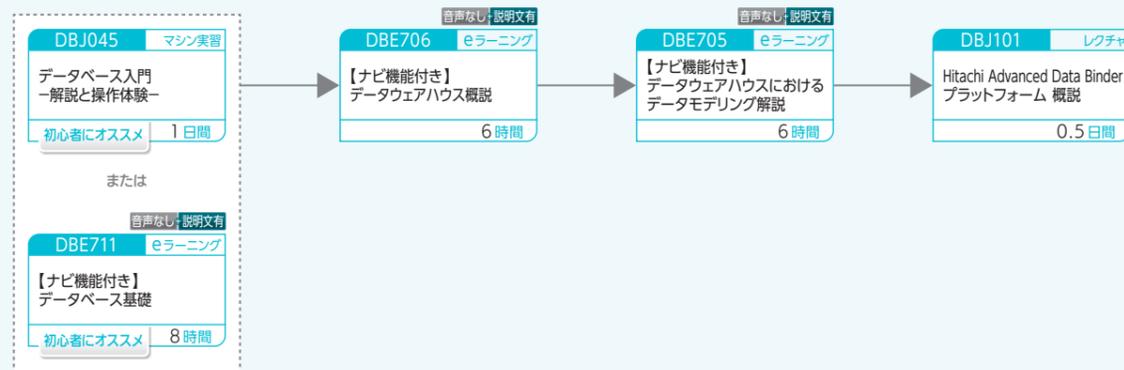
音声有+説明文有: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
 音声有+説明文なし: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
 音声なし+説明文有: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

データベースのチューニング方法を修得したい方



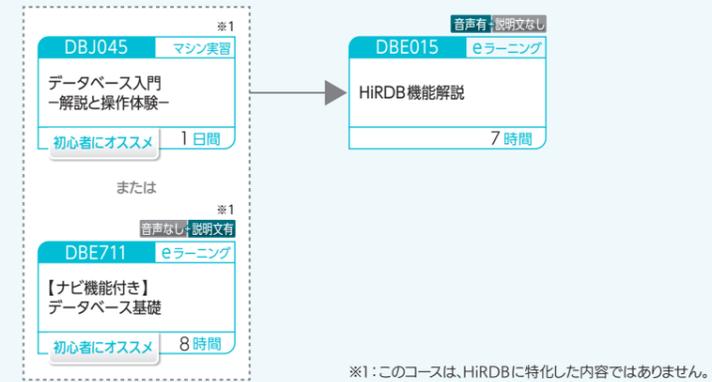
データウェアハウスに特化した論理設計を修得したい方



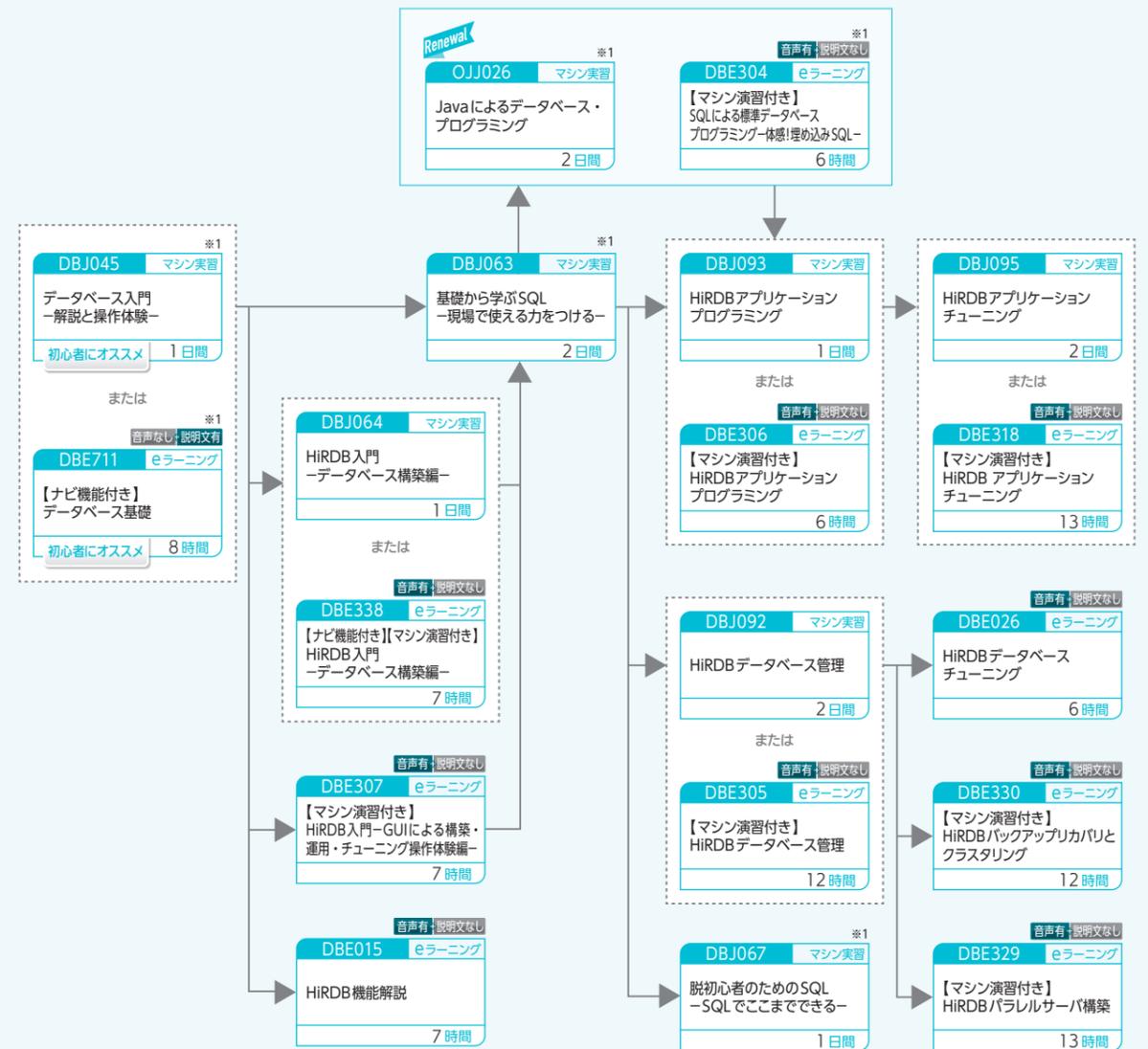
オンライントランザクション処理 (OLTP) やTPモニターの概要を修得したい方



HiRDBの概要を修得したい方



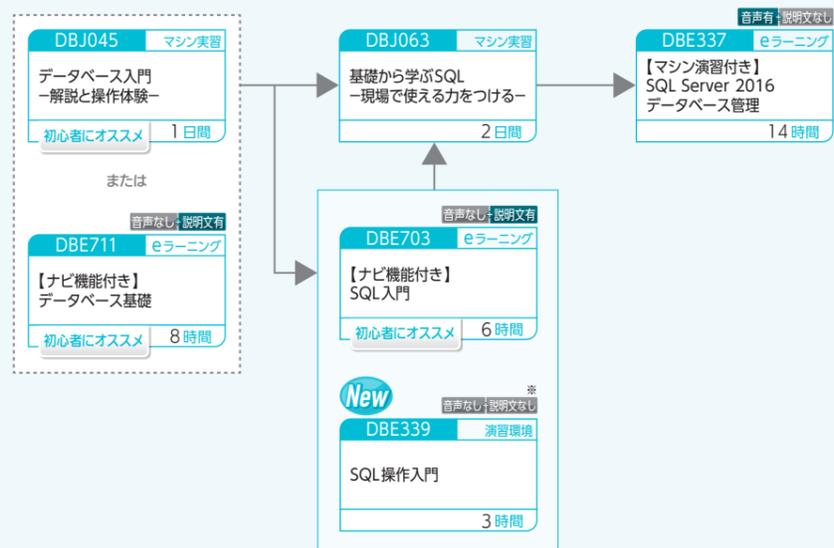
HiRDBを使用してデータベースを構築・運用・アプリケーションプログラム開発をする方



音声有+説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
 音声有+説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
 音声なし+説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

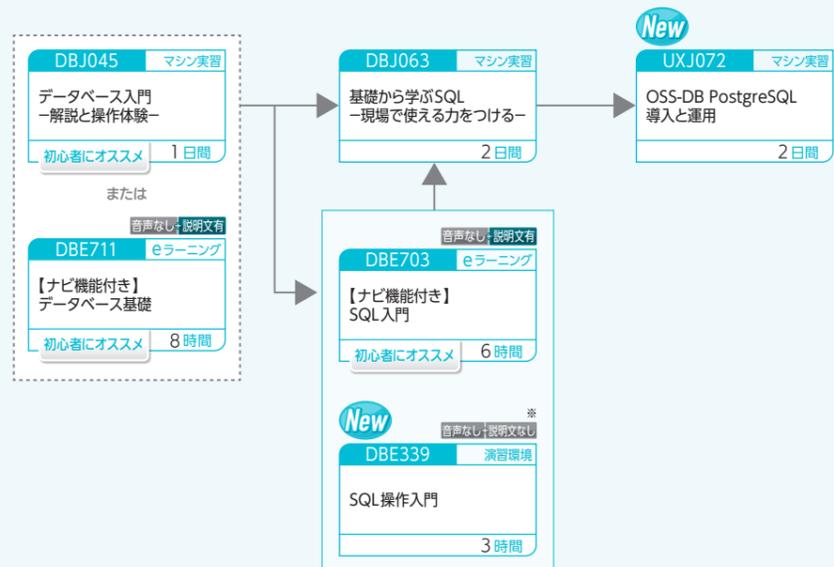
初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

SQL Server 2016 を使用してデータベースを管理・運用する方



※：「DBE339<演習環境>SQL操作入門」は「DBE703<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門」の修了後のご受講をお勧めします。

PostgreSQL を使用してデータベースを管理・運用する方



※：「DBE339<演習環境>SQL操作入門」は「DBE703<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門」の修了後のご受講をお勧めします。

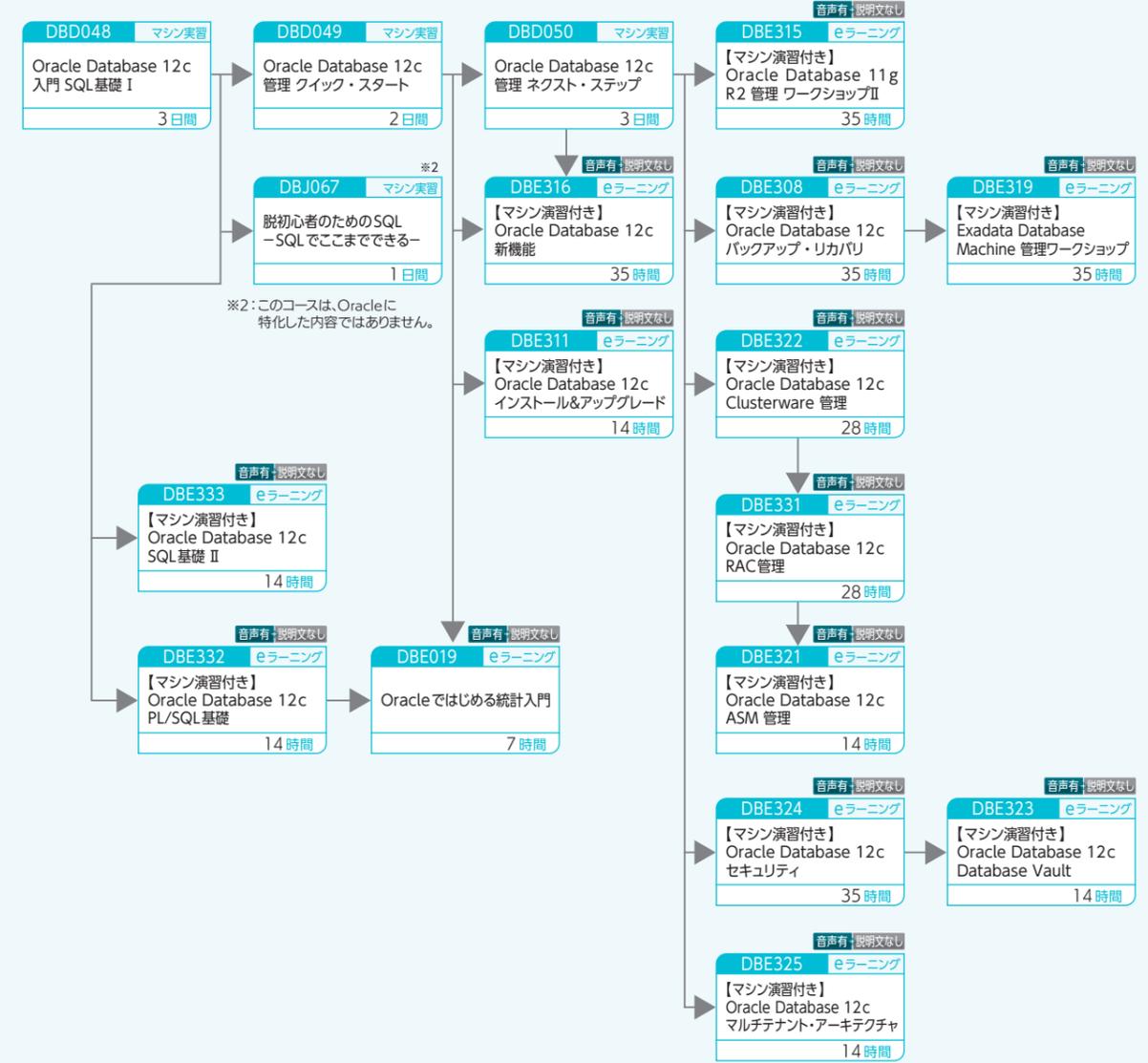
音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

Oracleを使用してデータベースを設計・運用する方

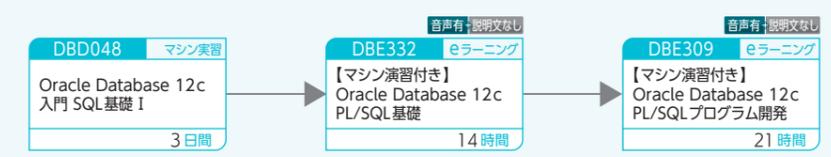


※2：このコースは、Oracleに特化した内容ではありません。

Oracleのチューニング方法を修得したい方



Oracleを使用してPL/SQLによるアプリケーションを開発する方



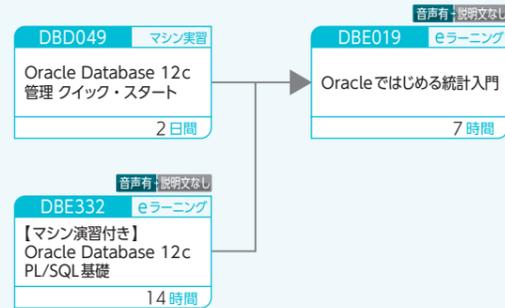
自習テキスト
自習書による
自己学習

休講
休講
今期の定期開催は
ありません

● Oracle Exadataを使用してデータベースを管理・運用する方



● Oracleを使用してデータ分析をする方



● ORACLE MASTER 資格取得をめざされている方



● Oracle全般の技術を修得したい方



音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

資格 オラクル認定技術者制度

オラクル認定技術者制度とは、日本オラクル社が世界で高い評価を受けているOracle製品に関する技術者を認定する制度です。認定を受けるためには、日本オラクル社の試験に合格する必要がある、合格した試験科目の組み合わせにより認定技術資格を取得できます。

詳しくは、日立インフォメーションアカデミーのwebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/license/oramas/index.html>



DBJ045 共通
データベース入門
—解説と操作体験—
 1日間

データベースの基礎知識やDBMSの基本機能、SQLによるデータ操作方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
 ・データベースとデータモデルを理解し説明できる。
 ・DBMSの基本機能を理解し説明できる。
 ・基本的なSQLを発行しリレーショナルデータベースを操作できる。

対象者
 データベースにアクセスするアプリケーションを開発する方、データベースを管理・運用する方。

前提知識
 特に必要としません。

内容
 1. データベースとデータモデル
 2. DBMSの基本機能
 (1) データ独立性
 (2) データの機密保護
 (3) トランザクション
 (4) 同時実行制御
 (5) 整合性制約
 (6) 障害回復
 (7) インデックス
 3. SQL概要
 (1) リレーショナルデータベースの基本操作
 (2) SQLの種類
 (3) SQL構文

備考
 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
 ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

DBE711 共通
<eラーニング>【ナビ機能付き】
データベース基礎
 平均8時間

データベースの基礎やDBMSの基本機能を学習します。

到達目標
 ・データベースとデータモデルを理解し説明できる。
 ・DBMSの基本機能を理解し説明できる。

対象者
 データベースにアクセスするアプリケーションを開発する方、データベースを管理、運用する方。

前提知識
 特に必要としません。

内容
 1. データベースの概念
 2. DBMS基本機能
 3. データモデル
 4. データベース設計
 5. 修了試験

備考
 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

DBJ063 共通
基礎から学ぶSQL
—現場で使える力をつける—
 2日間

リレーショナルデータベースを操作するためのSQL、トランザクションを制御するためのSQL、オブジェクトを作成するためのSQLの文法と機能を学習します。

到達目標
 ・リレーショナルデータベースの表の検索ができる。
 ・リレーショナルデータベースに行の追加、削除、値の更新ができる。
 ・SQLを用いてトランザクションの制御ができる。
 ・リレーショナルデータベース上にオブジェクトの作成ができる。

対象者
 SQLの知識を必要とする方。

前提知識
 「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
 1. リレーショナルデータベースとSQLの概要
 2. SQLによるデータ検索
 (1) 全件検索
 (2) 探索条件
 (3) 結合
 (4) 集合関数
 (5) グループ化
 (6) 並び替え
 (7) 集合演算
 (8) 副問合せ
 3. SQLによるデータ追加/更新/削除
 4. SQLによるトランザクションの制御
 5. SQLによるデータ定義
 (1) 表の定義
 (2) ビューの定義
 (3) インデックスの定義

備考
 ・このコースでは、ISO標準のSQL文法を解説します。
 ・演習ではPostgreSQLを用いますが、学習内容はいかなる製品でも使用可能です。

DBE703 共通
<eラーニング>【ナビ機能付き】
SQL入門
 平均6時間

リレーショナルデータベースを操作するためのSQLの基礎を学習します。

到達目標
 ・データ操作をするSQLについて、基本的な機能と文法を理解し説明できる。
 ・データ定義をするSQLについて、基本的な機能と文法を理解し説明できる。
 ・トランザクション制御をするSQLについて、基本的な機能と文法を理解し説明できる。

対象者
 リレーショナルデータベースを管理・運用する方、リレーショナルデータベースのアプリケーションを開発する方、リレーショナルデータベースの基礎知識があること。

前提知識
 特に必要としません。

内容
 1. リレーショナルデータベースとSQL
 2. データ操作文 (DML)
 (1) 検索処理
 (2) 追加処理
 (3) 更新処理
 (4) 削除処理
 3. データ定義文 (DDL)
 (1) 表の定義
 (2) 参照制約
 (3) ビュー表
 4. データ制御文 (DCL)
 (1) データの確定
 (2) データの取り消し
 5. 修了試験

備考
 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

DBE339 共通
<演習環境>SQL操作入門
 平均3時間 **New**

基本的なSQL文の構築や実行方法を、マシン操作を通して学習します。このコースは、クラウド上に演習環境をセットアップしたマシンと、演習題材を利用できるマシン演習環境サービスです。

到達目標
 SQLによる基本的なデータ操作ができる。

対象者
 基本的なSQL文の構築や実行方法を、マシン操作を通して学習したい方。

前提知識
 「【ナビ機能付き】SQL入門」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
 1. SQL実行環境
 2. SQL実行演習

備考
 ・このコースは、演習問題と、それに必要なデータ、マシン環境が利用できるマシン演習環境サービスです。
 ・このコースの学習要領・学習利用環境をご確認のうえ、お申し込みください。
https://www.hitachi-ia.co.jp/h_comp/exlearn/el_list.htm
 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

DBJ055 共通
速習! 1日でわかる
データベース設計の基礎
 レクチャ 1日間

具体的な業務を想定しながら、リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に必要な基礎知識を、机上演習を通して学習します。

到達目標
 リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に関する基礎的な手法を理解し説明できる。

対象者
 リレーショナルデータベースの設計に関する知識を必要とする方。

前提知識
 「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
 1. データベース設計の概要
 2. ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計
 (1) ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計の流れ
 (2) 正規化
 (3) ER図の作成
 (4) 確認作業—トップダウンアプローチの観点からの確認—
 3. データベース物理設計
 (1) テーブル関連図とテーブル定義書の作成
 (2) 領域配置図の作成
 4. データベース性能設計
 (1) インデックス設計

自習テキスト 自習書による自己学習
休講 休講 今期の定期開催はありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

DBE710	共通
 <eラーニング>【ナビ機能付き】データベース概説 入門・設計・SQL編 平均12時間	
データベースの入門として、データベース分野全般の概要を学習します。さらに、データベース設計、およびSQLを用いたデータベース操作について、具体的な例を用いて学習します。	
到達目標 ・データベース全般の基礎的な知識・技術について理解ができる。・ニーズに応じたデータベースを適切に設計し、構築したデータベース上でデータを操作できる。	
対象者 データベースのデータを活用するにあたり、データベース分野全般の基礎知識について効率よく学習したい方。	
前提知識 特に必要としません。	
内容 1. データベースの基礎知識 2. データベース設計 3. SQLの操作法 4. 修了試験	
備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。	

DBE708	共通
 <eラーニング>【ナビ機能付き】速習！1日でわかるデータベース設計の基礎 平均6時間	
具体的な業務を想定しながら、リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に必要な基礎知識を、机上演習を通して学習します。	
到達目標 リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に関する基礎的な手法を理解し説明できる。	
対象者 リレーショナルデータベースの設計に関する知識を必要とする方。	
前提知識 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。	
内容 1. データベース設計の概要 2. ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計 (1)ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計の流れ (2)正規化 (3)ER図の作成 (4)確認作業-トップダウンアプローチの観点からの確認- 3. データベース物理設計 (1)テーブル関連図とテーブル定義書の作成 (2)領域配置図の作成 4. データベース性能設計 (1)インデックス設計 5. 修了試験	
備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が附加されます。	

DBJ054	共通
 データベース設計技法と演習 2日間	
演習を通し、データベース論理構造の適切な設計手順について学習します。	
到達目標 ・データベース設計技法について理解し説明できる。 ・データベースの論理構造の設計ができる。	
対象者 データベースシステムの設計・構築をする方、または予定している方。	
前提知識 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。	
内容 1. データモデル (1)データモデルとは (2)ERモデル (3)リレーショナルモデル 2. 正規化 (1)正規化のねらい (2)正規化理論の前提知識 (3)正規化手順 3. 論理構造の設計手順 (1)論理構造の設計手順概要 (2)トップダウンアプローチ例題 (3)ボトムアップアプローチ例題 4. RDBMSへの実装および性能を考慮した変形操作 (1)RDBMSへ実装可能な形式への変形 (2)非正規化	
備考 このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。	

DBJ090	共通
 データ分析に使えるSQL -SQLでビッグデータに立ち向かう- 1日間	
高度なSQL文やSQL分析関数を使用して、データベースに格納されたデータを分析する手法を、マシン実習を通して学習します。	
到達目標 ・SQLによるデータ分析の概要を説明できる。 ・高度なSQL文・SQL分析関数の文法を理解し説明できる。 ・高度なSQL文・SQL分析関数を利用したデータ集計・分析を理解し説明できる。	
対象者 SQLを用いたデータ分析手法を修得したい方。	
前提知識 「基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。	
内容 1. データ分析概要 2. 高度なSQL文 (1)CASE式 (2)相関副問合せ 3. SQL分析関数 (1)ウィンドウ関数 (2)レポート関数 (3)LAG/LEAD関数 (4)中間データの加工-副問合せと共通表式(WITH句)-	
備考 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。	

DBE704	共通
 <eラーニング>【ナビ機能付き】OLTP概説 平均6時間	
OLTP(オンライントランザクション処理)の基本的な概念や機能、および分散トランザクションシステムを実現するために必要なソフトウェアとAPIを規定した、DTPモデルについて学習します。	
到達目標 ・トランザクションのACID特性について理解し、説明できる。 ・さまざまなOLTPシステム構成について理解し、説明できる。 ・DTPモデルの各種ソフトウェアの役割とAPIについて理解し、説明できる。	
対象者 オンライントランザクションシステムを構築する方。分散トランザクションやDTPモデルの知識を必要とする方。特に必要としません。	
前提知識 1. トランザクション処理とは 2. トランザクション処理の変遷 3. OLTPの特徴 4. OLTPのシステム要件 5. OLTPのシステム構成 6. The Open Group DTPモデル 7. OLTPシステムの基本機能 8. 修了試験	
備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が附加されます。	

DBE706	共通
 <eラーニング>【ナビ機能付き】データウェアハウス概説 平均6時間	
データウェアハウスの概念やデータウェアハウスの設計・構築方法および利用方法の基礎を学習します。	
到達目標 ・データウェアハウスの概念を理解し説明できる。 ・データウェアハウスの利用方法について理解し説明できる。 ・データウェアハウスに適する設計方法を理解し説明できる。DSSシステムの管理者として、基本的な知識を必要とする方。	
対象者 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。	
前提知識	
内容 1. データウェアハウス登場の背景 2. 意思決定支援システムにおけるデータウェアハウス 3. データウェアハウスとは 4. OLAPとデータマイニング 5. 修了試験	
備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が附加されます。	

DBE707	共通
 <eラーニング>【ナビ機能付き】データベース設計基礎 平均6時間	
データベース設計手順についての基礎理論を、e-ラーニングでの演習を通して学習します。	
到達目標 ・基本的なデータベース設計手順を理解し説明できる。 ・設計手順に基づいて、簡単なデータベース設計ができる。	
対象者 リレーショナルデータベースの設計の知識を必要とする方。	
前提知識 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。	
内容 1. データベース設計概要 2. ERモデルとER図 3. 正規化 4. ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計例題 5. トップダウンアプローチによるデータベース論理設計例題 6. 修了試験	
備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が附加されます。	

DBE304	共通
 <eラーニング>【マシン演習付き】SQLによる標準データベースプログラミング-体感！埋め込みSQL- 平均6時間	
埋め込みSQLによるアプリケーションを開発するための基礎知識について、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。	
到達目標 埋め込みSQLを用いてデータベースにアクセスするプログラムを開発できる。	
対象者 埋め込みSQLを用いてDBMSにアクセスするアプリケーションを開発する方。	
前提知識 SQL、RDBMSの基礎知識があり、かつC言語の基本的な文法に関する知識があること。	
内容 1. SQLの基礎 2. 埋め込みSQLを用いたAP作成 3. 修了試験	
備考 【お申し込み前に必ずご確認ください】 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf ・操作演習用テキストは、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、旧「演習で学ぶ埋め込みSQLプログラミング」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済の方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。	

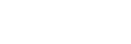
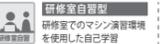
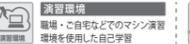
DBJ067	共通
 脱初心者のためのSQL -SQLでここまでできる- 1日間	
ショッピングサイトを題材にして、システムに実装済みのSQL文を、性能、可読性、保守性の観点から改善することにより、CASE式や自己結合といった、高度なSQL文の使いどころを学習します。	
到達目標 ・EXISTS述語の使用方法を理解し説明できる。 ・NOT EXISTS述語の使用方法を理解し説明できる。 ・相関副問合せの使用方法を理解し説明できる。 ・自己結合の使用方法を理解し説明できる。 ・CASE式の使用方法を理解し説明できる。	
対象者 高度なSQL文の知識を修得したい方。	
前提知識 「基礎から学ぶSQL-現場で使える力をつける-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。	
内容 1. 演習環境概要 2. 高度なSQL文 (1)EXISTS述語を使用した存在チェック (2)相関副問合せを使用したランキング表示 (3)分析関数を使用したランキング表示 (4)CASE式を使用したSELECT句での条件分岐 (5)自己結合を使用した組み合わせ表示 (6)NOT EXISTS述語と相関副問合せを使用した更新処理	
備考 演習ではPostgreSQLを用いますが、学習内容はいかなる製品でも使用可能です。 ・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。	

DBE705	共通
 <eラーニング>【ナビ機能付き】データウェアハウスにおけるデータモデリング解説 平均6時間	
基幹系データベース設計との相違点をふまえながら、データウェアハウスの設計手順について学習します。	
到達目標 ・トランザクションのACID特性について理解し説明できる。 ・様々なOLTPシステム構成について理解し説明できる。 ・DTPモデルの各種ソフトウェアの役割とAPIについて理解し説明できる。	
対象者 データウェアハウスの設計・構築を行うための知識を必要とする方。	
前提知識 「【ナビ機能付き】データウェアハウス概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。	
内容 1. データウェアハウス概要 2. 基幹系データベース設計との相違点 3. データウェアハウスの概念設計 4. 修了試験	
備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が附加されます。	

DBE337	SQL Server
 <eラーニング>【マシン演習付き】SQL Server 2016 データベース管理 平均14時間	
SQL Serverのデータベースとしての基本機能、およびSQL Serverを用いたデータベースシステムの構築方法について学習します。	
到達目標 ・SQL Serverのデータベース機能を理解し説明できる。 ・SQL Serverを用いたデータベースシステムを構築できる。 ・SQL Serverのデータベースの障害から回復できる。	
対象者 ・SQL Serverを管理する方。 ・アプリケーション開発者としてSQL Serverの基本的な知識を必要とする方。	
前提知識 「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。	
内容 1. SQL Server 2016概要 2. インストールと環境設定 3. データベースファイルの管理 4. データベースコンポーネントの管理 5. ユーザーの管理 6. バックアップと障害回復 7. 修了試験	
備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。	

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル



DBE316	Oracle
	<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c 新機能 平均35時間
	Oracle Database 12cの新機能と強化された機能について学習します。Oracle Database 12cによって管理性、セキュリティ、およびパフォーマンスが向上する仕組みを学習します。
到達目標	・Oracle Database 12cの新機能について説明できる。 ・Oracle Database 12cで強化された機能について説明できる。 ・Oracle Database 12cのパフォーマンスについて説明できる。
対象者	Oracle Database 12cを運用する方、Oracle Database 12cを管理する方。
前提知識	Oracle Database 11gに関する十分な知識があること。
内容	1. Oracle Database 12cの各種ツールの新機能 2. Oracle Database 12cの監査・権限・監視機能の拡張 3. Oracle Database 12cのパフォーマンスの拡張 4. Oracle Database 12cのSQL機能拡張
備考	右ページ右下※1をご参照ください。

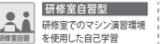
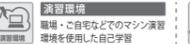
DBD048	Oracle
	Oracle Database 12c 入門 SQL基礎I 3日間
	リレーショナル・データベースの概念、SQLによるデータ操作およびスキーマ・オブジェクトの作成方法について学習します。
到達目標	・SQL関数 (TO_CHAR、SUBSTR、SUMなど) でデータを加工して取得できる。 ・複数の表の結合や、副問合せでデータを取得できる。 ・INSERT文、UPDATE文、DELETE文を使用できる。 ・表を作成、管理できる。
対象者	Oracleデータベースを使用し、かつSQL文の知識を必要とする方、ORACLE MASTER Bronze Oracle Databaseの資格取得をめざす方。
前提知識	「データベース入門-解説と操作体験-」コース、または【【ナビ機能付き】データベース基礎】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. はじめに 2. SQL SELECT文を使用したデータの取得 3. データの制限とソート 4. 単一行関数を使用した出力のカスタマイズ 5. 変換関数と条件式の使用 6. グループ関数を使用した集計データのレポート 7. 結合を使用した複数の表のデータの表示 8. 集合演算子 9. DML文を使用した表の管理 10. データ定義言語の概要
備考	・このコースは、Oracle社認定コースです。 ・このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。 ・コース実施およびメール送信に必要となる受講者の個人情報情報をOracle社へ提供いたします。ダウンロード時に必要な情報は、ご受講前(開始日の約1週間前)にOracle社よりご受講者の方へメールにてご連絡します。 ・このコースは、9:30~17:30の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。

DBE333	Oracle
	<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c SQL基礎II 平均14時間
	スキーマ・オブジェクトの管理、データ・ディクショナリ・ビューの使用法、および応用的な問い合わせやデータセットの操作や正規表現を使用など効率的なSQLの記述方法を学習します。
到達目標	・スキーマオブジェクトの管理やデータディクショナリ・ビューを使用することができる。 ・副問い合わせを活用して効率的な問い合わせを行うことができる。 ・正規表現を使用した複雑な問い合わせを行うことができる。
対象者	Oracle Database 12cを使用したアプリケーションを開発する方。
前提知識	Oracle Database 12cに関する基本的な知識があること、および基本的なSQLに関する知識があること。
内容	1. データ・ディクショナリ・ビューの概要 2. 順序、シノム、索引の作成 3. ビューの作成 4. スキーマ・オブジェクトの管理 5. 副問い合わせを使用したデータの取得 6. 副問い合わせを使用したデータの操作 7. ユーザーアクセスの制御 8. データの操作 9. 異なるタイム・ゾーンのデータの管理
備考	右ページ右下※1をご参照ください。

DBD049	Oracle
	Oracle Database 12c 管理 クイック・スタート 2日間
	Oracleデータベースのインストールから環境構築、記憶域の管理、バックアップ・リカバリなど、データベース管理者の第一歩となる基礎的な技術を、マシン演習を通して学習します。
到達目標	・Oracleデータベースをインストールしデータベースを作成できる。 ・Enterprise Manager Database Expressを用いたデータベース記憶域構造、ユーザーおよびセキュリティの管理ができる。 ・Oracle SQL Developerを用いてスキーマ・オブジェクトの作成と管理ができる。 ・データベースの監視、およびアドバイザの使用について説明できる。
対象者	Oracleデータベースを運用する方、ORACLE MASTER Bronze Oracle Databaseの資格取得をめざす方。
前提知識	「Oracle Database 12c 入門 SQL基礎I」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. Oracleデータベース管理の概要 2. データベースのインストールおよび作成 3. Oracle Enterprise Manager Database ExpressとSQLベース管理ツールの使用 4. Oracleネットワーク環境の構成 5. Oracleインスタンスの管理 6. データベース記憶域構造の管理 7. ユーザーおよびセキュリティの管理 8. スキーマ・オブジェクトの管理 9. バックアップおよびリカバリの実行 10. データベースの監視およびアドバイザの使用 11. ソフトウェアの管理
備考	・このコースは、Oracle社認定コースです。 ・このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。 ・コース実施およびメール送信に必要となる受講者の個人情報情報をOracle社へ提供いたします。ダウンロード時に必要な情報は、ご受講前(開始日の約1週間前)にOracle社よりご受講者の方へメールにてご連絡します。 ・このコースは、9:30~17:30の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。

DBD050	Oracle
	Oracle Database 12c 管理 ネット・ステップ 3日間
	データベースの環境構築、オブジェクト管理、セキュリティ管理、バックアップ・リカバリを行う際に必要な知識や操作方法をより深く学習します。
到達目標	・Oracle Databaseインスタンスの管理ができる。 ・記憶域構造の作成および管理ができる。 ・Oracleネットワーク環境の構成ができる。 ・データベースの監視とパフォーマンスの管理ができる。 ・バックアップの取得と簡単な障害からのリカバリができる。
対象者	Oracleデータベースを運用する方、ORACLE MASTER Silver Oracle Databaseの資格取得をめざす方。
前提知識	「Oracle Database 12c 管理 クイック・スタート」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. Oracle Databaseアーキテクチャの確認 2. データベース・インスタンスの管理 3. Oracleネットワーク環境の構成 4. ユーザー・セキュリティの管理 5. データベース記憶域構造の管理 6. 領域の管理 7. データ同時実行性の管理 8. Oracle Database監査の実装 9. バックアップおよびリカバリ 10. データの移動 11. データベースのメンテナンス 12. パフォーマンスの管理
備考	・このコースは、Oracle社認定コースです。 ・このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。 ・コース実施およびメール送信に必要となる受講者の個人情報情報をOracle社へ提供いたします。ダウンロード時に必要な情報は、ご受講前(開始日の約1週間前)にOracle社よりご受講者の方へメールにてご連絡します。 ・このコースは、9:30~17:30の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。

DBE332	Oracle
	<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c PL/SQL基礎 平均14時間
	基本的なPL/SQLプログラミングを学習します。制御文、明示カーソル、例外処理、ストアド・プロシージャ、ファンクションの概要など、プログラムを作成するうえで必須の内容について学習します。
到達目標	・PL/SQLのプログラミング構造を理解し作成できる。 ・効率的に実行されるPL/SQL無名ブロックを作成できる。 ・データベースに接続するPL/SQLコードの記述ができる。 ・実行時エラーの処理を理解し活用できる。
対象者	PL/SQLを使用しOracleデータベースのアプリケーションを開発する方。
前提知識	「Oracle Database 12c 入門 SQL基礎I」コースを修了しているか、同等の知識があること。
内容	1. はじめに 2. PL/SQLの概要 3. PL/SQL変数の宣言 4. 実行文の記述 5. PL/SQLブロック内でのSQL文の使用 6. 制御構造の記述 7. コンポジット・データ型処理 8. 明示カーソルの使用 9. 例外の処理 10. ストアド・プロシージャおよびストアド・ファンクションの作成
備考	右ページ右下※1をご参照ください。



DBE309	Oracle
	<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c PL/SQLプログラム開発 平均21時間
	基礎的なPL/SQL知識をお持ちの開発者向けのコースです。ファンクション、パッケージおよびデータベース・トリガーなどのPL/SQLストアド・プロシージャの開発・運用・管理を学習します。
到達目標	・ストアド・プロシージャおよびファンクションを作成できる。 ・PL/SQLパッケージの設計による関連構造のグループ化および包含を説明できる。 ・PL/SQLサブプログラム間の依存関係を管理できる。
対象者	PL/SQLを使用してOracleデータベースのアプリケーションを開発する方。
前提知識	「Oracle Database 12c PL/SQL基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. はじめに 2. ストアド・プロシージャの作成 3. ファンクションの作成およびサブプログラムのデバッグ 4. パッケージの作成 5. パッケージの使用 6. アプリケーション開発でのオラクル社が提供するパッケージの使用 7. 動的SQLの使用 8. PL/SQLコードの設計上の考慮事項 9. トリガーの作成 10. 複合トリガー、DDLトリガーおよびイベント・データベース・トリガーの作成 11. PL/SQLコンパイルの使用 12. 依存性の管理
備考	本ページ右下※1をご参照ください。

DBD052	Oracle
	Oracle Database 12c SQLチューニングワークショップ 3日間
	自動SQLチューニング・コンポーネント、EXPLAIN、SQL Trace、TKPROF、SQL*Plus AUTOTRACE等のOracleの診断ツール・機能を用い、SQLをチューニングするための知識やノウハウについて学習します。
到達目標	・効率の悪いSQL文を識別できる。 ・SQL文を最適に実行するために改良できる。 ・アプリケーション・トレースを使用できる。 ・オプティマイザ・ヒントを効果的に使用できる。
対象者	Oracleデータベースにおいて、SQL文のチューニングに対する知識を必要とする方。
前提知識	「Oracle Database 12c 入門 SQL基礎I」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. Oracle Databaseアーキテクチャの検討 2. SQLチューニングの概要 3. オプティマイザの概要 4. オプティマイザ演算子 5. 実行計画の解釈 6. クエリ・スタディ: スター型変換 7. オプティマイザ統計 8. バインド変数の使用 9. オプティマイザ・ヒントの使用 10. アプリケーション・トレース 11. SQLチューニングの自動化
備考	・このコースは、Oracle社認定コースです。 ・このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。 ・コース実施およびメール送信に必要となる受講者の個人情報情報をOracle社へ提供いたします。ダウンロード時に必要な情報は、ご受講前(開始日の約1週間前)にOracle社よりご受講者の方へメールにてご連絡します。 ・このコースは、9:30~17:30の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。

DBE308	Oracle
	<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c バックアップ・リカバリ 平均35時間
	バックアップおよびリカバリ手順の適切な計画の立案について、さまざまなシナリオで学習します。要件の評価および適切なバックアップ・リカバリ計画の立案に役立つ知識も学習できます。
到達目標	・適切なバックアップおよびリカバリ手順の立案ができる。 ・リカバリ手順を使用したメディア障害からのリカバリができる。 ・フラッシュバック・テクノロジーを使用したバックアップおよびリカバリ手順の補完ができる。
対象者	Oracle Database 12cのバックアップリカバリに携わる方。
前提知識	「Oracle Database 12c 管理 ネット・ステップ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. はじめに 2. リカバリ可能性の構成 3. RMANリカバリ・カタログの使用 4. バックアップ計画および用語 5. バックアップの実行 6. バックアップの向上 7. RMANによる暗号化バックアップの使用 8. 障害の診断 9. リストアおよびリカバリの概要 10. リカバリの実行(パート1) 11. リカバリの実行(パート2) 12. RMANおよびOracle Secure Backup 13. フラッシュバック・テクノロジーの使用 14. フラッシュバック・データベース 15. データの転送 16. Point-in-Timeリカバリの実行 17. データベースの複製 18. RMANパフォーマンスおよびチューニング 19. バックアップおよびリカバリ・ワークショップ
備考	本ページ右下※1をご参照ください。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

DBE315 Oracle
<div><div><div><div><div></div><div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 11g R2 管理 ワークショップ II</div></div></div><div><div><div></div><div>平均35時間</div></div></div></div></div>
<p>バックアップ・リカバリアーキテクチャおよびテックツクや、メモリーを効果的に管理する方法、パフォーマンスの評価およびチューニング・タスクを行う方法について学習します。</p>
到達目標 <ul style="list-style-type: none">Recovery Managerを使用したDBのBackUpおよびリカバリができる。 最適なリカバリのためのOracle Databaseの構成ができる。 データベースに適した柔軟なメモリー構成が使用できる。 リソースを適切に割り当てるためのDB・インスタンスの構成ができる。
対象者 <p>Oracleデータベースを運用する方、ORACLE MASTER Gold Oracle Database 11gの資格取得をめざす方。</p>
前提知識 <p>「Oracle Database 11g 管理 クイック・スタート」および「Oracle Database 11g 管理 ネットワーク・ステップ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。</p>
内容 <ol style="list-style-type: none">Oracle Databaseの主要な概念およびツール リカバリ可能性のための構成 Recovery Managerのリカバリ・カタログの使用
備考 <ul style="list-style-type: none">このコースは、旧「Oracle Database 11g R2 管理 ワークショップ II」コース（集合研修）と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。 右ページ右下※1をご参照ください。

DBE319 Oracle
<div><div><div><div><div></div><div><eラーニング>【マシン演習付き】Exadata Database Machine 管理 ワークショップ</div></div></div><div><div><div></div><div>平均35時間</div></div></div></div></div>
<p>Exadata Database Machine(X3/X4/X5対応) のさまざまな機能と構成、およびExadata Storage Serverによって実現される独自の機能に重点を置いて学習します。</p>
到達目標 <p>ExaDataのベスト・プラクティスを理解し、実装することによってExadata Database Machineの効率性と効果を最大化する事ができる。</p>
対象者 <p>Exadata Database Machine(X3/X4/X5対応) を管理する方。</p>
前提知識 <p>Clusterware, ASM および RAC を含む、Oracle Database 12cに関する十分な知識があること、および、Unix/Linuxの実用的な知識があること。</p>
内容 <ol style="list-style-type: none">Exadata Storage Serverの構成 I/Oリソース管理 データベース・パフォーマンスを最適化するための推奨事項 スマート・スキャンの使用 統合の推奨ストレージ構成 Exadata Database Machine へのデータベースの移行 Oracle DBFS を使用したバルク・データ・ロード Exadata Database Machine のプラットフォーム監視: はじめに Exadata Database Machineを監視するための Enterprise Manager Cloud Control 12cの構成 Exadata Storage Servers の監視 データベース・サーバーの監視 InfiniBandネットワークの監視 その他のExadata Database Machineコンポーネントの監視 その他の役立つ監視ツール バックアップとリカバリ Exadata Database Machineのメンテナンス・タスク Exadata Database Machineのパッチ適用
備考 <p>右ページ右下※1をご参照ください。</p>

DBE324 Oracle
<div><div><div><div><div></div><div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c セキュリティ</div></div></div><div><div><div></div><div>平均35時間</div></div></div></div></div>
<p>Oracleの認証、権限とロールの管理に加えて、Oracle Label Security、データベース暗号化、およびOracle Data Reduction などを使用した機密データを保護する方法を学習します。</p>
到達目標 <p>OracleのOracle Label Security、データベース暗号化、およびOracle Data Reductionなどを使用した、機密データ保護の方法を理解できる。</p>
対象者 <p>Oracle Database 12cを運用する方、Oracle Database 12cを管理する方。</p>
前提知識 <p>Oracle Database 12cに関する十分な知識があること。</p>
内容 <ol style="list-style-type: none">セキュリティ要件について セキュリティ・ソリューションの選択 基本的なデータベース・セキュリティの実装 ネットワーク上のデータの保護 ユーザーの基本認証および厳密認証の資料 グローバル・ユーザー認証の構成 プロキシ認証の使用 権限とロールの使用 権限分析の使用 アプリケーション・コンテキストの使用 仮想プライベート・データベースの実装 Oracle Label Security の実装 データのリダクション Oracle データ・マスキングの使用 透過的機密データ保護の使用 暗号化の概念とソリューション DBMS_CRYPTO パッケージによる暗号化 透過的データ暗号化の使用 データベース・ストレージのセキュリティ 統合監査の使用 ファイイングレイン監査の使用
備考 <p>右ページ右下※1をご参照ください。</p>

DBE321 Oracle
<div><div><div><div><div></div><div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c ASM 管理</div></div></div><div><div><div></div><div>平均14時間</div></div></div></div></div>
<p>Oracle ASMのアーキテクチャやACFSの管理方法について、Oracle Database 12cでの機能強化点を含めて学習します。</p>
到達目標 <ul style="list-style-type: none">Oracle ASM や ACFS の管理を行うことができる。 Flex ASM を構成することができる。 ACFS 監査やACFS暗号化、高可用性NFSなど Oracle Cloud File System の高度なデータ・サービスについて説明できる。
対象者 <p>Oracle Database 12cを管理する方。</p>
前提知識 <p>Clusterware, ASM および RAC を含む、Oracle Database 12cに関する十分な知識があること。</p>
内容 <ol style="list-style-type: none">Oracle ASM インスタンスの管理 Flex ASM ASM ディスク・グループの管理 ASM ファイル、ディレクトリおよびテンプレートの管理 Oracle Cloud File System の管理
備考 <p>本ページ右下※1をご参照ください。</p>

DBE331 Oracle
<div><div><div><div><div></div><div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c RAC管理</div></div></div><div><div><div></div><div>平均28時間</div></div></div></div></div>
<p>Oracle Database 12c RAC アーキテクチャの理解、RAC データベースを構成方法、マルチテナント環境での RAC データベースの管理に加えて、バックアップ・リカバリや RAC 環境での高可用性について学習します。</p>
到達目標 <ul style="list-style-type: none">RAC データベース環境を構成できる。 RAC データベースの管理を行うことができる。 RAC データベースのバックアップ・リカバリを行うことができる。 RAC データベースの高可用性機能について説明できる。
対象者 <p>Oracle Database 12c RACデータベースを管理する方。</p>
前提知識 <p>Clusterware, ASM および RAC を含む、Oracle Database 12cに関する十分な知識があること。</p>
内容 <ol style="list-style-type: none">Oracle RAC アーキテクチャ Oracle RAC の構成と管理 バックアップ・リカバリ RAC の監視とチューニング RAC 環境での高可用性 RAC One Note
備考 <p>本ページ右下※1をご参照ください。</p>

DBE323 Oracle
<div><div><div><div><div></div><div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c Database Vault</div></div></div><div><div><div></div><div>平均14時間</div></div></div></div></div>
<p>Oracle Database Vaultを有効化し、レルム、ルール・セット、コマンド・ルール、セキュア・アプリケーション・ロールを用いてデータベース・インスタンスのセキュリティを管理する方法を学習します。</p>
到達目標 <p>Oracle Database Vaultを使ったデータベースのセキュリティ管理ができる。</p>
対象者 <p>Oracle Database 12cを運用する方、Oracle Database 12cを管理する方。</p>
前提知識 <p>SQLおよびPL/SQLに対する基本的な知識があること。</p>
内容 <ol style="list-style-type: none">Database Vaultの概要 Database Vaultの構成 権限の分析Configuring Realms レルムの構成 ルール・セットの定義 コマンド・ルールの構成 ルール・セットの拡張 セキュア・アプリケーション・ロールの構成 Database Vaultレポートによる監査 ベスト・プラクティスの実装
備考 <p>右ページ右下※1をご参照ください。</p>

DBE325 Oracle
<div><div><div><div><div></div><div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c マルチテナント・アーキテクチャ</div></div></div><div><div><div></div><div>平均14時間</div></div></div></div></div>
<p>Oracle Database 12c の新機能であるマルチテナント・アーキテクチャの概念を学習します。</p>
到達目標 <p>マルチテナント・コンテナ・データベースの作成、管理ができる。</p>
対象者 <p>Oracle Database 12cを管理する方、Oracle Database 12cを設計する方。</p>
前提知識 <p>Oracle Database 12c, Linux OSに関する十分な知識があること。</p>
内容 <ol style="list-style-type: none">コンテナおよびプラグابل・データベースのアーキテクチャ CDBおよびPDBの作成 CDBおよびPDBの管理 CDBおよびPDBの記憶域の管理 CDBおよびPDBのセキュリティの管理 可用性の管理 パフォーマンスの管理 その他
備考 <p>右ページ右下※1をご参照ください。</p>

DBE322 Oracle
<div><div><div><div><div></div><div><eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c Clusterware 管理</div></div></div><div><div><div></div><div>平均28時間</div></div></div></div></div>
<p>一般的なクラスタの概念と Oracle Clusterware のアーキテクチャについて学習します。</p>
到達目標 <ul style="list-style-type: none">Grid Infrastructure をインストールし、標準的なクラスタおよび Oracle Flex Cluster を構成できる。 クラスタ内のノード管理について理解し、ポリシー・ベースのクラスタ管理を行うことができる。
対象者 <p>Oracle Database 12cを管理する方。</p>
前提知識 <p>Clusterware, ASM および RAC を含む、Oracle Database 12cに関する十分な知識があること。</p>
内容 <ol style="list-style-type: none">Oracle Clusterware のアーキテクチャ Grid Infrastructure のインストール クラスタ・ノードの管理 従来の Clusterware の管理 ポリシーベースのクラスタ管理 Oracle Clusterware のトラブルシューティング アプリケーションの高可用性
備考 <p>右ページ右下※1をご参照ください。</p>

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

※1

- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf
- このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。
- このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日内の連続した6日間です。
- 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。
- 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- ご利用最終日は、16:00まで利用可能です。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder プラトフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

DBE019 Oracle

<eラーニング> Oracleではじめる統計入門

平均8時間

Oracle製品ユーザを対象に、データベースに格納されている膨大なデータの活用方法や、統計に関する基本的な知識および分析関数を活用したデータ分析を、レクチャ形式で学習します。

到達目標

- Big Dataを取り巻く環境を説明できる。
- 基本的な統計手法について説明できる。
- Oracle Databaseにおけるデータ分析ができる。

対象者

Oracleデータベースを運用する方、Oracleデータベースのアプリケーション開発やデータ分析業務に携わる方。

前提知識

「Oracle Database 11g 入門 SQL基礎I」、「Oracle Database 11g 管理 クイック・スタート」および「Oracle Database 11g PL/SQL基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- Big Dataを取り巻く環境
- 統計概要
- 平均
- 度数分布と標準偏差
- 散布図とバブル・チャート
- 時系列分析 (傾向分析)
- 多次元分析
- Oracle Databaseで提供される分析関数

備考

- このコースは、日本オラクル(株)が提供するダウンロード可能な電子教材「eKit」(PDF)を使用します。
- このコースのサービス有効期間は90日間です。
- このコースは、旧「Oracleではじめる統計入門」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- 学習開始日10営業日前を過ぎるキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- 本ページ右下※2をご参照ください。

DBE334 Oracle

<eラーニング>資格試験準備セミナー ORACLE MASTER Bronze 12c

平均8時間

ORACLE MASTER Bronze Oracle Database 12c 資格試験(12c SQL、Bronze DBA 12c)の頻出トピックを模擬問題とインストラクターによるポイント解説で学習します。

到達目標

ORACLE MASTER Bronze Oracle Database 12c 資格試験の受験準備ができる。

対象者

Oracle MASTER Bronzeの資格取得をめざす方。

前提知識

「Oracle Database 12c 入門 SQL基礎I」コースを修了されているか、同等の知識があること。

内容

- ORACLE MASTER Bronze試験の受験準備
 - 12c SQL
 - Bronze DBA 12c

備考

- このコースのサービス有効期間は180日間です。
- 学習開始日10営業日前を過ぎるキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- 本ページ右下※2をご参照ください。

DBE335 Oracle

<eラーニング>資格試験準備セミナー ORACLE MASTER Silver 12c

平均8時間

ORACLE MASTER Silver Oracle Database 12c 資格試験の頻出トピックを模擬問題とインストラクターによるポイント解説で学習することができます。

到達目標

ORACLE MASTER Silver Oracle Database 12c 資格試験のポイントを理解できる。

対象者

ORACLE MASTER Silver 12c認定資格取得をめざす方。

前提知識

ORACLE MASTER Bronze 12cの試験範囲に関する十分な知識があること。

内容

- インストール、アップグレード
 - Oracle Grid Infrastructure およびOracle データベースのインストールとデータベースの作成
 - Oracle データベースのアップグレード
- Oracle Databaseの管理
 - インスタンスの管理、Oracleネットワーク環境の構成
 - ユーザー・セキュリティの管理、同時実行性の管理
 - データベース記憶域構造の管理
 - バックアップ・リカバリ、データ移動、リソース・マネージャ、Oracle Schedulerの使用
 - データベースのメンテナンス、パフォーマンスの管理

備考

- このコースのサービス有効期間は180日間です。
- 学習開始日10営業日前を過ぎるキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- 本ページ右下※2をご参照ください。

DBE336 Oracle

<eラーニング>資格試験準備セミナー ORACLE MASTER Gold 12c

平均8時間

ORACLE MASTER Gold Oracle Database 12c 資格試験の頻出トピックを模擬問題とインストラクターによるポイント解説で学習することができます。

到達目標

ORACLE MASTER Gold Oracle Database 12c 資格試験のポイントを理解できる。

対象者

ORACLE MASTER Gold 12c認定資格取得をめざす方。

前提知識

ORACLE MASTER Silver 12cの試験範囲に関する十分な知識があること。

内容

- バックアップとリカバリ
 - Oracle データ保護ソリューション
 - 基本的なバックアップとリカバリの実行
 - リカバリ能力の構成
 - RMANリカバリ・カタログの使用
 - バックアップ計画の実装・実行
 - RMAN バックアップ・オプションの設定および非データベース・ファイルのバックアップの作成
 - RMAN 暗号化バックアップの使用
 - 障害の診断
 - リストアおよびリカバリ操作の実行・RMAN を使用したファイルのリカバリ
 - Oracle Secure Backup の使用
 - フラッシュバック・テクノロジーの使用・フラッシュバック・データベースの使用
 - データの転送
 - データベースの複製
 - RMAN の操作の監視と調整
- プラガブル・データベースとコンテナ・データベースの管理
 - マルチテナント・コンテナ・データベースとプラガブル・データベースのアーキテクチャと作成
 - CDB と PDB の記憶域の管理・セキュリティの管理
 - 可用性の管理
 - パフォーマンスの管理
 - データの移動、セキュリティ操作の実行、他のOracle製品との統合

備考

- このコースのサービス有効期間は180日間です。
- 学習開始日10営業日前を過ぎるキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- 本ページ右下※2をご参照ください。

DBE340 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Unlimited Product Learning Subscription

平均8時間

Oracle社が提供する、各種のOracleトレーニング・オンデマンド及び関連する動画などのコンテンツを期間中自由に学習します。

到達目標

担当するOracleデータベース技術分野についての実践的な知識・技術について理解できる。

対象者

Oracleデータベース製品について、全般的な技術力の向上をめざす方。

前提知識

特に必要としません。ただし、コンテンツごとに前提知識が設定されている場合があります。

内容

- 各種のOracle トレーニング・オンデマンドのコース
- 各種の関連する技術についての動画

備考

- 提供されているコンテンツの種類や詳細につきましては、以下のページをご覧ください。
http://education.oracle.com/pls/web_prod-plq-dad/db_pages.getpage?page_id=1034
- このコースのサービス有効期間は365日間です。
- 学習開始日10営業日前を過ぎるキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- 本ページ右下※2をご参照ください。

※2

- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。
<http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf>
- 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- ご利用最終日は、16:00まで利用可能です。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

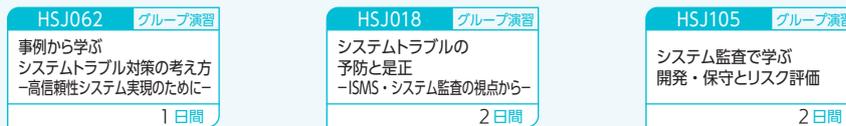
IT戦略・IS企画

IT戦略・企画立案やプロセス評価、BA(Business Analysis)に関する知識や手法が修得できます。

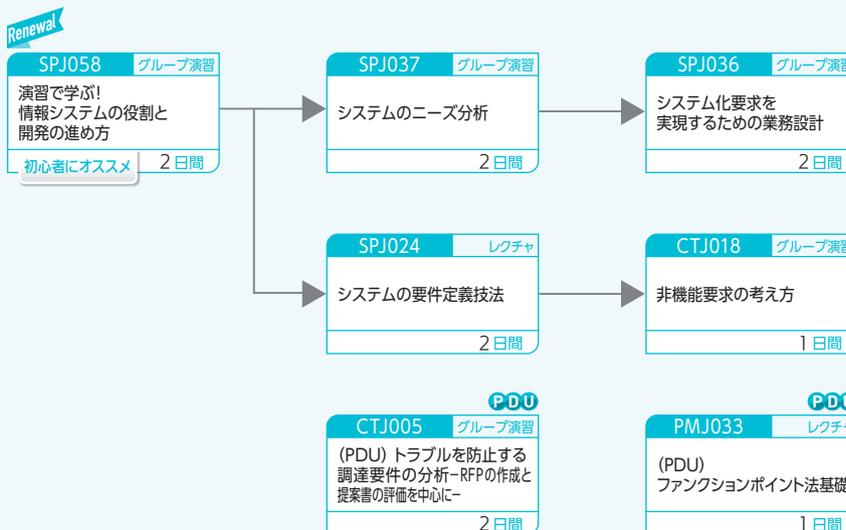
● 経営戦略／IT戦略の立案・強化をお考えの方



● 内部統制の向上・強化をお考えの方



● システム企画／要件定義に携わる方



音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。



自習テキスト
自習による
自己学習

休講

休講
今期の定期開催は
ありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

日立製品

JP1

uCosminexus
Application Server

HiRDB

OpenTP1

VOS3/VOS1/
VOSK

XDM/PDMII

Hitachi Advanced Data
Binder プラットフォーム

IoT

ビッグデータ

クラウド/
サーバ仮想化

ITサービス
マネジメント

システム基盤

UNIX/Linux

Microsoft

ネットワーク

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画/
システム設計

IT戦略・IS企画

システム設計

アプリケーション
開発

Web
アプリケーション

スマートデバイス

オブジェクト指向/
UML

言語

IT基本

IT基本

ハードウェア

情報処理資格

情報リテラシ

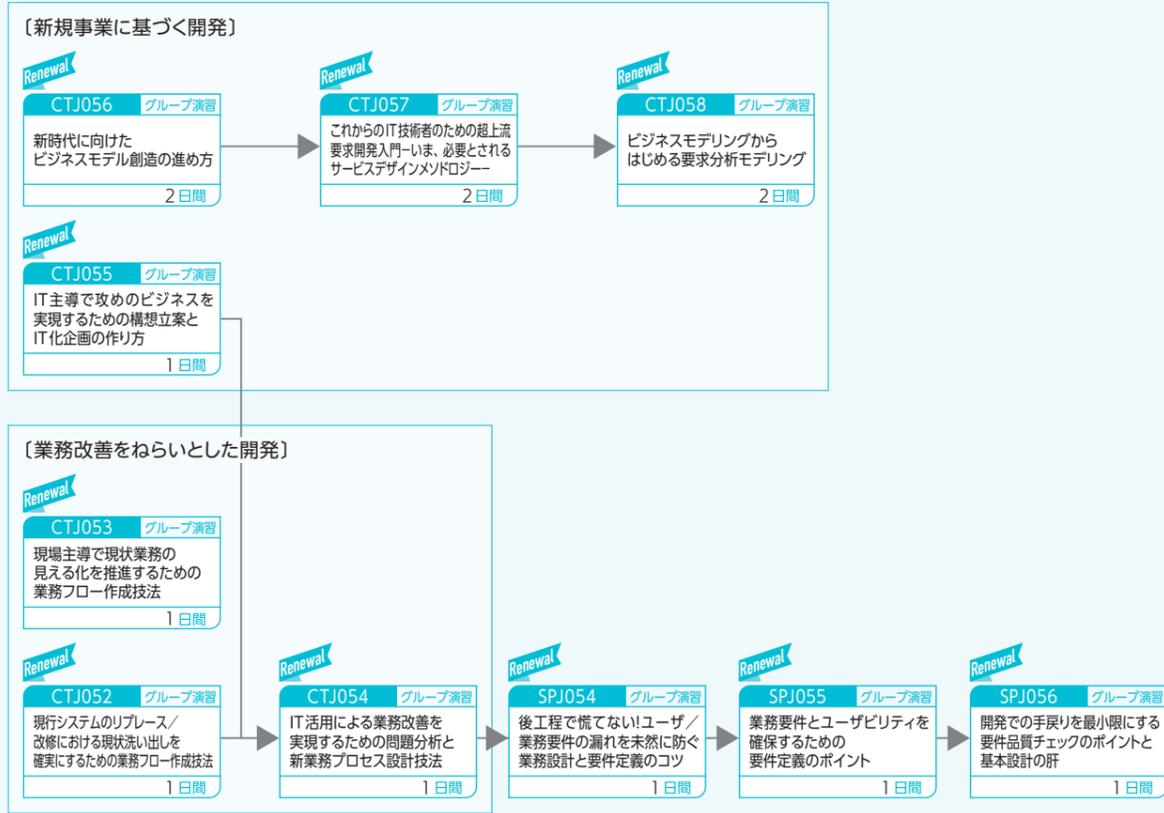
プロジェクト
マネジメント

コンプライアンス

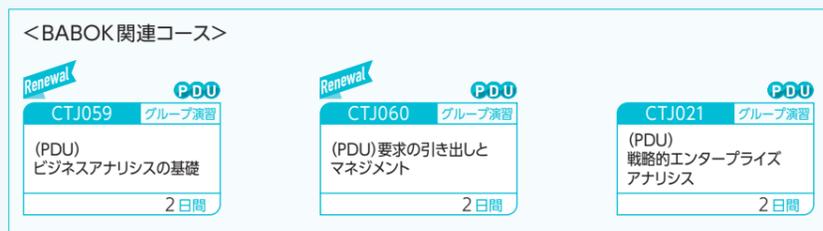
ビジネス/
ヒューマン

グローバル

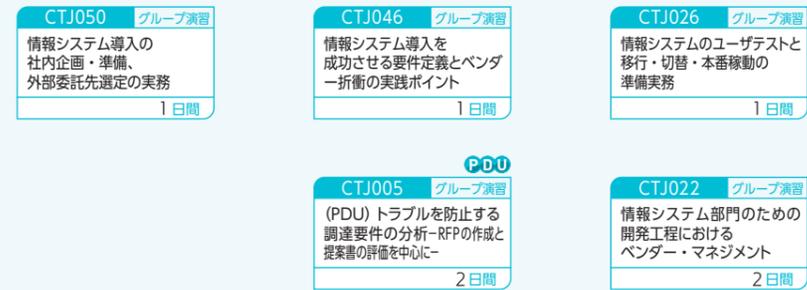
● システム企画／要件定義に携わる方 (特に、現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたってお悩みの方向け)



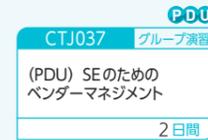
● ビジネスアナリシスに取り組まれる方、関心をお持ちの方



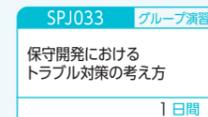
● 情報システム部門でベンダー・マネジメントに携わる方



● システムエンジニア (SE) でサブベンダーのマネジメントに携わる方



● 保守開発に携わる方



音声有 + 説明文有 : 学習の説明画面とナレーション (説明テキスト) で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
 音声有 + 説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
 音声なし + 説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP®資格更新に必要なポイント (PDU) を取得できます。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

IT戦略・IS企画/システム設計	CTJ026 IT戦略・IS企画
IT戦略・IS企画	<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div>グループ演習</div></div></div><div>情報システムのユーザテストと移行・切替・本番稼働の準備実務</div><div>1日間</div></div>

情報システム部門が情報システム導入時に安定稼働を保証する条件は、「新規システムの品質確保」と「移行処理・切替作業の確実な実施」および「社内準備のミスのない実行」にあります。このコースでは、情報システム導入時に情報システム部門が社内に対して行う安定稼働を保證するための作業である、ユーザテストと移行・切替・本番稼働の準備の実務について学習します。

到達目標

- システムの品質保証、問題の管理と解決、移行処理、切替作業の概要を説明できる。
- 社内内外への必要情報の提示、教育研修とマニュアルが作成できる。
- 業務改善、管理基準の変更および運用に関するドキュメントが作成できる。

対象者 企業内の情報システム部門で情報システムのユーザテスト・移行・切替・本番稼働の準備に携わる方。
前置知識 ・情報システムの開発に携わった経験があること。
・これから情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。

内容

- 万全な準備の対象
- ベンダテストの限界とユーザ関与
- 品質を保證するユーザテスト
- 「移行処理」とその対応策
- 切替作業の方法と成功要因
- 安定稼働のための社内準備
- まとめ

備考 ・このコースは、9：30～17：20の開催とさせていただきます。
このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。

IT戦略・IS企画/システム設計	CTJ054 IT戦略・IS企画
IT戦略・IS企画	<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div>グループ演習</div></div></div><div>IT活用による業務改善を実現するための問題分析と新業務プロセス設計技法</div><div>1日間</div></div>

組織の生産性向上を実現するためにはITを活用した業務改善が重要になります。しかし、とすれば既存業務の在り方に引っ張られてしまい単なる現状の焼き直しに留まり期待したほどの成果を得られないケースも度々です。本当に取り組むべき問題をどのようにして発見しIT化によって解決するのかの考え方について、書籍「はじめよう！プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心にお伝えします。

到達目標

- 問題構造分析について説明できる。
- 新しい業務プロセスの作り方について説明できる。

対象者 取り組みが進まず困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのが悩んでいるITエンジニア職の方。

前置知識 5年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。また、情報システムの開発または運用に携わった経験があると尚良い。

内容

- 業務改善とは何か？
- 問題構造分析と真の問題
- ITと業務プロセスの関係
- 新しいプロセスのつくり方
- IT化における要件

備考 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。
このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
このコースは、2017年度まで公開していた「ビジネス視点からのIT活用と業務プロセス改善の立案技法-IT化企画の基礎から実践まで-」と同等の内容を含みます。

IT戦略・IS企画	CTJ022 IT戦略・IS企画
IT戦略・IS企画	<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div>グループ演習</div></div></div><div>情報システム部門のための開発工程におけるベンダー・マネジメント</div><div>2日間</div></div>

外部委託先がシステム開発プロジェクトに参画した段階からの、開発工程におけるベンダー・マネジメントの基礎知識を学習します。プロジェクトのリスクとトラブルを予防し、問題やその兆候を早期に発見し、委託先と協働しながら、現実的かつ確実に課題の解決を図るための方策を修得します。

到達目標

- システム開発プロジェクトのベンダー・マネジメントにおける進捗管理・品質管理・リスク管理・変更管理・コスト管理の特性を説明できる。
- 現状把握、進捗管理、問題解決に向けた有効な質問と聞き取りができる。
- 自身の責任範囲を理解したうえで自社内への問題解決行動の候補を案出できる（折衝/上位者からの交渉/エスカレーション等とるべき行動の判断）。
- 委託先との協調、連携作業を意識した自発的コミュニケーションができる。

対象者 企業内の情報システム部門で外部委託先（ベンダー）と連携してシステム開発に携わる方。

前置知識 ・情報システムの開発に携わった経験があること。
・これから情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。

内容

- イントロダクション
- 要求とは何か
- 契約と委託内容
- コミュニケーションのマネジメント
- 品質管理とリスク管理
 - 1 委託先の作業計画の確認
- 進捗管理
 - 1 現状把握
 - 2 予定と実績の差異確認
 - 3 問題への対処
- 変更管理
- まとめ

備考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。

IT戦略・IS企画	CTJ037 IT戦略・IS企画
IT戦略・IS企画	<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div>グループ演習</div></div></div><div>(PDU) SEのためのベンダーマネジメント</div><div>2日間</div></div>

このコースでは、調達方針を踏まえ、SEがサブベンダーを取り纏める際のVMについて、開発プロジェクトの現場でサブベンダーの作業実態を把握し、作業進捗管理とリスクマネジメントを遂行する方法を修得します。SEがサブベンダーを取り纏める際の、VMのための「プロジェクト実施方法の合意」|VM計画と問題解決プロセスの共有」|VM実行・監視コントロール」の具体策を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：14ポイント）の取得が可能です。

到達目標

- ベンダーマネジメント（VM）の基本枠組みを説明できる。
- 実際のVM状況の改善策の実務検討ができる。
- ベンダーの問題解決行動を判断、評価する方法を説明できる。

対象者 外部委託先を使って顧客向けシステムを開発するSEの方。

前置知識 情報システムの開発に携わった経験があること。
・これから情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。

内容

- プロジェクト合意
 - 1 プロジェクトで開発するプロダクト、サービス、文書
 - 2 主要マイルストーン
 - 3 前提条件の共有
 - 4 リスク要因の共有
 - 5 契約文書の理解
 - 6 ベンダー責任の明確化
- VM計画と問題解決プロセス共有
 - 1 プロジェクト計画の確認
 - 2 役割と責任の確認
 - 3 進捗管理方法の共有
 - 4 問題解決プロセスの共有
 - 5 リスクマネジメントプロセスの共有
 - 6 問題解決プロセスの運用方法の共有
 - 7 ベンダーとのコミュニケーションプランの共有
- VM実行・監視コントロール・総括
 - 1 ペースラインの確認
 - 2 ベンダーの進捗報告コントロール
 - 3 双方でのリスクコントロール
 - 4 変更コントロール
 - 5 最終のコントロール

備考 ・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。
このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。
PMI®、PMP®、*PMBOK*®ガイドはプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

IT戦略・IS企画	CTJ053 IT戦略・IS企画
IT戦略・IS企画	<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div>グループ演習</div></div></div><div>現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法</div><div>1日間</div></div>

IT化に限らず現状業務の改善を推進するには現行業務の見える化が不可欠です。現場担当者から向きになり、かつ割く時間を最小限に抑えながら精度高い現場業務の見える化を実現するための方法について、書籍「はじめよう！プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心にお伝えします。

到達目標

- 業務の構造について説明できる。
- 業務フローの作成方法について説明できる。

対象者 取り組みが進まず困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのが悩んでいるITエンジニア職の方。

前置知識 3年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。また、情報システムの開発または運用に携わった経験があると尚良い。

内容

- どうして業務改善が難しいのか
- 業務の構造
- 見える化が難しい理由
- 業務フロー作成技法

備考 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。
このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
このコースは、2017年度まで公開していた「現状業務の洗い出しを確実に実現するための業務フロー作成-書き方・書かせ方-」と同等の内容を含みます。

IT戦略・IS企画	CTJ052 IT戦略・IS企画
IT戦略・IS企画	<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div>グループ演習</div></div></div><div>現行システムのリプレース/改修における現状洗い出しを確実にするための業務フロー作成技法</div><div>1日間</div></div>

昨今のレガシーマクグレーションやモダン化セッションのような既存システムの改修・高度化における難関は現状の利用実態を把握しきれず必要な業務ニーズを取りこぼすことです。これを予防するには現行システムの利用状況をしっかりと把握する必要があります。とすればドキュメントが揃ってなかったりする現実において、現状の洗い出しを高速かつ簡便に実現する方法について、書籍「はじめよう！プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネスシステムを中心にお伝えします。

到達目標

- 現行システムの洗い出し方法を説明できる。
- 業務の構造について説明できる。
- 業務フローの作成方法について説明できる。

対象者 取り組みが進まず困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのが悩んでいるITエンジニア職の方。

前置知識 3年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。また、情報システムの開発または運用に携わった経験があると尚良い。

内容

- 現行システム調査の盲点
- ユーザが期待するもの
- 業務フロー作成が難しい理由と業務の構造
- 業務フロー作成技法

備考 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。
このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
このコースは、2017年度まで公開していた「現状業務の洗い出しを確実に実現するための業務フロー作成-書き方・書かせ方-」と同等の内容を含みます。

IT戦略・IS企画	CTJ051 IT戦略・IS企画
IT戦略・IS企画	<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div>グループ演習</div></div></div><div>ビジネス要求引き出しのための業務課題抽出のテクニック</div><div>1日間</div></div>

工場系・営業系・管理系・SCM系に関する、質問によるMECEな業務課題の引き出し方、主要課題一覧表の作成と確認方法を学習します。

到達目標 企業のすべての業務機能に対して、MECEな質問により業務改革に位置するハイレベルの業務課題を引き出すことができる。

対象者 ・ITエンジニア職の若手-中堅で、BABOKガイド程度の知識はあるがビジネスアナリシスの実践に不安を抱えている方。
・ITエンジニア職の若手-中堅で、実践において適切な上位者の指導が必要な方。

前置知識 「ソリューション提案のための経営と情報戦略-経営・事業・情報戦略のあるべき関係性-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- ビジネスアナリシス方法論GUTSY-4の概論
- 業務課題インタビュースートの作成方法
- 主要課題一覧表の作成方法

備考 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。
このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

IT戦略・IS企画	CTJ056 IT戦略・IS企画
IT戦略・IS企画	<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div>グループ演習</div></div></div><div>新時代に向けたビジネスモデル創造の進め方</div><div>2日間</div></div>

AI(人工知能)の急速な進化により、すべてのリアル産業をAIが変革する「リアル産業の大自動化革命の時代」がいよいよやってきます。しかし、AIによる全自動化革命の効果享受するためには、「顧客に価値を提供し普及させて組織に利益をもたらすための斬新なビジネスモデル」をデザインし実現することが大前提となります。このコースでは、この大前提を実現するための斬新なCX(カスタマーエクスペリエンス)を生み出すビジネスモデルをデザインする方法(プロセス・メソッドロジー・ツール)を、ワークショップを通して学習します。このビジネスモデル・デザインの方法は、「システム思考・分析的思考と直観思考・アナロジカルシンキング」を統合した「アナロジカルメソッド」と呼ぶ独自の手法であり、ビジネスモデルのイノベーション創出という難しい問題に対して、わかりやすくかつ使いやすい方法である高い評価をいただいていたものです。

到達目標 下記プロセスから構成する構想企画プロセスの基礎を理解し説明できる。
(1)技術動向や市場/社会/経済動向の変化や、注目すべき人々のニーズを洞察する。
(2)解決すべき問題・実現したい機会を発見する。
(3)問題解決・機会実現し収益を獲得することでできる提供価値・プロフィットモデルのコンセプトを創出する。
(4)戦略を見極める。カスタマーエクスペリエンス・製品/サービスを設計する。

対象者 ・デジタルトランスフォー推進の実務に携わるすべてのの方々。
・顧客に魅力的な製品・サービスを提供し、提案し、事業収益につながる活動を進めたいすべての方。

前置知識 3年以上の実務経験をお持ちのこと。およびITに関する基本的な知識をお持ちのこと。

内容

- ビジネスモデル入門
- ビジネスデザインプロセス入門
- ワークショップ
 - 1 目的・テーマを定める 共感・洞察力を高める 関心事項の整理
 - 2 状況を理解する コンテキストアナリシス ビジネスモデルの現状分析 顧客バリュチェーンのシステム分析
 - 3 問題を発見する How might we ?
 - 4 コンセプトを発想する コンセプトのアイデアを発想する コンセプトのイノベーション創出とアナロジカルメソッド AI適用のイノベーションドラバー 戦略分析
 - 5 コンセプトを統合する CX(カスタマーエクスペリエンス)プロセスのデザイン サービスプロセスのデザイン

備考 ・このコースは、9：00～17：20の開催とさせていただきます。
このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。
このコースは、予告なく内容を変更することがございます。

IT戦略・IS企画	CTJ057 IT戦略・IS企画
IT戦略・IS企画	<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div>グループ演習</div></div></div><div>これからのIT技術者のための超上流要求開発入門-いま、必要とされるサービスデザインメソッドロジー-</div><div>2日間</div></div>

今後、お客様やビジネスパートナーとのやり取りがデジタル化されるDX(デジタルトランスフォーメーション)が大きく進展することが見込まれています。そのために、お客様やパートナーに、サービスとして新しいCX(カスタマーエクスペリエンス)を提供するための、サービスデザインとしての要求開発プラクティスが求められるようになってきました。このコースでは、ワークショップを通して、顧客に対する提供価値をアイデア発想し、斬新なCXを生み出すサービスをデザインする方法(プロセス・メソッドロジー・ツール)を学びます。この提供価値をアイデア発想する方法は、「システム思考・分析的思考と直観思考・アナロジカルシンキング」を統合した「アナロジカルメソッド」と呼ぶ独自の手法であり、サービスのイノベーション創出という難しい問題に対して、わかりやすくかつきやすい方法である高い評価をいただいていたものです。

到達目標 斬新なCXを生み出すサービスをデザインする方法(プロセス・メソッドロジー・ツール)を説明できる。

対象者 斬新なCXを生み出すサービスをデザイン・提案する必要があるIT技術者や営業・企画担当者などの方。

前置知識 3年以上の実務経験をお持ちのこと。およびITに関する基本的な知識をお持ちのこと。

内容

- サービスデザインプロセス入門
- サービスデザイン・ワークショップ
 - 1 目的・テーマを定める-与件の整理 与件の整理ITランツの実施 共感・洞察力を高める
 - 2 状況を理解する 対象の「もの・こと」を理解する カスタマーバリュチェーンのシステム分析 どの価値の流れに注目するのか
 - 3 問題を発見する How might we ?
 - 4 サービス・コンセプトの創出 アイデア発想法 ブルーオーシャン戦略の活用 アナロジカルメソッド
 - 5 サービスデザインを統合する CXプロセスのデザイン サービスプロセスのデザイン

備考 ・このコースは、9：00～17：20の開催とさせていただきます。
このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。
このコースは、予告なく内容を変更することがございます。

IT戦略・IS企画	CTJ058 IT戦略・IS企画
IT戦略・IS企画	<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div>グループ演習</div></div></div><div>ビジネスモデリングからはじめる要求分析モデリング</div><div>2日間</div></div>

今後、お客様やビジネスパートナーとのやり取りがデジタル化されるDX(デジタルトランスフォーメーション)が大きく進展することが見込まれています。このDXにおける要求分析は、お客様やパートナーに、どのようなサービスを提供するかというビジネスモデリングからはじめて要求分析につなげるプラクティスが必要とされます。ところが、この要求分析プラクティスには、業務プロセス分析にもとづいた業務設計から始めるという最初のステップが欠落していることがよくあります。結果、個別の要求にとらわれて全体的な整合性を欠いた要求分析を行うこととなります。このコースでは、ビジネスモデリングからはじめて、業務プロセス分析からの業務設計の成果にもとづく要求分析モデリングの方法をワークショップで実践します。
あえて、複数の要求分析モデルを相互すりあわせてすることで、「それがなくたぶりがない」要求分析モデルの実現もめざします。

到達目標 ビジネスモデリングからはじめて、業務プロセス分析からの業務設計の成果にもとじて、経営効率化・迅速化に寄与し信頼性の高い基幹システムの導入開発を実現するための、要求分析モデリングの方法を説明できる。

対象者 経営効率化・迅速化に寄与し信頼性の高い基幹システムの導入開発のために、要求定義・要求分析を行う提案・企画担当者やIT技術者の方。

前置知識 3年以上の実務経験をお持ちのこと。およびITに関する基本的な知識をお持ちのこと。

内容

1. ビジネスモデリングからはじめる要求分析モデリング入門
 - 1 デジタルトランスフォーメーションの要求分析に求められること
 - 2 デジタルトランスフォーメーションとバイモダールIT
 - 3 ビジネスモデルとビジネスデザインプロセス入門
2. ビジネスモデリングからはじめる要求分析モデリング・ワークショップ
 - 1 お客様やビジネスパートナーへのサービスデザイン
 - 2 Design Structure Matrixによるワークフローモデリング
 - 3 イベントモデルやデータモデルによる最適化
 - 4 詳細な要求分析モデルの作成
3. なぜビジネスモデリングからはじめる要求分析モデリングか
 - 1 日本IT経営の重要課題
 - 2 業務設計からの要求分析モデリングの最適化
 - 3 ビジネスモデリングと要求分析モデリングの親密な関係

備考 ・このコースは、9：00～17：20の開催とさせていただきます。
このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。
このコースは、予告なく内容を変更することがございます。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

IT戦略・IS企画/システム設計	IT戦略・IS企画
IT戦略・IS企画	システム設計

アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ

プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

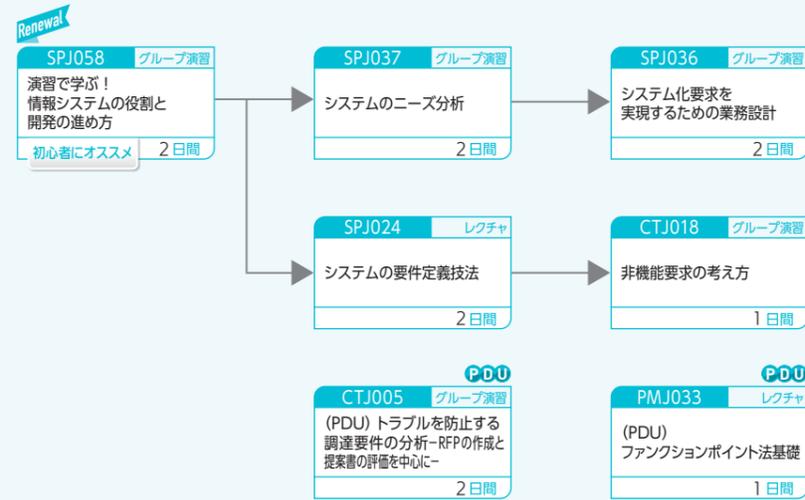
システム設計

情報システムの開発に必要な基礎知識や、開発手順、分析、設計技法が修得できます。

初めて情報システムの開発に携わる方



システムの分析・要件定義を担当する方



音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

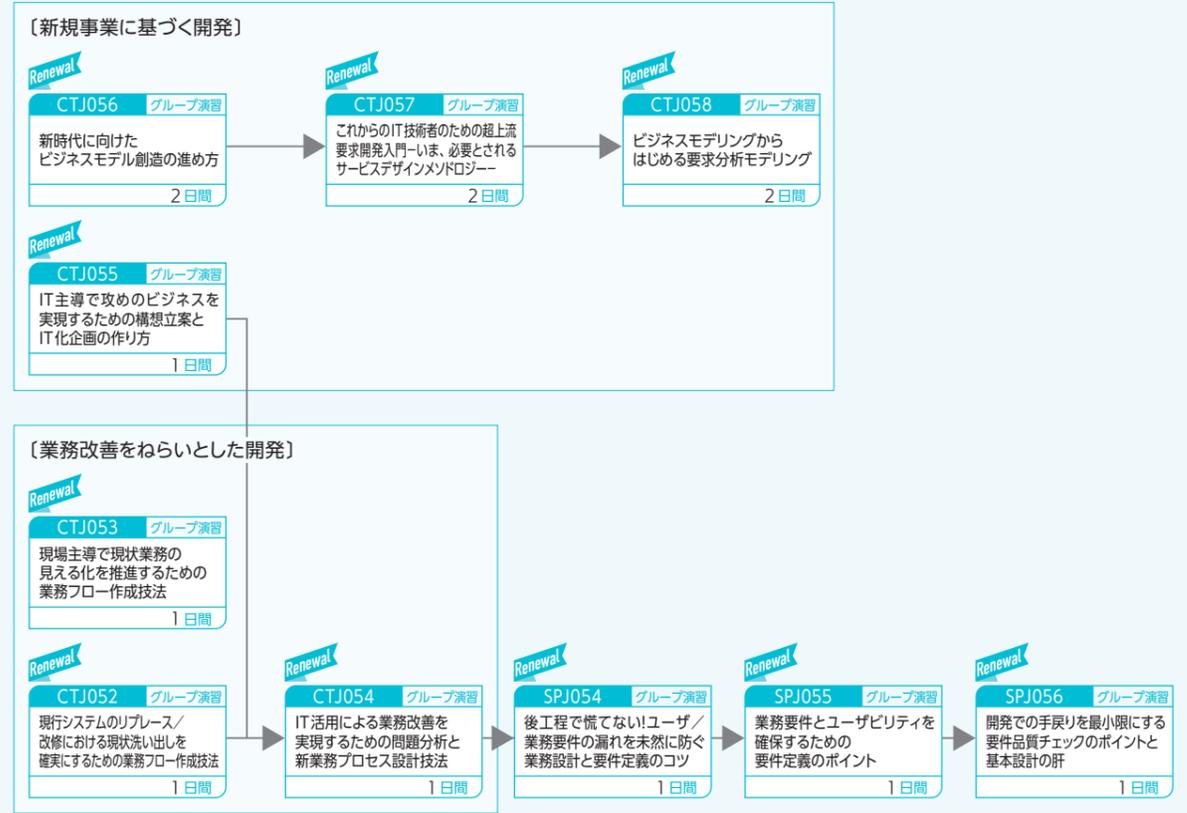
音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

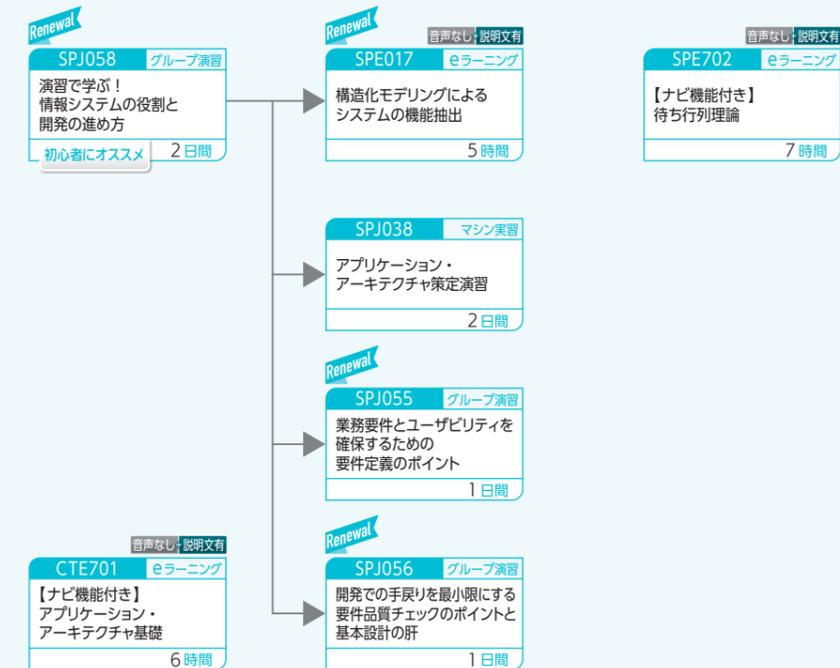
初心者にオススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

システム企画／要件定義に携わる方（特に、現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたってお悩みの方向け）



システム開発の設計を担当する方



● システムの最新動向や事例を把握したい方

SPJ040 レクチャ
クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向
0.5日間

SPJ039 レクチャ
事例から学ぶSaaS活用提案のポイント
0.5日間

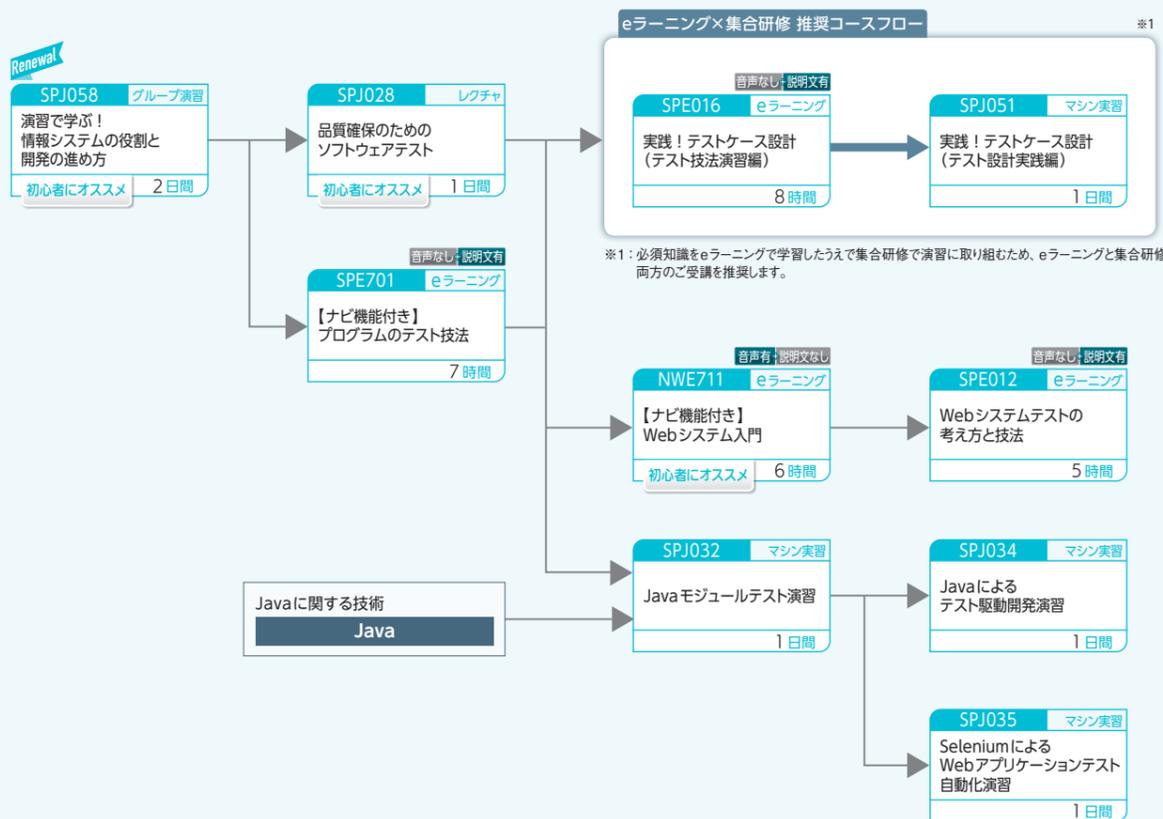
● DevOpsによるアプリケーション開発の流れを理解したい方

SPJ050 マシン実習
体験！最新OSSを活用したDevOps入門
1日間

SPJ057 マシン実習
(PDU)実践！DevOpsによるアジャイル開発-お客様に素早く価値を届けるために-
1日間

UXJ070 マシン実習
gitによるソフトウェア構成管理
1日間

● システムまたはプログラムのテストを担当する方



音声有+説明文有：学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし+説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

マシーン実習 マシンを使用しながらの研修 | グループ演習 グループ演習を中心とした研修 | レクチャ 座学による研修 | 演習環境 職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習 | 研修室自習型 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習 | eラーニング インターネット接続による自己学習

SPJ058 システム設計
グループ演習
2日間
演習で学ぶ！情報システムの役割と開発の進め方
Renewal

情報システムを開発・発注するうえで必要な基礎知識として、工程別に作業内容や作業目的を学習します。加えて開発プロジェクトの計画・統制・終結の側面から、代表的な仕事(見積り、契約など)についても学習します。

到達目標
・情報システムの役割を説明できる。
・開発プロセスおよび作業工程における作業概要を説明できる。
・開発方法論、代表的な成果物の表記法を説明できる。

対象者
これからシステムを企画、開発する方。

前提知識
「コンピュータ基礎」コースを修了しているか、またはコンピュータの基礎知識があること。

内容
1. 情報システムとは
(1)市場、定義、役割
(2)開発方式
(3)開発プロセス
(4)情報システムの維持・メンテナンス
(1)情報システムの寿命と保管場所
(2)必要な作業
2. 情報システムに関わる人
(1)プロジェクト・ステークホルダ
(2)職種
3. 情報システムのコスト
(1)見積もり
(2)契約
4. 情報システムを支える技術
(1)サーバ、冗長化、クラウド、ビッグデータ
(2)職種
5. 情報システムのコスト
(1)見積もり
(2)契約
6. 情報システムを支える技術
(1)サーバ、冗長化、クラウド、ビッグデータ
(2)職種
7. 演習
(1)業務分析、データ分析、機能分析

備考
このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

SJE707 システム設計
eラーニング
ナビ機能付き
平均4日間
<eラーニング>【ナビ機能付き】システム開発の基礎
New

システム設計の手法について基礎的な知識を学習します。

到達目標
システム設計に必要な作業について、手順や内容を説明できる。

対象者
・システム設計をこれから始める方。
・システム設計の基礎知識を身につけたい方。

前提知識
特に必要としません。

内容
1. システム開発と設計の役割
2. システムの品質と設計手法
3. 基本から詳細設計概略
(1)段階的詳細化のレベル
(2)業務機能設計
(3)実現方式設計(アーキテクチャ)
(4)外部インタフェース設計(遷移、レイアウト)
(5)パッチ処理設計
(6)データ基本設計(論理DB設計)
(7)プログラム詳細設計
(8)共通部品設計
(9)データ詳細設計
4. その他の開発手法
5. 修了試験

備考
・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

SPJ037 システム設計
グループ演習
2日間
システムのニーズ分析

顧客の業務に一步踏み込み、的確なシステム化要件を導き出すまでの一連の基本動作を、ニーズ分析の進め方の解説と演習を通して学習します。

到達目標
・ニーズ分析の基礎を説明できる。
・顧客の業務に一步踏み込み的確なシステム化要件を導き出すまでの一連の基本動作を理解できる。

対象者
システム開発プロジェクトにおいて、システムのニーズ分析を行う方。

前提知識
情報システムに関する基礎知識があること。

内容
1. ニーズ分析の位置づけと意義
(1)「上流工程」で行うべきこと
(2)ニーズ分析の全体プロセス
(3)ニーズ分析の意義
2. ニーズ分析のプロセス
(1)準備フェーズ
(2)分析フェーズ

備考
・このコースは、9:30~17:30の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

SPJ036 システム設計
グループ演習
2日間
システム化要求を実現するための業務設計

ニーズ分析に基づく業務アプリケーションの基本設計トレーニングです。システム設計の前提となる要求仕様定義を、業務の仕組みを念頭に確実に実行するための手法を修得します。

到達目標
・業務設計の進め方を説明できる。
・要求仕様定義を、業務の仕組みを念頭に確実に実行することができる。

対象者
業務モデリングに関心のある方。
特に必要としません。

前提知識
1. 業務設計の位置づけと意義
(1)「上流工程」で行うべきこと
(2)業務設計の全体プロセス
(3)業務設計の意義
2. 業務設計のプロセス
(1)業務プロセスデザインフェーズ
(2)アプリケーションデザインフェーズ

備考
・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。
・このコースは、「ビジネスアプリケーション設計」コースの内容改訂および名称を変更したものです。

SPJ024 システム設計
レクチャ
2日間
システムの要件定義技法

システム化による問題解決を図る際に求められる“システムが提供すべき機能”の導出方法について学習します。また、要件定義書を策定するうえで必須となる考え方について演習を通して学習します。非機能要件については、性能、セキュリティなどの観点から整理しておくべき事項を紹介します。

到達目標
・要件定義工程の作業概要、考慮すべき点を説明できる。
・要件定義工程で作成すべき成果物を説明できる。

対象者
システム開発プロジェクトにおいて要件定義に携わる方。

前提知識
「演習で学ぶ！情報システムの役割と開発の進め方」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
1. 要件とは
(1)定義
(2)各要件の内容
2. 要件定義と前後の作業
(1)共通フレームでの位置づけ
(2)一般的な位置づけ
(3)現状調査
(4)問題点分析・課題設定
(5)基本設計
3. 要件定義
(1)業務の表記法
(2)業務の検討
(3)アプリケーションの検討
(4)データの検討
(5)非機能要件の検討

CTJ018 システム設計
グループ演習
1日間
非機能要求の考え方

非機能要求グレードの意義や要求項目の定義を正しく理解し、非機能要件を的確に分析・仕様化するための知識修得をめざします。

到達目標
・非機能要求の概要を説明できる。
・非機能要求を規定する際の助所を理解できる。
・非機能要求グレードの活用方法を説明できる。

対象者
上流工程を担当するシステムエンジニアの方。

前提知識
「演習で学ぶ！情報システムの役割と開発の進め方」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
1. 非機能要求とは
(1)定義
(2)業務、実現手段との関係
(3)ステークホルダとの関係
(4)非機能要求間の関係
2. 非機能要求グレードとは
(1)概要
(2)非機能要求グレード活用手順
(3)非機能要求グレード活用事例
3. ケーススタディ演習(非機能要求の分析)
4. まとめ

備考
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

自習テキスト 自習書による自己学習 | 休講 休講 今期の定期開催はありません

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

SPE702	システム設計
	<eラーニング>[ナビ機能付き] 待ち行列理論
平均5時間	
ITシステムの設計時に必要となる、待ち行列理論の基本的な考え方を理解します。単一窓口(M/M/1)と複数窓口(M/M/n)を中心に適用方法を修得します。	
到達目標	待ち行列モデルの[M/M/1]に関して説明できる。
対象者	待ち行列理論の基本を修得したい方。
前提知識	数学的な基礎知識があること。
内 容	1. 待ち行列理論 2. 解析事例学習項目 3. 演習問題 4. 修了試験
備 考	・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

SPE017	システム設計
	<eラーニング> 構造化モデリングによる システムの機能抽出
平均5時間	
データフロー図やデータディクショナリ、ERD、状態遷移図を用いてシステムを構造的に分析する手法を学習します。また、システムを段階的に詳細化しモデル化する価値や思考法を学習します。	
到達目標	・データフロー図、データディクショナリ、ERD、状態遷移図を読み、理解できる。 ・データフロー図、データディクショナリ、ERD、状態遷移図を用いて問題記述を分析・詳細化できる。
対象者	情報システム開発プロジェクトに参画し、分析モデリングを行う方。
前提知識	システム開発に関する基礎知識があること。
内 容	1. 背景 (1) 現実とソフトウェアのギャップ (2) 要求とソフトウェアのギャップ (3) ソフトウェアの開発に必要な作業 2. 思考方法 3. モデリング (1) 構造化モデリングとは (2) 図を書く(DFD、データディクショナリ、ERD、状態遷移図) (3) モデルを書く(DFD、データディクショナリ、ERD) 4. まとめ
備 考	・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、旧「構造化モデリングによるシステムの機能抽出」コース(集合研修)をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

CTE701	システム設計
	<eラーニング>[ナビ機能付き] アプリケーション・アーキテクチャ基礎
平均6時間	
アプリケーションのアーキテクチャを設計するための基本的な考え方を学習します。このコースはレイヤーアーキテクチャを例に、それぞれの層の役割、代表的なコンポーネントについて説明します。	
到達目標	・アーキテクチャの重要性を説明できる。 ・アーキテクチャを設計するための基本的な手段を説明できる。
対象者	これからアプリケーション開発に携わる方。
前提知識	プログラミングの経験をお持ちのこと。
内 容	1. アーキテクチャ設計 2. 論理アーキテクチャ 3. プレゼンテーション層のアーキテクチャ設計 4. アプリケーション層のアーキテクチャ設計 5. データ層のアーキテクチャ設計 6. その他のアーキテクチャ設計 7. 論理アーキテクチャ設計の効果 8. まとめ 9. 修了試験
備 考	・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

SPJ050	システム設計
	体験!最新OSSを活用したDevOps入門
1日間	
最新OSS(Redmine、Rocket.Chat、Git、Drone、Docker、Hubot)を活用したDevOps環境において、頻繁に設計、開発、テストを行うアプリケーション開発手法を体験しながら学びます。DevOps環境の体験は、Lumada Competency Centerを使います。	
到達目標	・DevOpsの概要を説明できる。 ・DevOps環境で基本的なアプリケーションの開発の流れを説明できる。
対象者	DevOpsによるアプリケーション開発を行う予定の方。システム開発に関する基礎知識をお持ちのこと。
前提知識	
内 容	1. 概要 (1) デジタルソリューションとシステム開発における課題 (2) DevOpsとは (3) 最新OSSを活用したDevOps環境の概要 2. DevOps環境でのアプリケーション開発デモ (1) デモ環境(研修環境)の概要 (2) アプリケーションの開発の流れ (3) アプリケーション開発デモ 3. DevOps環境のツールの機能と操作 (1) プロジェクト管理(Redmine) (2) コミュニケーション(Rocket.Chat) (3) ソースコード管理・ソースコードレビュー(GitLab) (4) 継続的インテグレーション(Drone) (5) ChatOps(Hubot) 4. サンプルによるDevOps体験 (1) DevOps環境での開発フロー (2) 演習(プロジェクト管理) (3) 演習(開発) (4) 演習(リリース)
備 考	・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ070	システム設計
	gitによるソフトウェア構成管理
1日間	
構成管理の必要性、集中型/分散型それぞれの特徴を、マシン演習を通して学習します。個人演習だけでなくペア演習も行い、複数人開発で起こり得る問題点とその解決策も学習します。	
到達目標	・構成管理の必要性と概要を説明できる。 ・構成管理ツールの基本的な操作ができる。 ・複数人で構成管理する時の注意点を説明できる。
対象者	構成管理をこれから利用してアプリケーションを開発する方。システム開発で実装工程の経験がある方。
前提知識	1. 構成管理とは 2. 構成管理の方法 (1) 集中型 (2) 分散型 3. 個人での構成管理の利用 (1) 集中型ツール(Subversion)の基本的な使用方法 (2) 分散型ツール(git)と基本的な使用方法 (3) 演習 4. 複数人での構成管理の利用 (1) マージと競合 (2) リポジトリホスティングサービス(GitHub)と基本的な使用方法 (3) ペア演習
備 考	このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります

SPJ057	システム設計
	(PDU)実践! DevOpsによるアジャイル開発 -お客様に素早く価値を届けるために-
1日間	
Redmineを用いたバックログを管理し、GitLabを使ってBDD(振る舞い駆動開発)などのアジャイル開発手法を実践的に学びます。実際の開発のシナリオに合わせて実習を行います。Lumada Competency Center上のPoC環境による開発を想定しています。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:6.5ポイント)の取得が可能です。	
到達目標	DevOps環境を用いた開発の流れを実行できる。
対象者	DevOpsによるアプリケーション開発を行う予定の方。「体験!最新OSSを活用したDevOps入門」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
前提知識	
内 容	1. DevOps環境を用いた開発プロセスの説明 (1) TDDとBDD (2) PoCと本番開発 2. グループ演習 (1) Redmineによるバックログ管理とタスク分割 インセプションデッキ バックログのまとめ、ユーザストーリーの作成 イテレーションの期間と開発内容の決定 タスクの作成 (2) GitLabによる機能開発 ユーザストーリーを元にテスト作成 実装 (3) お客様との機能評価とフィードバック マネジメントオーナーからのフィードバック リリース後のフィードバック
備 考	・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®</i> ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

SPJ038	システム設計
	アプリケーション・アーキテクチャ 策定演習
2日間	
演習を通して、アプリケーション・アーキテクチャの策定要領を学習します。	
到達目標	・アプリケーション分野の機能要件、およびアプリケーション実行の土台となるシステム分野の非機能要件の整理の仕方を説明できる。 ・アプリケーション構築のための道具立てについて説明できる。 ・業務処理に適した業務オブジェクトの構成方法を説明できる。
対象者	アプリケーション・アーキテクチャの策定をお考えの方。
前提知識	情報システム開発の経験をお持ちのこと。
内 容	1. 要件定義と方式(アーキテクチャ)設計 2. 演習対象システムの概要 3. 要件定義 4. システム方式 5. アプリケーション方式
備 考	・このコースは、9:00～17:20の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

SPJ039	システム設計
	事例から学ぶ SaaS活用提案のポイント
0.5日間	
最新のWebサービスの動向をSaaS概要を中心に解説し、主要なWebサービス提供者の取り組みや、企業における活用事例を解説します。	
到達目標	・SaaSの概要を理解できる。 ・今後のWebサービスの方向性がわかる。
対象者	最近のIT動向を把握したいとお考えの営業/SE/プログラマの方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. SaaS(Software as a Service)とは何か 2. SaaS登場までの経緯 3. SaaSを実現する技術 4. SaaSによって大きな変革を求められるITベンダー・主要プレーヤーの取り組み 5. SaaS導入事例解説 6. SaaS導入にあたって注意すべきこと 7. 今後のWebサービスの方向性
備 考	・このコースは、13:00～15:30の開催とさせていただきます。 ・「クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向」コースとあわせてのご受講を推奨します。
※別途ご案内いたします。	

SPJ040	システム設計
	クラウドコンピューティングで読み解く ITサービスの最新動向
0.5日間	
クラウドコンピューティングの技術的背景を総括しながら、新たなITサービスの動向や、今後の可能性について紹介します。	
到達目標	・クラウドコンピューティングの概念を理解できる。 ・ビジネスにおける活用例を知ることができる。 ・提案につなげるヒントについて考えることができる。
対象者	最近のIT動向を把握したいとお考えの営業/SE/プログラマの方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	1. クラウドコンピューティングとは? 2. クラウドコンピューティングを実現する技術 3. クラウドコンピューティングを実現化するサービス実例 4. クラウドコンピューティングによる近未来のITサービス
備 考	・このコースは、9:30～12:00の開催とさせていただきます。 ・「事例から学ぶSaaS活用提案のポイント」コースとあわせてのご受講を推奨します。

SPJ054	システム設計
	後工程で慌てない! ユーザ/業務要件の漏れを 未然に防ぐ業務設計と要件定義のコツ
1日間	
システム開発プロジェクトの赤字の発生要因となる、仕様変更や仕様追加を未然に防ぐためには、詰めの甘い業務の設計や機能要件の漏れを早期にチェックし、対策することが求められます。設計工程や開発工程に課題を先送りしないための要件定義への取り組み方について、書籍「はじめよう!要件定義」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心に伝えます。	
到達目標	・業務設計と要件定義の違いを理解する。 ・業務設計の具体的な手法を理解する。 ・システム要件の具体的な定義の仕方を理解する。
対象者	現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのが悩んでいる担当者やシステムエンジニアの方。
前提知識	情報システムの開発または運用での業務経験をお持ちの方。
内 容	1. ユーザテストでの手戻り要因 2. 要件定義とは何か? 3. 新業務フローと業務要件 4. 業務要件とシステム機能要件の違い 5. 例外処理と要件 6. 演習 7. まとめ
備 考	・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、2017年度まで公開していた「後工程での仕様変更/仕様追加を未然に防ぐ要件定義のコツ」と同等の内容を含みます。

SPJ055	システム設計
	業務要件とユーザビリティを 確保するための要件定義のポイント
1日間	
システム開発プロジェクトの終盤においてユーザの検証に伴って生じる「このシステムは使えない」という事態は単なる手戻りというレベルを超えて、プロジェクト自体の意義を問われることすら起こります。この事態を防止するためには、業務上の要件を満たすことと使い勝手を確保することが不可欠です。ではどうすればいいのかということについて、書籍「はじめよう!要件定義」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心に伝えます。	
到達目標	・業務要件とオペレーション要件の違いを理解する。 ・要件定義に不可欠な三点セット(UI・機能・データ)について理解する。
対象者	現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのが悩んでいる担当者やシステムエンジニアの方。
前提知識	情報システムの開発または運用での業務経験をお持ちの方。
内 容	1. 業務要件とユーザビリティの関係 2. ユーザビリティとオペレーションフロー 3. 材料としての要件 (1) UI (2) 機能 (3) データ (4) CRUDマトリクスによる検証 4. 演習 5. まとめ
備 考	・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、2017年度まで公開していた「開発時の手戻り予防を実現する要件品質チェック技法」と同等の内容を含みます。

SPJ056	システム設計
	開発での手戻りを最小限にする 要件品質チェックのポイントと 基本設計の肝
1日間	
要件定義でいくらか業務要件や使い勝手をしっかり考慮していても実装できないような要件では開発工程が迷走しコストを延々と垂れ流すこととなります。これを防止してきちんと要件を開発につなぐための要件チェックと基本設計をどのようにすべきかについて、書籍「はじめよう!要件定義」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心に伝えます。	
到達目標	・設計について理解する。 ・要件と設計の関係について理解する。 ・アーキテクチャと各層における設計の方法について理解する。
対象者	現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのが悩んでいる担当者やシステムエンジニアの方。
前提知識	情報システムの開発または運用での業務経験をお持ちの方。
内 容	1. 開発で迷走する原因 2. 設計とは何か 3. 要件と設計の関係 4. アーキテクチャと基本設計 (1) クライアント層 (2) メッセージとサーバ層 (3) インフォメーションとDB層 5. 演習 6. テスト設計(単体・結合・総合) 7. まとめ
備 考	・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、2017年度まで公開していた「開発時の手戻り予防を実現する要件品質チェック技法」と同等の内容を含みます。

IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

					
マシンを使用しながらの研修	グループ演習を中心とした研修	座学による研修	職場・ご自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習	研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習	eラーニング インターネット接続による自己学習

	休 講	
自習書による自己学習	休 講 今期の定期開催はありません	

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画/システム設計
IT 戦略・IS 企画
システム設計
アプリケーション 開発
Web アプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT 基本
IT 基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

SPJ028 システム設計
品質確保のためのソフトウェアテスト 1日間
システム開発を行ううえで品質を確保するために必要な、ソフトウェアテスト分野全般の知識を、担当者と管理者の両視点で学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ソフトウェアテストの必要性を説明できる。 ソフトウェアテストを実行しソフトウェアの欠陥を抽出できる。 ソフトウェアテストの流れを説明できる。
対象者 これからソフトウェアテストに関わる方。
前提知識 「コンピュータ基礎」コースを修了しているか、またはコンピュータの基礎知識があること。
内 容 <ol style="list-style-type: none"> ソフトウェアテスト概要 <ul style="list-style-type: none"> (テストの必要性、テストの目的、テストの実施と管理) 開発におけるテストの位置づけ <ul style="list-style-type: none"> (テストレベル、W字モデル) 静的テスト <ul style="list-style-type: none"> (コードレビュー、静的解析ツール) テスト技法の活用法 <ul style="list-style-type: none"> (1) 制御構造に着目したテストケース設計 (2) 入出力に着目したテストケース設計 (3) 複雑な入出力に着目したテストケース設計 (4) 欠陥の修正 テストの管理 <ul style="list-style-type: none"> (1) バグゼロの落とし穴 (2) テスト計画 (3) ソフトウェアメトリクス (4) 改善のための布石

SPE016 システム設計
<eラーニング>実践！テストケース設計(テスト技法演習編) 平均8時間
現在知られているテスト技法の全体像を知り、代表的な手法を扱う演習を通して、テスト実装のスキルを修得します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> 代表的なテスト技法を使用してテストケースを作成できる。
対象者 <ul style="list-style-type: none"> これからテスト技法を修得したい方。
前提知識 「品質確保のためのソフトウェアテスト」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 <ol style="list-style-type: none"> ソフトウェアテストにおける基本概念 テスト技法 <ol style="list-style-type: none"> (1) テスト技法の概要 (2) 入出力に着目したテスト (3) 入力の組合せに着目したテスト (4) 状態に着目したテスト (5) ユースケースに着目したテスト
備 考 <ul style="list-style-type: none"> 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。集合研修「実践！テストケース設計(テスト設計実践編)」コース(SPJ051)の前提となる共通の基礎知識部分をeラーニング化したものです。集合研修とあわせてのご受講を推奨します。 詳細につきましては、ホームページの「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。https://www.hitachi-ia.co.jp/koushukai/BlendingLearning/index.html このコースは、旧題「実践！テストケース設計」コース(集合研修)と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

SPJ051 システム設計
実践！テストケース設計(テスト設計実践編) 1日間
このコースではモデルケースを使いテスト分析・設計に基づいてテストケースを作成する演習に取り組みます。その後ペアまたは小グループでレビューをし、より良いテストケースをめざします。
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> テスト分析・設計の考え方を理解している。 テスト分析・設計に基づいてテストケースを作成できる。 テストケースの良し悪しについてレビューできる。
対象者 これからソフトウェアテストを担当する人で、テストの目的を踏まえたテストケースを作りたい方。
前提知識 「実践！テストケース設計(テスト技法演習編)」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 <ol style="list-style-type: none"> ソフトウェアテストを取り巻く環境 テスト分析・設計 <ol style="list-style-type: none"> (1) テスト分析・設計の目的 (2) テスト分析・設計の進め方 (3) 分析・設計結果の活用 総合演習 <ol style="list-style-type: none"> (1) テスト分析・設計とテストケース作成 (2) テストケースレビューと振り返り
備 考 <ul style="list-style-type: none"> このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。 「実践！テストケース設計(テスト技法演習編)」eラーニングコース(SPE016)とあわせてのご受講を推奨します。eラーニングでは、このコースの前提となる基礎知識を修得します。 詳細につきましては、ホームページの「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。https://www.hitachi-ia.co.jp/koushukai/BlendingLearning/index.html このコースは、グループ演習を含む構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしく願いたします。

SPJ035 システム設計
SeleniumによるWebアプリケーションテスト自動化演習 1日間
SeleniumによりWebアプリケーションテストを自動化し、JUnitとSelenium WebDriverを用いてテストコードを作成して、効率的にテストを実施する方法について学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> Selenium WebDriverのJava用APIを利用してブラウザの操作を行うプログラムを作成できる。 Selenium WebDriverとJUnitフレームワークを利用して、Webアプリケーションの自動テストを実施できる。
対象者 Webアプリケーションのテストを行う方、Webアプリケーション自動操作のツールを作成する方。
前提知識 「Javaプログラミング 2(基本クラス編)」コース/eラーニングコースおよび「Javaモジュールテスト演習」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 <ol style="list-style-type: none"> Seleniumとは Selenium WebDriver使用方法 JUnitフレームワークを利用したWebアプリケーションのテスト作成 Webアプリケーションのテスト自動化演習
備 考 <ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

SPE012 システム設計
<eラーニング>Webシステムテストの考え方と技法 平均5時間
Webシステムにおけるテスト設計において必要となる、テスト体系、着眼点、代表的な技法について学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> Webシステムテストの留意点を説明できる。 Webシステムテストの種類を説明できる。
対象者 Webシステムをテストする方、Webシステムを設計する方。
前提知識 「品質確保のためのソフトウェアテスト」コースおよび【ナビ機能付き】プログラムのテスト技法 eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 <ol style="list-style-type: none"> Webシステムを取り巻く状況 Webシステムのテストにおける姿勢と施策 <ol style="list-style-type: none"> (1) 品質の定義を知る (2) ビジネスリスクを捉える (3) テスタビリティに留意する Webシステムテストの種類 Webシステムテストのポイント <ol style="list-style-type: none"> (1) 非機能テスト (2) グレーボックステスト (3) 経験値ベーステスト (4) 回帰テスト Webシステムテストを自動化するツール
備 考 <ul style="list-style-type: none"> 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) このコースは、旧「Webシステムテストの考え方と技法」コース(集合研修)をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

SPJ032 システム設計
Javaモジュールテスト演習 1日間
単体テスト(モジュールテスト)を自動化して、効率的にテストを実施する方法について学習します。またマシン実習では、JUnit等のテスト作成支援ツールを利用してテストコードを作成しテストを実施します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> 自動テスト作成の考え方や、ツールを利用した実践的なテスト手順について説明できる。 ツールを利用して自動テストを実施できる。
対象者 Java言語でプログラムを作成する方、モジュールテストの自動化に興味のある方。
前提知識 「品質確保のためのソフトウェアテスト」および「Javaプログラミング 2(基本クラス編)」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 <ol style="list-style-type: none"> テスト駆動開発について <ol style="list-style-type: none"> (1) テスト自動化の必要性 (2) このコースで利用するツールの関係 JUnit を使用したテスト自動化 <ol style="list-style-type: none"> (1) JUnit とは (2) テストコードの基本 (3) テストコード作成ガイド 動的解析支援ツール <ol style="list-style-type: none"> (1) 使用する動的解析ツール概要 (2) カバレッジ収集 (3) レポート作成 演習
備 考 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

SPJ034 システム設計
Javaによるテスト駆動開発演習 1日間
テストを活用した開発手法であるテスト駆動開発について学習します。Javaによるアプリケーション開発を通して、テスト駆動開発の進め方やJUnitなどを利用した自動化の仕組みを学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> テスト駆動開発の進め方を説明できる。 テスト駆動開発を進めるうえで重要な点を説明できる。 実装前にテストコードを作成しテストファーストの開発を実践できる。
対象者 テスト駆動開発を利用して開発を進める方。
前提知識 「Javaプログラミング 2(基本クラス編)」コース/eラーニングコースおよび「Javaモジュールテスト演習」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 <ol style="list-style-type: none"> はじめに テスト駆動開発 プロジェクトビルドの仕組み テスト駆動開発演習
備 考 <ul style="list-style-type: none"> このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

SPE016 システム設計
<eラーニング> [ナビ機能付き]プログラムのテスト技法 平均8時間
プログラムのテスト作業における手順、技法についての基本的な考え方を学習します。
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> プログラムのテストを実施する手順を説明できる。 テスト実施時に必要なテスト技法の概要と種類を説明できる。
対象者 これからプログラムのテストに携わる方。
前提知識 コンピュータおよびプログラミングの基礎知識があること。
内 容 <ol style="list-style-type: none"> プログラムテストの概要 <ol style="list-style-type: none"> (1) テスト作業の位置づけ (2) テストの必要性 (3) テスト作業の内容 プログラムのテスト技法 <ol style="list-style-type: none"> (1) テストデータの設計方法 <ul style="list-style-type: none"> (ホワイトボックステスト、ブラックボックステスト) (2) テスト・デバッグの方法 テストの管理 修了試験
備 考 <ul style="list-style-type: none"> 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

マシン実習 マシンを使用したからの研修	グループ演習 グループ演習を中心とした研修	レクチャ 座学による研修
---------------------	-----------------------	--------------

演習環境 職場・ご自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習	研修室自習型 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習
--------------------------------	------------------------------

eラーニング	マシン実習	演習	eラーニング								
--------	-------	----	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

自習テキスト 自習書による自己学習	休 講 休 講 今期の定期開催はありません
-------------------	------------------------------

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース
IT 戦略・IS 企画/システム設計
IT 戦略・IS 企画
システム設計
アプリケーション 開発
Web アプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT 基本
IT 基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

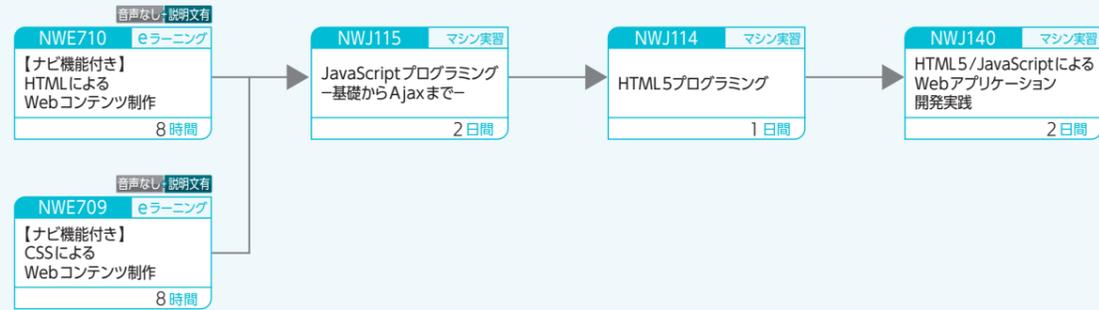
Webアプリケーション

各種プログラミング言語を使用したWebアプリケーションの開発技術が修得できます。

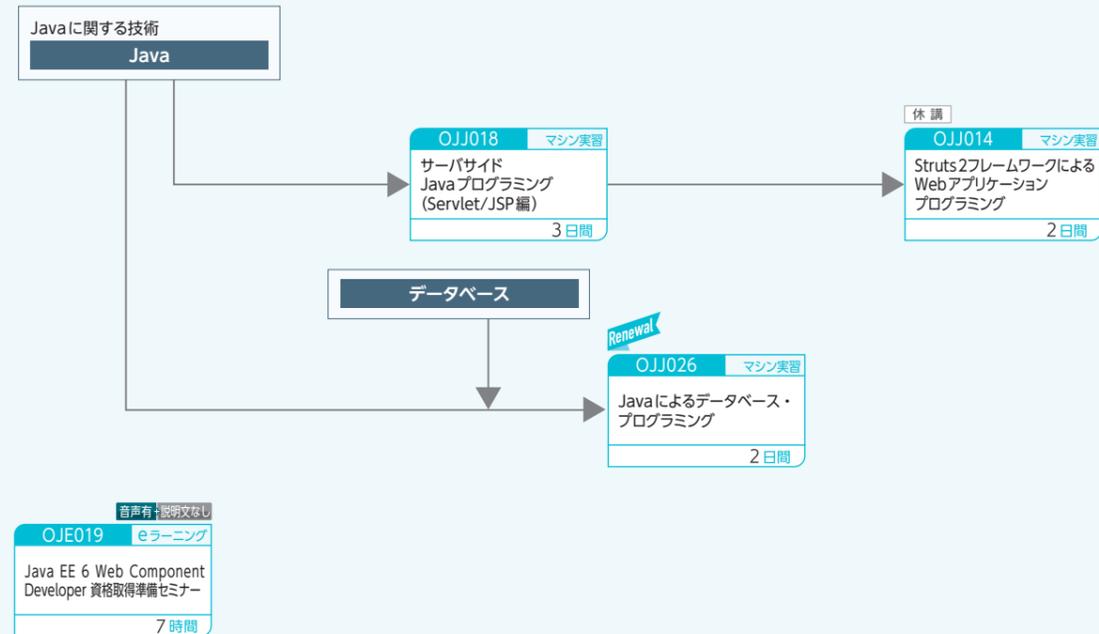
Webアプリケーションの開発技術について幅広く知りたい方



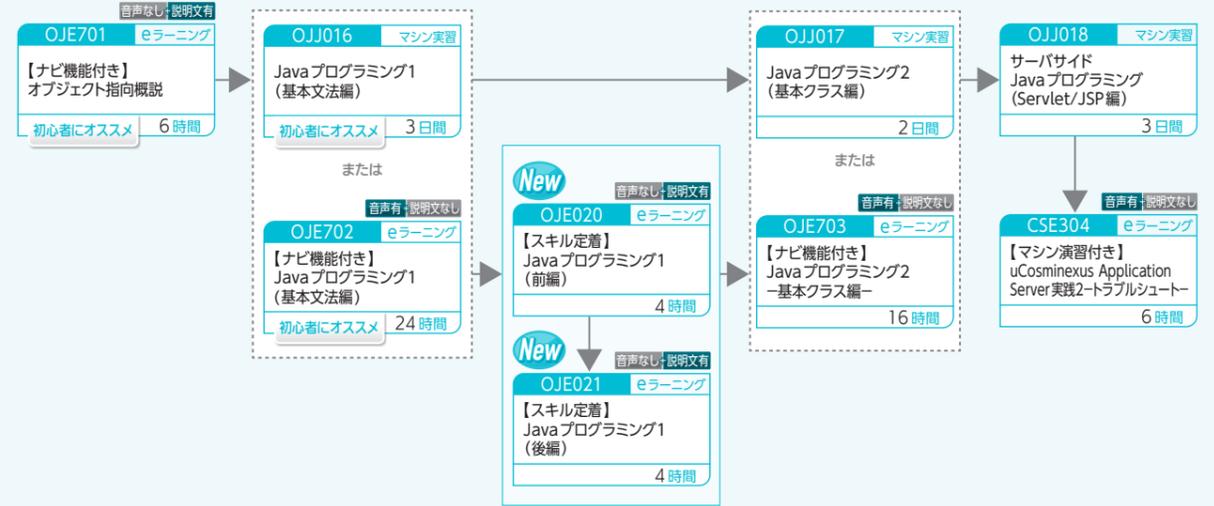
Webコンテンツを制作する方



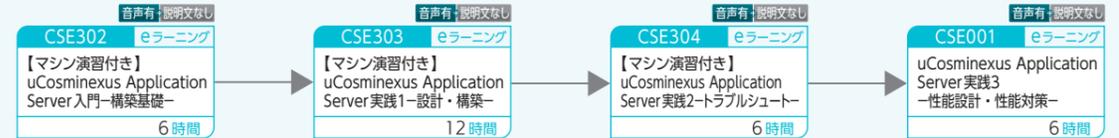
Java EEテクノロジーのトレーニング (サーバサイド・テクノロジーを使用してアプリケーションを開発する方)



uCosminexus Application Serverを使用してWebアプリケーションの開発をする方



uCosminexus Application Serverを使用したWebシステムの性能設計・性能対策をする方



Visual Basicを使用してWebアプリケーションを開発する方



Visual C#を使用してWebアプリケーションを開発する方



音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDM II
- Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
- IoT
- ビッグデータ
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- UNIX/Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画/システム設計
- IT戦略・IS企画
- システム設計
- アプリケーション開発
- Webアプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/UML
- 言語
- IT基本
- IT基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDM II
- Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
- IoT
- ビッグデータ
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- UNIX/Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画/システム設計
- IT戦略・IS企画
- システム設計
- アプリケーション開発
- Webアプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/UML
- 言語
- IT基本
- IT基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/ サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

IT戦略・IS企画/ システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション 開発
Web アプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/ UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ ヒューマン
グローバル

マシン実習 マシンを使用し ながらの研修	グループ演習 グループ演習を 中心とした研修	レクチャ 座学による 研修	演習環境 職場・自宅などのマシン演習 環境を使用した自己学習	研修室自習型 研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習	eラーニング インターネット接続 による自己学習
----------------------------	------------------------------	---------------------	--------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------

共通
<eラーニング>【ナビ機能付き】 Webシステム入門
平均6時間
Webシステムの構成要素と代表的なアプリケーション開発技術を学習します。 加えて、開発時における留意点を学習します。
到達目標
<ul style="list-style-type: none"> Webシステムにおけるクライアントとサーバの役割を説明できる。 Webシステムにおけるサーバの種類と代表的な製品を説明できる。 Webシステムにおける開発時の留意点を説明できる。
対象者
これからWebシステムを構築、管理する方。 これからWebアプリケーションを開発する方。
前提知識
特に必要としません。
内容
<ol style="list-style-type: none"> Webシステムを取り巻く環境 構成要素と動作イメージ システム構成 アプリケーションの実装技術 開発時の留意点 修了試験
備考
収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

共通
<eラーニング>【ナビ機能付き】 Webアプリケーション設計の基礎
2日間
Webアプリケーション開発に関わるにあたり、設計の観点からの基本的な知識や留意点を学習する入門コースです。 ユーザビリティ向上と実装難易度をふまえた画面設計、開発効率や保守性を考慮したフレームワークの必要性、実行効率向上のためのデータと画面設計の対応について学習します。
到達目標
<ul style="list-style-type: none"> Webシステムの画面設計時に、ユーザビリティ向上にあたっての留意点を説明できる。 保守性、開発効率をふまえたフレームワーク導入の意義を説明できる。
対象者
これからWebアプリケーション開発に関わる方。
前提知識
【【ナビ機能付き】Webシステム入門】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
<ol style="list-style-type: none"> Webシステム概要 <ol style="list-style-type: none"> サーバ/クライアント Webアプリケーションの設計とは <ol style="list-style-type: none"> 設計フェーズの確認・機能要件/非機能要件 画面設計 <ol style="list-style-type: none"> ユーザビリティへの配慮 ウィンドウサイズ/スクロールバー/画面部品/画面遷移 プログラムの設計 <ol style="list-style-type: none"> フレームワークの利用・セッション管理 データ設計 <ol style="list-style-type: none"> 画面設計との整合性 多様化するクライアントの役割 <ol style="list-style-type: none"> 非同期通信、多様なデータ形式
備考
このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

マシン実習 マシンを使用し ながらの研修	グループ演習 グループ演習を 中心とした研修	レクチャ 座学による 研修	演習環境 職場・自宅などのマシン演習 環境を使用した自己学習	研修室自習型 研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習	eラーニング インターネット接続 による自己学習
----------------------------	------------------------------	---------------------	--------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------

コンテンツ
<eラーニング>【ナビ機能付き】 CSSによるWebコンテンツ制作
平均8時間
CSSを用いたスタイルシートの効果的な指定方法を学習します。
到達目標
CSSを使ってWebコンテンツ(画面レイアウト)を作成できる。
対象者
JavaScriptやWebアプリケーション開発技術を学習する前提として、CSSを学ぶ方。
前提知識
【【ナビ機能付き】HTMLによるWebコンテンツ制作】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識をお持ちの方。
<ul style="list-style-type: none"> Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。
内容
<ol style="list-style-type: none"> CSSの概要 CSSの基本文法 CSSの主要なプロパティ 修了試験
備考
説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) HTML5によるWebコンテンツ作成については「HTML5プログラミング」コースにてご案内しています。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

コンテンツ
<eラーニング>【ナビ機能付き】 HTMLによるWebコンテンツ制作
平均8時間
HTMLによるリンク、テーブル、フォームなどを用いたWebコンテンツの作成方法を学習します。
到達目標
<ul style="list-style-type: none"> HTML、スタイルシートの基礎を説明できる。 リンク、マルチメディアデータ、テーブル、フォームを用いた WebコンテンツをHTMLで作成できる。
対象者
JavaScriptやWebアプリケーション開発技術を学習する前提として、HTMLを学ぶ方。
前提知識
Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。
内容
<ol style="list-style-type: none"> HTMLの概要 HTMLの基本文法(テーブル・フォーム・リンク等) HTMLの主要な要素 修了試験
備考
説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) HTML5によるWebコンテンツ作成については「HTML5プログラミング」コースにてご案内しています。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

マシン実習 マシンを使用し ながらの研修	グループ演習 グループ演習を 中心とした研修	レクチャ 座学による 研修	演習環境 職場・自宅などのマシン演習 環境を使用した自己学習	研修室自習型 研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習	eラーニング インターネット接続 による自己学習
----------------------------	------------------------------	---------------------	--------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------

コンテンツ
HTML5/ JavaScriptによる Webアプリケーション開発実践
2日間
HTML5、JavaScriptを用いたWebアプリケーションの設計と実装を学習します。設計演習では、テキストで紹介した技術だけでなくインターネットを用いた自主的な技術調査も実施し、適用技術を各自で検討します。また、検討結果を共有し、与えられた要件をどのように実現するかといった観点で議論します。実装演習では、各自の設計を実際に実装することで、選択した各技術に対する理解を深めます。
到達目標
HTML5、JavaScriptの技術を組み合わせ、Webアプリケーションの設計と実装ができる。
対象者
<ul style="list-style-type: none"> HTML5、JavaScript等の技術を組み合わせてWebアプリケーションを開発したい方。 ITエンジニア職、若手・中堅向け。
前提知識
「JavaScriptプログラミング基礎からAjaxまで」および「HTML5プログラミング」コースを修了しているか、または同等の知識をお持ちのこと。
内容
<ol style="list-style-type: none"> Webアプリケーションの変遷 サンプルプログラムの確認 設計演習 <ol style="list-style-type: none"> 要件の確認 アーキテクチャ、実装技術の調査検討 検討結果の共有 実装演習 <ol style="list-style-type: none"> プログラミング 成果物の共有
備考
このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

コンテンツ
HTML5プログラミング
1日間
HTML5の概要を知り、マシン実習を通してHTML5の使用方法を学習します。
到達目標
<ul style="list-style-type: none"> HTML5の各規格の概要を説明できる。 HTML5の新機能の概要を説明できる。
対象者
HTML5によるWebコンテンツ制作に携わる方。
前提知識
「JavaScriptプログラミング基礎からAjaxまで」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
<ol style="list-style-type: none"> HTML5概要 HTML5の新要素 <ol style="list-style-type: none"> キャンバス フォーム その他の新要素 HTML5のAPI <ol style="list-style-type: none"> ドラッグ&ドロップAPI WebWorkersAPI FileAPI その他のAPI HTML5によるスマートフォンアプリ開発 <ol style="list-style-type: none"> jQueryMobile
備考
このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

自習テキスト 自習書による 自己学習	休講 休講 休講の定期開催は ありません
--------------------------	-------------------------------

Java
Struts2フレームワークによる Webアプリケーションプログラミング
2日間
Struts2を適用したWebアプリケーション開発方法とそのポイントについて、演習を通して学習します。
到達目標
<ul style="list-style-type: none"> Struts2の動作の仕組みを理解し実行の流れについて説明できる。 Struts2を構成している各コンポーネントを作成できる。 Struts2を適用したJavaEEアプリケーションを開発できる。
対象者
Struts2を適用したJavaEEアプリケーションを開発する方、サーブレット/JSPを用いてWebアプリケーションを開発している方で保守性や開発効率の向上を検討している方、アスベクト指向やCoC(Convention Over Configuration：設定より規約)の考え方を理解したい方、現在適用しているフレームワークとStruts2を比較したい方。
前提知識
「サーバサイドJavaプログラミング (Servlet/JSP編)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
<ol style="list-style-type: none"> Struts2の全体像 Struts2を適用したサンプルアプリケーション Action Interceptor JSPとタグライブラリ Validation リソースファイルと国際化対応 総合演習
備考
このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。

コンテンツ
HTML5プログラミング
1日間
HTML5の概要を知り、マシン実習を通してHTML5の使用方法を学習します。
到達目標
<ul style="list-style-type: none"> HTML5の各規格の概要を説明できる。 HTML5の新機能の概要を説明できる。
対象者
HTML5によるWebコンテンツ制作に携わる方。
前提知識
「JavaScriptプログラミング基礎からAjaxまで」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容
<ol style="list-style-type: none"> HTML5概要 HTML5の新要素 <ol style="list-style-type: none"> キャンバス フォーム その他の新要素 HTML5のAPI <ol style="list-style-type: none"> ドラッグ&ドロップAPI WebWorkersAPI FileAPI その他のAPI HTML5によるスマートフォンアプリ開発 <ol style="list-style-type: none"> jQueryMobile
備考
このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

自習テキスト 自習書による 自己学習	休講 休講 休講の定期開催は ありません
--------------------------	-------------------------------

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/ サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

IT戦略・IS企画/ システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション 開発
Web アプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/ UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ ヒューマン
グローバル

スマートデバイス

スマートデバイスをビジネスに活用するための基礎知識や、アプリケーションを設計開発する技術が修得できます。

スマートデバイスの導入を検討する方

音声有 **説明文なし**

NWE029 eラーニング

スマートデバイス活用システムの提案概説

3 時間

スマートデバイスに対応したWebアプリケーションを設計する方

NWJ113 マシン実習

スマートフォンの特性を踏まえたWebアプリケーション設計の考え方

1 日間

iPhone・iPadアプリケーションを開発する方

NWJ129 マシン実習

体験！iPhone・iPadアプリケーションの開発

1 日間

NWJ131 マシン実習

体験！SwiftではじめるiPhoneアプリケーションの開発

1 日間

Androidアプリケーションを開発する方

NWJ135 マシン実習

体験！Androidアプリケーションの開発

1 日間

音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

NWE029 スマートデバイス

<eラーニング>
スマートデバイス活用システムの提案概説

平均3時間

スマートデバイスの概要と、エンタープライズ分野でスマートデバイスを活用するうえで検討すべきポイントを学習します。

到達目標 スマートデバイスの特徴や、エンタープライズシステムへ適用するうえで検討すべき事項を説明できる。

対象者 スマートデバイスに関心のある方、スマートデバイスの導入に携わる方。

前提知識 特に必要としません。

内容 1. スマートデバイスの概要
2. 目的の明確化
3. スマートデバイスの管理
4. システムへの導入方式
5. アプリケーション開発方式
6. アプリケーション開発を支える技術

備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。）
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースは、「<eラーニング>スマートデバイス概説と導入の考え方」eラーニングコースの内容改訂および名称を変更したものです。
・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

NWJ113 スマートデバイス

スマートフォンの特性を踏まえたWebアプリケーション設計の考え方

1 日間

スマートフォン用Webブラウザから利用するWebアプリケーションを開発するうえで必要となる、スマートフォンの特性を踏まえた画面設計や高速化手法の考え方を学習します。

到達目標 ・スマートフォンに対応したWebアプリケーションにおける画面設計の留意点を説明できる。
・非同期通信やキャッシュを用いて、スマートフォンに対応したWebアプリケーションを高速化する手法を説明できる。

対象者 スマートフォンに対応したWebアプリケーションを設計する方。

前提知識 「Webアプリケーション設計の基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. スマートフォンに対応したWebアプリケーションとは
(1)PC向けWebアプリケーションとの比較
(2)ネイティブアプリケーションとの比較
2. スマートフォンの特性を踏まえた画面設計
(1)UI/レイアウト・デザインの考え方
(2)代表的なライブラリ (jQuery Mobileなど)
3. Webアプリケーションの高速化
(1)ネットワーク環境に留意したWebアプリケーション設計の考え方
(2)非同期通信と事前読み込み (プリフェッチ)
(3)キャッシュ
4. セキュリティへの配慮
(1)セキュリティ脆弱性への対応
(2)コードの難読化

備考 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

NWJ135 スマートデバイス

体験！Androidアプリケーションの開発

1 日間

PC環境を用いたAndroidアプリケーション開発の体験を通して、Androidアプリケーションの開発手順を学習します。

到達目標 ・Androidが提供するアプリケーションフレームワークの役割を説明できる。
・Androidアプリケーション開発の流れについて説明できる。これからAndroidを利用したアプリケーションの開発に携わる方。

前提知識 Java言語に関する基本的な知識があることが望ましい。

内容 1. Androidアプリケーションフレームワークの概要
2. Android開発環境構築
3. Androidアプリケーション開発の流れ
4. Androidアプリケーションの作成
(1)画面遷移を伴うプログラムを作る
(2)バックグラウンドで動作するプログラムを作る
(3)データストアへのアクセスを伴うプログラムを作る
(4)何らかの通知により起動するプログラムを作る

備考 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

NWJ129 スマートデバイス

体験！iPhone・iPadアプリケーションの開発

1 日間

iPhone・iPadアプリケーションの開発に必要な基礎知識を学習するとともに、Objective-Cの基礎知識についても学習します。

到達目標 ・iOSアーキテクチャの概要を説明できる。
・iOSアプリケーション作成の手順を説明できる。

対象者 iPhone・iPadアプリケーションを設計・開発する方。

前提知識 何らかの言語を使用したアプリケーション開発の経験があること。

内容 1. iOSアーキテクチャ
2. Objective-C概要
3. アプリケーション開発の手順
4. 画面遷移
5. 色々なUIの紹介

備考 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

NWJ131 スマートデバイス

体験！SwiftではじめるiPhoneアプリケーションの開発

1 日間

Swiftを使って基本的なiPhoneアプリケーションを開発できるスキルを修得します。

到達目標 Swiftを使って基本的なiPhoneアプリケーションを開発できる。

対象者 これからiPhoneアプリケーションの開発をはじめる方。

前提知識 特に必要としません。

内容 1. iOS概要
2. Swift概要
3. アプリケーション開発の手順
4. 画面遷移
5. 基本的な機能の紹介

備考 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

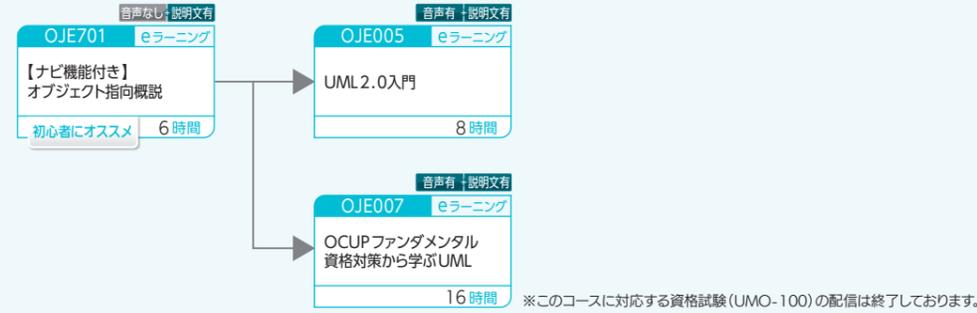
自習テキスト
自習書による自己学習

休講
休講
今期の定期開催はありません

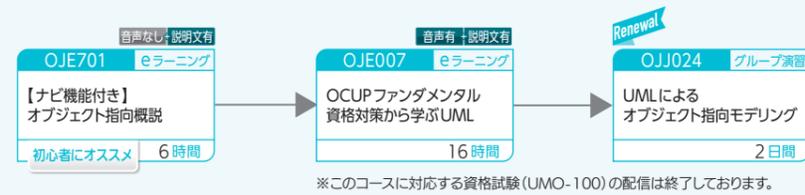
オブジェクト指向/UML

オブジェクト指向の基本概念やUMLによるシステム分析、設計、プログラミングが修得できます。

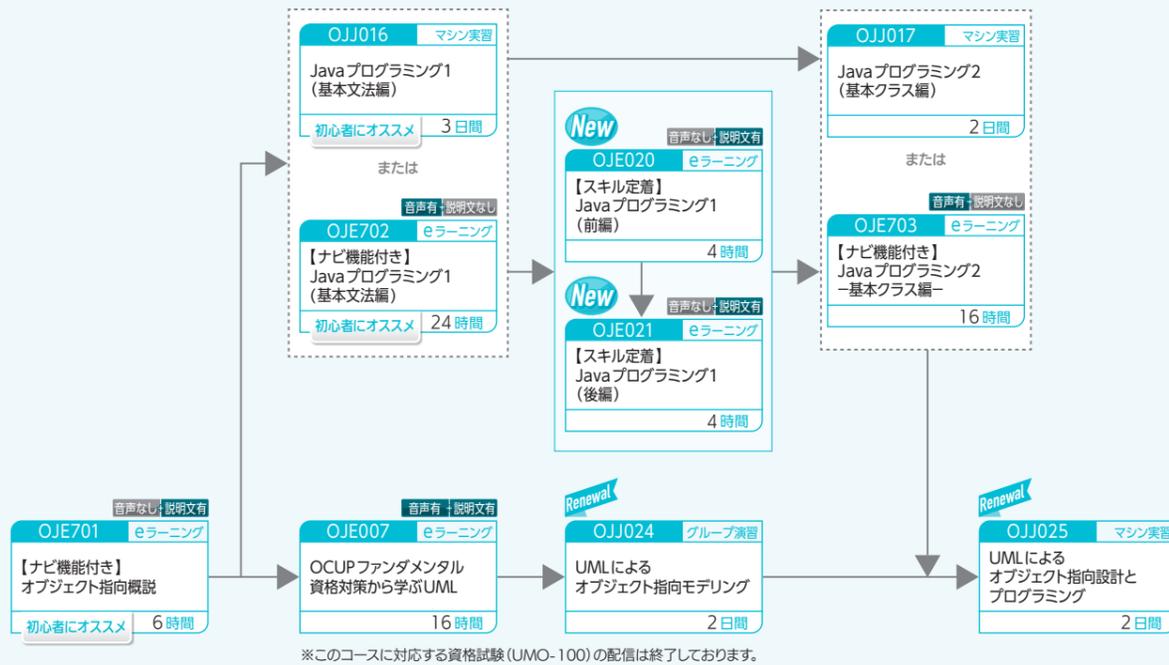
UMLを初めて学習する方、または導入を検討する方



UMLを適用してシステム分析をする方



UMLを適用したシステム開発で設計・プログラミングをする方



- 音声有・説明文有** : 学習の説明画面とナレーション (説明テキスト) で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシナ学習: マシンを使用しながらの研修 | グループ演習: グループ演習を中心とした研修 | レクチャ: 座学による研修 | 演習環境: 職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習 | 研修室自習型: 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習 | eラーニング: インターネット接続による自己学習

OJE701 オブジェクト指向/UML

<eラーニング>【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説

平均6時間

オブジェクト指向の考え方と基本概念、およびオブジェクト指向による開発の流れを学習します。

到達目標

- オブジェクト指向の基本概念 (オブジェクト、クラス、カプセル化、継承、ポリモフィズムなど) を説明できる。
- オブジェクト指向による開発の流れを説明できる。
- UML (Unified Modeling Language) の役割、概要を説明できる。

対象者 これからオブジェクト指向による情報システム開発に携わる方。

前提知識 特に必要としません。

内容

- オブジェクト指向概要
- UML概要
- オブジェクト指向の基本概念
 - オブジェクト
 - クラス
 - 関連
 - 継承
 - 多態性
- オブジェクト指向開発手順の概要
- 修了試験

備考

- 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

OJE005 オブジェクト指向/UML

<eラーニング>UML2.0入門

平均16時間

UML (Unified Modeling Language) のユースケース図、クラス図、シーケンス図の書き方・読み方を学習します。

到達目標 UML (Unified Modeling Language) の各種ダイアグラムについて、役割、記述内容を説明できる。

対象者 これからUMLを利用する方。

前提知識 【【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- UMLとは
- UMLリファレンス
- オブジェクト指向言語 (Java、C++) へのマッピング
- UMLの導入
- 修了試験

備考

- 説明の画面とナレーション (説明テキスト) で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

OJE007 オブジェクト指向/UML

<eラーニング>OCUPファンダメンタル資格対策から学ぶUML

平均16時間

UMLの表記法、利用時のコツ、さらにOCUPファンダメンタル受験に必要な知識を紹介します。

到達目標

- UML (Unified Modeling Language) の各種ダイアグラムについて、役割、記述内容、作成におけるポイントを説明できる。
- OCUPファンダメンタル資格取得に必要な知識を説明できる。

対象者 これからUMLを利用する方、OCUPファンダメンタル資格取得をめざす方。

前提知識 【【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- UMLとは
- ユースケース図
- クラス図 (難易度★)
- クラス図 (難易度★★)
- オブジェクト図
- パッケージ図
- シーケンス図 (難易度★)
- シーケンス図 (難易度★★)
- アクティビティ図
- すべての図に使われる要素
- メタモデル
- 修了試験

備考

- 説明の画面とナレーション (説明テキスト) で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

OJJ024 オブジェクト指向/UML

UMLによるオブジェクト指向モデリング

グループ演習 2日間

UMLを用いたモデリングによるシステム分析の手順および技法を紹介します。

到達目標

- UMLのクラス図を読み理解できる。
- 問題記述からUMLのクラス図を作成できる。

対象者 オブジェクト指向を適用した情報システム開発プロジェクトに参画し、分析モデリングを行う方。

前提知識 「OCUPファンダメンタル資格対策から学ぶUML」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- 背景
 - 現実とソフトウェアのギャップ
 - 要求とソフトウェアのギャップ
 - ソフトウェアの開発に必要な作業
- 思考方法
- モデリングスキルの修得
 - UMLを知る
 - UMLを読む
 - UMLを書く
 - モデルを作る
- モデリングスキルの向上

備考

- このコースは、9:00~17:20の開催とさせていただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。

OJJ025 オブジェクト指向/UML

UMLによるオブジェクト指向設計とプログラミング

マシン演習 2日間

UMLで記述された分析モデルを設計モデルへ洗練する手順と、設計モデルをJavaでプログラミングする手順を紹介します。

到達目標

- UMLのクラス図、シーケンス図を基にJavaでプログラミングできる。
- 分析モデルを基に、実装できるレベルまで洗練し設計モデルを作成できる。

対象者 オブジェクト指向を適用した情報システム開発プロジェクトに参画し、分析・設計モデリングを行う方。

前提知識 「UMLによるオブジェクト指向モデリング」コースを修了 (同コースで作成した分析モデルを利用します) し、かつJavaのプログラミング経験があること。

内容

- モデリングの概要
 - モデルの価値
 - モデルの種類
 - モデラーの種類
- モデリングスキルの修得
 - UMLを知る
 - 分析モデルを読む
 - 分析モデルを洗練する
 - モデルを実装する
- モデリングスキルの向上

備考

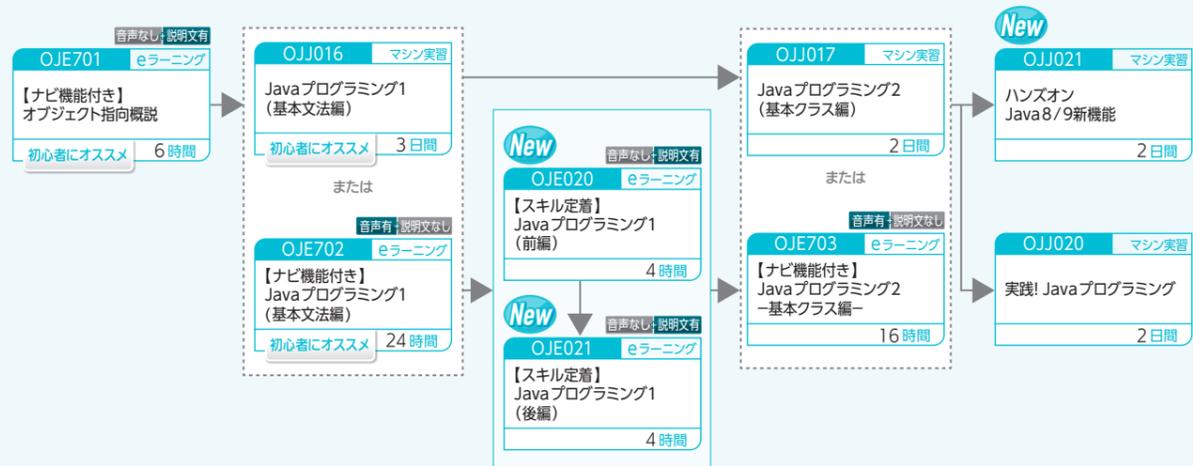
- このコースは、9:00~17:20の開催とさせていただきます。
- 前提コースとなる「UMLによるオブジェクト指向モデリング」コースで作成した分析モデルを設計・実装します。
- このコースでは、ソフトウェア開発支援ツールを使用します。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。

自習テキスト: 自習書による自己学習 | 休講: 休講 | 休講: 休講

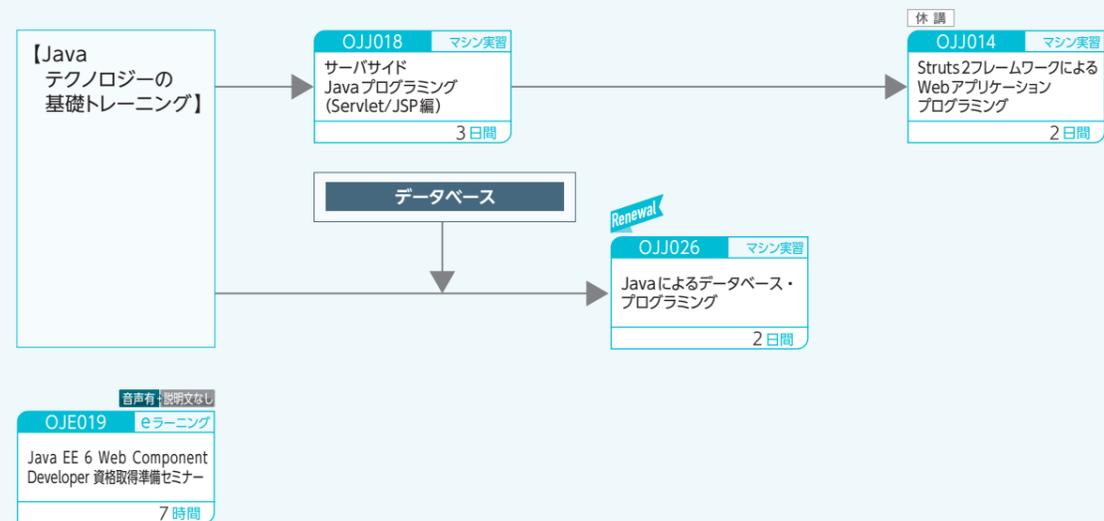
言語

各種プログラミング言語を使用したプログラム開発を行うために必要な基本文法や、プログラミング技術が修得できます。

● Java言語を使用してプログラムを開発する方 (Javaテクノロジーの基礎トレーニング)



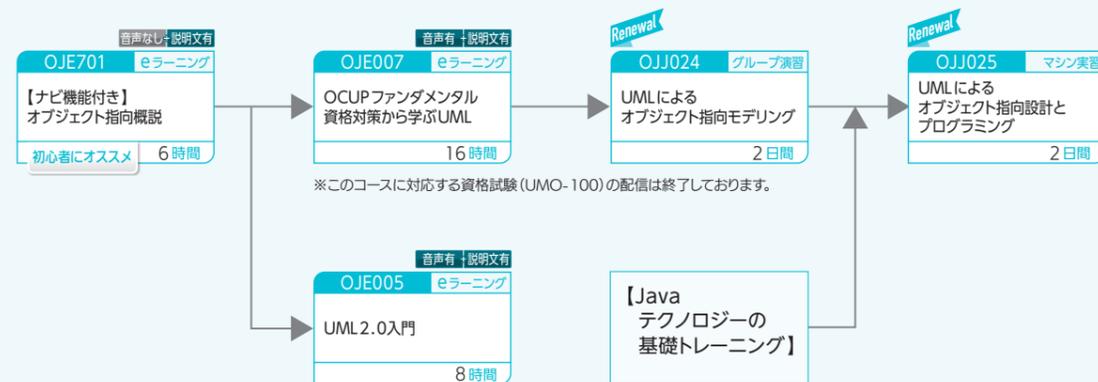
● サーバサイド・テクノロジーを使用してアプリケーションを開発する方 (Java EEテクノロジーのトレーニング)



● Python言語を使ってアプリケーション開発する方

New
DBJ107 マシン実習
 0から始めるPython入門
 -データ分析での活用をテーマとして-
 2日間

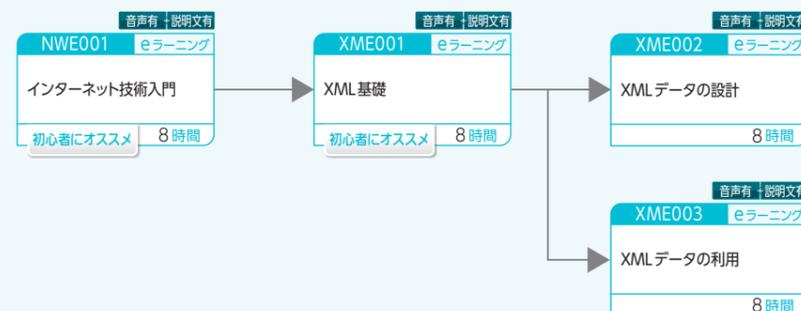
● Javaオブジェクト技術を使用してシステムを分析・設計する方



● Java言語の資格取得をめざす方

OJE016 (7h) OCJP Silver SE 8 資格取得準備セミナー
 OJE018 (7h) OCJP Gold SE 8 資格取得準備セミナー
 OJE017 (7h) OCJP Gold SE 8 資格取得準備セミナー (移行試験)

● XMLを使用してWebアプリケーションを開発する方

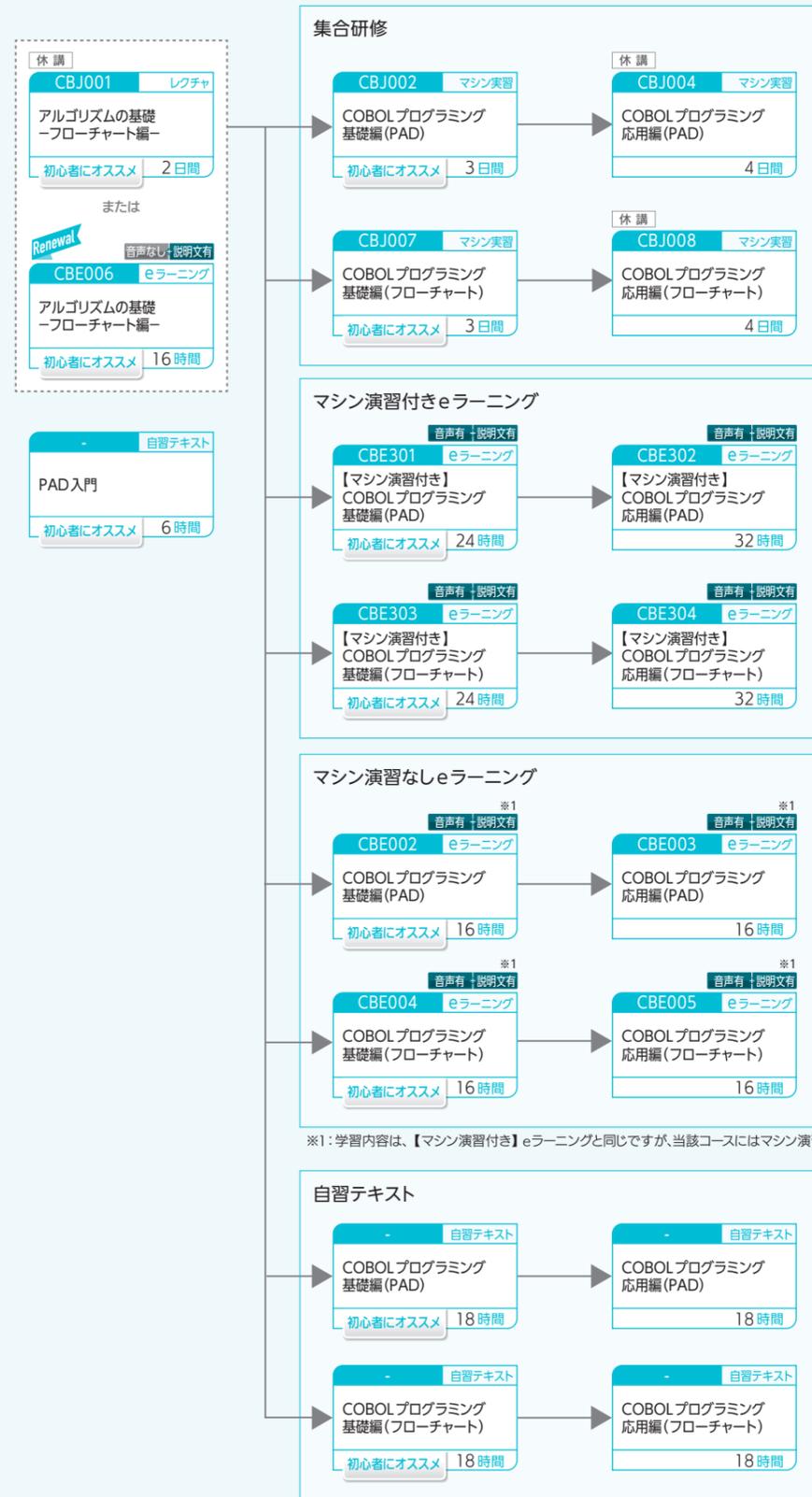


音声有 + 説明文有 : 学習の説明画面とナレーション (説明テキスト) で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
 音声有 + 説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
 音声なし + 説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

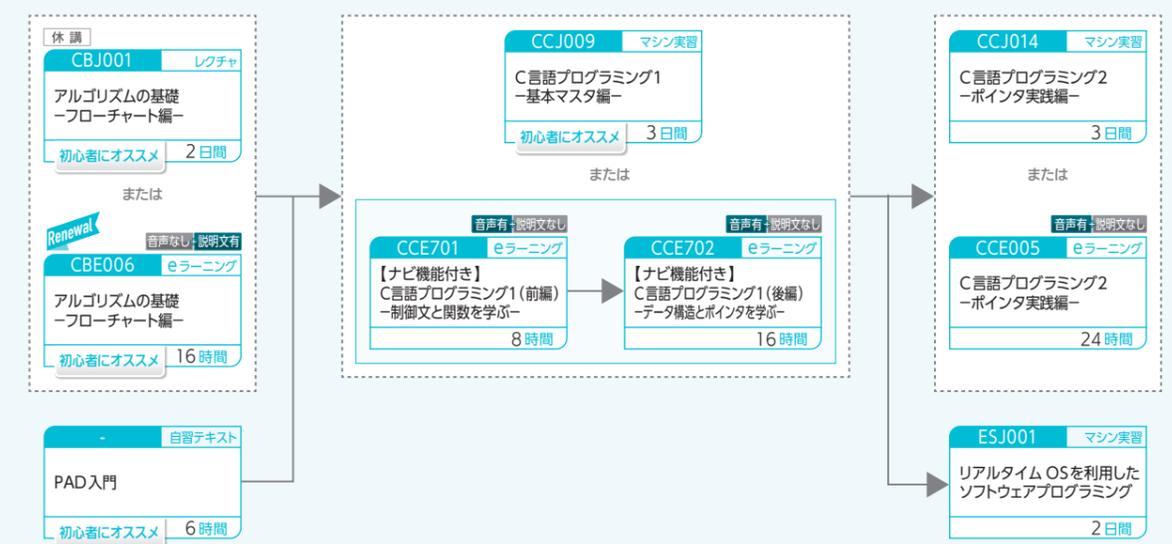
初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

自習テキスト 休講
 自習書による自己学習 休講 今期の定期開催はありません

● COBOLを使用してプログラムを開発する方



● C言語を使用してプログラムを開発する方



● Visual Basic を使用してアプリケーションを開発する方



● Visual C# を使用してアプリケーションを開発する方



音声有 + 説明文有 : 学習の説明画面とナレーション (説明テキスト) で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
 音声有 + 説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
 音声なし + 説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

CBJ001 共通
 アルゴリズムの基礎 －フローチャート編－ 休講
2日間
<p>プログラミングに必要なアルゴリズムの基礎を、フローチャートを用いた演習を通して学習します。</p>
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フローチャートの処理記号を説明できる。 ・合計と平均を求めるアルゴリズムを説明できる。 ・最大値、最小値を求めるアルゴリズムを説明できる。 ・スタックのアルゴリズムを説明できる。 ・素数を求めるアルゴリズムを説明できる。 ・探索（逐次探索、二分探索）のアルゴリズムを説明できる。 ・整列（交換法、選択法、挿入法）のアルゴリズムを説明できる。 ・文字列検索のアルゴリズムを説明できる。
<p>対象者 プログラム設計やプログラム開発を行う方。</p>
<p>前提知識 特に必要としません。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アルゴリズムとは 2. フローチャートの書き方 3. 基本的なアルゴリズム <ol style="list-style-type: none"> (1) 合計・平均 (2) 最大値・最小値 4. 探索 <ol style="list-style-type: none"> (1) 逐次探索 (2) 二分探索 5. 整列 <ol style="list-style-type: none"> (1) 整列（交換法） (2) 整列（選択法） (3) 整列（挿入法） 6. 文字列の処理
<p>備考 ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。</p>

CBE006 共通
 <eラーニング> アルゴリズムの基礎 －フローチャート編－ <i>Renewal</i>
平均16時間
<p>プログラミングに必要なアルゴリズムの基本的な考え方をフローチャートを利用して学習します。</p>
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フローチャートの処理記号を説明できる。 ・合計・平均、最大値・最小値など基本的なアルゴリズムを説明できる。 ・基本的な探索、整列のアルゴリズムを説明できる。 ・文字列検索のアルゴリズムを説明できる。 ・コントロールブレイク、マッチングのアルゴリズムを説明できる。
<p>対象者 プログラム設計やプログラム開発を行う方。</p>
<p>前提知識 特に必要としません。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アルゴリズムとは 2. フローチャートの書き方 3. 基本的なアルゴリズム <ol style="list-style-type: none"> (1) 合計、平均の求め方 (2) 最大値、最小値の求め方 (3) スタックの考え方 (4) 素数の求め方 4. 探索（逐次探索、二分探索） 5. 整列（交換法、選択法、挿入法） 6. 文字列の処理 7. 事務処理での活用 <ol style="list-style-type: none"> (1) コントロールブレイク (2) ファイル併合、照合、更新 8. 修了試験
<p>備考 ・説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。</p>

OJJ016 Java
 Javaプログラミング1 （基本文法編）
3日間
<p>Java言語の基本文法とオブジェクト指向プログラミングの基本知識を、マシン実習を通して学習します。</p>
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Java言語の基本的な文法が説明できる。 ・Java言語でオブジェクト指向プログラミングができる。
<p>対象者 これからJava言語でアプリケーションを開発する方。</p>
<p>前提知識 コンピュータの基礎知識があること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Java言語とは 2. 基本文法 3. クラス 4. インタフェース 5. ポリモフィズム 6. 継承 7. 例外 8. パッケージ
<p>備考 ・このコースの内容は、Java SE7以降に対応しています。 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・このコースは、eラーニング【ナビ機能付き】Javaプログラミング1（基本文法編）コース（OJE702）とは内容が異なります。</p>

OJJ017 Java
 Javaプログラミング2 （基本クラス編）
2日間
<p>Java言語での開発において利用頻度の高いAPIの概要と使用方法を、マシン実習を通して学習します。</p>
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・APIドキュメントからクラス、メソッドの使い方を把握できる。 ・参照の一致と内容の一致の違いを説明できる。 ・マルチスレッドプログラムの作成方法を説明できる。 ・ファイル入出力プログラムの作成方法を説明できる。
<p>対象者 これからJava言語でアプリケーションを開発する方。</p>
<p>前提知識 「Javaプログラミング 1（基本文法編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. APIドキュメント 2. 文字列を扱うクラス 3. Objectクラス 4. ラッパークラス 5. スレッド 6. 入出力 7. コレクション
<p>備考 ・このコースの内容は、Java SE7以降に対応しています。 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。</p>

OJE703 Java
 <eラーニング>【ナビ機能付き】 Javaプログラミング2 －基本クラス編－
平均16時間
<p>Java言語での開発において利用頻度の高いAPIの概要と使用方法について、マシン演習を通して学習します。</p>
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・APIドキュメントからクラス、メソッドの使い方を把握できる。 ・参照の一致と内容の一致の違いを説明できる。 ・マルチスレッドプログラムの作成方法を説明できる。 ・ファイル入出力プログラムの作成方法を説明できる。
<p>対象者 これからJava言語でアプリケーションを開発する方。</p>
<p>前提知識 「Javaプログラミング 1（基本文法編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. APIドキュメント 2. 文字列を扱うクラス 3. Objectクラス 4. ラッパークラス 5. スレッド 6. 入出力 7. コレクション 8. 修了試験
<p>備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。） ・ダウンロードした演習ファイルを使って演習するためには、お使いのPCにJDKがインストールされている必要があります。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。</p>

OJJ021 Java
 ハンズオン Java8/9新機能 <i>New</i>
2日間
<p>関数型インタフェースやモジュールシステムなど、Java8およびJava9の機能で追加された新機能について、マシン演習を通して学習します。</p>
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関数型インタフェースなど、Java8から追加された機能を利用することができる。 ・モジュールシステムなど、Java9から追加された機能を利用することができる。
<p>対象者 Java言語でアプリケーションを開発する方。Java8/9で追加された新機能を開発に活用したい方。</p>
<p>前提知識 「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Java8の機能 <ol style="list-style-type: none"> (1) java.util、Functionインタフェースとラムダ式 (2) java.util.Optionalクラス (3) java.util.stream.Streamインタフェース (4) java.timeパッケージ 2. Java9の機能 <ol style="list-style-type: none"> (1) Jshell (2) モジュールシステム
<p>備考 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。</p>

OJE702 Java
 <eラーニング>【ナビ機能付き】 Javaプログラミング1 （基本文法編）
平均24時間
<p>Java言語の基本文法とオブジェクト指向プログラミングの基本知識を学習します。演習ファイルダウンロードし、ご自身のPCでの実機演習を通して、より理解を深めます。</p>
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Java言語の特徴を説明できる ・Java言語でオブジェクト指向プログラミングができる。
<p>対象者 これからJava言語でアプリケーションを開発する方。</p>
<p>前提知識 【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説]eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Javaの概要 2. 基本文法 3. クラスとオブジェクト 4. 継承 5. ポリモフィズム 6. 例外処理 7. 修了試験
<p>備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。） ・ダウンロードした演習ファイルを使って演習するためには、お使いのPCにJDKがインストールされている必要があります。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、集合研修「Javaプログラミング1（基本文法編）」コース（OJJ016）とは内容が異なります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。</p>

OJE020 Java
 <eラーニング>【スキル定着】 Javaプログラミング1（前編） <i>New</i> 【スマートデバイス対応】
平均4時間
<p>複数のテーマでJavaプログラム作成とリファクタリングの演習を繰り返し、プログラミングスキルの定着をめざします。</p>
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オブジェクト指向を考慮した、拡張性、保守性の高いJavaプログラムを作成できる。 ・Javaプログラム作成の際に、必要な情報を自身で調べることができる。
<p>対象者 ・これからJava言語によるアプリケーション開発を行う方。 ・Javaのプログラミングスキルの定着をめざす方。</p>
<p>前提知識 「Javaプログラミング1（基本文法編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 分岐構文、繰り返し構文を用いたプログラム 2. オブジェクト指向プログラミング 3. 例外を用いたプログラム 4. パッケージを用いたプログラム 5. プログラムのリファクタリング
<p>備考 ・説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースはスマートデバイス（iPad推奨）に対応しています。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。</p>

OJE021 Java
 <eラーニング>【スキル定着】 Javaプログラミング1（後編） <i>New</i> 【スマートデバイス対応】
平均4時間
<p>複数のテーマでJavaプログラム作成とリファクタリングの演習を繰り返し、プログラミングスキルの定着をめざします。また、単純なプログラミングスキルだけでなく、設計書に基づいて仕様を把握するスキルの向上を同時にめざします。</p>
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オブジェクト指向を考慮した、拡張性、保守性の高いJavaプログラムを作成できる。 ・Javaプログラム作成の際に、必要な情報を自身で調べることができる。
<p>対象者 ・これからJava言語によるアプリケーション開発を行う方。 ・Javaのプログラミングスキルの定着をめざす方。</p>
<p>前提知識 「Javaプログラミング1（基本文法編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オブジェクト指向プログラミング 2. プログラムのリファクタリング 3. 設計書に基づいたプログラミング
<p>備考 ・説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースはスマートデバイス（iPad推奨）に対応しています。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。</p>

OJJ026 Java
 Javaによる データベース・プログラミング <i>Renewal</i>
2日間
<p>Javaプログラムからデータベースへの一般的なアクセス方法を学習します。</p>
<p>到達目標 JDBCを利用してデータベースにアクセスするプログラミングができる。</p>
<p>対象者 Java言語でデータベース連携を伴うアプリケーションを開発する方。</p>
<p>前提知識 「Javaプログラミング 2（基本クラス編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があり、かつSQLの基礎知識があること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. データベースプログラミング概要 2. JDBCによる基本的なデータベース利用 3. トランザクション制御 4. O/Rマッピング
<p>備考 ・このコースは、9：00～17：20の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。</p>

OJJ018 Java
 サーバサイドJavaプログラミング （Servlet/JSP編）
3日間
<p>要素技術を順に組み合わせてWebアプリケーションを構築する過程を通して、JavaEEによるWebアプリケーション構築に必要なスキルを学習します。</p>
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ServletおよびJSPを作成できる。 ・MVCモデルに則したWebアプリケーションの特徴を説明できる。 ・Webアプリケーションの実行時に発生するエラーに対処できる。
<p>対象者 これからJavaEEによるWebアプリケーションの開発に携わる方。</p>
<p>前提知識 「Javaプログラミング 2（基本クラス編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Webアプリケーションとは 2. 静的なWebページ 3. 動的なWebページ 4. 静的、動的なWebページの連携 5. HTMLとプログラムの分離 6. HTML、Servlet、JSPの連携 7. HTML、Servlet、JSP、Beanの連携 8. Webアプリケーションの設計
<p>備考 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。</p>

OJJ020 Java
 実践！Javaプログラミング
2日間
<p>Javaアプリケーション開発者に必要な実用的かつ保守性の高いプログラムの作成ノウハウを学習します。</p>
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発効率を向上するための機能を利用したプログラミングができる。 ・プログラムの実行効率を向上する際の観点を説明できる。 ・変更容易性を意識したプログラミングの効果や観点を説明できる。
<p>対象者 ITエンジニア職、若手・中堅・Javaでアプリケーションを開発する方。</p>
<p>前提知識 「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 設計におけるノウハウ <ol style="list-style-type: none"> (1) 凝集度と結合度 (2) アクセス範囲を限定する 2. プログラミングにおけるノウハウ <ol style="list-style-type: none"> (1) EoDを意識したプログラミング (2) 実行効率を意識したプログラミング (3) 変容易性を意識したプログラミング 3. 開発演習
<p>備考 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、Java SE7以降に対応しています。</p>

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

 マシン実習 マシンの使用し ながらの研修	 グループ演習 グループ演習を 中心とした研修	 レクチャ 座学による 研修	 演習環境 職場・ご自宅などのマシン演習 環境を使用した自己学習	 研修室自習型 研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習	 eラーニング	 マシン実習	 演習	 eラーニング	 eラーニング	 eラーニング	 eラーニング	 eラーニング	 eラーニング	 eラーニング	 eラーニング	 eラーニング	 eラーニング	 eラーニング	 eラーニング	 eラーニング
--	--	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

 自習テキスト 自習書による 自己学習	休講 休講 今期の定期開催は ありません
--	--------------------------------------

日立製品
<p>JP1</p> uCosminexus Application Server
<p>HIRDB</p>
<p>OpenTP1</p>
<p>VOS3/VOS1/VOSK</p>
<p>XDM/PDM II</p>
<p>Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム</p>
<p>IoT</p>
<p>ビッグデータ</p>
<p>クラウド/サーバ仮想化</p>
<p>ITサービスマネジメント</p>
<p>システム基盤</p>
<p>UNIX/Linux</p>
<p>Microsoft</p>
<p>ネットワーク</p>
<p>セキュリティ</p>
<p>データベース</p>

IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
<p>アプリケーション開発</p>
<p>Webアプリケーション</p>
<p>スマートデバイス</p>
<p>オブジェクト指向/UML</p>
<p>言語</p>
<p>IT基本</p>
<p>IT基本</p>
<p>ハードウェア</p>
<p>情報処理資格</p>
<p>情報リテラシ</p>
<p>プロジェクトマネジメント</p>
<p>コンプライアンス</p>
<p>ビジネス/ヒューマン</p>
<p>グローバル</p>

OCJE018	Java
<div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div><eラーニング>OCJP Gold SE 8 資格取得準備セミナー</div>	
このコースでは、Oracle Certified Java Programmer、Gold SE 8 資格試験(1Z0-809: Java SE 8 Programmer II)の 出題内容を模擬問題とインストラクターによる詳しい解説でキャッチアップ することができます。	
到達目標	Oracle Certified Java Programmer、Gold SE 8 資格試験(1Z0-809: Java SE 8 Programmer II)の出題内容を理解できる。
対象者	OCJP Gold SE 8 資格取得をめざす方。
前提知識	「Javaプログラミング2(基本クラス編)」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	<ol style="list-style-type: none">はじめに Javaクラスの設計 高度なJavaクラスの設計 ジェネリクスとコレクション コレクション、ストリームおよびフィドル ラムダ組み込み型インターフェース JavaストリームAPI 例外とアサーション Java SE 8の日付/時刻APIを使用する JavaのI/Oの基本 JavaのファイルI/O(NIO.2) Javaの同時実行性 JDBCによるデータベース・アプリケーションの作成 ローカライズ まとめ
備 考	<ul style="list-style-type: none">このコースのサービス有効期間は180日間です。 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。 <p>お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。 http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf</p> <ul style="list-style-type: none">受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。 このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をご提供いたします。 学習開始日10営業日前を過ぎてキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 <ul style="list-style-type: none">このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。 ご利用最終日は、16：00まで利用可能です。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

OCJE019	Java
<div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div><eラーニング>Java EE 6 Web Component Developer 資格取得準備セミナー</div>	
このコースでは、Oracle Certified Expert、Java Platform、EE 6 Web Component Developer 資格試験(1Z0-899: Java EE6 Web Component Developer Certified Expert)の 出題内容を模擬問題とインストラクターによる詳しい解説でキャッチアップ することができます(セミナーで扱う模擬問題は19問です)。	
到達目標	MVCの考え方やサーブレットAPIの使い方やJSPの基本的な記述方法から、アプリケーションのパッケージング、Java EE 6 での新機能まで試験に頻出のトピックついて選択問題で回答できる。
対象者	Java EE 6 Web Component Developer 資格取得をめざす方。
前提知識	下記項目について基本的理解がある事。 <ul style="list-style-type: none">JSP Faceletページの作成。 CDIの使用・Bean Validationの実行。 JPAを使用したデータベースの更新。 モバイルWebアプリケーションの作成。 Webプロファイル・アプリケーションの開発。
内 容	<ol style="list-style-type: none">Oracle Certified Expert、Java Platform、EE 6 Web Component Developer 資格試験の概要とトピックの紹介 標準のアーキテクチャ、プロトコル、テクノロジ、およびコンポーネントを使用したWeb アプリケーションの開発 JSPとJSTLを使用したビューの実装 サーブレットを使用したリクエスト/レスポンス処理の実行 ナビゲーション管理のためのコントローラの開発 モデル、ビュー、およびコントローラの統合 対話のライフサイクル全体でのユーザーおよびアプリケーションの状態データ管理 エラーの特定、キャプチャ、および解決 セキュリティモデルの特定と実装 アプリケーションのテスト、パッケージ化、およびデプロイ
備 考	<ul style="list-style-type: none">このコースのサービス有効期間は180日間です。 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。 http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。 このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をご提供いたします。 学習開始日10営業日前を過ぎてキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。 ご利用最終日は、16：00まで利用可能です。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

OJE017	Java
<div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div><eラーニング>OCJP Gold SE 8 資格取得準備セミナー(移行試験)</div>	
このコースでは、Oracle Certified Java Programmer、Gold SE 8 資格への移行試験(1Z0-810: Upgrade Java SE 7 to Java SE 8 OCP Programmer と 1Z0-813: Upgrade to Java SE 8 OCP(Java SE 6 and all prior versions))の出題項目であるラムダ式と Stream API、Date and Time API を中心に 試験の出題ポイントを模擬問題とインストラクターによる詳しい解説でキャッチアップすることができます 。	
到達目標	Oracle Certified Java Programmer、Gold SE 8 資格への移行試験(1Z0-810: Upgrade Java SE 7 to Java SE 8 OCP Programmer と 1Z0-813: Upgrade to Java SE 8 OCP(Java SE 6 and all prior versions))の出題内容を理解できる。
対象者	OCJP Gold SE 8 資格取得(移行試験)をめざす方。
前提知識	「Javaプログラミング2(基本クラス編)」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	<ol style="list-style-type: none">はじめに ラムダ式 ラムダ式を使用する事前定義済み型の使用 ラムダ式を使用するコレクションおよびストリーム ラムダを使用するコレクション操作 並列ストリーム ラムダ・フックアップ メソッドの強化 Java SE 8 の Date /Time API を使用する 言語の拡張 同時実行性 ローカライズ Java のファイル I/O (NIO.2) Java コレクション まとめ
備 考	<ul style="list-style-type: none">このコースのサービス有効期間は180日間です。 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。 http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。 このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をご提供いたします。 学習開始日10営業日前を過ぎてキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。 ご利用最終日は、16：00まで利用可能です。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

XME001	XML
<div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div><eラーニング>XML基礎</div>	
XML (Extensible Markup Language) 文書の作成方法、DTD の記述方法、XMLの活用分野などの基礎的な内容を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none">XML文書を作成できる。 XMLの特徴、利用分野などを説明できる。
対象者	XMLに関連する営業、営業支援、企画などの仕事に従事している方。システムエンジニアの方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	<ol style="list-style-type: none">XML概要 XMLのルール 文書型定義 (DTD) XMLを利用するための規格 XMLの活用分野と主なXML応用語語 修了試験
備 考	<ul style="list-style-type: none">説明の画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が付加されます。

OJE016	Java
<div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div><eラーニング>OCJP Silver SE 8 資格取得準備セミナー</div>	
Oracle Certified Java Programmer資格試験の出題内容を模擬問題とインストラクターによる詳しい解説でキャッチアップすることができます。	
到達目標	Oracle Certified Java Programmer、Silver SE 8 資格試験(1Z0-808: Java SE 8 Programmer I)の出題内容を理解できる。
対象者	OCJP Silver SE 8 資格取得をめざす方。
前提知識	「Javaプログラミング1(基本文法編)」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	<ol style="list-style-type: none">はじめに Javaの基本 Javaのデータ型の操作 演算子と判定構文の使用 配列の作成と使用 ループ構文の使用 メソッドとカプセル化の操作 継承の操作 例外の処理 Java APIの主要なクラスの操作 まとめ
備 考	<ul style="list-style-type: none">このコースのサービス有効期間は180日間です。 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。 http://www.oracle.com/jp/education/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。 このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をご提供いたします。 学習開始日10営業日前を過ぎてキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。 このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。 ご利用最終日は、16：00まで利用可能です。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

XME002	XML
<div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div><eラーニング>XMLデータの設計</div>	
より実践的なXML文書の作成方法を学習します。また、スキーマ言語としてDTDだけでなくXMLSchemaも紹介します。	
到達目標	実践レベルのXMLデータ・DTDを作成できる。
対象者	XML関連システムを構築するシステムエンジニアの方。
前提知識	「XML基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	<ol style="list-style-type: none">XML文書の記述 XML文書の設計 名前空間 XML Schema 修了試験
備 考	<ul style="list-style-type: none">説明の画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が付加されます。

XME003	XML
<div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div><eラーニング>XMLデータの利用</div>	
XML文書を変換するためのXSLT技術やXMLデータにアクセスするためのDOM技術を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none">XSLTによりXML文書のデータ構造を変換できる。 DOM技術を説明できる。
対象者	XML関連システムを構築するシステムエンジニアの方。
前提知識	「XML基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	<ol style="list-style-type: none">XSLT概要 XSLTスタイルシートの処理 パターンとXPath 主なXSL関数 DOMとSAX概要 修了試験
備 考	<ul style="list-style-type: none">説明の画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が付加されます。

CBJ004	COBOL
<div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div>マシの実習</div> <div>COBOLプログラミング応用編(PAD)</div> <div>4日間</div>	
事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを、マシン実習を通して学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none">コントロールブレイク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。 マスターコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。 表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。 表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。 多分岐のプログラムが作成できる。
対象者	COBOLで業務処理プログラムを開発する方。
前提知識	「COBOLプログラミング基礎編(PAD)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	<ol style="list-style-type: none">集計処理プログラム 突合せ処理プログラム 表の取り扱い/表操作 多分岐処理プログラム マシン実習
備 考	<ul style="list-style-type: none">文法やプログラムのロジックは自習教材を使用して学習します。 東京(大森)開催においては、「COBOLプログラミング応用編(フローチャート)」コースと合同クラスで開催します。 各章のポイントは、講師が解説します。 処理の図式化にはPADを使用します。 マシン実習はWindows環境COBOL 2002の開発ツールを使用します。
※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。	

COBOL	
<div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div>マシンの実習</div> <div>PAD入門</div> <div>平均6時間</div>	
各種の言語を使用するプログラミングの前提知識として、プログラムの論理が木構造で記述できるPAD(Problem Analysis Diagram)の書き方と読み方を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none">順次、繰り返し、選択、定義図式をPADで表記できる。 PADの処理処理順序を説明できる。 PADを使ったテスト手順を説明できる。
対象者	構造化命令がある言語を使用してプログラムを開発する方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	<ol style="list-style-type: none">PADとは PADの基本形と定義図式 PADからコーディング PADでテスト 演習問題
備 考	お申し込みについては、日立インフォメーションアカデミーにお問い合わせください。

COBOL	
<div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div>マシンの実習</div> <div>COBOLプログラミング基礎編(PAD)</div> <div>3日間</div>	
COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを、マシン実習を通して学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none">各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。 PADの構成を説明できる。 プログラムの構造化ができる。 データの出力処理、移動処理をコーディングできる。 繰り返し処理をコーディングできる。 印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。
対象者	COBOLで業務処理プログラムを開発する方。
前提知識	アルゴリズムの基礎知識があり、かつWindowsの基本的な操作経験があること。
内 容	<ol style="list-style-type: none">COBOLの基礎知識 データ加工のプログラム データ印刷のプログラム マシン実習-データ印刷のプログラム
備 考	<ul style="list-style-type: none">基本的な文法やプログラム構造は自習教材を使用して学習します。 東京(大森)開催においては、「COBOLプログラミング基礎編(フローチャート)」コースと合同クラスで開催します。 各章のポイントは、講師が解説します。 処理の図式化にはPADを使用します。 マシン実習はWindows環境COBOL 2002の開発ツールを使用します。

COBOL	
<div><div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div> <div>マシンの実習</div> <div>COBOLプログラミング基礎編(フローチャート)</div> <div>3日間</div>	
COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを、マシン実習を通して学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none">各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。 データの構成を説明できる。 プログラムの構造化ができる。 データの出力処理、移動処理をコーディングできる。 繰り返し処理をコーディングできる。 印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。
対象者	COBOLで業務処理プログラムを開発する方。
前提知識	アルゴリズムの基礎知識があり、かつWindowsの基本的な操作経験があること。
内 容	<ol style="list-style-type: none">COBOLの基礎知識 データ加工のプログラム データ印刷のプログラム マシン実習-データ印刷のプログラム
備 考	<ul style="list-style-type: none">基本的な文法やプログラム構造は自習教材を使用して学習します。 東京(大森)開催においては、「COBOLプログラミング基礎編(PAD)」コースと合同クラスで開催します。 各章のポイントは、講師が解説します。 処理の図式化にはフローチャートを使用します。 マシン実習はWindows環境COBOL 2002の開発ツールを使用します。
※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。	

日立製品
<p>JP1</p> uCosminexus Application Server
<p>HIRDB</p>
<p>OpenTP1</p>
<p>VOS3/VOS1/VOSK</p>
<p>XDM/PDM II</p>
<p>Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム</p>
<p>IoT</p>
<p>ビッグデータ</p>
<p>クラウド/サーバ仮想化</p>
<p>ITサービスマネジメント</p>
<p>システム基盤</p>
<p>UNIX/Linux</p>
<p>Microsoft</p>
<p>ネットワーク</p>
<p>セキュリティ</p>
<p>データベース</p>
<p>IT戦略・IS企画/システム設計</p>
IT戦略・IS企画
システム設計
<p>アプリケーション開発</p>
<p>Webアプリケーション</p>
<p>スマートデバイス</p>
<p>オブジェクト指向/UML</p>
<p>言語</p>
<p>IT基本</p>
<p>IT基本</p>
<p>ハードウェア</p>
<p>情報処理資格</p>
<p>情報リテラシ</p>
<p>プロジェクトマネジメント</p>
<p>コンプライアンス</p>
<p>ビジネス/ヒューマン</p>
<p>グローバル</p>

 マシン実習	 グループ演習	 レクチャ
マシンを使用しながら研修	グループ演習を中心とした研修	座学による研修

 演習環境	 研修室で自習型
職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習	研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習

 eラーニング	 マシンの実習	 演習	 文字情報	 大森会場	 Oracle	 オンライン
eラーニング	インターネット接続による自己学習					

 自習テキスト	 休講
自習者による自己学習	今期の定期開催はありません

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
UNIX /Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

CBE301	COBOL
<div><div></div><div></div></div> <div><eラーニング>【マシン演習付き】COBOLプログラミング基礎編 (PAD)</div> <div>平均24時間</div>	
<div>COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。</div>	
到達目標 <ul style="list-style-type: none">各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングができる。データの構成を説明できる。プログラムの構造化ができる。データの入出力処理、移動処理をコーディングできる。繰り返し処理をコーディングできる。印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。	
対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。	
前提知識 アルゴリズムの基礎知識があり、かつWindowsの基本的な操作経験があること。	
内容 <ol style="list-style-type: none">COBOLの基礎知識データ加工のプログラムデータ印刷のプログラムマシン実習-データ印刷のプログラム-修了試験	
備考 【お申し込み前に必ずご確認ください】 <ul style="list-style-type: none">説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf操作演習用テキストは、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。このコースは、集合研修「COBOLプログラミング基礎編 (PAD)」コース (CBJ002) と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。処理の図式化にはPADを使用します。Windows環境COBOL 2002の開発ツールを使用します。このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。	

CBE304	COBOL
<div><div></div><div></div></div> <div><eラーニング>【マシン演習付き】COBOLプログラミング応用編 (フローチャート)</div> <div>平均32時間</div>	
<div>事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。</div>	
到達目標 <ul style="list-style-type: none">コントロールブレイク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。マスタレコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。多分岐のプログラムが作成できる。	
対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。	
前提知識 [[【マシン演習付き】COBOLプログラミング基礎編 (フローチャート)]eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。	
内容 <ol style="list-style-type: none">集計処理プログラム突合せ処理プログラム表の取り扱い/表操作多分岐処理プログラムマシン実習修了試験	
備考 【お申し込み前に必ずご確認ください】 <ul style="list-style-type: none">説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf操作演習用テキストは、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。このコースは、集合研修「COBOLプログラミング応用編 (フローチャート)」コース (CBJ008) と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。処理の図式化にはフローチャートを使用します。Windows環境COBOL 2002の開発ツールを使用します。このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。	

CBE302	COBOL
<div><div></div><div></div></div> <div><eラーニング>【マシン演習付き】COBOLプログラミング応用編 (PAD)</div> <div>平均32時間</div>	
<div>事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。</div>	
到達目標 <ul style="list-style-type: none">コントロールブレイク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。マスタレコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。多分岐のプログラムが作成できる。	
対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。	
前提知識 [[【マシン演習付き】COBOLプログラミング基礎編 (PAD)]eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。	
内容 <ol style="list-style-type: none">集計処理プログラム突合せ処理プログラム表の取り扱い/表操作多分岐処理プログラムマシン実習修了試験	
備考 【お申し込み前に必ずご確認ください】 <ul style="list-style-type: none">説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf操作演習用テキストは、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。このコースは、集合研修「COBOLプログラミング基礎編 (PAD)」コース (CBJ002) と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。処理の図式化にはPADを使用します。Windows環境COBOL 2002の開発ツールを使用します。このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。	

CBE303	COBOL
<div><div></div><div></div></div> <div><eラーニング>【マシン演習付き】COBOLプログラミング基礎編 (フローチャート)</div> <div>平均16時間</div>	
<div>COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。</div>	
到達目標 <ul style="list-style-type: none">各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。データの構成を説明できる。プログラムの構造化ができる。データの入出力処理、移動処理をコーディングできる。繰り返し処理をコーディングできる。印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。	
対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。	
前提知識 アルゴリズムの基礎知識があり、かつWindowsの基本的な操作経験があること。	
内容 <ol style="list-style-type: none">COBOLの基礎知識データ加工のプログラムデータ印刷のプログラムマシン実習-データ印刷のプログラム-修了試験	
備考 【お申し込み前に必ずご確認ください】 <ul style="list-style-type: none">説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf操作演習用テキストは、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。このコースは、集合研修「COBOLプログラミング基礎編 (フローチャート)」コース (CBJ004) と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。処理の図式化にはPADを使用します。Windows環境COBOL 2002の開発ツールを使用します。このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。	

CBE003	COBOL
<div><div></div><div></div></div> <div><eラーニング>COBOLプログラミング応用編 (PAD)</div> <div>平均16時間</div>	
<div>事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを学習します。</div>	
到達目標 <ul style="list-style-type: none">コントロールブレイク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。マスタレコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。多分岐のプログラムが作成できる。	
対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。	
前提知識 [[COBOLプログラミング基礎編 (PAD)]eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。	
内容 <ol style="list-style-type: none">集計処理プログラム突合せ処理プログラム表の取り扱い/表操作多分岐処理プログラム修了試験	
備考 <ul style="list-style-type: none">説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）このコースには、マシン演習はありません。このコースは、「COBOLプログラミング基礎編 (PAD)」自習テキストとあわせて利用されることを推奨します。処理の図式化にはPADを使用します。このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が付加されます。	

CBE004	COBOL
<div><div></div><div></div></div> <div><eラーニング>COBOLプログラミング基礎編 (フローチャート)</div> <div>平均16時間</div>	
<div>COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを学習します。</div>	
到達目標 <ul style="list-style-type: none">各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。データの構成を説明できる。プログラムの構造化ができる。データの入出力処理、移動処理をコーディングできる。繰り返し処理をコーディングできる。印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。	
対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。	
前提知識 アルゴリズムの基礎知識があること。	
内容 <ol style="list-style-type: none">COBOLの基礎知識データ加工のプログラムデータ印刷のプログラム修了試験	
備考 説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） <ul style="list-style-type: none">このコースには、マシン演習はありません。このコースは、「COBOLプログラミング基礎編 (フローチャート)」自習テキストとあわせて利用されることを推奨します。処理の図式化にはフローチャートを使用します。このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が付加されます。	

-	COBOL
<div><div></div><div></div></div> <div>COBOLプログラミング応用編 (PAD)</div> <div>平均18時間</div>	
<div>事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを学習します。</div>	
到達目標 <ul style="list-style-type: none">コントロールブレイク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。マスタレコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。多分岐のプログラムが作成できる。	
対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。	
前提知識 [[COBOLプログラミング基礎編 (PAD)]eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。	
内容 <ol style="list-style-type: none">集計処理プログラム突合せ処理プログラム表の取り扱い/表操作多分岐処理プログラム	
備考 お申し込みについては、日立インフォメーションアカデミーにお問い合わせください。	

-	COBOL
<div><div></div><div></div></div> <div><eラーニング>COBOLプログラミング応用編 (フローチャート)</div> <div>平均16時間</div>	
<div>事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを学習します。</div>	
到達目標 <ul style="list-style-type: none">コントロールブレイク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。マスタレコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。多分岐のプログラムが作成できる。	
対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。	
前提知識 [[COBOLプログラミング基礎編 (フローチャート)]eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。	
内容 <ol style="list-style-type: none">集計処理プログラム突合せ処理プログラム表の取り扱い/表操作多分岐処理プログラム	
備考 説明の画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） <ul style="list-style-type: none">このコースには、マシン演習はありません。このコースは、「COBOLプログラミング基礎編 (フローチャート)」自習テキストとあわせて利用されることを推奨します。処理の図式化にはフローチャートを使用します。このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が付加されます。	

-	COBOL
<div><div></div><div></div></div> <div>COBOLプログラミング基礎編 (PAD)</div> <div>平均18時間</div>	
<div>COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを学習します。</div>	
到達目標 <ul style="list-style-type: none">各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。データの構成を説明できる。プログラムの構造化ができる。データの入出力処理、移動処理をコーディングできる。繰り返し処理をコーディングできる。印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。	
対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。	
前提知識 アルゴリズムの基礎知識があること。	
内容 <ol style="list-style-type: none">COBOLの基礎知識データ加工のプログラムデータ印刷のプログラム	
備考 お申し込みについては、日立インフォメーションアカデミーにお問い合わせください。	

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
UNIX /Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

マシン実習
マシンを使用しながらの研修

グループ演習
グループ演習を中心とした研修

レクチャ
座学による研修

演習環境
職場・自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習

研修室自習型
研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習

eラーニング

インターネット接続による自己学習

自習テキスト
自習書による自己学習

休講

休講
今期の定期開催はありません

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/ サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

CCE701	C/C++
	<eラーニング> [ナビ機能付き] C言語プログラミング1 (前編) —制御文と関数を学ぶ—
平均8時間	
C言語の制御文と関数を中心に学習します。	

到達目標	・C言語の制御文について説明できる。 ・C言語の関数について説明できる。
対象者	C言語を使用してアプリケーションを開発する方。
前提知識	コンピュータの基礎知識があること。
内容	1. C言語のプログラミングの基本 (1) プログラムが実行されるまで (2) 簡単なC言語のプログラムを作ってみよう (3) C言語プログラムの基本構成 2. 制御文 (1) 分岐 (2) 繰り返し (3) 制御の変更 3. 関数 (1) 関数とは (2) 関数作成の基本 (3) 戻り値のある関数 (4) 引数のある関数 (5) 戻り値と引数のある関数 (6) 関数プロトタイプ (7) 関数の分類 4. 修了試験
備考	・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

CCJ014	C/C++
	C言語プログラミング2 —ポインタ実践編—
3日間	
C言語のポインタを多く利用したプログラミングを学習します。題材としてポインタ配列や線形リストのようなデータ構造の実装と関数ポインタを扱います。	

到達目標	C言語のポインタを使用したプログラムを作成できる。
対象者	ポインタについてより詳しく理解したい方、C言語を用いたアプリケーションを開発・保守する方。
前提知識	「C言語プログラミング 1—基本マスタ編—」コース、または「【ナビ機能付き】C言語プログラミング1 (後編)—データ構造とポインタを学ぶ—」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. ポインタと関数の引数の参照渡し 2. 領域の動的確保 (1) 変数領域の動的確保 (2) いろいろな領域の動的確保 3. ポインタを活用したプログラミング (1) ポインタ配列の利用 (2) 関数ポインタの利用 (3) 線形リストの実装 (4) 二分木の実装
備考	このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。

CCE005	C/C++
	<eラーニング> C言語プログラミング2 —ポインタ実践編—
平均24時間	
C言語のポインタを多く利用したプログラミングを学習します。題材としてポインタ配列や線形リストのようなデータ構造の実装と関数ポインタを扱います。	

到達目標	C言語のポインタを使用したプログラムを作成できる。
対象者	ITエンジニア職、若手・中堅ポインタについてより詳しく理解したい方。C言語を用いたアプリケーションの開発、保守する方。
前提知識	「【ナビ機能付き】C言語プログラミング1 (後編)—データ構造とポインタを学ぶ—」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. ポインタと関数の引数の参照渡し 2. 領域の動的確保 (1) 変数領域の動的確保 (2) いろいろな領域の動的確保 3. ポインタを活用したプログラミング (1) ポインタ配列の利用 (2) 関数ポインタの利用 (3) 線形リストの実装 (4) 二分木の実装 4. 修了試験
備考	・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、マシン演習を多く取り入れたeラーニングコースです。ダウンロードした演習ファイルを使って演習します。 ・このコースは、集合研修「C言語プログラミング2—ポインタ実践編—」コース(CCJ014)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

VBJ038	VB/VC#
	Visual Basicプログラミング
2日間	
.NET Frameworkの概要、Visual Basicによるオブジェクト指向プログラミングの基本文法、およびVisual BasicによるWindowsアプリケーションの作成方法を、マシン実習を通して学習します。	

到達目標	・クラスやオブジェクト、継承などオブジェクト指向の基本用語を説明できる。 ・Visual Basicの基本文法を理解し、オブジェクト指向プログラミング(クラスの定義・継承)ができる。 ・例外処理の必要性を理解し、例外処理を実装できる。 ・Windowsアプリケーションの作成から実行までの一連の操作ができる。
対象者	Visual Basicによるオブジェクト指向プログラミングを身につけたい方、これからVisual Basicを使用してアプリケーションを開発する方。
前提知識	Windowsの基本的な操作経験があり、「【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. Visual Studioを利用したアプリケーション開発 2. Visual Basicプログラミングの基本 3. Visual Basicの基本文法 4. モジュールの定義 5. クラスの定義 6. 構造体の定義 7. 継承 8. 例外処理
備考	このコースは、9：00～17：30の開催とさせていただきます。

VBJ037	VB/VC#
	ASP.NETプログラミング
2日間	
ASP .NET によるWebアプリケーションを作成するために必要な知識を学習します。	

到達目標	・ASP .NET Webフォームの特徴を理解し、Webアプリケーションのライフサイクルやポストバックについて説明できる。 ・サーバコントロールを使用したWebフォームを作成できる。 ・ステート管理の重要性を理解し、セッション管理をするWebアプリケーションを作成できる。 ・ASP .NET MVCについて概要を説明できる。 ・ADO .NETによるデータベース連携の実装方法を説明できる。
対象者	これからASP .NETによるWebアプリケーションの開発に携わる方。
前提知識	インターネットの基礎知識があり、「Visual Basic プログラミング」または「Visual C# プログラミング」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. ASP.NET概要 2. Webフォームの基本実装 3. サーバコントロール 4. ステート管理 5. ASP.NET MVCの基本 6. ADO.NETの利用
備考	・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・使用するプログラミング言語は、Visual Basic.NETおよびVisual C# から選択可能です。

VCJ010	VB/VC#
	Visual C#プログラミング
2日間	
.NET Frameworkの概要、Visual C#によるオブジェクト指向プログラミングの基本文法、およびVisual StudioによるWindowsアプリケーションの作成方法を、マシン実習を通して学習します。	

到達目標	・クラスやオブジェクト、継承などオブジェクト指向の基本用語を説明できる。 ・Visual C#の基本文法を理解し、オブジェクト指向プログラミング(クラスの定義・継承)ができる。 ・例外処理の必要性を理解し、例外処理を実装できる。 ・Windowsアプリケーションの制作から実行までの一連の操作ができる。
対象者	Visual C#によるオブジェクト指向プログラミングを身につけたい方、これからVisual C#を使用してアプリケーションを開発する方。
前提知識	Windowsの基本的な操作経験があり、「【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. Visual Studioを利用したアプリケーション開発 2. Visual C#プログラミングの基本 3. Visual C#の基本文法 4. クラス 5. 構造体 6. 継承 7. 例外処理
備考	このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。

IT戦略・IS企画/ システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計

アプリケーション 開発
Web アプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/ UML
言語

IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格

情報リテラシ

プロジェクト マネジメント

コンプライアンス

ビジネス/ ヒューマン

グローバル

ESJ001	C/C++
	リアルタイムOSを利用した ソフトウェアプログラミング
2日間	
組込みシステム用リアルタイムOSの仕組みを学習し、リアルタイムOSを用いたプログラミングを、実機を用いて実施します。	

到達目標	リアルタイムOSを利用したマルチタスクプログラミングができる。
対象者	組込みソフトウェアを開発する方。
前提知識	「C言語プログラミング 1—基本マスタ編—」コース、または「【ナビ機能付き】C言語プログラミング1 (後編)—データ構造とポインタを学ぶ—」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. リアルタイムOSとは (1) リアルタイムOSの機能と役割 (2) タスクと状態遷移 (3) スケジューラとプリエンティブ (4) リアルタイムOSの種類 (5) 統合開発環境 2. シングルタスクプログラミング (1) タスクの生成と起動方法 (2) タスクの状態遷移 (3) 割り込みを用いたプログラミング 3. マルチタスクプログラミング (1) タスク間通信 (2) イベントフラグ (3) リソース(セマフォ)
備考	このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/ サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

IT戦略・IS企画/ システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計

アプリケーション 開発
Web アプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/ UML
言語

IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格

情報リテラシ

プロジェクト マネジメント

コンプライアンス

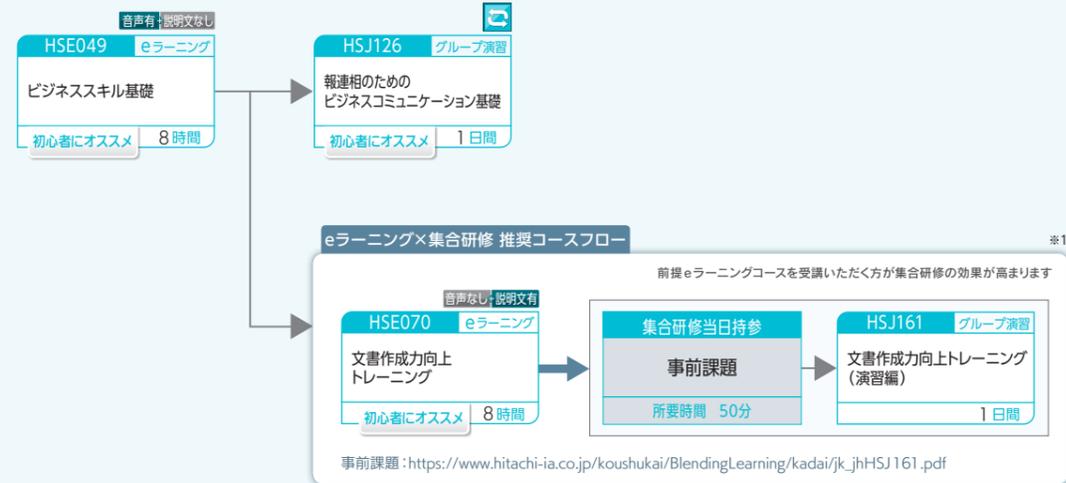
ビジネス/ ヒューマン

グローバル

IT 基本

IT 技術者の前提として求められる知識が修得できます。

● 社会人としての基本動作を身につけたい方



※1: 必須知識をeラーニングで学習したうえで集合研修で演習に取り組むため、eラーニングと集合研修両方のご受講を推奨します。集合研修は事前課題に取り組むことが前提となります。

📺: 学び直しシリーズ eラーニングとしてもご提供しています。

過去に受講した研修内容を再確認したい方や、既に業務を遂行するために独学で学び実践しているが、知識の抜け漏れがないかを体系的に学ぶことで整理したい方にお薦めのeラーニングです。集合研修のレクチャ部分を収録、抜粋しダイジェストコースとして、eラーニングで提供します。

🔊: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

🔊: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

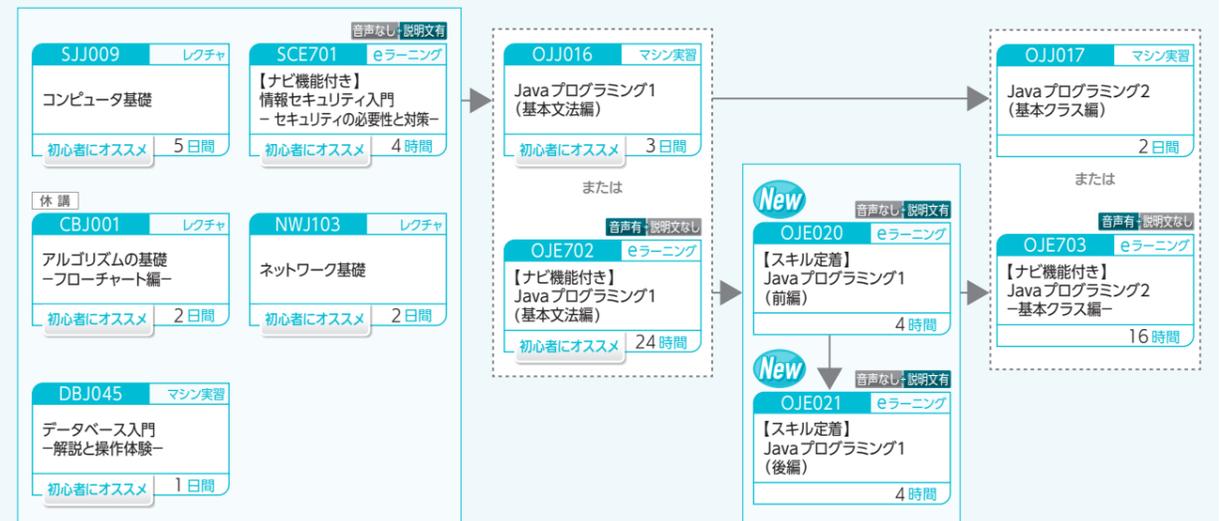
🔊: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

👤: 初心者におすすめ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● ITの基礎力を身につけたい方



● ITエンジニアをめざす方



日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX / Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語

IT 基本
IT 基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

SJJ009	IT 基本
	コンピュータ基礎
5日間	
情報処理技術者として必要となる基礎知識を学習します。	
到達目標	・コンピュータの動作原理や情報システムの仕組みを説明できる。 ・ネットワークやデータベースの基本を説明できる。 ・システム開発の手順と各工程の作業を説明できる。
対象者	これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。
前置知識	特に必要としません。
内 容	1. コミュニケーションネットワークとコンピュータシステム 2. 入出力装置 3. 記憶装置 4. 中央処理装置 5. オペレーティングシステム 6. 情報処理技術の基礎と理論 7. ファイル編成とデータベース 8. 通信ネットワークシステム 9. 情報セキュリティ 10. 情報システムとRASIS 11. 情報システムの開発

SJE701	IT 基本
	<eラーニング>[ナビ機能付き] コンピュータ基礎—ハードウェア編—
平均8時間	
情報処理技術者として必要なハードウェアの基礎知識を学習します。	
到達目標	情報処理技術者として必要なハードウェアの基礎知識について説明できる。
対象者	これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。
前置知識	特に必要としません。
内 容	1. コンピュータとは (1) コンピュータとは (2) コンピュータの5大基本機能 (装置) 2. 記憶装置 (1) 記憶階層 (2) 主記憶装置 (3) 半導体 (IC) メモリ (4) ハードディスクドライブ (HDD) (5) その他の補助記憶装置 3. CPU (1) CPUの構成要素 (2) 制御装置 (3) 演算装置 (4) バス (5) CPUの高速化 4. 入出力装置 (1) 入力装置 (2) 出力装置 (3) I/O (Input/Output) 5. 修了試験
備考	・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、集合研修「コンピュータ基礎」コース(SJJ009)と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

SJE702	IT 基本
	<eラーニング>[ナビ機能付き] コンピュータ基礎—ソフトウェア編—
平均8時間	
情報処理技術者として必要なソフトウェアの基礎知識を学習します。	
到達目標	情報処理技術者として必要なソフトウェアの基礎知識について説明できる。
対象者	これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。
前置知識	特に必要としません。
内 容	1. OSの制御プログラム (1) タスク管理 (2) 記憶管理 (3) ジョブ管理 (4) ファイル管理 2. 言語 (1) 言語プロセッサ (2) 主記憶装置 (3) プログラムの作成と実行 (4) プログラム言語の種類とプログラムの性質 3. 修了試験
備考	・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、集合研修「コンピュータ基礎」コース(SJJ009)と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

ESE701	IT 基本
	<eラーニング>[ナビ機能付き] 組込みシステムとは
平均8時間	
組込みシステム技術者の全体的な技術基礎力向上のために、組込みシステムで用いられるハードウェア、ソフトウェアに関する技術を学習します。	
到達目標	・組込みシステムで用いられるハードウェア、ソフトウェアに関して説明できる。 ・組込みソフトウェアが動作するしくみを説明できる・リアルタイムOSの概要を説明できる。
対象者	組込みソフトウェアを開発する方。
前置知識	特に必要としません。
内 容	1. 組込みシステムとは 2. 組込みシステムの基本アーキテクチャ 3. 組込み製品の開発に必要な知識 4. マイコンを利用したソフトウェア開発の基礎 (1) 組込みソフトの開発環境 (2) 入出力制御の概要 (3) 割り込み 5. リアルタイムOSとは (1) リアルタイムOSの機能と役割 (2) タスクと状態遷移 (3) リアルタイムOSの種類 (4) リアルタイムOSを使用したシステム構築手順 6. 組込みシステムに関する新技術 7. 修了試験
備考	・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

SJE703	IT 基本
	<eラーニング>[ナビ機能付き] コンピュータ基礎 —情報の基礎理論編—
平均4時間	
情報処理技術者として必要な情報基礎理論の基礎知識を学習します。	
到達目標	情報処理技術者として必要な情報基礎理論の基礎知識について説明できる。
対象者	これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。
前置知識	特に必要としません。
内 容	1. データの表現 2. 基数 3. 固定小数点数 4. 浮動小数点数 5. 精度 6. 論理演算 7. 論理回路 8. 修了試験
備考	・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、集合研修「コンピュータ基礎」コース(SJJ009)と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

SJE704	IT 基本
	<eラーニング>[ナビ機能付き] コンピュータ基礎 —情報システム編—
平均4時間	
情報処理技術者として必要な情報システムの基礎知識を学習します。	
到達目標	情報処理技術者として必要な情報システムの基礎知識について説明できる。
対象者	これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。
前置知識	特に必要としません。
内 容	1. システム構成 (1) システムの形態 (2) 処理形態 2. システム性能 (1) CPUの性能 (2) システムの性能 3. システムの信頼性 (1) RASIS (2) 稼働率 (3) 高信頼システム (4) RAID 4. 修了試験
備考	・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、集合研修「コンピュータ基礎」コース(SJJ009)と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

SJJ030	IT 基本
	アプリケーション開発者のための 文字コード入門 —アプリケーションの文字化けを防ぐ—
1日間	
代表的な文字セットと符号化方式を、バイナリエディタを使用した演習を通して学習します。外字や重複文字、改行コードの扱いなど、文字コードが関係するさまざまな問題について扱います。	
到達目標	・代表的な符号化文字集合と符号化方式を説明できる。 ・符号化された文字の実体を確認し文字化けの理由を説明できる。 ・外字や改行コード、全角半角など、ソフトウェアでの文字の扱いに関する諸問題を説明できる。
対象者	コンピュータ上で文字の扱いに関する基礎的な知識を修得したい方。
前置知識	Windowsの基本的な操作経験があり、2進数や16進数への基数変換について理解していること。
内 容	1. はじめに 2. コンピュータでの文字の扱い方 3. 代表的な符号化文字集合 4. 代表的な文字符号化方式 5. 文字コードが関係する諸問題 6. プログラミング言語と文字コード

マシ実習	マシンを使用し ながらの研修
グループ演習	グループ演習を 中心とした研修
レクチャ	座学による 研修
演習環境	職場・自宅などのマシン演習 環境を使用した自己学習
研修室自習型	研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習
eラーニング	インターネット接続 による自己学習

マシ実習	マシンを使用し ながらの研修
グループ演習	グループ演習を 中心とした研修
レクチャ	座学による 研修
演習環境	職場・自宅などのマシン演習 環境を使用した自己学習
研修室自習型	研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習
eラーニング	インターネット接続 による自己学習

マシ実習	マシンを使用し ながらの研修
グループ演習	グループ演習を 中心とした研修
レクチャ	座学による 研修
演習環境	職場・自宅などのマシン演習 環境を使用した自己学習
研修室自習型	研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習
eラーニング	インターネット接続 による自己学習

マシ実習	マシンを使用し ながらの研修
グループ演習	グループ演習を 中心とした研修
レクチャ	座学による 研修
演習環境	職場・自宅などのマシン演習 環境を使用した自己学習
研修室自習型	研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習
eラーニング	インターネット接続 による自己学習

IT 基本
IT 基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

IT 基本
IT 基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

IT 基本
IT 基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

IT 基本
IT 基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

マシ実習	マシンを使用し ながらの研修
グループ演習	グループ演習を 中心とした研修
レクチャ	座学による 研修
演習環境	職場・自宅などのマシン演習 環境を使用した自己学習
研修室自習型	研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習
eラーニング	インターネット接続 による自己学習

マシ実習	マシンを使用し ながらの研修
グループ演習	グループ演習を 中心とした研修
レクチャ	座学による 研修
演習環境	職場・自宅などのマシン演習 環境を使用した自己学習
研修室自習型	研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習
eラーニング	インターネット接続 による自己学習

マシ実習	マシンを使用し ながらの研修
グループ演習	グループ演習を 中心とした研修
レクチャ	座学による 研修
演習環境	職場・自宅などのマシン演習 環境を使用した自己学習
研修室自習型	研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習
eラーニング	インターネット接続 による自己学習

マシ実習	マシンを使用し ながらの研修
グループ演習	グループ演習を 中心とした研修
レクチャ	座学による 研修
演習環境	職場・自宅などのマシン演習 環境を使用した自己学習
研修室自習型	研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習
eラーニング	インターネット接続 による自己学習

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX / Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語

IT 基本
IT 基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

ハードウェア

サーバ・ストレージシステムの構築・活用に有効なハードウェア技術が修得できます。

● SAN関連業務に携わる方

音声有 **説明文なし**

SJE705 **eラーニング**

【ナビ機能付き】
SAN概説

5 時間

● サーバ・ストレージシステムを活用・構築する方

音声有 **説明文なし**

SJE016 **eラーニング**

Fibre Channel概説
－日立ストレージ・ホストの
接続を理解するために－

4 時間

● サーバ製品の設計・システム構築に携わる方

音声有 **説明文なし**

SJE018 **eラーニング**

SAS (Serial Attached SCSI)
入門－ストレージインタフェース
を理解するために－

2 時間

● HDDを含む製品の開発に携わる方

音声有 **説明文なし**

SJE017 **eラーニング**

SATA入門

2 時間

音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

SJE705 ハードウェア

**<eラーニング>【ナビ機能付き】
SAN概説**

平均4時間

SAN(Storage Area Network)およびSAN関連製品に携わって
いくためのSANの基礎知識を学習します。

到達目標 SANの全体像が説明できる。

対象者 SAN関連業務に従事する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容

1. SANとは
2. SANトポロジ(FC-SAN、IP-SAN)
3. SANソリューション バックアップ、ディザスタリカバリ、
ストレージ仮想化
4. ストレージ管理
5. NAS(Network Attached Storage)/データアー
カイブ
6. 修了試験

備 考

- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコース
です。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコン
とWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認
ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込
責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

SJE016 ハードウェア

**<eラーニング>Fibre Channel概説
－日立ストレージ・ホストの接続を
理解するために－**

平均4時間

ホスト・ストレージ間接続に使用されるFibre Channelについて
の基礎知識を学習します。

到達目標 ・Fibre Channelに関する用語を使いこなすことができる。
・サーバ・ストレージ製品で使用されているFibre
Channel技術を理解できる。

対象者 日立ストレージに関する業務を担当している方。

前提知識 特に必要としません。

内 容

1. Fibre Channelの歴史と特徴
2. Fibre Channelハードウェア
(1)メディアタイプ
(2)FC-Switch
3. Fibre Channel基本事項
(1)トポロジ
(2)アドレッシング
4. 憶えておきたいキーワード
5. Fibre Channel詳細/各レイヤの詳細
6. 修了試験

備 考

- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコース
です。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコン
とWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認
ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込
責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

SJE017 ハードウェア

<eラーニング>SATA入門

平均2時間

SATAの機能・システム構成・内部動作を学習します。

到達目標 ・SATAの機能、システム構成を説明できる。
・SATAの内部動作を理解できる。

対象者 サーバ・ストレージなどHDDを使用した製品に関する業務
を担当する方。

前提知識 PCの構造を理解していること。

内 容

1. ATAとは
(1)歴史
(2)ATAのシステムのな位置づけ
2. パラレルATA
(1)システム構成
(2)レジスタインタフェース
(3)基本的なシーケンス
3. シリアルATA (SATA)
(1)パラレルATAとの異なり/ システム構成
(2)基本的なシーケンス
(3)独自機能 コマンドキューイング・SAS連携
4. 修了試験

備 考

- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコース
です。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコン
とWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認
ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込
責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

SJE018 ハードウェア

**<eラーニング>
SAS (Serial Attached SCSI) 入門
－ストレージインタフェースを理解するために－**

平均2時間

SASの基本知識を学習します。

到達目標 ・SASのシステム構成を説明できる。
・SASの動作概要を説明できる。
・SASのSATAデバイスサポートを説明できる。

対象者 サーバ・ストレージなどHDDを使用した製品に関する業務
を担当する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容

1. SASとは
2. SAS概要
(1)ハードウェア
(2)システム構成
3. SAS詳細
(1)データ転送
(2)コマンド体系
(3)コマンドシーケンス
4. SASのSATAデバイスサポート
5. 修了試験

備 考

- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコース
です。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコン
とWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認
ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込
責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

自習テキスト
自習書による
自己学習

休 講
休 講
今期の定期開催は
ありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

日立製品

JP1

uCosminexus
Application Server

HIRDB

OpenTP1

VOS3/VOS1/
VOSK

XDM/PDM II

Hitachi Advanced Data
Binder プラットフォーム

IoT

ビッグデータ

クラウド/
サーバ仮想化IT サービス
マネジメント

システム基盤

UNIX/Linux

Microsoft

ネットワーク

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画/
システム設計

IT戦略・IS企画

システム設計

アプリケーション
開発Web
アプリケーション

スマートデバイス

オブジェクト指向/
UML

言語

IT 基本

IT 基本

ハードウェア

情報処理資格

情報リテラシ

プロジェクト
マネジメント

コンプライアンス

ビジネス/
ヒューマン

グローバル

マシン実習
マシンを使用し
ながらの研修グループ演習
グループ演習を
中心とした研修レクチャ
座学による
研修演習環境
職場・ご自宅などのマシン演習
環境を使用した自己学習研修室自習型
研修室でのマシン演習環境
を使用した自己学習

eラーニング

マシン演習

演習

電子付与

スライド配布

Oracle

マイチェック

eラーニング

インターネット接続
による自己学習

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDMII
- Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
- IoT
- ビッグデータ
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- UNIX/Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画/システム設計
- IT戦略・IS企画
- システム設計
- アプリケーション開発
- Webアプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/UML
- 言語
- IT基本
- IT基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

SJE281 秋期実施試験対策
<div style="display: inline-block; vertical-align: middle;"> <p style="font-size: 1.2em; margin: 0;"><eラーニング></p> <p style="font-weight: bold; margin: 0;">集中演習 2018年 秋期</p> <p style="font-weight: bold; margin: 0;">ITストラテジスト試験【ST】</p> </div> <div style="float: right; text-align: right;"> </div>
平均162時間
<p>eラーニングを使用し、ITストラテジスト試験【ST】の合格に必要な知識を学習します。</p>
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、企業の経営戦略に基づいて、情報システムの基本戦略を策定・提案・推進することができる。 ・ITストラテジスト試験【ST】に合格できる実力を身につけることができる。
<p>対象者 ITストラテジスト試験【ST】合格をめざす方。</p>
<p>前提知識 情報処理技術者試験（SC/DB/NW/その他の高度）に合格しているか、または同等の知識や業務経験があること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. eラーニングによるテスト
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明画面で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、アイテック社より提供いたします。 ・コース実施に必要なご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。 ・学習開始日10営業日前を過ぎたキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。 ・このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。 ・終了日はすべて2018年10月31日です。サービス有効期間は開始日によって異なります。2018年8月2日開始分は91日間、2018年8月23日開始分は70日間、2018年8月30日開始分は63日間、2018年9月13日開始分は49日間ご利用できます。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

SJE282 秋期実施試験対策
<div style="display: inline-block; vertical-align: middle;"> <p style="font-size: 1.2em; margin: 0;"><eラーニング></p> <p style="font-weight: bold; margin: 0;">集中演習 2018年 秋期</p> <p style="font-weight: bold; margin: 0;">システムアーキテクト試験【SA】</p> </div> <div style="float: right; text-align: right;"> </div>
平均162時間
<p>eラーニングを使用し、システムアーキテクト試験【SA】の合格に必要な知識を学習します。</p>
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、情報システムの開発に必要な要件定義・アーキテクトチャ設計・開発主導を行うことができる。 ・システムアーキテクト試験【SA】に合格できる実力を身につけることができる。
<p>対象者 システムアーキテクト試験【SA】合格をめざす方。</p>
<p>前提知識 情報処理技術者試験（SC/DB/NW/その他の高度）に合格しているか、または同等の知識や業務経験があること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. eラーニングによるテスト
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明画面で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、アイテック社より提供いたします。 ・コース実施に必要なご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。 ・学習開始日10営業日前を過ぎたキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。 ・このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。 ・終了日はすべて2018年10月31日です。サービス有効期間は開始日によって異なります。2018年8月2日開始分は91日間、2018年8月23日開始分は70日間、2018年8月30日開始分は63日間、2018年9月13日開始分は49日間ご利用できます。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

SJE283 秋期実施試験対策
<div style="display: inline-block; vertical-align: middle;"> <p style="font-size: 1.2em; margin: 0;"><eラーニング></p> <p style="font-weight: bold; margin: 0;">集中演習 2018年 秋期</p> <p style="font-weight: bold; margin: 0;">ITサービスマネージャ試験【SM】</p> </div> <div style="float: right; text-align: right;"> </div>
平均162時間
<p>eラーニングを使用し、ITサービスマネージャ試験【SM】の合格に必要な知識を学習します。</p>
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、情報システム全体について、安全性と信頼性の高いサービスの提供を行うことができる。 ・ITサービスマネージャ試験【SM】に合格できる実力を身につけることができる。
<p>対象者 ITサービスマネージャ試験【SM】合格をめざす方。</p>
<p>前提知識 情報処理技術者試験（SC/DB/NW/その他の高度）に合格しているか、または同等の知識や業務経験があること。</p>
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. eラーニングによるテスト
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明画面で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。） ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、アイテック社より提供いたします。 ・コース実施に必要なご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。 ・学習開始日10営業日前を過ぎたキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。 ・このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。 ・終了日はすべて2018年10月31日です。サービス有効期間は開始日によって異なります。2018年8月2日開始分は91日間、2018年8月23日開始分は70日間、2018年8月30日開始分は63日間、2018年9月13日開始分は49日間ご利用できます。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

情報リテラシ

情報の扱い方、特にコンピュータを利用して業務を行うための基礎的な知識や技術が修得できます。

● Excelを使用して表やグラフを作成する方



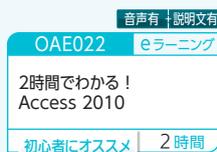
● Wordを使用して文書を作成する方



● PowerPointを使用してプレゼンテーション資料を作成する方



● Accessを使用してアプリケーションを開発する方



- 音声有 + 説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有、説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし、説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。



自学テキスト
自習書による
自己学習

休講

休講
今期の定期開催は
ありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HiRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDMII
- Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
- IoT
- ビッグデータ
- クラウド/サーバ仮想化
- IT サービス マネジメント
- システム基盤
- UNIX/Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画/システム設計
- IT戦略・IS企画
- システム設計
- アプリケーション開発
- Webアプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/UML
- 言語
- IT基本
- IT基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

● Excelを使用してデータ活用をしたい方

OAJ046	マシン実習
Excelで業務データを使いこなす関数とピボットテーブルを利用してー	
1 日間	

● SharePointを使用してポータルサイトを作成する方

New	音声有 +説明文有
OAE026	eラーニング
SharePointによる社内ポータル作成入門	
3 時間	

音声有 +説明文有 : 学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有 +説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし +説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

OAE018	Office 2010
	<eラーニング> 2時間でわかる! Excel 2010 基礎編
平均2時間	
Microsoft Excel 2010の基礎的な知識・操作方法を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> データを入力できる。 表の体裁を整えることができる。 目的に応じて印刷できる。 表計算機能を活用できる。
対象者	Microsoft Excel 2010を初めて利用する方、および、より体系的な学習を必要とする方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	<ol style="list-style-type: none"> Microsoft Excel 2010の画面 データ入力の基本 表の体裁を整える 目的に応じた印刷 表計算機能の活用 その他の便利な機能
備考	<ul style="list-style-type: none"> 音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft Excel 2010がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

OAE019	Office 2010
	<eラーニング> 2時間でわかる! Excel 2010 応用編
平均2時間	
Microsoft Excel 2010について、より深い知識や効率的な操作方法を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> グラフを作成できる。 データベースを管理できる。 関数を利用できる。 マクロを作成できる。
対象者	Microsoft Excel 2010の基礎的な知識・操作方法をすでに修得し、さらに高度な学習を必要とする方。
前提知識	「2時間でわかる! Excel 2010 基礎編」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	<ol style="list-style-type: none"> グラフの作成 データベースの管理 関数の基礎知識 マクロの作成 Excel VBA Excel Web App
備考	<ul style="list-style-type: none"> 音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft Excel 2010がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

OAJ046	Office 2010
	Excelで業務データを使いこなす 関数とピボットテーブルを利用してー
1 日間	
関数を使用してExcelにインポートしたダウンロードデータを整形する方法、ピボットテーブルを使用してデータの集計や分析をする方法を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 関数を効率よく入力し、データの整形ができる ピボットテーブルを使用してデータの集計や分析ができる
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 業務で扱うデータを活用できるようにになりたい方 Excelの関数やピボットテーブルを使いこなしたい方
前提知識	Microsoft Excelの基礎的な知識・操作方法を修得されていること。
内 容	<ol style="list-style-type: none"> ダウンロードデータをExcelにインポートする 関数を効率よく入力する ダウンロードデータを整形する ピボットテーブルを使用してデータの集計や分析をする
備考	<ul style="list-style-type: none"> このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
※東京研修センタへお問い合わせください。	

OAE020	Office 2010
	<eラーニング> 2時間でわかる! Word 2010 基礎編
平均2時間	
Microsoft Word 2010の基礎的な知識・操作方法を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 文書を作成できる。 文書の体裁を整えることができる。 文書の保存と印刷ができる。
対象者	Microsoft Word 2010を初めて利用する方、および、より体系的な学習を必要とする方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	<ol style="list-style-type: none"> Microsoft Word 2010の画面 文書作成の基本 文書の体裁を整える 文書の保存と印刷 その他の便利な機能
備考	<ul style="list-style-type: none"> 音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft Word 2010がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

OAE021	Office 2010
	<eラーニング> 2時間でわかる! Word 2010 応用編
平均2時間	
Microsoft Word 2010について、より深い知識や効率的な操作方法を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 表を作成できる。 図形や画像を挿入できる。 文書の校閲ができる。 長文文書を作成できる。
対象者	Microsoft Word 2010の基礎的な知識・操作方法をすでに修得し、さらに高度な学習を必要とする方。
前提知識	「2時間でわかる! Word 2010 基礎編」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 表の作成 図形や画像の挿入 文書の校閲 長文文書作成のサポート Word Web App その他の便利な機能
備考	<ul style="list-style-type: none"> 音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft Word 2010がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

OAE022	Office 2010
	<eラーニング> 2時間でわかる! Access 2010
平均2時間	
Microsoft Access 2010の基礎的な知識・操作方法を学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> テーブルを作成できる。 クエリによるデータ抽出ができる。 フォームによるデータ入力ができる。
対象者	Microsoft Access 2010を初めて利用する方、および、より体系的な学習を必要とする方。
前提知識	特に必要としません。
内 容	<ol style="list-style-type: none"> Microsoft Access 2010の画面 テーブルの作成 クエリによるデータの抽出 フォームによるデータ入力 その他の便利な機能
備考	<ul style="list-style-type: none"> 音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft Access 2010がなくても学習できます。) このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

 **目次**
目次テキスト
目次による
自己学習

休講
休講
今期の定期開催は
ありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDMII
- Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
- IoT
- ビッグデータ
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- UNIX/Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画/システム設計
- IT戦略・IS企画
- システム設計
- アプリケーション開発
- Webアプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/UML
- 言語
- IT基本
- IT基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

OAE023 Office 2010

**<eラーニング>
2時間でわかる!
PowerPoint 2010 基礎編**

平均2時間

Microsoft PowerPoint 2010の基礎的な知識・操作方法を学習します。

到達目標

- ・プレゼンテーションを構成できる。
- ・スライドの作成とデザインができる。
- ・図形や画像を挿入できる。
- ・スライドショーの準備と実行ができる。

対象者 Microsoft PowerPoint 2010を初めて利用する方、および、より体系的な学習を必要とする方。

前置知識 特に必要としません。

内容

1. Microsoft PowerPoint 2010の画面
2. プレゼンテーションの構成
3. スライドの作成とデザイン
4. 図形や画像の挿入
5. スライドショーの準備と実行
6. その他の便利な機能

備考

- ・音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft PowerPoint 2010がなくても学習できます。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

OAE024 Office 2010

**<eラーニング>
2時間でわかる!
PowerPoint 2010 応用編**

平均2時間

Microsoft PowerPoint 2010について、より深い知識や効率的な操作方法を学習します。

到達目標

- ・表やグラフを挿入できる。
- ・アニメーションを活用できる。
- ・動画を挿入、編集できる。
- ・マスターとテンプレートを活用できる。

対象者 Microsoft PowerPoint 2010の基礎的な知識・操作方法をすでに修得し、さらに高度な学習を必要とする方。

前置知識 「2時間でわかる! PowerPoint 2010 基礎編」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. 表やグラフの挿入
2. アニメーションの活用
3. 動画の挿入、編集
4. マスターとテンプレートの活用
5. PowerPoint Web App
6. その他の便利な機能

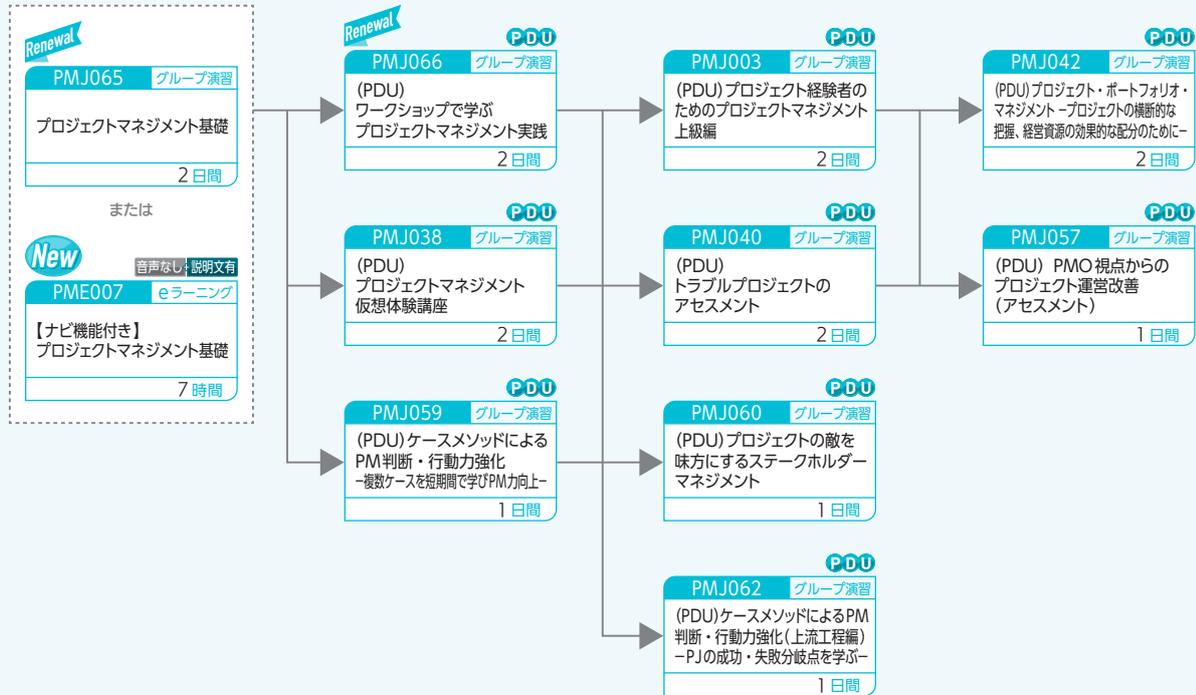
備考

- ・音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境やMicrosoft PowerPoint 2010がなくても学習できます。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

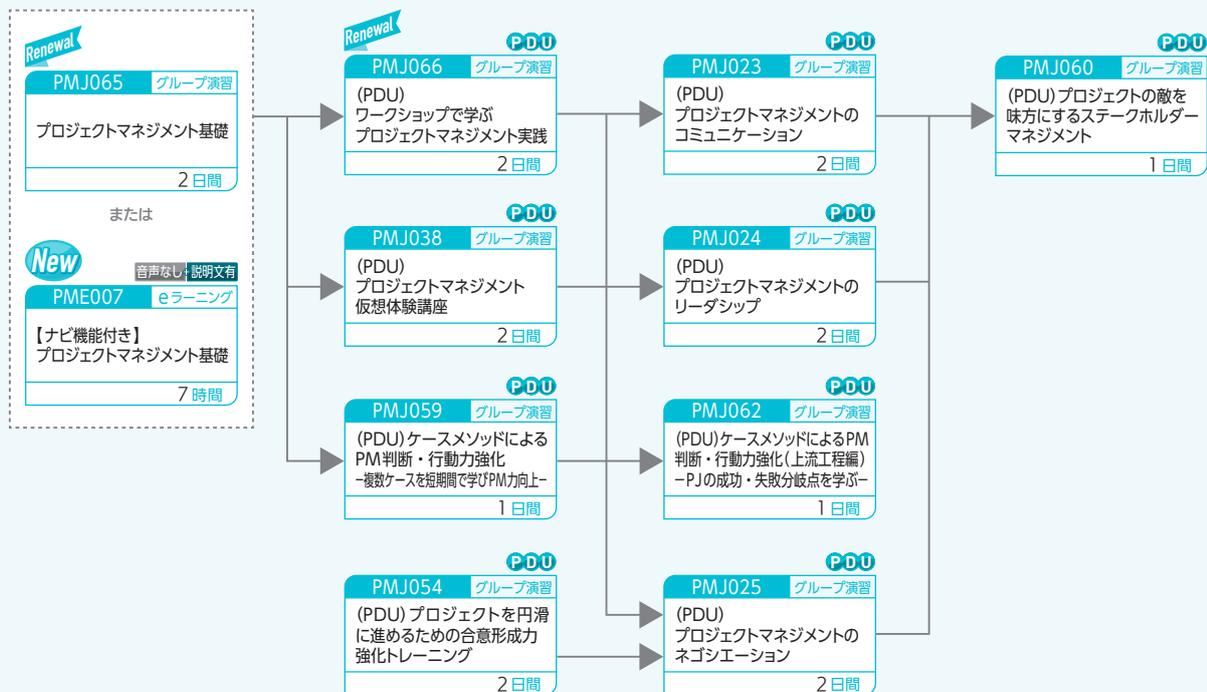
プロジェクトマネジメント

情報システム開発プロジェクトの計画・実行を行うために必要な知識や手順、技法が修得できます。

● プロジェクトマネージャをめざす方



● プロジェクトマネージャに必要なヒューマン系能力向上をめざす方



- 音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。



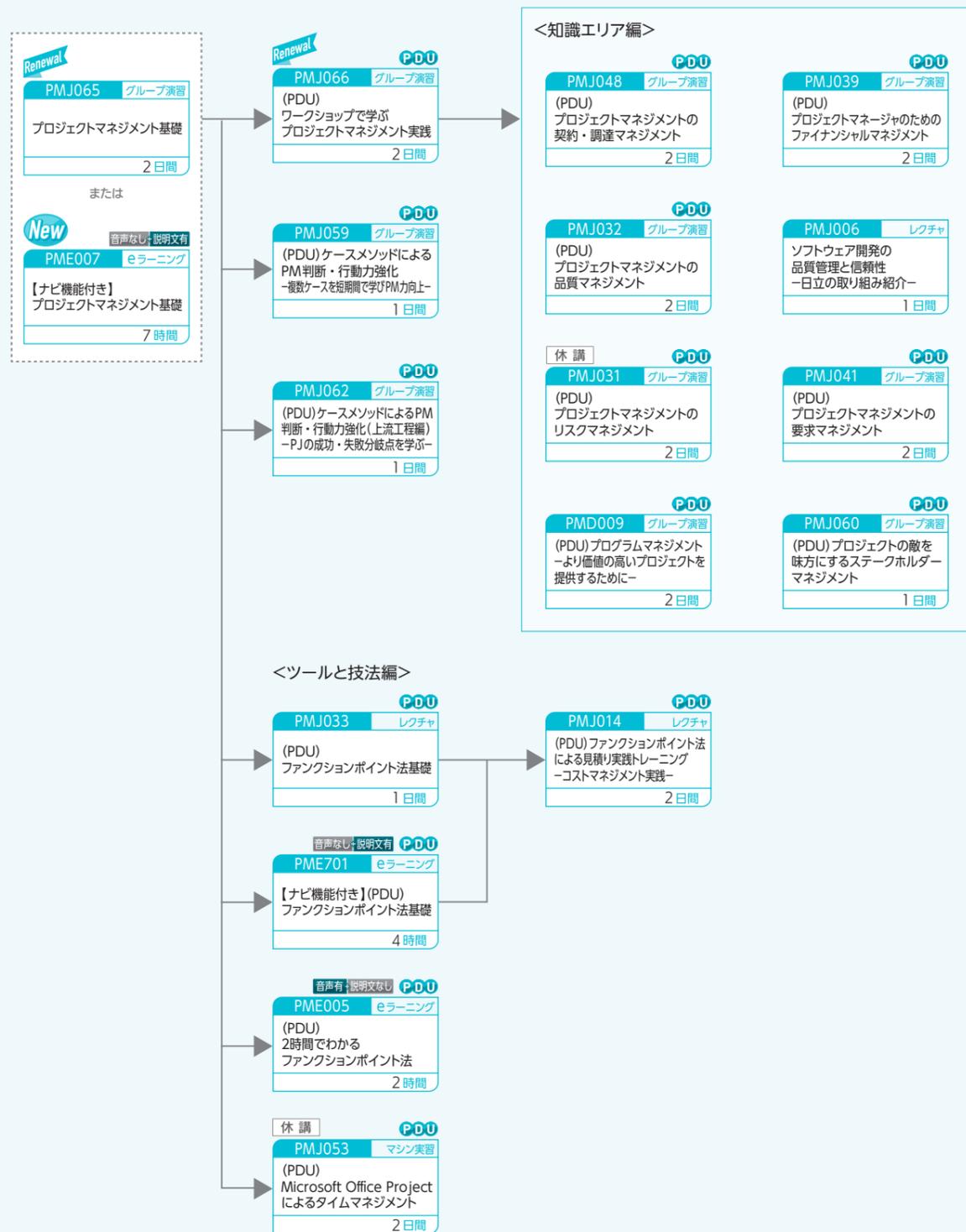
目録テキスト
目録による
自己学習

休講

休講
今期の定期開催は
ありません

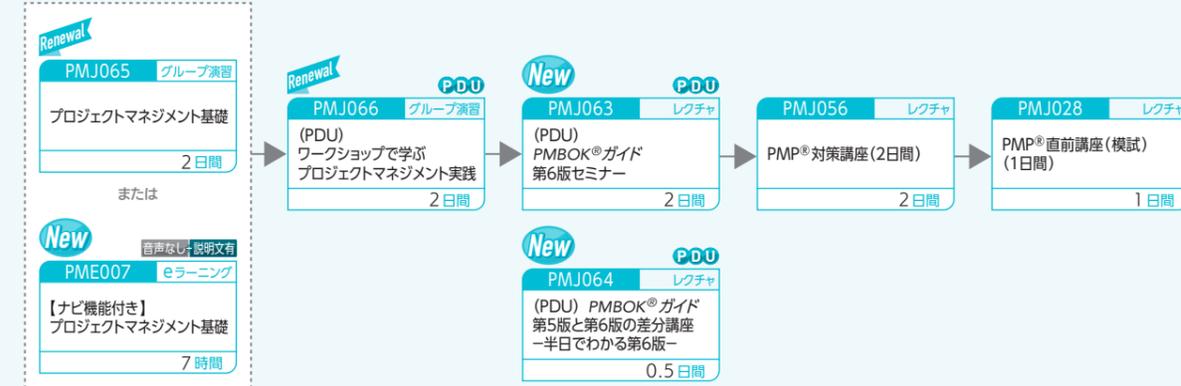
- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HiRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDMI
- Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
- IoT
- ビッグデータ
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- UNIX/Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画/システム設計
- IT戦略・IS企画
- システム設計
- アプリケーション開発
- Webアプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/UML
- 言語
- IT基本
- IT基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

● プロジェクトマネージャに必要な専門能力向上をめざす方

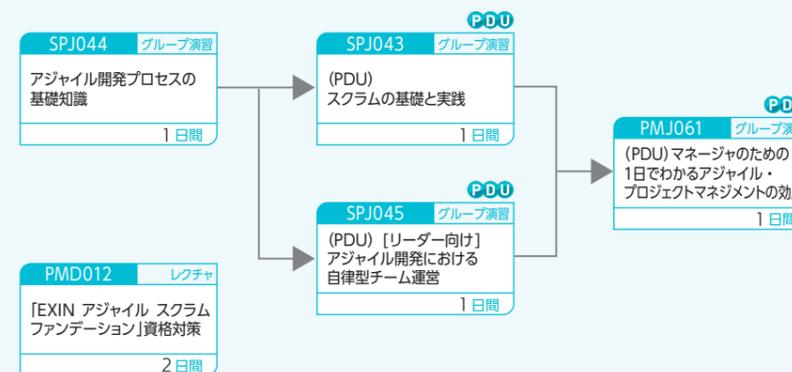


PMP® : Project Management Professionalの略で、米国PMI®(Project Management Institute)が認定する国際資格です。
 PDU : Professional Development Unitの略で、PMP®資格維持に必要な単位です。
 PMBOK®ガイドはプロジェクトマネジメント協会発行のA Guide to the Project Management Body of Knowledgeの略称です。
 PMI®, PMP®, PMBOK®ガイド、PM Network®, PMI Today®, PMCDF®, R.E.P.ロゴは、プロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute, Inc) の登録商標です。

● プロジェクトマネージャの国際資格PMP®の取得をめざす方



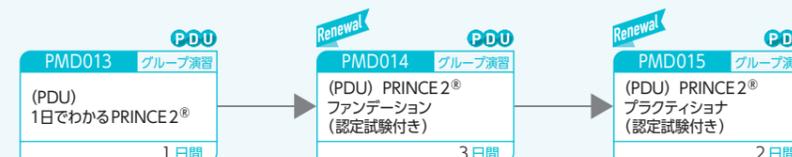
● アジャイル開発に携わる方、関心のある方



● PMP®資格維持を図る方 (PMP®資格維持に必要なPDUが取得できます)

日立講習会では、PMP®資格(米国PMI®認定)に対応したコースを多数提供しています。
 詳細は、ホームページをご覧ください。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/license/pmp/index.html>

● イギリス発祥プロジェクトマネジメント方法論～事業計画立案から事業の価値創造まで～



資格 PMP®資格(米国PMI®認定)

- Project Management Professional(PMP)®資格は、プロジェクトマネジメントの専門知識を有していることを証明するために、米国Project Management Institute (PMI)®が認定する資格です。
●PMP®の人気は世界的に非常に高く、資格受験者は年々増加を続けています。
●PMP®は、システム発注条件に記載されるケースも増えており、また、各社のプロジェクト・マネージャ資格認定制度においても認定要件である公的資格の一つに位置付けられることが多く、プロジェクト・マネージャをめざす方にとって人気の高い資格となっています。



詳しくは、日立インフォメーションアカデミーのwebサイトにてご確認ください。

https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/license/pmp/index.html

PDU 対象コース一覧

Table with columns: 分野, コースコード, 区分, コース名, 日数, PDU合計, テクニカル・プロジェクトマネジメント, リーダーシップ, ストラテジック&ビジネスマネジメント. Includes ITサービスマネジメント and IT戦略・IS企画/システム設計 sections.

プロジェクトマネジメント

Table with columns: 分野, コースコード, 区分, コース名, 日数, PDU合計, テクニカル・プロジェクトマネジメント, リーダーシップ, ストラテジック&ビジネスマネジメント. Lists various project management courses like PMJ066, PMJ038, etc.

New: 新設コース, Renewal: 改訂コース, 休講: 今期の定期開催はありません

Table with columns: 分野, コースコード, 区分, コース名, 日数, PDU合計, テクニカル・プロジェクトマネジメント, リーダーシップ, ストラテジック&ビジネスマネジメント. Lists courses like PMJ014, PME005, etc.

ビジネス/ヒューマン

Table with columns: 分野, コースコード, 区分, コース名, 日数, PDU合計, テクニカル・プロジェクトマネジメント, リーダーシップ, ストラテジック&ビジネスマネジメント. Lists business and human resources courses like HSJ056, HSJ174, etc.

グローバル

Table with columns: 分野, コースコード, 区分, コース名, 日数, PDU合計, テクニカル・プロジェクトマネジメント, リーダーシップ, ストラテジック&ビジネスマネジメント. Lists global business courses like GBE010, GBE013, etc.

*eラーニングコースの日数欄には、平均学習時間を記載しています。

Icons for various learning features: マシン実習, グループ実習, レクチャ, 演習環境, 研修室自習型, etc.

Icons for learning features: 休講, 休講, 休講, 休講, 休講, etc.

日立製品	PMJ065	プロジェクトマネジメント
JP1		プロジェクトマネジメント基礎 Renewal
uCosminexus Application Server	2日間	
HIRDB		プロジェクトマネジメントを進めるために必要なプロジェクトの概念やプロジェクトマネジメントのための各手法、考え方を、講義と演習を通して学習します。
OpenTP1	到達目標	・プロジェクトの概念が説明できる。 ・プロジェクトマネジメントのための各手法、考え方が説明できる。
VOS3/VOS1/VOSK	対象者	ITエンジニア職、若手・中堅の方でこれからプロジェクトマネジメント業務を行う方。
XDM/PDM II	前提知識	情報システム開発プロジェクトへの参加経験があり、システム開発に関する基礎知識があること。
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム	内容	1. プロジェクトマネジメントとは 2. プロジェクト立上げ(ケーススタディ、演習) (1) 上位マネジメントの役割 (2) プロジェクト憲章 3. プロジェクト計画(ケーススタディ、演習) (1) プロジェクトマネジメント計画書 (スコープ、WBS、スケジュール、コスト、品質、リソース、コミュニケーション、リスク、調達) 4. 実行とコントロール(ケーススタディ、演習) (1) ベースラインの確認 (2) パフォーマンス評価 (3) アンド・パリュー・マネジメント (4) 実績報告書作成 5. プロジェクト完了
IoT	備考	このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
ビッグデータ		
クラウド/サーバ仮想化		
ITサービスマネジメント		
システム基盤		
UNIX/Linux		
Microsoft		
ネットワーク		
セキュリティ		
データベース		

日立製品	PMJ003	プロジェクトマネジメント
JP1		(PDU) プロジェクト経験者のためのプロジェクトマネジメント上級編 Renewal
uCosminexus Application Server	2日間	
HIRDB		プロジェクトマネージャーが、失敗しない(成功する)プロジェクトをめざすために必要な計画・管理工程における各種ガイドラインについて、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU：12ポイント)の取得が可能です。
OpenTP1	到達目標	計画・管理工程における各種ガイドラインを用いて、プロジェクトマネジメントを実践できる。
VOS3/VOS1/VOSK	対象者	プロジェクトマネジメント業務を行う方。
XDM/PDM II	前提知識	プロジェクトの計画と管理に関する基礎知識があり、「(PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム	内容	1. モダンプロジェクトマネジメントの重要性 2. プロジェクトの立上げ、計画プロセスにおけるマネジメントと留意点 3. プロジェクト遂行プロセスにおけるマネジメントと留意点 4. プロジェクト完了プロセスにおけるマネジメントと留意点 5. 事例演習と講評
IoT	備考	このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
ビッグデータ		
クラウド/サーバ仮想化		
ITサービスマネジメント		
システム基盤		
UNIX/Linux		
Microsoft		
ネットワーク		
セキュリティ		
データベース		

日立製品	PMJ060	プロジェクトマネジメント
JP1		(PDU) プロジェクトの敵を味方にするステークホルダーマネジメント Renewal
uCosminexus Application Server	1日間	
HIRDB		プロジェクトの複雑度やスピード感が高まる中、顧客や上級マネジメント、関連部署などプロジェクトに影響を与えるステークホルダーの協力的な関与を引き出すことが、プロジェクトの成功に直結します。このコースでは、ステークホルダーマネジメントと体系的に学び、具体的なツールを修得します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU：7ポイント)の取得が可能です。
OpenTP1	到達目標	ステークホルダーマネジメントのプロセスを理解し、具体的な作業をイメージできる。
VOS3/VOS1/VOSK	対象者	プロジェクトマネジメント業務を行う方。
XDM/PDM II	前提知識	プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム	内容	1. ステークホルダーマネジメントの基本知識と実践方法を修得できる 2. ステークホルダのマネジメントを計画するポイントを理解する 3. ステークホルダーそれぞれの関心事と要求を把握することができる 4. ステークホルダー・エンゲージメントのポイントを理解する 5. ステークホルダーとの対立関係をコントロールすることができる
IoT	備考	このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
ビッグデータ		
クラウド/サーバ仮想化		
ITサービスマネジメント		
システム基盤		
UNIX/Linux		
Microsoft		
ネットワーク		
セキュリティ		
データベース		

IT戦略・IS企画/システム設計	PMJ038	プロジェクトマネジメント
IT戦略・IS企画		(PDU) プロジェクトマネジメント 仮想体験講座 Renewal
システム設計	2日間	
アプリケーション開発		シミュレータを使って仮想プロジェクトを計画し、チーム編成を行い、プロジェクトを実行します。プロジェクト実行中に発生するさまざまな問題に対応し、解決する方法を学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU：14ポイント)の取得が可能です。
Webアプリケーション	到達目標	プロジェクト実行中に発生するさまざまな問題への対応方法を理解し実際のプロジェクト運営で活用、実践できる。
スマートデバイス	対象者	プロジェクトマネジメント業務を行う方。
オブジェクト指向/UML	前提知識	プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
言語	内容	1. シミュレーションツールの使い方 2. 期間1 (プロジェクト立上げから4週目まで) (1) 計画立案 (2) シミュレーション実行 (3) 進捗報告 (4) 解説 3. 期間2 (5週目から8週目まで) (1) 計画立案 (2) シミュレーション実行 (3) 進捗報告 (4) 解説 4. 期間3 (9週目からプロジェクト完了まで) (1) 計画立案 (2) シミュレーション実行 (3) 進捗報告 (4) 解説 5. まとめ
IT基本	備考	このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
IT基本		
ハードウェア		
情報処理資格		
情報リテラシ		
プロジェクトマネジメント		
コンプライアンス		
ビジネス/ヒューマン		
グローバル		

IT戦略・IS企画/システム設計	PMJ059	プロジェクトマネジメント
IT戦略・IS企画		(PDU) ケースメソッドによるPM判断・行動力強化 複数ケースを短期間で学びPM力向上 Renewal
システム設計	1日間	
アプリケーション開発		プロジェクトマネージャーがよく遭遇する事例を対象に、トラブル原因を分析し、ある時点・ある状況に対してどのような対策が必要かを学びます。数多くの事例に取り組みむことで、短期間で実践力を身につけます。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU：7ポイント)の取得が可能です。
Webアプリケーション	到達目標	複雑な前提条件や制約条件のプロジェクトマネジメントにおいて、具体的な問題解決の思考ができる。
スマートデバイス	対象者	プロジェクトマネジメントに従事している方(サブリーダー、リーダー、マネジャー)。
オブジェクト指向/UML	前提知識	プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
言語	内容	1. ケースメソッドによる学習のコンセプト 2. ステークホルダーの合意を得てスコープをコントロールする 3. ステークホルダーを巻き込んで品質を確保する 4. プロジェクトメンバとのコミュニケーション(役割分担など)を行う 5. スコープとスケジュールのバランスを保つ 6. コストとスケジュールのバランスを保つ
IT基本	備考	このコースは、9：00～17：30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
IT基本		
ハードウェア		
情報処理資格		
情報リテラシ		
プロジェクトマネジメント		
コンプライアンス		
ビジネス/ヒューマン		
グローバル		

IT戦略・IS企画/システム設計	PMJ023	プロジェクトマネジメント
IT戦略・IS企画		(PDU) プロジェクトマネジメントのコミュニケーション Renewal
システム設計	2日間	
アプリケーション開発		プロジェクトマネージャー/リーダーが必要な対人関係を強化するコミュニケーション能力について、 PMBOK® ガイドのコミュニケーション・マネジメントをベースに、ヒアリング能力・インタビュ能力・プレゼンテーション能力などの知識とスキルを、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU：14ポイント)の取得が可能です。
Webアプリケーション	到達目標	コミュニケーションマネジメントの知識を説明できる。
スマートデバイス	対象者	プロジェクトマネジメント業務を行う方。
オブジェクト指向/UML	前提知識	プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および「(PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
言語	内容	1. コミュニケーションの基本 2. プロジェクトにおけるコミュニケーション 3. インタビュースキル 4. ディスカッションスキル 5. プレゼンテーションスキル 6. 全体のまとめ
IT基本	備考	このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
IT基本		
ハードウェア		
情報処理資格		
情報リテラシ		
プロジェクトマネジメント		
コンプライアンス		
ビジネス/ヒューマン		
グローバル		

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

PMJ048	プロジェクトマネジメント
	(PDU) プロジェクトマネジメントの契約・調達マネジメント PDU
2日間	
要求事項策定から最終まで全フェーズにおける契約の知識、契約・調達に関わるプロジェクトマネージャとしての役割と責任および契約者またはサブコントラクターが契約上の要求通りに実行することを確認するための有益なアクション策について、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU：14ポイント)の取得が可能です。	
到達目標	・契約・調達に関わる知識を説明できる。 ・契約・調達に関わるプロジェクトマネージャとしての役割と責任について説明できる。
対象者	プロジェクトマネジメント業務を行う方。 プロジェクトへの参加経験があり、「(PDU) ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
前置知識	
内容	1. 契約マネジメントプロセス 2. チームワーク 役割と責任 3. 契約法の概念と原則 4. 契約方法 5. 契約の価格協定 6. 契約前フェーズ 7. 締結フェーズ 8. 締結後フェーズ
備考	・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®</i> ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ

プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

PMJ054	プロジェクトマネジメント
	(PDU) プロジェクトを円滑に進めるための合意形成力強化トレーニング PDU
2日間	
顧客やチームメンバーと合意形成するコミュニケーションのプロセスを理解しながら、自己のコミュニケーションの「クセ」ならびに、その改善・強化方法を学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU：13ポイント)の取得が可能です。	
到達目標	・成功確率を高める交渉の原則を説明できる。 ・プロジェクトマネジメントに必要な交渉技法を身につけられる。 ・顧客と信頼関係を築くコミュニケーションをとることができる。
対象者	5年以上の業務経験がある方。
前置知識	特に必要としません。
内容	1. ビジネスコミュニケーションとは 2. コミュニケーションプロセスの理解 (1) アイスブレイク (2) 自分の意見を説明する (3) 相手の意見を積極的に聞き出す (4) 解決ポイントを見出す (5) 協力して解決策を作成する (6) 合意を形成する 3. コミュニケーションプロセス理解のためのミニ演習 4. 総合ロールプレイングトレーニング 5. まとめ
備考	・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®</i> ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMJ032	プロジェクトマネジメント
	(PDU) プロジェクトマネジメントの品質マネジメント PDU
2日間	
プロジェクトにおける品質マネジメントの概念、品質計画、プロセス改善手法などプロジェクトの成功に不可欠な最先端の品質マネジメントの基礎的な知識と実践的なスキルを、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU：14ポイント)の取得が可能です。	
到達目標	・品質マネジメントの基礎的な知識を説明できる。 ・品質マネジメントの実践的なスキルを実践できる。
対象者	プロジェクトマネジメント業務を行う方。 プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および「(PDU) ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
前置知識	
内容	1. 品質運動の歴史 2. 品質と品質マネジメントの基本 3. 品質計画 4. 品質管理 5. 品質保証 6. 変更管理 7. プロセス改善 8. 品質に対するコミットメント
備考	・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®</i> ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMJ025	プロジェクトマネジメント
	(PDU) プロジェクトマネジメントのネゴシエーション PDU
2日間	
プロジェクトにおけるネゴシエーション能力の発揮面に重点を置き、ステークホルダー、顧客、チームメンバーとの効果的なネゴシエーション方法を、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU：14ポイント)の取得が可能です。	
到達目標	ステークホルダー、顧客、チームメンバーとの効果的なネゴシエーション方法を説明できる。
対象者	プロジェクトマネジメント業務を行う方。
前置知識	プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および「(PDU) ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. プロジェクトにおける交渉 2. 交渉とタイプ分析 3. 交渉プロセスと交渉技法 4. 協働的交渉プロセス 5. 複雑な交渉 6. 全体のまとめ
備考	・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®</i> ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMD009	プロジェクトマネジメント
	(PDU) プログラムマネジメントより価値の高いプロジェクトを提供するために- PDU
2日間	
プログラムマネジメントはプロジェクトマネジメントの上位概念となり、組織の戦略とプロジェクトを関連付け、個々のプロジェクトだけでは対応できないベネフィット(売上増加、品質向上など)を得るために、一連のプロジェクト群をマネジメントします。このコースでは、プロジェクトマネジメントとの違いを確認しながらプログラムマネジメントの特徴について学習します。また、戦略実現に直結するプログラムマネジメントの知識・スキル修得とプログラムマネージャとしての役割と重要なフレームワークの一部ケーススタディを使いながら学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU：16ポイント)の取得が可能です。	
到達目標	・プログラムマネジメントのライフサイクル全般と特に重要なステークホルダマネジメント、ベネフィットマネジメントを中心にプログラムマネージャとしての必要な知識とスキルを修得できる。 ・プロジェクトマネジメントの知識を持ったプログラムマネージャとして戦略的な価値を生み出すプロデューサ型人材のベーススキルを修得できる。
対象者	上位プロジェクト・マネージャやプログラム・マネージャの方、経営企画・戦略部門マネージャ、PMOメンバーの方。
前置知識	特に必要としません。
内容	1. プログラムマネジメントとは 2. 組織戦略とプロジェクトとの関係 3. ベネフィットの定義(ベネフィット・マップ) 4. プログラムアーキテクチャーとプログラムマネジメント計画 5. プログラムマネジメントの重要成功要因 (1) プログラム・ライフサイクル (2) 戦略との整合 (3) プログラム・ガバナンス (4) ベネフィット・マネジメント
備考	・このコースは、株式会社富士ゼロックス総合研究所主催の「プログラムマネジメント」を実施するものです。 ・このコースは、9：30～18：30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®</i> ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMJ039	プロジェクトマネジメント
	(PDU) プロジェクトマネージャのためのファイナンシャルマネジメント PDU
2日間	
財務・会計の基本、契約時の利益計画、資産管理などの基礎知識とプロジェクト遂行における一般的な財務分析ツールを講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU：14ポイント)の取得が可能です。	
到達目標	・財務・会計の基本、契約時の利益計画、資産管理などの基礎知識を説明できる。 ・プロジェクト遂行における一般的な財務分析ツールを実践できる。
対象者	プロジェクトマネジメント業務を行う方。
前置知識	プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および「(PDU) ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. 財務の基本(財務分析、管理会計、収益測定(ROAなど)) 2. 契約上の利益(価格戦略と戦略、利益計画、利益目標) 3. 資産マネジメント(キャッシュフロー、受取勘定、財産目録) 4. 契約条件(価値、コスト、リスク・評価基準) 5. コスト見積り(コスト見積り法、計画策定とスケジューリング)
備考	・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®</i> ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMJ033	プロジェクトマネジメント
	(PDU) ファンクションポイント法基礎 PDU
1日間	
ソフトウェア開発の規模を見積るためのファンクションポイント法の概要、計測手法の基本、他の見積技法との相違を、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU：6ポイント)の取得が可能です。	
到達目標	ファンクションポイント法の概要および手順を理解しファンクションポイントの計測ができる。
対象者	プロジェクトマネジメント業務を行う方、ファンクションポイント法の適用を検討する方。
前置知識	ソフトウェア開発に関する基礎知識があること。
内容	1. ファンクションポイント法とは 2. FP算出手順(Step1からStep7まで) 3. FPの性質と特徴 (1) ソフトウェアの開発見積り (2) FFPが目目される背景 (3) FPの性質 (4) ファンクションポイント法の利点 (5) ファンクションポイント法の適用分野 4. ファンクションポイント法と見積り (1) 見積技法 (2) プロジェクトライフサイクルと見積り (3) 生産性評価による見積精度向上 (4) 開発規模見積りの重要性 5. 演習・解説
備考	PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®</i> ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMJ006	プロジェクトマネジメント
	ソフトウェア開発の品質管理と信頼性- 1日立の取り組み紹介-
1日間	
情報システムの高品質化(高信頼性化)を実現するための基本的考え方、および一連の施策について学習します。	
到達目標	情報システムの高品質化(高信頼性化)を実現するための基本的考え方、および一連の施策を説明できる。
対象者	情報システムの設計・開発を行う技術者の方、品質に関連する業務に携わる方。
前置知識	ソフトウェア開発に関する基礎知識があること。ソフトウェア開発経験があることが望ましい。
内容	1. はじめに 2. ソフトウェアの特徴 3. ソフトウェアの信頼性の定義 4. 信頼性向上技術 5. 実践的品質評価方法 6. プロジェクト管理における考え方 講師：日立製作所のSE部門品質保証部にて品質管理を実務として担当している専門家が講義します。
備考	このコースは、「ソフトウェア開発の品質管理と信頼性」コースの名称を変更したものです。

PMJ041	プロジェクトマネジメント
	(PDU) プロジェクトマネジメントの要求マネジメント PDU
2日間	
プロジェクト・スコープの基礎となり、スコープ変更の要因ともなる要求を適切にマネジメントする要求マネジメント・プロセス、ステークホルダーとの関係性構築について、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU：14ポイント)の取得が可能です。	
到達目標	・要求マネジメント・プロセスを説明できる。 ・要求マネジメントの手法を説明できる。 プロジェクトマネジメント業務を行う方。
対象者	プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および「(PDU) ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
前置知識	
内容	1. プロジェクトに影響を及ぼす要求の諸要素 2. 要求マネジメント・プロセス 3. ステークホルダーと要求 4. 要求識別～要求抽出 5. 分析・レビュー・承認～要求変更管理～要素成果物テスト～要求プロセス終結 講師：日立製作所のSE部門品質保証部にて品質管理を実務として担当している専門家が講義します。
備考	・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®</i> ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMJ014	プロジェクトマネジメント
	(PDU) ファンクションポイント法による見積り実践トレーニング-コストマネジメント実践- PDU
2日間	
ソフトウェア規模を見積るファンクションポイント法を業務に適用するための考え方、および手法について、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU：12ポイント)の取得が可能です。	
到達目標	・ソフトウェア規模を見積るファンクションポイント法の考え方、実践方法を説明できる。 ・ファンクションポイント法を用いて計測ができる。
対象者	プロジェクトマネジメント業務を行う方、ファンクションポイント法を使用する見積りを行う方、ファンクションポイント法を使用している提案を評価する方。
前置知識	ソフトウェア開発に関する基礎知識があり、「(PDU) ファンクションポイント法基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	1. ファンクションポイント法による計測の手順 2. ソフトウェア開発プロジェクトの見積り上の留意点 3. 見積り演習 4. ファンクションポイント法の導入方法 5. 総合演習とまとめ 6. 組織としての見積りへの取り組み 7. ファンクションポイント法の動向 講師：日立製作所のSE部門で見積り技術の取りまとめを実務として担当している専門家が講義します。
備考	PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®</i> ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

マシニング
マシンを使用しないからの研修
グループ演習
グループ演習を中心とした研修
レクチャ
座学による研修
演習環境
職場・自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習
研修室自習型
研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習
eラーニング
インターネット接続による自己学習

自習テキスト
自習書による自己学習
休講
休講の定期開催はありません

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

PME005	プロジェクトマネジメント
	<eラーニング> (PDU) 2時間でわかる ファンクションポイント法 PDU
平均2週間	
ソフトウェア開発の規模を見積るためのファンクションポイント法について、計測方法の基礎を2時間で解説します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:2ポイント)の取得が可能です。	
到達目標	ファンクションポイント法の概要、および計測手順を説明できる。
対象者	プロジェクトリーダー(マネージャ)の方、または今後めざす方。
前置知識	特に必要としません。
内 容	1. ファンクションポイント法の基本的な概念 2. ファンクションポイント算出手順 3. データファンクションの計測 4. トランザクションファンクションの計測 5. ファンクションポイントの算出 6. 修了試験
備 考	・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が付加されます。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®ガイド</i> 、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMJ053	プロジェクトマネジメント
	(PDU) Microsoft Office Projectによる タイムマネジメント PDU
2日間	
プロジェクトマネジメントツール Microsoft Office Projectを使って、計画段階のスケジュール作成・調整方法、実行段階での進捗管理方法を、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:14ポイント)の取得が可能です。	
到達目標	プロジェクトマネジメントツール Microsoft Office Projectを使い計画段階のプロジェクトスケジュールの作成・調整、実行段階での進捗情報の入力、スケジュール調整ができる。
対象者	Microsoft Office Projectを修得したい方。
前置知識	プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. Microsoft Office Projectの概要 2. 基本操作の理解 (1) オプション設定の確認 (2) ビューの切り替え (3) ビューの分割 (4) カレンダーの設定 3. プロジェクト・スケジュールの作成 (1) タスクの登録 (2) リンクの設定 (3) 作業時間の見積り (4) リソース登録 (5) 計画の調整 (6) 基準計画の保存 4. 進捗管理 (1) 実績入力の準備 (2) 実績入力 (3) 計画の見直し (4) コストの確認 5. 便利機能の活用 (1) ユーザ設定フィールド (2) テーブル/グループ/ビューの定義 (3) 構成内容の変更 (4) その他便利機能
備 考	・マシン実習は、Windows環境Microsoft Office Project 2010を使用します。 ・このコースは、9:30~17:30の開催とさせていただきます。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®ガイド</i> 、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。
※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。	

PMJ063	プロジェクトマネジメント
	(PDU) <i>PMBOK®ガイド</i> 第6版セミナー PDU
2日間	
プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「 <i>PMBOK®ガイド</i> 」の内容を学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:14ポイント)の取得が可能です。	
到達目標	<i>PMBOK®ガイド</i> の概要を説明できる。
対象者	<i>PMBOK®ガイド</i> を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方、PMP資格取得をめざす方。
前置知識	「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. 序論 2. プロジェクト・ライフサイクルと組織 3. 単一プロジェクトのプロジェクトマネジメント・プロセス 4. プロジェクトマネジメントの知識エリア (1) 統合マネジメント (2) スコープ・マネジメント (3) タイム・マネジメント (4) コスト・マネジメント (5) 品質マネジメント (6) 人的資源マネジメント (7) コミュニケーション・マネジメント (8) リスク・マネジメント (9) 調達マネジメント (10) ステークホルダー・マネジメント
備 考	・このコースは、9:30~17:30の開催とさせていただきます。 ・「 <i>PMBOK®ガイド</i> 」が受講料に含まれます。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®ガイド</i> 、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMJ064	プロジェクトマネジメント
	(PDU) <i>PMBOK®ガイド</i> 第5版と第6版の差分講座 ー半日でわかる第6版ー PDU
0.5日間	
<i>PMBOK®</i> 第6版では、アジャイルマネジメントなど新たな考え方が入ってきます。 <i>PMBOK®</i> 第5版と比較してどの程度改訂されたか、どのような新しい内容が組み入れられたかを、両版の知識エリアを中心に比較し、わかりやすく解説します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:3ポイント)の取得が可能です。	
到達目標	<i>PMBOK®</i> 第6版の改訂内容を説明できる。
対象者	<i>PMBOK®</i> の内容に関心があり、改訂内容を知りたい方。
前置知識	PMP®資格をお持ちであるか、または <i>PMBOK®</i> 第5版の内容をある程度理解していること。
内 容	1. <i>PMBOK®</i> 第6版の主な変更点 2. 1章から3章の変更点 3. マネジメント・プロセス群の変更点 4. 各知識エリアのプロセス比較 5. 各知識エリアの変更点
備 考	・このコースは、13:00~17:30の開催とさせていただきます。 ・「 <i>PMBOK®ガイド</i> 」が受講料に含まれます。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®ガイド</i> 、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMJ056	プロジェクトマネジメント
	PMP®対策講座(2日間)
2日間	
PMP®資格試験合格に必要な <i>PMBOK®ガイド</i> および関連知識、解答のポイント、受験手続方法を学習します。テキストは、本番テストと各知識エリアのユニットに分かれて構成されています。各知識エリアのユニット終了毎に模擬演習問題を実施し、試験スタイルに慣れいただけます。付属の問題集(400問)で自己学習が可能です。	
到達目標	PMP®資格試験合格に必要な <i>PMBOK®ガイド</i> および関連知識、解答のポイント、受験手続方法を修得できる。
対象者	PMP®資格を取得したい方。(業界を問いません)
前置知識	プロジェクトへの参加経験があり、「(PDU) <i>PMBOK®ガイド</i> 第6版セミナー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. プロジェクト統合マネジメント 2. プロジェクト・スコープ・マネジメント 3. プロジェクト・タイム・マネジメント 4. プロジェクト・コスト・マネジメント 5. プロジェクト品質マネジメント 6. プロジェクト人的資源マネジメント 7. プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント 8. プロジェクト・リスク・マネジメント 9. プロジェクト調達マネジメント 10. ステークホルダー・マネジメント 11. プロフェッショナルの役割と責任 12. 受験ガイド(受験の手続き説明)
備 考	・このコースの受講により、PMP®試験受験資格である学習時間の14時間分の受講証明書を発行いたします。 ・このコースは、9:30~18:00の開催とさせていただきます。 ・ <i>PMBOK®ガイド</i> をお持ちの方は、ご持参されることを推奨いたします。 ・受験料は含まれておりません。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®ガイド</i> 、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMJ028	プロジェクトマネジメント
	PMP®直前講座(模試)(1日間)
1日間	
PMP®資格試験合格のために出題数の多い分野を重点的に、得点力アップをめざして学習します。	
到達目標	PMP®資格試験合格のために模擬試験を実施し得点力をアップできる。
対象者	PMP®資格を取得したい方。(業界を問いません)
前置知識	「PMP®対策講座(2日間)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. 全体おさらい 2. 模擬問題演習(200問) 3. 問題解答解説 4. 模擬問題演習(50問) 5. 合格への近道(受験ハウズワ)
備 考	・このコースの受講により、PMP®試験受験資格である学習時間の7時間分の受講証明書を発行いたします。 ・計算用具(電卓)をご持参ください。 ・このコースは、9:30~18:00の開催とさせていただきます。 ・ <i>PMBOK®ガイド</i> をお持ちの方は、ご持参されることを推奨いたします。 ・受験料は含まれておりません。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®ガイド</i> 、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

SPJ044	プロジェクトマネジメント
	アジャイル開発プロセスの基礎知識
1日間	
このコースは、アジャイル開発プロセスの概要を、ワークショップを通してそのメリットを体感しながら学習します。アジャイルには思想的な面がありますので、実際に現場に適用するには、具体的な実践項目として具体化する必要があります。この具体化のノウハウを紹介します。また、ワークショップや導入事例の紹介を通して、実際にどのような効果が出るのか、実際のプロジェクトの進め方、要素技術についても紹介していきます。ワークショップでは、チーム単位で、「計画-開発-レビュー-振り返り」の開発サイクル(イテレーション)を2回繰り返し、発表を通して受講者全員で気づきを共有します。	
到達目標	・アジャイルを現場に適用するための具体的なノウハウ/留意点を説明できる。
対象者	・アジャイル開発プロセスの概要を知りたい方。 ・アジャイル開発プロセスの導入事例を知りたい方。 ・アジャイル開発プロセスの要素を体験したい方。
前置知識	ソフトウェア開発の経験をお持ちのこと。
内 容	1. アジャイル開発プロセス概要 (1) アジャイル開発が登場した背景 (2) アジャイル開発の登場 (3) 標準的なアジャイル開発の進め方 (4) アジャイル開発のメリット/デメリット 2. XP(Extreme Programming)の概観 (1) XPの概要 (2) XPのプラクティス (3) XPの価値と原則 3. アジャイル開発の進め方(ワークショップ) 4. アジャイル開発の事例 (1) アジャイル開発の採用状況 (2) アジャイル開発のプロセスモデル (3) ビジネス構造モデル (4) アジャイル開発導入時の考慮点 5. 振り返り
備 考	・このコースは、9:00~17:20の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承ください。

SPJ043	プロジェクトマネジメント
	(PDU) スクラムの基礎と実践 PDU
1日間	
このコースは、アジャイル開発手法の中でも主流のスクラムをとりあげ、基礎知識の解説に加えて、簡単な仮想システム開発プロジェクトを題材にしたワークショップによって、アジャイル開発の全体像を学習します。ワークショップでは、具体的な開発状況を想定したケーススタディを用いて、「プロダクトバックログ(プロダクトの要件リスト)作成-スプリント(開発サイクルの単位)プランニング-スプリントの実行」を実践し、アジャイル導入への敷居を下げることをめざします。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:7ポイント)の取得が可能です。	
到達目標	・アジャイル開発における基礎事項を説明できる。 ・スクラムを利用したシステム開発の進め方を説明できる。
対象者	・アジャイル開発の導入を検討されている方(組織)。 ・アジャイル開発プロジェクトにこれから携わる方。
前置知識	・ウォーターフォールなど従来のシステム開発を経験していること。 ・なぜアジャイル開発が必要かというアジャイルの意義を理解していること。
内 容	1. アジャイル開発の背景 2. アイスブレイク(簡単なゲームを通じてアジャイルのメリットを体験) 3. スクラムの基礎 4. スクラムの実践(ワークショップ) (1) 初期の要求の洗い出し (2) プロジェクトプランニング (3) プロジェクトの運営 5. 実施イメージを深める 6. まとめ(質疑応答) このコースは、9:00~17:20の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承ください。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®ガイド</i> 、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

SPJ045	プロジェクトマネジメント
	(PDU) [リーダー向け] アジャイル開発における 自律型チーム運営 PDU
1日間	
アジャイル開発を担当するリーダーとして、その力量がもつとも発揮されるべき局面がチーム運営です。「チームがうまくまとまっていけない」「メンバは指示待ちで自分から動かない」というように自律型チームにならないことが多いのが現実です。このコースでは、自律的なチームとは何か、どうすれば自律的なチームになるのかを、開発現場の状況を想定した講師とのディスカッション演習や質疑応答を通して考察します。それを通して、適用可能なプラクティスからチーム運営のあり方をつかむことをめざします。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:6ポイント)の取得が可能です。	
到達目標	・リーダーとしてアジャイル手法におけるチーム運営のヒントを説明できる。 ・アジャイルプラクティスの実践的な取り組み方を説明できる。
対象者	・アジャイル開発に適したチームを作りたい方。 ・アジャイルに限らず、効果的なチームビルディングを行いたいリーダー(マネジャー)の方。
前置知識	・一般的なソフトウェア開発プロセス(ウォーターフォール開発)を理解していること。 ・ソフトウェア開発の経験をお持ちのこと。
内 容	1. アジャイル開発におけるチームとは (1) アジャイル開発とチーム (2) チームを構成するもの (3) チームを動かすもの (4) チームの成長 2. アジャイル開発における要件管理とは (1) 反復のサイクル (2) ストーリーとタスク (3) ストーリーの見積り方法 3. ディスカッション演習: ユーザストーリー 4. アジャイル開発における進捗管理とは (1) タスクボード (2) バンダウンチャート 5. ディスカッション演習: タスクボードの効果的な使い方 6. アジャイル開発における品質管理とは(CI) 7. アジャイル開発における「カイゼン」とは 8. ディスカッション演習: レトロスペクティブ ケーススタディ
備 考	・このコースは、10:00~17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただきます。ご了承ください。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®ガイド</i> 、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HiRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDM II
- Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
- IoT
- ビッグデータ
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- UNIX/Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画/システム設計
- IT戦略・IS企画
- システム設計
- アプリケーション開発
- Webアプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/UML
- 言語
- IT基本
- IT基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

PMD014 プロジェクトマネジメント
Renewal

**(PDU) PRINCE2®
ファンデーション
(認定試験付き) PDU**

3日間
Renewal

プロジェクト管理の手法として国際的なデファクトスタンダードであるPRINCE2®を学習します。PRINCE2®の基礎知識の修得を目的としています。研修の最後にPRINCE2®ファンデーション認定試験を受験します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 21ポイント)の取得が可能です。

到達目標 PRINCE2®の概要を理解し、PRINCE2®でのプロジェクト管理の原則を理解できる。品質管理、リスク管理、ビジネスケースや予算、納期の範囲でプロジェクトを完了する方法を理解できる。

対象者 ・プロジェクトマネジメントに従事している方。
・PRINCE2®の導入を考えている方。

前提知識 特に必要としません。

内容 1. PRINCE2®のプロジェクト管理の手法
2. PRINCE2®の使用と実施の意味
3. プロジェクトへのPRINCE2®の原則の適用
4. 品質、リスク、および利益の管理方法
5. 既定のビジネス・ケースや予算、納期の範囲内でプロジェクトを完了する方法
6. さまざまなプロジェクト環境に合わせてPRINCE2®を調整する方法

備考 ・このコースは、株式会社ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック主催の「PRINCE2®ファンデーションコース」を実施するものです。
・このコースは、9:30~18:00の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

PMD015 プロジェクトマネジメント
Renewal

**(PDU) PRINCE2®
プラクティショナ
(認定試験付き) PDU**

2日間
Renewal

PRINCE2®の考え方を理解し、組織のすべてのプロジェクトで使用できる共通のプロセス、役割、および用語を提供し、効率的で有効なプロジェクト管理方法を学びます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 14ポイント)の取得が可能です。

到達目標 組織のすべてのプロジェクトで使用できる共通のプロセス、役割、および用語を提供し、効率的で有効なプロジェクト管理方法を理解できる。

対象者 ・プロジェクトマネジメントに従事している方。
・PRINCE2®の導入を考えている方。

前提知識 PRINCE2®ファンデーション認定資格をお持ちの方、またはPMP®資格をお持ちの方。

内容 1. はじめに
2. 原則、テーマ、およびプロセス
3. ビジネスケース
4. 組織
5. 課題のレビュー
6. 品質
7. 計画
8. リスク
9. 変更
10. 進捗と試験準備ガイド
11. プロセスを利用したテーマのレビュー

備考 ・このコースは、株式会社ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック主催の「PRINCE2®プラクティショナコース」を実施するものです。
・このコースは、9:30~18:00の開催とさせていただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

コンプライアンス

個人情報保護や情報セキュリティ、内部統制といった、コンプライアンス意識向上に不可欠な知識が修得できます。

● 全従業員に対しコンプライアンスやCSRの意識を啓発する

HSD011 レクチャ

(半日研修)
コンプライアンス研修
～組織における不祥事防止

0.5 日間

HSD012 レクチャ

(半日研修)コンプライアンス研修
～個人情報保護、情報セキュリティ、
SNSのリスクを知る編

0.5 日間

● モニタリング：内部統制が有効に機能しているかを継続的に監視する

HSJ062 グループ演習

事例から学ぶ
システムトラブル対策の考え方
～高信頼性システム実現のために～

1 日間

HSJ018 グループ演習

システムトラブルの予防と是正
～ISMS・システム監査の
視点から～

2 日間

HSJ105 グループ演習

システム監査で学ぶ
開発・保守とリスク評価

2 日間

● 記録管理：内部統制の状況の確認、不正の発見、不正の抑止効果、内部統制の有効性の説明のために、企業活動を網羅的かつ正確に記録として残し管理する

音声有 説明文なし

DBE015 eラーニング

HiRDB機能解説

7 時間

DBJ092 マシン実習

HiRDBデータベース管理

2 日間

または

音声有 説明文なし

DBE305 eラーニング

【マシン演習付き】
HiRDBデータベース管理

12 時間

音声有 説明文有：学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有 説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし 説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。



目録テキスト
自音倉による
自己学習

休講

休講
今期の定期開催は
ありません

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶ <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

- 日立製品
- JP1
- uCosminexus
Application Server
- HiRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/
VOSK
- XDM/PDMII
- Hitachi Advanced Data
Binder プラットフォーム
- IoT
- ビッグデータ
- クラウド/
サーバ仮想化
- IT サービス
マネジメント
- システム基盤
- UNIX/Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画/
システム設計
- IT戦略・IS企画
- システム設計
- アプリケーション
開発
- Web
アプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/
UML
- 言語
- IT 基本
- IT 基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクト
マネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/
ヒューマン
- グローバル

● セキュリティ管理：内部統制を実現するシステムが不正にアクセスされることを防止・抑止するためのセキュリティを管理する

SCE701 eラーニング 【ナビ機能付き】情報セキュリティ入門 - セキュリティの必要性と対策 - 初心者におすすめ 4時間

SCE706 eラーニング 【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説 - セキュリティポリシー、リスク管理の概要と対策 - 8時間

SCE703 eラーニング 【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎 - 要素技術(暗号、認証)編 - 6時間

● システム運用管理：内部統制を実現する各システムが正しく導入・運用されることを保証するために管理する

JPJ086 マシン実習 JP1プロフェッショナル 統合管理1-システム監視-(Version 11) 2日間

JPE315 eラーニング 【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル 統合管理1-システム監視-(Version 11) 16時間

JPJ087/JPJ087T マシン実習 JP1プロフェッショナル 統合管理2-システム設定-(Version 11) 2日間

JPE316 eラーニング 【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル 統合管理2-システム設定-(Version 11) 16時間

JPJ088/JPJ088T マシン実習 JP1プロフェッショナル 統合管理セットコース (Version 11) 4日間

JPJ089/JPJ089T マシン実習 JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 (Version 11) 2日間

JPJ094/JPJ094T マシン実習 JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 (Version 11) 2日間

JPJ101/JPJ101T マシン実習 JP1プロフェッショナル セキュリティ管理 (Version 11) 1日間

JPJ208/JPJ208T レクチャ JP1コンサルタント 統合管理 (Version 11) 1日間

JPJ209/JPJ209T レクチャ JP1コンサルタント パフォーマンス管理 (Version 11) 1日間

JPJ212/JPJ212T レクチャ JP1コンサルタント 資産・配布管理 (Version 11) 1日間

ITE701 eラーニング 【ナビ機能付き】運用管理概説 初心者におすすめ 6時間

ITJ008 グループ演習 情報システム運用入門 -運用からITサービスへ- 1日間

ITJ009 グループ演習 IT運用における ヒューマンエラー予防 1日間

ITE006 eラーニング SLAにおける サービスレベル設計の基礎 4時間

ITJ004 グループ演習 システム運用の現状分析・設計力養成ワークショップ 2日間

ITJ012 レクチャ ITIL® ファンデーション (認定試験付) 3日間

CLD001 グループ演習 事業と技術の観点から検討するクラウドへの移行と管理 - Cloud Essentials - 2日間

音声有+説明文有：学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし+説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修 | グループ演習 グループ演習を中心とした研修 | レクチャ 座学による研修 | 演習環境 職場・ご自宅などのマシン演習環境を使用した自己学習 | 研修室自習型 研修室でのマシン演習環境を使用した自己学習 | eラーニング インターネット接続による自己学習

HSD011 コンプライアンス (半日研修)コンプライアンス研修 ~組織における不祥事防止 0.5日間 事例をもとにコンプライアンスの問題点を考え、自分とるべき対策を検討します。また、普段のコンプライアンス意識をチェックリストで確認します。不祥事防止の行動指針を確認したうえで、明日から取り組むことを、具体的な行動レベルで考えます。

HSD012 コンプライアンス (半日研修)コンプライアンス研修 ~個人情報保護、情報セキュリティ、SNSのリスクを知る編 0.5日間 個人情報保護や情報セキュリティ、ソーシャルネットワークの取り扱いを紹介。コンプライアンスのポイントおよび社会の中で重要な規範を学習します。

HSJ062 システム運用管理 事例から学ぶ システムトラブル対策の考え方 -高信頼性システム実現のために- 1日間 情報化社会におけるコンピュータシステムは、組織や社会のインフラを支えるという極めて重要な役割を担っています。これらのシステムに障害が発生すると、ビジネスに与える影響は非常に大きなものとなるため、今日の情報システムには高い信頼性と安全性が求められています。

HSJ018 モニタリング システムトラブルの予防と是正 -ISMS・システム監査の視点から- 2日間 情報システムの開発業務や運用業務で発生したトラブル事例を、予防処置と是正処置の観点から分析し、自らの職場において同様のトラブルを引き起こさないようにするためには何をすべきか、その対策ポイントについて研究・学習します。

HSJ105 モニタリング システム監査で学ぶ 開発・保守とリスク評価 2日間 システム監査の基礎知識から実務手順・技法まで、演習を通して理解し、業務に活用できる知識を学習できます。また、事例演習により知識や技法を学習できます。

日立製品 JP1 uCosminexus Application Server HIRDB OpenTP1 VOS3/VOS1/VOSK XDM/PDM II Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム IoT ビッグデータ クラウド/サーバ仮想化 ITサービス マネジメント システム基盤 UNIX/Linux Microsoft ネットワーク セキュリティ データベース IT戦略・IS企画/システム設計 IT戦略・IS企画 システム設計 アプリケーション開発 Webアプリケーション スマートデバイス オブジェクト指向/UML 言語 IT基本 IT基本 ハードウェア 情報処理資格 情報リテラシ プロジェクト マネジメント コンプライアンス ビジネス/ヒューマン グローバル

ビジネス/ヒューマン

仕事を進めるうえで必要となるスキル(ロジカルシンキング、コミュニケーション、ライティング、リーダーシップ、業務知識など)が修得できます。

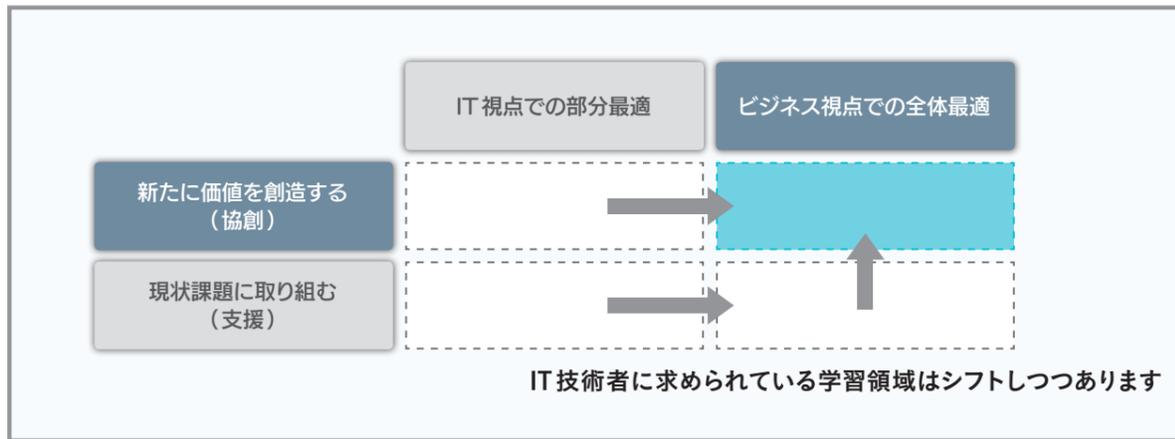
ビジネススキル修得のための推奨講座体系～変化の激しい時代を生き抜くために～

今後、IT技術者は何を学ぶべきか

ITが融合した市場・社会でのパラダイムシフトに企業が応えるためには、企業活動とITとの融合を継続的に進化(深化)させていく必要があります。ビジネスプロセス=ITシステムという現在、IT部門・技術者は「ITシステムを作るだけの人」で良いのでしょうか。ITがビジネスのあらゆる場面を支えるインフラとなり、ユーザー部門がIT部門・技術者に期待する関わり方は、「支援」ではなく「一体」に、そして「結果の共有」まで、全工程をマネジメントすることが求められるようになりました。

また、経営戦略の具現化・課題解決のために、ITの知見を軸としながらも、ITのみの視点にとどまらず、ビジネスの視点で全体最適な解決策を提案することが期待されています。

ITという技術を社会やビジネスで役立たせるには、「現実の場」とITを結びつけ、協創することが不可欠です。ビジネス推進と一体となって、ビジネスでの結果の共有を実践するために、IT技術者は使命の拡大に合わせて学習の領域を広げていくことが望まれています。



確実なスキルアップを促す講座体系の特長

上記のような要請を踏まえ日立講習会では、システム計画系やプロジェクトマネジメント系の講座体系に、ビジネススキル系のコースを追加し、段階的に拡充を図って参りました。

ビジネススキルの修得は「なかなか効果が見えないもの」といわれます。そこで日立講習会では、日立グループ向けのビジネス教育のノウハウを活用し、最短期間で修得できるよう、各項目の最終的な到達レベルを定義したうえで、その修得までに最適な時間を導き出しています。また、修得内容に一貫性を持たせつつ、必要最小限の項目で構成しています。

講座体系を活用したコースの選び方

次ページの講座体系では、ビジネス推進のスキルとして欠かせない四分野(コンセプチュアル、人・組織・リーダーシップ、戦略・マーケティング、財務)を縦軸に採り、横軸にレベル感や難易度を表現しました。お客様内での階層別育成の実施状況や、対象者の方の経験年数・業務経験・職位と照らし合わせて、コースをご検討ください。

また、P.220以降では、ビジネススキルの講座群を目的別のコースフローで掲載しています。こちらでは、今必要なスキル修得に最適なコース選択のために、「速引き」でコースを見つけていただけるように整理しました。

実績豊富な日立講習会のビジネス/ヒューマン講座をご活用いただければ幸いです。

問題解決能力修得の共通ステップ	ビジネスの問題解決の基本を理解し、意識を高める	各自のビジネスにおける問題解決を実行する	先の見えない困難な状況下でも合理的な解を立案し、組織を導く	
レベル	入門	基礎	応用・中級	上級
問題解決	思考法 HSJ116 / 2日間 ロジカルシンキング基礎 論理の可視化と論理チェックのポイント → HSJ170 / 2日間 イノベティブ思考-単なるアイデアで終わらないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかた-			問題解決のための コンセプチュアル総合コース
ライティング	eL 文書作成力向上トレーニング HSE070 / 3時間 → HSJ141 / 1日間 文書作成力向上トレーニング(演習編) → HSE044 / 4時間 eL ロジカルライティング(基礎知識編) → HSJ140 / 1日間 ロジカルライティング(演習編)			
プレゼンテーション	HSJ154 / 2日間 ロジカルプレゼンテーション基礎			
定量的分析	HSJ108 / 2日間 定量的分析のスキル-問題解決の精度を高める-			
意思決定	eL 意思決定のスキル-合理と心理を理解したうえでの意思決定- HSE072 / 4時間 → HSJ137 / 1日間 意思決定のスキルII-ディジションマネジメントを実践するために-			
交渉	eL [ナビ機能付き] 協創を生み出す交渉(基礎知識編) HSE711 / 4時間 → HSJ145 / 1日間 協創を生み出す交渉(基礎演習編) → HSJ146 / 1.5日間 協創を生み出す交渉(実践演習編)			
人・組織・リーダーシップ	eL ビジネススキル基礎 HSE049 / 8時間 → HSJ126 / 1日間 報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎 → HSJ127 / 2日間 情報を整理して伝えるコミュニケーション技法-ロコ、パト、エトスを高める- → HSJ124 / 1日間 リスニング力を高めるコミュニケーションスキルアップ-職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上- → HSJ125 / 1日間 (PDU)アサーティブ・コミュニケーション-職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上-		コミュニケーション系総合コース (各人・各組織の価値観や、非言語部分までを含んだ、「人の情念の変容に踏み込む総合的ファンリテーション講座」)	
マネジメント/リーダーシップ	HSJ079 / 1日間 コーチング基礎 → HSJ114 / 1日間 リーダシップの原理・原則 → HSJ147 / 2日間 (PDU)目標達成のためのコーチング実践 → HSJ123 / 2日間 新任・若手マネージャのためのリーダーシップとマネジメント-人と組織- → HSJ071 / 1日33日 個人と組織のマネジメント-部長・課長コース-	休講 HSJ166 / 1日間 マインドフルリーダーシップ基礎	休講	
戦略・マーケティング	仮説検証のためのリサーチ手法 → 戦略的思考基礎(コンサルタントの顧客対応ノウハウを学ぶ) → HSJ165 / 1日間 ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向-イノベーション実現のために-		マーケティング基礎理論と応用 → 戦略基礎理論と応用	
財務	eL [ナビ機能付き] WHYで学ぶアカウンティング(基礎知識編) HSE709 / 8時間 → HSJ122 / 1日間 WHYで学ぶアカウンティング(実践演習編)		財務系総合コース	

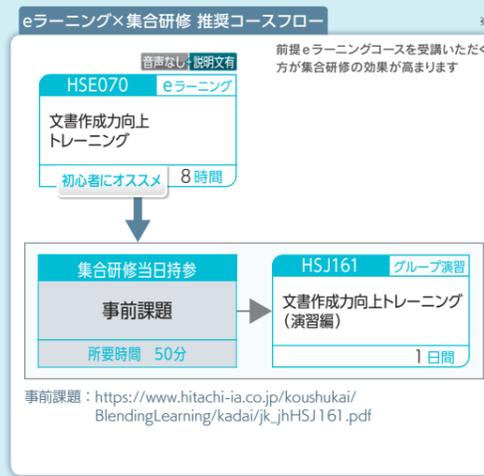
：順次提供予定コース eL eラーニング

確実なスキルアップを促す4つの講座群

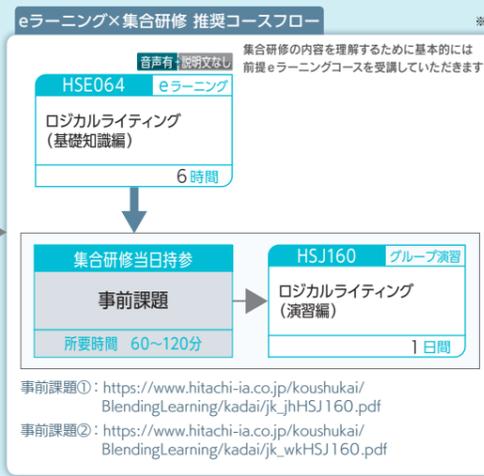
- 問題解決**
 ビジネスパーソンが修得すべき論理的思考をベースとした問題解決のためのスキルを身につけることができます。
- 人・組織・リーダーシップスキル**
 個人と組織が連携していくための真の対人能力を身につけ、「組織マネジメント」と「変革のリーダーシップ」を修得できます。
- 戦略・マーケティングスキル**
 顧客の環境変化や顧客との協創を考え、ビジネスアイデアを創造するスキルを修得できます。
- 財務スキル**
 アカウンティングの本質から、連結経営、ファイナンス、経営分析を用いた経営改革のスキルを修得できます。

● 文書作成、プレゼンテーション力を高めたい方

文書作成の基本を押さえたい/押さえさせたい

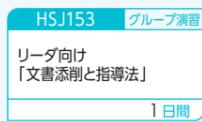


※1: 必須知識をeラーニングで学習したうえで集合研修で演習に取り組むため、eラーニングと集合研修両方のご受講を推奨します。集合研修は事前課題に取り組むことが前提となります。

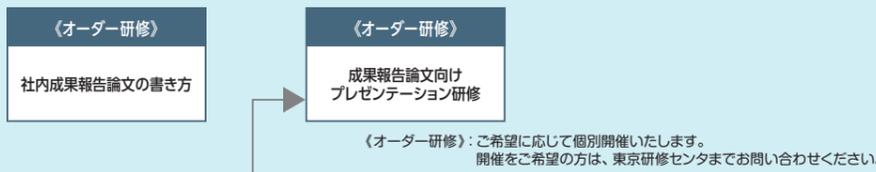


※1: 必須知識をeラーニングで学習したうえで集合研修で演習に取り組むため、eラーニングと集合研修両方のご受講を推奨します。集合研修は事前課題に取り組むことが前提となります。

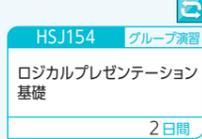
指導・添削のポイントが知りたい



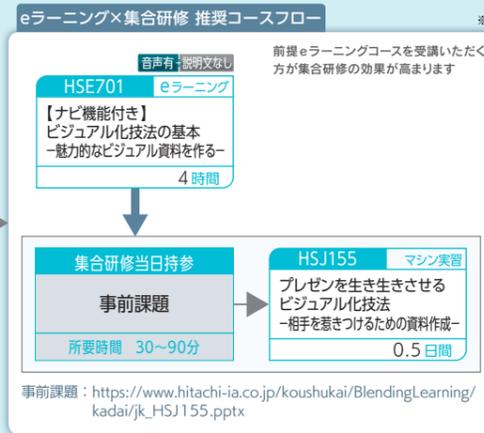
社内成果報告論文を書く



プレゼンテーションの準備プロセスを知りたい

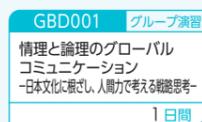


資料のデザインのポイントを知りたい



※1: 必須知識をeラーニングで学習したうえで集合研修で演習に取り組むため、eラーニングと集合研修両方のご受講を推奨します。集合研修は事前課題に取り組むことが前提となります。

グローバルビジネスシーン



● イノベティブな考え・行動を強化したい方

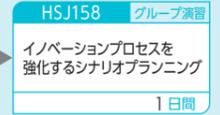
なぜイノベティブな思考が必要か、自分はどんな課題に向き合いたいかを考えたい



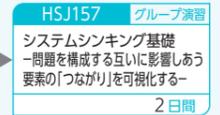
イノベティブな思考の進め方、思考法を知りたい



未来の社会の姿をどう想像するのか、その方法を知りたい



考えているエコシステムをどのように図で表現するとよいか知りたい

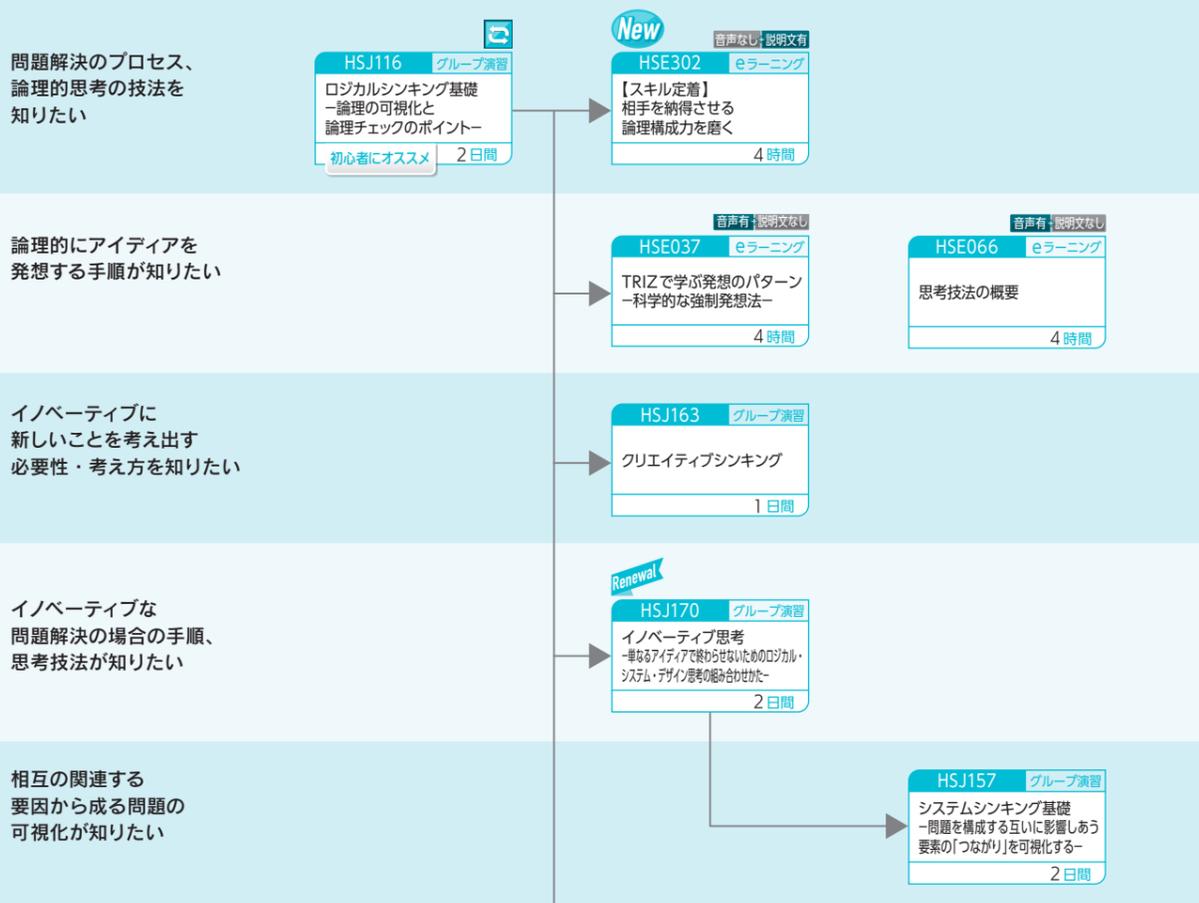


学び直しシリーズeラーニングとしてもご提供しています。過去に受講した研修内容を再確認したい方や、既に業務を遂行するために独学で学び実践しているが、知識の抜け漏れがないかを体系的に学ぶことで整理したい方にお薦めのeラーニングです。集合研修のレクチャ部分を収録、抜粋しダイジェストコースとして、eラーニングで提供します。

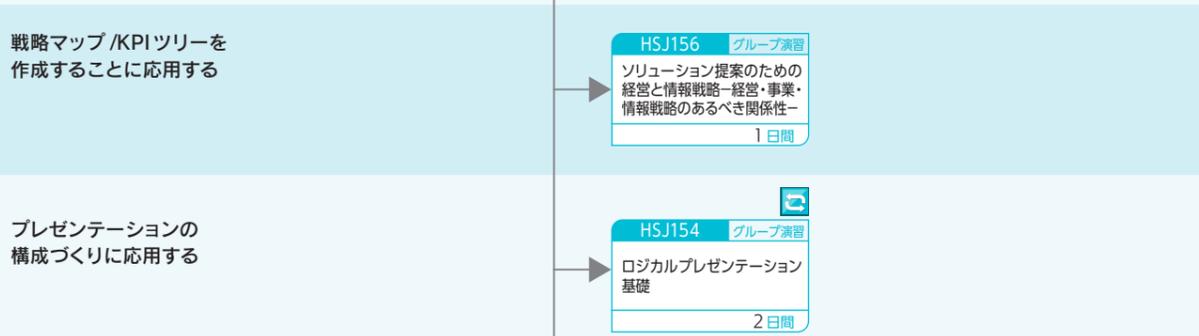
音声有+説明文有: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。音声有+説明文なし: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。音声なし+説明文有: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● 論理的思考、問題発見・解決能力、発想力を高めたい方



シーン別学習



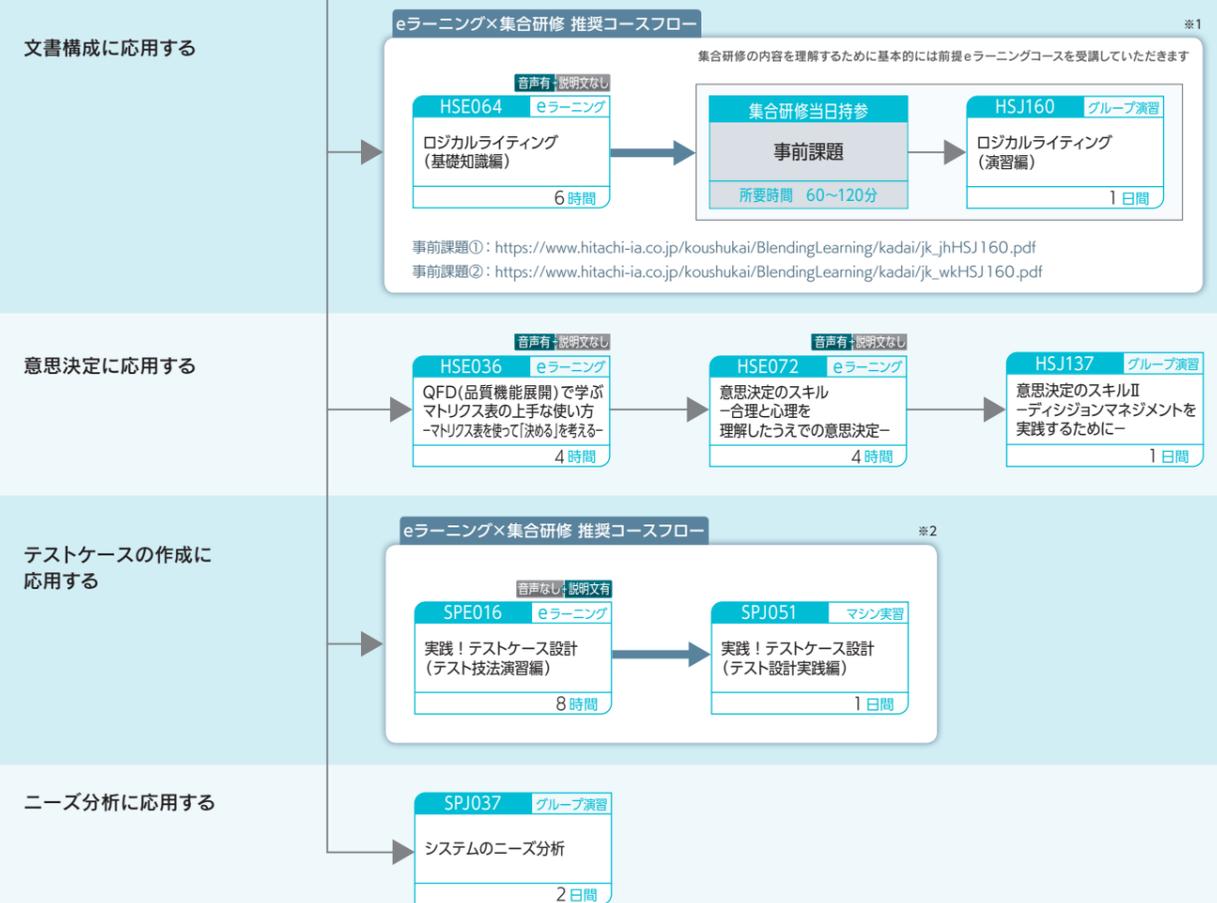
音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。



※1: 必須知識をeラーニングで学習したうえで集合研修で演習に取り組み、eラーニングと集合研修両方のご受講を推奨します。集合研修は事前課題に取り組むことが前提となります。

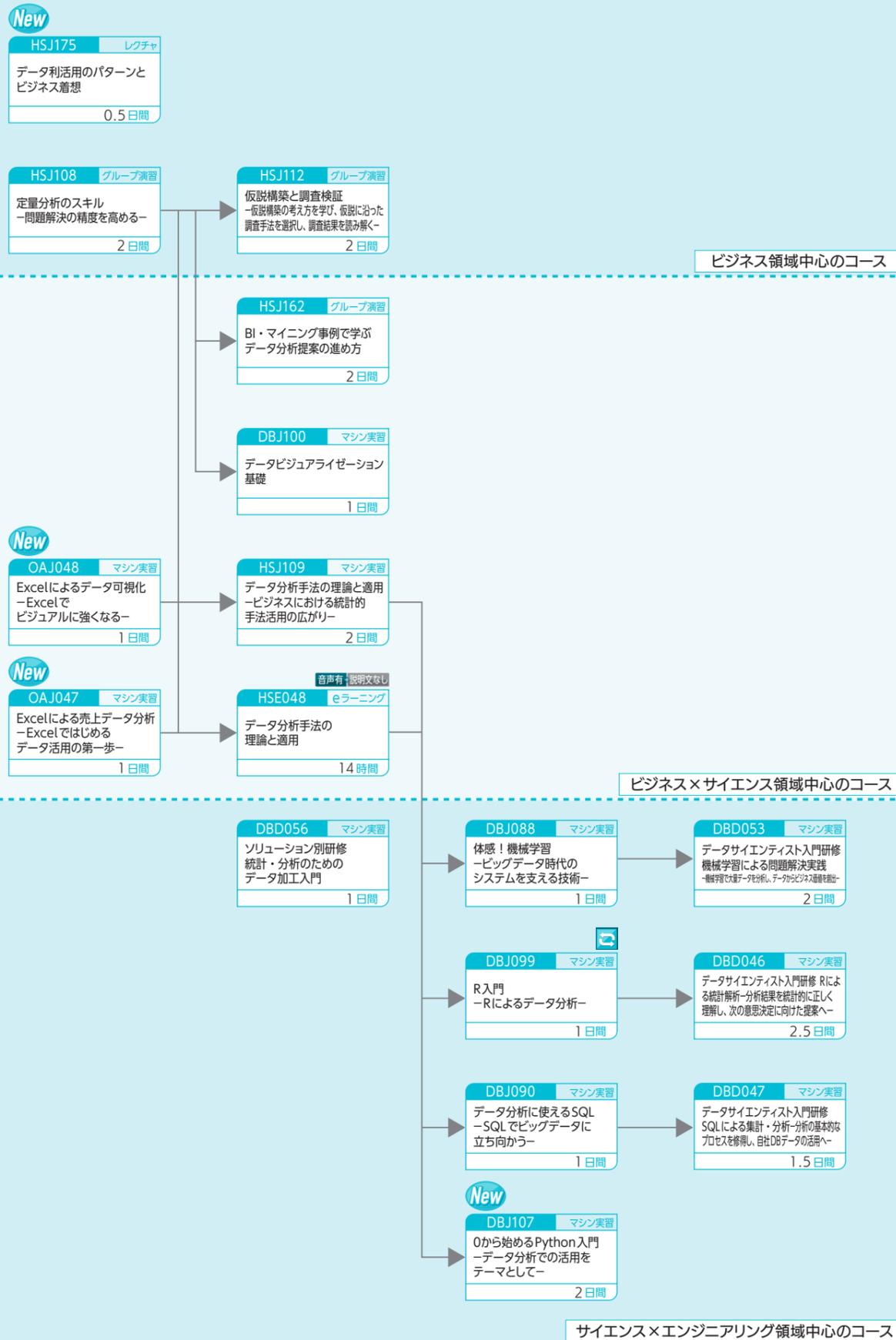
※2: 必須知識をeラーニングで学習したうえで集合研修で演習に取り組み、eラーニングと集合研修両方のご受講を推奨します。

学び直しシリーズ eラーニング としてご提供しています。

過去に受講した研修内容を再確認したい方や、既に業務を遂行するために独学で学び実践しているが、知識の抜け漏れがないかを体系的に学ぶことで整理したい方にお薦めのeラーニングです。集合研修のレクチャ部分を収録、抜粋しダイジェストコースとして、eラーニングで提供します。



● 定量的な分析能力を高めたい方



● サービスマインドを高めたい方

HSJ152 (グループ演習) SEのためのサービスマインド 顧客-顧客対応の質を高め、他社と差別化を図る (1日間)

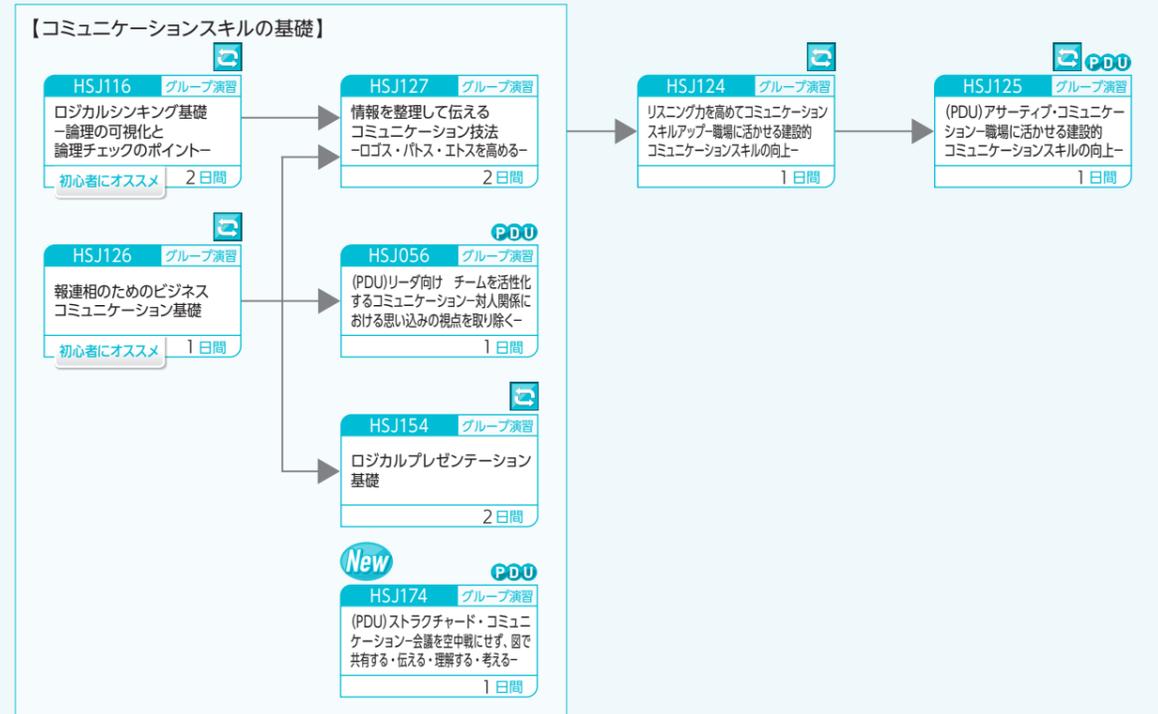
● 社会人としての基本動作を身につけたい方

HSE049 (eラーニング) ビジネススキル基礎 初心者におすすめ (8時間)

HSJ126 (グループ演習) 報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎 初心者におすすめ (1日間)

HSE070 (eラーニング) 文書作成力向上トレーニング 初心者におすすめ (8時間)

● コミュニケーションスキルを高めたい方



eラーニング : 学び直しシリーズ eラーニングとしてもご提供しています。
過去に受講した研修内容を再確認したい方や、既に業務を遂行するために独学で学び実践しているが、知識の抜け漏れがないかを体系的に学ぶことで整理したい方にお勧めのeラーニングです。集合研修のレクチャ部分を収録、抜粋しダイジェストコースとして、eラーニングで提供します。

音声有 + 説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
音声有 + 説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
音声なし + 説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

自習テキスト 自習書による自己学習 | 休講 休講 今期の定期開催はありません

● ネゴシエーションスキルを高めたい方

eラーニング×集合研修 推奨コースフロー ※1

集合研修の内容を理解するために前提 eラーニングコースの受講を強く推奨します

HSE711 eラーニング
【ナビ機能付き】
協創を生み出す交渉
(基礎知識編) 4時間

HSE708 eラーニング
【ナビ機能付き】
グラフィカルトレーニング
-思考を図解で強化する- 2時間

事前課題
所要時間 30~40分

HSJ145 グループ演習
協創を生み出す交渉
(基礎演習編) 1日間

HSJ146 グループ演習
協創を生み出す交渉
(実践演習編) 1.5日間

事前課題①: https://www.hitachi-ia.co.jp/koushukai/BlendingLearning/kadai/jk_jhHSJ145.pdf
 事前課題②: https://www.hitachi-ia.co.jp/koushukai/BlendingLearning/kadai/jk_wkHSJ145.pdf
 事前課題③: https://www.hitachi-ia.co.jp/koushukai/BlendingLearning/kadai/jk_kdHSJ145.pdf

集合研修5営業日前にメール提出
事前課題
所要時間 30分

事前課題: https://www.hitachi-ia.co.jp/koushukai/BlendingLearning/kadai/jk_wkHSJ146.zip

● ビジュアルデザインの基本スキルを身につけたい方

eラーニング×集合研修 推奨コースフロー ※1

前提 eラーニングコースを受講いただく方が集合研修の効果が高まります

HSE701 eラーニング
【ナビ機能付き】
ビジュアル化技法の基本
-魅力的なビジュアル資料を作る- 4時間

HSE708 eラーニング
【ナビ機能付き】
グラフィカルトレーニング
-思考を図解で強化する- 2時間

事前課題
所要時間 30~90分

HSJ155 マシン実習
プレゼンを生き生きさせる
ビジュアル化技法
-相手を惹きつけるための資料作成- 0.5日間

HSE301 eラーニング
【スキル定着】
ビジュアルデザイン 4時間

事前課題: https://www.hitachi-ia.co.jp/koushukai/BlendingLearning/kadai/jk_HSJ155.pptx

※1: 必須知識をeラーニングで学習したうえで集合研修で演習に取り組むため、eラーニングと集合研修両方のご受講を推奨します。集合研修は事前課題に取り組むことが前提となります。

● リーダシップ能力を向上し、チームをマネジメントしたい方

【リーダーシップスキルの基礎】

HSJ052 グループ演習
メンバーシップとチームワーク
-チーム力向上のために大切なこと- 初心者におススメ 1日間

HSJ114 グループ演習
リーダーシップの原理・原則 初心者におススメ 1日間

HSJ123 グループ演習
新任/若手マネージャのための
リーダーシップとマネジメント-個人と
組織の効率と成果を最大化するための- 2日間

HSJ071 グループ演習
個人と組織のマネジメント
-部長・課長コース- 1泊 3日

HSJ079 グループ演習
コーチング基礎 1日間

HSJ148 グループ演習
(PDU)会議/プロジェクトを
円滑に進めるための
ファシリテーション・スキル向上 2日間

HSJ147 グループ演習
(PDU)目標達成のための
コーチング実践 2日間

● 事業、マーケティング戦略を学びたい方

eラーニング×集合研修 推奨コースフロー ※2

HSE028 eラーニング
知っておくべき
ビジネスモデルの基本
-顧客のビジネスをより理解するために- 10時間

HSJ156 グループ演習
ソリューション提案のための
経営と情報戦略-経営・事業・
情報戦略のあるべき関係性- 1日間

HSJ165 グループ演習
ITビジネスにおける
戦略の基本と最新動向
-イノベーション実現のために- 1日間

※2: SBI大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

● アカウンティングに関するスキルを高めたい方

eラーニング×集合研修 推奨コースフロー ※1

前提 eラーニングコースを受講いただく方が集合研修の効果が高まります

HSE709 eラーニング
【ナビ機能付き】
WHYで学ぶアカウンティング
(基礎知識編) 初心者におススメ 8時間

事前課題
所要時間 20~30分

HSJ122 グループ演習
WHYで学ぶアカウンティング
(実践演習編) 1日間

事前課題: https://www.hitachi-ia.co.jp/koushukai/BlendingLearning/kadai/jk_HSJ122.pdf

※1: 必須知識をeラーニングで学習したうえで集合研修で演習に取り組むため、eラーニングと集合研修両方のご受講を推奨します。集合研修は事前課題に取り組むことが前提となります。

HSE710 eラーニング
【ナビ機能付き】
業務に活かす簿記入門 初心者におススメ 8時間

HSE705 eラーニング
【ナビ機能付き】
(PDU)財務諸表の基礎知識 初心者におススメ 4時間

📺: 学び直しシリーズ eラーニングとしてもご提供しています。

過去に受講した研修内容を再確認したい方や、既に業務を遂行するために独学で学び実践しているが、知識の抜け漏れがないかを体系的に学ぶことで整理したい方にお薦めのeラーニングです。集合研修のレクチャ部分を取録、抜粋しダイジェストコースとして、eラーニングで提供します。

音声有 + 説明文有: 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有 + 説明文なし: 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

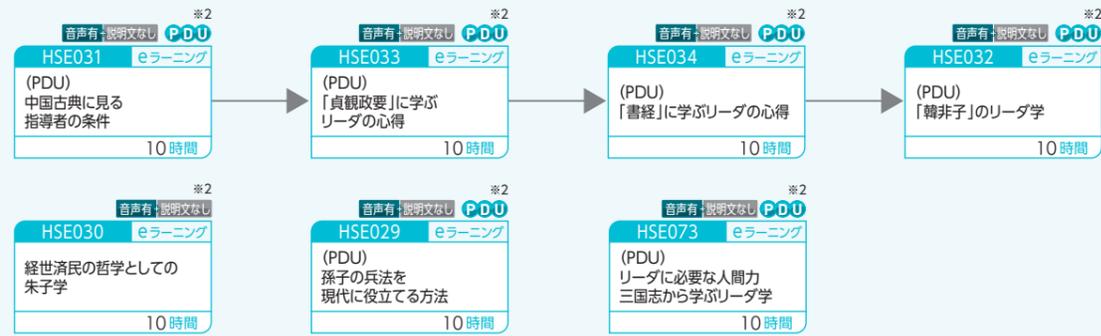
音声なし + 説明文有: 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ: コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU: PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

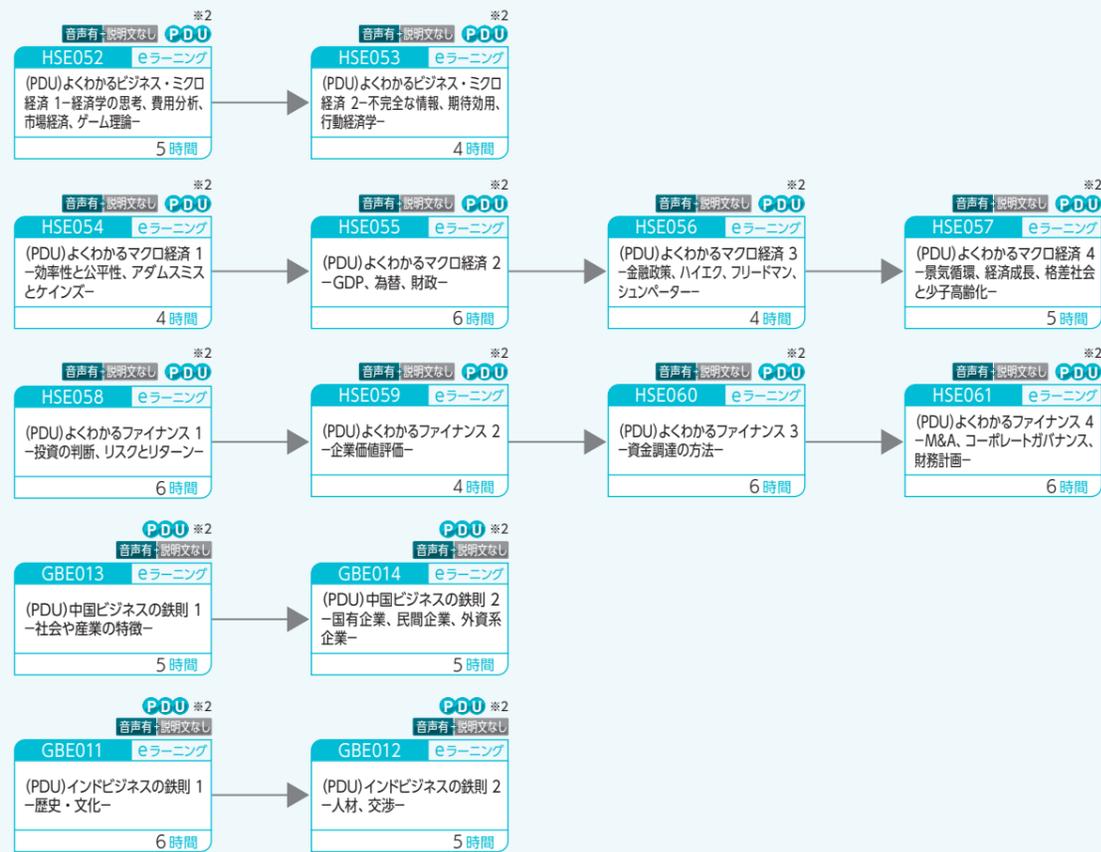
- 日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HIRDB
- OpenTP1
- VOS3/VOS1/VOSK
- XDM/PDM II
- Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム
- IoT
- ビッグデータ
- クラウド/サーバ仮想化
- ITサービスマネジメント
- システム基盤
- UNIX/Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- セキュリティ
- データベース
- IT戦略・IS企画/システム設計
- IT戦略・IS企画
- システム設計
- アプリケーション開発
- Webアプリケーション
- スマートデバイス
- オブジェクト指向/UML
- 言語
- IT基本
- IT基本
- ハードウェア
- 情報処理資格
- 情報リテラシ
- プロジェクトマネジメント
- コンプライアンス
- ビジネス/ヒューマン
- グローバル

● 中国古典を通して経営人間学を学びたい方



※2: SBI大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

● ビジネス教養を身につけたい方



※2: SBI大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

音声有・説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

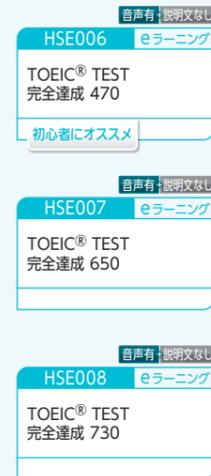
音声有・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし・説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

● 英語力を高めたい方



日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド / サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX / Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

HSJ116 思考法
 ロジカルシンキング基礎 ー論理的可視化と論理チェックのポイントー
2日間
問題を解決する際や、相手の納得を得られるために伝える際に必要となる、論理的思考の標準的なプロセスと構成を学習します。日々の業務での出来事・経験と自己の成長と結び付けながら思考技術を学習します。
到達目標 ・論理展開の基本が理解できる。 ・前提から結論までの論理のつながりを理解できる。 ・事実としての正しさを考える論理的問題解決のプロセスを理解できる。
対象者 問題解決の標準的な進め方を身につけたい方、うまく相手に伝えられないと感じている方、仕事のやり方を概念的に見つめ直したい方。
前置知識 特に必要としません。
内容 1. オリエntation 2. 論理的思考の基本知識 (1) 意味論と構文論 (2) 論点と切り口 (3) 問題解決のプロセス (4) 仮設検証サイクル (5) 挙げる (拡散思考) / 絞る (収束思考) / 確かめる (事実による検証) 3. 構文論の基本 (1) 演繹法のポイント (2) 帰納法のポイント 4. 構文論力の向上の方法 (1) ピラミッドストラクチャによる論理構成の可視化 (2) 「なぜそう言えるの?」と「だから何が言えるの?」 (3) 「なぜ大事な論点が漏れていないと言えるの?」 5. 意味論力向上の方法 (1) 選択肢を挙げる / 絞り込む手法 (2) 問題解決のプロセスへの論理思考の適用 6. そして実務へ
備考 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。 ・このコースは、「ロジカルシンキング基礎」コースの内容改訂および名称を変更したものです。

HSJ157 思考法
 システムシンキング基礎 ー問題を構成する互いに影響しあう要素の「つながり」を可視化するー
2日間
相互作用のある問題の系を因果ループ図で可視化する方法を学習します。ビジネスのエコシステムの基本的なパターンの知識を学習します。
到達目標 ・他者の動機 / 行動について因果ループ図(強化ループ)が描け、行動変容方針に活かせる。 ・自社の部門をまたぐ課題を因果ループ図で描け、全体最適方針に活かせる。 ・ビジネスのエコシステムを因果ループ図で描け、業界の協創を思い描ける。 ・社会問題を因果ループ図で描ける。
対象者 相互に関連する要因から成る問題において、まずは現状把握をする必要のある方。例えば、部下・後輩の行動をどのように強化ループに巻き込むか考える必要がある、生産性の問題を部門横断的に明らかにし全体最適を考える必要がある、顧客・競合と共に協創するエコシステムを考える必要がある方。
前置知識 「ロジカルシンキング基礎ー論理的可視化と論理チェックのポイントー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。行動科学、TOCの基本知識があるとより理解が深まります。
内容 1. システムシンキングの基礎知識 (1) システムシンキングとは? (2) なぜシステムシンキングが必要なのか? (3) どのようにシステムを捉えるのか? 2. 因果ループ図 (1) 因果ループ図とは (2) 因果ループ図の記載ルール (3) 因果ループ図の基本パターン(システム原型) 3. 因果ループ図での問題把握 (1) 後輩・部下はなぜ思ったとおりに行動してくれないのか? (2) 業務の各プロセスでそれぞれ頑張っているのになぜ全体が良くならないのか? (3) 競合となぜ消耗戦になるのか、協創できないものか? (4) 儲かる仕組みって何だ? (5) 社会問題はそもそもどんな構造なのか? 4. まとめ
備考 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。

HSE066 思考法
 <eラーニング>思考技法の概要
平均4時間
これまで以上に業務における「思考」のウェイトが増えています。このような状況に対応するため、古今東西のあらゆる思考技法を、発想と情報整理の技法を中心に広く深く学習します。
到達目標 ・業務における思考の重要性を理解し、思考に時間を割く意識が持てる。 ・各思考法の特長とそれぞれの適用シーンを理解できる。 ・自己業務で有効な思考法を特定し、その技法の修得計画を立案できる。
対象者 思考法についてこれから学習をはじめの方、アイデア出しや情報を整理する必要がある方、その手法を知りたい方。
前置知識 特に必要としません。
内容 1. 発散技法 (1)ブレインストーミング (2)ブレインライティング ほかも数 2. 収束技法 (1)KJ法 (2)特性要因図 ほかも数 3. 統合技法 (1)ケプナートリゴ法 (2)TOC思考プロセス (3)バランススコアカード (4)ロジックツリー ほかも数 4. 態度技法 5. 修了試験
備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

HSJ159 思考法
 顧客価値発見と ビジネスモデルのデザイン
2日間
ビジネスモデルキャンパスを活用し、ビジネスモデルを可視化することで新たな価値の発見につなげます。顧客の潜在的価値発見の部分に重点を置き、ビジネスモデルを検討します。
到達目標 ・ビジネスモデルキャンパスの活用方法を説明できる。 ・ビジネスモデルを俯瞰し、検証する方法を説明できる。 ・顧客の潜在的な価値を発見し、ビジネスモデルに反映することができる。
対象者 既存事業やサービスのビジネスモデルを検証し新たな価値を発見したい方、新規事業やサービスでイノベーションを起こしたい方。
前置知識 特に必要としません。
内容 1. ビジネスモデルキャンパス (1) ビジネスモデルキャンパスの理解 (2) 事例をもとにしたビジネスモデルの可視化 2. 顧客の潜在価値発見 (1) VP (バリュエーション) キャンパスによる検証 (2) 共感マップの理解・作成 (3) 「顧客理解」と「提供できる価値提案」を検証 3. 事例で学ぶビジネスモデルの作り方 (1) ケーススタディ
備考 ・このコースは、9：00～17：20の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。

HSJ163 思考法
 クリエイティブシンキング
1日間
イノベーションを切り開くために必須となる、クリエイティブなアイデアを閃かためるプロセスを実践演習を通じて体感・学習します。
到達目標 ・クリエイティブなアイデアを閃くプロセスを実体験を通じて理解することができる。 ・クリエイティブなアイデアを閃かためるために必要な思考、行動様式を知ることができる。
対象者 新しいことを考え出したいすべての方。
前置知識 特に必要としません。
内容 1. なぜ今クリエイティブシンキングなのか? 2. イノベーションと知識創造社会とは何か? 3. IT人財にとってのクリエイティブ、インバーティブとは? 4. クリエイティブシンキングの実体とは? 5. 何故、出来ないのか? どうすれば、出来るのか? 6. どうすれば実務で活かせるのか? 7. ワークショップ 8. 最後に
備考 ・このコースは、9：00～17：20の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。

HSJ175 思考法
 データ利用の 패턴と ビジネス着想 New
0.5日間
IoTの事例は昨今たくさんあります。ただ、いくつ事例を見ても、それだけでは自分のビジネスにおける活用は思いつきません。事例で示されるのはそのビジネス、その状況での非常に具体的な話であって、自分のビジネスとは何から何まで条件が違えばどこから、どの箇所を参考にすればいいのかわかりません。適度に同じところと違うところが混在する抽象化が着想には必要となります。このコースでは、データ活用を以下の9パターンに抽象化し、具体的な活用例とそれらを抽象化・整理したパターンを交互に見ることで、自らのビジネスに置き換えたデータ活用のアイデア着想ができます。
対象者 ・入力の手間を無くせる ・行かなくても確認できる ・OODAループが活気づく ・未然に防げる ・長い付き合いにできる ・コミュニティにできる ・タイムリーにコンタクトできる ・探ってほしい行動を進んで探ってもらえる ・最適化できる
前置知識 特に必要としません。
内容 ・データ活用の事例をパターン化して理解できる。 ・自分のドメインや担当顧客でのデータ活用を発想できる。 ・顧客と一緒に発想するワークショップのファシリテーションを自分がやってみようと思える。
対象者 フロント業務を行っており、事業案やサービス案を顧客と一緒に考える必要のある方。データを活用したサービス提案をしなくてはいけないが、顧客側でももやもやしており、着想のきっかけをつかみたい方。
前置知識 特に必要としません。
内容 1. はじめに 2. パターン(1) 入力の手間を無くせる 3. パターン(2) 行かなくても確認できる 4. パターン(3) OODAループが活気づく 5. パターン(4) 未然に防げる 6. パターン(5) 長い付き合いにできる 7. パターン(6) コミュニティにできる 8. パターン(7) タイムリーにコンタクトできる 9. パターン(8) 探ってほしい行動を進んで探ってもらえる 10. パターン(9) 最適化できる 11. そして実務へ
備考 このコースは、13：00～17：00の開催とさせていただきます。

HSE036 思考法
 <eラーニング>QFD(品質機能展開)で学ぶ マトリクス表の上手な使い方 ーマトリクス表を使って「決める」を考えるー
平均4時間
QFD(品質機能展開)の手法を学習します。
到達目標 QFD(品質機能展開)の概要を説明できる。 「決める」プロセスを知りたい方、QFDに興味のある方。 前置知識 特に必要としません。
内容 1. QFDの基本知識 (1) QFDとは何か? (2) QFDはどう役立つのか? (3) QFDはどう進めるのか? (4) 品質って何? 2. 要求分析の手順とポイント (1) 要求品質の抽出 (2) 品質企画の設定 (3) 品質特性の抽出 (4) 要求品質と品質特性の関連付け (5) 品質設計の設定 3. 考える手順の応用 (1) どんな横軸・縦軸が考えられるか? (2) 決めたいことには何があるか?
備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

HSE037 思考法
 <eラーニング> TRIZで学ぶ発想のパターン ー科学的な強制発想法ー
平均4時間
TRIZの手法を学習します。
到達目標 TRIZの概要を説明できる。 「発想する」プロセスを知りたい方、TRIZに興味のある方。 前置知識 特に必要としません。
内容 1. TRIZの基本知識 (1) TRIZとは何か? (2) TRIZはどう役立つのか? (3) TRIZはどう進めるのか? 2. 矛盾を定義する (1) 何を良くしたいのか? (2) 誰の究極の理想解なのか? (3) 何が妨げになるのか? 3. 解決策を考える (1) 40の発明原理 (2) 矛盾解決マトリクス(48のパラメータ)
備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

HSJ158 思考法
 イノベーションプロセスを強化する シナリオプランニング
1日間
シナリオプランニングの具体的な考え方・手法について学習します。
到達目標 ・企業などの組織が長期的な戦略策定をする際の方法論としてのシナリオプランニングを理解する。 ・複数の未来を前提にし、長期的な視点で、広く世の中を見渡し、一度客観的に考える事ができる。
対象者 新しい製品・サービスを生み出す部署の担当の方、顧客に対して新しい価値を提供する営業・フロントSEの方、将来、顧客のビジネス創出につながる提案をしていく方。
前置知識 7年以上の実務経験がある主任・係長以上であること。
内容 1. シナリオプランニング概要 (1) シナリオプランニングとは (2) ケーススタディ 2. シナリオ作成 (1) シナリオテーマ作成 (2) 外部要因分析 (3) ドライブング・フォース見極め (4) シナリオマトリクス作成 3. アクションプラン作成 (1) 戦略オプション検討 (2) アクションプラン検討 4. 振り返り
備考 ・このコースでは、事前課題にお取り組みいただけます。当社サイトよりファイルをダウンロードいただき、課題にお取り組みください。 https://www.hitachi-ia.co.jp/course/pre-problem/HSJ158_11840.zip ・このコースは、9：00～17：20の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。

HSJ170 思考法
 イノベティブ思考 ー単なるアイデアで終わらせないための
2日間
ロジカル・システム・デザイン 思考の組み合わせかたー Renewal
このコースではイノベティブな問題解決を進めるためのシステム思考×デザイン思考の考え、進め方、思考法を学習します。ここでいうシステムとは、ITシステムではなく、より広い「系」を指します。システム思考とは、社会・企業・人間集団を構成する要素の相互作用を捉え、問題の根源を見つめるミクロな視点と、その問題の根源に手を加えることによる「系」全体の变化のマクロな視点の両方を持ちながら問題解決にあたる考え方です。また、ここでいうデザインとは、モノの形状や色彩といった見た目のデザインのみならず、システムそのもののような無形のデザインも含めて指します。このコースで扱うデザイン思考は一般的なデザイン思考と異なり、システム思考による問題解決を有効にするためのアプローチ方法としてデザイン思考を利用します。たとえば、社会イノベーションを考えるには、問題を定義するにあたり、社会・企業・人間集団といった複雑系の全容を捉える必要があります。そしてその全容を捉えるには、観察と対話といったアプローチが重要な役割を果たします。さらに解決にあたっては、斬新な発想でありながら確実な効果が求められます。そのためには、既存の枠を超える発想法と試行錯誤を前提とした問題解決の進め方が有効です。
到達目標 ・自分自身が今のままで十分イノベティブである、自チームはいまからでもイノベティブになれる、という気持ちになれる。 ・単なるアイデアだけで終わらないための、アイデア創出後の思考を理解できる。
対象者 ・職種・年齢層を問わず、自組織や自分自身がイノベティブでないと思い込んでいる方。 ・自社や自チームをイノベティブな風土にしていける最初の一歩のきっかけをつかみたい方。
前置知識 論理的思考の基本知識をお持ちのこと。
内容 1. はじめに 2. 価値とは何かを考える (1) バリュエーション/ポジションキャンパス (2) 顧客価値連鎖分析(CVCA) 3. 問題を再定義する (1) 2×2マトリクス (2) バリュエグラフ 4. アイデアを創出する (1) ブレインストーミング (2) 親和図法 (3) マトリクス法 (4) ビュー・コンセプト / IJ/ユエーション 5. 素早く試す (1) プロトタイプ 6. そして実務へ
備考 ・本コースは16年度上期開催「デザイン・シンキング基礎」17年度下期開催「デザインシンキング実践ワークショップ」と同一内容のコースです。 ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしく申し上げます。

HSE302 思考法
 <eラーニング>[スキル定着] 相手を納得させる論理構成力を磨く New
平均4時間
「スマートデバイス対応」
ロジックツリーやピラミッドストラクチャを何度も作って練習します。例えば、相手を納得させなければならぬ企画、提案の状況をケースとして設定し、その中で相手を納得させる論理構成をピラミッドストラクチャで作ります。
到達目標 ロジックツリーやピラミッドストラクチャに対して自分なりの活用シーン、活用の型をイメージできるようになる。
対象者 営業・ITエンジニア(若手・中堅)の方。ロジカルシンキング基礎を学び、ロジックツリーやピラミッドストラクチャを理解したが、練習の機会が研修だけで実務に適用するには不安のある方。もっとさまざまな問題を解いて活用に慣れたい方。
前置知識 「ロジカルシンキング基礎」を修了しているか、または同等の知識(ロジックツリーやピラミッドストラクチャの理解)があること。
内容 1. 論拠をつなげて主張をとす 2. 論拠を事実で支える 3. 結論を支える枠組みを考える 4. 結論を納得させるうえで何が言えればよいかを考える 5. 何が言えればよいか、を構造的に整理する
備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースはスマートデバイス(iPad推奨)に対応しています。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

HSE070 ライティング
 <eラーニング> 文書作成力向上トレーニング
平均4時間
読み手に正しく理解していただくためのビジネス文書の書き方のポイントを学習します。
到達目標 読み手を意識した分かりやすい文章を作成するためのポイントを説明できる。
対象者 分かりやすい文書作成のための構造を理解したい方。
前置知識 特に必要としません。
内容 1. ビジネス文書に求められること (1) 求められる文書作成スキル (2) 読み手を意識した文書(3) ビジネス文書の目的 2. 読み手を意識した文書作成のポイント (1) 分かりやすい文書 (2) 簡潔な文書 (3) ていねいな文書 (4) 読み手を意識した文書構造 (5) 文書の要約 3. 文書作成サイクル (1) 文書作成サイクル (2) 文書作成の準備 (3) 文書の作成 (4) 文書のレビュー 4. ビジネスメールの書き方 (1) メール文の書き方 (2) メールのマナー 5. 社内・社外文書の書き方 (1) ビジネス文書の基本構造 (2) 社内文書と社外文書の違い (3) 社内文書の書き方 (4) 社外文書の書き方 6. 修了試験
備考 ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。集合研修「文書作成力向上トレーニング(演習編)」コース(HSJ161)とあわせてのご受講を推奨します。eラーニングで基礎知識を学習しながら、後続の集合研修の事前課題に取り組むための知識を修得します。 ・詳細につきましては、ホームページの「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。 https://www.hitachi-ia.co.jp/koushukai/BlendingLearning/index.html ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド / サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX / Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画 / システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション 開発
Web アプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向 / UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス / ヒューマン
グローバル

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/ VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/ サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX /Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画/ システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション 開発
Web アプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/ UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ ヒューマン
グローバル

OAJ047	定量的分析
	
Excelによる売上データ分析 -Excelではじめるデータ活用の第一歩-	
1日間	2日間
業務で利用するデータをどのように分析するか、一連の分析プロセスを理解しながら、Excelの分析機能を活用してその手順を、マシンの操作を通じて学習します。考察に活用できる法則や、データの意味づけ、データ間のつながりを整理する分析手法を紹介します。	このコースでは、ビッグデータの分析やデータマイニングの根底にある、データ分析の理論や作業スキルを学習します。また、理論や作業スキルにとどまらず、各分析手法をビジネスデータに適用する際の考え方もあわせて学習します。例えば、分析手法適用の際のインプットデータは、目的や仮説に基づいた分析が必要となります。また、アウトプットの図表からは、「だから何が言えるのか」という、提言につながる考察を抽出する必要があります。このような、データを入手してからレポート作成するまでの一連の思考過程と作業を、Excelを利用した演習を通して学習します。
到達目標	到達目標
・売上データに対する基本的なデータ分析ができる。	・分析の目的と仮説を分析手法適用のインプットに反映できる。 ・分析結果から意味を抽出し、提案や企画に活かすことができる。
対象者	対象者
・売上データに対し、データ分析する基礎的なスキルを修得したい方。 ・売上データを分析する (1) さまざまな法則性 (2) 自社において必要な法則性とは 3. 売上予測の立て方の基本 (1) 売上予測の本来の目的とは (2) 売上予測の仕方 (3) さまざまな関数 4. 相関分析を使って売上予測をする (1) 相関分析とは 5. 重回帰分析を使って売上予測をする (1) 重回帰分析とは (2) 重回帰分析で注目すべき数字	・データ分析におけるExcel活用を学びたい方、Excel操作にとどまらずデータ分析における考え方のポイントを知りたい方。 到達目標 ・分析の目的と仮説を分析手法適用のインプットに反映できる。 ・分析結果から意味を抽出し、提案や企画に活かすことができる。 ・統計における各種数式の意味が理解できる。 ・Excelを用いて効率よく分析ができる。
前提知識	前提知識
特に必要としません。	「ロジカルシンキング基礎-論理の可視化と論理チェックのポイント」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	内容
1. データ分析の基本 (1) 既存の売上データから法則性を見出す (2) 売上データのまとめ方 (3) 売上データを分析する (1) さまざまな法則性 (2) 自社において必要な法則性とは 3. 売上予測の立て方の基本 (1) 売上予測の本来の目的とは (2) 売上予測の仕方 (3) さまざまな関数 4. 相関分析を使って売上予測をする (1) 相関分析とは 5. 重回帰分析を使って売上予測をする (1) 重回帰分析とは (2) 重回帰分析で注目すべき数字	1. データ分析の基本的な考え方 (1) データ分析はなぜ必要か? (2) データ分析に必要な思考力・作業力は何か? (3) データ分析の計画はどのように立てるのか? (4) データ分析の仮説構築・分析計画・分析実行はどのサイクルするのか? 2. データ分析手法の種類 (1) データの種類はどう分けられるか? (2) データの種類によって分析手法どう分けられるか? (3) 分析の目的はどのように分けられるか? (4) 分析の目的によって分析手法はどのように分けられるか? 3. 各データ分析手法のアウトプットを考察するコツ、インプットデータを計画するコツ、EXCELでの操作 (1) データを可視化して、特徴を捉えて、考察するのに役立つQC手法(ヒストグラム/基本統計量/時系列分析/パルツ分析/単回帰分析/散布図/クロス集計) (2) 予測式を作って、予測して、事前に手を打つのに役立つ予測手法(重回帰分析、数量化理論、判別分析) (3) データを分類して、グループ毎の特徴を見出したり、対策を立てたりするのに役立つ分類手法(クラスター分析、主成分分析) 4. 確率の使い方 (1) 区間推定に使う (2) 検定に使う(平均値の差の検定、独立性の検定、データのバラツキの検定) (3) シミュレーションへの活用
備考	備考
・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。	・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、集合研修「データ分析手法の理論と適用-ビジネスにおける統計的手法活用の広がり」コース(HSJ109)と同等の内容です。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

DBJ100	定量的分析
	
データビジュアライゼーション基礎	
1日間	2日間
データの可視化手法について、計画の立て方、実装方法を学習します。	ビッグデータの分析であっても、分析結果から意味を読み解き、活用するのは人間です。このコースでは、問題解決における仮説構築と調査検証を具体的に遂行する思考力を高めることを目的としています。仮説構築とは、すでに分かっている事実から、帰納・演繹の思考体系を用い、仮説を構造的に展開する思考力です。また、調査検証とは、仮説を検証するためのデータ収集、仮説と収集したデータから分析手法を選択すること、適用結果と仮説の対比・解釈から成ります。これらを実践演習を通して学習します。
到達目標	到達目標
・有効な可視化の原案を考える思考プロセスを理解できる。 ・スクリーン言語を使ってデータの可視化を理解できる。	・得られている事実から仮説を構造化できる。 ・仮説構築と調査検証を繰り返し深い洞察ができる。 ・検証のための各調査手法を理解し目的にあわせて実行できる。
対象者	対象者
データの可視化スキルを必要とする方。例えば、オープンデータの有効活用のために、幅広いユーザーに使いやすい画面での公開を考える必要がある、データ活用の提案や構築において、一般的なチャートとは異なる魅せ方を必要とする、データ開示系のデータを利活用した新サービスを考案する必要がある方。	仮説構築の考え方を身につけビジネスデータの利用につなげたい方、調査手法を知り莫然とした問題を解決したい方。 到達目標 「ロジカルシンキング基礎-論理の可視化と論理チェックのポイント」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
前提知識	前提知識
プログラミングの基礎知識があること。	「ロジカルシンキング基礎-論理の可視化と論理チェックのポイント」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	内容
1. データビジュアライゼーション概要 (1) データビジュアライゼーションとは何か、なぜ必要なのか (2) どのようにすればデータビジュアライゼーションは実現できるか 2. データビジュアライゼーションの基本 (1) 何を表現するか (2) どう表現するか(データインク比、データ濃度を意識するなど) 3. ライブラリを使った可視化 4. まとめ (1) 今後のスキルの置き方 このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。	1. 初期仮説構築のための思考と二次情報収集 (1) 仮説構築のための情報収集前の思考 (2) 情報収集結果から仮説構築する思考 (3) 仮説を検証するための検証計画を立てる際の思考 (4) 二次調査のソース(官公庁資料/市販出版物/IR資料/ソーシャルメディア/社内情報) 2. 初期仮説の立案とヒアリング調査による検証 (1) ヒアリング設計の考え方 (2) ヒアリング技法(U&A調査/ラダリング法/コンセプトテスト) 3. 解決策仮説の立案とアンケート調査による検証 (1) 仮説・調査票・アンケート結果の可視化・考察の関連付け(購買行動分析/ブランドイメージ調査/コレスポンス分析/PSM分析/クラスター分析/重回帰分析/コンジョイント分析)
備考	備考
・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。	・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。

HSE048	定量的分析
	
<eラーニング> データ分析手法の理論と適用	
平均4時間	
データ分析の理論や作業スキルに加え、各分析手法を適用する際の考え方も学習します。データを手にいれてからレポートするまでの一連の思考と作業を、Excelを利用した演習を通して学習します。	このコースでは、ビッグデータの分析やデータマイニングの根底にある、データ分析の理論や作業スキルを学習します。また、理論や作業スキルにとどまらず、各分析手法をビジネスデータに適用する際の考え方もあわせて学習します。例えば、分析手法適用の際のインプットデータは、目的や仮説に基づいた分析が必要となります。また、アウトプットの図表からは、「だから何が言えるのか」という、提言につながる考察を抽出する必要があります。このような、データを入手してからレポート作成するまでの一連の思考過程と作業を、Excelを利用した演習を通して学習します。
到達目標	到達目標
・分析の目的と仮説を分析手法適用のインプットに反映できる。 ・分析結果から意味を抽出し、提案や企画に活かすことができる。 ・統計における各種数式の意味が理解できる。 ・Excelを用いて効率よく分析ができる。	・分析の目的と仮説を分析手法適用のインプットに反映できる。 ・分析結果から意味を抽出し、提案や企画に活かすことができる。 ・統計における各種数式の意味が理解できる。 ・Excelを用いて効率よく分析ができる。
対象者	対象者
データ分析におけるExcel活用を学びたい方、Excel操作にとどまらずデータ分析における考え方のポイントを知りたい方。	データ分析におけるExcel活用を学びたい方、Excel操作にとどまらずデータ分析における考え方のポイントを知りたい方。
前提知識	前提知識
「ロジカルシンキング基礎-論理の可視化と論理チェックのポイント」コースを修了しているか、または同等の知識があること。	「ロジカルシンキング基礎-論理の可視化と論理チェックのポイント」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	内容
1. データ分析の基本的な考え方 (1) データ分析はなぜ必要か? (2) データ分析に必要な思考力・作業力は何か? (3) データ分析の計画はどのように立てるのか? (4) データ分析の仮説構築・分析計画・分析実行はどのサイクルするのか? 2. データ分析手法の種類 (1) データの種類はどう分けられるか? (2) データの種類によって分析手法どう分けられるか? (3) 分析の目的はどのように分けられるか? (4) 分析の目的によって分析手法はどのように分けられるか? 3. 各データ分析手法のアウトプットを考察するコツ、インプットデータを計画するコツ、EXCELでの操作 (1) データを可視化して、特徴を捉えて、考察するのに役立つQC手法(ヒストグラム/基本統計量/時系列分析/パルツ分析/単回帰分析/散布図/クロス集計) (2) 予測式を作って、予測して、事前に手を打つのに役立つ予測手法(重回帰分析、数量化理論、判別分析) (3) データを分類して、グループ毎の特徴を見出したり、対策を立てたりするのに役立つ分類手法(クラスター分析、主成分分析) 4. 確率の使い方 (1) 区間推定に使う (2) 検定に使う(平均値の差の検定、独立性の検定、データのバラツキの検定) (3) シミュレーションへの活用	1. データ分析の基本的な考え方 (1) データ分析はなぜ必要か? (2) データ分析に必要な思考力・作業力は何か? (3) データ分析の計画はどのように立てるのか? (4) データ分析の仮説構築・分析計画・分析実行はどのサイクルするのか? 2. データ分析手法の種類 (1) データの種類はどう分けられるか? (2) データの種類によって分析手法どう分けられるか? (3) 分析の目的はどのように分けられるか? (4) 分析の目的によって分析手法はどのように分けられるか? 3. 各データ分析手法のアウトプットを考察するコツ、インプットデータを計画するコツ、EXCELでの操作 (1) データを可視化して、特徴を捉えて、考察するのに役立つQC手法(ヒストグラム/基本統計量/時系列分析/パルツ分析/単回帰分析/散布図/クロス集計) (2) 予測式を作って、予測して、事前に手を打つのに役立つ予測手法(重回帰分析、数量化理論、判別分析) (3) データを分類して、グループ毎の特徴を見出したり、対策を立てたりするのに役立つ分類手法(クラスター分析、主成分分析) 4. 確率の使い方 (1) 区間推定に使う (2) 検定に使う(平均値の差の検定、独立性の検定、データのバラツキの検定) (3) シミュレーションへの活用
備考	備考
・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。	・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、集合研修「データ分析手法の理論と適用-ビジネスにおける統計的手法活用の広がり」コース(HSJ109)と同等の内容です。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

HSE072	意思決定
	
<eラーニング> 意思決定のスキル	
平均4時間	
ロジカルシンキングを踏まえ、ビジネス上の意思決定の場面において必要な基本概念とスキルを学習できます。意思決定において無意識のうちにハマってしまう錯誤のパターンをクイズ形式で解きながら体感します。	このコースでは、ビッグデータの分析やデータマイニングの根底にある、データ分析の理論や作業スキルを学習します。また、理論や作業スキルにとどまらず、各分析手法をビジネスデータに適用する際の考え方もあわせて学習します。例えば、分析手法適用の際のインプットデータは、目的や仮説に基づいた分析が必要となります。また、アウトプットの図表からは、「だから何が言えるのか」という、提言につながる考察を抽出する必要があります。このような、データを入手してからレポート作成するまでの一連の思考過程と作業を、Excelを利用した演習を通して学習します。
到達目標	到達目標
・意思決定の際に無意識に行ってしまう勘違いを理解し「思考のワナ」に陥ることなく正しい意思決定ができる。 ・阻害要因などを取り除き、状況を整理してから意思決定を行うことができる。 ・デシジョンツールを使って合理的な意思決定の考え方を理解できる。	・意思決定の際に無意識に行ってしまう勘違いを理解し「思考のワナ」に陥ることなく正しい意思決定ができる。 ・阻害要因などを取り除き、状況を整理してから意思決定を行うことができる。 ・デシジョンツールを使って合理的な意思決定の考え方を理解できる。
対象者	対象者
意思決定における毎回迷いのある方。何かを決める際に一貫性がないと思われる方。何かを決めた後によく後悔のある方。	意思決定における毎回迷いのある方。何かを決める際に一貫性がないと思われる方。何かを決めた後によく後悔のある方。
前提知識	前提知識
「ロジカルシンキング基礎-論理の可視化と論理チェックのポイント」コースを修了しているか、または同等の知識があること。	「ロジカルシンキング基礎-論理の可視化と論理チェックのポイント」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	内容
1. 意思決定における側面 (1) ヒューリスティックによるバイアス (2) フレミングによるバイアス 2. 合理的意思決定の考え方 (1) デシジョンツリーの作り方 (2) 期待値とミニマックス 備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。	1. 意思決定における側面 (1) ヒューリスティックによるバイアス (2) フレミングによるバイアス 2. 合理的意思決定の考え方 (1) デシジョンツリーの作り方 (2) 期待値とミニマックス 備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

HSJ137	意思決定
	
意思決定のスキルII -ディシジョンマネジメントを実践するために-	
1日間	
ロジカルシンキングを踏まえ、ビジネス上の意思決定の場面において必要な基本概念とスキルを学習します。	このコースでは、ビッグデータの分析やデータマイニングの根底にある、データ分析の理論や作業スキルを学習します。また、理論や作業スキルにとどまらず、各分析手法をビジネスデータに適用する際の考え方もあわせて学習します。例えば、分析手法適用の際のインプットデータは、目的や仮説に基づいた分析が必要となります。また、アウトプットの図表からは、「だから何が言えるのか」という、提言につながる考察を抽出する必要があります。このような、データを入手してからレポート作成するまでの一連の思考過程と作業を、Excelを利用した演習を通して学習します。
到達目標	到達目標
・意思決定者について理解しビジネスにおけるさまざまな場面で意思決定ができる。 ・ビジネス人生相談のような身近な事例から事業戦略課題に関する戦略的意思決定まで、事例に即して意思決定思考を活用できる。 ・3~7年程度の業務経験がある方。 「ロジカルシンキング基礎-論理の可視化と論理チェックのポイント」コースを修了しているか、または同等の知識があること。	・交渉相手との状況から理由のようにミッション、ZOPA、BATNAを設定するのを理解できる。 ・交渉相手と自分を取り巻く環境分析を行い図式化する必要性を理解できる。 ・交渉で使われる心理テクニックやコンフリクトマネジメントのポイントを理解できる。 交渉の基礎知識を修得したい方、または集合研修「協創を生みだす交渉(基礎演習編)」コース(HSJ145)、「協創を生みだす交渉(実践演習編)」コース(HSJ146)の受講を予定している方。
対象者	対象者
3~7年程度の業務経験がある方。 「ロジカルシンキング基礎-論理の可視化と論理チェックのポイント」コースを修了しているか、または同等の知識があること。	交渉の基礎知識を修得したい方、または集合研修「協創を生みだす交渉(基礎演習編)」コース(HSJ145)、「協創を生みだす交渉(実践演習編)」コース(HSJ146)の受講を予定している方。
前提知識	前提知識
「ロジカルシンキング基礎-論理の可視化と論理チェックのポイント」コースを修了しているか、または同等の知識があること。	「ロジカルシンキング基礎-論理の可視化と論理チェックのポイント」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	内容
1. 意思決定者導入編 2. 事例紹介1: ビジネス人生相談 3. 事例紹介2: 事業戦略課題のケース 4. 実課題への取り組みワークショップ 5. まとめ 備考 ・このコースでは、事前課題にお取り組みいただけます。当社サイトよりファイルをダウンロードいただき、課題にお取り組みください。 https://www.hitachi-ia.co.jp/course/pre-problem/HSJ137_30464.zip ・このコースは、9:00~17:20の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。	1. イントロダクション 2. 交渉とは (1) 交渉の原則 (2) 交渉のタイプ (3) ロジカルシンキングと発想力 3. 交渉のプロセス (1) プロセス全体像 (2) 交渉準備 (3) 交渉の実施 (4) 合意後のアクション 4. 交渉の心理テクニック 5. コンフリクトマネジメント 6. まとめ 7. 修了試験 備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。集合研修「協創を生みだす交渉(基礎演習編)」コース(HSJ145)、および「協創を生みだす交渉(実践演習編)」コース(HSJ146)の前提となる共通の基礎知識部分をeラーニング化したものです。集合研修とあわせてのご受講を推奨します。 ・詳細につきましては、ホームページの「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。 https://www.hitachi-ia.co.jp/koushukai/BlendingLearning/index.html ・このコースは、旧「協創を生みだす交渉(基礎編)」コース(集合研修)と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。
備考	備考
・このコースでは、事前課題にお取り組みいただけます。当社サイトよりファイルをダウンロードいただき、課題にお取り組みください。 https://www.hitachi-ia.co.jp/course/pre-problem/HSJ137_30464.zip ・このコースは、9:00~17:20の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。	・このコースは、9:00~17:20の開催とさせていただきます。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

HSJ145	ネゴシエーション
	
協創を生みだす交渉(基礎演習編)	
1日間	
模擬交渉を通じて、交渉研究による基礎理論とロジカルシンキングを活用した基礎的問題解決型交渉スキルを学習します。模擬交渉は1対1の社内交渉であり、日立グループで協創を生みだした事例から開発したケースを用いて実施します。	このコースでは、ビッグデータの分析やデータマイニングの根底にある、データ分析の理論や作業スキルを学習します。また、理論や作業スキルにとどまらず、各分析手法をビジネスデータに適用する際の考え方もあわせて学習します。例えば、分析手法適用の際のインプットデータは、目的や仮説に基づいた分析が必要となります。また、アウトプットの図表からは、「だから何が言えるのか」という、提言につながる考察を抽出する必要があります。このような、データを入手してからレポート作成するまでの一連の思考過程と作業を、Excelを利用した演習を通して学習します。
到達目標	到達目標
・交渉相手との状況からミッション、ZOPA、BATNAを設定できる。 ・交渉相手と自分を取り巻く環境分析を行い図式化できる。 ・比較的对立の少ない状況において、交渉シナリオに基づき協創を生みだす交渉ができる。	・交渉相手との状況から理由のようにミッション、ZOPA、BATNAを設定できる。 ・交渉相手と自分を取り巻く環境分析を行い図式化できる。 ・複雑な状況において、交渉シナリオに基づいて協創を生みだす交渉ができる。
対象者	対象者
交渉を基礎から学びたい方。 【【ナビ機能付き】協創を生みだす交渉(基礎知識編)】eラーニングコース(HSE711)とあわせてのご受講があること。	交渉の基礎知識を修得したい方、または集合研修「協創を生みだす交渉(基礎知識編)」eラーニングコース(HSJ145)とあわせてのご受講を推奨します。eラーニングでは、このコースの前提となる基礎知識を修得します。 ・このコースには事前課題がありますので、ご受講前にお取り組みください。 ・詳細につきましては、ホームページの「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。 https://www.hitachi-ia.co.jp/koushukai/BlendingLearning/index.html ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
前提知識	前提知識
交渉を基礎から学びたい方。	【【ナビ機能付き】協創を生みだす交渉(基礎知識編)】eラーニングコース(HSE711)とあわせてのご受講を推奨します。eラーニングでは、このコースの前提となる基礎知識を修得します。 ・このコースには事前課題がありますので、ご受講前にお取り組みください。 ・詳細につきましては、ホームページの「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。 https://www.hitachi-ia.co.jp/koushukai/BlendingLearning/index.html ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
内容	内容
1. 事前学習の振り返り 2. 演習1 (1) クリエイティブオプションのためのストレッチレニング (2) トレーニングの振り返り 3. 演習2 (1) 利害関係者のマッピングトレーニング 4. 模擬交渉「共通ミッション」達成に向け部門間で役割分担と稼働調整をする 5. 演習3 (1) 利害関係者のマッピングトレーニング (2) 事前準備と作戦会議 (3) 模擬交渉実施(1対1交渉) (4) 振り返りとまとめ 備考 ・このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。 ・【【ナビ機能付き】協創を生みだす交渉(基礎知識編)】eラーニングコース(HSE711)とあわせてのご受講を推奨します。当社サイトよりファイルをダウンロードいただき、課題にお取り組みください。 https://www.hitachi-ia.co.jp/course/pre-problem/HSJ145_30464.zip ・このコースは、9:00~17:20の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。	1. 事前学習の振り返り 2. 演習1 (1) クリエイティブオプションのためのストレッチレニング (2) トレーニングの振り返り 3. 演習2 (1) 利害関係者のマッピングトレーニング 4. 模擬交渉「共通ミッション」達成に向け部門間で役割分担と稼働調整をする 5. 演習3 (1) 利害関係者のマッピングトレーニング (2) 事前準備と作戦会議 (3) 模擬交渉実施(1対1交渉) (4) 振り返りとまとめ 備考 ・このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。 ・【【ナビ機能付き】協創を生みだす交渉(基礎知識編)】eラーニングコース(HSE711)とあわせてのご受講を推奨します。当社サイトよりファイルをダウンロードいただき、課題にお取り組みください。 https://www.hitachi-ia.co.jp/course/pre-problem/HSJ145_30464.zip ・このコースは、9:00~17:20の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
備考	備考
・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。	・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSJ146	ネゴシエーション
	
協創を生みだす交渉(実践演習編)	
1.5日間	
「協創を生みだす交渉(基礎演習編)」コースの上位コースとして、より複雑な状況での交渉に臨むなど、基礎演習編で得た交渉スキルをさらに向上させるポイントを学習します。なお、模擬交渉は日立グループで協創を生みだした実例から開発したケースを用いて3回実施します。そのうち1回は2対2の社外交渉を扱うものです。	このコースでは、ビッグデータの分析やデータマイニングの根底にある、データ分析の理論や作業スキルを学習します。また、理論や作業スキルにとどまらず、各分析手法をビジネスデータに適用する際の考え方もあわせて学習します。例えば、分析手法適用の際のインプットデータは、目的や仮説に基づいた分析が必要となります。また、アウトプットの図表からは、「だから何が言えるのか」という、提言につながる考察を抽出する必要があります。このような、データを入手してからレポート作成するまでの一連の思考過程と作業を、Excelを利用した演習を通して学習します。
到達目標	到達目標
・交渉相手との状況からミッション、ZOPA、BATNAを設定できる。 ・交渉相手と自分を取り巻く複雑な環境を分析、図式化し、把握できる。 ・複雑な状況において、交渉シナリオに基づいて協創を生みだす交渉ができる。	・交渉相手との状況から理由のようにミッション、ZOPA、BATNAを設定するのを理解できる。 ・交渉相手と自分を取り巻く環境分析を行い図式化する必要性を理解できる。 ・交渉で使われる心理テクニックやコンフリクトマネジメントのポイントを理解できる。 交渉の基礎知識を修得したい方、または集合研修「協創を生みだす交渉(基礎演習編)」コース(HSJ145)、「協創を生みだす交渉(実践演習編)」コース(HSJ146)の受講を予定している方。
対象者	対象者
入社3年次以上でご自身の交渉力を更に強化したい方、コンフリクト(意見の対立や衝突)交渉に直面することが多い方。 「ロジカルシンキング基礎-論理の可視化と論理チェックのポイント」コースおよび【【ナビ機能付き】協創を生みだす交渉(基礎知識編)】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。	交渉の基礎知識を修得したい方、または集合研修「協創を生みだす交渉(基礎演習編)」コース(HSJ145)、「協創を生みだす交渉(実践演習編)」コース(HSJ146)の受講を予定している方。
前提知識	前提知識
「ロジカルシンキング基礎-論理の可視化と論理チェックのポイント」コースおよび【【ナビ機能付き】協創を生みだす交渉(基礎知識編)】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。	「ロジカルシンキング基礎-論理の可視化と論理チェックのポイント」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容	内容
1. 事前学習の振り返り 2. 事前課題の共有 3. 模擬交渉1(1対1の社内交渉) (1) 共通ミッション達成に向け部門間で役割分担と稼働調整をする 4. クリエイティブオプション、利害関係者のマッピング 5. 模擬交渉2(1対1の社内交渉) (1) 問題が起きた状況下で部門間の利害を調整し協力して問題解決する 6. 模擬交渉3(2対2の社外交渉) (1) 顧客との間に生じたコンフリクトを解消する このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。 このコースでは、事前課題にお取り組みいただけます。当社サイトよりファイルをダウンロードいただき、課題にお取り組みください。 https://www.hitachi-ia.co.jp/koushukai/BlendingLearning/index.html 【【ナビ機能付き】協創を生みだす交渉(基礎知識編)】eラーニングコース(HSE711)とあわせてのご受講を推奨します。eラーニングでは、このコースの前提となる基礎知識を修得します。 ・詳細につきましては、ホームページの「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。 https://www.hitachi-ia.co.jp/koushukai/BlendingLearning/index.html このコースは、9:00~17:20、2日目は9:30~17:20の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。	1. 事前学習の振り返り 2. 事前課題の共有 3. 模擬交渉1(1対1の社内交渉) (1) 共通ミッション達成に向け部門間で役割分担と稼働調整をする 4. クリエイティブオプション、利害関係者のマッピング 5. 模擬交渉2(1対1の社内交渉) (1) 問題が起きた状況下で部門間の利害を調整し協力して問題解決する 6. 模擬交渉3(2対2の社外交渉) (1) 顧客との間に生じたコンフリクトを解消する このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。 このコースでは、事前課題にお取り組みいただけます。当社サイトよりファイルをダウンロードいただき、課題にお取り組みください。 https://www.hitachi-ia.co.jp/koushukai/BlendingLearning/index.html 【【ナビ機能付き】協創を生みだす交渉(基礎知識編)】eラーニングコース(HSE711)とあわせてのご受講を推奨します。eラーニングでは、このコースの前提となる基礎知識を修得します。 ・詳細につきましては、ホームページの「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。 https://www.hitachi-ia.co.jp/koushukai/BlendingLearning/index.html このコースは、9:00~17:20、2日目は9:30~17:20の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
備考	備考
・このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。 このコースでは、事前課題にお取り組みいただけます。当社サイトよりファイルをダウンロードいただき、課題にお取り組みください。 https://www.hitachi-ia.co.jp/koushukai/BlendingLearning/index.html 【【ナビ機能付き】協創を生みだす交渉(基礎知識編)】eラーニングコース(HSE711)とあわせてのご受講を推奨します。eラーニングでは、このコースの前提となる基礎知識を修得します。 ・詳細につきましては、ホームページの「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。 https://www.hitachi-ia.co.jp/koushukai/BlendingLearning/index.html このコースは、9:00~17:20、2日目は9:30~17:20の開催とさせていただきます。 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。	・このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。 このコースでは、事前課題にお取り組みいただけます。当社サイトよりファイルをダウンロードいただき、課題にお取り組みください。 https://www.hitachi-ia.co.jp/koushukai/BlendingLearning/index.html 【【ナビ機能付き】協創を生みだす交渉(基礎知識編)】eラーニングコース(HSE711)とあわせてのご受講を推奨します。eラーニングでは、このコースの前提となる

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX / Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

HSJ126	2Wayコミュニケーション
	報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎
1日間	
社会人として身につけたい報連相（報告・連絡・相談）の重要性を、グループによる議論やロールプレイを行うことで学習します。	
到達目標	・効率的な伝え方に必要なスキルを高められる。 ・報連相の重要なポイントをひまふ、質の高いアウトプットで仕事ができる。
対象者	新入社員、または若手社員の方。
前置知識	特に必要としません。
内 容	1. 報連相の基本ポイント (1) なぜ報連相が必要なのかーPDCAサイクル (2) 報連相とは (3) 仕事における報連相のサイクル (4) 報告 (5) 連絡 (6) 相談 2. コミュニケーションの基本とポイント (1) コミュニケーションとは何か (2) コミュニケーションの手段 (3) 職場で求められるコミュニケーション能力 (4) 仕事に対する基本姿勢 (5) 言語と非言語コミュニケーション 3. 話し方 (1) ONEWAYでなくTWOWAYを心がける (2) 話し方のポイント (3) 話す技術 4. 聴き方 (1) 聴き方のポイント (2) 聴く技術 (3) 良い聴き手となるために (4) 質問
備 考	・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

HSJ127	2Wayコミュニケーション
	情報を整理して伝えるコミュニケーション技法ーロゴス・パトス・エトスを高めるー
2日間	
論理的なコミュニケーションをとるための手法を、演習を通して学習します。	
到達目標	・伝えたい情報を論理的に整理することができる。 ・状況や相手に合わせたコミュニケーションがとれる。
対象者	コミュニケーション力を高めたい方。
前置知識	「ロジカルシンキング基礎ー論理の可視化と論理チェックのポイントー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容	1. ロジカルコミュニケーションの必要性 2. 情報の分析・整理法 3. 分かりやすく伝えるために 4. ロジカルコミュニケーションには根拠・感情・信頼が大切 5. ロジックだけでは人を動かさない 6. 積極的傾聴 7. 総合演習
備 考	・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

HSJ056	2Wayコミュニケーション
	(PDU)リーダー向け チームを活性化するためのコミュニケーション技法ー対人関係における思い込みの視点を取り除くー PDU
1日間	
職場で知らないうちに陥っている「思い込み」に気づき、バイアスのかかったコミュニケーションを修正しながら、リーダーとして組織活性化に必要なポイントを学習します。このコースは、PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU：6.5ポイント)の取得が可能です。	
到達目標	・リーダーとして組織を活かすために必要なことを知ることができる。 ・良いコミュニケーションに必要な3つの要素を説明できる。 ・パーソナルタイプを認識して、対人関係に活かすことができる。
対象者	思い込みを排除し、職場やチームを活性化したいリーダーの方、リーダーまたはこれからリーダーになる方。
前置知識	3年以上の業務経験があること。
内 容	1. リーダとして組織を活かすために必要なこと (1) 現代の職場事情と求められる意識とは 2. 仕事を選じたコミュニケーション (1) コミュニケーションとは (2) 仕事を通じたコミュニケーションの3要素 (3) 思い込みを排除し相手を尊重する、相手の可能性を見る (4) 相手を主体とした双方向コミュニケーション 3. バイアス・コミュニケーションの認識演習 4. PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。
備 考	・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

HSJ174	2Wayコミュニケーション
	(PDU)ストラクチャード・コミュニケーションー会議を空中戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考えるー PDU
1日間	
このコースでは、限られた時間の中で、できるだけ有効な情報を引き出し、整理し、考えを伝えることが求められる方が、相手とのコミュニケーションにおいて、情報を構造化し図で表現するために必要な知識を学びます。基本となる図解/パターンを元に、考えを伝える演習や、聞く演習、また考えをまとめる演習を通じて、相手の課題を解決するための図解スキルを修得します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：7ポイント)の取得が可能です。	
到達目標	・自分の伝えたい情報を構造化し図に描きながら説明できる。 ・相手からヒアリングした情報を構造化し図にまとめることができる。 ・相手を巻き込み共に図を描きながら交渉を進められる。
対象者	・相手のやり取りを口頭だけで済ませず、イメージを明確に共有しつつコミュニケーションを進めたい方。 ・お客様をはじめ、社内関係者など業務上の関係者と交渉や調整をされる方。 ・部下・後輩(入社五年目まで)指導にあたられる方。
前置知識	特に必要としません。
内 容	1. オリエンテーション 2. 図解で伝える (1) 代表的な情報の構造の基本パターン (2) 情報の構造の図解表現を知る演習 (3) 自分の伝えたいことを図解で説明する演習 3. 図解で聞く (1) 相手の発言を書き出す演習 4. 図解で考える (1) 相手の考えを図解でまとめる演習 (2) 図解しやすいように質問を構造化する演習 (3) 情報を構造化してから文章にまとめる演習 5. 振り返りとまとめ
備 考	・このコースは、9：00～17：20の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute、Inc.)の登録商標です。

HSJ124	2Wayコミュニケーション
	リスニング力を高めてコミュニケーションスキルアップー職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上ー
1日間	
対話のスキルとして重要な2つの要素「傾聴」と「アサーション」のうち、「傾聴」を中心に学習します。	
到達目標	・傾聴のポイントを説明できる。 ・自分の日頃の聴き方のクセを認識できる。 ・対話をスムーズにするための、自分の聴き方の改善点が分かる。
対象者	同僚や顧客との対話において自分の聴き方に問題を感じている方、現在の自分の聴き方で本当によいのか確認したい方。
前置知識	特に必要としません。
内 容	1. リスニングとは 2. なぜ人の話を聞けないのか 3. 傾聴 4. 質問 5. リスニング演習 6. 批判を受け止める 7. 振り返り
備 考	・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・「(PDU)アサーティブ・コミュニケーションー職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上ー」コースとあわせてのご受講を推奨します。

HSJ125	2Wayコミュニケーション
	(PDU)アサーティブ・コミュニケーションー職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上ー PDU
1日間	
自己尊重のマインドに基づいて、自分の考えや気持ちを明快に伝えるアサーティブコミュニケーションを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6.5ポイント)の取得が可能です。	
到達目標	・アサーティブの考えを理解できる。 ・自己主張が対人関係に与える重要性を認識できる。 ・自分の日頃の伝え方・聴き方を認識できる。
対象者	コミュニケーション能力を高めたい方。
前置知識	4年以上の業務経験があること。
内 容	1. アサーティブとは 2. なぜアサーティブにできないのか 3. それぞれの自己表現の特徴からみた考察 4. 考え方をアサーティブにする 5. なぜアサーティブを身につけるのか 6. アサーティブ行動になるために 7. アサーティブ演習 8. 振り返り
備 考	・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・「リスニング力を高めてコミュニケーションスキルアップー職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上ー」コースとあわせてのご受講を推奨します。

	マシン演習 マシンを使用し ながらの研修
	グループ演習 グループ演習を 中心とした研修
	レクチャ 座学による 研修

	演習環境 職場・自宅などでのマシン演習 環境を使用した自己学習
	研修室自習型 研修室でのマシン演習環境 を使用した自己学習

	eラーニング インターネット接続 による自己学習
	認定 PDU取得
	PMP 資格更新
	PMBOK 資格更新
	Oracle 資格更新
	マイクロソフト 資格更新

HSJ052	リーダーシップ
	メンバーシップとチームワークーチーム力向上のために大切なことー
1日間	
チームのメンバーとして求められる、情報共有・責任性・実行力などの基本的資質を学習します。さらにチーム力向上のために必要な要素を、体験演習で学習します。	
到達目標	・組織の一員であるメンバーとしての行動基準を実践できる。 ・チーム力向上のための、重要な要素を説明できる。
対象者	新入社員、若手社員の方、チーム力を向上したいと考えている方。
前置知識	特に必要としません。
内 容	1. メンバーシップの基本 (1) メンバーシップとは (2) フォロワーシップ (3) 仕事に取り組む姿勢 2. 情報共有 3. コミュニケーションの基本 (1) コミュニケーションの3V (2) 効果的なコミュニケーションのために (3) 報連相の基本 4. 仕事の基本(PDCAサイクル) 5. チームワーク (1) チームとは (2) 欲求とモチベーション (3) チームワークとは (4) チームビルディング 6. まとめ(振り返りとフィードバック)
備 考	・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

HSJ114	リーダーシップ
	リーダーシップの原理・原則
1日間	
リーダーシップの原理・原則を理解し、状況に合致した行動のノウハウを学習します。	
到達目標	・多様性に富む組織の中で、リーダーシップを自分なりに高められる。 ・リーダーとして部下/上司との関係の中で適切な組織行動を取れる。 ・部下および自分自身が如何にして成長していくかのポイントを理解できる。
対象者	リーダーシップの原理・原則を理解したい方。リーダーまたは、これからリーダーになる方。
前置知識	業務経験2年以上のこと。
内 容	1. 経験の共有「成長できた上司」「成長できなかった上司」の特徴を共有する (1) 「成長できた上司」「成長できなかった上司」の特徴を共有する 2. リーダーシップとは 3. SLⅡの理解と自身のスタイル把握 (1) 状況対応型リーダーシップとは (2) 自分のリーダーシップスタイルを知る (3) 相手の成長レベルに合わせたアプローチを知る 4. 演習 5. アクションプラン作成
備 考	・このコースは、9：00～17：20の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。

HSJ166	リーダーシップ
	マインドフルリーダーシップ基礎
1日間	
忙しい現代ビジネスパーソンが集中力を高め記憶力や思考力を増進し、些事に悩まない強靱なリーダーシップが発揮できるようになるための手がかりです。グループやインテルのみならず世界のトップ企業において実践され始めている、マインドフルネスについて学習します。基本的な方法論を学び、実践できるようにします。	
到達目標	マインドフルネスという概念と手法について理解し、実践できるようにする。
対象者	ビジネスリーダーを志す方。
前置知識	特に必要としません。
内 容	1. はじめに (1) 全体像 (2) ウォーミングアップ (3) マインドフルネスの定義 2. マインドフルネスの必要性 (1) これからのリーダーに必要なコンピテンシー (2) 自己認知に基づいたリーダーシップ (3) 情報爆発の中でのセルフマネジメント 3. マインドフルネスの実践1 (1) フォーマルな訓練とインフォーマルな訓練 (2) アテンショントレーニング (3) 注意力を高める 4. 意思決定の科学 (1) ポジティブティと創造性 (2) 情動と意思決定 (3) レジリエンスが生まれるプロセス 5. マインドフルネスの実践2 (1) アテンショントレーニング (2) 情動を制御するエクササイズ (3) これからの仕事へのヒント 6. これからのセルフマネジメントに向けて (1) マインドフルワークの練習 (2) マインドフルコミュニケーション (3) アクションプラン
備 考	・このコースは、9：00～17：20の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けてさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

	教材テキスト 学習者による 自己学習
休講	休講 今期の定期開催は ありません

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービス マネジメント
システム基盤
UNIX / Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション 開発
Web アプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT 基本
IT 基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

HSJ147 リーダシップ

(PDU) 目標達成のためのコーチング実践 PDU

2日間

部下後輩の目標達成を支援するためのコーチングのスキルを学習します。また、キャリアコーチングを学習することで、部下後輩の中長期的キャリア達成を支援できます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：14ポイント)の取得が可能です。

到達目標

- ・部下後輩が目標を達成するためのコーチングの方法を身につけることができる。
- ・部下後輩との面談や、中長期的キャリア支援に活用することができる。
- ・メンバーの能力や可能性を最大限に引き出すビジネスコーチングのスキルを身につけることができる。

対象者 メンバの指導、育成に携わる方。

前提知識 「コーチング基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. 自身のコーチングの現状を振り返る
2. コーチングに必要なスキル
3. 目標達成のために必要なこと
4. パフォーマンスコーチング
 - (1)目標設定のコーチング
 - (2)目標達成につながる行動へのフィードバック
 - (3)中間の達成状況確認コーチング
 - (4)振り返りのコーチング
 - (5)コーチング演習
5. キャリアコーチング
 - (1)メンバーのキャリアの考え方
 - (2)キャリアコーチング
 - (3)キャリアプランニング
 - (4)キャリア面談
 - (5)キャリアコーチング演習
6. ロールプレイング
7. アクシジョンプランの作成

備考

- ・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
- ・このコースは、「(PDU) 個を活かし、チームをまとめるコーチングスキルアップ研修—コーチングを学びファシリテーションスキルを活かした協働の場づくり—」コースの内容改訂および名称を変更したものです。
- ・PMI®、PMP®、*PMBOK®* ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

HSJ148 リーダシップ

(PDU) 会議/プロジェクトを円滑に進めるためのファシリテーション・スキル向上 PDU

2日間

効率的、効果的な会議/プロジェクトを運営するために有効である、ミーティング・コミュニケーションと対応法を学習します。さらに、生産的な会議に必要なファシリテーション・スキルを理解し、適切なコミュニケーション技術を修得できます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：14ポイント)の取得が可能です。

到達目標

- ・会議やミーティングにおけるファシリテーションの基礎ならびに一对多型のコミュニケーションスキルを改善し、強化することができる。
- ・成果を上げる会議とは何かを理解し、効率的・効果的な会議運営に必要なノウハウを修得できる。

対象者 会議/プロジェクト運営に悩んでいる方。

前提知識 業務経験が2年以上あること。

内容

1. 成果を上げる会議とは
2. 効果的な「伝え方」
3. 効果的な「聴き方」
4. 効果的な「場づくり」
5. 効果的な会議の進め方(会議進行編)
6. 効果的な会議の進め方(問題解決編)

備考

- ・このコースは、9：30～17：30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
- ・PMI®、PMP®、*PMBOK®* ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

HSJ152 リーダシップ

SEのためのサービスマインド醸成一顧客対応の質を高め、他社と差別化を図る—

1日間

CSやサービスとは何か、そして満足とは何かを、サービスサイエンスと心理学と経験則から学び、お客様や組織内の人間同士でのサービス対応スキルを学習します。

到達目標

- ・CS(お客様の満足)向上の必要性を認識できる。
- ・CS向上対策/付加価値戦略を認識し、対策を立てられる。
- ・サービス対応の質による他社との差別化ができる。

対象者 システムエンジニアまたは営業の方で、顧客と接する機会がある方。

前提知識 3年以上の業務経験があること。

内容

1. 満足のモデル/サービスの特徴
2. サービスサイエンスとCSとは
3. 苦手なお客様(グループ研究)
4. 心に残るサービス(グループ研究)
5. 自己管理
6. 満足感を与えるためのロールプレイング
7. 4つの状態に対する交流スキル
8. 交流の終わりにすること
9. 状態ごとのロールプレイング
10. 対応ルール

備考

- ・このコースは、9：00～17：20の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

HSE709 業務知識

<eラーニング> [ナビ機能付き] WHYで学ぶアカウンティング(基礎知識編)

平均8時間

「なぜ(Why)」の問いかけを通じて、アカウンティングの必要性を理解しながら、財務諸表を読み解くための基礎知識を学習します。

到達目標

- ・財務諸表に必要な基礎知識を理解できる。
- ・財務諸表の諸数値の意味を理解できる。

対象者 財務の視点をお持ちになりたい方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. なぜアカウンティングか
2. なぜ財務三表か B/S、P/L、CF
3. B/S - 資産、負債、純資産の意味と構造
4. P/L - 売上、費用、利益の意味と構造
5. CF - キャッシュフローの意味と構造
6. キャッシュフロー-経営
7. 管理会計 - 固定費、変動費、損益分岐点
8. 修了試験

備考

- ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。集合研修「WHYで学ぶアカウンティング(実践演習編)」コース(HSJ122)とあわせてのご受講を推奨します。eラーニングで基礎知識を学習しながら、後続の集合研修の事前課題に取り組むための知識を修得します。
- ・このコースには、事前課題がありますのでご受講前にお取り組みください。
- ・詳細につきましては、「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。https://www.hitachi-ia.co.jp/koushukai/BlendingLearning/index.html
- ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

HSJ122 業務知識

WHYで学ぶアカウンティング(実践演習編)

1日間

「なぜ(Why)」の問いかけを通して、実企業の財務諸表を読み、各要素についてその意味と本質を捉えるための基礎知識を学習します。

到達目標

- ・財務諸表に必要な基礎知識を理解できる。
- ・財務諸表の諸数値の意味を理解できる。
- ・上記をベースに実際の企業の財務諸表を理解・把握することができる。

対象者 財務の視点を持ちたい方。

前提知識 【「ナビ機能付き」WHYで学ぶアカウンティング(基礎知識編)】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. はじめに
2. 演習1：あるベンチャー企業への提言
 - (1) 財務諸表から企業の問題点と解決策を考える
3. 経営とキャッシュフロー
4. 演習2：実在企業の財務諸表分析
 - (1) 実在企業の財務諸表を使い分析の視点と考察する力を高める

備考

- ・このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。
- ・【「ナビ機能付き」WHYで学ぶアカウンティング(基礎知識編)】eラーニングコース(HSE709)とあわせてのご受講を推奨します。eラーニングでは、このコースの基礎知識、およびこのコースの事前課題に取り組むための知識を修得します。
- ・このコースでは、事前課題にお取り組みいただけます。当社サイトよりファイルをダウンロードいただき、課題にお取り組みください。https://www.hitachi-ia.co.jp/koushukai/BlendingLearning/index.html
- ・詳細につきましては、ホームページの「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。https://www.hitachi-ia.co.jp/koushukai/BlendingLearning/index.html
- ・計算用具(電卓)をご持参ください。
- ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

HSE710 業務知識

<eラーニング> [ナビ機能付き] 業務に活かす簿記入門

平均8時間

簿記の基礎概念を学習します。また、取引、仕訳から決算処理までの一連の流れと仕組みを学習します。

到達目標

- ・企業活動と財務活動の関係をふまえて業務に取り組むことができる。
- ・財務諸表が作成されるプロセスを説明できる。
- ・簿記の学習を始めたいとお考えの方。
- ・財務、経理の概要を知りたい方。

対象者 特に必要としません。

内容

1. 企業会計と簿記
2. 会社の設立
3. 取引
4. 記帳
5. 決算
6. 修了試験

備考

- ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・計算用具(電卓)をご用意ください。
- ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

HSE028 戦略・マーケティング

<eラーニング> 知っておくべきビジネスモデルの基本—顧客のビジネスをより理解するために—

平均10時間

実際の成功事例(1次産業：農業、2次産業：メック工場、3次産業：レストラン、通信販売)から、各事業の顧客価値の提供、価値を高めたバリューチェーンの箇所、工夫された仕組み、事業成功要因の知識を学習します。

到達目標 顧客の仕事、仕事上の課題を事業的視点で見るとの知識を得ることができる。

対象者 顧客のITシステム提案に携わる方、自社の業務改善に関わる方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. ビジネスモデル企画による成功例/失敗例
2. アウトソーシング型
3. ダイレクト型
4. コーディネーター型
5. 顧客サービス型
6. 垂直/水平統合型
7. 事業拡張モデル
8. 修了試験

備考

- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
- ・ロジカルシンキング、アカウンティングの基礎知識があることより理解が深まります。
- ・このコースは、経営に関する基礎知識があることを前提としています。前提知識に不安がある方は、ご受講時にはビジネスフレームワーク等の知識を得られる一般書籍やWebサイトと共に学習いただくことを推奨します。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

HSJ156 戦略・マーケティング

ソリューション提案のための経営と情報戦略—経営、事業、情報戦略のあるべき関係性—

1日間

経営・事業戦略を踏まえたITソリューション提案をするための、経営・事業・情報戦略の基本的な考え方、フレームワーク、つなげ方を学習します。

到達目標

- ・経営・事業戦略の考えるフレームワークを理解、使い分けができる。
- ・顧客業務を利益・顧客価値・業務プロセスの観点で捉えたうえで、ITソリューション提案をする考え方が理解できる。

対象者 ITソリューション提案する必要があり、まずは顧客の事業を理解する基本的な経営・事業戦略の考え方やフレームワークを知りたい方。

前提知識 「ロジカルシンキング基礎—論理的可視化と論理チェックのポイント—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. 経営における戦略
 - (1) 経営環境分析によって重要成功要因を決める流れ
 - ・外部環境分析(5フォース分析、PESTLE分析)
 - ・内部環境分析(バリュチェーン分析、VRIO分析)
 - ・外部内部環境分析を踏まえたクロスSWOT分析
2. 事業戦略と情報戦略との連携
 - (1) バランスドスコアカードによる財務目標と業務施策の結び付け
 - (2) 戦略マップによる可視化
3. さまざまな戦略フレームワーク
 - ・アンソフの成長マトリクス、パーシーの3つの競争の型、PPM、ライフサイクル仮説、コトラーの競争地位別戦略など

備考

- ・このコースは、9：30～17：00の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

HSJ165 戦略・マーケティング

ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向—イノベーション実現のために—

1日間

ポジションングやリソースベースビュー等の事業・企業戦略論をしっかりと腹落ちして自らの事業に適用できるようになるまで理解します。またIT分野の企業が、旧来の実業分野に対して有力な競合として参入して行くケース等、ITビジネスとして戦略上踏まえておくべき最新動向を紹介します。IT分野におけるイノベーションやサービスビジネス創造のための実践的な知的基盤となります。

到達目標

- ・事業戦略の理論について理解し、自らの事業について適用することができる。
- ・ITビジネスの戦略として押さえるべき最新動向について理解し、自らの事業への適用について考えることができる。

対象者 技術・主任クラス以上の方(自安)。事業戦略や企業戦略、あるいはイノベーションやビジネス創造について主体的に取り組む意思のある方。

前提知識 ロジカルシンキングやフレームワーク思考等ビジネス系コンセプトアルスキルを一通り踏まえていることが望ましい。

内容

1. 事業戦略、企業戦略とは
 - (1) 事業における戦略とは
 - (2) 戦略論の系譜
 - (3) 自事業にとっての意味合い
2. 戦略の最新動向
 - (1) ITビジネス戦略の最新動向
 - (2) その他の注目すべき動向
 - (3) 自事業にとっての意味合い
3. ケーススタディ
 - (1) グループ討議
 - (2) 全体討議
 4. まとめ

備考

- ・このコースでは、事前課題にお取り組みいただけます。当社サイトよりファイルをダウンロードいただき、課題にお取り組みください。https://www.hitachi-ia.co.jp/course/pre-problem/HSJ165_11799.zip
- ・指定の回答用紙はご入力後、2部印刷のうえ、研修当日にご持参ください。
- ・このコースは、9：00～17：20の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

※別途ご案内いたします。

HSE705 業務知識

<eラーニング> [ナビ機能付き] (PDU) 財務諸表の基礎知識 PDU

平均4時間

財務諸表の目的(役割)と用語を学習します。財務三表ともいわれる貸借対照表・損益計算書・キャッシュフロー計算書の仕組みや見方の基礎を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：4ポイント)の取得が可能です。

到達目標

- ・財務諸表の基礎を理解し分析のための前提知識が説明できる。
- ・経済の時事、動向に興味を持ち、業務に活かせる。

対象者 財務諸表の構成、内容を知りたい方、財務の入門知識を簡単に確認したい方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. 財務諸表の概念
2. 貸借対照表
3. 損益計算書
4. キャッシュフロー-計算書
5. 修了試験

備考

- ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。
- ・PMI®、PMP®、*PMBOK®* ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

HSE052 業務知識

<eラーニング> (PDU) よくわかるビジネス・マイクロ経済 1—経済学の思考、費用分析、市場経済、ゲーム理論— PDU

平均5時間

ビジネスでの活用を念頭に、ビジネスケースにおける課題を提示し、その課題解決のための有効な枠組みとしてマイクロ経済学の思考法と理論を学習します。数式は多用せず、言葉とグラフによる論理展開によって、文系出身のビジネスマンにも理解できるよう紹介します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：5ポイント)の取得が可能です。

到達目標 マイクロ経済学の理論を活用して、ビジネス上での課題をより適切に解決できる。

対象者 ビジネスにマイクロ経済学を活用したい方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. 経済学の思考法をビジネスに活かす【エコカー導入のケース】
2. 誤った費用分析が誤った判断を引き起こす【受注可否判断のケース】
3. 市場経済の機能と限界【アウトソーシング判断のケース】
4. ライバルとの駆け引き「ゲーム理論」【価格戦略・出店戦略に関するケース】
5. 修了試験
- ※「よくわかるビジネス・マイクロ経済 1-2」コースは連続した内容のため、番号順の受講をお勧めします。

備考

- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。
- ・PMI®、PMP®、*PMBOK®* ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

HSE053 業務知識

<eラーニング> (PDU) よくわかるビジネス・マイクロ経済 2—不完全な情報、期待効用、行動経済学— PDU

平均4時間

ビジネスでの活用を念頭に、ビジネスケースにおける課題を提示し、その課題解決のための有効な枠組みとしてマイクロ経済学の思考法と理論を学習します。数式は多用せず、言葉とグラフによる論理展開によって、文系出身のビジネスマンにも理解できるよう紹介します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：4ポイント)の取得が可能です。

到達目標 マイクロ経済学の理論を活用して、ビジネス上での課題をより適切に解決できる。

対象者 ビジネスにマイクロ経済学を活用したい方。

前提知識 「(PDU)よくわかるビジネス・マイクロ経済 1—経済学の思考、費用分析、市場経済、ゲーム理論—」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. 情報不完全が現実経済をこう変える【大手ブランドのケース】
2. 人はなぜ保険に入るのか<期待効用理論>【成型型金身体系の導入検討のケース】
3. 合理性と非合理性が入り交じる相場の世界<行動経済学>【ネット証券の新サービス企画のケース】
4. 修了試験
- ※「よくわかるビジネス・マイクロ経済 1-2」コースは連続した内容のため、番号順の受講をお勧めします。

備考

- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。
- ・PMI®、PMP®、*PMBOK®* ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

HSE054 業務知識
 <eラーニング> (PDU) よくわかるマクロ経済 1 -効率性と公平性、アダムスミスとケインズ- PDU
平均4時間
ビジネスに必要な知識である経済用語、経済データ、経済の仕組み、経済理論を学ぶだけでなく、各々の理論の枠を超えた経済思想について、その思想の社会的背景を踏まえて学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：4ポイント)の取得が可能です。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">・一国経済全体や世界経済の動きを論理的に分析し、それが自分のビジネスや生活にどのように関わるのかを理解できる。・時代背景を含めて経済思想を学び、現在の経営判断に活用できる。・経済論理を使って、将来をどこまで予測でき、どこからは予測できないかを認識できる。
対象者 ビジネスにマクロ経済学を活用したい方。
前提知識 特に必要としません。
内容 <ol style="list-style-type: none">1. 望ましい経済とは何か? -効率性と公平性-2. 市場経済-アダム・スミスの思想と時代背景から何を学ぶか?3. 有効需要管理政策-ケインズ理論と時代背景から何を学ぶか?4. 修了試験 ※「よくわかるマクロ経済 1-4」コースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。
備考 <ul style="list-style-type: none">・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。・PMI®、PMP®、<i>PMBOK®</i>ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

HSE057 業務知識
 <eラーニング> (PDU) よくわかるマクロ経済 4 -景気循環、経済成長、格差社会と少子高齢化- PDU
平均5時間
ビジネスに必要な知識である経済用語、経済データ、経済の仕組み、経済理論を学ぶだけでなく、各々の理論の枠を超えた経済思想について、その思想の社会的背景を踏まえて学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：5ポイント)の取得が可能です。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">・一国経済全体や世界経済の動きを論理的に分析し、それが自分のビジネスや生活にどのように関わるのかを理解できる。・時代背景を含めて経済思想を学び、現在の経営判断に活用できる。・経済論理を使って、将来をどこまで予測でき、どこからは予測できないかを認識できる。
対象者 ビジネスにマクロ経済学を活用したい方。
前提知識 [(PDU)よくわかるマクロ経済 1-効率性と公平性、アダムスミスとケインズ-]、[(PDU)よくわかるマクロ経済 2-GDP、為替、財政-]および[(PDU)よくわかるマクロ経済 3-金融政策、ハイエク、フリードマン、シュンペーター-]eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none">1. 景気循環2. 経済成長3. 格差社会(十複体系経済)4. 少子化と高齢化の日本経済への影響(十フリー経済・シェア経済)5. 修了試験 ※「よくわかるマクロ経済 1-4」コースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。
備考 <ul style="list-style-type: none">・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。・PMI®、PMP®、<i>PMBOK®</i>ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

HSE056 業務知識
 <eラーニング> (PDU) よくわかるマクロ経済 3 -金融政策、ハイエク、フリードマン、シュンペーター- PDU
平均4時間
ビジネスに必要な知識である経済用語、経済データ、経済の仕組み、経済理論を学ぶだけでなく、各々の理論の枠を超えた経済思想について、その思想の社会的背景を踏まえて学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：4ポイント)の取得が可能です。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">・一国経済全体や世界経済の動きを論理的に分析し、それが自分のビジネスや生活にどのように関わるのかを理解できる。・時代背景を含めて経済思想を学び、現在の経営判断に活用できる。・経済論理を使って、将来をどこまで予測でき、どこからは予測できないかを認識できる。
対象者 ビジネスにマクロ経済学を活用したい方。
前提知識 [(PDU)よくわかるマクロ経済 1-効率性と公平性、アダムスミスとケインズ-]および[(PDU)よくわかるマクロ経済 2-GDP、為替、財政-]eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none">1. 金融政策2. 選択の自由-ハイエクとフリードマンの思想と時代背景から何を学ぶのか?3. イノベーション-シュンペーターの思想と時代背景から何を学ぶか?4. 修了試験 ※「よくわかるマクロ経済 1-4」コースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。
備考 <ul style="list-style-type: none">・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。・PMI®、PMP®、<i>PMBOK®</i>ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

HSE059 業務知識
 <eラーニング> (PDU) よくわかるファイナンス 2 -企業価値評価- PDU
平均4時間
ファイナンスの基本論点をマスターするだけでなく、ファイナンスに関する指標を計算し、その指標を用いて経営を語ることができるように学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：4ポイント)の取得が可能です。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">・自社や投資プロジェクトの収益率の計算方法が分かり、自分でExcelを使って計算できる。・ベンチャー企業へ出資する際、どのような点を考慮すれば企業価値向上に貢献できるのかを理解できる。・出資か借り入れか、株主構成はどうあるべきか等に関し、勘所を理解できる。・理論を自分の仕事に当てはめて考え、ファイナンスの視点から振り返ることができる。
対象者 ファイナンスの知識を業務に活用したい方。
前提知識 [(PDU)よくわかるファイナンス 1-投資の判断、リスクとリターン-]eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none">1. 企業価値評価(1)2. 企業価値評価(2)3. 企業価値と資本構成4. 修了試験 ※「よくわかるファイナンス 1-4」コースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。
備考 <ul style="list-style-type: none">・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。・PMI®、PMP®、<i>PMBOK®</i>ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

HSE060 業務知識
 <eラーニング> (PDU) よくわかるファイナンス 3 -資金調達の方法- PDU
平均6時間
ファイナンスの基本論点をマスターするだけでなく、ファイナンスに関する指標を計算し、その指標を用いて経営を語ることができるように学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6ポイント)の取得が可能です。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">・自社や投資プロジェクトの収益率の計算方法が分かり、自分でExcelを使って計算できる。・ベンチャー企業へ出資する際、どのような点を考慮すれば企業価値向上に貢献できるのかを理解できる。・出資か借り入れか、株主構成はどうあるべきか等に関し、勘所を理解できる。・理論を自分の仕事に当てはめて考え、ファイナンスの視点から振り返ることができる。
対象者 ファイナンスの知識を業務に活用したい方。
前提知識 [(PDU)よくわかるファイナンス 1-投資の判断、リスクとリターン-]および[(PDU)よくわかるファイナンス 2-企業価値評価-]eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があり、かつExcelの基本的な操作経験があること。
内容 <ol style="list-style-type: none">1. 資金調達の方法2. 債券3. 株式4. デリバティブ、予想レンジ5. 修了試験 ※「よくわかるファイナンス 1-4」コースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。
備考 <ul style="list-style-type: none">・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。・PMI®、PMP®、<i>PMBOK®</i>ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

HSE033 ビジネスセンスアップ
 <eラーニング> (PDU) 「真親政要」に学ぶリーダーの心得 PDU
平均10時間
帝王学指南書とされる「真親政要」を通して、現代企業の経営者が持つべき指導者のあり方、人間に不変な倫理観について理論面と行動面を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：10ポイント)の取得が可能です。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">・経営者として持つべきリーダーシップに必要な考え方を理解できる。・あるべきリーダーとなるために琢磨を推進する基礎力を会得できる。
対象者 リーダーとしての振る舞いに悩み・疑問を抱えている方、今後リーダーになるにあたり、リーダー像を考えるきっかけを必要とする方。
前提知識 [(PDU)中国古典に見る指導者の条件]eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none">1. 創業か守るか (1)創業(攻めの経営)と守成(守りの経営)ではどちらが難しいか2. わが身を正す (1)トップが自分の姿勢を正すようにすると、部下はついてくる3. 緊張感を持続させる (1)安定している時こそ気持ちを引き締める4. 諛言に耳を傾ける (1)部下が意見を言いやすい環境作りを心がける5. 自己コントロール (1)私利私欲をなくしてこそ、組織をまとめていくことができる6. 謙虚にそして慎重に (1)トップの発言は影響力が大きいので、謙虚さ・慎重さを忘れない7. 初心忘るべからず (1)初心に戻り、自分を戒め、前に進んでいく8. 修了試験
備考 <ul style="list-style-type: none">・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。・PMI®、PMP®、<i>PMBOK®</i>ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

HSE061 業務知識
 <eラーニング> (PDU) よくわかるファイナンス 4 -M&A、コーポレートガバナンス、財務計画- PDU
平均6時間
ファイナンスの基本論点をマスターするだけでなく、ファイナンスに関する指標を計算し、その指標を用いて経営を語ることができるように学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6ポイント)の取得が可能です。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">・自社や投資プロジェクトの収益率の計算方法が分かり、自分でExcelを使って計算できる。・ベンチャー企業へ出資する際、どのような点を考慮すれば企業価値向上に貢献できるのかを理解できる。・出資か借り入れか、株主構成はどうあるべきか等に関し、勘所を理解できる。・理論を自分の仕事に当てはめて考え、ファイナンスの視点から振り返ることができる。
対象者 ファイナンスの知識を業務に活用したい方。
前提知識 [(PDU)よくわかるファイナンス 1-投資の判断、リスクとリターン-]、[(PDU)よくわかるファイナンス 2-企業価値評価-]および[(PDU)よくわかるファイナンス 3-資金調達の方法-eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があり、かつExcelの基本的な操作経験があること。
内容 <ol style="list-style-type: none">1. 外国為替管理、合併・買収・ガバナンス2. 財務計画3. ベンチャーファイナンス4. まとめ(企業評価のケーススタディ)5. 修了試験 ※「よくわかるファイナンス 1-4」コースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。
備考 <ul style="list-style-type: none">・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。・PMI®、PMP®、<i>PMBOK®</i>ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

HSE034 ビジネスセンスアップ
 <eラーニング> (PDU) 「書経」に学ぶリーダーの心得 PDU
平均10時間
儒教の唱えた政治学の原典とされる「書経」を通して、組織を統率する者はどうあるべきか、時代を超えて現代にも当てはまる指導者の心得の条件を先人の苦学を通じて学びます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：10ポイント)の取得が可能です。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">・組織を統率するのに必要な技術力と能力を会得できる。・リーダーとして、組織のさまざまな担当の立場と心得を理解できる。
対象者 リーダーとしての振る舞いに悩み・疑問を抱えている方、今後リーダーになるにあたり、リーダー像を考えるきっかけを必要とする方。
前提知識 [(PDU)中国古典に見る指導者の条件]eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none">1. 堯と舜-理想の天子 (1)堯と舜から組織をまとめていくコツを学ぶ2. 禹-治水の功労者 (1)リーダーの率先垂範、刻苦精励により部下はついてくる3. 組織管理のコツ (1)部下に権限を与えずにようにする4. トップの自滅する理由 (1)トップは過ちを犯した場合、すぐ改めるようにする5. 傳説と高宗 (1)補佐役の重要性について説くとともに、なるほどと思ったことは実行に移していく6. 周の文王と武王 (1)どんな仕事でも、最後まで気を抜かずにとりかかると7. 周公旦と成王 (1)大きな仕事を成し遂げるためには「志」と「勤」が必要である8. 修了試験
備考 <ul style="list-style-type: none">・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。・PMI®、PMP®、<i>PMBOK®</i>ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

HSE031 ビジネスセンスアップ
 <eラーニング> (PDU) 中国古典に見る指導者の条件 PDU
平均10時間
ヒューマニズムに立つて「徳治」を主張した「論語」、性悪説に立つて「法」と「術」による統治を唱えた「韓非子」、それらに類する中国古典を通して現代におけるリーダーの条件を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：10ポイント)の取得が可能です。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">・「徳治」、「法と術による統治」の考え方や思想を理解できる。・リーダーとしての正しい判断力を会得できる。
対象者 リーダーとしての振る舞いに悩み・疑問を抱えている方、今後リーダーになるにあたり、リーダー像を考えるきっかけを必要とする方。
前提知識 特に必要としません。
内容 <ol style="list-style-type: none">1. 今なぜ中国古典か-「修己治人」の学2. 孔子のめざしたもの-「事上唐虞」の教え3. 信頼できる指導者の条件とは-「徳」の教え4. 「韓非子」と性悪説5. 法と術による統治-部下を使うことについて6. 危機管理について-「狡兔三窟」7. 指導者の要件とは-「桃李不言、下自成蹊」について8. 修了試験
備考 <ul style="list-style-type: none">・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。・PMI®、PMP®、<i>PMBOK®</i>ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

HSE032 ビジネスセンスアップ
 <eラーニング> (PDU) 「韓非子」のリーダー学 PDU
平均10時間
中国戦国時代の法家である韓非子の著書「韓非子」から春秋・戦国時代の思想、社会における性悪説に立つたリーダーのあり方について学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：10ポイント)の取得が可能です。
到達目標 <ul style="list-style-type: none">従来の「性善説」に基づく組織運営に「性悪説」に基づく組織運営のよいところを取り入れるポイントを理解できる。
対象者 リーダーとしての振る舞いに悩み・疑問を抱えている方、今後リーダーになるにあたり、リーダー像を考えるきっかけを必要とする方。
前提知識 [(PDU)中国古典に見る指導者の条件]eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内容 <ol style="list-style-type: none">1. 韓非子の思想 (1)理想のトップとしてのあり方2. 理想のリーダー像 (1)部下に心の隙を見せないようにする3. 組織管理のコツ (1)部下に権限を与えずにないようにする4. トップの自滅する理由 (1)トップは過ちを犯した場合、すぐ改めるようにする5. 実権者と伝える心得 (1)部下はトップに対し、礼儀を持ち、諛言はほめかすように伝える6. 現実を生きる人間像 (1)大事になる前に手を打つことが、問題解決の秘訣である7. 韓非子の名言 (1)トップは部下を信用しすぎないようにする8. 修了試験
備考 <ul style="list-style-type: none">・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。・PMI®、PMP®、<i>PMBOK®</i>ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/VOSK
XDM/PDM II
Hitachi Advanced Data Binder フラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/サーバ仮想化
IT サービスマネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

IT戦略・IS企画/システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション開発
Webアプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HIRDB
OpenTP1
VOS3/VOS1/ VOSK
XDM/PDMII
Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム
IoT
ビッグデータ
クラウド/ サーバ仮想化
ITサービス マネジメント
システム基盤
UNIX/Linux
Microsoft
ネットワーク
セキュリティ
データベース

HSE030	ビジネスセンスアップ
	<eラーニング> 経世済民の哲学としての朱子学
平均10時間	
朱子学を通じてモラルセンスの向上を学習します。経世済民(世の乱れを治め、人の苦しみを救うこと)をめざす実践的かつ人道的な朱子学ならびに陰陽五行、医学など中国思想を広く学習します。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 朱子学で使われる主要な用語を理解できる。 朱子学の概要を理解できる。 朱子学を自身のモラルセンス向上に役立てることができる。
対象者	自己のモラルセンスを高め、より良い社会、顧客価値を追求したい方、リーダーとしてコンプライアンス意識向上の必要性を感じている方。
前提知識	特に必要としません。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 朱子学の誕生 <ol style="list-style-type: none"> 朱子学とは 朱子学から見た宇宙 <ol style="list-style-type: none"> 世の中を構成する理と気を知る 朱子学から見た人間 <ol style="list-style-type: none"> 自分自身の法則を知り、道心にしたがう 朱子学から見た人生 <ol style="list-style-type: none"> 天命を果たすために困難に立ち向かい学ぶことで自分を鍛える 朱子学から見た学問 <ol style="list-style-type: none"> モラルセンスのある人になるために学ぶ 朱子学から見た教育 <ol style="list-style-type: none"> 本来の意味で豊かな社会を実現するための教育 朱子学の展開 <ol style="list-style-type: none"> これからのトップやリーダーに求められる素質とは 修了試験
備考	<ul style="list-style-type: none"> 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

HSE029	ビジネスセンスアップ
	<eラーニング> (PDU) 孫子の兵法を現代に役立てる方法 PDU
平均10時間	
孫子の兵法の概要を理解したうえで、その教えを現代に活かすための考え方を学習します。このコースでは、「孫武の兵法」に加え、戦国時代の「孫びんの兵法」の両方を紹介します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 10ポイント)の取得が可能です。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 孫子の兵法の概要を理解できる。 孫子の兵法を活用するための思考方法を会得できる。
対象者	「孫子の兵法」に興味のある方、これから戦略を学びはじめる方で古典を知っておきたい方。
前提知識	特に必要としません。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 孫武の兵法 始計から謀攻まで <ol style="list-style-type: none"> 中国兵法を現代のビジネスに活かすにあたり必要なこと 孫武の兵法 軍形から虚实まで <ol style="list-style-type: none"> 戦わずして勝つ方法 孫武の兵法 軍争から行軍まで <ol style="list-style-type: none"> 戦わずして勝つ方法 孫武の兵法 地形から用間まで <ol style="list-style-type: none"> 状況や環境に応じてやり方を変える 孫びんの兵法 擒ウ涓から殺士まで <ol style="list-style-type: none"> 成功には信用と正義が欠かせない 孫びんの兵法 延気から將墓まで <ol style="list-style-type: none"> イマジネーションを働かせて活用方法を考える 孫びんの兵法 將徳から奇正まで <ol style="list-style-type: none"> 事前に準備をし、勝ちに行ける状態を作っておく 修了試験
備考	<ul style="list-style-type: none"> 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

HSE073	ビジネスセンスアップ
	<eラーニング> (PDU) リーダーに必要な人間力 三国志から学ぶリーダー学 PDU
平均10時間	
正史「三国志」にもとづき、主な登場人物-魏の曹操、蜀の劉備、呉の孫権、蜀の諸葛亮、魏の司馬懿らを取り上げ、彼らがこの激動の時代を、どう生き抜いたのか、また、リーダーとしてどんな長所を持っていたのかを紹介いたします。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 10ポイント)の取得が可能です。	
到達目標	激動の時代を生きた「三国志」のリーダーから、現代を生きる知略と勇気を学ぶ。
対象者	3年以上の業務経験がある方。
前提知識	特に必要としませんが、「三国志」ならびに登場人物に関して、基本知識があると理解が深まります。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 非常の人、曹操1 非常の人、曹操2 蜀の劉備 呉の孫権 戦略家、諸葛亮1 名宰相、蜀の諸葛亮2 権謀家、魏の司馬懿 修了試験
備考	<ul style="list-style-type: none"> 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) このコースは、SBI大学院大学の「守屋洋の『三国志』」をカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

IT戦略・IS企画/ システム設計
IT戦略・IS企画
システム設計
アプリケーション 開発
Web アプリケーション
スマートデバイス
オブジェクト指向/ UML
言語
IT基本
IT基本
ハードウェア
情報処理資格
情報リテラシ
プロジェクト マネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ ヒューマン
グローバル

HSE006	英語
	<eラーニング> TOEIC® TEST 完全達成 470
TOEIC® TESTに向けてListening、Readingを学習します。	
到達目標	TOEIC® TESTのスコア400点台後半を取得できる。
対象者	TOEIC® TESTのスコア500点台突破をめざす初級者の方。
前提知識	Windowsの基本的な操作経験があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> Listening <ol style="list-style-type: none"> エクササイズとクイズ 章末テスト Reading <ol style="list-style-type: none"> エクササイズとクイズ 章末テスト Vocabulary <ol style="list-style-type: none"> エクササイズとクイズ
備考	<ul style="list-style-type: none"> 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) Listening、Reading、Vocabularyの三つのセクションがあります。各セクションは、12個のユニットで構成されています。各ユニットには、エクササイズとクイズを収録しています。 このコースの内容は、20~30時間の学習を想定しています。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

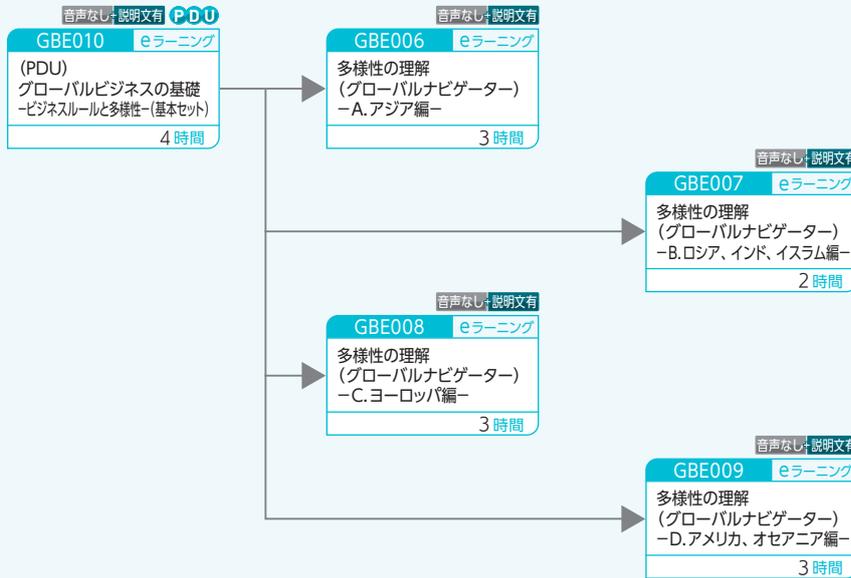
HSE007	英語
	<eラーニング> TOEIC® TEST 完全達成 650
TOEIC® TESTに向けてListening、Readingを学習します。	
到達目標	TOEIC® TESTのスコア500点台後半を取得できる。
対象者	TOEIC® TESTのスコア600点台突破をめざす初級者の方。
前提知識	Windowsの基本的な操作経験があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> Listening <ol style="list-style-type: none"> エクササイズとクイズ 章末テスト Reading <ol style="list-style-type: none"> エクササイズとクイズ 章末テスト Vocabulary <ol style="list-style-type: none"> エクササイズとクイズ
備考	<ul style="list-style-type: none"> 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) Listening、Reading、Vocabularyの三つのセクションがあります。各セクションは、12個のユニットで構成されています。各ユニットには、エクササイズとクイズを収録しています。 このコースの内容は、20~30時間の学習を想定しています。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

HSE008	英語
	<eラーニング> TOEIC® TEST 完全達成 730
TOEIC® TESTに向けてListening、Readingを学習します。	
到達目標	TOEIC® TESTのスコア600点台後半を取得できる。
対象者	TOEIC® TESTのスコア700点台突破をめざす初級者の方。
前提知識	Windowsの基本的な操作経験があること。
内容	<ol style="list-style-type: none"> Listening <ol style="list-style-type: none"> エクササイズとクイズ 章末テスト Reading <ol style="list-style-type: none"> エクササイズとクイズ 章末テスト Vocabulary <ol style="list-style-type: none"> エクササイズとクイズ
備考	<ul style="list-style-type: none"> 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) Listening、Reading、Vocabularyの三つのセクションがあります。各セクションは、12個のユニットで構成されています。各ユニットには、エクササイズとクイズを収録しています。 このコースの内容は、20~30時間の学習を想定しています。 このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

グローバル

グローバルでビジネスを進めるうえで必要となるスキル(グローバルマインドセット、各国の動機付け要因、反発要因など)が修得できます。

● 多様性について理解を深めたい方



● グローバルなコミュニケーション力をつけたい方

GBD001 グループ演習
情理と論理のグローバルコミュニケーション-日本文化に根ざし、人間力で考える戦略思考-
1 日間

● 中国ビジネスを学びたい方

GBE013 eラーニング
(PDU)中国ビジネスの鉄則 1
-社会や産業の特徴-
5 時間
音声有, 説明文なし PDU ※1

GBE014 eラーニング
(PDU)中国ビジネスの鉄則 2
-国有企業、民間企業、外資系企業-
5 時間
音声有, 説明文なし PDU ※1

※1: SBI大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

● インドビジネスを学びたい方

GBE011 eラーニング
(PDU)インドビジネスの鉄則 1
-歴史・文化-
6 時間
音声有, 説明文なし PDU ※1

GBE012 eラーニング
(PDU)インドビジネスの鉄則 2
-人材、交渉-
5 時間
音声有, 説明文なし PDU ※1

※1: SBI大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

音声有 + 説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有 + 説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし + 説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。



日立製品

JP1

uCosminexus
Application Server

HiRDB

OpenTP1

VOS3/VOS1/
VOSK

XDM/PDMII

Hitachi Advanced Data
Binder プラットフォーム

IoT

ビッグデータ

クラウド/
サーバ仮想化

IT サービス
マネジメント

システム基盤

UNIX / Linux

Microsoft

ネットワーク

セキュリティ

データベース

IT戦略・IS企画/
システム設計

IT戦略・IS企画

システム設計

アプリケーション
開発

Web
アプリケーション

スマートデバイス

オブジェクト指向/
UML

言語

IT 基本

IT 基本

ハードウェア

情報処理資格

情報リテラシ

プロジェクト
マネジメント

コンプライアンス

ビジネス/
ヒューマン

グローバル

GBE010	グローバル
	<eラーニング> (PDU) グローバルビジネスの基礎 -ビジネスルールと多様性- (基本セット) PDU 平均4時間
	グローバル化モデルの7つの思考パターンを理解し、身につけるとともに、多様な人たちの心の構造を読み解く土台となる「文化の世界地図」、各国別の動機付け要因、反発要因に関する辞書を身につけます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:4ポイント)の取得が可能です。
到達目標	・1990年代に起こった世界のグローバル市場化の意味合いを理解し、そこで生きていくためのルールが分かる。 ・民族のアイデンティティや文化のDNAを把握できるようになる。 ・グローバル人材度のチェックを行い、今後の修得必要分野を知る。
対象者	グローバルビジネスに関わる方。
前置知識	特に必要としません。
内容	1. グローバル時代のモデルチェンジ -新しい方程式へのコベルニクスの転換を！- 2. グローバルマインドの設定 世界市場で競争力を持つ7つの思考パターンを身につける 3. 文化の世界地図 70億の多様な人たちの心の構造を読み解く 4. グローバルナビゲーター 国別理解による事例の分析→心の中の世界地図に具体性を持たせる→ (1)米国 (2)中国 (3)日本 5. グローバル人材度アセスメント 30問のアセスメントでグローバル人材度をセルフチェック(解説付き)
備考	・説明の画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®ガイド</i> 、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

GBE006	グローバル
	<eラーニング> (PDU) 多様性の理解(グローバルナビゲーター) A.アジア編 平均3時間
	日本、中国、台湾、香港、韓国、フィリピン、ベトナム、シンガポール、タイの文化/思想/価値観/習慣等について学習します。このコースは「<eラーニング>(PDU)グローバルビジネスの基礎-ビジネスルールと多様性-(基本セット)」(コースコード:GBE010)のオプションです。
到達目標	日本、中国、台湾、香港、韓国、フィリピン、ベトナム、シンガポール、タイの文化的層や動機付け要因、反発要因をふまえて行動できる。
対象者	グローバルビジネスに現在または将来関わる方。
前置知識	「<eラーニング>(PDU)グローバルビジネスの基礎-ビジネスルールと多様性-(基本セット)」を修了していること。
内容	日本、中国、台湾、香港、韓国、フィリピン、ベトナム、シンガポール、タイそれぞれについての、 1. 史的文化的層 2. カルチャル・モチベータ 3. カルチャル・デモティベータ
備考	・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

GBE007	グローバル
	<eラーニング> (PDU) 多様性の理解(グローバルナビゲーター) B.ロシア、インド、イスラム編 平均2時間
	ロシア、インド、インドネシア、マレーシア、ブルネイ、カザフスタン、パキスタン、サウジアラビアの文化/思想/価値観/習慣等について学習します。このコースは「<eラーニング>(PDU)グローバルビジネスの基礎-ビジネスルールと多様性-(基本セット)」(コースコード:GBE010)のオプションです。
到達目標	ロシア、インド、インドネシア、マレーシア、ブルネイ、カザフスタン、パキスタン、サウジアラビアの史的文化的層、動機付け要因、反発要因をふまえて行動できる。
対象者	グローバルビジネスに現在または将来関わる方。
前置知識	「<eラーニング>(PDU)グローバルビジネスの基礎-ビジネスルールと多様性-(基本セット)」を修了していること。
内容	ロシア、インド、インドネシア、マレーシア、ブルネイ、カザフスタン、パキスタン、サウジアラビアそれぞれについての、 1. 史的文化的層 2. カルチャル・モチベータ 3. カルチャル・デモティベータ
備考	・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

GBE008	グローバル
	<eラーニング> (PDU) 多様性の理解(グローバルナビゲーター) C.ヨーロッパ編 平均3時間
	ドイツ、スイス、フランス、イタリア、オーストラリア、ポーランド、オランダ、スペイン、イギリスの文化/思想/価値観/習慣等について学習します。このコースは「<eラーニング>(PDU)グローバルビジネスの基礎-ビジネスルールと多様性-(基本セット)」(コースコード:GBE010)のオプションです。
到達目標	ドイツ、スイス、フランス、イタリア、オーストラリア、ポーランド、オランダ、スペイン、イギリスの史的文化的層、動機付け要因、反発、要因をふまえて行動できる。
対象者	グローバルビジネスに現在または将来関わる方。
前置知識	「<eラーニング>(PDU)グローバルビジネスの基礎-ビジネスルールと多様性-(基本セット)」を修了していること。
内容	ドイツ、スイス、フランス、イタリア、オーストラリア、ポーランド、オランダ、スペイン、イギリスそれぞれについての、 1. 史的文化的層 2. カルチャル・モチベータ 3. カルチャル・デモティベータ
備考	・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

GBE009	グローバル
	<eラーニング> (PDU) 多様性の理解(グローバルナビゲーター) D.アメリカ、オセアニア編 平均3時間
	カナダ、米国、アルゼンチン、ブラジル、メキシコ、オーストラリア、ニュージーランドの文化/思想/価値観/習慣等について学習します。このコースは「<eラーニング>(PDU)グローバルビジネスの基礎-ビジネスルールと多様性-(基本セット)」(コースコード:GBE010)のオプションです。
到達目標	カナダ、米国、アルゼンチン、ブラジル、メキシコ、オーストラリア、ニュージーランドの史的文化的層、動機付け要因、反発要因をふまえて行動できる。
対象者	グローバルビジネスに現在または将来関わる方。
前置知識	「<eラーニング>(PDU)グローバルビジネスの基礎-ビジネスルールと多様性-(基本セット)」を修了していること。
内容	カナダ、米国、アルゼンチン、ブラジル、メキシコ、オーストラリア、ニュージーランドそれぞれについての、 1. 史的文化的層 2. カルチャル・モチベータ 3. カルチャル・デモティベータ
備考	・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

GBD001	グローバル
	情理と論理の グローバルコミュニケーション -日本文化に根ざし、人間力で考える戦略思考- 1日間
	一般的な「勝つ」ためのディベートではなく、情理と論理を総動員しながら相手の意見を尊重し、学びながら自分の意見もしっかりと主張する体験の場を提供します。講師の深い経験と実践に裏づけされたファシリテーションにより、グローバルビジネスパーソンとして無理なくレベルアップできます。キーワードは、空(くう)(ハラ)で考えることであり、日本文化に根ざした、お互いを啓発しあうディベートを通じて新たなビジネス領域(道)を切り拓きます。
到達目標	英語環境の中で、情理と論理を総動員した議論を通して相互に学びあい真理を探究することが、自然なこととしてとらえられ、実践できるようになる。またグローバルコミュニケーションの中で、日本人としての強みを発揮できるようになる。
対象者	中堅のITエンジニア職、営業職新事業、新サービス創出、グローバル事業に関わる方。
前置知識	特に必要としません。
内容	1. はじめに (1)日本のビジネスパーソンに求められるもの (2)グローバルコミュニケーション能力とは 2. 論理の基本を体感する (1)「Why Because」の解説 (2)「Why Because」ゲーム 3. 情理と論理が融合するディベート (1)情理と論理が融合するディベート体験 (2)納得をめざす六角ディベート体験 4. まとめ
備考	・このコースは、9:00～17:20の開催とさせていただきます。 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。 ・このコースは日本語、英語(TOEIC500点程度(目安)両方で実施されます。

GBE013	グローバル
	<eラーニング> (PDU) 中国ビジネスの鉄則 1 -社会や産業の特徴- PDU 平均5時間
	中国人はビジネスに際し、他人に対しては徹底的、友人に対しては寛容であり、信頼できる相手であるかどうかを慎重に見極めようとし、中国ビジネス成功の鍵は、中国でうまくネットワークを築くことにあります。このコースでは、中国ビジネスを理解するために、まず中国の社会・経済の特色について学習します。そして中国企業の企業形態や株式市場を詳しく見ていながら、中国でのビジネスについて学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:5ポイント)の取得が可能です。
到達目標	中国企業の実態を理解するための基礎知識を身につけ、中国企業とビジネスで関わる場合に必要な知識を修得できる。
対象者	中国とのビジネスに現在および将来関わる方。
前置知識	特に必要としません。
内容	1. 企業を取り巻く社会環境 2. 産業の特徴 3. 企業形態と株式市場の成長 4. 修了試験
備考	・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®ガイド</i> 、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

GBE014	グローバル
	<eラーニング> (PDU) 中国ビジネスの鉄則 2 -国有企業、民間企業、外資系企業- PDU 平均5時間
	中国人はビジネスに際し、他人に対しては徹底的、友人に対しては寛容であり、信頼できる相手であるかどうかを慎重に見極めようとし、中国ビジネス成功の鍵は、中国でうまくネットワークを築くことにあります。このコースでは、中国ビジネスを理解するために、国有企業、民間企業、外資系企業それぞれについて特徴を詳しく見ていながら、グローバルな環境で活動を行うための組織の政治的風土・文化について学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:5ポイント)の取得が可能です。
到達目標	中国企業の実態を理解するための基礎知識を身につけ、中国企業とビジネスで関わる場合に必要な知識を修得できる。
対象者	中国とのビジネスに現在および将来関わる方。
前置知識	「(PDU)インドビジネスの鉄則 1-歴史と文化-」eラーニングコースの後続コースのため、前提として同コースの受講を推奨します。
内容	1. 国有企業 2. 民間企業 3. 外資系企業 4. 中国企業のグローバル経営 5. 修了試験
備考	・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®ガイド</i> 、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

GBE011	グローバル
	<eラーニング> (PDU) インドビジネスの鉄則 1 -歴史と文化- PDU 平均6時間
	インドは近年、その人口による巨大な市場と経済発展から、世界的な存在感を高めています。また一方で古くから日本との交流があり、近年でも各分野において経済提携が進んでいます。しかし、ビジネスを交流させるに至るまでの理解に至っていない場合も多く見ることができます。このコースでは、インドにビジネス進出をするに必要な考え方(歴史・文化・宗教等)について学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:6ポイント)の取得が可能です。
到達目標	インドにおいてビジネスを展開する場合に必要な、文化的背景や歴史、現在のインド事情について説明できる。
対象者	インドとのビジネスに現在および将来関わる方。
前置知識	特に必要としません。
内容	1. インドの紹介、歴史 2. インドの各地域の文化とビジネスの関係 3. インドの宗教とビジネスの関係 4. インドの優秀な人材を作る、教育制度 5. 修了試験
備考	・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®ガイド</i> 、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

GBE012	グローバル
	<eラーニング> (PDU) インドビジネスの鉄則 2 -人材、交渉- PDU 平均5時間
	インドにビジネス進出をするに必要な考え方について学習します。このコースは、PMP資格更新に必要なポイント(PDU:5ポイント)の取得が可能です。
到達目標	・インドへ進出してビジネスを成功させるにおいて必要なポイントについて理解を深める。 ・インド人との交渉の方法、インド人の考え方などについて、日本人が誤解しがちな注意に言及し、インドビジネスを成功に導く戦略的思考について学ぶ。
対象者	グローバルビジネスに関わる方。
前置知識	特に必要としませんが、「(PDU)インドビジネスの鉄則 1-歴史と文化-」eラーニングコースの後続コースのため、前提として同コースの受講を推奨します。
内容	1. 日印関係 2. インドの国際取引関係 3. ケーススタディとビジネスの将来 4. 修了試験
備考	・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。) ・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。 ・PMI®、PMP®、 <i>PMBOK®ガイド</i> 、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

東京地区

東京(大森)

大森ベルポートD館5階・12階・13階

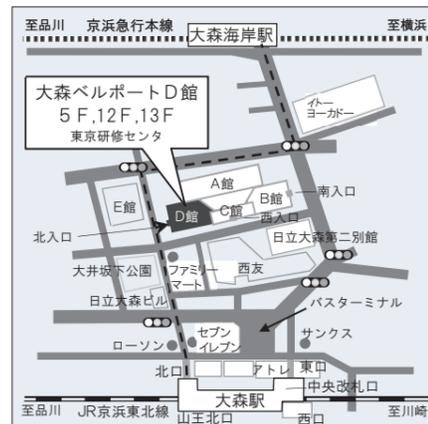
(株)日立インフォメーションアカデミー
東京研修センター

品川区南大井6丁目26番3号(〒140-0013)
電話 (03) 5471-8962
FAX (03) 5471-2564

- JR京浜東北線 大森駅北口(改札を出て右)より徒歩約3分
- 京浜急行線 大森海岸駅より徒歩約5分

※当ビル西入口、または北入口、南入口よりアトリウムに入り、D館入口のエレベータにてご来場ください。
※エレベータは、7:30~9:30、12:00~13:00の時間帯は特別運転となりますので、ご入館の際にはご注意くださいようお願いいたします。

- 12階/13階へお越しの方 ▶D館正面入口の左側エレベータをご利用ください。
 - 5階へお越しの方 ▶D館正面入口の右側エレベータをご利用ください。
- ※「日立講習会受講ご案内(受講券)」に記載の研修室をご確認の上、直接研修室へお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



大阪地区

大阪

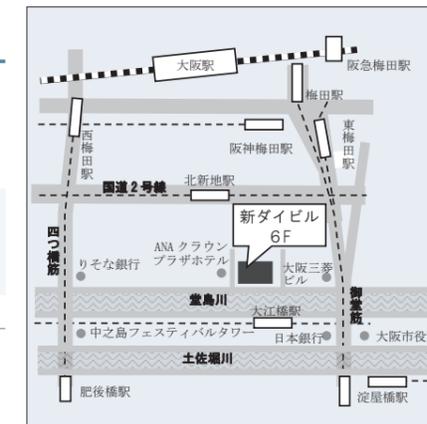
新ダイビル6階

(株)日立インフォメーションアカデミー
大阪研修センター

大阪市北区堂島浜1丁目2番1号(〒530-0004)
電話 (06) 4797-7360
FAX (06) 4797-7361

- 京阪中之島線 大江橋駅より徒歩約2分
- 地下鉄御堂筋線/京阪本線 淀屋橋駅より徒歩約5分
- JR東西線 北新地駅より徒歩約5分
- 地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より徒歩約7分

※受付は研修室で行いますので、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



東京地区

提携コースの研修会場

会場地図は、当社Webサイト(<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/intro/bureau/index.html>)よりご確認ください。

開催地区	住所・会場名
六本木(FXLI)	〒106-0032 東京都港区六本木3-1-1 六本木ティーキューブ14階 (株)富士ゼロックス総合教育研究所
白金台(BrainPad)	〒108-0071 東京都港区白金台3-2-10 白金台ビル3階 (株)ブレインパッド
浜松町(GSX)	〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1 スズベイディアム4階 グローバルセキュリティエキスパート(株)東京本社
神保町(インソース)	〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-20 第2龍名館ビル2階【第2龍名館ビル会場】 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-23 神田近江屋ビル4階【神田近江屋ビル会場】 (株)インソース
茅場町(アイ・ラーニング)	〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町4-3 国際箱崎ビル2階、5~7階 (株)アイ・ラーニング
築地(KSK)	〒104-0045 東京都中央区築地2-7-10 築地シティプラザ6階 (株)KSKアナリティクス
麹町(ITプレナーズ)	〒102-0083 東京都千代田区麹町2-3-3 FDC麹町ビル5階 (株)ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック

名古屋地区

名古屋

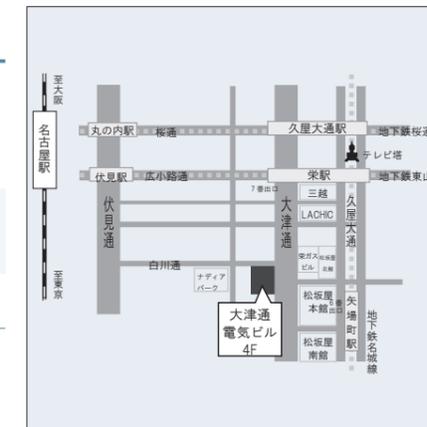
大津通電気ビル4階

(株)日立インフォメーションアカデミー
名古屋研修センター

名古屋市中区栄3丁目17番12号(〒460-8435)
電話 (052) 269-8940
FAX (052) 261-8276

- 地下鉄名城線 矢場町駅6番出口から西へ徒歩2分
- 地下鉄東山線 栄駅 サカエチカ7番出口から南へ徒歩5分

※4階にてコース別会場案内をご確認の上、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



広島地区

広島

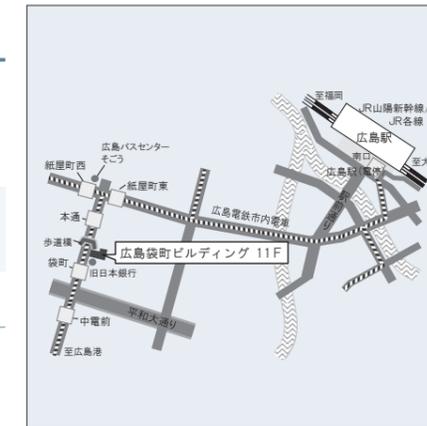
広島袋町ビルディング11階

(株)日立インフォメーションアカデミー
広島研修センター

広島市中区袋町5番25号(〒730-0036)
電話 (082) 546-6172
FAX (082) 546-6173

- 広島電鉄(市内電車)宇品線 袋町(電停)より徒歩約1分
- 広島バスセンターより徒歩約8分

※受付は研修室で行いますので、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



福岡地区

福岡

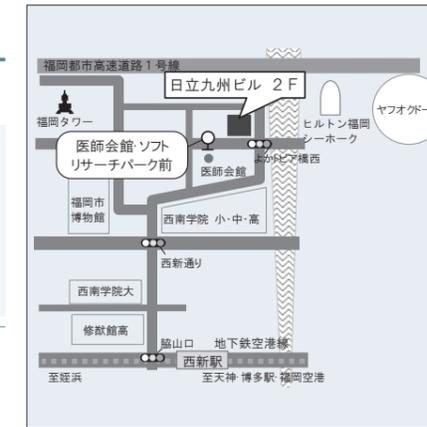
日立九州ビル2階

(株)日立インフォメーションアカデミー
福岡研修センター

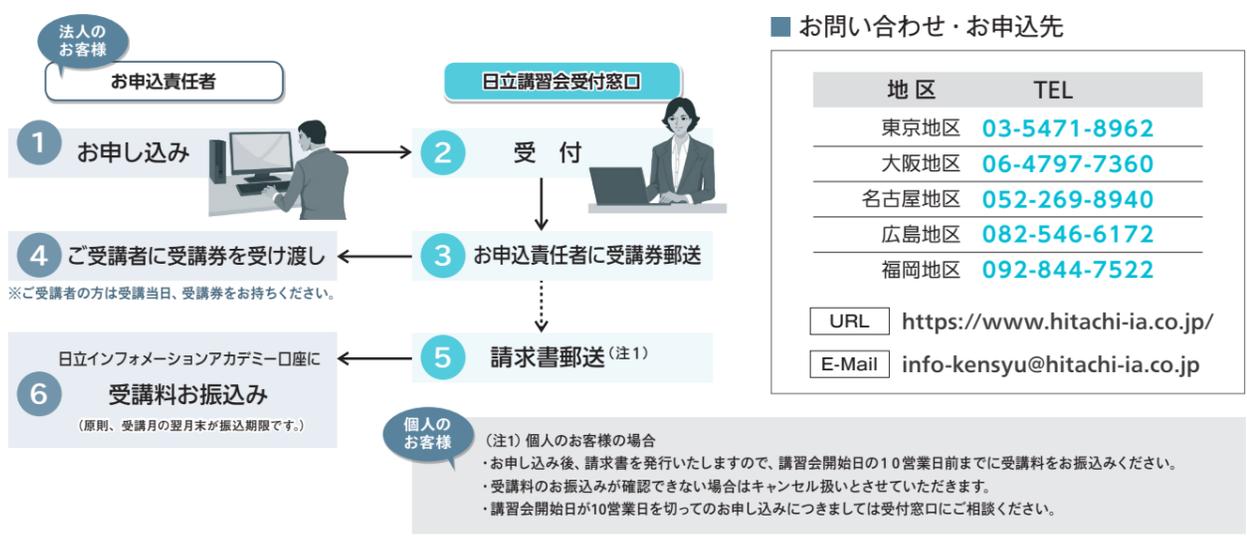
福岡市早良区百道浜2丁目1番1号(〒814-8577)
電話 (092) 844-7522
FAX (092) 844-7580

- 天神高速バスターミナル前(1A)のりばより、[302][W1][W2]などのバスに乗り、医師会館・ソフトリサーチパーク前にて下車。<所要時間:約20分>
- 博多バスターミナル1F(5)(6)のりばより、[306][312][直行]などのバスに乗り、医師会館・ソフトリサーチパーク前にて下車。<所要時間:約30分>(地下鉄の場合は、西新駅より約1.5kmです。バスまたは徒歩にてお越しください。)

※1階受付で「日立講習会受講ご案内」(受講券)を提示し、入館証をお受け取りのうえ、該当研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



日立講習会 集合研修のお申し込みからご受講までの流れ



お申し込み

●お申込責任者の方は、(株)日立インフォメーションアカデミーのホームページ (URL >>> <https://www.hitachi-ia.co.jp/>)からお申し込みいただくか、または「日立講習会お申込書(集合研修用)」をダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、ご受講希望地区の上記受付窓口までメール、または日立営業経由にてお申し込みください。ホームページをご利用できない場合は、ご受講希望地区の上記受付窓口までお問い合わせください。

なお、お申し込みの前には必ずコース内容および以下についてご確認ください。

- 日立製品研修(P.18参照)
 - ・「日立製品研修受講規約」
 - ・「株式会社日立製作所個人情報保護に関して(保護方針と要旨)」
 - ・「株式会社日立インフォメーションアカデミー個人情報保護に関して」
- IT/ビジネス研修(P.18参照)
 - ・「IT/ビジネス研修受講規約」
 - ・「株式会社日立インフォメーションアカデミー個人情報保護に関して」

上記についてお申込責任者および受講される本人がこれらについてご了承または同意のうえお申し込みください。

- お申し込みは、原則として講習会開始日の10営業日前までにお願いいたします。
- お申し込みの受付は、先着順にしておりますので、定員になり次第締め切らせていただきます。
- ご希望の講習会が最少開催人数に達しない場合には、やむを得ず中止にさせていただきます。あらかじめご了承ください。

受講料お支払い

- 法人のお客様の場合は、原則として受講月の月末締めで、請求書をお申込責任者の方にお送りいたします。請求書に記載のお振込み期限(原則、受講月の翌月末)までに下記口座にお振込みください。
- 個人のお客様の場合は、お申し込み後、請求書を発行いたしますので、講習会開始日の10営業日前までに受講料を下記口座にお振込みください。受講料のお振込みが確認できない場合はキャンセル扱いとさせていただきます。講習会開始日が10営業日を切ったお申し込みにつきましては受付窓口にご相談ください。
- お振込手数料は、お客様のご負担をお願いいたします。

振込先銀行：三菱東京UFJ銀行 大森駅前支店
普通預金口座 口座番号 1105485
口座名称 (株)日立インフォメーションアカデミー

※日立製品研修は(株)日立製作所が提供する研修サービスです。
(株)日立インフォメーションアカデミーは(株)日立製作所からの委託を受けて日立製品研修の実施・運営を行い、また、日立製品研修の申込み受付請求書発行および受講料の受領については(株)日立製作所の代理人として対応します。

ご受講にあたって

- お申し込み受付後、「日立講習会受講ご案内」(以下、「受講券」といいます。)をお申込責任者の方へお送りします。
- 「受講券」には、お申込地区の地図や会場(研修室)、開催時間等を記載しておりますので、内容をご確認のうえ、ご受講日に必ずお持ちください。
- 「受講券」が講習会開始日の1週間前までに到着しない場合には、お申し込みの受付窓口まで、お問い合わせください。
- 「受講券」発送後に諸事情により講習会の開催を中止させていただく場合がありますので、あらかじめご承知おきください。
- 講習会で使用するテキスト教材等は、当日会場にてお渡ししております。事前のお引き渡しは行っていません。
- 駐車場はありませんので、車のご来場はご遠慮ください。
- ご受講中の方との連絡は「ご伝言」とさせていただきます。お電話でのお取り次ぎはできませんので、あらかじめご了承ください。また、ご受講中に携帯電話等の使用は、他のお客様へのご迷惑となりますので、ご遠慮いただいております。
- 研修会場内での撮影または録音は、禁止させていただきます。
- あらかじめ体調をご確認のうえ、講習会にご参加いただくようお願いいたします。インフルエンザなどの感染が懸念される場合は参加をお控えくださいますようお願いいたします。

変更・キャンセル

- ご都合により、受講者・受講日を変更、もしくはキャンセルされる場合は「日立講習会変更/キャンセル連絡票」をホームページからダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、講習会開始日の10営業日前までに、お申し込みの受付窓口までメールにてご連絡ください。

<キャンセル規定>

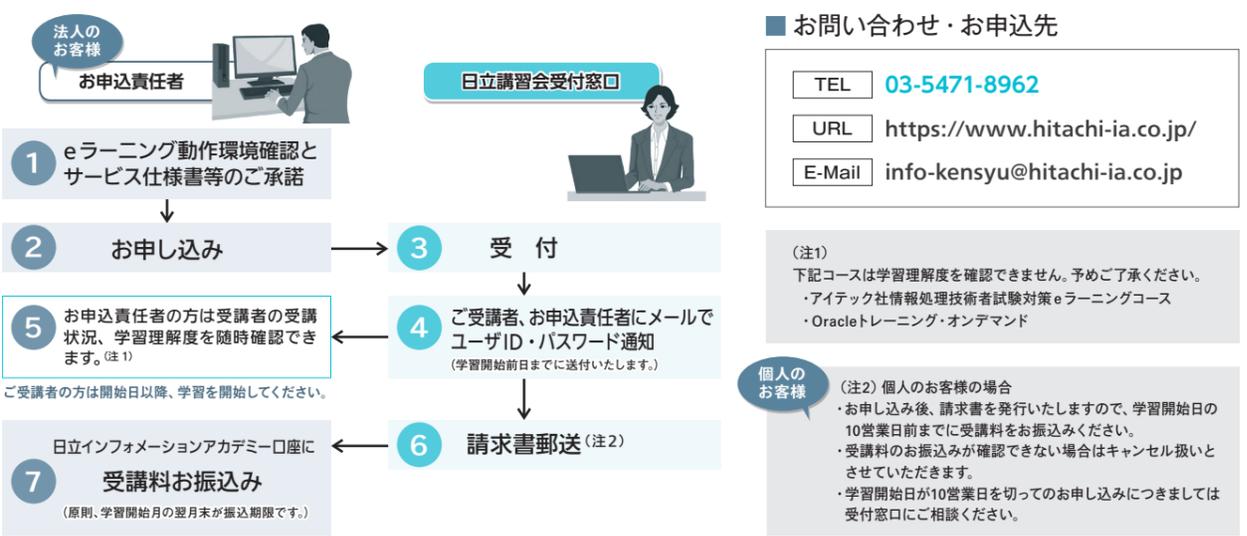
学習形態	受講者、受講日変更およびキャンセル締切日
集合研修	講習会開始日の10営業日前
eラーニング	学習開始日の10営業日前

- なお、変更・キャンセル締切日を過ぎての変更・キャンセルにつきましては、受講料を全額請求させていただきます。すでに受講料をお支払いいただいている場合は、受講料は返金いたしません。また、下記コースは個別に変更・キャンセル締切日を設定しております。詳細はホームページのコース詳細ページの備考に明記しておりますのでご確認ください。
- ・VMware社認定コース
- ・グローバルセキュリティエキスパート社コース
- ・事前課題/事前学習ありコース

講習会標準開催時間

- 講習会の開始時間は9:30、終了時間は16:30が標準となっております。コースによっては時間が異なる場合がありますので、「受講券」にてご確認ください。なお、講習会の進捗により終了時間が予定時刻を超える場合があります。あらかじめご了承ください。
- 開催時間が変更になる場合には「受講券」にてお知らせいたします。

日立講習会 eラーニングのお申し込みからご受講までの流れ



お申し込み

- お申込責任者の方は、(株)日立インフォメーションアカデミーのホームページ (URL >>> <https://www.hitachi-ia.co.jp/>)からお申し込みいただくか、または「日立講習会お申込書(eラーニング用)」をダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、上記のお申込先までメール、または日立営業経由にてお申し込みください。
- なお、お申し込みの前には必ずコース内容、動作環境、eラーニングサービス仕様書(上記ホームページに掲載)、および以下についてご確認ください。

- 日立製品研修(P.18参照)
 - ・「日立製品研修受講規約」
 - ・「株式会社日立製作所個人情報保護に関して(保護方針と要旨)」
 - ・「株式会社日立インフォメーションアカデミー個人情報保護に関して」
- IT/ビジネス研修(P.18参照)
 - ・「IT/ビジネス研修受講規約」
 - ・「株式会社日立インフォメーションアカデミー個人情報保護に関して」

上記についてお申込責任者および受講される本人がこれらについてご了承または同意のうえお申し込みください。

- 動作環境はコースによって異なりますので、上記ホームページから各コースの動作環境をご確認ください。
- お申し込みは、原則として学習開始日の10営業日前までにお願いいたします。一部のコースにおきましては、人数制限がありますので定員になり次第締め切らせていただきます。
- ご受講にあたって、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となりますので、ご了承ください。

受講料お支払い

- 法人のお客様の場合は、原則として学習開始月の月末締めで、請求書をお申込責任者の方にお送りいたします。請求書に記載のお振込み期限(原則、学習開始月の翌月末)までに下記口座にお振込みください。個人のお客様の場合は、お申し込み後、請求書を発行いたしますので、学習開始日の10営業日前までに受講料を下記口座にお振込みください。受講料のお振込みが確認できない場合はキャンセル扱いとさせていただきます。学習開始日が10営業日を切ったお申し込みにつきましては受付窓口にご相談ください。
- お振込手数料は、お客様のご負担をお願いいたします。
- ご入金のご確認ができなかった場合、やむを得ずご利用を停止させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
- eラーニングの中止・変更等(株)日立製作所および(株)日立インフォメーションアカデミーの責に帰すべき場合は、お振込みいただいた受講料を返金いたします。

振込先銀行：三菱東京UFJ銀行 大森駅前支店
普通預金口座 口座番号 1105485
口座名称 (株)日立インフォメーションアカデミー

※日立製品研修は(株)日立製作所が提供する研修サービスです。
(株)日立インフォメーションアカデミーは(株)日立製作所からの委託を受けて日立製品研修の実施・運営を行い、また、日立製品研修の申込み受付請求書発行および受講料の受領については(株)日立製作所の代理人として対応します。

ご受講にあたって

- お申し込み受付後、学習開始日の前日までに、ご受講者とお申込責任者の方へ「ユーザID」と「パスワード」をメールにてご通知いたします。
- 「ユーザID」と「パスワード」の通知が届かない場合は、早急上記のお申込先までお問い合わせください。
- お申込責任者の方は、受講者の受講状況や学習理解度を随時確認できます。なお、下記コースにつきましては、学習理解度を確認できません。予めご了承ください。
- ・アイテック社情報処理技術者試験対策eラーニングコース
- ・Oracleトレーニング・オンデマンド
- eラーニングのご利用に際して通信に関わる費用は、お客様のご負担をお願いいたします。
- 演習用データ、テキストサンプル等のWeb教材、プラグインソフトのダウンロードは、お客様の責任で実施するものであり、その結果生じる障害や損害はお客様のご負担をお願いいたします。
- ヘルプデスクのサービス内容は、(株)日立インフォメーションアカデミーのホームページをご覧ください。

変更・キャンセル

- ご都合により、受講者・受講日を変更、もしくは、キャンセルされる場合は「日立講習会変更/キャンセル連絡票」をホームページからダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、学習開始日の10営業日前までに、お申し込みの受付窓口までメールにてご連絡ください。

<キャンセル規定>

学習形態	受講者、受講日変更およびキャンセル締切日
集合研修	講習会開始日の10営業日前
eラーニング	学習開始日の10営業日前

- なお、変更・キャンセル締切日を過ぎての変更・キャンセルにつきましては、受講料を全額請求させていただきます。すでに受講料をお支払いいただいている場合は、受講料は返金いたしません。

基本動作環境

- eラーニングをご利用の場合には、パソコン、Web環境が必要となります。詳細につきましては、(株)日立インフォメーションアカデミーのホームページに各コースの動作環境を掲載しておりますので、お申し込みの前には必ずご確認ください。

受講規約

日立講習会のうち、日立製品研修（株式会社日立製作所（以下、「日立」といいます。）が発行する研修サービスガイド（以下、「日立製品研修ガイド」といいます。）のP.18の日立製品研修に指定されているコース群）は、日立が提供する研修サービスです。株式会社日立インフォメーションアカデミー（以下、「日立IA」といいます。）は日立からの委託を受けて日立製品研修の実施・運営を行い、また、日立製品研修のお申し込み受付、請求書発行および受講料の受領については日立の代理人として対応します。日立製品研修のご受講に際しては、「株式会社日立製作所個人情報保護に関して（保護方針と要旨）」、「株式会社日立インフォメーションアカデミー個人情報保護に関して」、および本規約の「**■ 日立製品研修受講規約**」をご了承のうえ、お申し込みください。

日立講習会のうち、IT／ビジネス研修（日立IAが発行する研修サービスガイド（以下、「IT／ビジネス研修ガイド」といいます。）のP.18のIT／ビジネス研修に指定されているコース群）は、日立IAが提供する研修サービスです。IT／ビジネス研修のご受講に際しては、「株式会社日立インフォメーションアカデミー個人情報保護に関して」、および本規約のうち「**2 IT／ビジネス研修受講規約**」をご了承のうえ、お申し込みください。

1 日立製品研修受講規約

1-1 日立製品研修

日立製品研修は、日立が指定する研修施設・設備を利用して開催する集合研修、およびeラーニング等の総称であり、日立製品研修ガイドに記載されたもの、またはその他日立が指定するものに限られます。ただし、日立は、これらを予告なしに追加、変更または廃止することがあります。

1-2 お申し込み・開催延期／中止

日立製品研修の受講お申し込みについては日立製品研修ガイド「お申込方法」に定めるとおりとしますので、ご参照ください。日立製品研修は日立製品研修ガイド「開催スケジュール」に記載されている日程で開催されますが、日立がこの日程で都合のつかない場合には「日立講習会受講ご案内」（受講券）に記載する別の日程で開催するものとします。日立はお申し込み済のお客様に対して少なくとも5営業日前の予告をもって日立製品研修の開催を延期または中止をする権利を留保します。

1-3 受講料・消費税

日立製品研修ガイドに記載されている受講料は、少なくとも開始日の10営業日前までに書面（電子メールを含みます。）による通知で変更される場合があります。日立製品研修の受講料は開始日における日立所定の受講料が適用されます。お客様のお申し込みを日立IAがお受けした後に、受講料が変更され新受講料が発効される場合は、お客様が当該お申し込みを、少なくとも開始日の5営業日前に書面により取り消さない限り、新受講料が適用されます。受講料には日立製品研修で使用する教材の代金および機械使用料を含みますが、ご受講者の交通費および宿泊費は含みません。日立製品研修の受講料に課せられる消費税等の租税公課は、お客様のご負担とします。なお、消費税率等が変更になった場合は、日立製品研修の開始日時点の新税率を適用した金額となります。

1-4 受講料のお支払いおよび返金

受講料につきましては法人のお客様は日立製品研修ご受講後のお支払い（後払い）、個人のお客様はご受講前のお支払い（前払い）になります。日立製品研修の受講料は、お客様が日立IAからの請求書を受領後、お振込指定期日までにお支払いいただくこととします。前払いのお客様はお振込指定期日までにご入金の確認ができなかった場合は、ご受講できないことがあります。お振込手数料は、お客様のご負担とします。日立製品研修が、日立の責に帰すべき事由で中止された場合で、すでに前払いにて受講料をお支払いいただいている場合には、お振込みいただいた受講料を返金いたします。

1-5 キャンセル料

キャンセル料発生日前日までにご受講お申し込みのキャンセルお申し出があった場合は、キャンセル料は発生いたしません。また、すでに前払いにて受講料をお支払いいただいている場合は、お支払いいただいている受講料からお振込手数料を差し引いた金額を返金いたします。キャンセル発生日以降にキャンセルのお申し出があった場合はキャンセル料が発生いたします。前払いの場合はお支払いいただいた受講料は返金いたしません。また、後払いの場合は受講料全額を請求いたします。

キャンセル料発生日はお申し込みになられたコースによって異なりますので、詳しくは「5. お申込方法」の「変更・キャンセル」の項をご覧ください。

1-6 責任の制限

日立は、日立製品研修ガイドに記載された範囲（講座の内容等）で日立製品研修に関するテキスト教材、eラーニングコンテンツ等（以下、「日立製品研修教材等」といいます。）の更新と提供を行います。ただし、日立は、これらのサービスの有用性、目的適合性、正確性その他一切の結果を保証するものではありません。また、日立製品研修教材等もしくは日立製品研修における質疑応答の内容を合理的範囲で正確性を保つよう努力するものとしますが、すべての誤りが訂正されることを保証するものではありません。また、日立はサービスを提供するにあたり、インターネット、データセンター、クラウドサービス等を利用しています。日立は、商慣習において合理的な努力を払って本サービスを提供しており、日立および日立IAの責に帰すことができない事由によるサービス提供の停止については、損害賠償その他いかなる責任も負わないものとします。

日立製品研修（株式会社日立製作所（以下、「日立」といいます。）が発行する研修サービスガイド（以下、「日立製品研修ガイド」といいます。）のP.18の日立製品研修に指定されているコース群）は、日立が提供する研修サービスです。株式会社日立インフォメーションアカデミー（以下、「日立IA」といいます。）は日立からの委託を受けて日立製品研修の実施・運営を行い、また、日立製品研修のお申し込み受付、請求書発行および受講料の受領については日立の代理人として対応します。日立製品研修のご受講に際しては、「株式会社日立製作所個人情報保護に関して（保護方針と要旨）」、「株式会社日立インフォメーションアカデミー個人情報保護に関して」、および本規約の「**■ 日立製品研修受講規約**」をご了承のうえ、お申し込みください。

日立講習会のうち、IT／ビジネス研修（日立IAが発行する研修サービスガイド（以下、「IT／ビジネス研修ガイド」といいます。）のP.18のIT／ビジネス研修に指定されているコース群）は、日立IAが提供する研修サービスです。IT／ビジネス研修のご受講に際しては、「株式会社日立インフォメーションアカデミー個人情報保護に関して」、および本規約のうち「**2 IT／ビジネス研修受講規約**」をご了承のうえ、お申し込みください。

2 IT／ビジネス研修受講規約

2-1 著作権・その他知的財産権

日立が日立製品研修で提供または使用を許諾する文書・印刷物・ソフトウェア・Webサイト・コンテンツ等（以下「日立製品研修提供資料等」といいます。）の著作権またはその他知的財産権は、すべて日立または日立IA、または日立がテキスト教材、eラーニングコンテンツ、日立製品研修ガイドに記載する第三者に帰属しており、お客様は日立の事前の書面による許諾がない限り、いかなる形態においても日立製品研修提供資料等の全部、または一部について転載および複製並びに改変を行ってはならず、また日立製品研修提供資料等を第三者へ開示または提供（貸与や使用許諾を含みます）もしくは譲渡してはならないものとします。

2-1-8 損害賠償

日立製品研修に関してお客様が被った損害に対する日立の損害賠償責任は、債務不履行、法律上の瑕疵担保責任、不当利得、不法行為、その他請求原因・訴訟形態のいかんにかかわらず、お客様に当該日立製品研修の受講料としてお支払いいただいた金額を限度とします。日立は、いかなる場合にも逸失利益、無体物に生じた損害、第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害、特別損害等について、一切責任を負わないものとします。なお、日立は、当該損害賠償責任に代えて、日立が合理的と判断した日立製品研修の再提供を行うことができるものとします。

2-1-9 暴力団等の排除

日立は、お客様またはその関係者が次の各号のいずれか一つに該当したときは、お客様へ何ら催告することなく、直ちに本契約を解除することができるものとします。

- ①日立および講師等の指示に従わないとき、または他の受講者に迷惑になるような行為、言動を行ったとき。
- ②公序良俗に違反、または犯罪に結びつくおそれのある言動を行ったとき。
- ③日立または日立の利害関係者へ誹謗中傷をしたと認められる事実があるとき。
- ④暴力団員、準構成員、暴力団関係企業、特殊知能暴力団その他これに準じる者、またはこれらの者と密接なかわりを持つ者であることが判明したとき。
- ⑤自ら、または第三者を利用して、暴力的な要求行為、法的責任を超える不当な要求行為、詐欺・脅迫行為、業務妨害行為その他これに準じる行為を行ったとき。
- ⑥その他、お客様が日立製品研修を利用することについて不適切と日立が判断した場合。

2-1-10 受講規約の変更

日立は、本規約その他の日立製品研修に関するお客様と日立との契約を必要に応じて変更できるものとし、お客様への通知をもって変更の効力が適用されることとします。また、日立は、本規約に別に定める場合を除き、日立製品研修ガイドを予告なしに変更できるものとします。

2-1-11 その他

- ・当事者の一方に、本規約その他の日立製品研修に関するお客様と日立との契約上の不履行がある場合には、書面による通知により日立製品研修のお申し込みを取り消すことができるものとします。
- ・日立は、日立製品研修の受講により、お客様が特定の知識や技術等を修得されることを保証するものではありません。また、日立製品研修がお客様保有の特定の目的に対し、適合・有益・最適であることを保証するものではありません。これらはお客様の責任で決定いただきたくお願い申し上げます。
- ・本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取ります。また、本製品とは、研修で取り扱った知識・技術、スキル、テキスト教材および相当資料、eラーニングコンテンツとします。なお、ご不明な場合は日立担当営業にお問い合わせください。
- ・日立製品研修ガイドに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

2 IT／ビジネス研修受講規約

2-1 IT／ビジネス研修

IT／ビジネス研修は、日立IAが指定する研修施設・設備を利用して開催する集合研修、およびeラーニング等の総称であり、IT／ビジネス研修ガイドに記載されたもの、またはその他日立IAが指定するものに限られます。ただし、日立IAは、これらを予告なしに追加、変更または廃止することがあります。

2-2 お申し込み・開催延期／中止

IT／ビジネス研修の受講お申し込みについてはIT／ビジネス研修ガイド「お申込方法」に定めるとおりとしますので、ご参照ください。IT／ビジネス研修はIT／ビジネス研修ガイド「開催スケジュール」に記載されている日程で開催されますが、日立IAがこの日程で都合のつかない場合には「日立講習会受講ご案内」（受講券）に記載する別の日程で開催するものとします。日立IAはお申し込み済のお客様に対して少なくとも5営業日前の予告をもってIT／ビジネス研修の開催を延期または中止をする権利を留保します。

2-3 受講料・消費税

IT／ビジネス研修ガイドに記載されている受講料は、少なくとも開始日の10営業日前までに書面（電子メールを含みます。）による通知で変更される場合があります。IT／ビジネス研修の受講料は開始日における日立IA所定の受講料が適用されます。お客様のお申し込みを日立IAがお受けした後に、受講料が変更され新受講料が発効される場合は、お客様が当該お申し込みを、少なくとも開始日の5営業日前に書面により取り消さない限り、新受講料が適用されます。受講料にはIT／ビジネス研修で使用する教材の代金および機械使用料を含みますが、ご受講者の交通費および宿泊費は含みません。IT／ビジネス研修の受講料に課せられる消費税等の租税公課は、お客様のご負担とします。なお、消費税率等が変更になった場合は、IT／ビジネス研修の開始日時点の新税率を適用した金額となります。

2-4 受講料のお支払いおよび返金

受講料につきましては法人のお客様はIT／ビジネス研修ご受講後のお支払い（後払い）、個人のお客様はご受講前のお支払い（前払い）になります。IT／ビジネス研修の受講料は、お客様が日立IAからの請求書を受領後、お振込指定期日までにお支払いいただくこととします。前払いのお客様はお振込指定期日までにご入金の確認ができなかった場合は、ご受講できないことがあります。お振込手数料は、お客様のご負担とします。IT／ビジネス研修が、日立IAの責に帰すべき事由で中止された場合で、すでに前払いにて受講料をお支払いいただいている場合には、お振込みいただいた受講料を返金いたします。

2-5 キャンセル料

キャンセル料発生日前日までにご受講お申し込みのキャンセルお申し出があった場合は、キャンセル料は発生いたしません。また、すでに前払いにて受講料をお支払いいただいている場合は、お支払いいただいている受講料からお振込手数料を差し引いた金額を返金いたします。キャンセル発生日以降にキャンセルのお申し出があった場合はキャンセル料が発生いたします。前払いの場合はお支払いいただいた受講料は返金いたしません。また、後払いの場合は受講料全額を請求いたします。キャンセル料発生日はお申し込みになられたコースによって異なりますので、詳しくは「5. お申込方法」の「変更・キャンセル」の項をご覧ください。

2-6 責任の制限

日立IAは、IT／ビジネス研修ガイドに記載された範囲（講座の内容等）でIT／ビジネス研修に関するテキスト教材、eラーニングコンテンツ等（以下、「IT／ビジネス研修教材等」といいます。）の更新と提供を行います。ただし、日立IAは、これらのサービスの有用性、目的適合性、正確性その他一切の結果を保証するものではありません。また、IT／ビジネス研修教材等もしくはIT／ビジネス研修における質疑応答の内容を合理的範囲で正確性を保つよう努力するものですが、すべての誤りが訂正されることを保証するものではありません。また、日立IAはサービスを提供するにあたり、インターネット、データセンター、クラウドサービス等を利用しています。日立IAは、商慣習において合理的な努力を払って本サービスを提供しており、日立IAの責に帰すことができない事由によるサービス提供の停止については、損害賠償その他いかなる責任も負わないものとします。

2-7 著作権・その他知的財産権

日立IAがIT／ビジネス研修で提供または使用を許諾する文書・印刷物・ソフトウェア・Webサイト・コンテンツ等（以下「IT／ビジネス研修提供資料等」といいます。）の著作権またはその他知的財産権は、すべて日立IA、または日立IAがテキスト教材、eラーニングコンテンツ、IT／ビジネス研修ガイドに記載する第三者に帰属しており、お客様は日立IAの事前の書面による許諾がない限り、いかなる形態においてもIT／ビジネス研修提供資料等の全部、または一部について転載および複製並び改変を行ってはならず、またIT／ビジネス研修提供資料等を第三者へ開示または提供（貸与や使用許諾を含みます）もしくは譲渡してはならないものとします。

2-8 損害賠償

IT／ビジネス研修に関してお客様が被った損害に対する日立IAの損害賠償責任は、債務不履行、法律上の瑕疵担保責任、不当利得、不法行為、その他請求原因・訴訟形態のいかんにかかわらず、お客様に当該IT／ビジネス研修の受講料としてお支払いいただいた金額を限度とします。日立IAは、いかなる場合にも逸失利益、無体物に生じた損害、第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害、特別損害等については、一切責任を負わないものとします。なお、日立IAは、当該損害賠償責任に代えて、日立IAが合理的と判断したIT／ビジネス研修の再提供を行うことができるものとします。

2-9 暴力団等の排除

日立IAは、お客様またはその関係者が次の各号のいずれか一つに該当したときは、お客様へ何ら催告することなく、直ちに本契約を解除することができるものとします。

- ①日立IAおよび講師等の指示に従わないとき、または他の受講者に迷惑になるような行為、言動を行ったとき。
- ②公序良俗に違反、または犯罪に結びつくおそれのある言動を行ったとき。
- ③日立IAまたは日立IAの利害関係者へ誹謗中傷をしたと認められる事実があるとき。
- ④暴力団員、準構成員、暴力団関係企業、特殊知能暴力団その他これに準じる者、またはこれらの者と密接なかわりを持つ者であることが判明したとき。
- ⑤自ら、または第三者を利用して、暴力的な要求行為、法的責任を超える不当な要求行為、詐欺・脅迫行為、業務妨害行為その他これに準じる行為を行ったとき。
- ⑥その他、お客様がIT／ビジネス研修を利用することについて不適切と日立IAが判断した場合。

2-10 受講規約の変更

日立IAは、本規約その他のIT／ビジネス研修に関するお客様と日立IAとの契約を必要に応じて変更できるものとし、お客様への通知をもって変更の効力が適用されることとします。本規約に別に定める場合を除き、IT／ビジネス研修ガイドは予告なしに変更できるものとします。

2-11 その他

- ・当事者の一方に、本規約の不履行がある場合には、書面による通知によりIT／ビジネス研修のお申し込みを取り消すことができるものとします。
- ・日立IAは、IT／ビジネス研修の受講により、お客様が特定の知識や技術等を修得されることを保証するものではありません。また、IT／ビジネス研修がお客様保有の特定の目的に対し、適合・有益・最適であることを保証するものではありません。これらはお客様の責任で決定いただきたくお願い申し上げます。
- ・本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取ります。また、本製品とは、研修で取り扱った知識・技術、スキル、テキスト教材および相当資料、eラーニングコンテンツとします。なお、ご不明な場合は日立IA担当営業にお問い合わせください。
- ・IT／ビジネス研修ガイドに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

株式会社日立製作所 個人情報保護に関して（保護方針と要旨）

Privacy Notice Highlights

制定日 2005年4月1日
改定日 2010年4月1日
株式会社 日立製作所 代表執行役 執行役社長
東原 敏昭

1. 個人情報保護に関する当社の考え方

株式会社日立製作所（以下「当社」といいます。）は、トータルソリューションを提供できるグローバルサプライヤーとして、当社の技術情報や、お客さまからお預かりする情報ははじめ様々な情報を取扱っております。このことから、当社ではこれら情報価値を尊重するために、情報管理体制の確立とその徹底に努めて参りました。このような経緯を踏まえ、当社における個人情報保護について、規則の制定および管理体制の確立を図ると共に、個人情報保護方針を定め、役員および従業員に周知させるとともに、一般の方が、容易に入手できる措置を講じるものとします。そして、この方針に従い個人情報の適切な保護に努めます。

2. 個人情報保護方針

(1) 個人情報管理規則の策定および個人情報保護マネジメントシステムの継続的改善

当社は、役員および従業員に個人情報保護の重要性を認識させ、個人情報を適切に利用し、保護するための個人情報管理規則を策定し、個人情報保護マネジメントシステムを着実に実施します。更に、維持し、継続的に改善します。

(2) 個人情報の収集・利用・提供および目的外利用の禁止

当社は、事業活動において、個人情報をお預かりしていることを考慮し、それぞれの業務実態に応じた個人情報保護のための管理体制を確立すると共に、個人情報の収集、利用、提供において所定の規則に従い適切に取扱います。また、目的外利用は行わない、およびそのための措置を講じます。

(3) 安全対策の実施並びに是正

当社は、個人情報の正確性および安全性を確保するため、情報セキュリティに関する諸規則に則り、個人情報へのアクセス管理、個人情報の持ち出し手段の制限、外部からの不正アクセスの防止等の対策を実施し、個人情報の漏洩、滅失またはき損の防止に努めます。また、安全対策上の問題が確認された場合など、その原因を特定し、是正措置を講じます。

(4) 法令・規範の遵守

当社は、個人情報の取扱いに関する法令、国が定める指針その他の規範を遵守します。また、当社の個人情報管理規則を、これらの法令および指針その他の規範に適合させます。

(5) 個人情報に関する本人の権利尊重

当社は、個人情報に関して本人から情報の開示、訂正もしくは削除、または利用もしくは提供の拒否を求められたとき、および苦情、相談の申し出を受けたときは、個人情報に関する本人の権利を尊重し、誠意をもって対応します。

3. プライバシーマークについて



当社は、一般財団法人日本情報経済社会推進協会より、個人情報の適切な取扱いを行う事業者が付与されるプライバシーマークの付与認定を受けています。

4. 適用範囲

当社が事業で取扱う全ての個人情報に関する取扱いを定めるものです。

5. 個人情報保護の取組み

当社は、「個人情報保護に関する当社の考え方」および「個人情報保護方針」に基づき、個人情報を取り扱っている部門ごとに管理責任者を設置し、個人情報について細心の注意と最大限の努力をもって、保護、管理を行っております。

この取扱い要旨において「個人情報」とは、次の各号に該当する情報のうち、ご本人さまを識別することができる情報をいうものとします。

- 「お問い合わせ入力フォーム」その他の方法で入力され、ご本人さまから当社に提供された情報
- 前号の他、当社がご本人さまから提供を受けた情報

6. 個人情報の取扱い方針(取得・利用目的、第三者提供)

- 当社は、電機機械器具・情報通信機械器具・電子部品製造業および情報サービス業を主とした事業活動に関して、個人情報を各号の目的の達成に必要な範囲でのみ取得し、利用するものとします。また、ご本人さまに個人情報を提供いただく場合には事前にその使用目的を明示し、ご本人さまに同意をいただくものとします。
- 当社は、特定の条件のものを除き、あらかじめご本人さまの事前の同意を得ないで、ご本人さまの個人情報を第三者に提供しません。
- 当社は、当社のグループ会社と共同して事業活動を行う場合に必要となる、お名前並びに職場およびご自宅の住所、電話番号、FAX 番号、電子メールアドレス等のご本人さまの個人情報につき、当該グループ会社に提供することがあります。

7. 個人情報の開示等の請求、または苦情のお申し出

当社が保有しているご本人さまの個人情報について、開示、訂正、追加、削除、利用停止、第三者提供の停止、若しくは利用目的の通知（以下「開示等」といいます。）を請求される場合または苦情をお申し出になる場合は、所定の手続きに則り請求をお願い致します。

8. その他重要事項

- ご本人さまからの個人情報の提供、事前同意の取得等、個人情報保護に関してご本人さまへのお願いがございます。
- 「個人情報保護に関して」の取扱いに関する連絡事項がございます。
- ウェブサイトににおけるクッキーおよび Web ビーコンの利用についての注意事項がございます。
- ご本人さまが当社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を録音させていただいております。
- 当社が提供している個々の個人情報取扱いサイトに関するご連絡がございます。

9. 認定個人情報保護団体

当社を管掌する認定個人情報保護団体[※]は、下記となります。

認定個人情報保護団体名
一般財団法人日本情報経済社会推進協会
個人情報保護苦情相談室

所在地
〒106-0032 東京都港区六本木 1-9-9 六本木ファーストビル 12F
電話番号
03-5860-7565, 0120-700-779

※個人情報保護法で規定されている、個人情報に関する苦情処理や情報提供を行う第三者機関。
当社の商品・サービスに関する問い合わせ先ではございません。

10. 連絡先

個人情報の開示等の請求および苦情のお申し出を除く、本取扱要旨に関するご質問・お問い合わせは、下記の方法にてご連絡ください。

郵送によるご連絡
〒100-8608 東京都千代田区外神田一丁目 18 番 13 号
株式会社日立製作所 IT 統括本部 IT セキュリティ統括部

株式会社日立製作所 個人情報保護に関して（保護方針と要旨）
詳細は当社ホームページ
<http://www.hitachi.co.jp/utility/privacy/index.html>
をご覧ください。

株式会社日立インフォメーションアカデミー個人情報保護に関して

制定年月日 2004年6月23日
最終改定年月日 2017年4月1日
株式会社 日立インフォメーションアカデミー
取締役社長 石川 拓夫

個人情報保護の理念

株式会社日立インフォメーションアカデミー（以下、「当社」といいます。）は IT を中核に戦略的人材育成のためのトータルソリューションの提供を通じて社会に貢献してまいります。

そうした中で、当社は氏名、生年月日のような個人を特定できる情報（以下、「個人情報」と総称します。）が従業員のみならずお客様にとりまして重要な情報であり、適切に扱われるべき情報であると認識しております。また、これら個人情報を利用し、保護することが当社の社会的責任であり、当社の事業の基本であると考えております。

当社では個人情報を適切に取扱うべく役員、従業員に「個人情報保護方針」の周知徹底を図り、その実行、維持、改善に努めます。

株式会社 日立インフォメーションアカデミー 個人情報保護方針

1. 個人情報の取得・利用・提供

当社は、事業活動において、お客様の情報をお預かりしていることを考慮し、各事業に応じた個人情報保護のための管理体制を確立します。又、個人情報の取得、利用、提供において、特定された利用目的の達成に必要な範囲を超えた個人情報の取扱いを行わないための適切な措置を講じます。

2. 法令・規範の遵守

当社は、個人情報の取扱いにおいて、当該個人情報の保護に適用される法令及び国が定める指針その他の規範を遵守します。また、これらの法令及び指針その他の規範に適合した、当社の個人情報管理規則を作成し、遵守致します。

3. 安全対策の実施

当社は、個人情報の正確性及び安全性を確保するため、当社の情報セキュリティに関する諸規則に則り、個人情報へのアクセス管理、個人情報の持ち出し手段の制限、外部からの不正アクセスの防止等の対策を実施し、個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止及び是正に努めます。

4. 個人情報に関する本人の権利尊重

当社は、個人情報に関する本人から求められる開示、内容の訂正、追加又は削除、又は苦情及び相談を求められた時は、個人情報に関する本人の権利を尊重し、誠意を持って対応致します。

5. 個人情報保護マネジメントシステムの確立及び継続的改善

当社は、役員及び従業員に個人情報保護の重要性を認識させ、個人情報を適切に利用し、保護するための個人情報保護マネジメントシステムを確立し、これを着実に実施します。更に、これを維持し、継続的に改善致します。

開示対象個人情報に関する事項

当社は「開示対象個人情報」に関して下記の通り本人の知り得る状態に置きます。

(1) 開示対象個人情報の利用目的（個人情報保護法第 18 条第 4 項第 1 号から第 3 号までに該当する場合を除きます。）

当社が提供する研修サービスをご利用いただくために開示いただいた個人情報は、当社が提供する各種サービスの運用業務・改善、研修サービスガイド等の送付、メールでの研修サービスご案内、ニーズ調査、製品・ソリューション情報のご案内などに利用させていただきます。

(2) 開示対象個人情報の開示等または苦情のお申し出先

開示対象個人情報の開示等または苦情のお申し出については、下記までご連絡ください。
株式会社 日立インフォメーションアカデミー コンプライアンス推進センタ E-Mail : hia-privacy@hitachi-ia.co.jp

(3) 開示等の手続き

当社ホームページ〈<https://www.hitachi-ia.co.jp/>〉をご覧ください。

その他個人情報の取扱いについて

- お客様の申込状況、受講実績、受講履歴、受講成績、受講進捗状況をお客様のお申込責任者の方に提供する場合がございます。
- 当社が契約を締結している他社教育機関の講習会については、講習会実施及び資格管理・維持に必要となるお客様の個人情報項目（例えば、会社名、氏名、E-Mail アドレス、お電話番号など）を、受講される教育機関に提供致します。
- 当社からの受講券、教材、請求書、研修サービスガイドなどの発送作業や研修の運営等について、お客様の個人情報を業務委託先に委託する場合がございます。
- 日立講習会受講お申し込みのためにご入力いただきました個人情報の取扱いについては、お申込責任者の方が受講されるご本人の同意をいただいたものと致します。
- 日立講習会受講お申し込みによって受講者の個人情報取扱いをお申込責任者の方から、株式会社 日立製作所及び株式会社 日立インフォメーションアカデミーに委託されたものと致します。
- 当社のホームページからリンクされている当社外のホームページにおけるご本人の個人情報の安全性確保については、当社では責任を負いかねますので、ご承知おきください。
- 当社では、より良い個人情報保護を実現するために、また、法令、政省令、及びその他の規範の制改定に伴い、本ページに掲載致しております個人情報保護方針を改定することがございます。定期的に当社のホームページにてご確認いただきますようお願い致します。

個人情報に関するお問い合わせ先（個人情報保護管理者）

株式会社 日立インフォメーションアカデミー
コンプライアンス推進センタ センタ長
(所在地) : 〒140-0013 東京都品川区南大井 6 丁目 2 番 3 号
大森ベルポート D 館 1 3 階
(E-Mail) : hia-privacy@hitachi-ia.co.jp

当社は、一般財団法人日本情報経済社会推進協会（略称：JIPDEC）より個人情報の適切な取り扱いを行う事業者が付与されるプライバシーマークの付与認定を受けています。



雇用関係助成金のご案内

人材開発支援助成金

2017年4月1日からキャリア形成促進助成金は人材開発支援助成金と名前が変更となりました。

雇用する労働者のキャリア形成を効果的に促進するため、職務に関連した専門的な知識及び技能の普及に対して助成する制度です。

●人材開発支援助成金（旧キャリア形成促進助成金）

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html
(厚生労働省ウェブサイト)

※上記は2017年12月1日現在の内容です。

最新情報は、日立インフォメーションアカデミーのホームページをご覧ください。<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/support/crjo/index.html>

他社所有商標に対する表示

- ・ Adobe, Adobe ロゴ, Adobe Flash Player, Adobe Reader, Flash, Flex, MXML, ActionScript は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
 - ・ アマゾン ウェブ サービス, Amazon Web Services, Amazon EC2 および Amazon Web Services ロゴは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。
 - ・ Android は、Google Inc. の商標または登録商標です。
 - ・ BABOK® および Business Analysis Body of Knowledge®, CCBA®, CBAP® は、International Institute of Business Analysis の登録商標です。
 - ・ Ethernet/イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
 - ・ Ethernet は、米国 Xerox Corp. の商品名称です。
 - ・ Hadoop は、Apache Software Foundation の米国およびその他の国における商標です。
 - ・ IBM, IBM ロゴ, ibm.com, AIX, DataStage は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。
 - ・ ITIL®, PRINCE2®, AXELOS Limited の登録商標です。The Swirl logo は AXELOS 社の商標です。
 - ・ iPhone, iPad, iOS, iBooks, Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
 - ・ Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
 - ・ Microsoft, Azure, Visual Basic, Visual C++, Visual Studio, Windows, Windows Server, Windows PowerShell, SQL Server, Active Directory, Hyper-V, Excel, PowerPoint, Access, SharePoint, Internet Explorer, Silverlight は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
 - ・ NVIDIA は、米国 NVIDIA Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
 - ・ OCUP, オーカップ, UML 技術者資格試験は、(株) UML 教育研究所の商標、または登録商標です。
 - ・ OMG, UML, Unified Modeling Language, UML ロゴ, UML Certification ロゴ, MDA, Model Driven Architecture は、Object Management Group Inc. の商標または登録商標です。
 - ・ Oracle, Oracle Database 11g, Oracle Database 12c, Java, JavaScript, Solaris は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国 およびその他の国における登録商標または商標です。
 - ・ PMI®, PMP®, PMBOK® ガイド, OPM3®, CAPM®, PgMP®, PMI-ACP®, PMI-SP®, PMI-RMP®, PM Network®, PMI Today®, PMCDF®, R.E.P. ロゴはプロジェクトマネジメント協会 (Project Management Institute Inc.) の登録商標です。
 - ・ Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, JBoss は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の登録商標です。
 - ・ SAP は、SAP AG のドイツおよびその他の国における登録商標または商標です。
 - ・ TOEIC® は、Educational Testing Service (ETS) の登録商標です。
 - ・ UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。
 - ・ VMware, VMware vSphere, ESXi, VMware vCenter, VMware View は、VMware, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

HITACHI
Inspire the Next

